取扱説明書

FOMA® D905i

'07.11

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS 方式

このたびは、「FOMA D905i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA D905iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- 本書のご使用にあたって
  本FOMA端末は、きせかえツール（☛P104）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
  この場合、本書での説明どおりに操作できないため、ベーシックメニューに切り替えるか（☛P103）、メニュー操作履歴をリセット（☛P103）してください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- **「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード**
  （http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

さまざまな検索方法で、知りたい機能や操作方法を探せます。

「索引」から探す　P452

機能名やサービス名から探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「かんたん検索」から探す　P4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「表紙インデックス」から探す　表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

▶ 次ページで詳しく説明

「目次」から探す　P6

目的別の章に分類された目次から探します。

「主な機能」から探す　P8

D905iの特徴的な機能や新機能から探します。

「メニュー一覧」から探す　P398

FOMA D905iの画面に表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

「クイックマニュアル」を利用する　P458

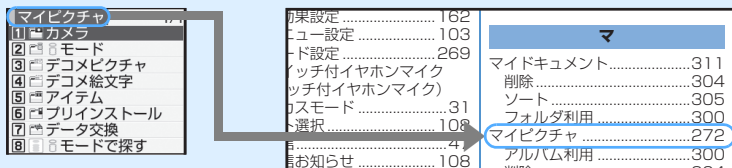
よく使う機能の操作方法を記載しています。また、「クイックマニュアル（海外利用編）」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。本書から切り離してお使いください。

- この「FOMA D905i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D905i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。
  microSDメモリーカードについて☛P288
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応 i アプリ」を「おサイフケータイ対応 i アプリ」と記載しております。
- ディスプレイに表示される画面デザインなどは、FOMA 端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせて初期設定されています（きせかえツール）。☛P104
  本書では、主にきせかえツールの設定が「ブライトルーム」の場合で説明しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

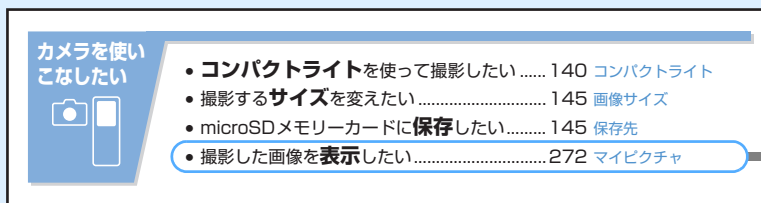
「マイピクチャ」の記載ページを探すときを例に説明します。

「索引」から探すとき

あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

「かんたん検索」から探すとき

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

カメラを使いこなしたい

- **コンパクトライト**を使って撮影したい……140 コンパクトライト
- 撮影する**サイズ**を変えたい……145 画像サイズ
- microSDメモリーカードに**保存**したい……145 保存先
- 撮影した画像を**表示**したい……272 マイピクチャ

「表紙インデックス」から探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。

- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、キーの表記を省略しています。

実際のキー	本書での表記
□ わをん 記号	□

・本体の色によってキーの文字の書体が異なります。
（例：4 た GHI 、4 た GHI ）

- 本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表　記	意　味
Menu ▶設定／NWサービス▶ 5 3 ▶ 1 ～ 2	待受画面で Menu を押した後、◎で「設定／NWサービス」を選び◎を押す。続けて、5 3 の順に押し、1 または 2 を押す。

● 特に断りがない限り、待受画面からの操作手順を記載しています。
● 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
● 本書では、（スピードセレクター）で項目にカーソルを合わせる操作を、「選ぶ」と表記しています。
入力欄に文字を入力する操作においては、最後に（決定キー）を押す操作を省略しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

● よく使う機能などの操作方法をクイックマニュアルとしてご案内しています。☞P458

目次

Contents

FOMA D905iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモードのサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモードメール／デコメール／デコメ絵文字

テキスト本文に加えて､合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFデータなど）を添付できます。☛P174
また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色･大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入できます。☛P172

メガｉアプリ／直感ゲーム ☛P210

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
また、ケータイを「傾ける」「振る」などといった感覚的な操作で楽しむ直感ゲームにも対応しています。D905iなら音声認識にも対応しているので声に反応させて操作することもできます。

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

国際ローミング ☛P390

日本国内でお使いのFOMA端末･電話番号･メールアドレスが海外でもそのまま使えます（GSM･3Gエリアに対応）。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。また、日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳する「しゃべって翻訳 for D」をプリインストールしています。

GPS ☛P236

GPSを使って取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です。｢地図アプリ｣をプリインストールしており、手軽に高精細な地図を利用できます。

着うたフル®／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル※1／ビデオクリップ

1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ1つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた･ホーダイに対応。☛P321
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。D905iなら動画付きの番組も楽しめます。☛P316
さらに、10Mバイトまでのｉモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。☛P165

※1：お申し込みが必要な有料サービスです。

- 「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

おサイフケータイ／トルカ ☛P226、P227

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のｉアプリをプリインストールしています。☛P218
また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる｢iCお引っこしサービス｣にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

きせかえツール ☛P104、P159

ｉモードからお気に入りのキャラクタの画面などをダウンロードして、待受画面やメニュー画面などを一括して変更できます。D905iなら利用頻度に合わせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズできます。

多彩な機能

高精細、大画面ディスプレイ

480×864ドット、約3.1インチの大型TFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを大画面で美しく表示します。

明るさWコントロール／ナチュラルカラーマトリックス

- 周囲や映像の明るさに応じて、ディスプレイの明るさを自動で調整します。☛P102、P261
- 画像や映像を、より自然で鮮やかな色調に自動変換します。

スピードセレクター ☛P25

画面のスクロールや項目選択がすばやく行えます。

モーションコントロール ☛P337

FOMA 端末を横向きにすると、画面に合わせてｉ モーション、フルブラウザ、ドキュメントビューア、ワンセグなどの表示も横向きに切り替わります。また、FOMA端末の向きに合わせてマチキャラを回転したり、FOMA端末を振って新着メールを表示できます。ディスプレイや側面を軽くたたいて操作するタップ機能にも対応しています。

カメラ搭載 ☛P130

- アウトカメラとインカメラを搭載しており、大きなディスプレイで見ながら撮影できます。接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。
  アウトカメラ：有効画素数約320万画素
  （最大記録画素数約320万画素）
  インカメラ　：有効画素数約10万画素
  （最大記録画素数約10万画素）
- 最大 VGA サイズの高画質な動画を撮影・再生できます。☛P138

マチキャラ ☛P107、P159

動き回るキャラクタを待受画面などに表示できます。音声に反応するマチキャラにも対応しています。マチキャラは対応サイトからダウンロードできます。

FMラジオ／FMトランスミッター

- FMラジオを聴くことができます。ラジオで流れている曲を検索してダウンロードすることもできます。☛P331
- FM電波を利用して、ミュージックプレーヤーの音楽、ワンセグやナビゲーションｉアプリの音声をカーオーディオなどで聴くことができます。☛P330

スピードメニュー ☛P350

ワンセグ、FMラジオ、ミュージックプレーヤー、GPS、フルブラウザ、カメラを声で呼び出し、すばやく利用できます。

翻訳リーダー／名刺リーダー

英語、中国語、韓国語で書かれた文字をカメラで撮影し、単語ごとに自動翻訳できます。☛P358
また、名刺をカメラで撮影し、名前や電話番号などを簡単に電話帳に登録できます。☛P360

電子辞典 ☛P357

国語、和英、英和辞典に加えて、日中、日韓辞典を搭載しています。

あんしん設定

おまかせロック ☛P116

FOMA端末を紛失した際に、お申し出によりそのFOMA端末へロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。

- おまかせロックは有料サービス※1です。
  ※1：ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。
- ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

電話帳お預かりサービス ☛P127

FOMA端末の電話帳、画像、メールをお預かりセンターに保存し、FOMA端末の紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを新しい FOMA 端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理でき、編集したデータをFOMA端末に反映することも可能です。
電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（ｉ モード<FOMA>編）』を、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1☛P374
- 転送でんわサービス（無料）※1☛P376
- SMS（無料）☛P204
- キャッチホン（有料）※1☛P375
- デュアルネットワークサービス（有料）※1☛P377
- 2in1（有料）※1☛P380

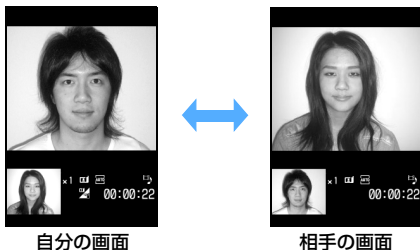
※1：お申し込みが必要です。

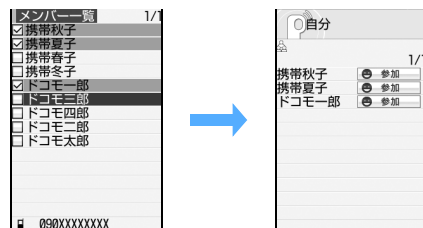
D905iを使いこなす！

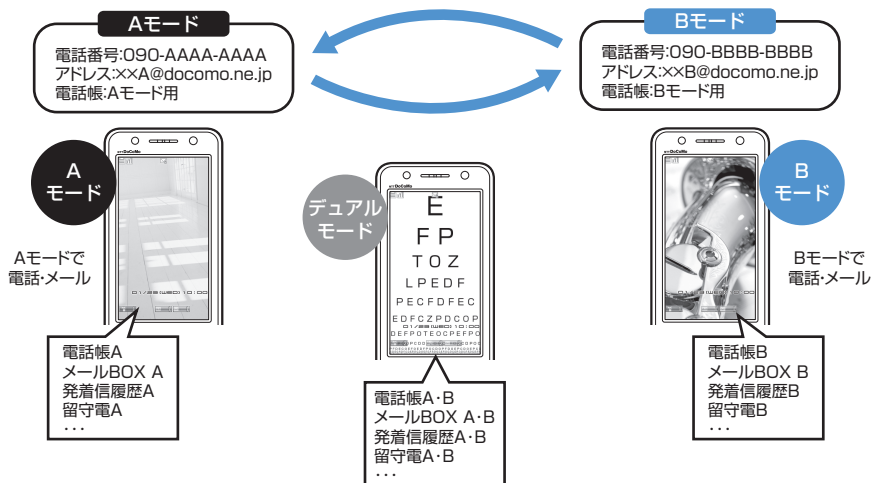
D905iの多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話できます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。☛P42、P52

自分の画面　　相手の画面

プッシュトーク

プッシュトーク電話帳から相手を選んで、プッシュトークボタン（P）を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。☛P68

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・2つのメールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発着信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。☛P380
※2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

着もじ

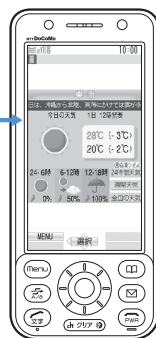
電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。☛P48

相手の画面

ワンセグ

大画面で、ワンセグ（モバイル機器向け地上デジタルテレビ放送）が楽しめます。番組の視聴／録画予約や、データ放送を利用できます。また、ハイライト再生やオートカット再生、ワンセグを視聴しながらメールの作成や表示、サイト接続などもできます。☛P248

ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。☛P166
※ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。

ミュージックプレーヤー／FMラジオ

- 音楽を1曲まるごとダウンロードできる着うたフル®、CDからの取り込みや豊富な音楽配信サイトを活用できる Windows Media Audio（WMA）に対応しています。取り込んだ音楽はミュージックプレーヤーで再生します。☛P320
- FMラジオを聴くことができます。ラジオで流れている曲の情報を表示したり、流れている曲を検索してダウンロードすることもできます。☛P331

ミュージックプレーヤー

FMラジオ

安全上のご注意（必ずお守りください）

● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

● **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

表示	内容
危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

● **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

● **「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　D10
卓上ホルダ　D15
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 補助充電アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
FOMA 海外兼用ACアダプタ　01
• その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

コンパクトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてコンパクトライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
- ご注意いただきたい電子機器の例
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
  植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。
アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。
肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

禁止

モーションコントロールご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーションコントロールは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA 端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロールご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>素　材</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td colspan="2">スピードセレクター周辺パネル</td><td>ポリカーボネート・ABS樹脂</td><td>ステンレス蒸着（本体色がシャインブラックの場合）、アルミ蒸着（本体色がピンクゴールドの場合）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Menu、、、クリア、、、</td><td>ポリカーボネート</td><td>アルミ蒸着（本体色がシャインブラックとピンクゴールドの場合）</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピードセレクター</td><td>ポリカーボネート</td><td>アルミ蒸着</td></tr>
<tr><td colspan="2">アウトカメラ周辺部</td><td>ニッケル</td><td>クロムメッキ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ワンセグアンテナの金属部分</td><td>上部／中部</td><td>黄銅</td><td>クロムメッキ（下地ニッケル）</td></tr>
<tr><td>下部</td><td>ステンレス</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ベース部分</td><td>黄銅</td><td>クロムメッキ（下地ニッケル）</td></tr>
</table>

指示

FOMA端末を閉じる際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。

ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。
  風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
  なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  ・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  ・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA 端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロットカバーをはめた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り、故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  故障の原因となります。
- FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
  FOMA 端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になった FOMA カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

FeliCaリーダー／ライターについて

● FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
● 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

FMトランスミッターについて

● FOMA端末のFMトランスミッター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
● 使用周波数は83.4～83.7MHz、86.1MHz、86.3MHz、86.6MHz、86.7MHz、87.0～87.3MHz、89.7MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ利用者への影響を避けるため、ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

注意

● 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㉂」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
● 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
● FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA 端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
● FMトランスミッターは日本国内で使用してください。
FOMA端末のFMトランスミッターは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「メロディコール」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「パケ・ホーダイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「デュアルネットワーク」「トルカ」「マルチナンバー」「DCMX」「ファミリーワイドリミット」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「ビジュアルネット」「ｉチャネル」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「iD」「イマドコサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「メッセージF」「着もじ」「きせかえツール」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「2in1」「うた・ホーダイ」「Music&Videoチャネル」「エリアメール」「直感ゲーム」「イマドコかんたんサーチ」および「FOMA」ロゴ 「ｉ-mode」ロゴ 「ｉ-αppli」ロゴ 「WORLD WING」ロゴ 「DCMX」ロゴ 「iD」ロゴ 「HIGH-SPEED」ロゴ はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークは NTT コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、および G ガイド関連ロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista™、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- 「タマラン」は"Ignition Entertainment Ltd"の登録商標です。
- 「新ゴ」、「楷書MCBK1」および「はせトッポ」は株式会社モリサワより提供を受けており、この名称は同社の商標または登録商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- 「しゃべって翻訳 for D」は株式会社ATR-Trekの商標です。
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ および Adobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。
  Flash Lite copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
  Adobe Reader copyright© 1984-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Sync Clientを搭載しています。
  本製品はデータ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
  本製品は放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。
  Copyright© 2007 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  ACCESS、NetFront、Media:/メディアコロンは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。
  ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual/AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
  ・MPEG-4 Visual/AVCの規格に準拠する動画を記録する場合
  ・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Visual/AVCの規格に準拠する動画を再生する場合
  ・MPEG LAよりライセンスを受けたプロバイダから入手されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109
5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784
5,778,338		

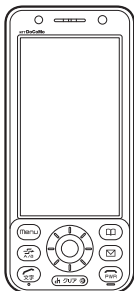
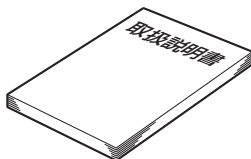
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright©2007,GestureTek,Inc.All Rights Reserved.
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの登録商標です。
- symbian
  本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。
  Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian 関連の商標およびロゴは Symbian Software Ltd の商標または登録商標です。©1998-2007 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- Microsoft® Excel、Microsoft® Wordは米国Microsoft Corporation の商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記しています。
- Word、Excel、PowerPointのファイル表示技術は、Picsel Technologiesにより実現しています。

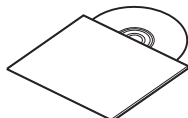
  Picsel、Picsel File ViewerおよびPicselキューブロゴは、Picsel Technologiesの商標または登録商標です。
- 「明鏡モバイル国語辞典」「Gモバイル英和辞典」「Gモバイル和英辞典」は大修館書店編集の著作物です。
- 「モバイル版デイリー日韓辞典」「モバイル版デイリー日中辞典」は株式会社三省堂編集の著作物です。
- 「ケータイ！日本語テスト」は、株式会社ジャストシステムおよび株式会社アスクの著作物です。収録されている「明鏡クイズ」は、北原保雄監修・大修館書店編集の著作物です。
- 文字認識エンジンは、オムロン（株）のMobile OmCRを使用しています。

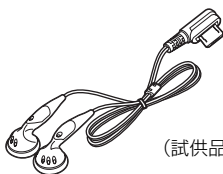
- FlashFX® is a registered trademark of DATALIGHT, Inc.
  FlashFX® Copyright 1998-2007 DATALIGHT, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
  FlashFX® Pro™ is a trademark of DATALIGHT, Inc.
  DATALIGHT® is a registered trademark of DATALIGHT, Inc.
  Copyright 1989-2007 DATALIGHT, Inc., All Rights Reserved.
- Contains iType font engine and fonts from Monotype Imaging Inc.
  Monotype is a trademark of Monotype Imaging Inc. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  ・Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  ・Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  ・Windows Vistaは、Windows Vista™ (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media デジタル著作権管理技術 (WMDRM) を使用します。本製品は、WMDRM が保護するコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用します。当該 WMDRM ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者が Microsoft に対して、保護されたコンテンツを WMDRM で再生またはコピーする WMDRM ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することがあります。無効にされた場合でも、保護されていないコンテンツは影響を受けません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする場合、お客様は Microsoft がライセンスに失効リストを含む可能性があることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様がコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することがありますが、もし、アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできなくなります。
  本製品は、特定のマイクロソフトの知的財産権によって保護されています。そのように保護されている技術をマイクロソフトからライセンスを得ることなく本製品以外で使用あるいは配布することは禁止されています。

本体付属品および主なオプション品

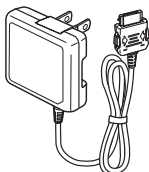
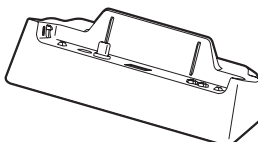
本体付属品

FOMA D905i
（保証書、リアカバーD20含む）

取扱説明書（本書）

クイックマニュアル記載☛P458

FOMA D905i用
CD-ROM

PDF版「パソコン接続マニュアル」と「区点コード一覧」を収録

ステレオイヤホン
（取扱説明書付き）

（試供品）

主なオプション品

FOMA ACアダプタ01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダD15
（取扱説明書付き）

電池パックD10
（取扱説明書付き）

- その他のオプション品について☛P419

ご使用前の確認

各部の名称と機能

①、②、…は「各種キーの機能」をご覧ください。☛P25

1 受話口
相手の声がここから聞こえます。

2 照度センサー ☛P102、P261
周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを自動的に切り替えたり、キーの照明を点灯／消灯できます。

3 インカメラ ☛P63、P130
自分を撮影したり、テレビ電話で映像を送信します。

4 ディスプレイ ☛P27

5 外部接続端子 ☛P37、P298
各種オプション品などを接続します。

6 送話口／マイク
自分の声を伝えます。

7 FeliCaマーク ☛P226、P309
ICカードが搭載されています。FeliCaマークを読み取り機にかざしてICカード機能を利用します。ICカードは取り外せません。

8 アウトカメラ ☛P63、P130
人や風景などを撮影したり、テレビ電話で映像を送信します。

9 FOMAアンテナ
アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

10 ストラップ取付口

11 リアカバー

12 コンパクトライト ☛P63、P140
アウトカメラ使用中に点灯できます。また、静止画／動画撮影時に赤く点灯／点滅します。

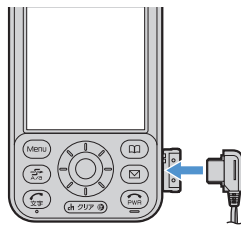
13 ワンセグアンテナ ☛P249

14 赤外線ポート ☛P305
赤外線通信や赤外線リモコンで使用します。

15 スピーカー
着信音やワンセグの音声、スピーカーホン機能がONのときに相手の声などがここから聞こえます。

16 microSDメモリーカードスロット ☛P289

17 充電端子

18 イヤホンマイク端子
付属のステレオイヤホンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。

- イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

各種キーの機能

キーを押してできる主な操作には以下があります。
●：短く押したとき　■：1秒以上押したとき

① スピードメニュー／テレビ電話開始／左下ソフトキー
- ● スピードメニューの表示
- ● テレビ電話をかける／受ける
- ● 文字入力時の大文字／小文字切り替え
- ● ガイド行左下に表示される操作の実行
- ■ スピードメニューの表示(音声で呼び出す場合)

② Menu／左上ソフト／マナーモードキー
- ● メニューの表示
- ● ガイド行左上に表示される操作の実行
- ■ マナーモードの設定／解除

③ スピードセレクター ☛P25

④ 電話帳／スケジュール／右上ソフトキー
- ● 電話帳の表示
- ● ガイド行右上に表示される操作の実行
- ■ スケジュールの表示

⑤ メール／右下ソフトキー
- ● メールメニューの表示
- ● 文字入力時の文字戻し
- ● ガイド行右下に表示される操作の実行
- ■ 新規メール作成

⑥ 電源／終了キー
- ● 通話／操作中の機能の終了
- ● 応答保留
- ● カスタム待受画面の表示／非表示の切り替え
- ■ 電源を入れる／切る（2秒以上押す）

⑦ ｉチャネル／クリアキー
- ● チャネル一覧の表示
- ● ｉアプリ待受画面のｉアプリ起動
- ● 文字の消去　● 1つ前の画面に戻る
- ■ セルフモードの設定／解除

⑧ 音声電話開始／スピーカーホン／文字キー
- ● 音声電話をかける／受ける
- ● スピーカーホン機能の切り替え
- ● 文字入力時の入力モード切り替え
- ● 静止画撮影のフォーカスロック
- ● ワンセグ視聴時やビデオ再生中の消音
- ■ ワンセグ視聴時のマルチウィンドウ表示中の画面切り替え

⑨ ダイヤルキー

0～9
- ● 電話番号や文字の入力
- ■「+」の入力（電話番号入力時：0）

＊／公共モード（ドライブモード）キー
- ●「＊」の入力
- ■ 公共モード（ドライブモード）の設定／解除
- ■「P」の入力（電話番号入力時）

＃／マナーモード／改行／接写キー
- ●「＃」の入力
- ● 通常撮影と接写撮影の切り替え（アウトカメラで撮影時）
- ● 文字入力時の改行
- ■ マナーモードの設定／解除
- ■「T」の入力（電話番号入力時）

⑩ プッシュトークボタン ☛P68
- ● プッシュトークの発信／応答／発言
- ● オートフォーカスのON／OFFを切り替え（静止画撮影時）
- ■ プッシュトーク電話帳の表示

⑪ TASKキー
- ● マルチアクセス・マルチタスクの操作

⑫ TV／伝言メモ／シャッターキー
- ● 伝言メモ／音声メモメニューの表示
- ● カメラの撮影　● 着信音／アラーム音の停止
- ● ワンセグ視聴時の静止画録画／本体録画（5分）
- ■ ワンセグ視聴の開始
- ■ ワンセグ視聴時のmicroSD録画
- ■ クイック伝言メモの開始
- ■ メール表示画面の通常表示／オンリービュー表示の切り替え

⑬ プロテクトキー ☛P123
- ■ プロテクトキーロックの設定／解除

FOMA端末を開く／閉じる

FOMA端末を開くときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を上にスライドさせてください。閉じるときは、逆方向にスライドさせてください。

- FOMA端末を開くことで、メールの返信やスケジュール、テキストメモ編集画面の表示などが簡単にできます。☛P339
- FOMA端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA端末を開いて電話に出たり、FOMA端末を閉じて通話を終了／保留にできます。☛P54

スピードセレクターの使いかた

は電話着信時やメール受信時、FOMA端末開閉時、スピードセレクターを回転したとき、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。充電中は赤く点灯します。

や を押して操作する

●：短く押したとき　■：1秒以上押したとき

決定キー
- ● 操作の実行　● フォーカスモードの実行
- ■ ワンタッチ登録したｉアプリ起動

データBOX／↑キー
- ● データBOXメニューの表示　● 音量の調整
- ● カーソルの上移動
- ■ アウトカメラ撮影での静止画撮影の起動

iモード／iアプリ／↓キー
- ●iモードメニューの表示　●音量の調整
- ●カーソルの下移動
- ●文字入力時の改行（カーソルが入力文字の末尾にあるとき）
- ■iアプリフォルダ一覧の表示

着信履歴／←（前へ）キー
- ●着信履歴の表示　●カーソルの左移動
- ■プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除

リダイヤル／→（次へ）キー
- ●リダイヤルの表示　●カーソルの右移動
- ■ICカードロックの設定／解除

回転して操作する

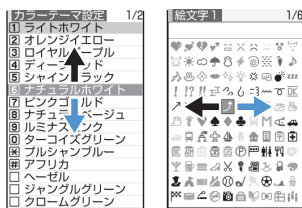
待受画面からメニューや電話帳、スケジュールを表示できます（待受起動機能）。☛P26
また、待受画面の画像を切り替えるようにも設定できます。☛P98

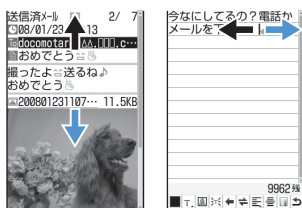
- 画面により、または と同じ操作ができます。移動方向は、スピードセレクター設定で「時計回り」または「反時計回り」を選択できます。

移動方向	操作例

時計回り

反時計回り

カラーテーマ設定 1/2
1 ライトホワイト
2 オレンジイエロー
3 ロイヤルパープル
4 ディープレッド
5 シャインブラック
6 ナチュラルホワイト
7 ピンクゴールド
8 ナチュラルベージュ
9 ルミナスピンク
0 ターコイズグリーン
✱ ブルシャンブルー
アプリカ
ヘーゼル
ジャングルグリーン
クロームグリーン

項目を選ぶ

絵文字などを選ぶ

スクロール

カーソルを移動

各画面で次のような操作もできます。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信中や通話中／通信中：着信音量、受話音量の調整。
- ミュージックプレーヤー／ Music&Video チャネルの再生画面表示中：再生音量の調整。
- カメラの撮影画面表示中：ズーム。
- PDF対応ビューア、ドキュメントビューアの表示中：表示の拡大／縮小。
- 日付・時刻や数値の入力欄：数値の増減（ただし、増減できない入力欄もあります）。
- 静止画編集の反転／回転中：静止画の回転。
- メール詳細画面、サイト画面、フルブラウザ画面：スピードセレクターをすばやく回転すると、高速スクロール（ターボモード）。

おしらせ
- 以下の場合、や の操作が可能ですが、回転による操作はできません。
  - ダイヤル入力画面でのツータッチサイト表示
  - 静止画編集でのカーソル、枠、スタンプなどの移動
  - ディスプレイの表示が消えているとき
  - ビデオ再生中（スキップ再生中、ハイライトシーン送り／戻し中を除く）
  - 電卓　など

スピードセレクターの回転操作を設定する
スピードセレクター設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶[7][7]▶各項目を設定

スピードセレクター：
回転操作の有効／無効を設定。
移動方向：
「時計回り」または「反時計回り」を選択。
待受起動機能：
待受画面で回転したときに実行する機能を選択。

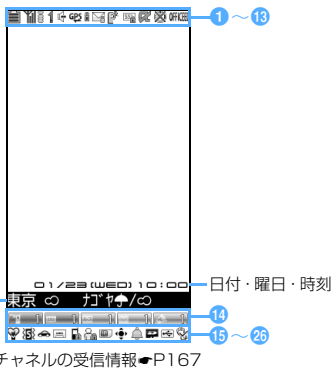
2

- 待受起動機能を「OFF」以外にした場合、待受画面設定のランダムイメージ設定の切替設定が「スピードセレクター」のときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択するとランダムイメージ設定は解除されます。

おしらせ
- iアプリによっては、本設定に関わらず回転操作が有効／無効になるものがあります。
- 移動方向の設定は、音量調整、ズーム、数値の増減などでは無効となり、右回転で増加／拡大、左回転で減少／縮小となります。また、一部のiアプリでは移動方向の設定は無効になります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

iチャネルの受信情報☛P167

① ：電池アイコン☛P37

② ：アンテナアイコン☛P38

圏外：圏外表示☛P38

SELF：セルフモード中☛P117

：データ転送モード中☛P291、P305
ドコモケータイdatalink使用中☛P388

③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）☛P150

：ｉモード中（パケット通信中）☛P150、P178

④ ※1 ：赤外線通信中☛P305
赤外線リモコン使用中☛P308

（赤）：プロテクトキーロック認証モード中☛P124

（黒）：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P123

：積算通話料金が上限を超過☛P355

⑤ ：スピーカーホン機能ON☛P44

※1 ：ハンズフリー対応機器接続中☛P52

3G／
：3Gエリア圏内（パケット通信可／不可）

GSM／GPRS
：GSM／GPRSエリア圏内

⑥ GPSの状態表示☛P236、P242

※1 ：GPSの測位中

GPS（黒）：GPSの位置提供可否設定を「位置提供ON」または「許可期間設定」に設定中

GPS（グレー）：GPSの許可期間設定中（有効期間外）

⑦ ：シークレット属性のデータを選択中

⑧ ※1 未読メール、メッセージR/F状態表示☛P201、P178、P205、P198

：未読エリアメールあり

：未読ｉモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯

：未読ｉモードメール、SMS満杯

：FOMAカードにSMS満杯

：未読ｉモードメールとSMSあり

：未読ｉモードメールあり

：未読SMSあり

R／R（青／赤）：未読メッセージRあり／満杯※2

F／F（緑／赤）：未読メッセージFあり／満杯※2

⑨ ※1 ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中（プッシュトークプラス）☛P68

：プッシュトーク通信中☛P68

：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯☛P179、P199

／／
：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯

：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり

／／
：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり

⑩ ※1 ：SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中☛P151
SSL/TLSページ表示中☛P264

：圏内自動送信失敗メールあり☛P177

：圏内自動送信メールあり☛P177

：Music&Videoチャネル番組取得予約あり☛P317

⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX状態表示☛P211、P99、P221

：ｉアプリ動作中

：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中

：ｉアプリDX動作中

：ｉアプリDX待受画面表示中

：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中

⑫ ※1 ：バックグラウンド録画中☛P260

：予約録画待機中☛P260

：ｉアプリ自動起動失敗☛P220

⑬ OFFICEED：OFFICEEDエリア内☛P384

⑭ ：フォーカスモードアイコン☛P31

⑮ ：通常マナーモード中☛P96

：オリジナルマナーモード中☛P96

⑯ ：電話着信音量消音設定中☛P94

：音声電話着信のバイブレータ設定中☛P95

：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中

⑰ ：公共モード（ドライブモード）中☛P56

⑱ ：伝言メモ設定中☛P59

：伝言メモ満杯☛P59

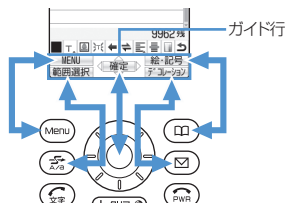
⑲ ：ダイヤル発信制限中☛P118

⑳ ／／
※1
：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了☛P242
：パーソナルデータロック中☛P117
／
：Music&Videoチャネル番組取得成功／失敗☛P317
／
：ビデオ録画成功／失敗☛P260
㉑ ：FOMAカード読み込み中☛P38
※1 ：ICカードロック中☛P232
㉒ ／●
：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キーの表示☛P31
㉓ ：目覚まし設定中☛P341
：スケジュールアラーム設定中☛P344
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
㉔USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示☛P298
：通信モードでmicroSDメモリーカードあり
／
：microSDモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
／
：MTPモードでmicroSDメモリーカードあり／なし
㉕ ：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で外部機器に接続中☛P66、P298
※1
：ワンセグ視聴／録画予約設定中☛P255
㉖ ：ソフトウェア更新書き換え予告アイコン☛P432
※1
：ソフトウェア更新予約中☛P435
：更新お知らせアイコン☛P433
／
：最新パターンデータの自動更新成功／失敗☛P437

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：未読のｉモードメールやSMSありなどのアイコンの上部に重なって表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、Menu、、、、を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面により異なります。

例 メール本文の入力画面のガイド行のとき

表示位置とキーは、図のように対応しています。
- ガイド行のは、スピードセレクターのに対応しています（使用する機能やサイトやインターネットホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

タスクバーの見かた

タスクバーには、現在動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。また、メール／メッセージ受信時には、受信結果テロップが表示されます。

：音声電話
：テレビ電話
：音声電話／テレビ電話切替中
：電話終了中
：外部機器によるテレビ電話
：マルチタスクで音量設定中
：プッシュトーク
：電話帳
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ・音声メモ
：自局番号
：プライバシーモードのシークレット反映
：メール／メッセージR/F
：エリアメール
：ｉモードメール／メッセージR/F受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メール送信履歴
：メール受信履歴
：ｉモード／SMS問合せ中
：ｉモード／ｉチャネル
：ｉモードのBookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト
：ｉアプリ
：トルカ
：フルブラウザ
：マイピクチャ
：ｉモーション
：メロディ
：マイドキュメント（PDF対応ビューア）
：きせかえツール
：マチキャラ
：キャラ電

：その他（ドキュメントビューア）
：静止画撮影
：動画撮影
：サウンドレコーダー
：バーコードリーダー
：ミュージックプレーヤー
：Music&Video チャネル
：Music&Video チャネル番組取得中
：ワンセグ視聴中
：予約録画待機中
：ビデオ録画中
：ワンセグ予約リスト
：ワンセグ録画履歴
：ワンセグイメージ／ビデオ
：ワンセグ予約アラーム
：マルチタスクでFMトランスミッター設定中
：GPS現在地確認
：GPS位置提供
：GPS現在地通知
：GPS位置履歴
：お知らせタイマー
：目覚まし設定中／鳴動中
：スケジュール帳
：スケジュール音鳴動中
：テキストメモ
：電卓
：辞典
：翻訳リーダー
：名刺リーダー
：外部データ連携中
／：microSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
：64Kデータ通信
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
／：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中

一覧画面の見かた

❶ 現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）

❷ ：選ばれている項目の上下に選択項目があることを示しています。
- でカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと次ページ、ページの先頭の項目でを押すと前ページが表示されます。

：選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- でページを切り替えます。
アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

おしらせ

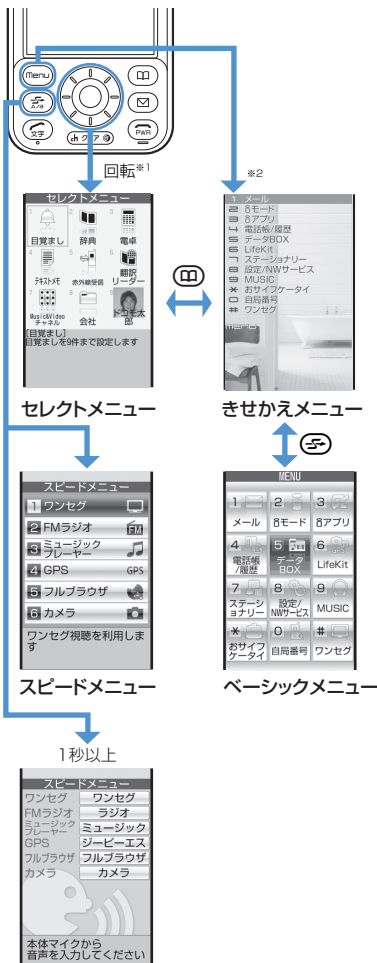
- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
  - FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
  - しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューの選択方法

メニューには次の種類があります。

- **きせかえメニュー**
  きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更できます。文字が大きく見やすい拡大メニュー、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューも利用できます。
  お買い上げ時は、FOMA端末の色に合わせたきせかえメニューが設定されています。
- **ベーシックメニュー**
  メニュー構成とメニュー番号が固定しているメニューです。
- **セレクトメニュー**
  メニュー項目を自由に設定できるメニューです。
- **スピードメニュー**
  を押すと表示でき、特長ある機能がすばやく呼び出せます。☛P350

メニューを表示する

例 表示メニュー設定が「きせかえメニュー」のとき

※1：回転して表示するメニューは、スピードセレクター設定で変更できます。☛P26

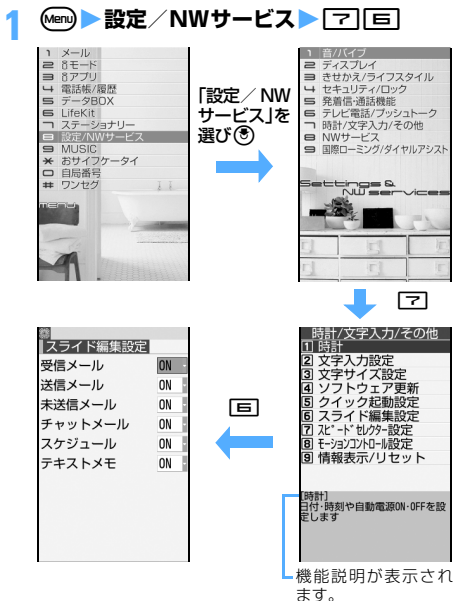
※2：Menuを押したときに表示されるメニューは、表示メニュー設定で変更できます。☛P103

メニューを選択する

メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキーを押すか、スピードセレクターの操作でメニュー項目を選び◉を押すことで選択できます。

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせて第1階層のメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。この場合、本書での説明どおりに操作できないため、ベーシックメニューに切り替えるか、メニューの操作履歴をリセット（☛P103）してください。

例 きせかえメニューで「スライド編集設定」を実行するとき

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶7 6

- 1つ前の画面に戻す：クリア
- 待受画面に戻す：終話
- きせかえメニューの場合は、メニューデザインによって◎の動作が異なります。また、ガイド行の◎は表示されません。

■ **きせかえメニューのシンプルメニューでの選択方法**

メニュー項目を選び◉または◎を押します。

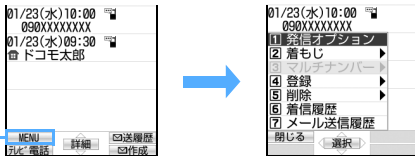
- 1つ前のメニューに戻す：クリアまたは◎

おしらせ

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されます。きせかえメニューのときは、項目を選択するとメッセージが表示されます。
- きせかえメニューを「ドコモダケ_D905i」にしている場合は、メニューで「基本メニュー呼び出し」を選択すると一時的に通常のメニュー構成に戻すことができます。

サブメニューを選択する

ガイド行の左上に「MENU」が表示される場合は、サブメニューを使って、さまざまな操作ができます。

1 サブメニューがある画面でMenu▶サブメニュー項目を選び●または○

サブメニューがあることを示します。

- サブメニューを閉じる：Menuまたはクリア

項目を選択する

プルダウンメニューから項目を選択する

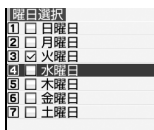
1 項目を選び●

プルダウンメニューが表示されます。

2 ◎で項目を選び●

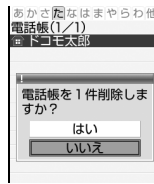
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

チェックボックスで項目を選択する

1 チェックボックスを選び●

チェックボックスが☐から☑に変わり、選択されます。

- 選択されている項目の場合は☑から☐に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、Menuを押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

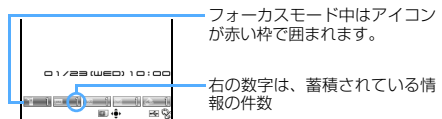
確認画面で「はい／いいえ」を選択する

1 「はい」または「いいえ」を選び●

- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示されます。

情報をすばやく表示する　フォーカスモード

待受画面に表示された[不在着信アイコン]や[伝言メモアイコン]などのフォーカスモードアイコンから、対応する情報をすばやく表示できます。

1 ●▶[不在着信アイコン]や[伝言メモアイコン]などのアイコンを選び●

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

[不在着信アイコン]不在着信あり：

着信履歴一覧が表示されます。

- 2in1がデュアルモードのときは、以下のアイコンも表示されます。
  - [AB不在着信アイコン]：AナンバーとBナンバーの不在着信あり
  - [B不在着信アイコン]：Bナンバーの不在着信のみあり

[伝言メモアイコン]未再生の伝言メモあり：

伝言メモ一覧から伝言メモを再生できます。

[留守番電話アイコン]留守番電話サービスの伝言メッセージあり：

留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面からメッセージを再生できます。

- 2in1がデュアルモードのときは、以下のアイコンも表示されます。
  - [AB留守番電話アイコン]：AナンバーとBナンバーの伝言メッセージあり
  - [B留守番電話アイコン]：Bナンバーの伝言メッセージのみあり

[メールアイコン]未読の受信メールあり：

受信メールのフォルダ一覧から未読メールを表示できます。

[トルカアイコン]未読のトルカあり：

トルカ一覧から未読のトルカを確認できます。

- フォーカスモードの解除：クリアまたは終話

- 以下のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。
  ：更新お知らせアイコン☛P433
  ／ ：最新パターンデータの自動更新成功／失敗☛P437
  ／ ：Music&Videoチャネル番組取得成功／失敗☛P317
  ／ ：ビデオ録画成功／失敗☛P260
  ／ ／ ：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了☛P242
  ：FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で外部機器に接続中☛P299

おしらせ

● アイコンを選び クリア を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消去されます。ただし、件数が変化すると再表示されます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、クリア を1秒以上押したとき確認画面が表示されます。「はい」を選択するとアイコンが一時的に消去されます。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

取り付け／取り外し

FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

- 必ず電源を切り、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

取り付け

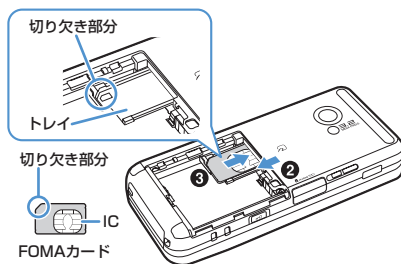
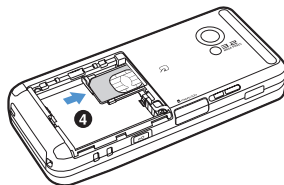
❶ **リアカバーを外し、電池パックを取り外す☛P34**

❷ **トレイを引き出す**

トレイに指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❸ **IC面を上にし、FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてFOMAカードを差し込む**

トレイが止まるところまで引き出した状態

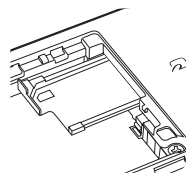
❹ **トレイが止まるところまで押し込む**

❺ **電池パックとリアカバーを取り付ける☛P34**

取り外し

❶ **トレイを引き出す**

- 「取り付け」の❶～❷と同じです。

❷ **FOMAカードを引き抜く**

FOMAカードトレイが外れたとき

FOMAカードトレイを差し込み、まっすぐに押し込んでください。

● FOMAカードを外してから行ってください。

おしらせ

● FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

● 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

● 電池パックを取り付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取り付けることができません。無理に取り付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。

● FOMAカードがFOMAカードのトレイに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。☛P114

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピー／移動はできません。
  また、FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、ｉアプリの削除、フォルダ移動、ソートのみ行えます。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - ・ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - ・画面メモ
  - ・メッセージR/F
  - ・コンテンツ移行対応のデータ
  - ・デコメールや署名に挿入されている画像
  - ・ｉモーション
  - ・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ・キャラ電
  - ・画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - ・着うた®／着うたフル®
  - ・マチキャラ
  - ・メロディ
  - ・Word／Excel／PowerPointのデータ
  - ・PDFデータ
  - ・テレビ電話伝言メモ
  - ・きせかえツール
  - ・動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - ・動画メモ
  - ・電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - ・トルカ（詳細）の画像
  - ・Music&Videoチャネルの番組

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した静止画や動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で(クリア)を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- FOMAカードが取り付けられていない場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

FOMAカードに保存される設定

以下の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- 自局電話番号
- 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
- SMS設定（「送達通知」以外）
- バイリンガル
- FOMAカード（UIM）のPIN1コード、PIN2コード、PIN1コードON／OFF
- 優先ネットワーク設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード	
	青色	緑色／白色
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数☛P78	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作☛P164	利用不可	利用可
WORLD WINGサービスの利用☛P34	利用不可	利用可
サービスダイヤル☛P378	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

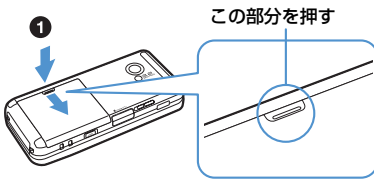
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付け／取り外し

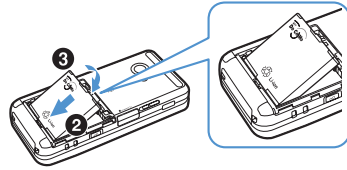
- 必ず電源を切り、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- カメラに触れないように注意してください。
- 指定の電池パックD10をご使用ください。

取り付け

❶ リアカバーを外す

リアカバーの先端を指で押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷ 電池パックのドコモロゴ、リサイクルマークのある面を上にして、FOMA端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む

電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損させる恐れがあります。ご注意ください。

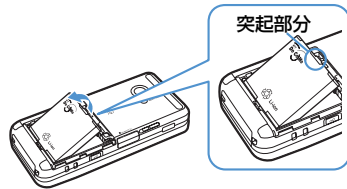
❸ 電池パックをはめ込む

❹ リアカバーをFOMA端末から約1mmずらして置く

❺ FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないようにリアカバーの中央を指で押しながら、矢印の方向にスライドさせる

正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外し

❶ リアカバーを外す

❷ 電池パックの突起部分に指などをかけて取り外す

おしらせ

- FOMA端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- 電池パックを取り外すと、待受画面に設定した日付・時刻情報を必要とするｉアプリは、正しく動作しなくなる場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

FOMA端末を充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

- 電池残量は、電池アイコンで確認します。☛P37

電池パックの寿命について

■ **電池パックは消耗品です**

充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。

■ **1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら**

電池パックの寿命が近づいています。早めの交換をおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

■ **充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと**

電池パックの寿命が短くなることがあります。

■ **この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です**

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ **リサイクルの際、以下のことにご注意ください**

- 端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
- 分解、改造をしないでください。

充電について

FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

■ **充電を開始すると**

決定キーの照明が赤く点灯します。

電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池アイコンが点滅します。

状　態	電池アイコン（▤）	決定キーの照明	意　味
充電中	点滅	点灯（赤）	正常に充電中
充電完了	点灯	消灯	正常に充電完了

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末の色によって異なります。
- 充電を開始しても決定キーの照明が赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。FOMA端末の温度が上昇していると充電できない場合がありますので、使用している機能があれば終了し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ **電源を入れたままで充電が完了すると**

充電確認音が鳴り、電池アイコンが点灯状態になります。

■ **電池残量が十分にある場合は**

ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。

■ **留意事項**

- 充電しながら通話や通信、ｉモードやｉアプリの使用を長時間行うと充電時間が長くなったり、温度上昇により一時的に充電できなくなる場合もあります。
- 本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。
- 本体接続コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。また、本体接続コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因となります。
- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02(別売)、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売)、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

長時間（1日以上）の充電について

■ 電源を入れたまま長時間（1日以上）充電はおやめください

充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
- 電池残量が少ない
- 電池切れのメッセージが表示される
- 短時間しか使えない

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間		ACアダプタ：約140分 DCアダプタ：約140分
連続通話時間※1	FOMA／3G	音声電話時：約200分 テレビ電話時：約110分
	GSM	音声電話時：約200分
連続待受時間※2	FOMA／3G	静止時（自動）※3：約530時間 移動時（自動）※4：約350時間 移動時（3G固定）：約380時間
	GSM	静止時（自動）：約320時間
ワンセグ視聴時間※5		エコノミーモード：約250分 ノーマルモード：約240分

※1：電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※2：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

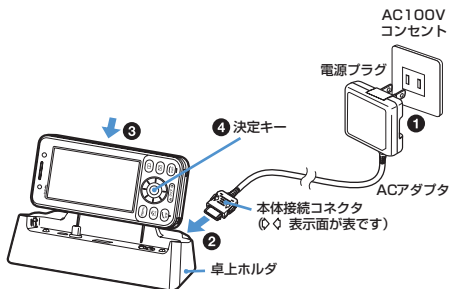
※4：FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※5：ステレオイヤホンをFOMA端末に接続して視聴したときの時間の目安です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、短くなる場合があります。

■ 留意事項

データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／iモーションの再生、音楽再生、Music&Videoチャネルの番組取得や再生、ワンセグの視聴、FMラジオの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

充電する

FOMA ACアダプタ01／02（別売）と卓上ホルダD15（別売）を組み合わせて充電できます。また、ACアダプタだけでも充電できます。
- 電池パック単体では充電できません。
- 詳しくは、ACアダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

❶ ACアダプタの電源プラグをAC 100Vコンセントに差し込む

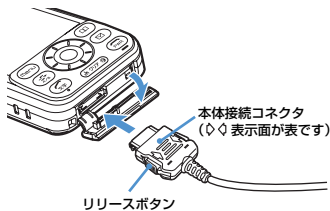
❷ 卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

❸ 卓上ホルダの背面に沿ってFOMA端末を図の向きで矢印❸の方向に差し込む

❹ 充電の開始を確認する

決定キーの照明が赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、卓上ホルダを手で押さえながらFOMA端末を手前に傾け、卓上ホルダから取り出します。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 差し込みが十分でなかったり、FOMA端末が傾いていたりすると、正常に充電できません。「カチッ」と音がするまでFOMA端末を押し込んでください。
- FOMA端末は図の向きで卓上ホルダに差し込んでください。向きを間違えると充電できません。
- 卓上ホルダの突起を押すと充電端子が飛び出します。充電しないときは突起を押さないでください。また、コンセントにつないだ状態で、手や指など、身体の一部を充電端子に触れさせないようにしてください。

ACアダプタだけで充電する場合

FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き、本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

● 充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、端子キャップを閉じます。
● FOMA端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

自動車の中で充電する

専用のFOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。

• 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

● 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、自動車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
● 充電しない場合は、DCアダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
● DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた　電池残量

ディスプレイで電池残量の目安を確認できます。

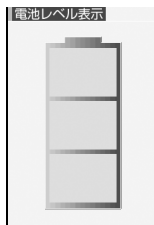
（電池残量3）：十分残っています。
（電池残量2）：少なくなっています。
（電池残量1）：電池残量がほとんどありません。充電してください。

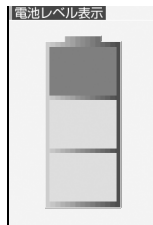
• お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末の色によって異なります。

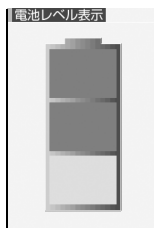
電池残量を音と表示で確認する

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 9 5

電池残量が表示されます。確認音がキー確認音の音で鳴ります。

（電池残量3）

3回鳴ります

（電池残量2）

2回鳴ります

（電池残量1）

1回鳴ります

電池が切れそうになると

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。 、 クリア、 を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。充電を開始すれば電池アラーム音は止まります。すぐに止めたい場合は を押してください。

• 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、メッセージが表示されます。受話口から電池アラーム音が聞こえてから約20秒後に通話が切れ、その約1分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音をOFFにする　電池アラーム音

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 1 1 7 5 ▶ 1～2

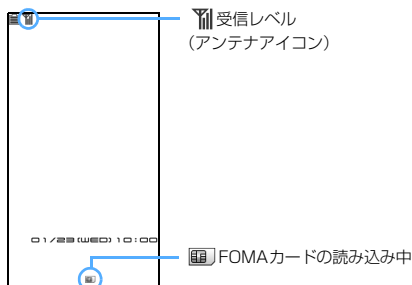
おしらせ

● 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても、受話口から電池アラーム音が鳴ります。

電源を入れる／切る　電源ON／OFF

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。☛P38
- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられているか確認してください。

電源を入れる

1 (2秒以上)

待受画面

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。

受信レベル表示					圏外
状態	強			弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末の色によって異なります。
- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。時刻情報を受信し自動時刻補正されると消えます。
  - ・手動で日付・時刻を設定：

電源を切る

1 (2秒以上)

おしらせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後で4～8桁の端末暗証番号の入力が必要です。正しく入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を5回入力した場合は電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。
- 電源を入れたときに、設定によりPIN1／PIN2コードの入力画面が表示されます。☛P113、P355
- 照明設定の点灯時間設定の通常時が「常時」以外の場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消えます。☛P102

初期設定を行う　初期設定

電源を初めて入れたときに、日付時刻や端末暗証番号、キーの確認音などの設定を行います。

1 **電源を入れる☛P38**

2 **各項目を設定▶**

日付時刻設定：
自動時刻・時差補正のON／OFFや日付時刻を設定。☛P39

暗証番号設定：
端末操作用の端末暗証番号を設定。☛P113

位置提供可否設定：
位置提供の要求に対して、位置提供を許可するかを設定。
- 設定時は設定に関わらず「位置提供ON」が選ばれています。
- 許可期間を設定するには位置提供可否設定を行います。☛P242

文字サイズ設定：
文字入力の画面やメール詳細画面、電話帳一覧、サイト表示画面などの文字サイズを設定。☛P109

キー確認音設定：
キーを押したときに鳴る音を設定。☛P93

スピードセレクター音設定：
回転させたときに鳴る音を設定。☛P93

スライド音設定：
FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定。☛P94

モーションコントロール設定：
モーションコントロールによって動作させる機能を設定。☛P337

- 暗証番号設定または位置提供可否設定をせずになどを押して終了すると、確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次回、電源を入れたときに、設定画面が表示されます。
- 設定を途中で終了しても、後から設定を変更できます。
- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面が表示されます。

待受画面から初期設定を変更する

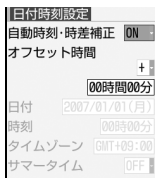
1 **Menu▶設定／NWサービス▶7 9 9**
- 以降の操作は電源を初めて入れたときと同じです。

おしらせ

- オールロック中、ダイヤル発信制限中に電源を入れた場合、自動電源ON設定によって電源が入った場合は初期設定画面は表示されません。
- 設定した内容は各機能に反映されます。

日付・時刻を合わせる　日付時刻設定

時刻設定には、時刻や時差を自動的に補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶7 1 1 ▶各項目を設定▶ ㊀**

- 数字は◎でも増減できます。◎で変更する数字を選んでからも入力できます。

自動時刻・時差補正：
自動で時刻や時差を補正するかを設定。
ON…国内ではドコモのネットワークからの時刻情報をもとに、自動で時刻を補正します。海外では利用中の通信事業者のネットワークから時差補正情報を受信した場合に自動補正します。
OFF…自分で設定する場合に選択します。

オフセット時間：
時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より進める（+）／遅らせる（−）時間を設定。

日付、時刻：
2000年1月1日から2050年12月31日の範囲で設定。

タイムゾーン：
時刻を設定する地域を選択。国内では「GMT+09:00」に設定。

サマータイム：
サマータイムを設定。
ON…1時間進めた時刻を表示します。

自動時刻・時差補正を設定したとき

FOMAカードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- iアプリによっては、iアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻・時差補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- FOMAカードを取り付けていないときや、圏外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。
- 海外で時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴、メールの送受信などの日時は現地時間になります。
- 海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。
- 自動時刻・時差補正とデュアル時計設定を「ON」にすると、海外で利用中の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときにデュアル時計が表示されます。

おしらせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
- 自動電源ON／OFF設定
- 目覚まし
- マチキャラ
- iアプリの自動起動機能
- iアプリDX
- 日付・時刻を利用するFlash画像
- ソフトウェア更新
- パターンデータ更新
- スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
- 再生制限が設定されているiモーションの取得、再生
- ランダムイメージ設定（スライドオープン／スピードセレクター以外）
- ライフスタイル設定
- ワンセグ視聴
- テレビリンク
- ワンセグの予約スケジュール
- ビデオ
- GPS位置提供可否設定の許可期間設定
- 著作権保護により再生制限が設定されている着うたフル®のダウンロード／WMAファイルの再生
- うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の再生／再生期限更新／着信音設定
- Music&Videoチャネルの番組設定や取得、再生制限が設定されている番組の再生

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「---------------」などと表示されます。さらに区別のための枝番が付くこともあります。
- リダイヤル／着信履歴
- 伝言メモ／音声メモ
- カメラで撮影した静止画／動画の日時
- テキストメモ
- 送信メール／未送信メールの日時
- メール送信履歴
- 作成したメールテンプレートの保存日時
- サウンドレコーダーで録音した音声の日時
- 通話時間／通話料金の前回リセット日時
- バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
- ｉアプリ（詳細情報）のダウンロード日時
- トルカの受信日時
- GPSの位置履歴
- ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
- うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の詳細情報の再生期限

● 自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号通知

電話やプッシュトークをかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 圏外では、設定の操作はできません。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶8 4 1 1
- 設定内容の確認：Menu▶設定／NWサービス▶8 4 1 2▶はい

2 1
- 通知しない：2

おしらせ

● 発信者番号を通知／非通知にする方法は複数あります。複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合☛P49
② 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合☛P49
③ 電話帳データに発番号設定をした場合（プッシュトークは1人に発信した場合）☛P86
④ 発信者番号通知設定した場合

● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

● プッシュトーク発信する場合も、本設定に従います。

自分の電話番号を確認する

自局番号

1 Menu▶**自局番号**

■ **通話中のときなど：**[iα] 0
- 自分の名前やメールアドレスなどを登録するには☛P351

おしらせ

● 2in1をご契約の場合に、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行うときは、正しいBナンバーを取得するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにし、FOMAカードを差し替えた後に再度2in1をONにするか（☛P380）、自局番号の表示画面からBナンバーを取得してください。☛P352
また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行うときも、正しい所有者情報に更新するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにしてください。

● 2in1がAモードまたはデュアルモードのときは、自局電話番号欄にAナンバーが表示されます。Bモードのときは、Bナンバーが表示されます。デュアルモードのときは、[✉]を押してAナンバーとBナンバーの表示を切り替えられます。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電（☛P285）なども表示できます。

• テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

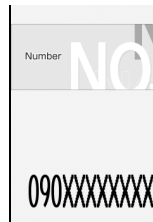
※2：3G-324M…第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

テレビ電話通話中の画面の見かた

1	**親画面**	相手側の画像（お買い上げ時）
2	**テレビ電話アイコン**	：テレビ電話利用中
3	**スピーカーホン機能**	：ON　表示なし：OFF
4	**子画面**	自分側の画像（お買い上げ時）
5	**ズーム**	x1～x2：標準～2倍（インカメラ） x1～x16：標準～16倍（アウトカメラ）
6	**状態**	：自画像送信中 ：カメラオフ画像送信中 ：キャラ電送信中 ：フレーム送信中 ：静止画送信中 ：通話保留中 ：応答保留中 ：伝言メモ録画中 ：動画メモ録画中
7	**アクションモード**	FULL：全体アクション PARTS：パーツアクション
	撮影モード	AUTO：フルオート　など 他の撮影モード☛P62
8	**コンパクトライト**	表示なし：消灯　　：点灯
9	**送信画質**	表示なし：標準　　：動き優先 HQ：画質優先
10	**音声・映像の送受信状態**	：音声・映像送受信中 ：音声送受信中 ：映像送受信中
	スピーカー音量／受話音量	1～6：スピーカー音量／受話音量調整中
11	**接写撮影**	表示なし：OFF ：ON（アウトカメラ）
12	**テレビ電話／音声電話切替機能**	表示なし：切り替え不可 ：切り替え可※1
13	**通話時間**	時：分：秒の形式で表示

※1：発信時のみ表示されます。

電話／テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

• 一般電話にかける場合は、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
• 電話番号は80桁まで入力できます。

• 電話番号の訂正：クリア
• 待受画面に戻す：クリア（1秒以上）

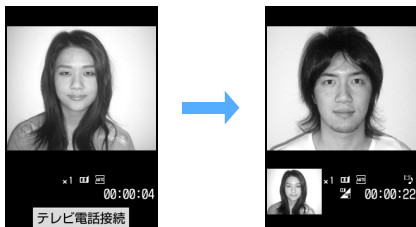
2 （音声電話）または（テレビ電話）

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

音声電話のとき

通話中画面

• 音声電話通話中は次の操作ができます。
・着信履歴を表示：
・リダイヤルを表示：
・電話帳を利用：

テレビ電話のとき

接続中画面　　通話中画面

- 相手が話し中のときは「ツーツー」という話中音が聞こえます。⊖を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- テレビ電話接続中は自分の画像が表示されます。
- テレビ電話の場合、「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。
- テレビ電話通話中は相手の声がスピーカーから聞こえます。
- テレビ電話の場合、相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。

3 通話が終わったら⊖

おしらせ

[共通]

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。☛P40
- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。☛P379
- 2in1がデュアルモードのときは、発信番号の選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

[音声電話]

- 音声電話の場合、操作2、操作1の順でも電話をかけられます。⊘を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。

[テレビ電話]

- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
お話中です	相手が話し中です。※1
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
上限額を超過しているため接続出来ません	ご利用金額がリミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限を超えた場合に表示されます。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。
電波の届かない所にいるか､電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（ビジュアルネットなどへの発信時）。
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
ｉモードから接続してください	Vライブを利用するときに表示されます。ｉモードでIPのサイトに接続し、サイトの画面からテレビ電話をかけてください。

※1：相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、音声自動再発信が「ON」のときは、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
- 代替画像やキャラ電を利用しても、テレビ電話の通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。

通話中に保留にする　通話中保留

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に⦿

音声電話保留中

テレビ電話保留中

通話が保留になり、ガイダンス（通話保留音）が流れます。テレビ電話のときは、自分と相手に通話中保留画像が表示されます。

- 音声電話の保留解除：⦿または⌒
- テレビ電話の保留解除
  ⦿：保留前に送信していた画像を送信
  ⊜または⌒：自画像を送信
  ⊠：代替画像を送信

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

例　音声電話のとき

1 電話番号を入力▶⌒（1秒以上）

ディスプレイ上部に 🔈 が表示されます。

- 電話帳／リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモの一覧から操作する場合も同様です。

■ **テレビ電話でかける：電話番号を入力▶⊜**
- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定が「OFF」のときやマナーモード中は、⊜を1秒以上押します。

■ **プッシュトークでかける：電話番号を入力▶P**
- プッシュトークスピーカーホン設定が「OFF」のときやマナーモード中は、Pを1秒以上押します。

■ **通話中／プッシュトーク通信中のON／OFFの切り替え：⊠または⌒**
- 発信中、呼出中は⌒を押すたびにON／OFFが切り替わります。

■ **スピーカーの音量調整：通話中に◎▶◎で音量調整**
- テレビ電話通話中の音量調節：◎
- 設定は通話終了後も保持され、テレビ電話伝言メモの再生音の音量にも反映されます。

おしらせ

- スピーカーホン機能をONに切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにして通話してください。
- FOMA端末に向かって約30cm以内の距離でお話しください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。

プッシュ信号を送出する　DTMF送信

- テレビ電話の場合、▣（自画像送信中）／▣（カメラオフ画像送信中）／▣（キャラ電送信中）のときにプッシュ信号を入力できます。

例　テレビ電話のとき

1 テレビ電話通話中にMenu ▤▶ダイヤルキーで入力

入力した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

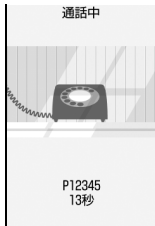
- プッシュ信号送出の解除：クリア
- 自画像やカメラオフ画像送信中は、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号を送出できます。
- プッシュ信号を送出しようとすると、設定されたフレームや静止画は解除されます。
- プッシュ信号はダイヤルキーで送出するため、キャラ電送信中の場合はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

■ **音声電話通話中のプッシュ信号送出：音声電話通話中にダイヤルキーで入力**

ポーズ「P」、タイマー「T」を入力する

ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

例 「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ「P」を入力）で発信したとき

電話がつながった後に㊝を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

■ **ポーズ「P」の入力：電話番号の後に[✳]（1秒以上）**
自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ポーズが入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号を送出します。

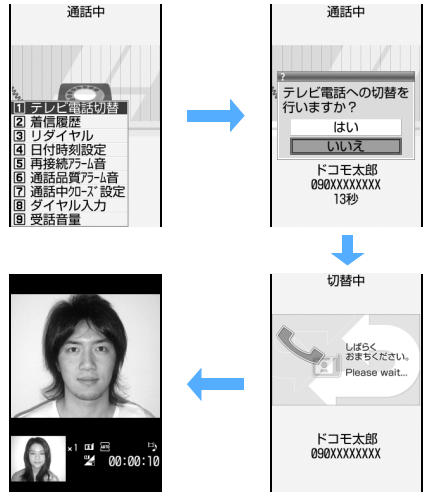
■ **タイマー「T」の入力：電話番号の後に[#]（1秒以上）**
外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマーを入力すると、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。
- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー 1つにつき、約1秒の間隔をとります。

おしらせ
- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ、タイマーを入力して電話をかけることはできません。

音声電話／テレビ電話を切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、通話中にサブメニューからの操作で音声電話とテレビ電話を切り替えられます。切り替えは、電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
- 音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
- 切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始にしている必要があります。☛P65

例 音声電話からテレビ電話に切り替えるとき

1 音声電話通話中に(Menu)[1]▶はい
いいえ…音声電話通話中の画面に戻ります。

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定が「ON」の場合、テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能がONになります。

■ **テレビ電話から音声電話への切り替え：テレビ電話通話中に(Menu)[1]▶はい**

おしらせ
- 自分側がパケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中は、テレビ電話に切り替えられません。
- キャッチホンでの音声電話通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 切り替えには、約5秒かかります。電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状況によっては音声電話とテレビ電話の切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- スピーカーホン機能は、テレビ電話から音声電話へ切り替えると解除されます。
- テレビ電話通話中に行った設定（カメラの切り替えやフレーム選択など）は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。

リダイヤル／着信履歴を利用する

リダイヤル／着信履歴

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信履歴（リダイヤル）や、着信履歴を記録します。

- 着信履歴、リダイヤルそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、着信履歴とリダイヤルはAナンバー／Bナンバーでそれぞれ最大30件、合計で60件まで記録されます。

例 リダイヤルから電話をかけるとき

1 [⊙]▶リダイヤル一覧で相手を選ぶ

- 着信履歴から電話をかける：[⊙]▶着信履歴一覧で相手を選ぶ
- 詳細画面の表示：履歴を選び[●]

2 [発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）

- プッシュトークの発信：[P]
- 選んでいる履歴と同じ発着信の種別で電話をかける：詳細画面で[●]
- 着もじ付きの着信履歴から電話をかけても、着もじは付きません。
- プッシュトーク履歴（複数の相手）に発信した場合、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）は非表示になっている相手を除いたメンバーに発信されます。
- 2in1がONのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。2in1がOFFのときは、発着信のナンバーに関わらずAナンバーで発信されます。

■ **プッシュトーク履歴からメンバーを選んで発信：プッシュトーク履歴を選び[●]▶[m]▶メンバーを選び[●]▶[テレビ電話]または[P]**

一覧画面の操作

以下の電話帳登録などは、詳細画面からも同様に行えます。

■ **電話帳の登録：**

①**履歴を選び[Menu][4][1]**

- 登録済みの電話帳データに追加：[Menu][4][2]
- プッシュトーク履歴（複数の相手）の場合は相手を選択します。

②**[1]～[2]▶名前やメールアドレスなどを登録**

- 登録済みの電話帳データに追加：[1]～[2]▶相手を選び[●]▶登録内容を修正
- プッシュトーク履歴の場合は、電話帳の種類を選択しません。FOMA端末電話帳の登録画面が表示されます。

■ **プッシュトーク電話帳の登録：履歴を選び[Menu][4][3]▶はい**

- 相手がFOMA端末電話帳に登録されていないと、登録できません。
- プッシュトーク履歴（複数の相手）を選んだとき[Menu][4][3]▶相手を選び[●]▶[m]▶はい

■ **プッシュトーク電話帳のグループに登録：プッシュトーク履歴（複数の相手）を選び[Menu][4][4]▶グループ名を入力▶[m]**

- メンバーがプッシュトーク電話帳に登録されていないと登録できません。

■ **リダイヤル／着信履歴の削除：**

- 詳細画面では複数削除はできません。

①**履歴を選び[Menu][5][1]**

- 複数削除：[Menu][5][2]▶履歴を選び[●]▶[m]
- 全件削除：[Menu][5][3]▶端末暗証番号を入力

②**はい**

■ **iモードメールの作成：履歴を選び[✉]**

- メールアドレスが複数登録されている場合は、メールアドレスを選択します。
- 履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されているときに有効です。

■ **SMSの作成：履歴を選び[✉]（1秒以上）**

■ **詳細画面の画像表示を設定：履歴の詳細画面で[Menu][8]▶[1]～[3]**

- 詳しくは☛P83

■ **その他に一覧から行える操作：**

- リダイヤル／着信履歴一覧の切り替え：[Menu][6]
- メール送信履歴への切り替え：リダイヤル一覧で[m]
- メール受信履歴への切り替え：着信履歴一覧で[m]
- プッシュトーク履歴の詳細画面の表示：プッシュトーク履歴を選び[●]▶[●]▶メンバーを選び[●]

おしらせ

- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、発着信時の種別（音声電話／テレビ電話）が履歴に記録されます。
- 同じ電話番号に音声電話またはテレビ電話をかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみがリダイヤルに記録されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。
- マルチナンバーの選択発信☛P379
- 2in1がデュアルモードのとき、ナンバーを選択して発信する☛P49

かかってきた電話やプッシュトークに出られなかったとき（不在着信）

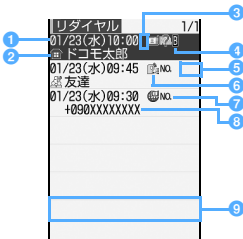
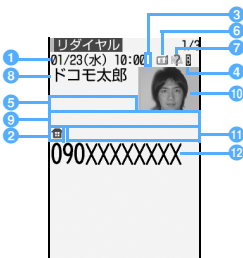
が表示され、着信履歴に記録されます。

- 2in1がデュアルモードのときは、以下のアイコンも表示されます。
  - ：AナンバーとBナンバーの不在着信あり
  - ：Bナンバーの不在着信のみあり
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かを確認できます。

おしらせ

- 不在着信の件数を確認：着信履歴一覧でMenu 9
- 呼出動作開始時間設定での呼出開始時間内の不在着信の表示方法
  - すべての履歴を表示：着信履歴一覧でMenu 8 1
  - 呼出開始時間内の履歴を除いて表示：着信履歴一覧でMenu 8 2

一覧画面の見かた

例 リダイヤルのとき

一覧画面

詳細画面

❶	日時	発着信日時（海外滞在時は滞在地の日時）
❷	アイコン	電話帳に登録したアイコン※1 ・プッシュトークグループの発信の場合はが表示されます（一覧画面のみ）。
❸	国際電話	：海外滞在時の発着信※2
❹	2in1の発着信※3	表示なし：Aナンバー B：Bナンバー
❺	呼出時間※4	不在着信の場合のみ表示
❻	通信の種別	／（国内／国際）：音声電話 ／（国内／国際）：テレビ電話 ／（国内／国際）：64Kデータ通信（着信履歴のみ） ／（一人／複数の相手）：プッシュトーク ／（一人／複数の相手）：プッシュトークプラスでの通信☛P68
❼	発信番号の通知／非通知※5	NO.：通知　　：非通知
	応答の状況（着もじ付き／着もじなし）	／表示なし：応答済み ／：不在着信（確認済み） ／：不在着信（未確認） ／：伝言メモ ／：伝言メモ（確認済み）
❽	相手の情報	電話番号（一覧画面のみ）、名前※1または以下のいずれか ・リダイヤルの場合、プッシュトークのグループ名（一覧画面のみ）※6 ・着信履歴の場合、発信者番号非通知理由
❾	着もじ	着もじの内容
	相手の情報	プッシュトークのグループ名（詳細画面のみ）
❿	画像	電話帳に登録されている画像※1
⓫	マルチナンバーの名称	マルチナンバーを契約している場合※7（発着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）
⓬	電話番号	着信履歴の場合、相手の電話番号が通知されなかったときは表示なし

※１：電話番号が電話帳に登録されている場合、下記の設定に従って表示
- パーソナルデータロック
- 画像／名前表示切替の設定

※２：タイムゾーンが「GMT+09:00」のときは表示されない場合があります。
※３：2in1 がデュアルモードのときに表示
※４：100 秒以上の場合、一覧画面では「99”」と表示
※５：発信オプション、電話帳の発番号設定で通知／非通知を設定したときに表示
※６：グループ発信以外で複数の相手とプッシュトーク通信したときは、先頭のメンバーの名前
※７：リダイヤルの場合は、発信オプションで指定したときに表示

着もじを設定する　着もじ

音声電話やテレビ電話をかける際に、相手の着信画面にメッセージ（着もじ）を表示することで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。

着もじが相手側の着信画面に表示されます。通話を開始すると着もじは消えます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。
- オールロック中、パーソナルデータロック中に電話がかかってきた場合、着もじは受信できますが、着信画面には表示されません。ロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

着もじの編集や設定をする

着もじを作成する

- 最大10件登録できます。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 8 3 1

2 **<新しいメッセージ>**

■ **登録済みの着もじを編集：着もじを選び** ◉

■ **送信メッセージの履歴を引用：** Menu 1 ▶ **着もじを選び** ◉

■ **削除：**
①**着もじを選び** Menu 2
- 全件削除：Menu 3

②**はい**

3 **着もじを入力（全角・半角を問わず10文字まで）**
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（デコメ絵文字は除く）を入力できます。

4 📖
- 登録済みの着もじを編集したときは、確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。

着もじを受信するときの条件を設定する　メッセージ表示設定

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 8 3 2 ▶ 1 〜 4

すべて表示…すべての相手からの着もじを表示します。
表示しない…着もじを表示しません。
電話帳登録番号のみ…電話帳に登録されている相手からの着もじのみ表示します。
番号通知ありのみ…発信者番号を通知してきた相手からの着もじのみ表示します。

着もじを付けて電話をかける

- 着もじは最大 10 件記録されます（送信メッセージ履歴）。10件を超えると古いものから順に消去されます。
- 2in1 をご契約の場合、送信メッセージ履歴はAナンバー／Bナンバーでそれぞれ最大10件、合計で20件まで記録されます。

1 **電話番号を入力** ▶ Menu 3

2 **着もじを選択**

■ **メッセージを作成：** 1 ▶ **着もじを作成**
- 作成方法は「着もじを作成する」の操作 3 以降と同じです。☞P48

■ **登録済みの着もじから選択：** 2 ▶ **着もじを選び** ◉

■ **送信メッセージ履歴から選択：** 3 ▶ **着もじを選び** ◉
- 2in1がデュアルモードのときは、Bナンバーの送信メッセージ履歴には B が表示されます。

3 Menu
- 着もじが相手側の端末に届いた場合は「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や、メッセージ表示設定により着もじが届かなかった場合などは「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

おしらせ

- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 相手側が以下のような場合、相手側の端末に着もじは届かず、着信履歴にも記録されません。また、発信側に送信結果は表示されません。この場合は、送信料金はかかりません。
  - 圏外のときや電源が入っていない場合
  - 伝言メモの応答時間が「0秒」の場合
  - 公共モード（ドライブモード）中　など
- 相手側の端末に着もじが届いていても、電波状態によって、発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合は送信料金がかかります。
- 相手が呼出動作開始時間設定での呼出開始時間内に着もじ付きの着信を受けた場合、着もじは表示され、着信履歴に記録されます。この場合は発信側に送信料金がかかります。
- 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。
- 発信オプションからも着もじを付けて電話をかけられます。☛P49

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする　186／184

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。

1 **[1][8][6]（通知する）または[1][8][4]（通知しない）▶電話番号を入力▶[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）**

おしらせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- プッシュトーク発信する場合、電話番号の前に「186」や「184」を付けて発信をしても無効になります。
- 相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」も付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。
- 番号通知方法の優先順位について☛P40

条件を設定して電話をかける　発信オプション

1回の通話ごとに、発信時の条件を設定します。

- プッシュトークグループの場合は、発信者番号の通知／非通知のみ設定できます。

1 **電話番号を入力▶[Menu][2]**

2 **各項目を設定**

着もじ☛P48

マルチナンバー／自局番号：

利用する番号を選択。

- マルチナンバーの発信方法について☛P379
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときに「自局番号」が表示されます。デュアルモードのときは「Aナンバー」「Bナンバー」から選択します。

発信方法：

発信する方法を選択。

番号通知：

発信者番号の通知／非通知を設定。

- 番号通知方法の優先順位について☛P40

プレフィックス：

電話番号の前に付加する番号（プレフィックス☛P51）を選択。

国際電話発信：

国際ダイヤルアシスト設定での国際アクセス番号または国番号に置き換えるかを設定。☛P50

国際プレフィックス：

国際ダイヤルアシスト設定での国際アクセス番号を選択。

国番号：

国際ダイヤルアシスト設定での国番号を選択。

3 **[Menu]**

設定した内容で電話がかかります。

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、[テレビ電話]を押すと通話中に表示するキャラ電を選択してから発信できます。
- 国際電話発信を「ON」に設定したときは、[Menu]を押した後、「はい」を選択します。[Menu]を押した後、「元の番号で発信」を選択すると、着もじと発信方法以外の設定を解除して発信します。

おしらせ

- リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモ一覧、自局番号の詳細画面、プッシュトーク電話帳のメンバー／グループ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧からの操作：Menu▶発信オプション
- FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳の電話帳一覧や詳細画面からの操作：電話番号を選びMenu▶発信オプション／メール▶発信オプション
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 受信メール／送信メール詳細画面からPhone To（AV Phone To）機能を利用した場合などで、発信方法を「SMS」にしてMenuを押したときは確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、SMS作成画面が表示されます。

国際電話を利用する　WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

 0 0 9 1 3 0▶0 1 0▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶発信
 - 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
 - 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
 ・FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
 携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
 ・ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

国際電話の設定をする　国際ダイヤルアシスト設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に入力した「+」を、本設定での国際アクセス番号に置き換えて発信するかや、海外からかけるときに国番号を付加するかを設定します。また、よくかける相手先の国番号と国際アクセス番号を登録しておくと、ダイヤル操作が簡単にできます。

自動変換機能を設定する

1 **Menu▶設定／NWサービス▶9 2 1▶各項目を設定▶(m)**

国番号変換：
海外での利用時に、自動的に国番号を付加するかを設定。
- 「ON」にしたときは国番号を選択します。

国際プレフィックス変換：
国内での利用時に、「+」を自動的に国際アクセス番号に置き換えるかを設定。
- 「ON」にしたときは国際アクセス番号を選択します。

国番号を編集する

- 国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶9 2 2**

2 **項目を選び●**

■ **登録済みの国番号を編集：項目を選び●**

■ **自動変換する国番号を設定：項目を選び(m)**
設定した国番号に ✓ が表示されます。

■ **削除：項目を選びMenu 3▶はい**

3 **国名称欄▶入力(全角8／半角16文字まで)**

4 **国番号欄▶入力（5桁まで）▶(m)**

国際プレフィックスの国際アクセス番号を登録する

- 国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アスセス番号を最大3件登録できます。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 9 2 3

2 **<未登録>**

■ **登録済みの国際アクセス番号を編集：項目を選び**◉

■ **自動変換する国際アクセス番号を設定：項目を選び**(m)

設定した国際アクセス番号に ✓ が表示されます。

■ **削除：項目を選び** Menu 3 ▶ **はい**

3 **名称欄** ▶ **入力（全角8／半角16文字まで）**

4 **国際アクセス番号欄** ▶ **入力（10桁まで）** ▶ (m)

「+」を利用して国際電話をかける

- 国際プレフィックス変換が「ON」のときに有効です。

1 0 **（1秒以上）** ▶ **国番号** ▶ **地域番号（市外局番）** ▶ **電話番号を入力** ▶ ✆

- 「+」の入力：0（1秒以上）
- 国番号に日本の国番号「81」を入力した場合は、国際アクセス番号に置き換わりません。

2 **はい**

- 「+」を変換せずに発信：元の番号で発信

発信オプションを利用して国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国際アクセス番号や国番号を選択します。

1 **地域番号（市外局番）** ▶ **電話番号を入力** ▶ Menu 2

2 **国際電話発信欄** ▶ 2

3 **国際プレフィックス欄** ▶ **国際アクセス番号を選び**◉

4 **国番号欄** ▶ **国番号を選び**◉

5 Menu ▶ **はい**

- 発信や項目について詳しくは☛P49

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

プレフィックス設定

国際アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後に、簡単にプレフィックスを付加して電話をかけられます。**☛P49**

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 5 6 2

2 **プレフィックス1〜3欄** ▶ **入力（10桁まで）** ▶ (m)

- 最大3件登録できます。
- 番号（プレフィックス）にはポーズ、タイマーを含めないでください。発信できなくなります。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

- 映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

サブアドレスの設定を有効にする

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 5 6 3 ▶ 1〜2

サブアドレスを指定して電話をかける

- 相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

1 **電話番号を入力** ▶ ✱ ▶ **サブアドレスを入力**

- Vライブに接続するときなどに、電話番号の先頭に「＊」を入力しても発信できます。

2 ✆ **（音声電話）または** ⓢ **（テレビ電話）**

おしらせ

● 本機能を「ON」にしていても、ポーズやタイマー、「#」を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

途切れた通話の再接続時のアラームを設定する　再接続アラーム音

電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話、プッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ設定

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に、また相手の声も明瞭に聞きとれるようになります。

- 通常は、「ON」にした状態でのご使用をおすすめします。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶5 7 1▶1～2

車の中で手を使わずに話す　車載ハンズフリー

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と、USB接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらずハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器を使ってテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は継続されます。

電話／テレビ電話を受ける

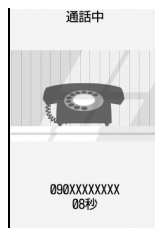
1 **電話がかかってくる**

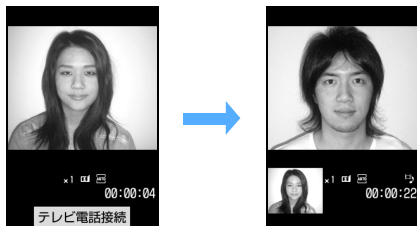
着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

2 （通話キー）

通話時間が表示されます。

音声電話のとき

通話中

- 音声着信の場合、（通話キー）以外に（決定キー）、0～9、*、#を押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。☛P54

テレビ電話のとき

接続中　通話中

- テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。
- テレビ電話の場合、(ス)を押しても受けられます。
- テレビ電話通話中は、相手の声がスピーカーから聞こえます。
- テレビ電話の場合、相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。

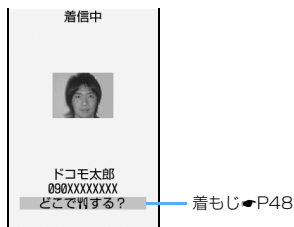
■ **代替画像でテレビ電話を受ける：(✉)**
　テレビ電話がつながったときから、相手には代替画像が送信されます。

3 通話が終わったら(終話)

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されたとき

着もじ☛P48

- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。また、電話着信設定またはテレビ電話着信設定などで設定した画像が表示されます。
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、着信／受信時動作設定に従って名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは電話帳に設定した画像や動画／ｉモーションも表示されます。
- 着信画像の優先順位について☛P101

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

着信中にサブメニューから実行できる操作

サブメニュー	説　明
1 **着信拒否**	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
2 **留守番電話**※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 **転送でんわ**※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※ 1：留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※ 2：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- 通話中の着信動作選択を「通常着信」にしていると、音声電話通話中に別の音声電話がかかってきたときもサブメニューから同様に操作できます。

音声電話通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話通話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※1	留守番電話サービスセンターに接続します。
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にし、かかってきた音声電話に応答します。☛P375
転送でんわサービス※1	転送先へ転送します。

※ 1：通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合にサブメニューから操作できます。

- キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音が鳴っても電話は受けられません。

おしらせ

- FOMA端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が電話帳に登録されていないときは電話番号が、登録されているときは名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり（☛P127）、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定（☛P126）できます。
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定できます。☛P125
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始していても、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機ではない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- 切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P65

例 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受けるとき

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 はい

テレビ電話に切り替わり、相手側に自画像が送信されます。

- 代替画像（カメラオフ画像）を送信：いいえ
- 「はい」を選択したときに初めて自画像が送信されます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける：音声電話へ自動的に切り替わる

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

ダイヤルキーで電話に出られるようにする エニーキーアンサー設定

電話がかかってきたとき、Ⓢ、1～9、0、*、#を押しても電話に出られるようにします。

- 本機能は音声電話とプッシュトークに有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

1 Menu▶設定／NWサービス▶5 3▶1～2

FOMA端末を開いて通話を開始する 着信中オープン応答

- 本機能は音声電話にのみ有効です（プロテクトキーロック中も有効です）。

1 Menu▶設定／NWサービス▶5 6 4▶1～2

FOMA端末を閉じて通話を切断／継続／保留する 通話中クローズ設定

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。
- プッシュトークの場合は、FOMA端末を閉じることで切ることができます（プッシュトーク中クローズ設定）。

1 Menu▶設定／NWサービス▶5 7 2▶1～3

切断…通話を終了します。
通話継続…通話を継続します。
通話保留…通話を保留します。

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー対応機器などを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、本機能の設定に関わらず通話は継続されます。FOMA端末を閉じた状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を外しても、通話は継続されます。
- 伝言メモ録音／録画中にFOMA端末を閉じても、本設定に関わらず録音／録画は継続されます。
- 通話中音声メモ録音中／動画メモ録画中にFOMA端末を閉じた場合は、本設定に従って動作します。「切断」または「通話保留」の場合、切断または保留するまでに録音／録画していた内容が保存されます。

通話中に相手の声の音量を調整する　受話音量

- Level1（最小）～Level6（最大）の6段階で調整できます。
- 通話中に変更した受話音量は、通話終了後も保持されます。また、電源を切っても保持されます。

1 通話中に◎▶◎で音量調整

◎を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

- 音量を大きくする：◎または◎
- 音量を小さくする：◎または◎
- テレビ電話通話中の音量調節：◎

おしらせ

- 待受中に受話音量を調整する方法、受話音量に連動する音量について☞P94

着信中に着信音量を調整する　着信音量

- 「Silent」（消音）、Level1～Level6の7段階で調整できます（着モーションも7段階になります）。
- 着信中に変更した着信音量は、通話やプッシュトーク通信を終了すると元に戻ります。

1 着信中に◎▶◎で音量調整

◎を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

- 音量を大きくする：◎または◎
- 音量を小さくする：◎または◎

おしらせ

- 着信音とバイブレータの動作を止める：着信中にTV/◎
- 着信中はSteptone（約3秒ごとに、消音→Level1→…→Level6で着信音が鳴る）には設定できません。
- 待受中に着信音量を調整する方法、着信音量に連動する音量について☞P94

通話中やパケット通信中の着信時に優先表示する画面を設定する　マルチアクセス中表示

音声電話通話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったとき、またはｉモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 音声電話通話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、本設定に関わらず、音声電話通話中の画面が優先して表示されます。
- 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。
- データ放送サイト表示中に音声電話を着信したときは、本設定に関わらず、音声電話着信画面が優先して表示されます。

1 Menu▶設定／NWサービス▶5 6 1▶1～3

設定なし…表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。

音声通話表示優先…音声電話通話中の画面を優先して表示します。

パケット通信表示優先…音声電話通話中はパケット通信中の画面を、ｉモード中はｉモード中の画面を表示します。

すぐに電話に出られないときに保留にする　応答保留

- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に◎

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

応答保留になります。相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手に応答保留画像が表示されます。

- 応答保留中に◎を押すか、相手が電話を切ると、電話が切れます。

2 電話に出られる状態になったら[発信キー]

- テレビ電話の場合は[カメラキー]または[発信キー]を押します。[メールキー]を押すと、相手には代替画像（☞P64）が送信されます。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中に[Menu]を押し「留守番電話」／「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。

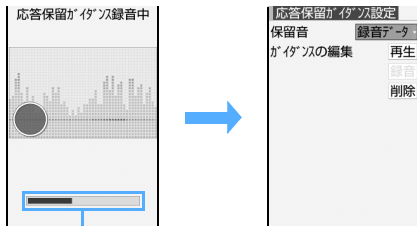
応答保留ガイダンスを設定する
応答保留ガイダンス設定

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。
- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

例　録音データをガイダンスに設定するとき

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[1][1][7][1]▶保留音欄

2 [2]
- お買い上げ時のガイダンスに戻す：[1]▶操作4

3 録音▶発信音（ピーッ）の後に応答保留ガイダンスを録音する

録音可能時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音の中止：[マルチキー]
- 録音したガイダンスを確認：再生
- 録音し直す：削除▶はい▶録音する

4 [ⓜ]

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
● 保留音を「内蔵音」にすると、相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

通話保留音を設定する
通話保留音

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[1][1][7][2]▶[1]～[3]
- メロディの再生：メロディを選び[ⓜ]

公共モード（ドライブモード）を利用する
公共モード（ドライブモード）

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（画面に「圏外」が表示されているときでも可能です）。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

公共モード（ドライブモード）を設定する

1 [✱]（1秒以上）

公共モードが設定され、待受画面に[車アイコン]が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ **解除：[✱]（1秒以上）**

■ 公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。待受画面には［アイコン］が表示され、着信履歴に記録されます。

電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- プッシュトーク着信の場合は着信音も鳴らず、着信画面も表示されません。待受画面には［アイコン］が表示され、応答できません。発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して運転中であることを通知します。

■ 公共モード（ドライブモード）中の着信と各サービスとの関係

- 留守番電話サービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。

- 転送でんわサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」にしたときは、公共モードのガイダンスが流れます。 「ガイダンスを流さない」にしたときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。

- キャッチホン

音声電話着信時	テレビ電話着信時
公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

- 迷惑電話ストップサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

- 番号通知お願いサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

※1：呼出時間が「0秒」の場合、公共モードのガイダンスは流れません。

おしらせ

● 公共モード中は、次の音が鳴りません。また、バイブレータも動作せず、着信などを知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- 着信音
- 目覚まし音
- スケジュール音
- ワンセグ予約アラーム音
- お知らせタイマーのアラーム音
- ｉアプリのサウンド
- 充電確認音
- 電池アラーム音
- GPSの鳴動音
- 通話料金上限通知アラーム（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）

● 公共モード中は、ｉチャネルのテロップや着もじは表示されません。

● メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。

● 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。ただし、テレビ電話で発信した場合は、解除されません。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源 OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定した後、電源を切った際の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源OFF）を設定する

1 ＊25251▶発信

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面上の変化はありません。
続けて電源を切ると、公共モード（電源OFF）が動作します。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 解除：＊25250▶発信

■ 設定を確認：＊25259▶発信

■ 公共モード（電源OFF）を設定すると

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- プッシュトーク着信の場合は応答を行わず、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

■ 公共モード（電源OFF）中の着信と各サービスとの関係

- 留守番電話サービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。

- 転送でんわサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」にしたときは、公共モードのガイダンスが流れます。 「ガイダンスを流さない」にしたときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。

- 迷惑電話ストップサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

- 番号通知お願いサービス

音声電話着信時	テレビ電話着信時
• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※ 1：呼出時間が「0 秒」の場合、公共モード（電源 OFF）のガイダンスは流れません。

電話に出られないときに用件を録音／録画する　伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 2in1をご契約の場合、AナンバーとBナンバーで着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。
- 音声電話の場合は相手の声だけ録音されます。テレビ電話の場合は相手の画像も録画されます。
- プッシュトークの場合、伝言メモは動作しません。

伝言メモを設定する

1 [TV] [1] [1]

待受画面に[アイコン]が表示されます。

■ **解除：**[TV] [1] [2]

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始していなくても、着信中に[TV]を1秒以上押すと、伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ設定を「ON」にする操作ではありません。

おしらせ

- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面に[アイコン]が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモを設定できません。また、クイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。

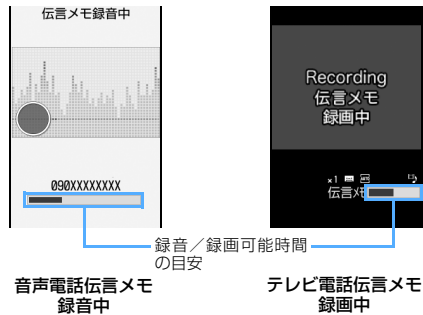
伝言メモの設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答ガイダンスの画面が表示されます。

- 伝言メモ応答ガイダンスが「内蔵」のときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。」というガイダンスが流れます。録音したガイダンスを流すときは、伝言メモ応答ガイダンス設定を「録音データ」に設定します。

2 相手のメッセージを録音または録画

録音／録画可能時間の目安

音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録画中

- 録音／録画の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と鳴ります。また、録音／録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

待受画面に[アイコン]が表示されます。

おしらせ

- 電源が入ってないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。
- 伝言メモが既に4件録音／録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが開始の場合は、各サービスが作動します。
- 公共モード（ドライブモード）中は公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたり、画像が乱れる場合があります。
- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して応答ガイダンス、録音／録画を継続します。留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。
- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも電話に出られます。
  - 音声電話の場合：[通話]
  - テレビ電話の場合
    [通話]または[切替]：自画像を送信
    [メール]：代替画像を送信

  電話に出た場合、それまで録音／録画された内容は保存されません。

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する　伝言メモ応答時間設定

• お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 TV/📷 1 3 ▶ **応答時間を入力（0～120秒）**

• 時間の増減：⊙

おしらせ

● オート着信設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応答してください。

● オート着信設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

応答ガイダンスを設定する　伝言メモ応答ガイダンス設定

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

• ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

例　録音データをガイダンスに設定するとき

1 TV/📷 1 4 ▶ **伝言メモ応答ガイダンス欄**

2 2

• お買い上げ時のガイダンスに戻す：1 ▶ 操作4

3 **録音 ▶ 発信音（ピーッ）の後に応答ガイダンスを録音する**

• 操作方法は応答保留ガイダンスを録音する場合と同じです。☞P56

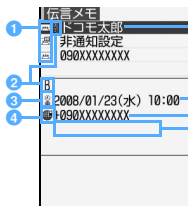
4 📖

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。

1 TV/📷 2

❶ **状態アイコン**

　📼／✉：音声電話伝言メモ（未再生／再生済み）

　📺／✉：テレビ電話伝言メモ（未再生／再生済み）

❷ **Bナンバーへの着信（2in1がデュアルモードのとき）**

❸ **海外滞在時の着信**※1

❹ **国際電話の着信**

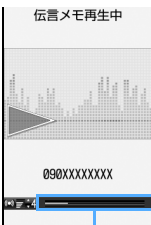
❺ **電話番号／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由**

❻ **選ばれている相手の録音／録画日時（海外滞在時は滞在時の日時）**

❼ **電話番号／発信者番号非通知理由**

❽ **マルチナンバーの名称（マルチナンバーを契約している場合）**

※1：タイムゾーンが「GMT+9：00」の場合や、録音日時が記録されなかった場合は、表示されない場合があります。

2 **再生する伝言メモを選び**⊙

音声電話伝言メモの場合

• 再生中は次の操作ができます。

⊙：音量調整

⊙：停止

📞：スピーカーホン機能の切り替え（音声電話伝言メモのみ）

■ **削除：**

①**伝言メモを選び**Menu 2 1

• 全件削除：Menu 2 2 ▶ 端末暗証番号を入力

②**はい**

■ 電話帳に登録：
①伝言メモを選び Menu 4
• 登録済みの電話帳データに追加：Menu 5
② 1 ～ 2 ▶ 名前やメールアドレスなどを登録
• 登録済みの電話帳データに追加：1～2 ▶相手を選び ● ▶登録内容を修正

■ 電話をかける：伝言メモを選び （音声電話）または （テレビ電話）

3 はい／いいえ

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。

1 通話中に Menu 3 2 1 ▶フォルダを選び ● ▶キャラ電を選び ●

キャラ電

• キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタがキーに対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。
 □：アクションの中止
 ✱：アクション一覧の表示
 • アクションを選択するとキャラクタが動きます。
 ✱（1秒以上）：
 アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え

おしらせ

● キャラ電によっては、「全体アクション」と「パーツアクション」のどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。

相手側に送信する映像を設定する

テレビ電話通話中に送信している画像を変更します。

自画像／代替画像を切り替える

1 通話中に

代替画像

• 押すたびに自画像（ ）と代替画像（ ／ ）が切り替わります。☞P64
• 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示されず、代替画像設定の標準画像が送信されることがあります。☞P64

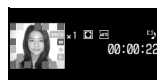
送信／受信画像の品質を設定する

• お買い上げ時は、「標準」に設定されています。
• 「動き優先」にすると、画像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
• 「画質優先」にすると、画質は細やかになり、画像の動きがやや鈍くなります。

1 通話中に Menu 7 ▶ 1～2 ▶ 1～3

送信画像にフレームを重ねる　フレーム

自画像送信中に、フレームを重ねることができます。
• 表示サイズが176 × 144以下のフレームのみ選択できます。ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144のフレームのみ選択できます。

1 通話中に Menu 3 1 ▶フレームを選び ●

• インカメラを使用中はディスプレイに鏡像（左右逆向きの画像）が表示され、相手には正像（正しい向きの画像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
• フレーム送信の解除：●

送信画像に特殊な効果をかける　撮影モード

送信中の自画像に次の効果をかけることができます。

- フルオート（お買い上げ時）
- 超感度アップ
- スポット測光
- 夜景
- サーフ&スノー
- ペット
- 文字
- 絵画
- 美白
- ソフトタッチ
- モノトーン（緑）
- モノクロ
- 感度アップ
- 逆光補正
- 風景
- トワイライト
- スポーツ
- グルメ
- ネガポジ
- 版画
- 日焼け
- モノトーン（赤）
- モノトーン（青）
- セピア
- 効果について詳しくは☛P141

1 通話中にMenu 2 1▶撮影モードを選び⊙

現在の効果

送信画像の明るさ／ちらつきを調整する　カメラ調整

送信中の自画像の明るさを調整できます。また、画像のちらつきがある場合、お使いの地域の電源周波数に合った設定にすると、ちらつきが抑えられる場合があります。

- 撮影モードの設定によっては明るさを変更できない場合があります。
- 通話終了後も設定内容が保持されます。
- お買い上げ時は、明るさは3段目、ちらつき調整は「自動」に設定されています。

1 通話中にMenu 2▶項目を選択

■ **明るさの調整：2▶⊙▶□**

- 調整中、親画面には自画像が表示されます。
- 調整後、しばらくの間何もしなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

■ **ちらつきの調整：3▶1～3**

おしらせ

● ちらつき調整の設定はカメラ、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。☛P144、P147

静止画／カメラオフ画像を送信する

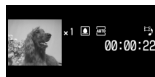
静止画または「カメラオフ」と表示される代替画像（カメラオフ画像）を送信します。

- フレーム送信中（☛P61）は設定できません。
- 画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。

1 通話中にMenu 3▶項目を選択

■ **カメラオフ画像を送信：3**

カメラオフ画像を設定すると、テレビ電話画像選択で設定した代替画像が送信されます。ただし、代替画像にキャラ電を設定している場合は、標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。

■ **静止画を送信：**

① 4▶フォルダを選び⊙

② 静止画を選び⊙

- 静止画の表示：静止画を選び□
- 元の画像の表示：静止画像送信中に⊙

表示倍率を切り替える　ズーム

- 自画像送信中のみ利用できます。

1 通話中に⊙

- ⊙を押すたびに次の順に切り替わります。⊙を押すと逆の順になります。

インカメラ　：標準（お買い上げ時）→2倍

アウトカメラ：標準（お買い上げ時）→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍→16倍

おしらせ

● インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

アウトカメラに切り替える

- 自画像送信中の場合のみ変更できます。
- お買い上げ時は、インカメラに設定されています。

1 通話中にMenu 6

インカメラ選択時　　アウトカメラ選択時

アウトカメラからの画像が送信されます。

- 押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。
- カメラを切り替えても、フレーム、送信画像の明るさ／ちらつき調整の設定は保持されます。

接写撮影に切り替える

約7～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写撮影に切り替えて画像のピントを合わせることができます。

- アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。
- お買い上げ時は、接写撮影OFFに設定されています。

1 通話中にMenu 4

- 接写撮影を解除するには、同様の操作を行います。

おしらせ

● 接写撮影中にインカメラに切り替えると、通常の撮影に戻ります。

コンパクトライトを点灯する

- アウトカメラ使用時のみ点灯できます。
- 通話中の設定操作などによって一時的にコンパクトライトが消灯することがあります。

1 通話中にMenu 5

コンパクトライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。

- 押すたびに点灯／消灯が切り替わります。

テレビ電話中の画面表示を設定する

- 通話終了後も設定内容が保持されます。

親画面と子画面を切り替える

1 通話中にm

- 押すたびに交互に切り替わります。

親画面：相手画像
子画面：自画像
（お買い上げ時）
⟷
親画面：自画像
子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

1 通話中にm（1秒以上）

- 押すたびに、大（お買い上げ時）→中→小→大→…の順に切り替わります。

通話中に画面表示を設定する

- お買い上げ時は、テレビ電話画面設定は「両方」、子画面表示は「自画像」、画面サイズ設定は「大」、照明設定は「常灯（標準）」に設定されています。

1 通話中にMenu 8▶各項目を設定▶m

- 各項目（テレビ電話画面設定、子画面表示、画面サイズ設定、照明設定）の設定方法は「テレビ電話の設定を変更する」と同じです。☛P64

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話動作設定

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画面などを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にするとテレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M に対応していないISDNのテレビ電話など（2007年10月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 1 3▶**各項目を設定**▶(m)

音声自動再発信：
テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に音声電話で再発信するかを設定。

テレビ電話画面設定：
自画像／相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定。

子画面表示：
子画面に自画像／相手画像のどちらを表示するかを設定。

画面サイズ設定：
親画面の表示サイズを設定。

受信画質設定：
相手から受信する画像の画質を設定。

照明設定：
通話中のディスプレイの照明を設定。
端末設定に従う…ディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。

スピーカーホン設定：
テレビ電話に接続されたときの、スピーカーホン機能のON／OFFを設定。

おしらせ

- 音声自動再発信が「ON」の場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信が「ON」の場合、パソコンなどをつないだパケット通信中にテレビ電話をかけようとしても、テレビ電話には接続されずに音声電話で再発信が行われます。音声電話通話中や64Kデータ通信中はテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
- 音声自動再発信が「ON」の場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続中にテレビ電話で通話すると、スピーカーホン設定に関わらず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- 音声自動再発信が「ON」の場合にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信したときは、自動的に音声電話発信となります。

代替画像や保留画像などを設定する

テレビ電話画像選択

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - ・サイズが176×144を超える静止画
  - ・JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - ・アニメーション、パラパラマンガ
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像

代替画像を設定する

例 標準キャラ電を設定するとき

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 1 5▶1

2 **イメージ表示欄**▶1▶(m)

「標準キャラ電」（男の子）が設定されます。

■ 標準画像（カメラオフ画像）を設定：2

■ その他のキャラ電を設定：
①3▶イメージ一覧欄▶フォルダを選び●
②キャラ電を選び●
・キャラ電を表示：キャラ電を選び(m)

■ その他の静止画を設定：
①4▶イメージ一覧欄▶フォルダを選び●
②静止画を選び●
・静止画の表示：静止画を選び(m)
・相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

例 標準画像を設定するとき

1 Menu▶設定／NWサービス▶615▶2～5

2 イメージ表示欄▶1▶(m)

伝言メモ画像の場合

■ その他の静止画を設定：
①2▶イメージ一覧欄▶フォルダを選び●
②静止画を選び●
・静止画の表示：静止画を選び(m)
・相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

おしらせ

● 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は「標準キャラ電」に戻ります。また、設定した静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えができる端末であることを、相手の端末に通知するかを設定します。

・音声電話通話中／テレビ電話通話中は、設定の変更はできません。
・圏外では、設定の操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
・ご契約時は開始に設定されています。

1 Menu▶設定／NWサービス▶617 1

■ 停止：Menu▶設定／NWサービス▶61 72

■ 設定内容の確認：Menu▶設定／NWサービス▶6173

2 はい

iモード中のテレビ電話着信時の応答方法を設定する パケット通信中着信設定

iモード、データ放送サイト表示中、Music&Videoチャネルの番組取得中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶614▶1～4

テレビ電話優先…テレビ電話を着信します。
パケット通信優先…iモード通信、データ放送サイトの表示、Music&Videoチャネルの番組取得を継続します。
留守番電話…かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ…かかってきたテレビ電話を転送先に接続します。

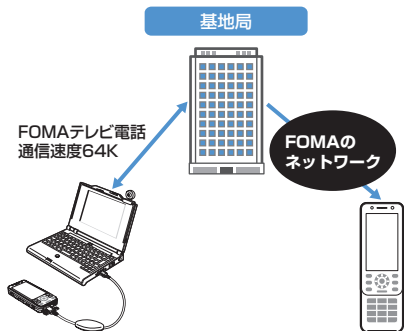
おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始し、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する
テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください（パソコンでのご利用環境など詳細についてはサポートホームページでご確認ください）。

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 1 6▶1～2

おしらせ

- 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタン（[P]）を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで[P]を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含め最大5人まで）と通信できます。[P]を押す（発言する）ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

• プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

プッシュトークプラス　別途ご契約が必要です

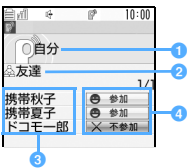
自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できるなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。

● 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

おしらせ

● 2in1のBナンバーでは、プッシュトークを利用できません。

プッシュトーク発信する

プッシュトーク通信中画面の見かた

❶ **現在の発言者**
名前※1、電話番号、「非通知」※2、「自分」、空白※3、「？」※4のいずれかが表示されます。

❷ **グループ名**
（グループ発信した発信者の画面にのみ表示）

❸ **メンバー**
名前※1、電話番号、「非通知」※2のいずれかが表示されます。

❹ **相手の応答の状況**

[呼出中]※5：相手を呼出中です。

[参加]：プッシュトークに参加しています。

[不参加]※5：応答がないか、相手がプッシュトークを終了しました。または、相手が圏外であるか電源を切っています。

[運転中]※5：相手が公共モード（ドライブモード）を設定しています。

※ 1：電話番号が電話帳に登録されている場合に表示されます（名前の表示について☛P76）。
※ 2：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。
※ 3：発言者がいないときに表示されます。
※ 4：発言者が特定できなかった場合に表示されます。
※ 5：3 人以上で通信しているときに表示されます。

発信者番号の通知について

● プッシュトーク発信する場合の番号通知は、発信者番号通知設定に従います。☛P40

● 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。
① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合※1
② FOMA端末電話帳データに発番号設定をした場合（1件のみの発信の場合）※1☛P86
③ 発信者番号通知設定した場合
※ 1：①、② の方法で通知／非通知を設定すると、発信者の発信中／呼出中の画面に以下のアイコンが表示されます。
[NO.]…通知　[非通知アイコン]…非通知

● 発信者番号を通知してプッシュトーク発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーに発信者や全メンバーの電話番号が通知されます。非通知にしてプッシュトーク発信した場合、追加したメンバーを含む全メンバーの画面の発言者欄やメンバー欄にすべて「非通知」と表示されます。
発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

プッシュトークで会話する

1 電話番号を入力▶[P]

相手が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

• FOMA 端末を閉じているときやプッシュトークスピーカーホン設定が「ON」のときは、スピーカーホン機能がONになります。プッシュトークスピーカーホン設定が「OFF」のときやマナーモード中にスピーカーホン機能をONにするには[P]を1秒以上押します。

2 プッシュトークで会話する

- 3人以上で通信しているときに、メンバーが応答すると参加音が鳴ります。また、メンバーがプッシュトークから抜けるとメンバーが抜けたことを知らせる音が鳴ります。

■ スピーカーホン機能に切り替え：✉／📞

■ 受話音量調整：◎

■ 発言：

① Pを押しながら発言する

- Pを押すと発言権取得音が鳴ります。
- 相手が発言中は、Pを押しても発言権取得失敗音が鳴り、発言できません。

② 発言が終わったらPを離す

- Pを離すと発言権の開放音が鳴ります。
- 発言権の制限時間がせまると、発言権開放の予告音が鳴ります。

3 プッシュトークが終わったら⌒

おしらせ

- FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、iアプリ、バーコードリーダーの読み取り結果などからもプッシュトークを発信できます。また、メール、サイト、トルカのPhone To（AV Phone To）などからもプッシュトークを発信できます。
- 音声電話通話中、テレビ電話通話中、データ通信中はプッシュトークを発信できません。また、プッシュトーク通信中は、他の相手に音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- iモード中にプッシュトークを発信したときは、iモードが切断されます。
- iアプリ起動中にプッシュトークを発信したときは、iアプリが中断されます。
- 1回の発言権で、お話しできる時間には限りがあります。制限時間に達するとその発言権は開放されます。
- 一定時間、発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信が終了します。
- プッシュトークでは緊急通報（110番、119番、118番）はご利用になれません。
- 2in1がONの場合、電話帳2in1設定を「B」にしたメンバーにはプッシュトークを発信できません。

通信中にメンバーを追加する

発信者はプッシュトーク通信中に、メンバーを最大通話人数（自分を含め5人）まで追加できます。

- メンバーの参加／不参加に関わらず、発信先のメンバーは通信中のメンバーを含め合計4人までしか追加できません。ただし、不参加メンバーを含め4人に発信している場合は、不参加メンバーの再呼び出しはできます。
- 参加中、呼出中のメンバーは追加できません。
- メンバーを追加している間も、発言などのプッシュトークの操作はできます。
- 最大通話人数までは何度でもメンバー追加の操作ができます。
- メンバー追加非対応機種のメンバーも追加できます。追加メンバーはメンバー追加対応機種には表示されます。ただし、メンバー追加非対応機種を利用している参加メンバーには、追加メンバーは表示されず、参加音やメンバーが抜けたときの音も鳴りません。また、メンバー追加非対応機種では、発信者からのメンバーの追加はできません。
- 追加したメンバーは、リダイヤルや着信履歴には記録されません。

1 プッシュトーク通信中に📖

2 追加方法を選択して発信する

■ プッシュトーク電話帳から選択：Pトーク電話帳参照▶メンバーを選び◉▶✆

- グループからメンバーを追加：プッシュトーク電話帳一覧で📖▶グループを選び◉▶メンバーを選び◉▶✆

■ 電話帳から選択：電話帳参照▶電話帳を検索▶メンバーを選び◉

- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号を選択します。

■ リダイヤル／着信履歴から選択：

① 履歴参照

- リダイヤル／着信履歴一覧の切り替え：📖
- プッシュトークプラス（☛P68）の履歴は表示されません。
- 2in1のBナンバーは、リダイヤル／着信履歴一覧に表示されますが、プッシュトーク発信はできません。

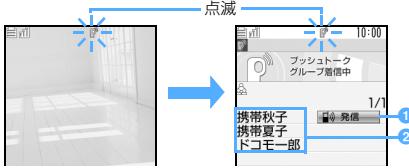
② メンバーを選ぶ

- プッシュトーク履歴からのメンバー選択：履歴を選び◉▶◉▶メンバーを選び◉▶✆
- 詳細情報の確認：プッシュトーク履歴を選び◉▶◉▶メンバーを選びMenu
  ◉を押すと発信します。
  1対1の履歴を選び✆を押しても発信できます。
- 音声電話／テレビ電話の履歴からのメンバー選択：履歴を選び✆
- 音声電話／テレビ電話の履歴を選び◉を押すと詳細情報を確認できます。◉を押すと発信します。

■ 電話番号の入力：直接入力 ▶ 電話番号を入力（26桁まで）▶✆

プッシュトーク着信する

1 プッシュトークを着信する

プッシュトーク着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、決定キーの照明が点灯／点滅します。

❶発信者には 発信 と表示されます。

❷電話番号、名前※1、「非通知」※2のいずれかが表示されます。

※1：表示の有無は、着信／受信時動作設定に従います。

※2：発信者が発信者番号を通知しない設定で発信したとき、着信側のメンバーは「非通知」と表示されます。

2 ／

プッシュトークに応答し、相手に「参加」を通知します。

- FOMA端末を閉じているときは、スピーカーホン機能がONになります。FOMA端末を開いているときは、プッシュトークスピーカーホン設定に従った通話になります（ただし、マナーモード中はスピーカーホン機能はOFFになります）。
- 、1～9、0、＊、＃を押してもプッシュトークに応答できます（エニーキーアンサー☛P54）。ただし、プロテクトキーロック中は無効です。
- を押すと、着信を切断します（応答保留はできません）。グループ着信の場合は、参加メンバーに「不参加」を通知します。

3 プッシュトークで会話する

- 詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作2☛P69

4 プッシュトークが終わったら

おしらせ

- 音声電話通話中にプッシュトークの着信はできません。着信履歴には記録されます。
- テレビ電話通話中、外部機器によるテレビ電話通話中、データ通信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新中はプッシュトークの着信はできません。着信履歴も記録されません。
- ｉモード中にプッシュトークの着信があった場合は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
- プッシュトーク通信中にｉモードのご利用はできません。
- プッシュトーク通信中に、テレビ電話、プッシュトーク、データ通信の着信があっても応答できません。着信履歴には記録されます。
- プッシュトーク呼出時間設定での秒数を経過しても応答しなかった場合、プッシュトーク着信が終了します。3人以上の通信の場合、参加メンバーには「不参加」が通知されます。
- 公共モード（ドライブモード）中に、プッシュトーク着信があっても、着信音も鳴らず、着信画面も表示されません。画面には 1 が表示され、応答できません。3人以上の場合は、参加メンバーには「運転中」と通知します。
- プッシュトーク着信に応答しなかったときやプッシュトークから抜けた場合でも、他の参加メンバーがプッシュトーク通信している間であれば、着信履歴から発信すると、プッシュトークに再び参加できます。終了していた場合は、新規の発信となります。
- プッシュトーク中着信設定が「通常着信」の場合、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの着信中の操作は、音声電話のときと同じです。☛P53

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳登録

プッシュトークを発信するメンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。

- 最大1000件登録できます（登録内容により、少なくなる場合があります）。
- プッシュトーク電話帳に登録するにはFOMA端末電話帳にも電話番号を登録する必要があります。
- FOMA端末電話帳で電話番号を削除したり、修正した場合はプッシュトーク電話帳にも反映されます。シークレット属性の設定も反映されます。
- 電話帳2in1設定が「B」の電話帳データは、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- 2in1がBモードのときは、プッシュトーク電話帳を利用できません。
- プッシュトーク電話帳では、メンバーの表示順は次のようになります。

①50音順　②アルファベット順
③数字　④空白で始まるもの
⑤記号　⑥フリガナなし

例 FOMA端末電話帳を検索して登録するとき

1 （1秒以上）

2 ▶電話帳参照

- FOMA端末電話帳に登録されていない電話番号を登録する場合は「直接入力」を選択します。FOMA端末電話帳の登録画面が表示されます（☛P77）。各項目を設定し登録すると、プッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳の両方に登録されます。複数の電話番号を登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択してください。

3 電話帳を検索▶相手を選び[●]▶はい

- 他のメンバーを追加登録：操作2～3を繰り返す

おしらせ

- FOMA端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録：電話帳一覧で相手を選び[Menu][3][3]▶はい
  複数の電話番号が登録されている場合は、そのうち1件の電話番号しか登録できません。電話番号を選択して「はい」を選択します。また、電話帳詳細画面で電話番号を選び[Menu][4][3]を押し「はい」を選択しても同様に登録できます。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に登録したメンバーを、グループに登録できます。

- グループは最大30件登録できます。
- 1つのグループには、メンバーを最大19人登録できます。ただし、プッシュトーク通信できるのは自分を含め最大5人です。
- 同じメンバーを複数のグループに登録できます。

1 [P]（1秒以上）▶[□]

- 登録済みのグループにメンバーを登録する場合は、操作3に進みます。

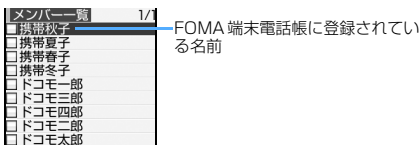
■ **グループ名を変更：グループを選び[Menu][3]▶グループ名を入力▶[□]**

- グループ名を変更しても、リダイヤルには反映されません。

2 [✉]▶グループ名を入力(全角10／半角20文字まで)▶[□]

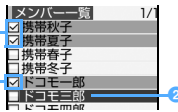
3 グループを選び[●]▶[✉]▶メンバーを選び[●]▶[□]

プッシュトーク電話帳から発信する

1 [P]（1秒以上）

- [1]～[9]、[0]を押すと、それぞれのキーに割り当てられている文字（あ～ら、わ）に対応する行の先頭のメンバーが選ばれます。[＊]、[#]を押すと50音以外が選ばれます。
- メンバー一覧で[Menu][6]を押すと、ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用できます。☛P68

■ **発信者番号の通知／非通知を設定して発信**

- メンバー一覧で選ばれている相手に対して設定／発信：[Menu][4]▶ 発信方法と番号通知を設定▶[Menu]▶操作4

2 メンバーを選び[●]

❶ 発信先として選択したメンバー
❷ 選ばれているメンバー（反転表示）

- 発信先は最大4人選択できます。
- 選択したメンバーの確認：[Menu][1]

3 [P]／[発信]

メンバーのうち一人目が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

- メンバーを選択しなかった場合は、選ばれているメンバーに発信されます。

4 プッシュトークで会話する

- 詳しくは「プッシュトークで会話する」の操作2 ☛P69

5 プッシュトークが終わったら[終話]

- 発信者が[終話]を押しても、他の参加メンバー間でプッシュトークが継続されます。着信者が1人の場合は、プッシュトークは終了します。

おしらせ

- リダイヤル、着信履歴からも複数の相手にプッシュトークを発信できます。
- メンバーの電話番号に「184」または「186」を付けても無効です。
- 複数のメンバーにプッシュトーク発信した際に、異なる名前で同じ電話番号のメンバーを選んで発信したときは、50 音順で一番先頭になる名前がプッシュトーク通信中画面に1件表示されます。

グループから発信する

1 **P（1秒以上）▶ m ▶グループを選び ●**

- グループの全員にプッシュトークを発信：P（1秒以上）▶ m ▶グループを選ぶ▶操作3

2 **プッシュトークを発信するメンバーを選び ●**

- グループ内の全メンバーに☑が付いています。発信しないメンバーは□にしてください。
- 発信先は最大4人選択できます。
- 選択したメンバーの確認：Menu 1

3 **P／S**

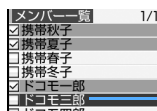
- グループ一覧から発信した場合、選んだグループの全メンバーに発信されます。ただし、2in1 がデュアルモードのときは、電話帳2in1設定が「B」以外のメンバーにプッシュトークが発信されます。
- メンバーが5人以上登録されている場合は、通信可能な人数を超えていることを示すメッセージが表示されます。メンバーを最大4人まで選択して発信してください。
- 以降の操作は「プッシュトーク電話帳から発信する」の操作4以降と同じです。☛P71

おしらせ

● 発信者がプッシュトークから抜けた場合でも、他の参加メンバーがプッシュトーク通信している間であれば、リダイヤルから発信すると、プッシュトークに再び参加できます。終了していた場合は、新規の発信となります。

プッシュトーク電話帳を削除する

プッシュトーク電話帳削除

1 **P（1秒以上）▶メンバーを選び Menu 3**

- ☑の付いたメンバーではなく、選ばれているメンバーが削除されます。

2 **はい▶いいえ**

- FOMA端末電話帳からも削除：はい▶はい
- グループに登録しているメンバーを削除すると、グループからも削除されます。

グループを削除する

1 **P（1秒以上）▶ m ▶グループを選び Menu 2 ▶はい**

- グループを削除しても、グループに登録されていたメンバーはプッシュトーク電話帳や FOMA 端末電話帳からは削除されません。

グループの登録メンバーを削除する

1 **P（1秒以上）▶ m ▶グループを選び ● ▶メンバーを選び Menu 3 ▶はい**

- グループのメンバーを削除しても、プッシュトーク電話帳や FOMA 端末電話帳からは削除されません。

発着信について設定する

プッシュトーク発着信の際の動作を設定します。プッシュトークのみに有効な設定です。

着信音を鳴らす時間を設定する
プッシュトーク呼出時間設定

着信音が鳴っている間の時間を設定します。その時間内に応答しなかった場合は、不参加になります。
- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」のときは、呼出動作開始時間が経過した後に本機能が動作します。
- プッシュトーク自動応答設定が「自動応答あり」のときは、本機能は設定できません。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 2 2▶**呼出時間を入力（1～60秒）**▶(田)
- メンバー一覧からの操作：Menu 5 1

自動でプッシュトークに応答する
プッシュトーク自動応答設定

プッシュトークの着信に自動的に応答します。プッシュトークに応答したときに、プッシュトークスピーカーホン設定に関わらず自動的にスピーカーホン機能はONになります。
- マナーモード中は本設定は動作しません。プッシュトークに応答するにはPまたは(通話)を押します（プロテクトキーロック中以外はエニーキーアンサーでも応答できます）。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本設定は動作しません。着信画面も表示されません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、Pを操作しながら、接続した機器を使って音声をやりとりします。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 2 3▶1～2
- メンバー一覧からの操作：Menu 5 2

音声電話着信時の対処方法を選択する
プッシュトーク中着信設定

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときに、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどで対応します（テレビ電話の着信は無効です）。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 2 4▶1～4

通常着信…プッシュトークを切断し、かかってきた音声電話に応答できます。
- 音声電話に応答する場合：音声電話着信中に(通話)
- プッシュトークを切断し、音声電話着信を継続する場合：(終話)

着信拒否…かかってきた音声電話を着信拒否します。

留守番電話…かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ…かかってきた音声電話を転送先に転送します。
- メンバー一覧からの操作：Menu 5 3

おしらせ
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスが未契約の場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「通常着信」の動作となります。
- 本設定がいずれの場合でも、着信履歴に記録されます。ただし、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作します。着信履歴には記録されません。

ｉモード中のプッシュトーク着信時の動作を設定する
ｉモード中プッシュトーク着信

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶6 2 6▶1～2

プッシュトーク着信優先…プッシュトークの着信があった時点でｉモードを終了し、プッシュトークの着信画面を表示します。プッシュトークを終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード優先…プッシュトークの着信画面を表示せず、ｉモードを継続します。その際、プッシュトークは着信履歴に記録されません。
- メンバー一覧からの操作：Menu 5 5

FOMA端末を閉じたときの動作を設定する
プッシュトーク中クローズ設定

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 6 2 5 ▶ 1 ～ 2

終話…プッシュトークを終了します。
継続…プッシュトークを継続します。
- メンバー一覧からの操作：Menu 5 4

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、FOMA端末を閉じても、本設定に関わらずプッシュトークは継続されます。

スピーカーホン機能を利用して通信する
プッシュトークスピーカーホン設定

FOMA端末を開いている状態で、プッシュトーク発信したときや着信に応答したときに、自動的にスピーカーホン機能をONにするかを設定します。
- FOMA端末を閉じているときに発信／応答すると、本設定に関わらずスピーカーホン機能がONになります。
- マナーモード中に発信／応答すると、スピーカーホン機能は本設定に関わらず以下のようになります。
  - ・FOMA端末を開いているとき→OFF
  - ・FOMA端末を閉じているとき→ON

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 6 2 7 ▶ 1 ～ 2

- メンバー一覧からの操作：Menu 5 6

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA D905iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

- プッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳もあります。☛P70
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に登録できる項目は次のようになります。

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	○	×
	名前・フリガナ	名前は全角16／半角32文字まで、フリガナは半角32文字まで設定可能。	名前は全角10／半角21文字まで、フリガナは全角12／半角25文字まで設定可能。
	画像・動画	1人につき1件	×
	グループ	最大30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10グループおよび「グループなし」に分類可能。
	電話番号・アイコン	1人につき5番号まで、電話帳全体で最大3005番号※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。
	メールアドレス・アイコン	1人につき5アドレスまで、電話帳全体で最大3005アドレス※1設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。
	その他の設定	誕生日・テキストメモ・郵便番号／住所・位置情報・会社名・役職名・URLを設定可能。	×

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる電話帳の件数が少なくなる場合があります。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。
- 2in1についての詳細は「2in1を利用する」を参照してください。☛P380

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／呼出中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前と電話番号が表示されます。ただし、着信の場合は、着信／受信時動作設定に従います。

また、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、セレクトメニューの人物などや、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを直接入力したときも、電話帳に登録されている名前が表示されます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳データを登録している場合、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で複数登録している場合、最初に登録した電話帳データの名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名「@docomo.ne.jp」を省略したメールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号と一致した場合は電話帳の設定で動作します。
- 電話帳に登録した相手からメールを受信すると、電話帳に登録している名前が受信結果テロップに表示されます。ただし、シークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、名前ではなくメールアドレスが表示されます。
- GPSの位置提供を要求され、要求者IDが電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録している名前が表示されます。

FOMA端末電話帳に登録する　電話帳登録

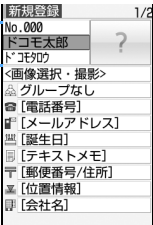
- 最大登録件数☛P76
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 Menu▶**電話帳／履歴**▶2

- 電話帳一覧でMenu 2を押しても同様に操作できます。

2 **名前を入力（全角16／半角32文字まで）**

名前入力　22
ドコモ太郎

3 **各項目を設定**▶(m)

メモリ番号、名前、フリガナ

メモリ番号：

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ **メモリ番号の変更：メモリ番号欄▶番号を入力（0～999）**

- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

名前：

入力した名前を確認。

■ **名前の修正：名前欄▶名前を修正**

フリガナ：

入力した名前のフリガナを確認。

■ **フリガナの修正：フリガナ欄▶フリガナを修正（半角32文字まで）**

- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：

発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や動画／ｉモーションを設定。

■ **画像を設定：1▶フォルダを選び●▶画像を選び●**

- 横縦（または縦横）のサイズが640×480を超える画像は選択できません。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

■ **静止画を撮影：2▶静止画を撮影▶●**

- 静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ **動画／ｉモーションを設定：3▶フォルダを選び●▶動画／ｉモーションを選び●**

- 映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認する☛P92
- 電話発信時は、動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。

■ **動画を撮影：4▶動画を撮影▶●**

- 動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。音声は録音されません。

■ **画像・動画／ｉモーションを削除：5**

グループ：

グループを選択。新規登録時は「グループなし」に設定。

グループ設定について☛P79

■ **グループを追加：グループ欄▶(✉)▶グループ名を入力（全角 10 ／半角 20 文字まで）▶(m)**

- 「グループなし」以外に、最大30件登録できます。

電話番号：

市外局番を含め26桁まで入力し、アイコンを選択。

- 1人につき5番号まで登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（P）、タイマー（T）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。
- 「184」または「186」を付けて登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。

メールアドレス：

半角50文字まで入力し、アイコンを選択。

- 1人につき5アドレスまで登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録しているとき☛P86

誕生日：

誕生日設定を「ON」にして、誕生日欄に誕生日を入力。

テキストメモ：
全角100／半角200文字まで入力可。

郵便番号／住所：
郵便番号は7桁まで、住所は全角100／半角200文字まで入力可。

位置情報：
GPS機能で取得した位置情報を登録。☞P245
- 既に位置情報が登録されている場合は確認画面が表示されます。登録を削除する場合は「初期値に戻す」を選択します。

会社名：
全角50／半角100文字まで入力可。

役職名：
全角50／半角100文字まで入力可。

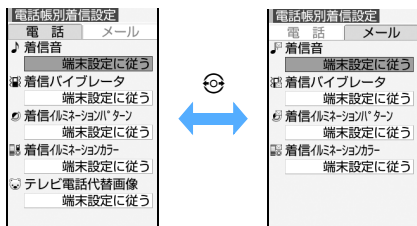
URL：
半角256文字まで入力可。

おしらせ

- 2in1がBモードのときに登録した電話帳データは電話帳2in1設定が「B」に、それ以外は「A」に設定されます。
- 2in1がAモードのときは、電話帳2in1設定で「B」にした電話帳は表示されません。また、Bモードのときは「A」にした電話帳は表示されません。

電話帳データごとに着信動作を設定する
電話帳別着信設定

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 3 2
- 電話帳の検索方法☞P80

2 で設定画面を表示▶各項目を設定▶

- グループを「グループなし」にした場合、各項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。
- 選択時にメロディ、動画／iモーションを再生して確認する☞P92

／着信音：
「着モーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」を選択し、着信音を設定。音楽データの設定☞P92
端末設定に従う…音の設定に従います。
- 動画／iモーション、音楽データは、詳細情報の着信音設定が「可」になっているデータのみ着信音に設定できます。

／着信バイブレータ：
「選択する」を選択して着信時のバイブレータを設定。
端末設定に従う…バイブレータ設定に従います。

／着信イルミネーションパターン：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の点灯パターンを設定。
端末設定に従う…イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」にすると、着信イルミネーションカラーは設定できません。

／着信イルミネーションカラー：
「選択する」を選択して着信時の決定キーの照明の色を設定。
端末設定に従う…イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（電話のみ設定可能）：
「選択する」を選択して通話中に表示するキャラ電（☞P285）を設定。
端末設定に従う…テレビ電話画像選択の設定に従います。

FOMAカード電話帳に登録する
FOMAカード電話帳登録

- 最大登録件数☞P76

1 Menu▶電話帳／履歴▶3
- FOMAカード電話帳一覧で Menu 2 を押しても同様に操作できます。

2 名前を入力（全角10／半角21文字まで）

- 全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
- 名前を入力しないと登録できません。

3 **各項目を設定▶** 📖

名前、フリガナ

名前：
入力した名前を確認。

■ **名前の修正：名前欄▶名前を修正**

フリガナ：
入力した名前のフリガナを確認。

■ **フリガナの修正：フリガナ欄▶フリガナを修正（全角12／半角25文字まで）**
- フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
- 全角／半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

グループ：
「グループなし」または、10グループの中から選択。新規登録時は「グループなし」に設定。

電話番号：
市外局番を含め26桁（FOMAカードの種類によっては20桁）まで入力します。☛P33
- ポーズ（P）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：
半角50文字まで入力可。

グループ名や発着信動作を設定する

グループ設定

グループ名の変更やグループの削除ができます。また、グループごとに着信音が設定できます。
- 「グループなし」は、グループ名の変更や削除、発着信動作の設定はできません。

グループの作成／編集をする

1 **Menu▶電話帳／履歴▶1 2**
- FOMAカード電話帳のとき：Menu▶電話帳／履歴▶1 2 📖

2 **Menu 2▶グループ名を入力▶📖**
- FOMA端末電話帳のグループ名は、全角10／半角20文字まで入力できます。
- FOMAカード電話帳は、グループ名の編集のみできます。

■ **グループ名の変更：グループを選び Menu 4▶グループ名を編集▶📖**
- FOMAカード電話帳のとき：グループを選び Menu 2▶グループ名を編集▶📖
- FOMAカード電話帳のグループ名は、全角10／半角21文字まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。

■ **FOMA端末電話帳のグループの順序の入れ替え：Menu▶6〜7**

FOMA端末電話帳のグループの発着信動作を設定する

グループ別発着信設定

1 **Menu▶電話帳／履歴▶1 2▶グループを選び Menu 5**

2 **⊙で設定画面を表示▶各項目を設定▶📖**
- 電話の発着信画像の設定方法は「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P77
着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーの設定方法は「電話帳データごとに着信動作を設定する」の操作2と同じです。☛P78
- 電話の設定画面で着信音に映像がある画像／iモーションを設定すると、発着信画像は「着信音連動」になります。音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など、映像のないiモーション）を着信音にした場合に発着信画像を変更するときは「イメージを選択」「静止画を撮影」から選択します。

おしらせ

● 発着信動作の優先順位について
- 着信音☛P93
- バイブレータ☛P95
- 発信画像☛P101
- 着信画像☛P101
- イルミネーション☛P108

FOMA端末電話帳のグループを削除する

グループを削除すると、そのグループに登録されている電話帳データがすべて削除されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データも削除されます。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。
- 「グループなし」を選択すると、そこに登録されている電話帳データだけが削除されます。

1 **Menu▶電話帳／履歴▶1 2▶グループを選び Menu 3▶端末暗証番号を入力▶はい**

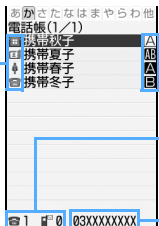
電話帳から電話をかける　電話帳検索

- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。
  - ・全件表示（50音）
  - ・フリガナ検索
  - ・メモリ番号検索※1
  - ・シークレット検索※1
  - ・グループ検索
  - ・ランキング検索※1
  - ・電話番号検索

  ※1：FOMAカード電話帳では利用できません。
- 行検索も行えます。☛P82
- 待受画面で（電話帳キー）を押したときに表示される検索方法を指定できます。☛P82
- 電話帳一覧で（Menu）を押し「検索方法選択」を選択しても電話帳の検索方法を変更できます。
- FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、（電話帳キー）を押すたびにFOMA端末電話帳一覧とFOMAカード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMAカード電話帳一覧では、相手の名前の前に（FOMAカードアイコン）が表示されます。
- 電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  - ①50音順
  - ②アルファベット順
  - ③数字
  - ④空白で始まるもの
  - ⑤記号
  - ⑥フリガナなし

例 全件表示（50音）のとき

1 （電話帳キー）

あかさたなはまやらわ他
電話帳(1/1)
携帯秋子 A
携帯夏子 AB
携帯春子 A
携帯冬子 B
☎1　✉0　03XXXXXXXX

電話帳2in1設定を示すマーク（2in1がデュアルモードのとき）
A：Aモードの電話帳データ
B：Bモードの電話帳データ
AB：共通の電話帳データ

選ばれている相手に登録されている電話番号とメールアドレスの件数

選ばれている相手の1件目の電話番号

1件目の電話番号に設定されているアイコン

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話帳一覧の名前の右側に電話帳2in1設定を示すマークが表示されます。

2 **相手を選び（発信キー）**
- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号を選択します（テレビ電話、プッシュトークについても同様です）。
- テレビ電話をかける：相手を選び（テレビ電話キー）
- プッシュトークを発信：相手を選び（プッシュトークキー）
- 詳細画面からの操作：電話番号を選び（発信キー）／（決定キー）／（テレビ電話キー）／（プッシュトークキー）
- 基本情報からも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号に発信されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話帳2in1設定で「A」または「共通（AB）」にした相手にはAナンバーで、「B」にした相手にはBナンバーで発信されます。

■ iモードメールの作成：相手を選び（メールキー）
- メールアドレスが複数登録されている場合は、メールアドレスを選択します。
- 詳細画面からの操作：メールアドレスを選び（決定キー）または（メールキー）
- 基本情報からも同様に操作できます。1件目に登録しているメールアドレスが宛先に設定されます。

■ SMSの作成：相手を選び（メールキー）（1秒以上）
- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号を選択します。
- 詳細画面からの操作：電話番号を選び（メールキー）
- 基本情報からも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号が宛先に設定されます。

■ サイトの表示：相手を選び（Menu）[1][5]▶はい
- 「はい」の代わりに（テレビ電話キー）を押すと、フルブラウザで表示されます。
- 詳細画面からの操作：URLを選び（決定キー）

■ 電話帳データをメールに添付して送信：相手を選び（Menu）[1][3]
- 詳細画面からも同様に操作できます。

■ FOMA端末電話帳の位置情報の利用：相手を選び（Menu）[0]
- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P237
- 詳細画面からの操作：位置情報を選び（決定キー）

■ 送受信メールの一覧表示（メール検索）：相手を選び（Menu）[1][6]▶[1]～[2]
- 電話帳一覧に戻る：（クリア）または（Menu）[0]
- FOMAカード電話帳から検索：相手を選び（Menu）[1][5]▶[1]～[2]

おしらせ

● 2in1がデュアルモードまたはAモードのときは、電話帳2in1設定に関わらず、Aアドレスでiモードメールを、AナンバーでSMSを送信します。Bモードのときは、iモードメールとSMSは作成できません。

電話帳データを50音順に表示する
全件表示（50音）

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→その他※1の順）に表示します。

※１：アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし

1 Menu▶電話帳／履歴▶1 1▶で行を選ぶ

- 1～9、0、*、#を押すと、フリガナ検索機能が有効となります。

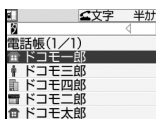
グループで検索する
グループ検索

- グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

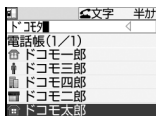
1 Menu▶電話帳／履歴▶1 2▶グループを選び

名前で検索する
フリガナ検索

フリガナを１文字ずつ入力して、最も近いフリガナの電話帳データを絞込み検索します。

1 全件表示(50件)の電話帳一覧で1～9、0、*、#

4（た行）を押したとき

- キーに割り当てられている行の先頭文字と行のデータが表示されます。

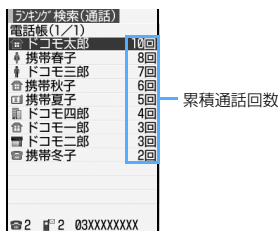
2 続けてフリガナを入力

- ：詳細画面の表示
- ：フリガナ検索を終了し、電話帳一覧へ戻る

通話／メール回数の多い相手を検索する
ランキング検索

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示（メール回数ランキング）できます。

- 通話回数、メール回数は9999回まで表示されます。
- 電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。
- プッシュトークの通信回数はカウントされません。

例 通話回数ランキングを表示するとき

1 Menu▶電話帳／履歴▶1 3 1

- 累積通話回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までの通話回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。
- 2in1がデュアルモードのときは、累積通話回数／累積メール回数の横に電話帳2in1設定を示すマークが表示されます。

■ **メール回数ランキングを表示：** Menu▶電話帳／履歴▶1 3 2

- 累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までのメール送受信回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象となります。

通話回数／メール回数をリセットする

1 電話帳を検索▶相手を選び Menu 9 3▶はい

- 個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がリセットされます。

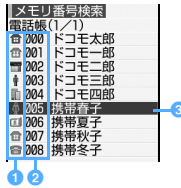
■ **通話回数／メール回数の確認：** 電話帳を検索▶相手を選び▶電話番号またはメールアドレスを選び

メモリ番号で検索する　メモリ番号検索

FOMA端末電話帳を、メモリ番号を入力して検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 [Menu]▶**電話帳／履歴**▶[1][4]▶**メモリ番号を入力**▶[m]

• 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

❶ 1件目の電話番号に設定されているアイコン
❷ メモリ番号
❸ 入力したメモリ番号に登録されている相手

電話番号で検索する　電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 [Menu]▶**電話帳／履歴**▶[1][5]▶**電話番号の一部を入力**▶[m]

メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）

1件目の電話番号に設定されているアイコン

すばやく行検索する

[1]～[9]、[0]に割り当てられている文字（あ～ら、わ）から電話帳データを検索します。

• 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

例「ドコモ太郎」を検索するとき

1 **待受画面で[4][m]**

た行のフリガナが登録されている電話帳一覧が表示されます。

検索方法を指定する

待受画面で[m]を押したときに表示される検索方法を指定できます。

• FOMAカード電話帳の検索方法は指定できません。

1 [Menu]▶**電話帳／履歴**▶[1]▶**検索方法を選び**[Menu]

• 指定されている検索方法の項目に ✔ が付いています。
• シークレット検索は指定できません。

おしらせ

● 前回FOMAカード電話帳を検索した場合は、[m]を押すと指定されている検索方法でFOMAカード電話帳を検索できます。ただし、FOMAカード電話帳で検索できない方法が指定されている場合は、FOMAカード電話帳（50音）の電話帳一覧が表示されます。

電話帳の登録内容を確認する

1 **電話帳を検索▶相手を選び**[●]

2 [←→]**で登録内容を表示**

• [←→]を押すたびに登録内容の表示が切り替わります。
• 前後の電話帳データの詳細画面の表示：[↑↓]

■ **通話回数／メール回数の確認：**[←→]**で電話番号またはメールアドレスを選び**[m]

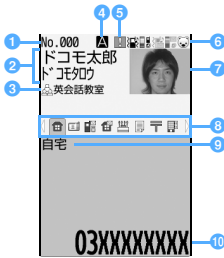
累積情報が表示されます。

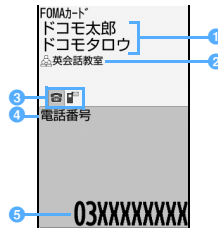
• 累積情報のリセット：[m]▶はい

■ **基本情報の確認：**[Menu][9][1]

基本情報が表示されます。

• 電話帳に登録した画像／メモリ番号（FOMA端末電話帳のみ）、名前、フリガナ、グループ名、1件目の電話番号（アイコン種別、電話番号）、1件目のメールアドレス（アイコン種別、メールアドレス）が表示されます。

FOMA端末電話帳の電話帳データの詳細画面の見かた

1. メモリ番号
2. 名前、フリガナ
3. グループ名
4. 電話帳2in1設定を示すマーク（2in1がデュアルモードのとき）
   - A：Aモードの電話帳データ
   - B：Bモードの電話帳データ
   - AB：共通の電話帳データ
5. 着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合
6. 着信音などの設定状況（電話／メール）
   電話帳別着信設定で着信音などを設定しているとアイコンが色付きで表示されます。
   - ／：着信音
   - ／：着信バイブレータ
   - ／：着信音と着信バイブレータ
   - ／：着信イルミネーションパターン
   - ／：着信イルミネーションカラー
   - ／：着信イルミネーションパターンとカラー
   - ：テレビ電話代替画像（電話のみ）
7. 画像
   登録した画像は、画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。
8. 登録したアイコン（タブ）
   次のページがあるときは〈〉が表示されます。
9. アイコン種別
10. 登録内容

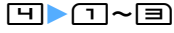
FOMAカード電話帳の電話帳データの詳細画面の見かた

1. 名前、フリガナ
2. グループ名
3. 登録したアイコン（タブ）
4. アイコン種別
5. 登録内容

おしらせ

- 詳細画面からも電話帳一覧と同様に以下の操作ができます。
  - 着信動作の設定
  - メールの検索☛P80
  - 電話帳の修正
  - 登録内容のコピー☛P84
  - 電話番号／メールアドレス／メモリ番号の順番の入れ替え
  - 電話帳のコピー☛P85
  - 電話帳の削除
  - 発信者番号の通知／非通知の設定
  - シークレットコードの設定
  - シークレット属性の設定
  - 登録件数の確認☛P87
  - 着信拒否／許可の設定
  - メールの作成

詳細画面に画像を表示する　画像／名前表示切替

電話帳データの詳細画面に画像を表示させるかを設定します。設定内容はすべての電話帳データに反映されます。

1 **電話帳を検索▶相手を選び[●]▶[Menu][9][4]▶[1]～[3]**

画像表示優先…画像が表示されます。

名前表示優先…名前が表示されます。画像は表示されません。

画像登録時のみ表示…画像を登録しているときのみ画像が表示されます。登録していないときは名前が表示されます。

おしらせ

- 長い名前はすべて表示されない場合があります。
- 本設定は自局番号（☛P352）、リダイヤル／着信履歴（☛P46）、メールの送信／受信履歴（☛P193）の画像／名前表示切替設定にも反映されます。

電話帳を修正する　電話帳修正

• プッシュトーク電話帳に登録されているFOMA端末電話帳を修正すると、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

登録内容を修正する

例 FOMA端末電話帳の電話帳データを修正するとき

1 **電話帳を検索▶相手を選び Menu 3 1**
- FOMAカード電話帳のとき：電話帳を検索▶相手を選び Menu 3

2 **電話帳データを修正▶📖**
- 詳細については☛P77「FOMA端末電話帳に登録する」操作3、☛P79「FOMAカード電話帳に登録する」操作3

3 **上書き登録または新規登録**
- 上書き登録の場合は、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録の場合は、以前の電話帳データは残り、新たに電話帳データが登録されます。
- メモリ番号を変更せずに、FOMA端末電話帳に新規登録した場合は、最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられ、メモリ番号入力画面に表示されます。必要に応じて番号を変更し、再度操作2から操作してください。
- プッシュトーク電話帳に登録されている電話番号をFOMA端末電話帳から削除すると、上書き登録を選択した後、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、プッシュトーク電話帳から削除されます。

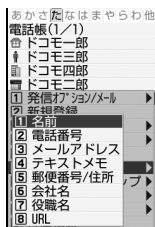
おしらせ

● FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、一番最後以外に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
- コピーした内容は電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

例 FOMA端末電話帳の電話帳データをコピーするとき

1 **電話帳を検索▶相手を選び Menu 6▶1～8▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける**

- FOMAカード電話帳のとき：FOMAカード電話帳を検索▶相手を選び Menu 6▶1～3▶貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

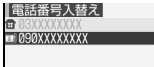
おしらせ

● 電話番号とメールアドレスは、1件目に登録されている内容がコピーされます。2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、詳細画面でコピーする電話番号やメールアドレスを選びコピーします。

順序を入れ替える

FOMA 端末電話帳の電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、電話番号やメールアドレスの順序を入れ替えます。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

1 電話帳を検索▶順序を入れ替える

■ **電話番号の順序の入れ替え：相手を選びMenu 3 4 1 ▶1 件目に登録する電話番号を選び●**

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

■ **メールアドレスの順序の入れ替え：相手を選びMenu 3 4 2 ▶1 件目に登録するメールアドレスを選び●**

選択したメールアドレスと1件目のメールアドレスが入れ替わります。

■ **メモリ番号の入れ替え：相手を選びMenu 3 4 3 ▶メモリ番号を入れ替える相手を選び●**

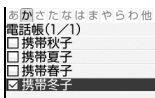
選択した電話帳データのメモリ番号が入れ替わります。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の間で、相互に電話帳データをコピーします。

- コピー元の電話帳にあるグループと同じ名前のグループが、コピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

例 FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーするとき

1 電話帳を検索▶Menu 7 1 ▶相手を選び●▶📖

■ **FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーされる項目**

名前	全角10／半角21文字まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字まで。
フリガナ	全角12／半角25文字まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、12文字まで。半角カタカナは全角カタカナになります。
電話番号	1件目に登録されている電話番号をコピーします。26桁(FOMAカードの種類によっては20桁)まで(☛P33)。タイマー(T)が登録されている場合は、タイマー(T)のみ削除されます。アイコンはすべて☎になります。
メールアドレス	1件目に登録されているメールアドレスをコピーします(半角50文字まで)。アイコンはすべて📱になります。

- FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

■ **FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーされる項目**

名前	登録内容がそのままコピーされます。
フリガナ	全角カタカナは半角カタカナになります。
電話番号	アイコンは☎になります。
メールアドレス	アイコンは📱になります。

おしらせ

- FOMAカード電話帳一覧画面からの操作：Menu▶本体へコピー
- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、2in1がBモードのときは電話帳2in1設定が「B」に、それ以外は「A」に設定されます。

電話帳を削除する　電話帳削除

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。また、シークレット属性が設定されている電話帳データも削除されます。
- FOMAカード電話帳は全件削除できません。

1 電話帳を検索▶相手を選びMenu 4 1

■ **全件削除：電話帳を検索▶Menu 4 2 ▶端末暗証番号を入力**

■ **FOMAカード電話帳を削除：電話帳を検索▶相手を選びMenu 4**

2 はい

- FOMA端末電話帳からプッシュトーク電話帳に登録されている相手を削除した場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

- FOMAカード電話帳は、ここで説明する機能を設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する　発番号設定

- お買い上げ時は「設定なし」に設定されています。

1 電話帳を検索▶相手を選びMENU 3 5 2 ▶端末暗証番号を入力▶電話番号を選び● ▶1～3

おしらせ

- 「設定なし」にすると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に!が表示されます。
- 発信者番号通知方法の優先順位について☛P40

シークレットコードを設定する　シークレットコード設定

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

- 電話帳のメールアドレスには相手の電話番号のみを登録してください（シークレットコード、「@docomo.ne.jp」なし）。

1 電話帳を検索▶相手を選びMENU 3 5 4 ▶端末暗証番号を入力▶メールアドレスを選び●

2 4桁のシークレットコードを入力
- シークレットコード設定の解除：CLRを1秒以上押して消去▶●

おしらせ

- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に!が表示されます。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードは、操作1で確認できます。

他人に見られたくない電話帳を守る　シークレット属性

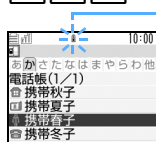
電話帳データにシークレット属性を設定することにより、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）は、電話帳に表示されないようにします。

- プライバシーモード設定中はシークレット属性を設定することができません。プライバシーモードを解除してからシークレット属性を設定してください。

電話帳データにシークレット属性を設定する

- FOMAカード電話帳には設定できません。

1 プライバシーモードを解除

2 待受画面で電話帳を検索▶相手を選びMENU 3 5 1

- 解除するには、同様の操作を行います。

点滅し、シークレット属性が設定されていることを示します。

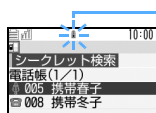
おしらせ

- グループ検索画面からの操作：グループを選びMENU 8
- 電話帳データの新規登録時にはシークレット属性は設定できません。また、電話帳データの編集時にはシークレット属性を設定でき、プッシュトーク電話帳にも設定が反映されます。

シークレット属性の電話帳データを検索する　シークレット検索

- 検索できるのはシークレット属性が設定されている電話帳データだけです。

1 プライバシーモードを解除

2 待受画面でMENU 4 1 6

点滅し、シークレット属性が設定されていることを示します。

電話帳の登録状況を確認する　登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性が設定されている件数などを表示します。

- シークレットデータ件数は、プライバシーモードが解除されている場合のみ表示されます。

1 電話帳を検索▶Menu 9 2

おしらせ

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

少ないキー操作で電話をかける　クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話やプッシュトークをかけられます。

- 電話帳データの 1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例　メモリ番号2の電話番号に電話をかけるとき

1 メモリ番号（この場合は 2）を入力▶（音声電話）または（テレビ電話）

- メモリ番号の前に 0 などは付けずに入力します。前に0などを付けて入力すると、電話はかかりません。
- プッシュトーク発信：メモリ番号を入力▶P
  入力したメモリ番号の電話帳の電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されているときは、その電話番号にプッシュトークが発信されます。プッシュトーク電話帳に登録されていない場合は、電話帳の1件目の電話番号にプッシュトーク発信されます。

おしらせ

● 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

電話帳お預かりサービスを利用する　電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、FOMA端末電話帳のデータをお預かりセンターに保存できます。

- 電話帳お預かりサービスについて☛P127
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳は保存できません。

電話帳をお預かりセンターに保存する

1 Menu▶LifeKit▶6 1▶はい▶端末暗証番号を入力

FOMA 端末電話帳をお預かりセンターに保存します。

- 既に電話帳を保存している場合は、最新の内容に更新されます。
- 保存／更新が完了すると、実行結果が表示され、約5秒後に消えます。
- お預かりセンターの電話帳データがFOMA端末のデータより新しい場合は、お預かりセンターのデータがFOMA端末に保存されます。

おしらせ

● 電話帳検索画面からの操作：Menu 7 4▶はい▶端末暗証番号を入力

● 電話帳を復元するには、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● お預かりセンターに接続中に電話やプッシュトークが着信した場合の動作は次のとおりです。
  - 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
  - メモリ別着信拒否、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
  - 着もじは受信しません。
  - プッシュトークの場合は、ｉ モード中プッシュトーク着信が「プッシュトーク着信優先」の場合のみ着信します。お預かりセンターとの通信は切断されます。

● 電話帳お預かりサービスの設定により、自動更新が行えます。ただし、自動更新時に他の機能を実行している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。電源が入っていないときや圏外にいるときなどは自動更新されません。
自動更新が完了したかは、通信履歴でご確認ください。

● 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。

● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

通信履歴を確認する

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。

- 履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 Menu▶LifeKit▶6 2▶履歴を選び●

電話帳の画像を送信するかを設定する

電話帳に登録されている画像をお預かりセンターに送信するかを設定します。

1 Menu▶LifeKit▶6 3▶電話帳内画像送信欄▶1～2▶m

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信時などの動作を設定する

電話着信時の動作を設定する　電話着信設定／テレビ電話着信設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶5～6▶12▶各項目を設定▶[m]

着信音：
着信音を設定。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：
着信時に表示する画像を設定。
- 「イメージ」または「ｉ モーション」を選択したときは、画像を設定します。

バイブレータ：
着信時の振動を設定。

イルミネーション：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定。
- 点灯パターンを「メロディ連動」にすると照明の色は設定できません。

- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

プッシュトーク着信時の動作を設定する　プッシュトーク着信設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶621▶各項目を設定▶[m]

着信音：
着信音を設定。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

バイブレータ：
着信時の振動を設定。

着信イルミネーション：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定。
- 点灯パターンを「メロディ連動」にすると照明の色は設定できません。

メール着信時の動作を設定する　メール着信設定

1 [✉]011▶各項目を設定▶[m]

着信音選択：
着信音を設定。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

着信イルミネーション設定：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定。
- 点灯パターンを「メロディ連動」にすると照明の色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定。

鳴動時間（秒）：
着信音などを鳴動させる時間を設定（1～30秒）。

チャットメール着信時の動作を設定する　チャットメール着信設定

チャットメールを起動していない場合の着信動作を設定します。

1 [✉]014▶各項目を設定▶[m]

着信動作設定：
着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定。
- 「設定する」にすると、以下の項目を設定できます。

着信音選択：
着信音を設定。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

着信イルミネーション設定：
着信時の決定キーの照明の点灯パターンと色を設定。
- 点灯パターンを「メロディ連動」にすると照明の色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定。

鳴動時間（秒）：
着信音などを鳴動させる時間を設定（1～30秒）。

メッセージR/F着信時の動作を設定する
メッセージR/F着信設定

1 ✉0 1 ▶ 2 ～ 3 ▶ **各項目を設定** ▶ ✉

- 各項目☛P90「メール着信時の動作を設定する」

トルカ取得時の動作を設定する
トルカ取得確認設定

読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

1 Menu ▶ **おサイフケータイ** ▶ 5 1 ▶ **各項目を設定** ▶ ✉

イルミネーション設定：
トルカ取得時に決定キーの照明を点滅させるかを設定。
イルミネーションカラー：
決定キーの照明の色を設定。
トルカ取得音量：
トルカ取得時に鳴る音の音量を設定。
- 音量の調整方法☛P94

GPS測位時の動作を設定する　測位動作設定

例　現在地確認の測位動作を設定するとき

1 Menu ▶ **LifeKit** ▶ 7 4 3

■ **現在地通知の測位動作の設定：** Menu ▶ LifeKit ▶ 7 5 2 3

■ **位置提供の測位動作の設定：** Menu ▶ LifeKit ▶ 7 6 5 ▶ 1～2

2 **各項目を設定** ▶ ✉

鳴動音選択：
測位時の音を設定。
- 「メロディ」を選択したときは、音を設定します。
- 選択時にメロディを再生して確認☛P92

バイブレータ設定：
測位時の振動を設定。
鳴動時間（秒）：
音などを鳴動させる時間を設定（位置提供／毎回確認では0～20秒、それ以外では0～30秒）。
イルミネーション設定：
決定キーの照明の点灯パターンと色を設定。
- 「メロディ連動」は選択できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認では「OFF」も選択できません。

おしらせ

[共通]
- 480×864を超える画像や、320×240を超える動画／iモーションは設定できません。
- 本機能での設定内容は、音の設定（☛P91）、電話発着信画像設定の電話着信設定／テレビ電話着信設定（☛P101）、バイブレータ設定（☛P95）、イルミネーション設定（☛P108）、音量設定（☛P94）にもそれぞれ反映されます。

[電話着信設定／テレビ電話着信設定]
- イメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 着信音を変更した場合、イメージ表示が標準画像になることがありますが、画像は変更できます。
- イメージ表示を変更した場合、着信音がお買い上げ時の状態に戻ることがありますが、メロディは変更できます。
- 動画／iモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／iモーションは設定できません。

[プッシュトーク着信設定]
- プッシュトーク着信音に設定する動画／iモーションには、音声のみの動画／iモーションのみ設定できます。

FOMA端末から鳴る音を変える　音の設定

電話やプッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fなどを受信したときに鳴る音を設定します。また、目覚まし音やスケジュール音、さまざまな操作をしたときの確認音などを設定します。

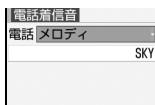
- 他の音などを設定するには、以下を参照してください。
  - ・充電確認音☛P96
  - ・応答保留ガイダンス☛P56
  - ・通話保留音☛P56
  - ・通話品質アラーム音☛P96
  - ・再接続アラーム音☛P52
  - ・電池アラーム音☛P37

着信音を設定する
電話着信音／メール・メッセージ着信音

• 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション・着うた®）。

1 Menu▶設定／NWサービス▶1 1▶1〜2▶着信音の種類を選び●

■ 発番号なし動作設定：Menu▶設定／NWサービス▶1 1 1 4▶端末暗証番号を入力
• 以降の操作は「電話番号が通知されないときの着信動作を設定する」の操作2以降と同じです。☛P125

2 各項目を設定▶📖

• 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
• メール・メッセージ着信音の鳴動時間の設定：鳴動時間（秒）欄▶時間を設定（1〜30秒）
• 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
• チャットメール着信音を「メール連動」にすると、メール着信音の設定に従います。

メロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには

● メロディ一覧でメロディを選び📖を押すと再生できます（一覧の見かた ☛P287）。再生中は次の操作ができます。
• 音量調整※1：◎
• 前後のメロディの再生：◎
• メロディ一覧に戻る：クリア
• メロディの選択：●

● 動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションを選び📖を押すと再生できます（一覧の見かた☛P279）。Menuを押すと詳細情報を確認できます。再生中は次の操作ができます。
• 音量調整※1：◎
• 一時停止／再生：●
• 停止（動画／ｉモーション一覧に戻る）：📖／クリア
• 早送り再生：◎
• 巻戻し再生：◎
• チャプター戻し：4
• チャプター送り：6

ただし、動画／ｉモーションによっては早送り再生、巻戻し再生、チャプター戻し、チャプター送りができないことがあります。

※1：再生時の音量はメロディまたはｉモーションの動作設定に従います。音量を調整するとメロディまたはｉモーションの動作設定（☛P288、P280）にも反映されます。着信音量には連動しません。

音楽データを設定するには

音楽データを設定する方法には、まるごと設定とオススメ設定があります。まるごと設定では、音楽データ全体を設定します。オススメ設定では、音楽データのあらかじめ決められている一部分を設定します。

● WMAファイル、部分保存した音楽データは設定できません。
● 音楽データによっては設定できないものや、まるごと設定とオススメ設定の一方しかできないものがあります。詳細情報で確認できます。

① ミュージック▶フォルダを選び●
• 「ミュージック」を選択しても、フォルダ一覧が表示されないときは、メロディ欄を選択してください。

② 音楽データを設定
• 詳細情報の確認：音楽データを選びMenu

■ まるごと設定：音楽データを選び●

■ オススメ設定：音楽データを選び✉▶再生箇所を選び●

■ 再生して確認：
• 音楽データ全体の再生：音楽データを選び📖
• オススメ設定の再生箇所の再生：音楽データを選び✉▶再生箇所を選び📖
• 音楽データ一覧の見かた☛P324
• 再生中は次の操作ができます。
・音量調整※1：◎
・一時停止／再生：●
・停止（音楽データ一覧／再生箇所一覧に戻る）：クリア
・早送り：◎（1秒以上）
・巻戻し：◎（1秒以上）

※1：再生時の音量はミュージックプレーヤーの動作設定に従います。音量を調整するとミュージックプレーヤーの動作設定にも反映されます。着信音量には連動しません。

■ microSDメモリーカード内の音楽データの設定：
まるごと設定またはオススメ設定をしようとすると確認画面が表示されます。
• FOMA端末に移動して設定するかの確認画面が表示されたとき：はい
音楽データがFOMA端末に移動されます。
• ｉモーションに切り出して設定するかの確認画面が表示されたとき：はい▶表示名を入力▶📖
着信音に設定する部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末に保存されます。

着信音などに設定できるメロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。

- □のメロディは3Dサウンドに対応しています。
- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲名（【　】内は作曲者）	
パターン1～5	電話・メロディ A～C
電話・黒電話	電話・女性ボイス
メール・メロディ A～C	メール・女性ボイス
メール・英語ボイス	アラーム・メロディ
アラーム・アナログ時計	アラーム・女性ボイス
スライド･オープン音1～3	スライド･クローズ音1～3
保留音・ボイス	Vivaldism
交響曲第25番ト短調K.183より第1楽章【MOZART WOLFGANG AMADEUS】	
口笛吹きと犬【PRYOR ARTHUR】	
凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】	
SKY	Lover
Lively Tone	Early Reflection
Swing Road	Kick It Up!
サイレント	

- 作曲者名は JASRAC ホームページに準拠して表記しています。

着信時の動作について

■ 着信音の優先順位について

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で鳴ります。

①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④音の設定／Bナンバー着信設定

- プッシュトークの着信音は、音の設定に従います。
- 発信者番号の通知がなかった場合☛P125

■「着モーション」に設定する動画／ｉモーションの種類と着信画像

設定する動画／ｉモーション	表示される着信画像
音声のみ※1	電話着信設定／テレビ電話着信設定のイメージ表示に従います。着信音を変更した場合に、イメージ表示が標準画像になることがありますが、画像は変更できます。
音声と映像あり	着信画像は動画／ｉモーションの映像になります。※2

※ 1：歌手の歌声など、映像のないｉモーション。
※ 2：電話帳など優先順位の高い機能で着信画像を設定していても、着信音が音声と映像のある動画／ｉモーションの場合は同様になります。
着信画像の優先順位について☛P101

おしらせ

- 次の動画／ｉモーションや音楽データは、着信音に設定できません。
  - 映像のみの動画／ｉモーション
  - 詳細情報（☛P302）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーション
  - 詳細情報（☛P327）のまるごと着信音設定とオススメ着信音設定が「不可」になっている音楽データ
- プッシュトークの「着モーション」には音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など、映像のないｉモーション）のみ設定できます。
- 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
  - 電話着信設定、テレビ電話着信設定☛P90
  - プッシュトーク着信設定☛P90
  - メール着信設定☛P90
  - チャットメール着信設定☛P90
  - メッセージR/F着信設定☛P91
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすようにする☛P362

アラーム音を設定する

目覚まし音やスケジュール音、ワンセグ予約アラーム音を設定します。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 4 ▶ 1～3 ▶ **各項目を設定** ▶ (□)

- 音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
- 音楽データの設定☛P92
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104

操作確認音を設定する

キー確認音やスピードセレクター音を設定する

- キー確認音を変更すると電池レベル表示時の確認音も変更されます。
- 次のキーを押したときは鳴りません。
  - TV/◎　・ (サイドキー)　・ (Oキー)

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 5 ▶ 1～2 ▶ 1～4

おしらせ

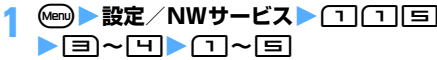
- キー確認音が「OFF」の場合、次の音は鳴りません。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信、iC通信、データ送受信時の通信終了音
- キー確認音やスピードセレクター音を「OFF」以外にしても、次の場合は鳴りません。
  - マナーモード中（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音やスピードセレクター音が「OFF」以外の場合は鳴ります）
  - プロテクトキーロック中（ディスプレイの表示が消えているときに、(終話)を押した場合は鳴ります）

・ｉアプリ実行中（マルチタスクの切り替え中や他の画面を表示中は鳴ります）
・動画撮影中
・サウンドレコーダー録音中
・ボイス認証中／認証用の音声録音中
・スピードメニューの音声認証中

● 本機能での設定内容は、初期設定にも反映されます。☛P38

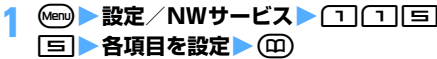
シャッター音を設定する

・動画撮影シャッター音を変更すると、サウンドレコーダーの録音確認音（シャッター音）も変わります。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 5 ▶ 3 ～ 4 ▶ 1 ～ 5

おしらせ

● シャッター音の音量は変更できません。
● 本機能での設定内容は、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定にもそれぞれ反映されます。☛P144

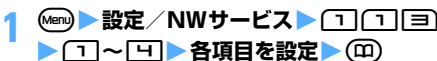
FOMA 端末を開閉したときに鳴る音を設定する　スライド音

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 5 5 ▶ **各項目を設定** ▶ (田)

スライドオープン：
　FOMA端末を開いたときに鳴る音を設定。
スライドクローズ：
　FOMA端末を閉じたときに鳴る音を設定。
・「メロディ」を選択したときは、スライド音を設定します。

おしらせ

● FOMA端末をすばやく開閉すると、スライド音は鳴らない場合があります。また、着信中や通話中、録音／録画中などは、FOMA端末を開閉してもスライド音は鳴りません。
● スライド音の音量は変更できません。
● 本機能での設定内容は、初期設定にも反映されます。☛P38

GPS測位時に鳴らす音を設定する

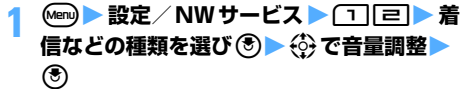
1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 3 ▶ 1 ～ 4 ▶ **各項目を設定** ▶ (田)

・「メロディ」を選択したときは、鳴動音を設定します。

おしらせ

● 本機能での設定内容は、現在地確認や現在地通知、位置提供の測位動作設定にも反映されます。☛P91

FOMA端末から鳴る音の音量を調整する　音量設定

・「Silent」（消音）、Level1～Level6の7段階で調整できます（着モーションも7段階になります）。
Steptone（消音→Level1→…→Level6で鳴る）も設定できます。
・受話音量は、消音に設定できません。
・受話音量、ｉアプリ音量、トルカ取得音量、メロディ音量は、Steptoneに設定できません。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 2 ▶ **着信などの種類を選び** ● ▶ ◎ **で音量調整** ▶ ●

・Steptoneに設定：Level6のときに、◎／◎
・消音に設定：Level1のときに、◎／◎

■ 各設定により音量が変更される音

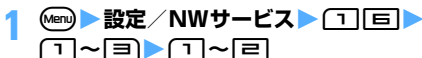
設　定	変更される音
電話着信音量	・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音 ・通話料金の上限通知アラーム ・電池レベル表示時の確認音
メール・メッセージ着信音量	メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音
GPS測位鳴動音量	GPS機能（現在地確認、現在地通知、位置提供）の測位時に鳴る音
受話音量	・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの受話音 ・キー確認音 ・スピードセレクターを回転したときの音 ・音声電話伝言メモ ・音声メモの再生音 ・画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音
目覚まし音量	・目覚まし音 ・お知らせタイマーのアラーム音
スケジュール音量	スケジュールのアラーム音
ワンセグ予約アラーム音量	ワンセグの予約スケジュールのアラーム音
ｉアプリ音量	ｉアプリから鳴る音
トルカ取得音量	トルカ取得時に鳴る音
メロディ音量	・メロディ再生時の音 ・メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音

おしらせ

● 電話着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に🅢が表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、🅢が表示されます。
● トルカ取得音量、メロディ音量の設定内容は、トルカ取得確認設定（☞P91）、メロディの動作設定（☞P288）にも反映されます。

ステレオ・3Dサウンドやサラウンドの効果を設定する ステレオ効果設定

動画／ｉモーションやメロディ、音楽データを再生する際のステレオ効果を設定します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶1 6▶1～3▶1～2

3Dサウンドとは

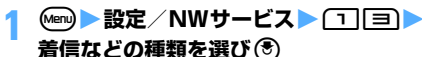
3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（または付属のステレオイヤホンなど）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。

本機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。
● 立体感の感じかたには個人差があります。

おしらせ

● 本機能での設定内容は、ｉモーションの動作設定（☞P280）、メロディの動作設定（☞P288）、ミュージックプレーヤーの動作設定（☞P330）にも反映されます。

着信やアラームを振動で知らせる バイブレータ設定

• バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがありますので、ご注意ください。

1 Menu▶設定／NWサービス▶1 3▶着信などの種類を選び⊙
• チャットメール着信設定の着信動作設定が「メール着信動作に従う」の場合は、チャットメール着信時を設定できません。

2 パターンを選び⊙
メロディ連動…メロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては振動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。
• 「パターンA」「パターンB」「パターンC」の振動パターンは、パターンを選ぶと確認できます。「メロディ連動」は選んでも振動しません。
• 電話着信時のバイブレータを設定したときは、待受画面に📳（電話着信音量が「Silent」（消音）のときは🅢）が表示されます。

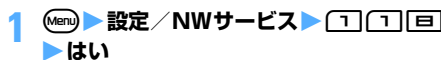
バイブレータの優先順位について

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位で振動します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③バイブレータ設定
● プッシュトーク着信時の振動は、バイブレータ設定に従います。

おしらせ

● 通話中に着信があった場合は振動しません。
● 「OFF」にしていても、Flash画像が動作しているときに振動する場合があります。
● 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
• 電話着信設定、テレビ電話着信設定☞P90
• プッシュトーク着信設定☞P90
• メール着信設定☞P90
• チャットメール着信設定☞P90
• メッセージR/F着信設定☞P91
• 現在地確認の測位動作設定、現在地通知の測位動作設定、位置提供の測位動作設定☞P91
• ｉアプリのバイブレータ設定☞P213

呼出音を変える メロディコール

呼出音をメロディに変更します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶1 1 8▶はい
サイトに接続します。

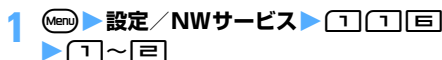
2 画面に従って呼出音の設定操作を行う
• 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

おしらせ

● 設定サイトはパケット通信料無料です。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。
● テレビ電話やプッシュトークから発信された場合は、メロディコールは流れません。

充電時の確認音を設定する　充電確認音

充電の開始／完了時に確認音を鳴らすかを設定します。

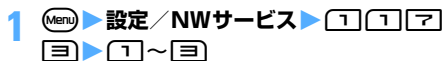
1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 6 ▶ 1～2

おしらせ

● 「ON」にしても、次の場合は、充電確認音は鳴りません。
- マナーモード中
- 公共モード（ドライブモード）中
- 音声電話通話中
- テレビ電話通話中
- プッシュトーク通信中
- 64Kデータ通信中
- ｉモード通信中
- パケット通信中

通話が切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム音

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れそうな場合、直前にアラームを鳴らします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れることがあります。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 1 7 3 ▶ 1～3

電話から鳴る音を消す　マナーモード

着信を振動で知らせたり、キー確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないようにします。

1 Menu **（1秒以上）／ # （1秒以上）**

マナーモード選択で指定したマナーモードが設定され、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- 解除するには、同様の操作を行います。

通常マナーモードにすると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

● 次の場合のバイブレータの動作は「パターン A」になります。
- 電話やプッシュトーク着信時、メール受信時など
- お知らせタイマーで指定した時間が経過したとき
- スケジュールで設定した日時になったとき

● 目覚ましで設定した時刻になったときのバイブレータの動作は、目覚ましの設定に従います。

● GPS測位中のバイブレータの動作は、バイブレータ設定に従います。ただし、GPS測位時に鳴動音を鳴らす設定にしている場合は、バイブレータ設定を「OFF」にしていても「パターンA」で動作します。

● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」にして送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません※1。

● メロディや音楽データ、Music&Video チャネルの番組の再生時には、確認画面で「はい」を選択すると再生されます。※1

● 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、確認画面が表示されます※1。「はい」を選択すると再生されます。映像のある動画／ｉモーションの場合「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。

● ワンセグ視聴時とビデオ再生時には、確認画面が表示されます。※1「はい」を選択すると音声が出力され、「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。

※ 1：スピーカー出力時のみ

おしらせ

● マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。

● 通話料金上限通知のアラームは、通常マナーモード中は鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。

マナーモードを変更する　マナーモード選択

マナーモードの動作を設定します。オリジナルマナーモードで動作させるときは、その動作内容を設定します。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 1 4

2 2

- 1 を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1つ前の画面に戻ります。

3 各項目を設定▶(m)

バイブレータ：
電話やプッシュトーク着信時、メール受信時などにバイブレータを動作させるかを設定。
ON…着信や受信をバイブレータ設定（☛P95）に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定が「OFF」の場合は「パターンA」で振動します。GPS測位時のバイブレータ設定が「OFF」の場合は、鳴動音を鳴らす設定にしているときだけ、測位中に「パターンA」で振動します。

キー確認音：
キー確認音を設定。

スピードセレクター音：
スピードセレクターを回転させたときに鳴る音を設定。

電話着信音量：
電話着信音量を設定。

メール着信音量：
メール着信音量を設定。

メロディ音量：
メロディ再生時の音量を設定。

トルカ取得音量：
読み取り機からトルカを取得したときに鳴る音の音量を設定。

GPS測位動作音量：
GPS測位鳴動音の音量を設定。

電池アラーム音：
電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかを設定。

目覚まし音：
目覚まし音やお知らせタイマーのアラームを鳴らすかを設定。
ON…目覚まし音は、目覚ましの設定に従って鳴ります。お知らせタイマーのアラームは、音量設定（☛P94）の目覚まし音量に従って鳴ります。

スケジュール音：
スケジュールのアラーム音を鳴らすかを設定。
ON…スケジュールの設定とスケジュール音量に従って鳴ります。

ワンセグ予約アラーム音：
ワンセグ予約アラーム音を鳴らすかを設定。
ON…ワンセグの予約スケジュールの設定とワンセグ予約アラーム音量に従って鳴ります。

ｉアプリ音：
ｉアプリの音を鳴らすかを設定。
ON…ｉアプリ音量に従って鳴ります。

マイク感度UP：
マイクの感度を上げるかを設定。

伝言メモ：
伝言メモを設定するかを設定。

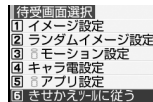
待受画面を変更する　待受画面設定

お好みの待受画面に変更します。

- テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」のとき、待受画面に動画／ｉモーションまたはキャラ電、ｉアプリを設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。☛P167
- 時計の表示の設定☛P109
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときの待受画面は、モード別待受画面設定に従います。☛P380
ただし、カスタム待受画面の設定は、2in1の設定に関わらず有効です。
- モーションコントロールにより、卓上ホルダ（別売）を使用して充電しているときなどはインテリア時計が表示されます。☛P339

画像・動画／ｉモーション・キャラ電を設定する

1 (Menu)▶設定／NWサービス▶(2)(1)(1)▶(1)／(3)／(4)

待受画面選択
1 イメージ設定
2 ランダムイメージ設定
3 ｉモーション設定
4 キャラ電設定
5 ｉアプリ設定
6 きせかえツールに従う

- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104

2 フォルダを選び(●)▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選び(●)

- 画像の確認：画像一覧で画像を選び(m)
画像表示画面で次の操作ができます。
  - ・前後の画像の表示：(↕)
  - ・画像一覧に戻る：(クリア)
  - ・画像の選択：(●)
- キャラ電の確認：キャラ電一覧でキャラ電を選び(m)
キャラ電表示画面で次の操作ができます。
  - ・全体アクションとパーツアクションの切り替え：(≤)
  - ・アクションの確認：(✉)▶アクションを選び(●)
  - ・拡大表示と等倍表示の切り替え：(↕)
  - ・キャラ電一覧に戻る：(●)／(クリア)
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認☛P92
- microSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、確認画面が表示されます。

■ キャラ電のアクションの設定：
①キャラ電一覧でキャラ電を選び Menu ▶ 通常欄 ▶ 1～4
・不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
・「全体アクション」または「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。ただし、キャラ電によっては選択できません。
・「直接入力」を選択した場合は、アクションに対応している数値を入力してください。
OFF…あらかじめ設定されている動作になります。
②アクション間隔欄 ▶ 1～6
OFF…1回のみ選択したアクションが動作します。
③ 📖

3 はい

・選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、確認画面で「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示します。
・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかの確認画面が表示されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには

● 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
・再生：⌒／FOMA端末を開く
・停止：クリア／FOMA端末を閉じる／⌒
・音量調整：◎
● アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像の場合は次の操作ができます。
・再生：FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる
・一時停止／再生：⌒
・停止：FOMA端末を閉じる
● キャラ電の場合は次の操作ができます。
・再生：クリア／FOMA端末を開く
・停止：クリア／FOMA端末を閉じる／⌒

おしらせ

● オールロック中やパーソナルデータロック中（パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合）、おまかせロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定したデータが表示されます。
● 画像や動画／ｉモーションによっては設定できない場合があります。また、以下は設定できません。
・320×240を超える動画／ｉモーション
・再生回数や再生期限などの制限が設定されている動画／ｉモーション
・音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など、映像のないｉモーション）
・ワンセグ視聴で録画したビデオや静止画
● 待受画面を表示すると、Flash画像やアニメーションは、一定時間再生後に停止します。
● アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
● キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位で動作します。
①不在着信、未読メール
②通常
・不在着信と未読メールの両方が設定されている場合に、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。ただし、アクション間隔が「OFF」の場合は、不在着信のアクションが1回だけ動作します。

画像をランダムに表示する　ランダムイメージ設定

指定したタイミングで、待受画面に画像をランダムに表示できます。
・表示できるのは、JPEG形式とGIF形式（アニメーションを除く）の画像です。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 2 1 1 2

2 各項目を設定

フォルダ：
画像が保存されているフォルダをマイピクチャ内から選択。
・表示できる画像がないフォルダは選択できません。
切替設定：
画像を切り替えるタイミングを設定。
15秒毎…待受画面に戻ってから15秒毎に切り替わります。
1分毎／15分毎／1時間毎…時計に従って切り替わります（たとえば「1分毎」にすると、毎分0秒に切り替わります）。
日替り…毎日0時に切り替わります。
スライドオープン…FOMA 端末を開いたときに切り替わります。
スピードセレクター…スピードセレクターを回転させたときに切り替わります。

3 Ⓜ▶はい

- スピードセレクター設定の設定内容によっては、切替設定を「スピードセレクター」にすると、スピードセレクター設定の待受起動機能を解除するかの確認画面が表示されます。
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- スピードセレクター設定のスピードセレクターが「OFF」の場合は、切替設定を「スピードセレクター」にできません。
- 電源が入っていない場合、画像は切り替わりません。
- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動や削除などして表示できる静止画がなくなると、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージ設定は解除されます。ただし、現在表示中の画像は、次の画像に切り替わるタイミングまで表示されていることがあります。
- 切替設定を「スライドオープン」にしていても、FOMA端末の開閉をすばやく繰り返すと、画像が切り替わらない場合があります。また、「スピードセレクター」にしていても、スピードセレクターを速く回転させると、画像が切り替わらない場合があります。

ｉアプリ待受画面を設定する

- ｉアプリ待受画面は、待受画面選択の他の設定と同時に設定できます。同時に設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 1 1 5

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 ｉアプリを選び●▶はい

待受画面にｉアプリ待受画面が設定され、[icon]または[icon]が表示されます。

- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは、確認画面が表示されます。

おしらせ

- パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」の場合）は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。ただし、パーソナルデータロック中の場合、パーソナルデータロックの対象となっているデータを設定していたときは、お買い上げ時の待受画面が表示されます。オールロック中やおまかせロック中は、お買い上げ時の待受画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面の操作☛P221

待受画面の表示をカスタム設定する

カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面上に情報エリアを設定して（カスタム待受画面）、[key]を押すことで表示／非表示を切り替えられます。

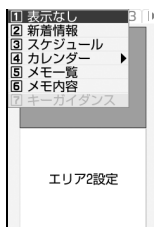
- 設定した情報は、待受画面に画像を設定している場合、画像に重ねて表示されます。待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電、ｉアプリ待受画面が設定されている場合は表示されません。

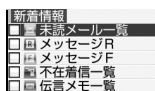
1 Menu▶設定／NWサービス▶2 1 5

2 1

- 2を押すと解除され、1つ前の画面に戻ります。

3 ◎でパターンを切り替え

4 エリアを選び●▶1～7

- カレンダーやキーガイダンスは、エリアの大きさによっては設定できません。

■ 新着情報の設定：エリアを選び●▶2▶情報を選び●▶Ⓜ

■ カレンダーの設定：エリアを選び●▶4▶1～4

- エリアの大きさにより、表示できる月数が異なります。

■ メモ内容の設定：
①エリアを選び●▶6
②メモを選び●

- メモを選びⓂを押すとメモの内容が表示されます。クリアを押すとメモ一覧に戻ります。テキストメモ参照画面で●を押しても設定されます。

■ 全エリアの表示項目のリセット：Menu▶はい

5 Ⓜ▶はい

カスタム待受画面の情報を確認する

1 ●

選ばれたエリアがカーソル枠で囲まれます。

- カスタム待受画面の情報が表示されていないときは、待受画面で を繰り返し押して表示させてから●を押します。

2 でカーソル枠を移動▶エリアを選び●

各情報の表示内容について

カレンダー／待受カスタマイズで設定した各種情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

新着情報で設定している項目が、新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

未読メール一覧：
受信日時と題名の先頭部分が表示されます。

メッセージR／ メッセージF：
受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。

不在着信一覧：
着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。

伝言メモ一覧：
録音／録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。

■ スケジュール

開始日時になっていないスケジュールが日時順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。

- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールのアイコンは になります。
- 終日に設定したスケジュールの開始日時は、当日の場合「終日」と表示されます。

■ カレンダー

当日は黄色で表示　ドット

カレンダーが表示されます。エリア内のカレンダーを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

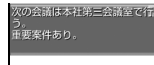
- 休日と祝日が赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールが「認証後に表示」の場合）、パーソナルデータロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは日付の右上にドットが表示されます。ただし、すべてのスケジュールにシークレット属性を設定している場合は、プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」の場合）は表示されません。また、プライバシーモード中（スケジュールが「認証後に表示」の場合）、パーソナルデータロック中は表示されません。

■ メモ一覧

状態アイコン☛P356

テキストメモに登録されている順番に内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモ一覧が表示されます。

- 完了状態別表示設定で表示対象になっているメモのみ表示されます。

■ メモ内容

設定したメモの内容が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ キーガイダンス

パターン3のエリア1設定に設定した場合

待受画面で 、 、 、 に割り当てられている機能のマークが表示されます。
エリアを選択すると、 でキーガイダンスを非表示にできる旨のメッセージが表示されます。

電話発着信時の画像を変更する
電話発着信画像設定

発信時の画像を変更する
電話発信設定／テレビ電話発信設定

音声電話やテレビ電話の発信時に表示される画像を設定します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 3 2▶1／3

2 イメージ表示欄▶1～2▶m
- 「イメージ」を選択したときは、画像を設定します。
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104

発信画像の優先順位について
複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で表示されます。
① FOMA端末電話帳の設定（人物画像表示設定が「ON」のときに有効）
② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③ 電話発着信画像設定（電話発信設定／テレビ電話発信設定）

おしらせ
- パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 480×864を超える画像は設定できません。
- ワンセグ視聴で録画したビデオや静止画は、設定できません。

着信時の画像を変更する
電話着信設定／テレビ電話着信設定

音声電話やテレビ電話の着信時に表示される画像を設定します。
- 電話番号が通知されない音声電話着信時の画像の設定☛P125

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 3 2▶2／4

2 イメージ表示欄▶1～3▶m
- 「イメージ」または「ｉモーション」を選択したときは、画像を設定します。
- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104
- 着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定していると「着信音連動」になります。
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

着信画像の優先順位について
複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で表示されます。ただし、着信画像を設定していても、着信音が音声と映像のある動画／ｉモーションのときは、着信音の動画／ｉモーションの映像が表示されます。
① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳の設定（人物画像表示設定が「ON」のときに有効）
③ FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④ 電話発着信画像設定（電話着信設定／テレビ電話着信設定）
- 発信者番号の通知がなかった場合☛P125

おしらせ
- 注意事項については、「着信時などの動作を設定する」のおしらせをご覧ください。☛P91
- 本機能での設定内容は、発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にもそれぞれ反映されます。☛P90

発着信時に電話帳に設定した画像を表示する
人物画像表示設定

音声電話やテレビ電話の発着信時に、電話帳に設定している画像を表示します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 3 2 5▶1～2

メール送受信時や問合せ時の画像を変更する
メール送受信画像設定

ｉモードメールなどの送信時や受信中、受信結果画面の画像を設定します。また、ｉモード問合せやSMS問合せ時の画像を設定します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 3 3▶1～4

2 画像を設定
- 操作方法は
☛P101「着信時の画像を変更する」操作2
☛P101「発信時の画像を変更する」操作2

ディスプレイとキーの照明を設定する

照明設定

点灯時間を設定する

ディスプレイは、点灯するとより明るくなります。

1 Menu ▶**設定／NWサービス**▶2 4 1 ▶1～7

2 **点灯時間を選び**●

端末設定に従う…通常時で設定した点灯時間に従って点灯します。

常時／常灯…ディスプレイ照明設定で設定した明るさで常にディスプレイが点灯します。ただし、ACアダプタ接続時は「高輝度」で点灯します。

- ｉアプリを「ソフトに従う」にするとｉアプリに従って点灯します。

キーの照明を設定する

キー部分を点灯させるかを設定します。

- スピードセレクターは点灯しません。

1 Menu ▶**設定／NWサービス**▶2 4 2 ▶1～3

AUTO…キーを押したときに、周囲の明るさに合わせて点灯／消灯します。

ON…ディスプレイの照明に連動して点灯／消灯します。

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明の明るさを設定します。

1 Menu ▶**設定／NWサービス**▶2 4 3 ▶**各項目を設定**▶(m)

明るさWコントロール：

周囲の明るさや表示している画面に合わせて、ディスプレイの明るさを自動的に調整するかを設定。

AUTO（低輝度）…やや暗めの明るさまでの範囲で自動調整します。

AUTO（標準）…中程度の明るさまでの範囲で自動調整します。

AUTO（高輝度）…最大の明るさまでの範囲で自動調整します。

輝度：

明るさを自動調整しない場合に、明るさを設定。

おしらせ

- 点灯時間設定の通常時が「常時」以外の場合、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消え、省電力の状態になります。キー操作※1をしたり（ただし、スピードセレクターの回転操作を除く）、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。ただし、次の場合などは省電力の状態になりません。
  - テレビ電話通話中
  - カメラの撮影画面表示中や撮影中
  - ワンセグ視聴中やビデオ再生中
  - 点灯時間設定の AC アダプタ接続時を「常灯」にして充電中
  - 点灯時間設定を「常灯」にした機能の実行中

  ※1：(鍵)を押しても、ディスプレイは表示されません。また、通話中以外の場合は、キーを押しても数字などは入力されません。
- ｉアプリによっては「ｉアプリ」を「端末設定に従う」にしても、端末設定に従わない場合があります。
- キーの照明やディスプレイの照明を自動的に切り替えるようにしていても、次の場合は、正常に動作せず、ちらつきなどが発生する場合があります。
  - 照度センサーに傷がついたり、異物が付着している場合
  - 照度センサーが覆われたり、影になったりした場合
  - 周囲の明るさが安定しない場合
  - 照明器具や日光などの光源に対し、照度センサーの向きが急に変わった場合
- キーの照明やディスプレイの照明を自動的に切り替えるようにしていても、光源によっては明るさを正しく検知できず、正常に動作しない場合があります。
- ワンセグ視聴中の画面の照明設定について☛P261
- 本機能の点灯時間設定での設定内容は、ｉモードの照明設定（☛P162）、静止画詳細設定（☛P144）、動画／録音詳細設定（☛P144）、ｉモーションの動作設定（☛P280）、ｉアプリの照明設定（☛P213）にもそれぞれ反映されます。また、ｉモーションの設定内容は、Music&Videoチャネルの照明設定にも反映されます。☛P319

画面のカラー配色を変更する

カラーテーマ設定

画面の背景や文字など画面の各部の色が変わります。

1 Menu ▶**設定／NWサービス**▶2 3 1 ▶**配色を選び**●

- 24種類から選択できます。色名はイメージです。

表示するメニューを設定する

表示メニュー設定

待受画面でMenuを押して表示されるメニューを、きせかえメニュー／ベーシックメニュー／セレクトメニューから選択できます。
• セレクトメニューについて☞P348

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 2 1 ▶1～3

■ お買い上げ時に登録されているベーシックメニューのデザイン

きせかえツールのシンプルメニューにしたときは

- メニュー番号が異なります。メニュー一覧について☞P408
- 呼出中や通話中に、受話音量の調整方法が表示されます。
- 電話番号を入力すると、次に行う操作方法が表示されます。
- 待受画面でメモリ番号（1～9）を入力すると、登録されている名前と電話番号が表示されます。また、音声電話やテレビ電話をかけるキー操作が表示されます。音声電話通話中にMenuを押し「ダイヤル入力」を選択してメモリ番号を入力した場合も同様に表示されます。

おしらせ

- メニュー画面からの操作：Menu▶表示メニュー設定

ベーシックメニューのデザインを変更する

ベーシックメニューのアイコンや背景画像を変更できます。
• 設定する画像のサイズにより、アイコンは192×192、背景画像は480×704に拡大／縮小して表示されます。

1 ベーシックメニューを表示▶Menu 2

2 機能を選び◉▶フォルダを選び◉▶画像を選び◉

■ メニューアイコンの解除：アイコンを選びMenu 1▶はい
• 全件解除：Menu 2▶はい

3 ✉▶フォルダを選び◉▶画像を選び◉

■ 背景の解除：Menu 4▶はい

4 📖

• 表示メニュー設定が「ベーシックメニュー」以外の場合は、確認画面で「はい」を選択するとベーシックメニューに変更されます。

おしらせ

- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像、480×864を超える画像は設定できません。また、アニメーションを設定すると最初のコマが表示されます。

きせかえメニューの機能を変更する

きせかえメニューの1階層目の機能を変更できます。
• きせかえメニューによっては変更できません。
• きせかえメニューによって、上書き登録や入れ替えできる項目が異なります。

1 きせかえメニューを表示▶メニュー項目を選ぶ

2 それぞれの操作を行う

■ 機能の上書き：Menu 2▶登録するメニュー項目を選び📖
• 2階層目まで選択できます。
• 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するキーを押すか、メニュー項目を選択すると登録できます。

■ 機能の入れ替え：Menu 3▶入れ替え先のメニュー項目を選び◉

メニュー操作履歴をリセットする

きせかえメニューの使用回数・使用日時がリセットされます。

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 2 3 1▶はい

おしらせ

- きせかえメニュー画面からの操作：Menu 4 1

お買い上げ時のメニューに戻す

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 2 3 2 ▶端末暗証番号を入力▶はい

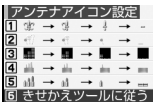
おしらせ
- ベーシックメニュー画面からの操作：Menu 3
- きせかえメニュー画面からの操作：Menu 4 2
- セレクトメニューもお買い上げ時の状態に戻ります。

電池残量のマークを変更する
電池アイコン設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 1 3▶ 1〜5

- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104

受信レベル表示のマークを変更する
アンテナアイコン設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶2 1 4 ▶1〜5

- 「きせかえツールに従う」にする場合は、きせかえツールを設定してください。☛P104

きせかえツールを利用する　きせかえツール

きせかえツールを設定すると、着信音や待受画面、メニューの表示などがまとめて変更されます。

- 変更される機能は、設定するきせかえツールによって異なります。きせかえツールに含まれない機能は、現在の設定を継続します。
- お買い上げ時は以下が登録されています。
  「i モード」フォルダ：
  ドコモダケ_D905i
  「プリインストール」フォルダ：
  ブライトルーム、アーバンスペース、カラーパターン、ピンクアイス、拡大メニュー、シンプルメニュー

きせかえツールを設定する

1 ◎ 7▶フォルダを選び◉

- i モードで探す☛P273

■ **設定内容のリセット：◎ 7▶Menu 6▶端末暗証番号を入力▶すべてリセット／メニュー画面のみ**
すべてリセット…きせかえツールの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
メニュー画面のみ…「きせかえメニュー」「ベーシックメニュー」「ベーシックメニュー（背景）」のみお買い上げ時の設定に戻ります。

2 **きせかえツールを選び** □ ▶**はい**

- 部分保存したきせかえツールを選び、◉、□、✉を押した場合、残りのデータをダウンロードするかの確認画面が表示されます。
- サムネイル表示とタイトル表示を切り替える：⇔
- 複数のきせかえツールを設定した場合、重複する機能には、最後に設定したきせかえツールのデータが設定されます。
- 文字サイズ設定によっては、メール・電話帳・発着信履歴などの文字サイズを変えるかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると文字サイズ設定の一括の設定が変更されます。
- きせかえツールによって変更された機能は「きせかえツールに従う」になります。ただし、カラーテーマ設定、フォント選択、ディスプレイ照明設定、時計表示設定は、きせかえツールに従った設定になります。

■ **きせかえツールで変更される画面や着信音など**

- 待受画面
- きせかえメニュー
- ベーシックメニュー
- ベーシックメニュー（背景）
- 電池アイコン
- アンテナアイコン
- 音声電話発信画面
- 音声電話着信画面
- テレビ電話発信画面
- テレビ電話着信画面
- メール送信画面
- メール受信中画面
- メール着信結果画面
- センター問合せ画面
- 音声電話着信音
- テレビ電話着信音
- プッシュトーク着信音
- メール着信音
- チャットメール着信音
- メッセージR着信音
- メッセージF着信音
- 目覚まし音
- スクリーンテーマ※1
- 待受時計※2

※1：カラーテーマ、フォント、明るさWコントロール、輝度のすべて、または一部が設定されます。
※2：時計のデザイン、形式、曜日、表示位置が設定されます。

きせかえツールのフォルダ

フォルダ	保存データ
iモード	iモードでダウンロードしたきせかえツール、お買い上げ時に内蔵されているきせかえツール
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているきせかえツール

- フォルダを作成できます。☛P300

きせかえツール一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

きせかえツール一覧

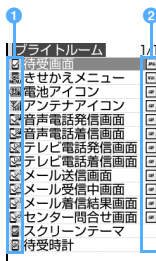
❶ 取得元
- ：iモード
- ：iモード（標準フォント対応）
- ：iモード（大きめフォント対応）
- ：プリインストール（標準フォント対応）
- ：プリインストール（大きめフォント対応）

❷ 設定状態・ファイルの種類
- （青）：設定しているきせかえツール（最後に設定したきせかえツール）
- （グレー）：設定しているきせかえツール
- （黒）：設定していないきせかえツール
- ：部分保存したきせかえツール
- ：FOMAカード動作制限で利用できないきせかえツール

❸ ファイル制限
：ファイル制限あり　　：ファイル制限なし

- 「iモード」フォルダには、「iモードで探す」が表示されます☛P273
- サムネイル表示では、プレビュー画像がないきせかえツールは、FOMAカード動作制限機能が設定されているきせかえツールは、部分保存したきせかえツールはで表示されます。

■ **プレビュー画面の表示：きせかえツールを選び**

■ **きせかえツールで設定される内容の確認：**
① **きせかえツールを選び**

内容一覧

❶ **設定状況**
- 現在設定されているデータには、チェックがついています。

❷ **ファイルの種類**
JPG：画像（JPEG）　GIF：画像（GIF）
：Flash画像　VUI：きせかえメニュー
MP4：動画　SMF：メロディ（SMF）
MFi：メロディ（MFi）
表示なし：スクリーンテーマ、待受時計

② **項目を選び**
画像が表示されたり、メロディなどが再生されます。また、スクリーンテーマや待受時計の情報も表示されます。

■ **設定解除：きせかえツールを選び Menu 3 1 ▶ はい**
- 複数解除：Menu 3 2 ▶ きせかえツールを選び ▶ ▶ はい
- 全件解除：Menu 3 3 ▶ はい

おしらせ

- プレビュー画面、内容一覧画面からきせかえツールを設定する操作：
- 次の操作で、きせかえツールを表示したときは、設定と内容一覧の表示など、一部の操作しかできません。メニュー画面から操作した場合、お買い上げ時に「プリインストール」フォルダに登録されているきせかえツールを設定したときは、確認画面で「メニューのみ」を選択すると、メニューのみを設定できます。
  - Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 3 1
  - きせかえメニューやベーシックメニュー画面で Menu 1
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- きせかえメニューによっては、待受画面で や を押したときの動作が通常と異なる場合や、メニューのショートカット操作ができない場合があります。
- 2in1がデュアルモードやBモードのときの待受画面やBナンバーの音声電話着信音、テレビ電話着信音は変更されません。メニュー画面や電池アイコン、アンテナアイコン、標準フォント／大きめフォントの設定は、他のモードにも反映されます。

● きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、ベーシックメニューに切り替えるか（☛P103）、メニュー操作履歴をリセット（☛P103）してください。

画面をカスタマイズする
トータルカスタマイズ

メニューデザインや待受画面などを変更して、3種類のオリジナルのコーディネイトを作成できます。

1 **Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 3 2 ▶ 1 ～ 3**

■ **設定：一覧画面でタイトルを選び** 📖

2 **各項目を設定 ▶** 📖

タイトル：
全角10／半角20文字まで入力可。

メニューデザイン：
きせかえツールを選択。
- お買い上げ時に「プリインストール」フォルダに登録されているきせかえツールのみ選択できます。

カラーテーマ設定：
画面のカラー配色を設定。

待受画像設定：
待受画面に表示する画像（静止画、アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像）を設定。

待受時計／形式／表示位置／曜日：
待受画面に時計を表示するか、表示する時計のデザイン、形式（24時間表示／12時間表示）、表示位置、曜日の表示言語を設定。
- 詳しくは☛P109

電池アイコン：
電池残量のマークを設定。

アンテナアイコン：
受信レベル表示のマークを設定。

おしらせ

● 2in1がデュアルモードやBモードのときの待受画面は変更されません。

曜日や時間で待受画面やマナーモードなどを変更する
ライフスタイル設定

指定した時間に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを起動できます。
- 最大18件登録できます。

1 **Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 3 3 ▶ タイトルを選び** ●

設定中のライフスタイルには、タイトルの左に SET が表示されます。

■ **設定／解除：一覧画面でタイトルを選び Menu**
- 押すたびに設定／解除が切り替わります。

2 **各項目を設定 ▶** 📖

時刻：
切り替える時刻を24時間制で入力。

繰り返し：
切り替えの繰り返しの動作を設定。
- 「曜日指定」を選択した場合は「曜日選択」を選択し、曜日を選択して 📖 を押します。

タイトル：
全角10／半角20文字まで入力可。

トータルカスタマイズ：
トータルカスタマイズを変更するかを設定。
- 「変更する」を選択した場合は、トータルカスタマイズを選択します。設定や編集の操作については「画面をカスタマイズする」を参照してください。☛P106

マナーモード：
マナーモードを起動するかを設定。
ON…マナーモード選択で設定したマナーモードが起動します。

プライバシー：
プライバシーモードを起動するかを設定。
ON…プライバシーモード設定に従って起動します。
- プライバシーモードの解除はできません。

おしらせ

● iアプリ待受画面を設定しているときは、切り替えられません。
● 同じ時刻に複数のライフスタイルを設定している場合は、一覧画面の下にあるものから順に実行されます。
● 指定した時刻に電源が切れている場合や、オールロック中、おまかせロック中、他の機能が起動しているときは、本機能は動作しません。電源を入れたり、ロックを解除したり、待受画面を表示したりすると、まだ動作していないライフスタイル設定が順に動作します。
● 本設定とアラームを同時刻に設定した場合、アラームが動作した後に本機能が動作します。
● 2in1がデュアルモードやBモードのときの待受画面は変更されません。

マチキャラを設定する　マチキャラ設定

待受画面やサイト表示画面などにキャラクタを表示できます。

- FOMA端末の状況やマチキャラによって、マチキャラの動作や表示される大きさ、位置などが異なります。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 2 8 ▶ 各項目を設定 ▶ (m)

表示設定：
マチキャラを表示するかを設定。
- 「ON」を選択したときは、「マチキャラ選択」を選択し、マチキャラを設定します。

おしゃべりモード設定：
おしゃべりモードを開始できるようにするかを設定。

マチキャラを設定すると

● マチキャラを設定すると、以下の画面に表示されます。
- 待受画面
- サイト表示画面※1
- ベーシックメニュー／セレクトメニュー※2
- スピードメニュー（音声で呼び出す場合）

※ 1：ディスプレイが点灯し、が点滅している状態で約30秒間キー操作がないときに表示されます。
※ 2：3階層目以降のリスト表示の場合を除く

● 以下の場合は、マチキャラは表示されません。
- 待受画面にｉモーション、キャラ電、ｉアプリ、Flash画像を設定している場合の待受画面表示中
- カスタム待受画面表示中に各情報のエリアやフォーカスモードアイコンを選んでいるとき
- サイト表示画面にFlash画像が表示されているとき
- 日付・時刻を設定していないとき

おしらせ

● データBOXのマチキャラ一覧からの操作：マチキャラを選び (m)
● モーションコントロールにより、FOMA端末の向きを変えるとマチキャラが回転します。FOMA端末を振ったり向きを変えると特定の動きをするマチキャラもあります。☛P339

おしゃべりモードについて

おしゃべりモード中は、マチキャラが話したキーワードに反応します。

■ おしゃべりモード開始の条件と操作

次の条件をすべて満たしている状態で、いずれかの操作を行った場合に、おしゃべりモードが開始され、音声認識できる状態になります。

条件	• 待受画面表示中 • マチキャラ設定の表示設定とおしゃべりモード設定が「ON」の場合※1 • マチキャラが表示されている場合※2 • プロテクトキーロックが解除または一時解除されている場合
操作	(声)を押す※3／ディスプレイを2回タップする※4 ☛P337

※ 1：おしゃべりモードに対応したマチキャラを設定している場合のみ
※ 2：不在着信があることを示すマチキャラなどが表示されている場合や、表示中のマチキャラの大きさによっては不可
※ 3：フォーカスモードアイコンや待受カスタマイズが表示されている場合は、それらの選択操作が優先
※ 4：モーションコントロール設定のマチキャラが「ON」の場合のみ

■ 反応するキーワード

- どのキーワードに対応しているかは、マチキャラによって異なります。

おはよう	こんにちは	こんばんは
おやすみ	いってきます	おつかれさま
ばいばい	ひさしぶり	ラッキーくじ
げんき	さいきんどう	ねーねー
かわいい	かっこいい	あそぼう
なにしてるの	うごいて	がんばる
かなしい	むかつく	いたい
さむい	あつい	ねむい
だるい	すきだ	どうしよう
さびしい	つかれた	よっぱらった

■ おしゃべりモード終了の条件

- (声)を押した場合
- ディスプレイを2回タップした場合（モーションコントロール設定のマチキャラが「ON」の場合のみ）☛P337
- キーワードに反応したマチキャラが約30秒間表示されなかった場合
- おしゃべりモード開始の条件が1つでも満たされなくなった場合

おしらせ

● キーワードを話すときの留意事項☛P351

着信時などの点灯パターンと点灯色を設定する　イルミネーション設定

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 2 5 ▶ 1 ～ 5 ▶ **各設定欄** ▶ **パターンなどを選び** ● ▶ 田

- 通話中、現在地確認、現在地通知、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「メロディ連動」は設定できません。位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。
- 「メロディ連動」にするとイルミネーションカラーは設定できません。「レインボー」で点灯／点滅します。

イルミネーションの優先順位について

複数の機能でイルミネーションを設定している場合、次の優先順位で動作します。
①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③イルミネーション設定
● プッシュトークのイルミネーションは、イルミネーション設定に従います。

おしらせ

● イルミネーションパターンの選択画面で「メロディ連動」を選んだ場合は点滅します。
● チャットメール着信設定の着信動作設定が「メール着信動作に従う」の場合は、チャットメール着信を設定できません。
● イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、メロディによっては、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。
● ICカードを「ON」にしていても、おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、決定キーの照明が点灯しない場合があります。
● 電源が入っていない場合は、IC カードを「ON」にしていても、決定キーの照明は点灯しません。
● ICカードを「ON」にした場合、FeliCaマークを読み取り機にかざしたときに決定キーの照明が点滅します。おサイフケータイ対応ｉアプリが登録されていない読み取り機にかざしたときも、点滅します。
● スピードセレクターを「ON」にしても、通話中や充電中などを除き、決定キーの照明が点灯／点滅中はスピードセレクターの回転操作による点灯／点滅はしません。
● 本機能での設定内容は、次の設定にも反映されます。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定☛P90
- プッシュトーク着信設定☛P90
- メール着信設定☛P90
- チャットメール着信設定☛P90
- メッセージR/F着信設定☛P91
- トルカ取得確認設定☛P91
- 現在地確認の測位動作設定、現在地通知の測位動作設定、位置提供の測位動作設定☛P91
- メロディの動作設定☛P288

新着情報があるときに決定キーの照明を点滅させる　不在着信お知らせ

不在着信や未読メール、未読メッセージR/Fなどの新着情報があるときに決定キーの照明が約６秒ごとに１回点灯します。
- 新着情報を確認すると点滅は停止します。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 2 6 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

● 「ON」にしていても、次のような場合などは動作しません。
- 着信中
- 通話中
- 公共モード（ドライブモード）中
- オールロック中
- カメラ、サウンドレコーダー起動中

● 「ON」にした場合、最後の新着情報から約6時間経過したときや、待受画面の［不在着信 1］［メール 1］［メッセージ 1］を消去したときは、不在着信お知らせは停止します。
● イルミネーションの色は、イルミネーション設定に従います。
- 不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）：音声着信の設定
- 未読情報（メール／チャットメール／SMS）：メール着信の設定
- 未読情報（メッセージR／メッセージF）：メッセージR着信／メッセージF着信の設定

● 複数の新着情報があるときは、次の優先順位で動作します。
① 不在着信（音声電話／テレビ電話／プッシュトーク／伝言メモ）
② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
③ 未読情報（メッセージR）
④ 未読情報（メッセージF）

フォントを変える　フォント選択

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 2 7 2

2 **漢字／英数字欄** ▶ 1 ～ 2

3 **ひらがな／カタカナ欄** ▶ 1 ～ 2

4 田

おしらせ

● ｉアプリ、ｉモーションなど、一部の機能には本設定は反映されません。

文字の大きさを変更する　文字サイズ設定

文字入力の画面やメール詳細画面、サイト表示画面などの文字サイズを変更できます。文字サイズの種類は次のとおりです。

- 一括、メール編集／文字入力：6種類
- ｉモード、メール閲覧：5種類
- フルブラウザ：4種類
- 電話帳／履歴：2種類

1 **Menu ▶設定／NWサービス▶7 3▶1～6▶文字サイズを選び●**

- 一括の設定を変更した場合、個別の設定に該当するサイズが無いときは、最も近いサイズが設定されます。
  また、元の文字サイズと現在設定中のメニューの文字のサイズによっては、確認画面が表示され、「はい」を選択すると、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。

おしらせ

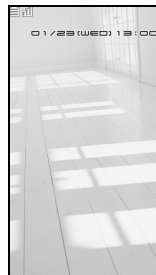
- インライン入力時の文字サイズは変更されません。
- デコメ絵文字の文字サイズは変更されません。
- サイトや画面メモ、フルブラウザの表示画面によっては、サイズが変わらない文字もあります。
- メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。設定内容は本設定のメール閲覧に反映されます。
- メール編集／文字入力の設定を変更すると、文字入力時に表示される予測変換候補やメール作成画面の文字サイズも変更されますが、設定によっては、それより大きい／小さい文字サイズで表示されます。

時計の表示を設定する　時計表示設定

待受画面の時計表示の有無や時計のデザインなどを設定できます。

- モーションコントロールにより、卓上ホルダ（別売）を使用して充電しているときなどはインテリア時計が表示されます。☛P339

■ **設定例**

「アナログ1」を中央部に表示

「デジタル1」を上部に、24時間で表示

「デジタル4」を下部に、12時間で表示

「世界時計」を中央部に、24時間で表示

1 **Menu ▶設定／NWサービス▶7 1 4▶各項目を設定▶(m)**

デザイン：
時計を表示するかを設定。
- 「ON」にしたときは、デザインを選択します。
- 「世界時計」を選択したときは、曜日は設定できません。

世界時計…上側には日本国内の日時を、下側には設定したタイムゾーンの日時と名称を表示します。

形式：
24時間表示と12時間表示のどちらで表示するかを設定。
- 「世界時計」は、設定に関わらず24時間表示になります。

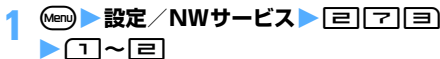
表示位置：
時計を表示する位置を設定。

曜日：
日本語と英語のどちらで表示するかを設定。
バイリンガルに従う…バイリンガルの設定に従って表示します。
世界時計：
デザインが「世界時計」の場合に、表示するタイムゾーンの選択やサマータイムを設定するかを選択。また、タイムゾーンの名称を選択。
- サマータイムを「ON」にすると、設定したタイムゾーンの時刻を1時間進めて表示します。

おしらせ

- 次の場合はデザインや表示位置の設定に関わらず、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- オールロック中やおまかせロック中は、本設定の表示位置の設定に関わらず、時計はディスプレイ上部に表示されます。
- サマータイム制度の有無や開始時期・終了時期は、国や地域によって異なります。目的の都市のサマータイム制度について確認のうえご利用ください。
- デュアル時計の設定について☛P396
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイの右上に時刻が表示されます。時刻の表示形式（24時間表示／12時間表示）は、本機能の設定に従います。

画面を英語表示に切り替える　バイリンガル

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶2 7 3▶1～2

おしらせ

- 設定内容は、FOMAカードに保存されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
☛P113

- 端末暗証番号の入力に5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録･削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は「ｉMenu」→「料金&お申込・設定」→「オプション設定」→「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
☛P114
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

- PIN1／PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定は、FOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コード

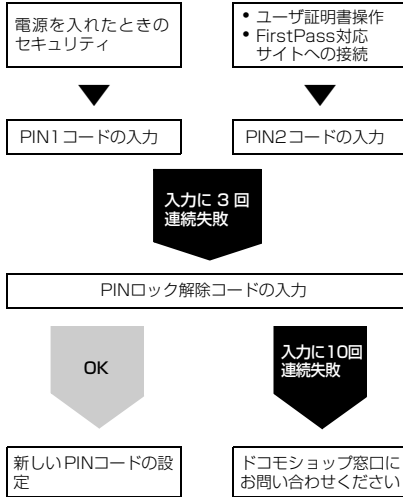
PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

PIN2コードの入力

PINロック解除コードの入力

新しいPINコードの設定

ドコモショップ窓口にお問い合わせください

端末暗証番号を変更する　端末暗証番号変更

- 端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶4 5▶現在の端末暗証番号を入力**

2 **新しい暗証番号欄▶新しい端末暗証番号を入力**

3 **新しい暗証番号（確認）欄▶操作2と同じ端末暗証番号を入力▶m**

PINコードを設定する

- PIN1／PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。

電源ON時にPIN1コードを入力するように設定する　PIN1コードON／OFF

- PIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードがロックされます。PIN1コードのロックを解除してください。解除方法は「PINロックを解除する」をご覧ください。☛P114

1 **Menu▶設定／NWサービス▶4 4 3▶1～2**

2 **現在の設定を変更する場合のみPIN1コードを入力**

- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コードON／OFFを「ON」にすると

電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

- 正しいPIN1コードを入力しないと、FOMA端末の操作ができません。

PIN1／PIN2コードを変更する

PIN1／PIN2コード変更

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFF機能を「ON」にしてください。

例　PIN1コードを変更するとき

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶4 4 1

■ PIN2コード変更：Menu▶設定／NWサービス▶4 4 2

2 **端末暗証番号を入力▶現在のPIN1コードを入力**

3 **新しいPIN1コード欄▶新しいPIN1コードを入力**

4 **新しいPIN1コード（確認）欄▶操作3と同じPIN1コードを入力▶**(m)

- 現在のPIN1コードの入力に3回連続して失敗すると、PIN1コードがロックされます。PIN1コードのロックを解除してください。解除方法は「PINロックを解除する」をご覧ください。☛P114

おしらせ

● PIN2コードの入力を3回連続失敗してPIN2コードがロックされた場合でも、電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信などは可能ですが、PIN1コードの入力を3回連続失敗してPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

例　PIN1コードのロックを解除するとき

1 **PINコードがロックされたら、確認画面で**(●)

2 **8桁のPINロック解除コードを入力**

3 **新しいPIN1コード欄▶新しいPIN1コードを入力**

4 **新しいPIN1コード（確認）欄▶操作3と同じPIN1コードを入力▶**(m)

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

各種ロック機能について

さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロック以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- おまかせロックとプロテクトキーロック以外のロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）は可能です。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	電源を入れる／切ると電話を受けるなど以外の操作をできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P115
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際に、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P116
セルフモード	電話やプッシュトークの発着信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。	P117
パーソナルデータロック	電話帳やスケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P117
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話やプッシュトークを発信できないようにします。	P118
プライバシーモード	個人情報を利用／表示するときの動作を設定します。	P119
着信／受信時動作設定	電話やメールの着信時などに、名前などを表示するかを設定します。	P122
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P123
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P232
電源OFF時ICロック設定	FOMA 端末の電源が切れている場合に、ICカード機能を利用できないようにします。	P234

他人が使用できないようにする
オールロック

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して [通話キー] を押します。このとき、緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロックを設定しても、IC カードロックは設定されません。両方設定するには、先にICカードロックを設定してから（☛P232）、オールロックを設定してください。
- オールロックを設定しても、FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックはかかりません。

1 **[Menu]▶設定／NWサービス▶[4][1][1]▶端末暗証番号を入力**

「オールロック中」と表示されます。

■ **解除：待受画面で端末暗証番号を入力**

オールロックを設定すると

- 次の機能以外は利用できません。
  - ・オールロックの解除　　・緊急通報
  - ・電話を受ける操作※1
  - ・ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - ・エリアメールの受信
  - ・読み取り機からのトルカの取得
  - ・GPS の位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信※3
  - ・ソフトウェアの自動更新
  - ・パターンデータの自動更新
  - ・電源を入れる／切るの操作、自動電源ON／OFF機能※4

  ※１：電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音は、お買い上げ時の状態になり、テレビ電話の代替画像は「標準画像」（カメラオフ画像）になります。着もじは受信できますが着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

  ※２：受信中の画面や受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。

  ※３：位置提供の要求者名は表示されません。

  ※４：電源を入れたときの初期設定画面は表示されません。
- 待受画面を設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。また、マチキャラは表示されません。
- 指定した日時になっても目覚ましやスケジュール、ワンセグの予約スケジュールは動作しません。

• プッシュトークを着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
• 不在着信お知らせは動作しません。
• 待受画面に i チャネルの情報はテロップ表示されません。
• 電話帳お預かりサービスをご利用の場合、FOMA 端末からの保存／更新／復元操作はできません。

おしらせ

● メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
● オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

おまかせロックを利用する　おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除できます。

• おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
• おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
• おまかせロック中も位置提供を許可する設定にしていると、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120－524－360　受付時間　24時間
• パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

• おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧ください。

おまかせロックを設定すると

「おまかせロック中です」と表示され、おまかせロックが設定されます。

• 音声着信／テレビ電話着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信を除いて、すべてのキー操作ができなくなり、各機能（ICカード機能を含む）を使用できなくなります。
• 音声着信／テレビ電話着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている相手の名前、画像は表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の着信画像や着信音は、お買い上げ時の状態になり、テレビ電話の代替画像は「標準画像」（カメラオフ画像）になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
• 着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
• GPSの位置提供の要求者名は表示されません。
• プッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。着信履歴には不在着信として記録されます。
• 受信したメールは、メールセンターに保管されます。
• 電源を入れる／切るの操作は可能ですが、電源を切ってもロックは解除されません。
• FOMA カードや microSD メモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

● 他の機能が起動中の場合でも起動中の機能を終了してロックをかけます。編集中のデータがある場合は、データを保存せずに、終了する場合があります。
● 他のロックがかかっていても、おまかせロックをかけることができます。
● 圏外やセルフモード中、電源が入っていない場合はロックがかかりません。
● デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
● おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
● おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

発信や着信ができないようにする　セルフモード

通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。

1 **クリア（1秒以上）▶はい**

セルフモードが設定され、待受画面にSELFが表示されます。

- 解除するには、同様の操作を行います。

セルフモードを設定すると

次の機能が利用できません。

- 電話やプッシュトークの発着信
- ｉモードの利用
- メールなどの送受信、メッセージR/Fの受信
- 赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン
- GPS機能（現在地通知先一覧への通知先の登録や編集、削除を含む）
- FMトランスミッターの利用
- 読み取り機からのトルカ取得
- パソコンと接続したパケット通信／64Kデータ通信

おしらせ

- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、発信者の画面には「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。
- セルフモード中に送られてきたｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ／SMS問合せをしてください。

電話帳やスケジュールなどを表示しないようにする　パーソナルデータロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否が「ON」のときは、本機能を設定できません。
- 本機能の設定よりも着信／受信時動作設定が優先されます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶4 1 2▶端末暗証番号を入力▶1～2**

パーソナルデータロックが設定されると、待受画面に🔒が表示されます。

パーソナルデータロックを設定すると

- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（きせかえメニューを設定していると、ベーシックメニューが表示されるようになります）。パーソナルデータロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。
- 次の操作（すべて、または一部の設定や機能）が利用できなくなります。ただし、FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックはかかりません。
  - ・メール※1／チャットメール※1／SMS※1／メッセージR/F※1
  - ・ｉモード問合せ　・ｉモード／フルブラウザ
  - ・ｉチャネル※2　・ｉアプリ
  - ・電話帳※3／プッシュトーク電話帳
  - ・伝言メモ※4／音声メモ（動画メモ）
  - ・データBOX（マイピクチャ、メロディなど）
  - ・赤外線通信／iC通信によるデータ送受信
  - ・バーコードリーダー／カメラ／サウンドレコーダー／ミュージックプレーヤー
  - ・Music&Videoチャネル※5
  - ・トルカ　・ICカード一覧
  - ・DCMX　・microSD
  - ・電話帳お預かりサービス
  - ・GPS※6　・スケジュール帳
  - ・テキストメモ　・目覚まし
  - ・電話着信音／メール・メッセージ着信音／GPS測位鳴動音／アラーム音／スライド音
  - ・メロディコール設定　・メロディ音量
  - ・発番号なし動作設定　・待受画面選択
  - ・テロップ表示設定
  - ・電話発着信画像設定（人物画像表示設定を除く）
  - ・メール送受信画像設定
  - ・テレビ電話画像選択※7・文字サイズ設定

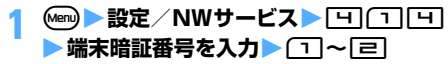
・マチキャラ設定※8
・きせかえ／ライフスタイル
・電話発信設定／テレビ電話発信設定
・電話着信設定／テレビ電話着信設定
・メモリ着信拒否／許可
・イヤホンスイッチ発信設定
・プッシュトーク着信設定
・通話料金上限通知　・各種設定リセット
・データ一括削除　・件数増加鳴動設定※9
・2in1設定
・マルチナンバーの電話番号設定、着信設定
・自局番号　・着もじ※10
・ワンセグ※11　・スピードメニュー
・メニュー設定のリセット
・ベーシックメニューのアイコン変更
・ｉモードで探す

※１：自動受信はできますが、受信中の画面や受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。メール送受信履歴からのメール作成はできません。
エリアメールは受信できますが、保存されたエリアメールの表示はできません。
※２：待受画面のテロップ表示もされません。
※３：発着信画面などに電話帳に登録されている相手の名前や画像は表示されず、電話番号やメールアドレスのみ表示されます。
※４：伝言メモ設定中でも、待受画面に▭や未再生の伝言メモのアイコンは表示されません。
※５：番組データは取得できますが、取得結果は表示されません。
※６：位置提供の要求を受けたときの操作と位置情報の送信はできます。ただし、位置提供の要求者名は表示されません。
※７：代替画像、応答保留画像、通話中保留画像は「標準画像」になります。
※８：マチキャラの表示もされません。
※９：通知音が鳴るように設定していても、通知音などによる通知は行われません。
※10：受信できますが、着信画面には表示されません。パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
※11：ビデオ録画成功／失敗のアイコンも表示しません。

ダイヤル発信を禁止する　ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話やプッシュトークを発信すること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- 電話帳／プッシュトーク電話帳からの発信はできます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶4 1 4▶端末暗証番号を入力▶1～2**

ダイヤル発信制限が設定されると、待受画面に▭が表示されます。

ダイヤル発信制限を設定するとできなくなる操作

- 着信履歴やリダイヤルからの発信※1
- 電話帳／プッシュトーク電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
- 自局番号の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データや自局番号の送受信
- メールやチャットメール、SMSの送信（メール送受信履歴からの送信も含む）※1
- メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
- テンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※2
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- 現在地通知の直接入力
- 現在地通知先の登録、編集、削除
- 位置履歴からの電話発信
- 電源を入れたときの初期設定
- パソコンとつないだパケット通信／64Kデータ通信

※１：電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。
※２：電話帳に登録しているメールアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成はできます。

個人情報の利用／表示時の動作を設定する　プライバシーモード

個人情報を利用するときに、端末暗証番号の入力が必要になります。また、シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、シークレット属性を設定した相手からの着信や送受信メールなどを非表示にします。

- 電話帳データのシークレット属性の変更や、電話帳データを編集した場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データの相手と送受信したメールなどは非表示になりません。非表示にするにはシークレット反映をしてください。☛P121
- プライバシーモード設定を有効にするには、プライバシーモードを起動してください。

プライバシーモードの動作を設定する　プライバシーモード設定

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 4 2 1

2 **端末暗証番号を入力** ▶ **各項目を設定** ▶ ⓜ ▶ ◉

- プライバシーモード中に、電話帳・履歴を「指定電話帳非表示」に変更した場合、シークレット反映をうながす旨のメッセージが表示されます。

電話帳・履歴：

認証後に表示…次の場合に、端末暗証番号入力を必要にします。
- 電話帳／プッシュトーク電話帳／リダイヤル／着信履歴／伝言メモ／音声メモの利用
- メールグループ／メール振り分け設定の表示
- チャットメールの起動

指定電話帳非表示…シークレット属性を設定した電話帳データやグループ（グループ内の電話帳データを含む）、シークレット属性を設定した相手が対象のリダイヤルや着信履歴、新着情報などを表示しません。また、メールグループの表示時に端末暗証番号入力を必要にします。

メール・履歴：

認証後に表示…次の場合に、端末暗証番号入力を必要にします。
- メールやメール送受信履歴などの利用
- 電話帳やスケジュールからのメール検索
- メールグループやメール振り分け設定の表示
- チャットメールの起動
- メール連動型 ｉ アプリのダウンロード／バージョンアップ／削除

指定フォルダを非表示…シークレット属性を設定したフォルダは表示されません。また、次の場合に、端末暗証番号入力を必要にします。
- メールグループやメール振り分け設定の表示
- チャットメールの起動

マイピクチャ、ｉモーション：

認証後に表示…表示する場合に端末暗証番号入力を必要にします。

スケジュール：

認証後に表示…表示する場合に端末暗証番号入力を必要にします。

指定スケジュール非表示…シークレット属性を設定したスケジュールを表示しません。

テキストメモ：

認証後に表示…表示する場合に端末暗証番号入力を必要にします。

ｉアプリ：

認証後に表示…次の場合に、端末暗証番号入力を必要にします。
- ｉアプリの利用／ダウンロード
- メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択

位置履歴（GPS）、画面メモ：

認証後に表示…表示する場合に端末暗証番号入力を必要にします。

プライバシー新着通知：

次のような新着情報があるときに、電池アイコンを変更してお知らせするかを設定。また、表示する電池アイコンを設定。
- 電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合に、電話帳データにシークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたり、メールを受信したとき
- メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合に、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からメールを受信したとき

自動起動：

待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定。

おしらせ

- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」の場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

1 ◎（1秒以上）

- プライバシーモード設定で自動起動が「OFF」以外のときは、待受画面表示中に何も操作せずに設定した時間が経過すると、プライバシーモードが自動的に起動します。

■ **解除：◎（1秒以上）▶端末暗証番号を入力**

プライバシーモードを起動すると

個人情報を利用するときに、端末暗証番号の入力を必要としたり、シークレット属性を設定したデータを非表示にします。それ以外にも、次のような制限があります。

■ 電話帳・履歴が「認証後に表示」の場合

- 発着信画面などには電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。また、GPSの位置提供の要求者名は表示されません。
- 電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
- カスタム待受画面の新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- セレクトメニューで人物の選択ができません。
- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号を設定していても、イヤホンスイッチ発信はできません。

■ 電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合

- シークレット属性を設定した相手からのメールを受信できますが、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。
- 発着信画面などにはシークレット属性を設定した電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、GPSの位置提供の要求者名は表示されません。
- プッシュトークグループから発信したとき、シークレット属性へのメンバーへは発信されません。
- シークレット属性を設定した電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
- カスタム待受画面の新着情報エリアに、シークレット属性を設定した相手が対象の未読メール一覧、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- セレクトメニューで、シークレット属性を設定した電話帳データの人物が表示されません。
- イヤホンスイッチ発信設定の電話帳メモリ番号に、シークレット属性を設定した電話帳データを設定している場合、イヤホンスイッチ発信はできません。

■ メール・履歴が「認証後に表示」の場合

- カスタム待受画面の新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。

■ メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合

- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。カスタム待受画面の新着情報エリアにも表示しません。

■ マイピクチャ、iモーションが「認証後に表示」の場合

［共通］

- FOMA端末電話帳で、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータを着信音や画像に設定している場合は、設定が無効になります。
- 待受画面に設定している画像や動画／iモーションは、表示されます。

［マイピクチャ］

- スケジュール帳のイメージを「あり」にし、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータを設定している場合は、設定が無効になります。
- 静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。
- メール本文入力時や署名編集時に絵文字Dの一覧を表示しても、お買い上げ時に登録されているデータ以外のデータは表示されません（メールの装飾選択画面から表示した場合を除く）。
- FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画は、コピーやバックアップされません。

［iモーション］

- 目覚まし音やスケジュール音、ワンセグ予約アラーム音に「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、設定が無効になります。

■ スケジュールが「認証後に表示」の場合

- 設定した日時になってもスケジュールアラームは鳴りません。
- カスタム待受画面のスケジュールエリアは表示されません。
- カスタム待受画面のカレンダーに、スケジュールの休日設定で休日に設定した日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。また、スケジュールが登録されていることを示すドットは表示されません。

■ スケジュールが「指定スケジュール非表示」の場合

- 設定した日時になっても、シークレット属性を設定したスケジュールのアラームは鳴りません。
- カスタム待受画面のスケジュールエリアに、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。
- カスタム待受画面のカレンダーに、スケジュールが登録されていることを示すドットは表示されません。

■ テキストメモが「認証後に表示」の場合

- カスタム待受画面のメモ一覧やメモ内容のエリアは表示されません。

おしらせ

- ｉモードとフルブラウザのラストURLには、プライバシーモード中でないときに表示したページのラストURLは表示されません。
- プライバシーモード中にデータ一括削除や各種データの全件削除などを行った場合は、非表示のデータも削除されます。ただし、プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」の場合）は、シークレット属性を設定したスケジュールは全件削除などでは削除されません。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュールを利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中の着信時の名前表示や着信動作などは、本設定と着信／受信時動作設定によって異なります。☛P122
- プライバシーモード中、「認証後に表示」にした項目の対象となるデータを利用する各種設定を行おうとすると、設定によっては、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

プライバシーモードを一時解除する

プライバシーモード中に、非表示のデータがある一覧画面などで一時的にプライバシーモードを解除し、非表示に設定しているすべてのデータを表示できます。一時解除は待受画面に戻るまで有効です。

- 「認証後に表示」にした機能をプライバシーモード中に利用するときに、端末暗証番号を入力した場合も一時解除されます。

1 一時解除する画面で クリア（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

おしらせ

- 画面によっては、一時解除できない場合があります。

メールにシークレット属性を反映させる

シークレット反映

シークレット反映をすると、電話帳データにシークレット属性を設定している相手と送受信したメールや未送信メールに、シークレット属性を設定できます。SMSにも設定できます。

- 送信済／未送信のメールに宛先が複数ある場合、1件でもシークレット属性を設定している電話帳データと一致すると、メールにシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性を設定したメールは、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）に非表示になります。

1 Menu▶設定／NWサービス▶4 2 2▶端末暗証番号を入力▶はい

- プライバシーモード中でない場合は、続けて ● を押します。

おしらせ

- シークレット反映中はディスプレイ上部に ⇄ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。 を押して他の機能に切り替えることもできません。
- 電話帳データのシークレット属性を変更したときや、電話帳データを編集したときは、再度シークレット反映してください。反映すると、シークレット属性が設定されていたメールでも、シークレット属性を解除した電話帳データと一致する場合は、シークレット属性が解除されます。電話帳データを削除している場合も同様です。
- シークレット属性が設定されている電話帳データをデータ通信で外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定した場合などは、待受画面に戻ると、確認画面が表示され、「はい」を選択するとシークレット反映できます。
- 2in1がONの場合、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。

着信時に名前などを表示しないようにする

着信／受信時動作設定

- パーソナルデータロックの設定よりも本機能の設定が優先されます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶4 3▶端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶m**

電話着信時動作：
電話着信時（音声電話通話中を含む）やプッシュトーク着信時（通信中を含む）に名前と電話番号を表示するかを設定。
- 「名前＋電話番号」にしてもプッシュトーク着信時（通信中を含む）は、名前のみが表示されます。

メール受信時動作：
メール受信時の受信結果の表示方法を設定。

プライバシーモード中の着信動作について

電話帳に登録し、電話帳別着信設定を設定している相手から電話がかかってきたり、メールを受信した場合、画面表示と着信動作は次のようになります。
- 本設定が「プライバシーモードに従う」以外の場合、プライバシーモード中でも、着信時や受信時の動作は、本設定が優先されます。

■ プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」の場合）

電話着信時動作	画面表示	着信動作（従う設定）
プライバシーモードに従う	電話番号のみ	電話着信設定／テレビ電話着信設定
電話番号のみ		電話帳別着信設定
名前のみ	名前のみ	
名前＋電話番号	名前＋電話番号	
メール受信時動作	**受信結果テロップの表示**	**着信動作（従う設定）**
プライバシーモードに従う	メールアドレス＋題名	メール着信設定
メールアドレス＋題名		
名前＋題名	名前＋題名	電話帳別着信設定
受信通知のみ	受信通知のみ	メール着信設定
テロップなし	テロップなし	

■ プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）
- 電話帳にシークレット属性を設定した相手から電話やメールがあったときの動作です。

電話着信時動作	画面表示	着信動作（従う設定）
プライバシーモードに従う	電話番号のみ	電話着信設定／テレビ電話着信設定
電話番号のみ		電話帳別着信設定
名前のみ	名前のみ	
名前＋電話番号	名前＋電話番号	
メール受信時動作	**受信結果テロップの表示**	**着信動作（従う設定）**
プライバシーモードに従う	テロップなし	動作しない
メールアドレス＋題名	メールアドレス＋題名	電話帳別着信設定
名前＋題名	名前＋題名	
受信通知のみ	受信通知のみ	
テロップなし	テロップなし	動作しない

■ プライバシーモード中（メール・履歴が「認証後に表示」の場合）

メール受信時動作	受信結果テロップの表示	着信動作（従う設定）
プライバシーモードに従う	受信通知のみ	電話帳別着信設定
メールアドレス＋題名	メールアドレス＋題名	
名前＋題名	名前＋題名	
受信通知のみ	受信通知のみ	
テロップなし	テロップなし	

■ プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）

• シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からメールを受信した場合の動作です。

メール受信時動作	受信結果テロップの表示	着信動作（従う設定）
プライバシーモードに従う	テロップなし	動作しない
メールアドレス＋題名	メールアドレス＋題名	電話帳別着信設定
名前＋題名	名前＋題名	
受信通知のみ	受信通知のみ	
テロップなし	テロップなし	動作しない

おしらせ

● 電話帳に登録していない相手からの着信の場合、電話着信時動作を「名前のみ」にしていても電話番号が表示されます。また、メール受信時動作を「名前＋題名」にしていても、名前の代わりにメールアドレスが表示されます。

キーの誤動作を防止する

プロテクトキーロック

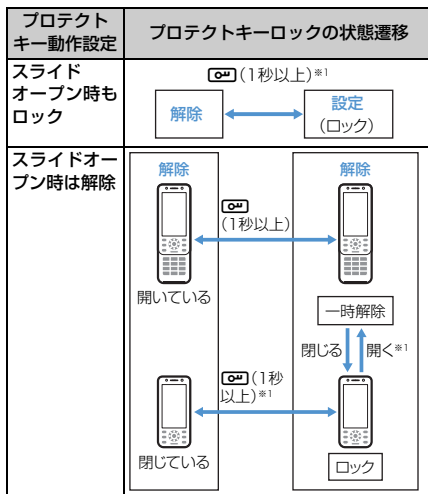
キー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

• 待受画面以外の画面を表示中でも設定／解除できます。ただし、ウェイクアップ画面表示中などは設定できません。

1 **（1秒以上）**

プロテクトキーロックが設定されます。

• 解除するには、同様の操作を行います。FOMA端末を閉じているときでも解除できます。ただし、プロテクトキーロック認証設定が「ON」のときは、端末暗証番号の入力が必要です。

■ プロテクトキーロックの状態遷移について

※ 1：プロテクトキーロック認証設定が「ON」のときは、解除／一時解除時に端末暗証番号の入力が必要です。

• プロテクトキーロックが設定されるとディスプレイの表示が消えます。ただし、次の場合などは、ディスプレイは表示されたままで、ディスプレイ上部にが表示されます。
  ・カメラの撮影画面表示中や撮影中
  ・ワンセグ視聴中やビデオ再生中
  ・照明設定の点灯時間設定を次のように設定したとき
    ・通常時を「常時」
    ・ACアダプタ接続時を「常灯」にして充電中
    ・「常灯」にした機能の実行中
• 一時解除の状態では、ディスプレイ上部に（グレー）が表示されます。
• 通話中や64Kデータ通信中などは、一時解除の状態で設定され、通話や通信が終了するとロックがかかります。
• プロテクトキーロック中にディスプレイの表示が消えているとき、を押すかFOMA端末を開いたり、電話の着信などがあるとディスプレイが点灯します。ディスプレイ上部にまたは（グレー）が表示されています。

おしらせ

- ● プロテクトキーロック中や一時解除中に、自動電源OFFやソフトウェア更新などによって電源が切れたり再起動した場合は、プロテクトキーロックは解除されます。一時解除中に手動で電源を切った場合も同様です。
- ● プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。また、かかってきた電話に出たり、応答保留や伝言メモで対応するとプロテクトキーロックが一時的に解除され、操作ができます。通話が終了するとプロテクトキーロックが再度設定されます。
  - プロテクトキーロックの解除
  - 音声電話着信時
    電話を受ける：[通話]／FOMA端末を開く※1
    応答保留で対応：[終話]
    伝言メモで対応：[TV]（1秒以上）
    着信音の停止：[TV]
  - テレビ電話着信時
    電話を受ける：[通話]／[テレビ電話]
    応答保留で対応：[終話]
    伝言メモで対応：[TV]（1秒以上）
    着信音の停止：[TV]
  - プッシュトーク着信時
    応答：[プッシュトーク]／[通話]
    切断：[終話]
    着信音の停止：[TV]
  - アラーム音などを止める
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受ける
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作

  ※ 1：着信中オープン応答が「ON」の場合のみ。

自動的にロックする　タイマープロテクトキーロック設定

待受画面表示中に設定時間（10秒～5分）が経過すると自動的にプロテクトキーロックがかかるようにできます。

- プロテクトキー動作設定が「スライドオープン時は解除」の場合は、FOMA端末を閉じている場合のみ有効です。

1 [Menu]▶**設定／NWサービス**▶[4][1][5][2]

2 **タイマープロテクトキーロック欄**▶[1]
- 解除：タイマープロテクトキーロック欄▶[2]▶操作4

3 **プロテクトキーロック設定時間欄**▶[1]～[5]

4 [完了]

FOMA端末を開いたときのロック状態を設定する　プロテクトキー動作設定

FOMA端末を開いたときに、プロテクトキーロックを一時解除するかを設定します。

1 [Menu]▶**設定／NWサービス**▶[4][1][5][1]▶[1]～[2]

おしらせ

- ● 「スライドオープン時は解除」の場合、プロテクトキーロック一時解除中に「スライドオープン時もロック」に変更すると、プロテクトキーロックが設定されます。FOMA端末を閉じるか [鍵] 以外のキーを押すとディスプレイの表示が消えます。

解除時に端末暗証番号を入力するように設定する　プロテクトキーロック認証設定

プロテクトキーロック解除／一時解除時に端末暗証番号を入力するようにします。

1 [Menu]▶**設定／NWサービス**▶[4][1][5][3]▶**端末暗証番号を入力**▶[1]～[2]
- 「ON」にし、プロテクトキーロックを設定すると、プロテクトキーロック認証モード中になり、待受画面に[鍵]（赤）が表示されます。

プロテクトキーロック認証モード中の動作について

プロテクトキーロック認証設定を「OFF」にして、プロテクトキーロックを設定している場合と、次の動作などが異なります。

- かかってきた電話に出たり、応答保留などで対応しても、プロテクトキーロックは一時解除されません。ただし、通話中保留や音量調整など一部の操作はできます。
- スライド編集機能は利用できません。
- 手動で電源を入れたときに端末暗証番号の入力が必要です。

おしらせ

- ● 一時解除時に端末暗証番号入力画面で、[終話]などを押して元の画面に戻った場合、端末暗証番号入力画面を表示するには、FOMA端末を開き直してください。

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する　メモリ別着信拒否／許可

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否または許可を設定し、その設定をメモリ別着信拒否／許可で有効にします。ただし、拒否設定と許可設定を同時には有効にできません。

- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。
- 本機能はプッシュトーク着信にも有効です。

指定した電話番号からの着信のみを許可する

1 **電話帳を検索▶相手を選びMenu 3 5 3**

2 **端末暗証番号を入力▶電話番号を選び●**

3 **1**

電話番号に対して、着信許可が設定されます。

- 解除：3
- 複数の電話番号を設定する場合、操作1～3を繰り返します。端末暗証番号の入力は、待受画面から再度操作したときのみ必要です。

4 **待受画面でMenu▶設定／NWサービス▶5 5 1▶端末暗証番号を入力**

5 **3**

電話番号ごとの着信許可の設定が有効になり、着信許可に設定したすべての電話番号のみ、着信が許可されます。

- 解除：1

指定した電話番号からの着信を拒否する

設定した電話番号から電話やプッシュトークが着信しても、着信音が鳴らずに切断され、電話の場合は相手に話中音が流れ、プッシュトークの場合は発信者の画面に「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

1 **電話帳を検索▶相手を選びMenu 3 5 3**

2 **端末暗証番号を入力▶電話番号を選び●**

3 **2**

電話番号に対して、着信拒否が設定されます。

- 解除：3
- 複数の電話番号を設定する場合、操作1～3を繰り返します。端末暗証番号の入力は、待受画面から再度操作したときのみ必要です。

4 **待受画面でMenu▶設定／NWサービス▶5 5 1▶端末暗証番号を入力**

5 **2**

電話番号ごとの着信拒否の設定が有効になり、着信拒否に設定したすべての電話番号が拒否されます。

- 解除：1

おしらせ

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」の場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、設定は解除されます。その場合は、変更／登録後の電話番号に着信拒否／許可を設定してください。
- 「着信許可」にした電話帳データがない場合に、メモリ別着信拒否／許可で「許可設定」を選択すると、メッセージが表示され「はい」を選択すると、すべての着信が拒否されます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 電話帳データに着信許可または着信拒否を設定すると、電話帳データの詳細画面上部に!が表示されます。

電話番号が通知されないときの着信動作を設定する　発番号なし動作設定

電話番号が通知されない音声電話の着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本機能の設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話が着信したときはテレビ電話着信設定に、プッシュトークが着信したときはプッシュトーク着信設定に従って動作します。ただし、本設定の着信動作が「着信拒否」のときは、着信が拒否されます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶5 2▶端末暗証番号を入力**

2 **1～3**

- 非通知理由について☛P53

3 各項目を設定▶（Ｍ）

着信動作：
発信者番号が通知されない電話が着信したときの動作を設定。
設定解除…電話着信設定の着信音が鳴ります。
着信拒否…着信を拒否します。
着信音OFF…着信音は鳴りません。
- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択したときは、着信音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「設定解除」または「着信拒否」にすると、イメージ表示は設定できません。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：
発信者番号が通知されない電話が着信したときに表示する画像を設定。
- 「イメージ」または「ｉモーション」を選択したときは、画像を設定します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92

おしらせ

- 「着信拒否」にした場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
- 着信音を変更した場合、イメージ表示が標準画像になることがありますが、画像は変更できます。
- 本設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする　呼出動作開始時間設定

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合、本機能は設定できません。

1 （Menu）▶設定／NWサービス▶［1］［5］▶各項目を設定▶（Ｍ）

着信呼出動作：
本機能を有効にするかを設定。
呼出開始時間（秒）：
着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定（1～99秒）。
時間内不在着信表示：
呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかを設定。

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
- 設定した時間が経過する前でも、電話やプッシュトークに出たり伝言メモで応答できます。
- 次の場合も、本機能が動作します。
  - ・電話帳に登録されている相手からの着信でも、発信者番号が通知されない着信のとき、またはパーソナルデータロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」の場合）
  - ・プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）に、電話帳データにシークレット属性を設定している相手から着信があったとき

おしらせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
  - 公共モード（ドライブモード）
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- 発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話やプッシュトークが着信した場合は、本機能よりも発番号なし動作設定が優先されます。
- 呼出開始時間を留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数にしている場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳未登録の相手からの着信を拒否する　メモリ登録外着信拒否

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」の場合、本機能は設定できません。
- 本機能はプッシュトーク着信にも有効です。

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 5 5 2 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ 1 ～ 2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やプッシュトークが着信したとき、着信音は鳴らずに切断され、電話の場合は相手に話中音が流れ、プッシュトークの場合は発信者の画面に「接続できませんでした」と表示されます。3人以上で通信した場合は、参加メンバーに対して不参加であることを通知します。

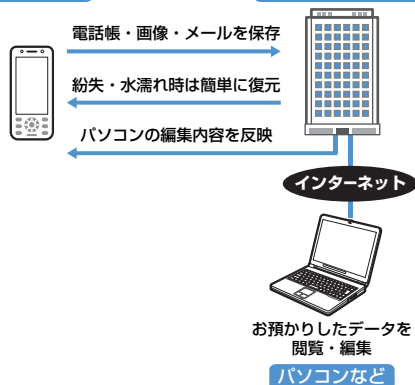
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」の場合）に、電話帳データにシークレット属性を設定している相手から着信があったときも、着信を拒否します。

おしらせ

- 発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定に従います。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスを利用する　電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール（以降「保存データ」と表記）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にできます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- データの保存／復元方法については、以下のページを参照してください。
  - ・電話帳☛P87　・画像☛P277
  - ・メール☛P192

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目　的	機能・サービス名称
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応サイトに限ります）。	FirstPass ☛P151、P164
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定 ☛P196
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「ｉモード災害用伝言板」サービス※1
メールアドレスを変更／確認します。	アドレス変更／確認※1
URL が記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定）※1
指定したドメインからのメールを受信／拒否します。	迷惑メール対策 （受信／拒否設定）※1
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	
SMSの受信を拒否します。	迷惑メール対策 （SMS拒否設定）※1
1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限※1
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否※1
受信するメールのサイズを制限します。	メールサイズ制限※1
メール機能の設定状況を確認します。	設定状況確認※1
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止※1
紛失した FOMA 端末のおよその位置を確認します。	ケータイお探しサービス※1
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック ☛P232
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス☛P376
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス☛P377
必要な場合に FOMA 端末のソフトウェアを更新します。	ソフトウェア更新 ☛P431
障害を引き起こすデータから FOMA端末を守ります。	スキャン機能☛P436

※ 1：『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』をご覧ください。

カメラ

著作権・肖像権について

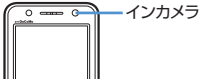
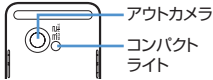
FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

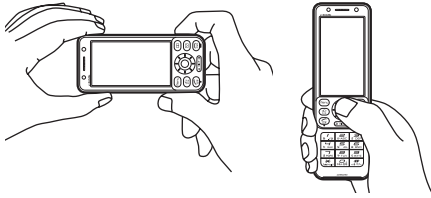
カメラをご使用になる前に

FOMA端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。また、映像のない動画／ｉモーションとして音声を録音することができます。撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA端末で表示／再生するだけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したり、赤外線通信／iC通信で送信できます。
カメラはFOMA端末の前面と背面にあります。

■ 前面

■ 背面

カメラ利用時の留意事項

きれいに撮影するために

FOMA端末を閉じていても開いていても撮影できます。図のようにしっかりと持って撮影してください。

- 撮影時は、なるべくFOMA端末が動かないようにしてください。
- レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
- レンズ部分に指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 手ぶれのない静止画／動画を撮影するには、手ぶれ補正機能の利用をおすすめします。☛P142
  また静止画撮影時は、セルフタイマー機能の利用も、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。

カメラのご使用について

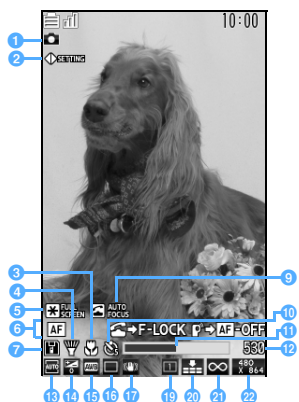
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- 蛍光灯などの光源や窓などを撮影した場合に、明るい部分から光の帯が見える場合がありますが、故障ではありません。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、ちらつきを減らすことが可能です。また、ちらつき調整によりちらつきを低減できる場合があります。☛P144
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 着信音量の設定が「Silent」（消音）の場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。音量は変更できません。
- カメラの撮影待機中や録音待機中はコンパクトライトが赤で点灯します。また、静止画撮影時、動画撮影中／録音中／一時停止中、セルフタイマーのカウントダウン中は、状態に応じてコンパクトライトと決定キーの照明が点灯／点滅します。点灯／点滅しない設定や点灯パターン／色の変更はできません。
- コンパクトライトを点灯して撮影していると赤の点灯／点滅がわかりにくい場合があります。

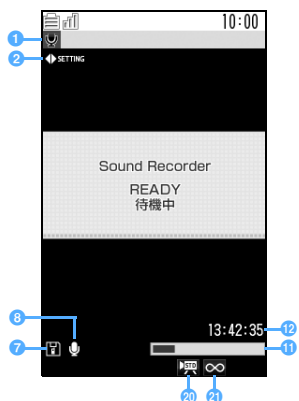
撮影時の留意事項

- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P142
  また、暗い場所ではコンパクトライトを補助光として利用してください。☛P140
- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せずに長時間放置しないようにしてください。
- 撮影画面や録音画面を表示したまま約3分間何も操作しないと静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダーが自動終了するように設定されています。自動終了の設定は変更できません。

撮影画面について

撮影画面の見かた

■ 静止画撮影画面

■ 動画撮影画面

■ 録音画面

❶ タスクバーのアイコン☛P28
静止画撮影中、動画撮影中、録音中であることを示します。

❷ 設定ガイド
で撮影／録音時の設定を変更できることを示します。☛P141

❸ 接写撮影
接写撮影時に が表示されます。☛P141

❹ コンパクトライト
コンパクトライト点灯時に が表示されます。☛P140

❺ 画面切替ガイド
静止画撮影時は で全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。
- 全画面表示にすると設定ガイドや画面下部のマーク、ガイド行が消えます。

動画撮影時は画像サイズがQVGA（320 × 240）のアウトカメラ撮影時のみ表示され、 で縦撮影と横撮影を切り替えられることを示します。

❻ オートフォーカス操作ガイド
静止画のアウトカメラ撮影時にオートフォーカスのON／OFFとキーの説明が表示されます。
- オートフォーカスの操作☛P135

オートフォーカスONのとき

AF　F-LOCK　AF-OFF

オートフォーカスOFFのとき

AF-ON

❼ 保存先☛P145
：FOMA端末　：microSDメモリーカード

❽ 撮影種別☛P145
：画像＋音声　：画像のみ
：音声のみ

❾ オートフォーカス状態
オートフォーカスの状態が表示されます（静止画のアウトカメラ撮影時のみ）。☛P137

❿ セルフタイマー／共通再生モード
静止画撮影の場合
セルフタイマー設定時にセルフタイマーのマークが表示されます。☛P140
動画撮影の場合
共通再生モードが「ON」のときに が表示されます。☛P144

⓫ インジケータ
撮影／録音待機中の場合
通常の撮影時や録音時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
- microSDメモリーカードの保存領域の使用率は、静止画や動画、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。

動画撮影中／録音中／一時停止中の場合
サイズ制限で設定しているファイルサイズ（「制限なし」の場合は保存可能サイズ）に対する撮影／録音したサイズの割合を示します。

⑫ カウンタ

撮影／録音待機中の場合

通常の撮影時や録音時は現在の設定でFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の最大枚数（目安）または動画／音声の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。静止画の手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数を示します。

動画撮影中／録音中／一時停止中の場合

経過時間／残り時間（撮影／録音を停止するまでの時間）（目安）を示します。

⑬ 撮影モード☛P141　⑭ 明るさ☛P142
⑮ ホワイトバランス☛P142　⑯ フレーム☛P142
⑰ 手ぶれ補正☛P142
⑱ 映像種別（コーデック）☛P143
⑲ 連続撮影☛P137　⑳ 画質／品質☛P143
㉑ サイズ制限☛P143　㉒ 画像サイズ☛P143

おしらせ

- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 電話帳、メール、ｉアプリから起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
- ｉアプリから静止画撮影を起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、ｉアプリから動画撮影を起動したときはサイズ制限およびインジケータの保存領域の使用率は表示されず、カウンタには1回で撮影可能な時間が表示されます。
- インカメラ撮影時、撮影画面では画像が鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像となります。静止画の場合、静止画詳細設定で自動保存を「しない」に設定すると、鏡像でも保存できます。
- 動画撮影時、QVGA（320×240）の横撮影に切り替えている場合やVGA（640×480）の場合は、STANDBY（撮影待機中）、REC（撮影中）、PAUSE（一時停止中）が表示されます。

ファイル名・ファイル形式について

撮影した静止画／動画、録音した音声のファイル名や表示名、タイトル（静止画以外）には、撮影／録音した日時が自動的に付けられます。

（例）2008年1月23日12時34分56秒の場合
→20080123123456

ファイル形式は以下のとおりです。

種　類	ファイル形式（拡張子）	符号化方式
静止画	JPEG（JPG）※2	－
動画※1	MP4（3GP）※3	映像：MPEG-4、音声：AMR 映像：H.264、音声：AAC LC
	ASF（ASF）※4	映像：MPEG-4、音声：G.726

※１：録音時のファイル形式（拡張子）、符号化方式はそれぞれ、MP4（3GP）、AMRになります。
※２：Exif形式、PRINT ImageMatching Ⅲ対応
※３：MobileMP4形式
※４：品質が「最高品質」、映像種別が「MPEG4」の場合のみ、ASF形式で保存されます。

おしらせ

- 撮影／録音後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P302

静止画の保存枚数

D905iおよびmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画像サイズ、画質、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。

静止画保存枚数（D905i本体）

- D905iに保存できる静止画の枚数の目安です。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、保存枚数は増えます。

画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約473枚	約473枚	約473枚
128×96	約473枚	約473枚	約473枚
176×144	約473枚	約473枚	約473枚
240×320	約473枚	約473枚	約473枚
352×288	約473枚	約473枚	約473枚
640×480	約473枚	約473枚	約473枚
480×640	約473枚	約473枚	約473枚
480×864	約473枚	約473枚	約473枚
960×1280	約473枚	約415枚	約232枚
1200×1600	約321枚	約239枚	約128枚
1920×1080	約367枚	約280枚	約141枚
1536×2048	約233枚	約164枚	約86枚

静止画保存枚数（microSDメモリーカード）

- microSDメモリーカード（64Mバイト）に保存できる静止画の枚数の目安です。

画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約3815枚	約3815枚	約3815枚
128×96	約3815枚	約3815枚	約3815枚
176×144	約3815枚	約3815枚	約1907枚
240×320	約1907枚	約1907枚	約1271枚
352×288	約1907枚	約1907枚	約1271枚
640×480	約953枚	約763枚	約423枚
480×640	約953枚	約763枚	約423枚
480×864	約953枚	約635枚	約423枚
960×1280	約476枚	約293枚	約173枚
1200×1600	約238枚	約181枚	約95枚
1920×1080	約272枚	約211枚	約105枚
1536×2048	約173枚	約123枚	約64枚

動画の撮影時間

動画の撮影時間は、サイズ制限、画像サイズ、品質、映像種別（コーデック）、撮影種別の設定や撮影状況によって変わります。

1回あたりの撮影時間（D905i本体）

- D905iに保存するとき、1回で撮影できる時間の目安です。

■ 映像種別（コーデック）が「MPEG4」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	約83秒 約101秒	約52秒 約63秒	約37秒 約42秒	約17秒 約20秒
	176×144	約56秒 約63秒	約29秒 約32秒	約20秒 約21秒	約9秒 約10秒
	320×240	約30秒 約32秒	約15秒 約16秒	約10秒 約11秒	約4秒 約4秒
	640×480	約10秒 約11秒	約5秒 約5秒	約3秒 約4秒	約1秒 約1秒
メール添付用（大）	128×96	約340秒 約415秒	約214秒 約259秒	約152秒 約173秒	約72秒 約84秒
	176×144	約228秒 約259秒	約118秒 約130秒	約81秒 約86秒	約39秒 約42秒
	320×240	約121秒 約129秒	約62秒 約65秒	約42秒 約43秒	約16秒 約16秒
	640×480	約42秒 約43秒	約21秒 約22秒	約14秒 約14秒	約5秒 約5秒
制限なし	128×96	約223分 約273分	約140分 約170分	約99分 約113分	約47分 約55分
	176×144	約150分 約170分	約77分 約85分	約53分 約56分	約25分 約28分
	320×240	約79分 約85分	約40分 約42分	約27分 約28分	約10分 約10分
	640×480	約27分 約28分	約14分 約14分	約562秒 約569秒	約214秒 約217秒

■ 映像種別（コーデック）が「H.264（高画質）」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	― ―	― ―	― ―	― ―
	176×144	約50秒 約62秒	約28秒 約32秒	約18秒 約21秒	約10秒 約11秒
	320×240	約28秒 約32秒	約15秒 約16秒	約10秒 約11秒	約4秒 約4秒
	640×480	約10秒 約11秒	約5秒 約5秒	約3秒 約4秒	約1秒 約1秒
メール添付用（大）	128×96	― ―	― ―	― ―	― ―
	176×144	約204秒 約256秒	約115秒 約129秒	約74秒 約86秒	約40秒 約43秒
	320×240	約115秒 約129秒	約61秒 約65秒	約40秒 約43秒	約16秒 約17秒
	640×480	約42秒 約43秒	約21秒 約22秒	約14秒 約14秒	約6秒 約6秒
制限なし	128×96	― ―	― ―	― ―	― ―
	176×144	約132分 約166分	約74分 約83分	約48分 約56分	約25分 約28分
	320×240	約74分 約83分	約39分 約42分	約25分 約28分	約10分 約10分
	640×480	約27分 約28分	約13分 約14分	約548秒 約564秒	約214秒 約217秒

合計撮影時間（D905i本体）

- D905iに保存できる動画の合計撮影時間の目安です。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、撮影時間は増えます。

■ 映像種別（コーデック）が「MPEG4」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	約221分 約269分	約138分 約168分	約98分 約112分	約45分 約53分
	176×144	約149分 約168分	約77分 約85分	約53分 約56分	約24分 約26分
	320×240	約80分 約85分	約40分 約42分	約26分 約29分	約10分 約10分
	640×480	約26分 約29分	約13分 約13分	約480秒 約10分	約160秒 約160秒
メール添付用（大）	128×96	約221分 約270分	約139分 約168分	約99分 約112分	約46分 約54分
	176×144	約148分 約168分	約76分 約84分	約52分 約56分	約25分 約27分
	320×240	約78分 約84分	約40分 約42分	約27分 約28分	約10分 約10分
	640×480	約27分 約28分	約13分 約14分	約547秒 約547秒	約195秒 約195秒
制限なし	128×96	約223分 約273分	約140分 約170分	約99分 約113分	約47分 約55分
	176×144	約150分 約170分	約77分 約85分	約53分 約56分	約25分 約28分
	320×240	約79分 約85分	約40分 約42分	約27分 約28分	約10分 約10分
	640×480	約27分 約28分	約14分 約14分	約562秒 約569秒	約214秒 約217秒

カメラ
つづく▶

■ 映像種別（コーデック）が「H.264（高画質）」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約132分 約164分	約74分 約85分	約47分 約55分	約26分 約29分
	320×240	約74分 約85分	約39分 約42分	約26分 約29分	約10分 約10分
	640×480	約26分 約29分	約13分 約13分	約478秒 約10分	約159秒 約159秒
メール添付用（大）	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約132分 約166分	約74分 約83分	約48分 約55分	約25分 約27分
	320×240	約74分 約83分	約39分 約42分	約25分 約27分	約10分 約11分
	640×480	約27分 約27分	約13分 約14分	約545秒 約545秒	約233秒 約233秒
制限なし	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約132分 約166分	約74分 約83分	約48分 約56分	約25分 約28分
	320×240	約74分 約83分	約39分 約42分	約25分 約28分	約10分 約10分
	640×480	約27分 約28分	約13分 約14分	約548秒 約564秒	約214秒 約217秒

合計撮影時間（microSDメモリーカード）

- microSDメモリーカード（64Mバイト）に保存できる動画の合計撮影時間の目安です。
- 「メール添付用（小）」「メール添付用（大）」の1回あたりの撮影時間は「1回あたりの撮影時間（D905i本体）」と同じです。
- 「制限なし」の場合、1回で合計撮影時間まで撮影できます。

■ 映像種別（コーデック）が「MPEG4」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	約168分 約202分	約105分 約127分	約74分 約85分	約34分 約40分
	176×144	約113分 約127分	約58分 約64分	約40分 約42分	約18分 約20分
	320×240	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約22分	約486秒 約486秒
	640×480	約20分 約22分	約10分 約10分	約364秒 約486秒	約121秒 約121秒
メール添付用（大）	128×96	約168分 約203分	約105分 約127分	約75分 約85分	約35分 約41分
	176×144	約112分 約127分	約58分 約63分	約40分 約42分	約19分 約20分
	320×240	約59分 約63分	約30分 約32分	約20分 約21分	約474秒 約474秒
	640×480	約20分 約21分	約10分 約10分	約415秒 約415秒	約148秒 約148秒
制限なし	128×96	約169分 約206分	約106分 約128分	約75分 約85分	約35分 約41分
	176×144	約113分 約128分	約58分 約64分	約40分 約42分	約19分 約21分
	320×240	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約21分	約475秒 約491秒
	640×480	約20分 約21分	約10分 約10分	約424秒 約430秒	約162秒 約164秒

■ 映像種別（コーデック）が「H.264（高画質）」の場合

上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限	画像サイズ	品質			
		LP	STD	HQ	XQ
メール添付用（小）	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約101分 約125分	約56分 約64分	約36分 約42分	約20分 約22分
	320×240	約56分 約64分	約30分 約32分	約20分 約22分	約486秒 約486秒
	640×480	約20分 約22分	約10分 約10分	約364秒 約486秒	約121秒 約121秒
メール添付用（大）	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約100分 約126分	約56分 約63分	約36分 約42分	約19分 約21分
	320×240	約56分 約63分	約30分 約32分	約19分 約21分	約474秒 約504秒
	640×480	約20分 約21分	約10分 約10分	約415秒 約415秒	約178秒 約178秒
制限なし	128×96	ー ー	ー ー	ー ー	ー ー
	176×144	約101分 約126分	約56分 約63分	約36分 約42分	約19分 約21分
	320×240	約56分 約63分	約30分 約32分	約19分 約21分	約479秒 約494秒
	640×480	約20分 約21分	約10分 約10分	約418秒 約430秒	約163秒 約165秒

音声の録音時間

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

1回あたりの録音時間（D905i本体）

- D905iに保存するときに、1回に録音できる時間の目安です。

品 質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約485秒	約33分	約1297分
HQ	約319秒	約21分	約852分

合計録音時間（D905i本体）

- D905iに保存できる合計録音時間の目安です。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除すると、録音時間は増えます。

品 質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約1295分	約1297分	約1297分
HQ	約852分	約852分	約852分

合計録音時間（microSDメモリーカード）

- microSDメモリーカード（64Mバイト）に保存できる合計録音時間の目安です。
- 「メール添付用（小）」「メール添付用（大）」の1回あたりの録音時間はD905iに保存するときと同じです。
- 「制限なし」の場合、1回で合計録音時間まで録音できます。

品 質	ファイルサイズ制限		
	メール添付用（小）	メール添付用（大）	制限なし
STD	約988分	約989分	約989分
HQ	約650分	約650分	約650分

静止画を撮影する　静止画撮影

静止画を撮影する

オートフォーカス機能で画面中央の被写体にピントを合わせて撮影できます。

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は、通常撮影で約50cm以上、接写撮影で約8〜50cmです。
- インカメラ撮影時はオートフォーカス撮影はできません。固定焦点で撮影されます。

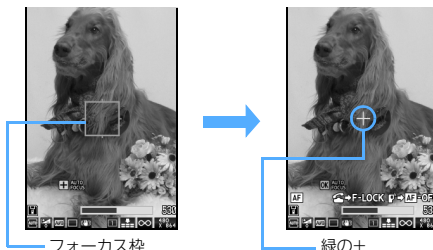
1 （1秒以上）

静止画撮影画面

静止画撮影が起動します。

- インカメラとアウトカメラの切り替え：
- 全画面表示と標準画面表示の切り替え：

2 被写体にカメラを向けて／

画面中央にオレンジ色のフォーカス枠が表示され、ピントが調節されます。ピントが合うとフォーカス枠が緑の＋に変わり、シャッター音が鳴って静止画が撮影され、確認画面が表示されます。

フォーカス枠

緑の＋

- インカメラ撮影時は、フォーカス枠は表示されません。
- ／を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、／を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。

3 ／

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、microSDメモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 保存しないで撮影し直す：クリア
- SXGA（960×1280）以上の静止画を等倍表示して確認：
  - ・でスクロールできます。元に戻すにはクリアを押します。
- QVGA（240×320）以下の静止画の等倍表示と拡大表示の切り替え：
- 確認画面を表示せずに自動保存☞P145

■ **保存した静止画の確認：▶静止画を選び**

- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合：▶フォルダを選び▶静止画を選び

画面の中央以外にピントを合わせて撮影する（フォーカスロック撮影）

1 静止画撮影画面でピントを合わせたい被写体を画面の中央に合わせる▶ⓒ

オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の＋に変わります。

- ピントを合わせ直す：ⓒ
- フォーカスロックを解除：クリア
- マナーモード中は確認音は鳴りません。

2 撮影したい位置にカメラを向ける▶◉

静止画が撮影されます。

- TV/📷を使ってもフォーカスロック撮影ができます。被写体を画面の中央に合わせてTV/📷を半押しし、ピントを合わせます。半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向け、シャッター音が鳴るまでTV/📷を押し込みます。
  - ・半押しした後でTV/📷から指を離すとフォーカスロックが解除されます。

アウトカメラでオートフォーカスを使わずに撮影する

固定焦点で撮影します。シャッターチャンスの限られた被写体でも、すばやく撮影できます。

1 静止画撮影画面で📱

オートフォーカスがOFFになります。

- もう一度押すとONに戻ります。

2 被写体にカメラを向けて◉

静止画が撮影されます。

- オートフォーカスをOFFにしていても、TV/📷を押すとオートフォーカスで撮影されます。

確認画面からの各種操作

操作3で、撮影後の確認画面から以下の操作が行えます。

■ **メールに添付して送信：✉**
- 撮影した静止画を保存するかの確認画面が表示されたときは「はい」を選択します。撮影した静止画が保存され、メール作成画面が表示されます。
- 画像サイズによってはQVGAサイズに変換するかの確認画面が表示されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズを調整して保存するかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイト以下のファイルサイズで保存され、メール作成画面が表示されます。
- ファイルサイズが90Kバイト以下の場合は、確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合でも、FOMA端末に保存されます。

■ **位置情報を付加：Menu 2**
- 以降の操作方法は「各機能に位置情報を付加する」の操作2以降と同様です。☛P245
- 位置情報が付加されると、確認画面にGPSが表示されます。

■ **待受画面に設定：Menu 3 1▶はい**

撮影した静止画が保存され、待受画面に設定されます。
- 画像が拡大表示できる場合は、確認画面で「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示します。
- iアプリ待受画面が設定されているときは、確認画面が表示されます。
- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、待受画面に設定できません。

■ **電話帳の画像に登録（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：Menu 3▶2～3▶はい**

撮影した静止画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ **タイトルの変更：Menu 4 1▶タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字（連続撮影した画像は30文字）まで）▶ⓜ**

■ **明るさや色のバランスを補正：ⓜ**
- 以降の操作は「明るさや色のバランスを補正する」の操作2以降と同じです。☛P277
- 画像サイズが待受用（480×864）以上の場合や4コマ撮影でフレームが設定されている場合は、補正できません。

■ **鏡像で保存（インカメラ撮影時のみ）：Menu 6 3**
- フレームが設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ **正像表示／鏡像表示の切り替え（インカメラ撮影時のみ）：Menu 5 2**

■ **保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替え：Menu 8**
- 静止画保存後、保存先は切り替え前の設定に戻ります。

■ **保存されている画像の一覧表示：Menu 9▶1～2**
- microSD メモリーカードの画像を一覧表示するときはフォルダを選択します。

おしらせ

[共通]

- 速く動いている被写体を撮影すると、●／TV を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従って不要なデータを削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してください。
- 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。
- 静止画を撮影後、保存完了前に電話やプッシュトークが着信した場合、着信したタイミングによっては撮影した静止画が破棄される場合があります。
- 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用中は、microSDメモリーカードへは保存できません。
- 撮影時の画像サイズがUXGA（1200×1600）やフルHD（1920×1080）、3M（1536×2048）の場合、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超えることがあります。このとき、静止画を赤外線通信／iC通信で送信できません。
- 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
  - ズーム
  - 撮影モード
  - フレーム
  - 連続撮影
  - 画質
  - サイズ制限
  - 画像サイズ
- 動画撮影に切り替え：静止画撮影画面で（1秒以上）

[オートフォーカス撮影]

- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- ピント調節中は画面の AUTO FOCUS が ＋ AUTO FOCUS に変わり、ピントが合うと OK AUTO FOCUS に変わります。ただし、フォーカスロック撮影時以外は OK AUTO FOCUS は短時間で消えるため、確認できない場合があります。

連続撮影する

次の撮影ができます。いずれの場合も、一定間隔（アウトカメラでは約0.15秒、インカメラでは約0.4秒）で自動的に撮影する自動連写と、1枚ずつ撮影する手動連写ができます。

- 連続撮影自動／連続撮影手動
  最大9枚の静止画を連続して撮影します。撮影した静止画は、マイピクチャにパラパラマンガの形式で保存され、アニメーションのように連続して表示できます。撮影できる画像サイズはSub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、CIF（352×288）です。
  - ・撮影枚数の設定は静止画詳細設定で行います。
  - ・マイピクチャのパラパラマンガの解除機能を使用すると、1枚ずつの静止画にできます。
  - ・microSDメモリーカードに保存する場合は、1枚ずつの静止画として保存されます。
- 4コマ撮影自動／4コマ撮影手動
  静止画を4枚撮影し、並べて1枚の静止画にします。撮影できる画像サイズは以下のとおりです。

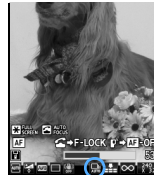
1枚目	2枚目
3枚目	4枚目

  - ・4コマ撮影自動：QVGA（240×320）
  - ・4コマ撮影手動：QVGA（240×320）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、待受用（480×864）

1 **（1秒以上）**

静止画撮影が起動します。

- インカメラとアウトカメラの切り替え：

2 **で連続撮影のマークを選ぶ ▶ で撮影方法を選び**

連続撮影のマーク

- AUTO：連続撮影自動
- ：連続撮影手動
- ：4コマ撮影自動
- ：4コマ撮影手動
- ：OFF（連続撮影解除）

- 連続撮影できない画像サイズでは、連続撮影のマークにカーソルが移動しません。

3 **被写体にカメラを向けて／TV**

自動連写のときは、自動連写用のシャッター音が鳴り、撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。手動連写のときは、シャッター音が鳴り、最初の1枚が撮影されます。以降、1枚ごとに／TV を押して撮影します。

- 連続撮影自動／4コマ撮影自動でオートフォーカスで撮影する場合、1枚目を撮影するときにピントが調整され、以降は1枚目と同じピントで撮影されます。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動を途中で中断：
  - ・4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は保存できません。
- 連続撮影自動、4コマ撮影自動は途中で中断できません。

4 **連続撮影した静止画を確認**

- 保存しないで撮影し直す：クリア
- 連続撮影自動／連続撮影手動で2枚以上撮影したときは、を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。1枚表示時に を押すと前後の静止画を表示できます。

5 **／TV**

静止画が保存されます。

■ **静止画を1枚だけ保存（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

①静止画を選ぶ

- 1枚表示時は保存する静止画を表示します。

②●（1秒以上）▶はい

- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
- 保存しなかった静止画は破棄されます。

■ **静止画を複数選択して保存（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

①**サムネイル表示中にMENU 6 2▶保存しない静止画を選び●**

- ✉を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。●を押すとサムネイル表示に戻ります。

②📖▶**はい**

- インカメラ撮影時は「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。
- 保存しなかった静止画は破棄されます。

■ **静止画をすべて鏡像で保存（インカメラ撮影時のみ）：MENU 6 3**

おしらせ

● 手動連写中に電話やプッシュトークが着信したり、目覚ましやスケジュールアラームなどの設定時刻になった場合、その時点で撮影が終了します。4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は破棄され、保存できません。

動画を撮影する　動画撮影

1 MENU▶**LifeKit**▶4 2

動画撮影画面

動画撮影が起動します。

- インカメラとアウトカメラの切り替え：⇄
- 縦撮影と横撮影の切り替え：✕
  - ・画像サイズがQVGA（320×240）のアウトカメラ撮影時のみ切り替わります。
- 画像サイズがVGA（640×480）の場合、横撮影になります。

2 被写体にカメラを向けて●／TV📷

シャッター音が鳴り、撮影が開始されます。画面下部に◯が表示されます。

- 撮影の一時停止：●
  ◯が⏸に切り替わります。●／TV📷を押すと、撮影が再開します。

3 📖／TV📷

シャッター音が鳴り、撮影が終了します。確認画面が表示されます。

- 撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了します。
- 一時停止中に撮影終了：📖

4 ●／TV📷

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、microSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。
- 保存しないで撮影し直す：クリア
- 動画の再生：📖
- 確認画面を表示せずに自動保存☛P145

■ **保存した動画の確認：📖▶動画を選び●**

- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合：📖▶フォルダを選び●▶動画を選び●

確認画面からの各種操作

操作4で、撮影後の確認画面から以下の操作が行えます。

■ **メールに添付して送信：✉▶はい**

撮影した動画が保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合でも、FOMA端末に保存されます。
- 以下の場合は添付できません。
  - ・撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトを超えるとき
  - ・映像種別が「MPEG4」で、品質が「最高品質」のとき
- 撮影した動画をD905i以外の機種に送信する場合、あらかじめ共通再生モードを「ON」にして撮影することをおすすめします。☛P144

■ **待受画面に設定：MENU 2 1▶はい（等倍表示）／はい（拡大表示）**

撮影した動画が保存され、待受画面に設定されます。

- 「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、確認画面が表示されます。
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - ・保存先の設定がmicroSDメモリーカードのとき
  - ・画像サイズがVGA（640×480）のとき

■ 電話帳の画像に登録：Menu 2 ▶ 2 〜 3 ▶ はい

撮影した動画が保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。
- 撮影種別の設定が「画像のみ」のときのみ登録できます。
- 以下の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - ・映像種別が「MPEG4」で、品質が「最高品質」のとき
  - ・保存先の設定がmicroSDメモリーカードのとき
  - ・画像サイズがVGA（640×480）のとき

■ タイトルの変更：Menu 3 ▶ タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字まで）▶ 📖

- 映像種別が「MPEG4」で、品質が「最高品質」の場合は、タイトルを変更できません。

■ 保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替え：Menu 5

- 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトを超える場合や、映像種別が「MPEG4」で、品質が「最高品質」の場合は、保存先を切り替えられません。
- 動画保存後、保存先は切り替え前の設定に戻ります。

■ 保存されている動画の一覧表示：Menu 6 ▶ 1 〜 2

- microSDメモリーカードの動画を一覧表示するときはフォルダを選択します。

おしらせ

- ● 動きの激しいものを撮影すると、映像が乱れることがあります。
- ● 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音や確認音が録音される場合があります。
- ● 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- ● サイズ制限の設定が「制限なし」の場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- ● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従って不要なデータを削除するか、サイズ制限の設定を変更してください。
- ● 撮影／録音中に電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームなどの設定時刻になったとき、✉を押したときは、その時点で撮影／録音が終了します。それまでに撮影／録音したデータは保存できます。
- ● 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音が終了します。それまでに撮影／録音したデータは保存できます。
- ● 撮影／録音中に目覚まし音やスケジュールアラームなどが鳴り撮影や録音が終了した場合、保存した動画／音声の最後に目覚まし音やスケジュールアラームなどが録音されることがあります。
- ● 他の機能でmicroSDメモリーカードを使用中は、microSDメモリーカードへは保存できません。

- ● 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。

・ズーム	・撮影モード	・フレーム
・品質	・サイズ制限	・画像サイズ
・映像種別	・撮影種別	

- ● 静止画撮影に切り替え：動画撮影画面で⇔（1秒以上）

音声を録音する　サウンドレコーダー

1 Menu ▶ LifeKit ▶ 5

サウンドレコーダーが起動します。

2 ● ／ TV/📷

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が開始されます。画面下部に○が表示されます。

- 音声は送話口から録音されます。
- 録音の一時停止：●

  ○が ▯▯ に切り替わります。●／TV/📷を押すと、録音が再開します。

3 📖 ／ TV/📷

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。録音した音声の確認画面が表示されます。

- 録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了します。
- 一時停止中に録音終了：📖

4 ● ／ TV/📷

録音した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合は、microSDメモリーカードの「その他の動画」フォルダに保存されます。
- 確認画面で操作できる機能は動画の撮影時と同様です。
  - ・待受画面に設定する／電話帳の画像に登録する操作はできません。
  - ・録音した音声のファイルサイズが2Mバイトを超える場合は、メールに添付／保存先の切り替えはできません。
- 保存しないで録音し直す：クリア
- 音声の再生：📖
- 確認画面を表示せずに自動保存☞P145

■ 保存した音声の確認：📖 ▶ 音声を選び●

- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合：📖 ▶ フォルダを選び● ▶ 音声を選び●

おしらせ

- ● 静止画撮影画面や動画撮影画面でサウンドレコーダーに切り替え：Menu ▶ 機能切替 ▶ サウンドレコーダー
- ● サウンドレコーダーを利用する際の注意事項☞P139「動画を撮影する」のおしらせ

ズームを使う

各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

■ アウトカメラ

・静止画撮影時

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
電話帳用（96×72）	約16.0倍	65段階
Sub-QCIF（128×96）	約16.0倍	65段階
QCIF（176×144）	約16.0倍	65段階
QVGA（240×320）	約8.0倍	65段階
CIF（352×288）	約6.0倍	65段階
横長VGA（640×480）	約3.0倍	65段階
縦長VGA（480×640）	約4.0倍	65段階
待受用（480×864）	約4.0倍	65段階
SXGA（960×1280）	約3.0倍	65段階
UXGA（1200×1600）	約2.0倍	6段階
フルHD（1920×1080）	約2.0倍	6段階
3M（1536×2048）	約2.0倍	6段階

・動画撮影時

画像サイズ	最大倍率	ズーム段階
Sub-QCIF（128×96）	約16.0倍	8段階
QCIF（176×144）	約16.0倍	8段階
QVGA（320×240）縦撮影	約4.0倍	3段階
QVGA（320×240）横撮影	約7.9倍	5段階
VGA（640×480）	約4.0倍	3段階

■ インカメラ

ズームなしと約2倍の2段階で切り替えられます。

1 撮影画面で

押すたびに倍率が変わり、スライダの目盛が移動します。

・静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

スライダ

静止画撮影時

セルフタイマーを使う

静止画撮影時に、設定した秒数が経過すると自動でシャッターが切れます。秒数は2秒、5秒、10秒、15秒から選択できます。

・連続撮影手動、4 コマ撮影手動では利用できません。また、動画撮影では利用できません。

1 静止画撮影画面で Menu 5

2 1～4

セルフタイマーが設定され、、、、のいずれかが表示されます。

・解除：5

3 被写体にカメラを向けて／

カウントダウン音が鳴り、セルフタイマーのカウントダウンが始まります。インジケータとカウンタに撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくと音の間隔が短くなります。設定した秒数が経過するとシャッター音が鳴り、撮影されます。

・オートフォーカス撮影時は、／を押すとピントを合わせてからカウントダウンが開始されます。

・セルフタイマーを途中で中止：

・セルフタイマーのカウントダウン中に電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームなどの設定時刻になったとき、を押したときは、撮影は中止されます。

コンパクトライトを点灯する

・インカメラ撮影時は点灯できません。

・静止画撮影時にコンパクトライトを点灯している場合、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。

1 撮影画面で

コンパクトライトが点灯します。

・消灯：もう一度

・静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

近くのものを撮影する　接写撮影

アウトカメラでごく近い距離の被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えるとピントを合わせることができます。インカメラ撮影時は利用できません。接写撮影でピントを合わせられる距離は、静止画のオートフォーカス撮影時で約8～50cmです。静止画のオートフォーカス撮影時以外は、約7～11cmでピントが合います。

1 撮影画面で[#]

接写撮影に切り替わり、[接写]が表示されます。

- 解除：もう一度[#]
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

撮影／録音時の設定を変更する

撮影モードやサイズなどを設定する

1 撮影画面／録音画面で[◎]でマークを選ぶ

- ちらつき調整はマークでは設定できません。設定するには☛P144
- 録音画面では品質とサイズ制限のみ設定できます。

- [1]～[5]、[7]～[9]、[0]を押してもマークを選べます。

[1]：撮影モード　[2]：明るさ
[3]：ホワイトバランス　[4]：フレーム
[5]：手ぶれ補正
[7]：連続撮影（静止画撮影時）☛P137／映像種別（動画撮影時）☛P143
[8]：画質／品質　[9]：サイズ制限
[0]：画像サイズ

2 [◎]で設定値を選び[●]

- 撮影画面で[4]を1秒以上押すとフレームを解除できます。

おしらせ

● 以下の設定は撮影／録音を終了しても保持されます。
- 明るさ
- 手ぶれ補正
- 画質／品質
- サイズ制限
- 画像サイズ
- ちらつき調整

撮影モード

色合いや撮影場所に応じた設定を選択できます。

[AUTO]フルオート：
最も標準的な撮影モード（お買い上げ時）。
- 通常はこのモードでご利用ください。

感度アップ：
カメラの感度がアップし、暗い所でも被写体が写りやすくなる。

超感度アップ：
わずかな光でも被写体をモノクロ画像として抽出して撮影。

逆光補正：
逆光により顔などが暗くなってしまうのを、明るくなるように調整。

スポット測光：
画面中央部の明るさに画像全体の明るさを合わせる。

風景：
自然や街並みを鮮やかに撮影。
- 彩度とシャープネスがやや強めになります。

夜景：
シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮影しやすくなる。
- 手ぶれに注意してください。

トワイライト：
夕暮れの風景を美しく撮影。
- 彩度が高めで、紫がかった写真になります。

サーフ&スノー：
海や空の青色や、雪の白色を鮮やかに再現。

スポーツ：
シャッタースピードが高速に設定され、動く被写体もぶれにくくなる。

ペット：
シャッタースピードが速め、彩度が高めになる。

グルメ：
料理やお菓子の撮影に適したモード。

文字：
文字の輪郭が強調される。

ネガポジ：
色を反転させて撮影。
- ネガフイルムのような表現になります。

絵画：
油絵のようなタッチで撮影。

版画：
黒と白のコントラストを生かした木版画風の画像を撮影。

美白：
肌が明るく、白く見えるように調整。
- 室内での撮影をおすすめします。

日焼け：

肌が小麦色に見えるように調整。

- 屋外での撮影をおすすめします。

ソフトタッチ：

輪郭が柔らかい画像になる。

モノトーン（赤）：

赤系の階調で表現したモノトーンで撮影。

モノトーン（緑）：

緑系の階調で表現したモノトーンで撮影。

モノトーン（青）：

青系の階調で表現したモノトーンで撮影。

モノクロ：

白黒写真の色合いで撮影。

セピア：

セピア調の色合いで撮影。

- インカメラ撮影中は感度アップ、超感度アップ、ネガポジ、絵画、版画には設定できません。
- 夜景モードと連続撮影自動／4コマ撮影自動は同時に設定できません。
- 夜景モードでは色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
- スポーツモード、ペットモードでは明るい場所で撮影してください。室内や暗い場所で撮影すると、ノイズが出る場合があります。
- グルメモードや文字モードで近距離で撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。
- 説明を見ながらモードを選択：撮影画面でMENU 1

明るさ

：+2　：+1　：±0（お買い上げ時）
：−1　：−2

- 被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影モードによっては設定できない場合があります。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：

ホワイトバランスを自動的に調整（お買い上げ時）。

太陽光：

晴天時の屋外で撮影するときに設定。

くもり：

曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定。

蛍光灯：

蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定。

電球：

電球などの照明の下で撮影するときに設定。

- 撮影モードによっては設定できない場合があります。

フレーム

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。

：フレーム設定中

：フレーム解除（お買い上げ時）

- お買い上げ時にFOMA端末に登録されているフレームは、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、縦長VGA（480×640）、待受用（480×864）の画像サイズに対応しています。
- 静止画の画像サイズがSub-QCIF（128×96）～待受用（480×864）、動画の画像サイズがSub-QCIF（128×96）、QCIF（176×144）のときに、フレームを設定できます。

おしらせ

- 一覧からフレームを選択：MENU 3 1 ▶フレームを選び●
- 画像サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば画像サイズがQCIF（176×144）のときに144×176のフレーム）を選択した場合、フレームが右90度回転して表示されます。このとき、撮影画面でMENU 3 3を押すと、フレームが180度回転します。画像サイズとフレームの縦横が同じ場合は回転できません。
- 撮影中にサイトからダウンロードしたフレームが表示されないときは、撮影画面でMENU 3 4を押します。

手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を利用するかを設定します。

オート：

手ぶれしやすい設定や撮影状況のとき、手ぶれ補正を自動で利用（お買い上げ時）。

OFF：

手ぶれ補正を利用しない。

おしらせ

- 以下の場合は、自動的に手ぶれ補正が「OFF」に設定され、変更できません。
  - 静止画／動画のインカメラ撮影時
  - 静止画の連続撮影／4コマ撮影時
  - ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）に静止画を撮影するとき
- 次のようなときは手ぶれが補正できない場合があります。
  - 手ぶれが大きいとき
  - 被写体が動いているとき
  - ズーム撮影時

  また、上記以外の場合でも、被写体や撮影場所の条件によっては、手ぶれが補正できない場合があります。
- 手ぶれ補正を使用して画像サイズの大きい静止画を撮影した場合、確認画面からの操作の一部が可能になるまでに時間がかかる場合があります。
- 手ぶれ補正を使用して動画を撮影した場合、手ぶれ補正を行わない場合に比べ、撮影したときに写る範囲が少し狭くなります。

映像種別（コーデック）

動画撮影時の符号化方式を設定します。

MPEG4：
標準的な方式です（お買い上げ時）。

H.264（高画質）：
圧縮効率が高く高画質な方式です。

画質／品質

■ 画質（静止画撮影時）

ファイン：
最も高い画質。
- ファイルサイズは大きくなります。

スタンダード：
標準的な画質（お買い上げ時）。

エコノミー：
最も低い画質。
- ファイルサイズは小さくなります。

■ 品質（動画撮影／録音時）

最高品質：
最も高い品質。
- ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。

高品質：
やや高い品質。

標準：
標準的な品質（お買い上げ時）。

長時間：
最も低い品質。
- ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

- 以下の場合は「最高品質」を選択できません。
  ・インカメラ撮影時
  ・共通再生モードの設定が「ON」のとき
- 録音時「最高品質」、「長時間」は設定できません。

サイズ制限

ファイルサイズの制限値を設定します。

■ 静止画撮影時

撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落として保存します。

制限なし：
ファイルサイズを制限しない（お買い上げ時）。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを2Mバイト以下に制限。
- ファイルサイズを変更せずにｉモードメールに添付できます。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを90Kバイト以下に制限。
- ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 画像サイズがSXGA（960×1280）以上のときは「メール添付用（小）」に設定できません。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

■ 動画撮影／録画時

撮影／録音中に動画／音声のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影／録音を終了します。

制限なし：
ファイルサイズを制限しない（お買い上げ時）。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを2Mバイト以下に制限。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを500Kバイト以下に制限。
- ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

- 撮影した動画／録音した音声をｉモードメールに添付して送信するときは「制限なし」以外に設定します。

※1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影方法	マーク	画像サイズ	備考
静止画撮影	96×72	電話帳用（96×72）	❶
	128×96	Sub-QCIF（128×96）	
	176×144	QCIF（176×144）	
	240×320	QVGA（240×320）	
	352×288	CIF（352×288）	❷
	640×480	横長VGA（640×480）※1	
	480×640	縦長VGA（480×640）※1	
	480×864	待受用（480×864）※1	
	960×1280	SXGA（960×1280）※1	
	1200×1600	UXGA（1200×1600）※1	
	1920×1080	フルHD(1920×1080)※1	
	1536×2048	3M（1536×2048）※1	
動画撮影	128×96	Sub-QCIF（128×96）※2	❸
	176×144	QCIF（176×144）	
	320×240	QVGA（320×240）	
	640×480	VGA（640×480）※1	

※1：インカメラ撮影時は設定できません。
※2：映像種別の設定が「H.264（高画質）」の場合、設定できません。

❶：ｉモードメールに添付して送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。
❷：ｉモードメールに添付して送信できます。ファイル添付時にサイズをQVGAサイズに変換するかの確認画面が表示されます。
❸：ｉモードメールに添付して送信できます。

- お買い上げ時の画像サイズ
  - ・静止画（アウトカメラ）：待受用（480×864）
    静止画（インカメラ）：CIF（352×288）
  - ・動画（アウトカメラ／インカメラ）：QCIF（176×144）
- ｉモード端末に送信できる静止画、動画のファイルサイズは最大2Mバイトです。
  - ・受信側の機種によって、正しく受信や表示がされない、または動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
  - ・下記機種※1以外に動画を送信する場合には、QCIF（176×144）サイズの動画をおすすめします。
    ※1：903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。
- ｉアプリ動作中（ｉアプリ待受画面設定時も含む）はUXGA（1200×1600）、フルHD（1920×1080）、3M（1536×2048）に設定できません。また、これらのサイズに設定しているとき、ｉアプリ動作中に静止画撮影画面を表示すると、画像サイズがSXGA（960×1280）に変更されます。
- 共通再生モードの設定が「ON」のときは、動画の画像サイズをQVGA（320×240）、VGA（640×480）に設定できません。

ちらつき調整を設定する

蛍光灯などの下で画面がちらつくとき、ご利用の地域の電源周波数に合わせてちらつき調整を設定すると、ちらつきを低減できる場合があります。

- 蛍光灯などの光が強くあたっている場所では、調整してもちらつきが消えないことがあります。

1 撮影画面で Menu 2 3 ▶ 1～3

自動：
　ちらつきを低減するように自動的に調整（お買い上げ時）。
50Hz（東日本）：
　東日本の電源周波数に合わせて調整。
60Hz（西日本）：
　西日本の電源周波数に合わせて調整。

おしらせ

● 本機能での設定内容は、テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整にも反映されます。☞P62、P147

● ちらつき調整の設定が「自動」のときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分に働かないことがあります。ご利用の地域の電源周波数に合わせて、ちらつき調整の設定を変更することをおすすめします。

動画を他機種に送信するときに最適な設定にする　共通再生モード

撮影した動画をD905i以外のFOMA端末でも再生できる設定にします。

- 「ON」に設定すると、サイズ制限、画像サイズ、映像種別がそれぞれ、メール添付用（小）、QCIF（176×144）、MPEG4に変更されます。また、品質は「最高品質」のときのみ「高品質」に変更されます。

1 動画撮影画面で Menu 7

- 押すたびに共通再生モードの「ON」と「OFF」が切り替わります。

おしらせ

● 共通再生モードの設定が「ON」のとき、以下のマークは選択できません。
- 映像種別　• サイズ制限

撮影時の設定を初期値に戻す

撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 撮影モードは、アウトカメラ撮影時はアウトカメラの設定、インカメラ撮影時はインカメラの設定だけが戻ります。

1 撮影画面で Menu 2 4 ▶ はい

静止画／動画の保存方法などを設定する　静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

例　静止画詳細設定を変更するとき

1 ⊙（1秒以上）▶ Menu 9

■ **動画撮影画面から動画／録音詳細設定を変更：Menu ▶ LifeKit ▶ 4 2 ▶ Menu 8**

■ **サウンドレコーダーから動画／録音詳細設定を変更：Menu ▶ LifeKit ▶ 5 ▶ Menu 1**

2 各項目を設定 ▶ 📖

■ **静止画の撮影可能枚数（目安）を表示：静止画詳細設定画面で Menu**
画像サイズと画質ごとの撮影可能枚数（目安）が表示されます。

- 画像サイズ（インカメラ）、サイズ制限（インカメラ）、画質（インカメラ）を選んでいるときは、インカメラの撮影可能枚数（目安）、それ以外のときはアウトカメラの撮影可能枚数（目安）が表示されます。
- 枚数は現在の保存先とサイズ制限の設定に従って計算されます。ただし、サイズ制限の設定が「メール添付用（小）」の場合、このサイズ制限では設定できない画像サイズの撮影可能枚数は、「メール添付用（大）」で計算されます。
- 画像サイズの選択画面表示中に Menu を押しても表示できます。

■ **動画の撮影可能時間（目安）を表示：動画／録音詳細設定画面で Menu**

画像サイズと品質ごとに、保存できる合計撮影時間（総撮影時間）と1回あたりの撮影時間の目安が表示されます。また、サウンドレコーダーの録音時間の目安も表示されます。

- 時間は現在の保存先と撮影種別、映像種別、サイズ制限の設定に従って計算されます。
- 1回あたりの撮影時間／録音時間が13時間を超える場合は13:00:00（品質が「最高品質」または動画の画像サイズがVGA（640×480）の場合、4時間を超えるときは4:00:00）、総撮影時間／録音時間が999時間59分59秒を超える場合は999:59:59が表示されます。

静止画詳細設定について

画像サイズ（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定（お買い上げ時：待受用（480×864））。☛P143
- 選択画面で画像サイズを選ぶと、画面下部のアイコン表示で手ぶれ補正、連続撮影、フレーム撮影、アウトカメラ／インカメラ撮影の可／不可を確認できます。
- SXGA（960×1280）以上の画像サイズとサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。

サイズ制限（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定（お買い上げ時：制限なし）。☛P143

画質（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画質を設定（お買い上げ時：スタンダード）。☛P143

画像サイズ（インカメラ）／サイズ制限（インカメラ）／画質（インカメラ）：
設定内容はアウトカメラと同じです。ただし、設定できる画像サイズはアウトカメラと異なります。画像サイズのお買い上げ時の設定はCIF（352×288）になります。

連続撮影枚数：
連続撮影する枚数（2～9枚）を設定（お買い上げ時：9枚）。

自動保存：
する…撮影した静止画が自動的に保存されます。
しない…撮影後に確認画面が表示されます（お買い上げ時）。

保存先：
「本体」または「microSD」を選択（お買い上げ時：本体）。

シャッター音：
シャッター音1～5から選択（お買い上げ時：シャッター音1）。

照明設定：
端末設定に従う…ディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。お買い上げ時は「常灯」に設定されています。

動画／録音詳細設定について

サイズ制限（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時のファイルサイズの制限値を設定（お買い上げ時：制限なし）。☛P143

品質（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の動画の品質を設定（お買い上げ時：STD（標準））。☛P143

画像サイズ（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の画像サイズを設定（お買い上げ時：QCIF（176×144））。☛P143

映像種別（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の動画の符号化方式を選択（お買い上げ時：MPEG4）。☛P143

撮影種別（アウトカメラ）：
アウトカメラ撮影時の動画の種類を「画像＋音声」「画像のみ」から選択（お買い上げ時：画像＋音声）。

サイズ制限（インカメラ）／品質（インカメラ）／画像サイズ（インカメラ）／映像種別（インカメラ）／撮影種別（インカメラ）：
設定内容はアウトカメラと同じです。ただし、品質の設定を「最高品質」にはできません。

サイズ制限（サウンドレコーダー）：
録音する音声のファイルサイズの制限値を設定（お買い上げ時：制限なし）。☛P143

品質（サウンドレコーダー）：
録音する音声の品質を設定（お買い上げ時：STD（標準））。☛P143

自動保存：
する…撮影／録音した動画／音声が自動的に保存されます。
しない…撮影／録音後に確認画面が表示されます（お買い上げ時）。

保存先：
「本体」または「microSD」を選択（お買い上げ時：本体）。

シャッター音：
シャッター音1～5から選択（お買い上げ時：シャッター音1）。

照明設定：

端末設定に従う…ディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。お買い上げ時は「常灯」に設定されています。

おしらせ

- 電話帳、メール、iアプリから起動したときは設定できません。
- 共通再生モードの設定が「ON」のときに、動画／録音詳細設定を以下の値に変更すると、共通再生モードが解除されます。
  - サイズ制限（アウトカメラ／インカメラ）：メール添付用（大）または制限なし
  - 画像サイズ（アウトカメラ）：VGA（640×480）／（インカメラ）：QVGA（320×240）
  - 映像種別（アウトカメラ／インカメラ）：H.264（高画質）
  - 品質（アウトカメラ）：最高品質
- シャッター音の設定内容は、音の設定の操作確認音にも反映されます。☛P94
  また、照明設定の設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定にも反映されます。☛P102

通話中に撮影した静止画を送信する

音声電話通話中に撮影した静止画を、iモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 保存先の設定がmicroSDメモリーカードの場合、自動保存を「する」にしていると通話中に撮影した静止画を送信できません。静止画詳細設定で「しない」に変更してください。
- 保存先の設定をmicroSDメモリーカードにしていても、送信する静止画はFOMA端末に保存されます。

1 音声電話通話中に[カメラ]

2 静止画を撮影

- 保存先が「本体」で自動保存を「する」にしているときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した静止画がサムネイル表示されます。[方向キー]で静止画を選びます。

3 [メール]▶画面に従って静止画を保存

メール作成画面が表示されます。

- 表示される画面は静止画撮影の確認画面からのメール添付と同じです。☛P136
- 通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴の設定が「認証後に表示」の場合）は入力されません。

4 iモードメールを作成して送信

iモードメールを送信すると、撮影待機中の画面に戻ります。[クリア]を押すと撮影を終了し、通話中の画面に戻ります。

バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダー

JANコードやQRコードから文字や数字などの情報を読み取って利用できます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- JANコードとQRコード以外のバーコードおよび2次元コードは読み取れません。
- バーコードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないことがあります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。☛P370

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードの1つです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

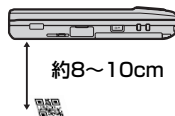
下のJANコードでは「4942857132083」という文字情報が読み取れます。

QRコードとは

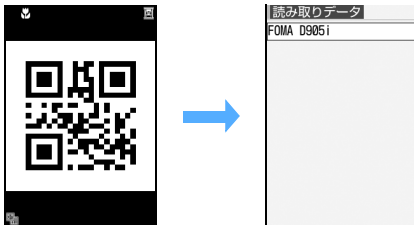
縦横方向の模様で英数字や文字（漢字・カナ・絵文字）、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードの1つです。

左のQRコードでは「FOMA D905i」という文字情報が読み取れます。

コードを読み取る

バーコードリーダーを起動すると自動的に接写撮影に切り替わります。アウトカメラをコードから約8～10cm離して読み取ってください。

1 Menu ▶LifeKit▶1

2 アウトカメラをコードに合わせる

自動的にコードを読み取ります。正しく読み取ると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- コードが読み取りにくいときは、コードとアウトカメラの距離や角度、方向などを調節すると読み取れる場合があります。
- キー操作後、約30秒経過してもコードを読み取れないときは「読み取りできませんでした」と表示されます。さらに約30秒経過してもコードが読み取れないときは、再度「読み取りできませんでした」と表示後、バーコードリーダーが終了します。
- データが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが、保存はできます。
- サブメニュー表示中など、読み取りを停止しているときは、画面右上の⌛が⊠に変わります。
- 以下の場合は、コードを読み取ったときに確認音は鳴りません。
  - ・電話着信音量とメール・メッセージ着信音量の設定がどちらも「Silent」(消音)のとき
  - ・マナーモード中
  - ・公共モード（ドライブモード）中

■ **コードを読み取り直す：**(□)

3 Menu 4

読み取ったデータがFOMA端末に保存されます。

- 既にデータが5件保存されているときや保存領域の空きが足りないときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ **読み取ったデータの文字情報をコピー：**

① Menu 1 ▶**コピーの開始位置を選び**●

- 文字情報全体をコピー：Menu ●

② **コピーの終了位置を選び**●

コード読み取り中の各種操作

操作2で、コード読み取り中の画面から以下の操作が行えます。

- サイズの大きいコードを読み取るときは、接写をOFFにしたり等倍表示にすると、読み取りやすくなることがあります。

■ **コンパクトライトの点灯（）／消灯（表示なし）の切り替え：**(✉)

■ **接写 OFF（表示なし）／接写 ON（）の切り替え：**#

■ **等倍表示／2倍表示：**○／○

■ **オートフォーカスを使ってコードを読み取る：アウトカメラをコードに向ける▶**(📞)

ピントが自動的に調節され、コードが読み取られます。

- ピント調節中はAF（黒）が表示されます。ピントが合うとAF（緑）に変わります。

■ **ちらつき調整の設定：**Menu 2▶1～3

- 設定内容☛P144
- 本機能での設定内容は、テレビ電話、カメラのちらつき調整にも反映されます。☛P62、P144

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）に分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って、次々に読み取ってください。

- 途中で読み取りを中止：クリア▶はい

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面でバーコードリーダーに切り替え：Menu▶機能切替▶バーコードリーダー
- コード読み取り中の画面で静止画撮影や動画撮影に切り替え：Menu 4▶1～2
  文字入力画面や i アプリからバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。
- 読み取ったデータのファイル名は「読み取り日時＋ファイル項番.拡張子」になります。拡張子はJANコードでは「jan」、QRコードでは「qr」です（例：2008年1月23日12時34分にJANコードを読み取った場合は「20080123123400.jan」）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。

読み取ったデータを利用する

読み取りデータにより、行える操作は異なります。

例 情報を電話帳に登録するとき

1 Menu▶LifeKit▶1▶(電話帳)

2 **データを選び●**

■ **読み取りデータの削除：データを選びMenu3 1▶はい**

- すべて削除：Menu32▶端末暗証番号を入力▶はい

3 **電話帳に登録する情報を選ぶ▶新規登録するときはMenu31、更新登録するときはMenu32▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

■ **情報を電話帳に一括登録：電話帳登録▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。データによっては名前やフリガナなども入力されます。

■ **ｉモードメールの送信：メールアドレスを選び●、またはメール作成**

メール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合、データによっては題名、本文も入力されます。

■ **サイトまたはインターネットホームページに接続：URLを選び●▶はい**

- ｉモードとフルブラウザの両方で表示可能な場合「はい」を選択するとｉモード、(切替)を押すとフルブラウザで表示されます。

■ **URLをブックマークに登録：**

①**URLを選びMenu33、またはブックマーク登録**

②**フォルダを選び●▶タイトル名を入力（全角12／半角24文字まで）▶(電話帳)**

- 「ブックマーク登録」を選択した場合、データによってはタイトル名が入力されます。

■ **ｉアプリの起動：ｉアプリ起動**

■ **音声電話またはテレビ電話をかける／プッシュトーク発信／SMSを作成：**

①**電話番号を選び●▶発信オプションの発信方法欄から選び●****☞P49**

②**Menu▶はい**

- 着もじ、発信方法以外の設定を無効にして発信：Menu▶元の番号で発信

■ **静止画の保存／表示：静止画のファイル名を選び●▶保存**

- 以降の操作は「画像を取得する」の操作３以降と同じです。☞P157
- 静止画を表示：表示

■ **メロディの保存／再生：メロディのファイル名を選び●**

- 以降の操作は「メロディをダウンロードする」の操作2以降と同じです。☞P158
- メロディはデータBOXのメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

■ **トルカの保存／表示：トルカのファイル名を選び●▶保存**

- トルカを表示：表示

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画･動画･メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにすると、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

サイトを表示する

1 　Ⓘ１

- 接続中の画面でⓄを押すと、接続が中止され、ページ取得中にⓂを押すと、ページの取得が中止されます。
- 1、2 などの番号付きの項目は、キーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2 **メニュー／検索**

3 **項目を選びⓄ**

以降同様に目的のページを表示します。

- すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目を選べるときは、ガイド行に△や▽が表示されます。
- サイト表示中にⓄでスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。Ⓢ、Ⓜを押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールします。

4 **サイトを見終わったらⓕ▶はい**

おしらせ

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：表示・効果設定で画像を「表示しない」にしているとき（メッセージR/Fで画像未取得の場合は ）
  - ：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき
- サイト表示中にｉMenuに戻る：Ⓜ▶ｉMenu
- スクロールバーは、ページ取得中やフォーカス移動、スクロールが必要な操作をしたときなどに表示されます。スクロールバーは、操作なしで約１秒経過すると消えます。
- サイトからお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定するために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し「OK」を選択します。

● サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、確認画面が表示されます。
「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。
送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
- SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。☛P163
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

SSLページに接続する

SSL通信開始の画面が表示されます。FOMA端末に保存されている証明書がSSL通信に必要な場合、選択画面が表示されます。SSLページが表示されるとディスプレイ上部に SSL が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示：Menu 9 2
- 証明書の内容☛P163

SSLページから通常ページに進む

確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、SSL が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

①FirstPass対応サイトでユーザ証明書を選び●
- 証明書の内容を確認：ユーザ証明書を選び Menu

②PIN2コードを入力
ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

おしらせ

● FirstPass 対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象外となります。

以前に表示したページに再接続する
ラストURL

ラストURLを利用すると以前に表示したページ（最大10件）に簡単に再接続できます。
- ページによっては、表示できないことがあります。また、以前に表示したページと異なることがあります。

1 i 4 ▶ラストURLを選び●
- ラストURLのURLを確認するときは、ラストURLを選び m を押します。

■ ラストURLの削除：
①ラストURLを選び Menu 4 1
- 複数削除：Menu 4 2 ▶削除対象のラストURLを選び● ▶ m
- 全件削除：Menu 4 3 ▶端末暗証番号を入力

②はい

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ページによっては選択項目や入力欄が表示されます。◎で選択項目や入力欄を選び●を押して選択・入力します。

❶ **リンク**
関連するページへ進みます。選ぶと反転表示されます。

❷ **文字入力欄**
文字を入力します。入力文字種と文字数は、文字入力欄によって異なります。

❸ **ラジオボタン**（○：選択されていない状態
●：選択されている状態）
選択肢の中から1つだけ選択可。

❹ **チェックボックス**（□：選択されていない状態
☑：選択されている状態）
選択肢の中から複数選択可。
●で□と☑が切り替わります。

❺ **プルダウンメニュー**
項目の一覧から項目を選択。

❻ ボタン
ページの設定内容を確定してサイトへ送信したり、取り消したりします。

おしらせ

● 画像にリンクが設定されている場合もあります。
● 文字入力画面には電話帳データや自局番号の登録内容、バーコードリーダーで読み取ったJANコードやQRコードの文字列情報を入力できます。☛P370

Flash画像の表示について

Flash画像により､表現力豊かなサイトを利用できます。
- Flash画像を利用したサイトでは、通常のサイトと動作が異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定してもFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によってはガイド行に◇が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像を最初から再生：Menu 9 7
- Flash 画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量はメロディの動作設定の音量に従います。
  Flashの効果音を鳴らさない：Menu 9 3 ▶ 効果音設定を選び ● ▶ 2 ▶ ⓜ
- バイブレータ設定を「OFF」以外にしているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」にしても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開する：●／◎／☎／✉／✉／ⓜ／0～9／＊／＃／TV／📱

前のページに戻る／進む

ページの表示履歴をキャッシュに最大20件記録しています。
- キャッシュとは、ページの表示履歴を一時的に記録する端末内の場所です。通信を行わずに◎でキャッシュに記録された表示履歴を表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは、通信を行います。
- FirstPassセンター接続中は本機能を利用できません。

おしらせ

● キャッシュが満杯になるとキャッシュ内の履歴が消去される場合があります。
● 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
● ｉモードを終了すると、キャッシュ内の履歴はすべて消去されます。
● Flash 画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
● ページA→ページB→ページCの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→ページB→ページCの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBには戻れません。

情報を再読み込みする

接続の中断などでサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うと表示できることがあります。

1 **サイト表示中に Menu 5**

表示中のサイトのURLを表示する

1 **サイト表示中に Menu 9 1**

マイメニューを使う　マイメニュー

サイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトを簡単に表示できます。

- 最大45件登録できます。
- 登録にはｉモードパスワードが必要です。ｉモードご契約時には「0000」に設定されています。
- ｉMenuのメニュー／検索内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉMenuのメニュー／検索内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 **サイトを表示▶マイメニュー登録**

- サイトによってページ構成が異なります。項目に対応する番号のキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 **ｉモードパスワード入力欄▶入力▶決定**

マイメニューからサイトを表示する

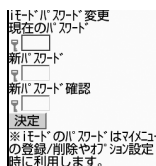
1 **ｉMenuを表示▶マイメニュー▶サイトを選び●**

ｉモードパスワードを変更する　ｉモードパスワード変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときは、ｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードは、ｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワード（4桁の数字）に変更してください。ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 **ｉMenuを表示▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶ｉモードパスワード変更**

2 **現在のパスワード欄▶入力**

3 **新パスワード欄▶入力**

4 **新パスワード確認欄▶操作3と同じｉモードパスワードを入力▶決定**

- 入力内容に誤りや抜けがあるとエラー画面が表示されます。「再入力」を選択して再度操作2から操作してください。

インターネットホームページを表示する　インターネット接続

- ｉモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。
- フルブラウザに切り替えられます。☛P267

1 ⓘ５１▶URLを入力(半角256文字まで)▶Ⓜ

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。
- 「/」「.」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に１を繰り返し押して入力します。また「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、半角英字入力モード時に✱を繰り返し押して入力できます。

おしらせ

- サイト画面からの操作：Menu▶Internet▶URL入力
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。●を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。

URL入力履歴を使って表示する　URL入力履歴

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 ⓘ５２▶URLを選び●

- URLが長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、URLを選びⓂを押します。

■ URLを編集して接続：URL入力履歴一覧でURLを選びMenu６▶URLを編集▶Ⓜ

■ URL入力履歴の削除：
①URL入力履歴一覧でURLを選びMenu４１
- 複数削除：URL入力履歴一覧でMenu４２▶削除対象のURLを選び●▶Ⓜ
- すべて削除：URL入力履歴一覧でMenu４３▶端末暗証番号を入力

②はい

おしらせ

- サイト画面からの操作：Menu▶Internet▶URL入力履歴
- URL入力履歴が20件を超えた場合は、古いURL入力履歴から順に消去されます。

文字を正しく表示する　文字コード

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。

1 サイトやインターネットホームページ表示中にMenu９６１

- 押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。また、Menu９６２を押すと自動選択に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。
- 操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する　ブックマーク

- 最大登録件数☛P439
- URLが半角256文字を超えるサイトはブックマークに登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

1 サイトやインターネットホームページを表示▶Menu２１▶登録先フォルダを選び●

2 タイトル名を入力（全角12／半角24文字まで）▶Ⓜ

- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧ではサイトのページタイトルまたはURLが表示されます。

おしらせ

- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、ラストURL一覧、URL入力履歴一覧からの操作：Menu▶Bookmark登録▶登録先フォルダを選び●▶タイトル名を入力▶Ⓜ
- 最大登録件数を超えるときは、確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

・フォルダは「フォルダ1」を含めて最大20個作成できます。

1 **[i]2▶Menu 1**

■ **フォルダ名の変更：フォルダを選びMenu 3**

■ **フォルダの並び順を変更：フォルダを選びMenu▶7～8**

2 **フォルダ名を入力（全角8／半角16文字まで）▶[m]**

フォルダを削除する

・「フォルダ1」は削除できます。
・フォルダが1個のとき、フォルダは削除できません。

1 **[i]2▶フォルダを選びMenu 2▶端末暗証番号を入力▶はい**

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 **[i]2**

フォルダ一覧が表示されます。
：ブックマークなし　：ブックマークあり

2 **フォルダを選び[●]**

ブックマーク一覧が表示されます。

3 **ブックマークを選び[●]**

■ **URLの確認：ブックマークを選び[m]**

おしらせ

● サイト画面からの操作：Menu▶Bookmark▶表示▶フォルダを選び[●]▶ブックマークを選び[●]

フォルダ一覧からの各種操作

■ **ブックマークの移動：**
① **フォルダを選び[●]**
② **ブックマークを選びMenu 5 1**
・複数移動：Menu 5 2▶ブックマークを選び[●]▶[m]
・全件移動：Menu 5 3
③ **移動先のフォルダを選び[●]**

■ **ブックマークのタイトルを変更：フォルダを選び[●]▶ブックマークを選び[⇔]**
・以降の操作は「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P154

■ **ブックマークをメールに添付して送信：フォルダを選び[●]▶ブックマークを選びMenu 9**
ブックマークが添付されているメール作成画面が表示されます。

■ **ブックマークの削除：**
① **フォルダを選び[●]**
・全件削除：フォルダ一覧でMenu 4▶端末暗証番号を入力▶操作③
② **ブックマークを選びMenu 3 1**
・複数削除：Menu 3 2▶ブックマークを選び[●]▶[m]
・フォルダ内のブックマークを全件削除：Menu 3 3▶端末暗証番号を入力
③ **はい**

■ **ブックマークの並べ替え：フォルダを選び[●]▶Menu 6▶1～4**
・ブックマーク一覧の並び順が一時的に替わります。表示を終了すると「アクセス日付順」に戻ります。
・並べ替えはすべてのフォルダが対象です。
・アクセス日付順、タイトル名順、URL順、アクセス回数順が選択できます。

おしらせ

● ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。
● タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル名順」に並べ替えても50音順にはなりません。

少ないキー操作でサイトに接続する

ツータッチサイト登録

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。
・登録できるのは、iモードとフルブラウザを合わせて最大10件です。

1 **[i]2▶フォルダを選び[●]▶ブックマークを選びMenu 2**

・解除するには、同様の操作を行います。
・ツータッチサイト未登録のブックマークを選んでいる場合は、[✉]を押しても登録できます。

2 **登録先を選び[●]**

・ツータッチでサイトを表示するとき、アイコンの番号（0～9）が0～9に対応します。
・ブックマーク一覧では、登録されたブックマークのマークがから0～9に変わります。
・登録済みの登録先を選択すると確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

ツータッチでサイトを表示する

1 0～9▶Ⓘ

ツータッチサイト一覧から操作する

1 Ⓘ81

ツータッチサイト一覧が表示されます。

- フルブラウザのブックマークにはFBが表示されます。

■ **サイトの表示：ブックマークを選び●**

■ **サイトの登録：**
 ①**未登録を選び●▶ｉモード**
  - フルブラウザのブックマークを登録：未登録を選び●▶フルブラウザ

 ②**フォルダを選び●▶ブックマークを選び●**

■ **解除：ブックマークを選びMenu2▶はい**

■ **URLの確認：ブックマークを選びm**

サイトの内容を保存する 画面メモ

画面メモを保存する

- 最大保存件数☞P439
- 保存できるファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 **サイトを表示▶Menu31**

2 **タイトル名を入力（全角12／半角24文字まで）▶m**
- タイトル名を入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。上書きする画面メモを選択してください。保護されている画面メモは上書きされません。

画面メモを表示する

1 Ⓘ3

画面メモ一覧が表示されます。

2 **画面メモを選び●**

画面メモが表示されます。
- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☞P151

■ **URLの確認：画面メモを選びm**

おしらせ

- サイト画面からの操作：Menu▶画面メモ▶表示▶画面メモを選び●
 このとき、文字コードを変更していた場合、サイト画面に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示画面でFlash画像を再度動作させる：Menu▶表示▶リトライ

画面メモ一覧からの各種操作

■ **画面メモのタイトルを変更：画面メモを選び✉**
- 以降の操作は「画面メモを保存する」の操作2と同じです。☞P156
- 画面メモ表示画面からの操作：Menu▶タイトル変更

■ **画面メモの保護：画面メモを選びMenu11**

画面メモが保護され、マークが から に変わります。
- 解除：画面メモを選びMenu13
- 複数保護：Menu12▶画面メモを選び●▶m
- 複数解除：Menu14▶画面メモを選び●▶m
- 全件解除：Menu15
- 画面メモ表示画面からの操作：Menu▶保護／保護解除
- 最大保護件数☞P439

■ **画面メモの削除：**
 ①**画面メモを選びMenu21**
  - 複数削除：Menu22▶画面メモを選び●▶m
  - 全件削除：Menu23▶端末暗証番号を入力

 ②**はい**
- 画面メモ表示画面からの操作：Menu▶削除▶はい

■ **画面メモの並べ替え：Menu8▶1～3**
- 画面メモの並び順が一時的に替わります。終了すると「日付順」に戻ります。
- 日付順、タイトル順、サイズ順が選択できます。

おしらせ

- タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル順」に並べ替えても50音順にはなりません。

サイトから各種データをダウンロードする　ダウンロード

• データ（ファイル）によっては、microSDメモリーカードに保存できるものもあります。
• 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。画面に従ってデータを削除してください。

共通基本操作

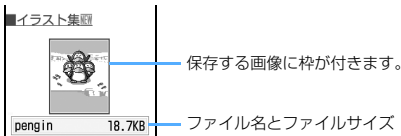
• ダウンロードを中止：ダウンロード中に(m)（PDFデータは(●)）
• 保存を中止（画像、PDFデータを除く）：戻る▶いいえ
• ダウンロードしたデータの表示と内容の確認：プレビュー
　・以下のデータの表示と内容の確認ができます。
　　メールテンプレート、トルカ、きせかえツール、マチキャラ

画像を取得する　画像保存

サイトなどから、画像やフレーム、デコメ絵文字などを取得し保存します。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定できます。
• 最大保存件数☛P439
• 取得できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
• GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。

例　サイトからダウンロードするとき

1 サイトを表示▶(Menu)[6][1]
■ サイトの背景画像を保存：サイトを表示▶(Menu)[6][2]▶操作3

2 画像を選び(●)

3 各項目を設定
• 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
• メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）の場合、表示名以外は変更できません。

表示名：
　全角・半角を問わず36文字まで入力可。

ファイル名：
　半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力可。ただし「.」はファイル名の先頭に使用できません。

コメント：
　全角・半角を問わず100文字まで入力可。

フレーム候補：
　画像をフレーム画像として貼り付け可能。
　• 横縦（または縦横）のサイズが480×864を超える画像は「する」に変更できません。

スタンプ候補：
　画像をスタンプ画像として貼り付け可能。
　• 横縦（または縦横）のサイズが480×864以上の画像は「する」に変更できません。

ファイル制限：
　メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかを設定。
　• サイトからダウンロードした画像ファイルの場合は変更できません。

• ガイド行に[SD]が表示された場合は、(⇔)を押し、(m)を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。
microSDメモリーカードに保存する場合は、表示名のみ設定できます。
• 本体に保存する場合は、(Menu)を押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☛P273

4 (m)▶保存先を選び(●)
• デコメ絵文字の場合、データBOX内の「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

おしらせ

● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は864×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
● 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。

メロディをダウンロードする　ｉメロディ

サイトからメロディをダウンロードし、再生・保存します（ｉメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定できます。
• 最大保存件数☛P439
• ダウンロードできるメロディのサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
• SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

1 サイトを表示▶メロディを選び㊉

2 保存

・再生して確認：再生

3 表示名を入力（全角25／半角50文字まで）▶㊟

メロディは、データBOX内の「メロディ」の「iモード」フォルダに保存されます。☛P287

・ガイド行に が表示された場合は、㊥を押し、㊟を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

● メロディによっては正しく再生できない場合があります。

PDFデータをダウンロードする

・最大保存件数☛P439
・ダウンロードできるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
・データサイズの大きいPDFデータをダウンロードした場合、高額のパケット通信料となることがありますので、ご注意ください。

1 サイトを表示▶PDFデータを選び㊉

PDFデータがダウンロードされ、PDF対応ビューアに表示されます。☛P311

・PDFデータによっては、操作3に進む場合があります。
・PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して㊟を押します。
・部分保存したPDFデータの残りのデータをダウンロード：Menu 1

2 Menu 2

・既に同じPDFデータを保存し、保存したPDFデータが変更されているときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶㊟

PDFデータは、データBOX内の「マイドキュメント」の「iモード」フォルダに保存されます。☛P311

・ガイド行に が表示された場合は、㊥を押し、㊟を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。
・すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

おしらせ

● iモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズが不明なPDFデータはダウンロードできません。
● 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、iモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるiモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、iモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超える旨のメッセージが表示されます。画面に従って登録可能件数になるまでiモードしおりやマークを削除してください。
● ダウンロードを中止したり、通信が切断されたなどで部分保存したPDFデータの場合、マイドキュメントから再ダウンロードできます。「PDFデータを表示する」の操作2☛P311

辞書をダウンロードする

・最大10件保存できます。
・ダウンロードできる辞書のサイズは1件あたり最大32Kバイトです。
・ダウンロードした辞書の利用☛P372

1 サイトを表示▶辞書を選び㊉▶保存▶㊉

辞書は、文字入力設定のダウンロード辞書に保存されます。

キャラ電をダウンロードする

・最大保存件数☛P439
・ダウンロードできるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶キャラ電を選び㊉

2 保存

・表示して確認：表示

3 各項目を設定

表示名：
全角・半角を問わず36文字まで入力可。
コメント：
全角・半角を問わず100文字まで入力可。

4 ㊟

キャラ電は、データBOX内の「キャラ電」の「iモード」フォルダに保存されます。

おしらせ

● お買い上げ時に登録されているキャラ電は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P304

メールテンプレートをダウンロードする

- 最大保存件数☛P439
- ダウンロードできるメールテンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。
- ダウンロードしたメールテンプレートは「テンプレート」に保存されます。

1 サイトを表示▶メールテンプレートを選び㊣▶保存

以降の操作は「テンプレートを登録する」の操作2以降と同じです。☛P176

- メール作成の確認画面が表示された場合、「はい」を選択すると続けてメールを作成できます。

おしらせ

- ダウンロードしたメールテンプレートに利用できないファイルが添付されているときは、ファイルを削除しないと保存できません。
- ダウンロードしたメールテンプレートにメール添付やFOMA 端末外への出力が禁止されている画像またはFOMA 端末で利用できない画像が挿入されているときは、画像を削除しないと保存できません。

トルカをダウンロードする

- 最大保存件数☛P439
- 最大保存サイズ☛P228
- トルカの保存先☛P228
- 保存されたトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。トルカからトルカ（詳細）の取得☛P229
- サイトからダウンロードしたトルカは「プレビュー」を選択しないで保存した場合でも既読となります。

1 サイトを表示▶トルカを選び㊣▶保存

きせかえツールをダウンロードする

- 最大保存件数☛P439
- ダウンロードできるきせかえツールのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- きせかえツールの利用☛P104

1 サイトを表示▶きせかえツールを選び㊣▶保存

2 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶(m)

きせかえツールは、データBOX内の「きせかえツール」の「iモード」フォルダに保存されます。

- きせかえツールを設定：表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶(Menu)▶はい

おしらせ

- 設定される画面や着信音などは、きせかえツールによって異なります。
- きせかえツールによっては、表示・設定できないものがあります。
- ダウンロードを中止したり、通信が切断されたなどで部分保存したきせかえツールの場合「きせかえツール」から再ダウンロードできます。「きせかえツールを設定する」の操作2☛P104

マチキャラをダウンロードする

- 最大保存件数☛P439
- ダウンロードできるマチキャラのサイズは1件あたり最大500Kバイトです。
- マチキャラの設定☛P107

1 サイトを表示▶マチキャラを選び㊣▶保存

2 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）

- 待受画面などに表示するように設定：(Menu)

3 (m)

マチキャラは、データBOX内の「マチキャラ」の「iモード」フォルダに保存されます。

おしらせ

- ダウンロードを中止したり、通信が切断されたなどで部分保存したマチキャラの場合、「マチキャラ」から再ダウンロードできます。「マチキャラを表示する」の操作2☛P286

オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、RootCA証明書と中間証明書は合わせて最大10件保存できます。
- ダウンロードできる証明書のサイズは 1 件あたり最大100Kバイトです。
- 青色のFOMA カードを差し込んでいる場合は、オリジナル証明書のダウンロードはできません。
- オリジナル証明書は各企業から発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- ダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- ダウンロードしたオリジナル証明書の有効／無効の設定☛P163

1 サイトを表示▶オリジナル証明書を選び㊣▶保存

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To・Media To機能を使う

表示中の画面の電話番号やメールアドレス、URL、ワンセグ視聴用情報などから以下の操作が行えます。
- 音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信、SMSの作成（Phone To／AV Phone To）
- メールの作成（Mail To）
- サイトなどへの接続（Web To）
- ワンセグ視聴／視聴予約／録画予約（Media To）
- メールやメッセージR/Fなどからも行えます。
- サイトやインターネットホームページによっては、利用できない機能があります。
- 2in1がBモードのときは、Mail Toを利用できません。
- 選べない電話番号、メールアドレス、URLは選択できません。

1 サイトを表示

■ Phone To（AV Phone To）：
①**電話番号を選び**
発信オプションの画面が表示されます。
②**発信オプションの発信方法欄から選び**
☛P49
③ Menu ▶ **はい**
- 着もじ、発信方法以外の設定を無効にして発信：Menu ▶ 元の番号で発信

■ Mail To：
①**メールアドレスを選び**
選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。
②**ｉモードメールを作成して送信**
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

■ Web To：URLを選び
選択したURLのサイトやインターネットホームページに接続されます。
- メールなどから実行した場合、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると接続されます。確認画面表示中のガイド行に「フルブラウザ」と表示された場合、を押すとフルブラウザで表示されます。

■ Media To：
①**ワンセグ視聴用情報などのリンクを選び**
②**確認画面表示中 ▶ はい**
ワンセグ視聴画面または予約スケジュールの登録画面が表示されます。☛P253、P255
- ワンセグ視聴／録画中またはデータ放送サイト表示中の場合、ワンセグ視聴用情報のリンクを選択し、確認画面で「はい」を選択すると実行中の機能が終了し、ワンセグ視聴用情報で指定されているチャンネルの視聴が開始されます。

おしらせ
- 反転表示されていてもMedia To機能を利用できない場合があります。
- 以下の場合は、サイトやメールなどからのMedia Toによるワンセグ起動はできません。また、実行中の機能によっては、ワンセグを起動できない場合があります。
  - 電話やプッシュトークの発信中／着信中／通話・通信中
  - メールやメッセージR/Fの受信中
  - パソコンとつないだデータ通信中
- ワンセグ視聴／録画中の場合、実行中の処理（チャンネル一覧表示中、チャンネル設定中など）によっては、Media Toで指定されたチャンネルの視聴を開始できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存したメールからはMedia Toでワンセグを起動できません。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと、以前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示☛P153**▶ Menu 1**

2 コピーする範囲の開始位置を選び ▶ 終了位置を選び
- 全文選択：Menu
- 開始位置の指定し直し：クリア
- カーソルを文頭／文末に移動：開始位置指定後に Menu ／

3 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

おしらせ
- 以下の画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
  - ラストURL一覧、URL入力履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧からの操作：Menu ▶ URLコピー
  - ブックマーク一覧からの操作：Menu ▶ URL表示／入力／コピー ▶ URLコピー
- URLをメールに貼り付け：サイト画面で Menu ▶ メール作成
表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する　電話帳登録

1 **サイトを表示▶電話番号を選ぶ**
- 選べない電話番号やメールアドレスは登録できません。

2 Menu 8 1
- 登録済みの電話帳データを修正：Menu 8 2

3 **1～2▶名前などを登録**
- 登録済みの電話帳データを修正：1～2▶相手を選び◉▶登録内容を修正

おしらせ

- 画面メモ表示画面からの操作：Menu▶電話帳▶新規登録／更新登録
- メッセージR/F詳細画面からの操作：Menu▶登録▶電話帳新規／電話帳更新

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧などからURLを電話帳に登録します。

例 ブックマーク一覧から登録するとき

1 **i 2▶フォルダを選び◉**

2 **ブックマークを選びMenu 7 1**
- 登録済みの電話帳データを修正：ブックマークを選びMenu 7 2

3 **名前などを登録**
- 登録済みの電話帳データを修正：相手を選び◉▶登録内容を修正

おしらせ

- 画面メモ一覧からの操作：Menu▶電話帳▶新規登録／更新登録
- ラストURLのURL表示画面からの操作：Menu▶電話帳新規登録／電話帳更新登録

ｉモードの設定を行う　ｉモード設定

接続待ち時間を設定する　接続待ち時間設定

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。

1 i 8 2▶1～3

おしらせ

- 「無制限（設定なし）」にしていても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）　接続先設定

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

■ **ISP接続通信とは**

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）へ接続できます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
- ISP接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ **プロバイダ契約について**

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先を設定／変更できません。

1 i 8 8

2 **ユーザ設定1～10のいずれかを選びMenu▶端末暗証番号を入力**

■ ｉモードを利用する設定に戻す：ｉモード（FOMAカード）▶CLR

■ 以前に設定した接続先に変更：接続先を選び◉▶CLR

3 各項目を設定▶(Menu)

接続先名称：
全角8／半角16文字まで入力可。
接続先番号：
半角英数字で99文字まで入力可。
接続先アドレス：
半角英数字で30文字まで入力可。
接続先アドレス2：
半角英数字で30文字まで入力可。
• 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

• (Menu)を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

4 編集した接続先を選び(決定)▶(Menu)

おしらせ

● 接続先を変更した場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で(クリア)を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
● 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
● 2in1がONの場合、接続先を変更すると、すべてのモードのテロップ表示設定のテロップ表示がお買い上げの状態に戻ります。

画像表示／効果音を設定する　表示・効果設定

サイトや画面メモなどの内容を表示したときの画像や効果音（Flash再生時）を設定します。

1 (i)(8)(6)▶各項目を設定▶(Menu)

画像：
画像を表示するかを設定。
• 「表示しない」の場合、画像やFlash画像、アニメーションは表示されず、□が表示されます。また、アニメーション、端末情報データ利用設定は設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかを設定。
• 「表示しない」の場合、アニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：
Flash画像を表示するときに、FOMA端末内の登録データを利用。

効果音設定：
Flash画像の効果音を鳴らすかを設定。

おしらせ

● サイト画面、画面メモ表示画面からの操作：(Menu)▶表示▶表示・効果設定
● アニメーションを「表示しない」にしてもFlash画像は再生されます。
● 画像の設定は、ワンセグの画像表示設定にも反映されます。☛P262
添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像には反映されません。画像を「表示しない」にすると、Web To 機能を使用してｉモードメールに添付された画像の表示や保存はできなくなります。
● 効果音設定はメッセージR/Fには反映されません。
● 端末情報データ利用設定を「利用する」にすると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

サイト表示中のディスプレイの照明を設定する　照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネルなどの内容を表示したときの照明を設定します。

1 (i)(8)(3)▶(1)～(2)

端末設定に従う…ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。
常灯…ディスプレイの照明が常時点灯します。

おしらせ

● サイト画面、画面メモ表示画面からの操作：(Menu)▶表示▶照明設定
● 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する
証明書管理

証明書を表示する

• 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

1 🔘8 5 1▶**証明書を選び**●

：CA証明書
：ドコモ証明書／ユーザ証明書
：オリジナル証明書

：有効　表示なし：無効　－：設定不可

• オリジナル証明書を選択したときは、一覧画面が表示されます。証明書を選択してください。

CA証明書：
認証会社が発行した証明書（お買い上げ時の端末内に保存）。

ドコモ証明書：
FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書（あらかじめ FOMAカード内に保存）。

ユーザ証明書：
FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書。
FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。

オリジナル証明書：
各企業・自治体などが独自に発行した証明書をお客様がダウンロードしたもの。

■ **オリジナル証明書の管理名を変更：**
①**証明書の一覧画面で証明書を選び**(✉)
②**証明書管理名を入力(全角9／半角18文字まで)**▶(📖)
• 所有者名に戻す：(✉)

■ **オリジナル証明書の削除：証明書の一覧画面で証明書を選び**(✉)▶**はい**▶**端末暗証番号を入力**

おしらせ

● 証明書の表示内容
所有者
CN= ：(Common　Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
O= ：(Organization）会社名など
C= ：(Country）国名
発行者
CN= ：(Common　Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU= ：(Organization Unit）会社の部署など
O= ：(Organization）会社名など
有効期限
シリアル番号

● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 🔘8 5 1▶(📖)▶**証明書を選び**●

• ●を押すと有効／無効が切り替わります。
• (Menu)を押すと証明書を表示できます。

2 (📖)

チェックされている証明書が有効となって設定されます。

おしらせ

● ドコモ証明書2は無効に設定できません。

オリジナル証明書利用時の端末暗証番号入力を省略する
暗証番号入力省略設定

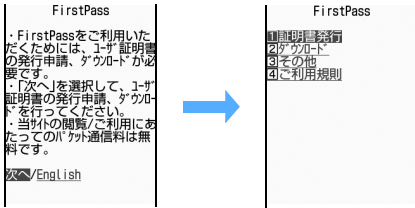
オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかを設定します。

1 🔘8 5 4▶1～2

FirstPassを設定する　ユーザ証明書操作

FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードします。

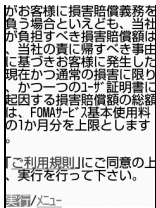
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1 [i][8][5][2]▶次へ▶証明書発行

■ 発行されたユーザ証明書の失効：
①[i][8][5][2]▶次へ▶その他
②証明書失効▶ユーザ証明書を選び●
③PIN2コードを入力▶実行
④次へ▶実行

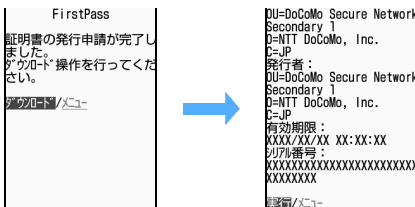
2 実行

がお客様に損害賠償義務を負う場合といえども、当社が負担すべき損害賠償額は、当社の責に帰すべき事由に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/ﾒﾆｭｰ

3 PIN2コードを入力

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

4 ダウンロード▶実行

- ダウンロードしたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☛P163

おしらせ

- 海外では本機能は利用できません。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- オリジナル証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- フルブラウザでも、オリジナル証明書を利用できます。
- オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信ができます。詳しくはCD-ROM内の「簡易操作マニュアル（FirstPassManual.pdf）」（PDF形式）をご覧ください。ご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照願います。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付しあい、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する
証明書発行接続先設定

FirstPass 以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

- オリジナル証明書のダウンロード☛P159

1 Ⓜ 8 5 3

2 **接続先欄▶2**
- FirstPassに接続する設定に戻す：接続先欄▶1▶操作5

3 **ユーザ設定接続先欄▶入力（半角英数字99文字まで）**

4 **ユーザ設定初期画面URL欄▶入力（半角英数字100文字まで）**

5 Ⓜ

iモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。
iモーションには大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得時に変更はできません。

■ 標準タイプ（保存可※1）

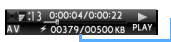
再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大10Mバイト）	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作できます。
データを取得後に再生（最大10Mバイト）	iモーションのデータをすべて取得後に再生します。

※1：保存できないiモーションもあります。

■ ストリーミングタイプ（保存不可）

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大10Mバイト）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

サイトからiモーションを取得する

- 最大保存件数☛P439

1 **サイトを表示▶iモーションを選び●**
iモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。
- 取得中にⓂを押して「はい」を選択すると、取得を中止します。
ファイルサイズが500K～10Mバイトで部分保存できるiモーションの場合は、再開するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると取得が開始され、「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。取得を中止したり、通信が切断されたなどで部分保存したiモーションの残りは取得できます。「動画／iモーションを再生する」の操作2☛P278
- ストリーミングタイプのiモーションを選択した場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、取得しながら再生します。

■ **データを取得しながら再生するiモーション：**
iモーションを取得しながら再生します。再生終了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作できます。

:13 0:00:04/0:00:22 AV 00379/00500KB PLAY
受信済みのデータ量／全体のデータ量

- 再生中は次の操作ができます。
  - ・一時停止／再生（標準タイプのみ）：●
  - ・音量調整：◎
  - ・中断（ストリーミングタイプのみ）：Ⓜ
  - ・停止（標準タイプのみ）：Ⓜ（●を押すと先頭から再生）
  - ・詳細情報の表示：Menu
- 再生を一時停止または停止しても、データの受信は継続します。
- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。

■ **データを取得後に再生するiモーション：**
取得が完了すると、自動的に再生されます。

:13 0:00:10/0:00:22 AV PLAY

- 再生中の操作は「動画／iモーションを再生する」の操作2と同じです。ただし、しおりは設定できません。☛P277

2 **保存**
- ストリーミングタイプのiモーションは保存できません。
- もう一度再生：再生
- 詳細情報を表示：情報表示
- 保存を中止：戻る▶いいえ

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶ (m)

取得したｉモーションは、データBOXの「ｉモーション」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- ガイド行に が表示された場合は、(⇔) を押し、(m) を押すとmicroSDメモリーカードの「動画」フォルダ（音声のみのｉモーションは「その他の動画」フォルダ）に保存されます。コンテンツ移行対応のｉモーション※1の場合はフォルダ一覧が表示されます。フォルダを選び (m) を押してください。
- 本体に保存する場合は、(Menu) を押すとｉモーションの利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☛P279

※１：サイトから取得した著作権があるｉモーションのうち、microSDメモリーカードへの移動が許可されているもの。

おしらせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば取得完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生するｉモーションでも、サイトの状況などによって取得中は再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールなどで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。画面に従ってデータを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で (m) を押すと動画／ｉモーションを再生し、(Menu) を押すと動画／ｉモーションの詳細を表示できます。

ｉモーションの自動再生を設定する

ｉモーション設定

標準タイプのｉモーションを取得中、または取得完了後に自動的に再生するかの設定をします。

1 (i) (8) (7) ▶ 自動再生設定欄 ▶ (1)～(2) ▶ (m)

おしらせ

- サイト画面からの操作：(Menu) ▶ 表示 ▶ ｉモーション設定
- 「自動再生しない」にしても、ｉモーション取得完了後「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定に関わらず、自動的に再生するかの確認画面が表示されます。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応キー（(クリア)）を押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法☛P167）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用できます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

- ｉチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、クリアを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、クリアを押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。
- テロップ表示設定でテロップ表示を「表示しない」にしている場合は、テロップは表示されません。
- FOMA端末の電源が入っていない場合や、圏外または電波状況がよくないなどで情報を受信できなかったときは、受信可能な状況でクリアを押すと情報を受信できます。
- ｉチャネルの接続先は変更できます（通常は変更する必要はありません）。☛P161

ｉチャネルを表示する　チャネル一覧

1 クリア

チャネル一覧が表示されます。

- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているとき：ｉ 7 1
  - ・クリアを押しても表示されません。

2 **チャネルを選び●**

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

- ご利用の状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

おしらせ

- チャネル一覧を表示し直す：チャネル一覧でMenu▶リトライ
- チャネル一覧でMenuを押し「効果音設定」を選択すると、Flash画像の効果音を鳴らすかの設定ができます。☛P162「画像表示／効果音を設定する」

ｉチャネルの設定を変更する　テロップ表示設定

受信したｉチャネルの情報を待受画面にテロップ表示するかの設定をします。テロップ表示の速度も設定できます。

- テロップ表示を「表示する」に設定すると、待受画面を表示するごとに新しい情報から順に最大10件、ディスプレイの表示が消えるまでテロップ表示されます。
- お買い上げ時やFOMAカードを差し替えたとき、接続先アドレス2を変更したときは、ｉチャネルの情報が自動更新されるか、またはクリアを押してチャネル一覧を表示すると、テロップが表示され、テロップ表示設定ができるようになります。

1 **ｉ 7 2▶各項目を設定**

テロップ表示：
「表示する」「表示しない」から選択。

テロップ速度：
「遅い」「普通」「速い」から選択。

テロップ文字サイズ：
「大」「中」「小」「最小」から選択。

テロップパターン：
パターン1～10から選択。

2 🄼

- テロップ表示の設定が「表示する」の場合、待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリが設定されているときは確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリは解除されます。

おしらせ

- 次の場合は、ｉチャネルの情報はテロップ表示されません。
  - オールロック中
  - パーソナルデータロック中
  - おまかせロック中
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - FOMAカードを挿入していないとき
- 2in1がONの場合、各モードごとに設定できます。
- 異なるFOMAカードに差し替えると、テロップ表示は、お買い上げ時の状態に戻ります。

ｉチャネルの情報をお買い上げ時の状態に戻す　ｉチャネル初期化

ｉチャネルの受信情報をすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

1 [MENU][7][3]▶**はい**

おしらせ

● ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で[クリア]を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信されます。テロップ表示の設定が「表示する」のときは、待受画面にテロップが表示されるようになります。

メール

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの２種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計２Mバイト以内で10個までファイル（JPEG、トルカ、PDFなど）を添付できます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- ｉモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMSについて

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

- 送信方法☛P204
- 受信方法☛P205
- 問合せ方法☛P206

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P206）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※１：半角の「+」を含めた場合は21文字になります。
※２：半角の英数字と記号（`。「」、・゛゜を除く）を送信できます。
記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

SMSを受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

おしらせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P206
- 保管期間が超過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。☛P206
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

こんなこともできます

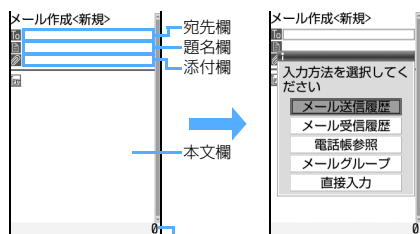
■ 送達通知
送信したSMSが相手に届いたことを知らせる送達通知を受け取れます。☛P206

■ FOMAカードへの保存
受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。☛P207

ｉモードメールを作成して送信する

新規メール

例　宛先を直接入力してｉモードメールを作成・送信するとき

1　✉（1秒以上）▶宛先欄

2 直接入力▶宛先を入力（半角50文字まで）

• ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
• かな入力方式の場合、半角英字入力モードで、1を繰り返し押すと「.」「@」「-」などを、*を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」などを入力できます。
• 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ **メール送信履歴から選択：メール送信履歴▶履歴を選び●**
• メールの宛先のアドレスが設定されます。

■ **メール受信履歴から選択：メール受信履歴▶履歴を選び●**
• メールの発信者のアドレスが設定されます。

■ **電話帳から検索：電話帳参照▶相手を選び●**

■ **メールグループから入力：メールグループ▶メールグループを選び●**
• 既に入力されている宛先との合計が5件を超える場合、メールグループは追加できません。
• メールグループの詳細表示：メールグループを選びMenu

3 題名欄▶題名を入力（全角100／半角200文字まで）

• 送信先によっては題名が最後まで受信されない場合があります。

4 Text▶本文を入力（全角5000／半角10000文字まで）

• 全角･半角の空白や改行も本文の文字数に含まれます。
• 本文にデコメ絵文字（絵文字D）を挿入するとデコメールになります。

■ **位置情報URLの貼り付け：Menu55**
• 以降の操作☞P245「各機能に位置情報を付加する」の操作2以降
• メール本文に位置情報URLを貼り付けると、位置情報URLの前に⚲が付加されます。
• 位置情報URLは相手がｉモード端末の場合のみ利用できます。

■ **署名の挿入：Menu56**

5 ✉

• 接続中画面で●を、送信中画面で✉を押すと送信が中止され「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、操作のタイミングによっては「未送信BOX」フォルダに保存されなかったり、保存されても送信されていることがあります。
• 圏内自動送信するかの確認画面が表示された場合に「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

おしらせ

● 他の機能が起動したりして、10000バイトを超えるメールが自動保存された場合、作成中のメールの一部が保存されないことがあります。
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信メール」内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信メール」からｉモードメールを編集・送信できます。
● ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
● 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
　• 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
　• 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
● 顔文字は相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見えかたが異なったりするなど、正しく表示されない場合があります。
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成、送信できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。☞P190
● 2in1のBアドレスをメールの発信元にしてメールを送信するには、WEBメールを利用します。☞P180

宛先を追加する　宛先追加

ｉモードメールは最大５人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

- 宛先の種別には以下の3種類があります。
  - To：通常の宛先に使います。
  - Cc：TOの宛先に送ったメールの内容を他の相手に知らせるときに使います。
  - Bcc：CCと同じように他の相手に知らせるときに使いますが、BCCで指定した宛先は他の相手には表示されません。
- To欄に宛先が１件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄を選び(✉)▶入力方法を選び●

- 「メールグループ」を選択したとき：操作3

2 TO／CC／BCC

3 宛先を入力または選択

■ TO、CC、BCCの変更：宛先欄を選びMenu 目▶宛先種別を選び●

■ 追加した宛先欄の削除：宛先欄を選びMenu 目▶はい

- 宛先欄が１件のときは入力されているアドレスのみが削除されます。

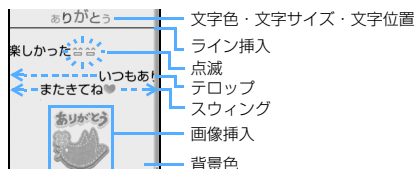
おしらせ

- TO欄とCC欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。●を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する　デコメール

ｉモードメールの本文に、文字サイズや文字色、背景色の変更や、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ、デコメ絵文字（絵文字Ｄ）の挿入などの装飾（デコレーション）を行い、デコメールを作成できます。

- 送信できるデコメールのサイズは、メール本文と本文中に挿入した画像の合計が100Kバイト以内です。その他に10件または合計2Mバイトまでのファイルを添付できます。

■ 装飾例

■ デコメール作成の流れ

ステップ１　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ２　文字入力や装飾

- 装飾を指定してから文字を入力する ☞P173
- 文字を入力してから装飾を指定する ☞P174

ステップ３　装飾を確認して送信

おしらせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾情報が残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、クリアを１秒以上押して文字をすべて削除すると、装飾情報（背景色は除く）もすべて削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 下記機種※1以外のデコメール対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
  ※１：903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）
- デコメール非対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によってはデコメールのサイズが10000バイトを超えるときは本文のみ受信し、閲覧用URLがないメールを受信する場合があります。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間で停止します。
- 本文にデコメ絵文字（絵文字D）を入力するとデコメールになります。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で Text ▶ ✉

2 装飾を選び ● ▶ 文字を入力

装飾選択画面でマークを選び●を押すと、その装飾が選択状態になります。装飾の操作方法☛P173「デコメール装飾選択画面の操作」

■ **複数の装飾を設定：装飾選択画面でマークを選び Menu**

- 「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

■ **選択状態の装飾を解除して文字を入力：入力位置を選び ✉ ▶ ✉**

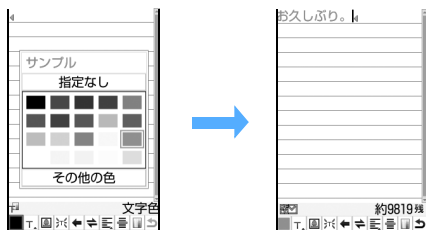
- 解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「テロップ」「スウィング」「文字位置」です。

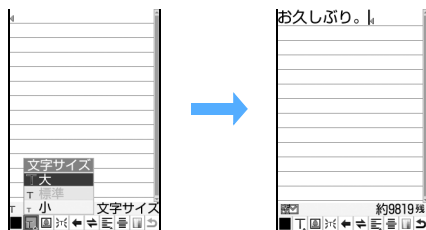
■ **装飾の変更：Menu 1 8 ▶ 開始位置を選び ●**

- 以降の操作 ☛P174「文字を入力してから装飾を指定する」の操作2以降

■ **装飾をすべて解除：Menu 1 9**

デコメール装飾選択画面の操作

■ **文字色を変更：■ ▶ 文字色を選び ● ▶ 文字を入力**

- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
- 絵文字 1、2 の文字色も変更されます。範囲を選択して文字色を「指定なし」にすると元の色に戻ります。操作方法☛P174「文字を入力してから装飾を指定する」

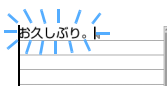
■ **文字サイズの変更：T（または T T）▶ 文字サイズを選び ● ▶ 文字を入力**

「大」にしたとき

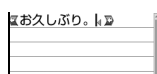
- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

■ **画像の挿入：🖼 ▶ 本体 ▶ フォルダを選び ● ▶ 画像を選び ●**

カーソル位置に画像が挿入されます。

- microSDメモリーカード内の画像を挿入：microSD ▶ 1 〜 3 ▶ フォルダを選び ● ▶ 画像を選び ●
- 静止画を撮影して挿入：静止画を撮影 ▶ 静止画を撮影 ▶ ●
  - ・静止画のサイズは自動的に電話帳用（96×72）に設定されます。
- デコメ絵文字は、絵文字を入力する手順でも挿入できます。☛P369
- 画像は最大20種類、画像サイズの合計が90Kバイトまで挿入できます。
- 画像を挿入すると、実際の画像サイズではなく、画像の挿入を示す装飾情報のサイズ分、本文のバイト数が増えます。

■ **文字の点滅表示：※ ▶ 文字を入力**

■ **文字を右から左へテロップ表示：⬅ ▶ 文字を入力**

お久しぶり。

- ⬅ と ⬅ の間に文字を入力します。

■ **文字を左右にスウィング表示：⇌ ▶ 文字を入力**

お久しぶり。

- ⇌ と ⇌ の間に文字を入力します。

■ 文字位置の変更：（または ）▶位置を選び ▶文字を入力

「右寄せ」にしたとき

- カーソルがある行に文字が入力されている場合は、改行されます。
- 画像の位置も変更されます。

■ ライン（罫線）の挿入：

文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 背景色の変更：▶背景色を選び

- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 操作の取り消し：

文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、既に装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。

- ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。装飾を指定してから操作してください。

1 メール本文の入力画面で開始位置を選び

2 終了位置を選び

- 開始位置から文頭までの選択：
- 開始位置から文末までの選択：
- 本文すべての選択：

3 装飾方法を選択し設定▶

- 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。☛P173
- 装飾の解除：
- 文字のコピー：
- 文字の切り取り：
- 操作の取り消し：

おしらせ

● 入力できる正確なバイト数と装飾結果の確認：メール本文の入力画面で

ファイルを添付する　添付ファイル

iモードメールにファイルを添付して送信できます。

- 添付できるファイルは最大10件、添付ファイルの合計サイズは最大2Mバイトです。
- 添付ファイルのサイズによって、送信に時間がかかる場合があります。

添付できるファイルの種別

ファイルの種別	制限事項など	備考
画像（イメージ）	JPEG形式、GIF形式、SWF（Flash画像）が添付できます。パラパラマンガは添付できません。	❶❷
動画／iモーション（iモーション）	MP4形式の動画／iモーションのみ添付できます（ASF形式や部分保存したiモーションは添付できません）。再生制限が設定されているファイルは添付できません。再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。	❸
メロディ	SMF形式、MFi形式が添付できます。MFi形式のメロディを添付しても本文中には挿入されません。	❹
トルカ	IP（情報サービス提供者）の設定により添付できないものがあります。	❺
PDFデータ（PDF）	部分保存したり、ダウンロードに失敗したPDFデータは添付できません。	－
スケジュール	－	－
ブックマーク（Bookmark）	－	－
電話帳	－	－
音声（ボイス録音）	－	❻
その他	Word、Excel、PowerPointのファイルまたは閲覧不可ファイルを添付します。	－

❶ 10000 バイトを超える JPEG 形式の画像を添付したメールを下記機種※1 以外に送信した場合は、ｉショットセンターで、受信する端末に適したサイズに変換されます。
※1：903i シリーズ、904i シリーズ、905i シリーズ、703i シリーズ（P703iμ を除く）、704i シリーズ（P704iμ を除く）
❷ 受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URL が記載されたメールまたはメールの添付ファイルとして受信します。
❸ 受信側の機種によって、正しく受信や表示がされない、または動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。下記機種※1 以外に動画を送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。☛P144
※1：903i シリーズ、904i シリーズ、905i シリーズ、703i シリーズ（P703iμ を除く）、704i シリーズ（P704iμ を除く）
❹ 下記機種※1 以外にメロディを送信した場合、受信側では正しく再生できないことがあります。
※1：D703i、D704i、D903i、D903iTV、D904i、D905i
❺ 受信側の機種によっては、トルカ（詳細）を受信できない場合があります。
❻ サウンドレコーダーで録音したデータはｉモーションとして保存され、メールに添付できます。

ファイルを添付する

1 メール作成画面で添付欄 ▶ 添付するファイルを選び ⓔ

- microSDメモリーカード挿入時は、添付元を「本体」「microSD」から選択する画面が表示されます。
- 選択できないフォルダ内のデータは添付できません。

■ 画像（イメージ）の添付：

- 画像サイズがQVGA（240×320または320×240）を超えるJPEG形式の画像の場合は、確認画面が表示されます。QVGAに変換するときは「はい」を選択します。
- 位置情報付きの画像の場合は、位置情報URLを本文に貼り付けるかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択しても画像は添付されます。
- 2M バイトを超える JPEG 形式の画像は、自動的に添付可能なサイズに変換されます。このとき、処理に時間がかかることがあります。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したとき：静止画を撮影 ▶ ⓔ
  ・撮影する静止画のサイズは自動的にQVGA（240×320）に設定されます。

■ 動画／ｉモーション（ｉモーション）の添付：

- 添付元で「カメラ撮影」を選択したとき：動画を撮影 ▶ ⓔ
  ・撮影する動画のサイズは自動的にQCIF（176×144）に設定されます。

■ トルカの添付：

- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めて添付するかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに添付するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。

■ ブックマーク（Bookmark）の添付：

- 「本体」の場合、フォルダ一覧で ⓜ を押すとｉモードのブックマークとフルブラウザのブックマークを切り替えられます。

■ 音声（ボイス録音）の添付：
① 録音（サウンドレコーダー）▶ ⓔ

おしらせ

● mova端末へは、JPEG形式の画像を1枚のみ添付して送信できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。JPEG形式の画像以外の添付ファイルは削除されて送信されます。
● 受信側の端末が対応していないファイルを添付してメール送信すると、添付ファイルがｉモードセンターで削除される場合があります。
● メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」にした画像やメロディ、取得元がｉモード以外の PDF データを除く）、FOMA カード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
● ファイルを添付すると添付欄にファイル名が表示されます。ファイル名が表示しきれない場合、ファイル名を選び Menu 4 3 を押すとファイル名が表示されます。
- ファイル名を選択すると添付ファイルを表示または再生できます。ただし、次のファイルは表示、再生できません。
  ・100Kバイトを超えるSWF（Flash画像）
  ・100Kバイトを超えるメロディ
  ・1K バイトを超えるトルカ、100K バイトを超えるトルカ（詳細）
  ・1件のファイルに電話帳、スケジュール、ブックマークのうち複数の種類を含むファイル
  ・閲覧不可ファイル

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示

2 ファイル名を選び ⓜ ▶ はい

■ 添付ファイルの変更：ファイル名を選び ⓢ ▶ ファイルを添付

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、iモードメールの雛形です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にiモードメールを作成できます。また、画像などの装飾が設定されているメールテンプレートを使えばデコメールも簡単に作成できます。
お買い上げ時に登録されているメールテンプレートのほか、サイトからダウンロード（☛P159）したメールテンプレートや自分で作成したメールテンプレートを利用できます。
- ダウンロードしたり、作成したメールテンプレートは、「テンプレート」に保存されます。

メール作成時にテンプレートを使う　テンプレート読込み

1 メール作成画面でMenu 6 1
- テンプレートを選び(m)を押すとテンプレートを表示できます。●を押すと読み込め、(m)を押すと一覧に戻ります。

2 テンプレートを選び●

☛P185「受信メール一覧画面の見かた」
- 本文が入力されている場合、テンプレートを読み込むときに確認画面が表示されます。
- 題名、宛先、添付ファイルは、未入力の場合のみテンプレートから読み込まれます。
- 1件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。
- iモードで探す☛P273

3 メールを編集▶(m)

テンプレートを表示してメールを作成する　テンプレート読込み

1 (✉)(✱)▶テンプレートを選び●
- ◎で前後のテンプレートを表示できます。
- iモードで探す☛P273

2 (m)▶メールを編集▶(m)

テンプレートを登録する　テンプレート登録

作成または受信／送信したiモードメールをテンプレートとして登録できます。
- 最大保存件数☛P439
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存できます。
- 次の場合は、テンプレートに登録できません。
  - ・本文と装飾で10000バイトを超えている場合
  - ・本文中に挿入されている画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合
  - ・本文と本文中に挿入されている画像と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 受信／送信したiモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。

1 メール作成画面でMenu 6 2▶はい
- 受信／送信したiモードメールを登録：メール詳細画面でMenu 4 5

2 各項目を設定

表示名：
全角10／半角20文字まで入力可。
ファイル名：
半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで入力可。ただし「.」はファイル名の先頭に使用できません。

3 (m)
- 登録済みのテンプレートに上書き：(✉)▶テンプレートを選び●▶はい

おしらせ
- テンプレートの詳細情報を確認・変更：テンプレート一覧でテンプレートを選びMenu▶詳細情報▶参照／変更
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、確認画面が表示されます。画面に従って削除してください。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P304

例 1件削除するとき

1 Ⓜ ✖

2 **テンプレートを選び Menu 2 1**

■ **複数削除：Menu 2 2 ▶ テンプレートを選び ● ▶ ⓜ**

■ **全件削除：Menu 2 3 ▶ 端末暗証番号を入力**

3 **はい**

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存する

- 最大保存件数☛P439
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと保存できません。

1 **メール作成画面で Menu 3**

ｉモードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

おしらせ

● 保存領域が足りないときは、メッセージや確認画面が表示される場合があります。画面に従って未送信メールからメールを削除するか、添付ファイルを解除して保存してください。

圏内になったらｉモードメールを自動送信する 圏内自動送信

圏外で作成したｉモードメールを、圏内になったら自動的に送信するように設定します。

- 最大５件保存できます。
- TOの宛先を設定しないと保存できません。

1 **メール作成画面で Menu 2**

圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存され、ディスプレイ上部に✉が表示されます。

圏内になると

圏内自動送信メールは自動送信されます。自動送信中は✉が点滅し、すべての圏内自動送信メールが送信されると✉は消えます。

- 送信に失敗したときは、圏内自動送信の失敗メールとして「未送信メール」に残り☒が点滅します。圏内自動送信の失敗メールの削除や圏内自動送信設定の解除またはFOMAカードの差し替えなどによって圏内自動送信の失敗メールがなくなると☒は消えます。

おしらせ

● 最大2回再送信されます。
● メール作成中や署名編集中は自動送信されません。

圏内自動送信設定を解除する

1 **未送信メール一覧で、圏内自動送信が設定されているメールを選び ⓜ ▶ はい**

おしらせ

● 失敗の原因を表示：未送信メール一覧で圏内自動送信の失敗メールを選び Menu ▶ 表示 ▶ 圏内自動送信エラー表示
  - 失敗の原因として、同報への送信に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、● を押すとそのメールアドレスが表示されます。

● 以下の場合も、圏内自動送信設定が解除されます。
  - メールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で「接続先番号」または「接続先アドレス」を変更した場合
  - 2in1をBモードにした場合

保存したメールを編集・送信する

- 圏内自動送信メールを編集すると、圏内自動送信設定は解除されます。

例 未送信メールを編集するとき

1 **Ⓜ 4 ▶ フォルダを選び ●**

- 送信メールの編集・送信：Ⓜ 5 ▶ フォルダを選び ●

2 **メールを選び ●**

- 送信メールの再編集：メールを選び ⓜ

3 **メールを編集 ▶ ⓜ**

おしらせ

● 送信メール詳細画面からの操作：ⓜ

手早くメールを作成する　クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号0〜99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを作成できます。

- ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレス、SMSの場合は1件目の電話番号が宛先となります。

1 メモリ番号を入力▶(✉)

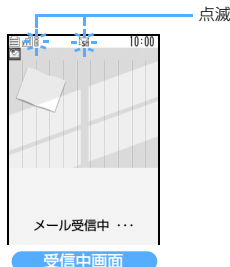
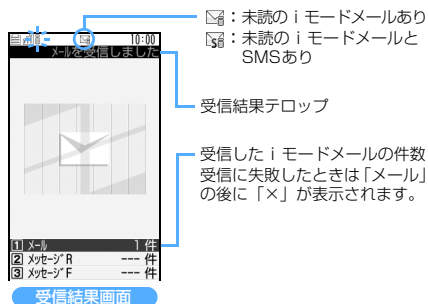
- メモリ番号の前には0を付けずに入力します。

■ **SMSの作成：メモリ番号を入力▶(✉)（1秒以上）**

ｉモードメールを受信したときは　メール自動受信

- 受信したｉモードメールは「受信メール」内のフォルダに保存されます。
- 最大保存件数☛P439

1 ｉモードメールを受信

受信中画面

受信完了（受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅）

受信結果画面

- ｉモードメール受信中に(●)を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはｉモードメールを受信する場合があります。

2 (1)▶フォルダを選び(●)▶メールを選び(●)

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P197
- 受信メールの見かた☛P185
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。

おしらせ

- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、ｉMenuの「料金＆お申込・設定」→「メール設定」→「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超える場合、添付ファイルは自動受信できません。受信するには、メール詳細画面でファイル名を選択します。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。残しておきたい受信メールは保護してください。特に2Mバイトなどサイズが大きい添付ファイルを受信する場合は消去される既読メールが多くなりますのでご注意ください。
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面にはや が表示されます。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
- ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに発信元にエラーメッセージとともに返信されることがあります。
- 2in1のBアドレスで受信したメールはWEBメールサイトに保存されます。☛P180
- 新しいｉモードメールが届くと、ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやメッセージR/Fも合わせて受信します。
- ｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれにあてはまるかを確認できます。☛P186
- FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。
  - 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fの条件に従って動作します。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。☛P182
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - プッシュトーク通信中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中
  - テレビ電話中
  - セルフモード中
  - 圏外のとき
  - 赤外線通信中

・iC通信中
・メール選択受信設定が「ON」のとき
・お預かりセンター接続中　・おまかせロック中
・FirstPassセンター接続中
・未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき

● ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、や が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、アイコンが や に変わります。

ｉモードメールを選択して受信する

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

ｉモードセンターにメールが届いたときは

メール選択受信設定が「ON」の場合に送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され「センターに あり」と表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されてもメール着信音やバイブレータは動作しません。
- 、 以外のキーを押すと「センターに あり」が消えます。

おしらせ

● オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中には、センターにメールが届いてもメッセージが表示されません。

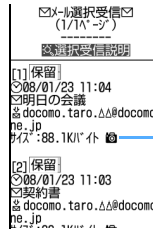
● メール選択受信設定が「ON」の場合でも、ｉモード問合せを行うと、すべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、問い合わせ項目からメールを外してください。

● メール選択受信設定を「ON」にしても、エリアメール、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」にします。

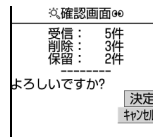
1

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

：画像添付あり
：メロディ添付あり
：ｉモーション添付あり
：トルカ添付あり
：その他ファイル添付あり

2 **メールごとに保留▶受信／削除／保留**

保留…ｉモードセンターに保管します。ｉモード問合せなどで受信できます。

- ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。

3 **受信／削除▶決定**

ｉモードメールがあるかを問い合わせる　ｉモード問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージ R/Fもあるか問い合わせます。

- 問い合わせ中は、決定キーの照明がレインボーで点灯します。設定は変更できません。
- 電波状態のよい場所で操作してください。

1 **[✉][✉]**
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。

WEBメールを利用する　WEBメール

2in1のBアドレスを利用してメールを送受信するには、WEBメールサイトに接続して操作します。
WEBメールサイトへは2in1がBモードまたはデュアルモードのときのみ接続できます。

- 2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

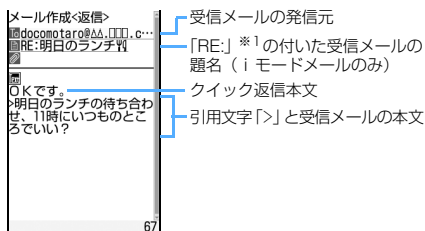
1 **[✉][7]▶ｉモードパスワードの入力欄▶入力▶決定**
- WEBメールの詳細については『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

ｉモードメールに返信する　ｉモードメール返信

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」のSMSには返信できません。
- メール返信引用設定で、返信メールに本文を引用するかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。

1 **[✉][1]▶フォルダを選び[●]**

2 **メールを選び[m]**
クイック返信本文選択画面が表示されます。
- 宛先が複数ある場合は、「差出人」「全員」から返信先を選択します。
- SMSに返信：操作4

3 **クイック返信本文を選び[●]**

※ 1：「RE:」の付いたメールに返信すると「RE:」は「RE2:」に、「RE2:」のメールに返信すると「RE2:」は「RE3:」というように回数を示す数字が付加されます（最大 99 まで）。「RE99:」のメールに返信すると「RE:」になります。

- クイック返信本文を挿入しない：本文直接入力

4 **メールを編集▶[m]**

おしらせ

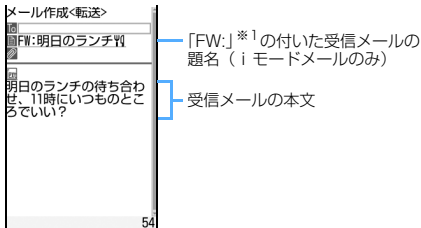
- 受信メール詳細画面からの操作：[m]
- メール返信引用設定の設定に関わらず本文を引用するかを選択：受信メール一覧または詳細画面で[Menu]▶返信／転送▶返信／引用返信
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に挿入されたメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 本文中に挿入された画像が20種類を超えるか合計で90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除する旨のメッセージが表示されます。[●]を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。

ｉモードメールを他の宛先に転送する

ｉモードメール転送

- SMSも同様に転送できます。ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 ✉1▶フォルダを選び●

2 メールを選び✉

※１：「FW:」の付いたメールを転送すると「FW:」は「FW2:」に、「FW2:」のメールを転送すると「FW2:」は「FW3:」というように回数を示す数字が付加されます（最大 99 まで）。「FW99:」のメールを転送すると「FW:」になります。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の添付ファイルは設定されません。

3 メールを編集▶📖

おしらせ

- 受信メール詳細画面からの操作：Menu▶返信／転送▶転送
- 受信メールの添付ファイルのうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に挿入されたメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを転送した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。
- 本文中に挿入された画像が20種類を超えるか合計で90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像を削除する旨のメッセージが表示されます。●を押すと、超えた分の画像が削除されてメール作成画面が表示されます。
- 2in1がデュアルモードのとき、FOMA端末に保存したBアドレス（Bナンバー）で受信したメールを転送すると、発信元がＡアドレス（Ａナンバー）のメールとして送信されます。

添付ファイルを表示・再生・保存する

添付ファイル表示・再生・保存

ｉモードメールに添付されているファイルは最大10個、合計2Mバイトまで受信し、取得できます。
それを超える添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。
添付ファイルは合計100Kバイトまでは自動受信されます。自動受信できなかった添付ファイルは選択受信します。取得した添付ファイルを表示・再生したり、FOMA端末または microSD メモリーカードに保存できます。

- 最大保存件数☞P439

添付ファイルの取得状況を確認する

1 ✉1▶フォルダを選び●▶ファイルが添付されているｉモードメールを選び●

添付ファイルのアイコンとファイル名、ファイルサイズ
- 未取得、取得途中の場合、保存期限が表示されます。
- 本文中に挿入されたメロディではタイトルが表示されます。
- ｉアプリが起動できるリンク項目では、αとｉアプリの名前が表示されます。☞P220

- 取得済みの画像は自動表示されます（デコメールの添付ファイルは除きます）。
- 取得済みのメロディは自動再生されます。自動再生しない設定もできます。☞P197
- 取得済みの他の閲覧可能な添付ファイルは、ファイル名を選択して表示／再生できます。☞P182～P183
- 閲覧不可の添付ファイルは、FOMA端末へは保存できません。microSDメモリーカードへの保存（☞P184）、ｉモードメール転送（☞P181）はできます。
- 添付ファイルがｉモードセンターで削除された場合、受信メールの題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。

■ 添付ファイルアイコンの意味

ファイルの種別	取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
画像	🖼	🖼	🖼	🖼	🖼	☒
動画／ｉモーション	🎞	🎞	🎞	🎞	🎞	🎞
メロディ	♪	♪	♪	♪	♪	♪
メロディ（本文中）	♪	♪	－	－	－	♪
トルカ	◆	◆	◆	◆	◆	◆

ファイルの種別	取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
PDFデータ						
スケジュール		–				
ブックマーク		–				
電話帳		–				
Word		–				
Excel		–				
PowerPoint		–				
閲覧不可ファイル		–				–

※１：メール添付やFOMA端末外への出力可
※２：メール添付やFOMA端末外への出力不可

選択受信添付ファイルを取得する

受信メールの未取得または取得途中の添付ファイルをダウンロードして取得します。
- 保存期限を過ぎたファイルは取得できません。

1 メール詳細画面でファイル名を選び⊙

- 取得先の確認：ファイル名を選びMenu▶添付ファイル▶URL表示
- ダウンロードの中止：(m)▶いいえ
  - ・ダウンロードした部分まで取得できます。

おしらせ

- ●未取得または取得途中の添付ファイルを取得する際に、保存領域の空きが足りない場合、取得するファイルのサイズに応じて保護されていない既読メールが削除されますのでご注意ください。

画像、動画／iモーション、トルカ、PDFデータを表示・再生・保存する

例　受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選びMenu６３

■ デコメール内に表示されている画像の保存：Menu４４▶画像を選び⊙
- デコメール内に挿入された画像では、表示名やファイル名などは表示されません。

■ 表示・再生：ファイル名を選び⊙
- 画像の場合、ファイル名を選択するごとに表示／非表示が切り替わります。
- 1Kバイトを超えるトルカまたは100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は表示できません。

■ タイトルの確認：ファイル名を選びMenu６２

2 各項目を設定

- 画像の場合、設定方法☛P157「画像を取得する」の操作3
- 動画／iモーションの場合、設定方法☛P166「サイトからiモーションを取得する」の操作3
- PDFデータの場合、設定方法☛P158「PDFデータをダウンロードする」の操作3
- トルカの場合、登録先（FOMA端末またはmicroSDメモリーカード）を選択する画面が表示されます。トルカによっては、いずれか一方の登録先しか選択できない場合があります。
  - ・1Kバイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）はmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

3 (m)

- 画像の場合は保存先を選択します。
- 保存先☛P184「添付ファイルの保存先」

おしらせ

- ●送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認：ファイル名を選びMenu▶添付ファイル▶タイトル確認
- ●送信メールに添付したファイルも同様の操作で保存できます。
- ●保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。画面に従って削除してください。
- ●画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- ●画像、動画／iモーションによっては正しく表示できない場合があります。
- ●横縦（または縦横）のサイズが480×864を超える画像はフレーム候補にできません。
- ●横縦（または縦横）のサイズが480×864以上の画像はスタンプ候補にできません。
- ●縦横（または横縦）のサイズがGIF形式で480×864、JPEG形式で1728×2304を超える画像はFOMA端末には保存できません。
- ●画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するには、画像のファイル名を選択します。
- ●メールに添付されたiモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☛P420

メロディを再生・保存する

- 発信元が下記機種※1以外の場合、送られてきたメロディを正しく再生できない場合があります。
  ※1：D703i、D704i、D903i、D903iTV、D904i、D905i

例 受信メールから保存するとき

1 メール詳細画面でファイル名（タイトル）を選び Menu 6 2

- 100Kバイトを超えるメロディの場合、microSDメモリーカードに保存する旨のメッセージが表示されます。●を押してください。

■ **再生：ファイル名（タイトル）を選び●**
- 途中で止める：クリア
- 100Kバイトを超えるメロディは再生できません。

■ **タイトルの確認（本文の後に添付されたメロディ）：ファイル名を選び Menu 6 5**
- タイトルの確認（本文中に挿入されたメロディ）：タイトルを選び Menu 6 4

■ **データを文字として表示：タイトルを選び Menu 6 5**
- 本文の後に添付されたメロディではこの機能は利用できません。
- タイトル表示に戻す：データの先頭行を選び●

2 表示名を入力（全角25／半角50文字まで）▶ m

- 表示名の入力☛P158「メロディをダウンロードする」の操作3と同じです。
- microSDメモリーカード挿入時は、Ⓢを押すと保存先（FOMA端末／microSDメモリーカード）を切り替えられます。
- 保存先☛P184「添付ファイルの保存先」

おしらせ

- データ表示時にメロディを再生・保存：メロディの先頭行を選び Menu ▶添付ファイル▶再生／保存
- 送信メール詳細画面からの操作：ファイル名を選び Menu ▶添付ファイル▶保存
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認：ファイル名を選び Menu ▶添付ファイル▶タイトル確認
- 送信メール、メールテンプレート、microSDメモリーカード内のメールの添付メロディも同様に再生できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、確認画面が表示されます。画面に従って削除してください。

スケジュール、ブックマーク、電話帳を表示・保存する

1 メール詳細画面でファイル名を選び●

■ **表示：ファイル名を選び Menu 6 1**
- 1ファイルに複数件のデータがある場合は表示できません。

■ **ファイル名の確認：ファイル名を選び Menu 6 2**

2 m

- ブックマークの場合、タイトルを入力します（全角12／半角24文字まで）。
- microSDメモリーカード挿入時は、Ⓢを押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。
- 1ファイルに複数件のデータがある場合は、microSDメモリーカードにのみ保存できます。
- 保存先☛P184「添付ファイルの保存先」

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは保存できません。

Word、Excel、PowerPointのファイルを表示・保存する

1 メール詳細画面でファイル名を選び Menu 6 3

■ **表示：ファイル名を選び●**

■ **ファイル名の確認：ファイル名を選び Menu 6 2**

2 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶ m

- microSDメモリーカード挿入時は、Ⓢを押すと保存先（FOMA端末／microSDメモリーカード）を切り替えられます。
- 保存先☛P184「添付ファイルの保存先」

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、確認画面が表示されます。画面に従って削除してください。

閲覧不可ファイルを保存する

受信／送信メールに添付されたFOMA端末で表示・再生できないファイル（閲覧不可ファイル）をmicroSDメモリーカードに保存します。

1 メール詳細画面でファイル名を選び Menu 6 3

■ ファイル名の確認：ファイル名を選び Menu 6 2

2 はい

- 保存先☛P184「添付ファイルの保存先」

添付ファイルを削除する　添付ファイル削除

- 本文中に挿入された画像やメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

例 受信メールに添付されている画像を削除するとき

1 メール詳細画面でファイル名を選び Menu 6 4

- 添付ファイルの一括削除：Menu 6 5

2 はい

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選べなくなります。

おしらせ

● 送信メール詳細画面からの操作：添付ファイルを選び Menu ▶添付ファイル▶削除／一括削除

添付ファイルの保存先

添付ファイルはファイル種別によって以下の場所に保存されます。データによってはmicroSDメモリーカードに保存できない場合があります。

ファイル種別	FOMA端末	microSD メモリーカード
画像※1	データBOXのマイピクチャ • 保存先フォルダを「i モード」「デコメピクチャ」またはアルバムから選択します。※2	データBOXのマイピクチャまたはその他の画像
動画／iモーション	データBOXのiモーションの「i モード」フォルダ※3	データBOXの動画またはその他の動画
メロディ	データBOXのメロディの「i モード」フォルダ※3	データBOXのメロディ
トルカ	おサイフケータイのトルカ	トルカ
PDFデータ	データBOXのマイドキュメントの「i モード」フォルダ※3	マイドキュメント
スケジュール	ステーショナリーのスケジュール帳	PIMのスケジュール
ブックマーク	iモードのBookmark • フルブラウザのブックマークはフルブラウザのBookmarkに保存されます。	PIMのBookmark
電話帳	電話帳一覧	PIMの電話帳
Word、Excel、PowerPoint	データBOXのその他 • フォルダが複数ある場合は保存先フォルダを選択します。	その他
閲覧不可ファイル※4	－	その他

※ 1：デコメ絵文字として利用できる画像はFOMA端末、microSDメモリーカードともに「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
※ 2：microSDメモリーカードからコピーしたメールやデータ通信で受信したメールの場合は「データ交換」「デコメピクチャ」またはアルバムから選択します。
※ 3：microSDメモリーカードからコピーしたメールやデータ通信で受信したメールの場合は「データ交換」フォルダに保存されます。
※ 4：保存する際にファイル名が書き換えられる場合があります。

メールを表示する

受信メール／送信メール／未送信メール

- 最大保存件数☛P439
- 送信せずに保存したｉモードメールやSMS、送信に失敗したｉモードメールやSMS、圏外自動送信待ちのｉモードメールは「未送信メール」のフォルダに保存されます。

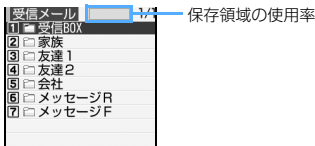
1 ✉▶1／4／5

2 フォルダを選び●

メールの一覧が表示されます。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。
- ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールを表示：フォルダを選び Menu 1

3 メールを選び●

- メールの便利な機能☛P190
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。

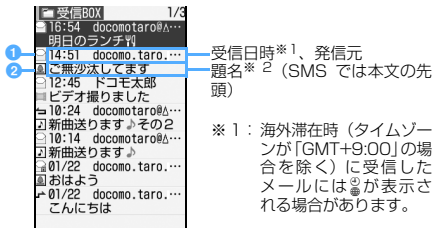
受信メールフォルダ一覧画面の見かた

- ：メールなし　　：未読メールなし
- ：メールなし／未読メールなし（シークレット属性ON）
- ：メールなし／未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
- ：未読メールあり
- ：未読メールあり（シークレット属性ON）
- ：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

- ：メールなし　　：メールあり
- ：シークレット属性ON
- ：メール連動型ｉアプリ

受信メール一覧画面の見かた

受信BOX 1/3
16:54 docomotaro@△…
明日のランチ
❶ 14:51 docomo.taro.…
❷ ご無沙汰してます
12:45 ドコモ太郎
ビデオ撮りました
10:24 docomotaro@△…
新曲送ります♪その2
10:14 docomotaro@△…
新曲送ります♪
01/22 docomo.taro.…
おはよう
01/22 docomo.taro.…
こんにちは

受信日時※1、発信元
題名※2（SMSでは本文の先頭）

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+9:00」の場合を除く）に受信したメールには🌐が表示される場合があります。

※2：2in1がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）で受信したメールにはBが表示されます。

❶ 状態アイコン
- ：未読　　：未読（返信不可）
- ：既読　　：既読（返信不可）
- ：既読（返信済み）　　：既読（転送済み）
- ：保護　　：保護（返信不可）
- ：保護（返信済み）　　：保護（転送済み）
- 返信済み／転送済みは後から行った状態のアイコンが優先表示されます。

❷ 添付アイコン
- ：画像あり　　：メロディあり
- ：動画／ｉモーションあり
- ：トルカあり　　：PDFデータあり
- ：スケジュールあり
- ：ブックマークあり　　：電話帳あり
- ：Wordあり　　：Excelあり
- ：PowerPointあり
- ：閲覧不可の添付あり
- ：複数の添付あり

❸ その他のアイコン
- ：エリアメール
- ：エリアメール（メール連動型ｉアプリで利用）
- ：SMS／テレビ電話の着信通知
- ：送達通知／音声電話の着信通知
- ：ｉアプリ（ｉアプリTo）あり
- ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

- 1行表示の場合に表示されるアイコンには以下のものがあります。
  - ：添付ファイルあり
  - ：エリアメール
  - ：エリアメール（メール連動型ｉアプリで利用）
  - ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

送信／未送信メール一覧画面の見かた

送信／保存日時※1、宛先
題名（SMSでは本文の先頭）

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に送信したメールには が表示される場合があります。

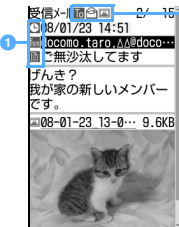
❶ ：保護
：圏内自動送信
：保護（圏内自動送信）
：圏内自動送信失敗
：保護（圏内自動送信失敗）

- 添付アイコン、その他のアイコン☛P185「受信メール一覧画面の見かた」
- 1行表示の場合に添付ファイルがあると が表示されます。
- 送信／保存日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

メール詳細画面の見かた

■ 受信メール詳細画面

宛先種別アイコン※1、状態アイコン、添付ファイルアイコン、SMSアイコン

※1：TO、CC、BCCのいずれで送られてきたのかを示します（iモードメールの場合）。

❶ ：受信日時　　 ：発信元
To Cc：宛先種別（iモードメールのみ）
：題名（SMSは「受信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」のいずれか）
：発信元（返信不可）
：返信不可の宛先種別（iモードメールのみ）

- 海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信したメールには が表示される場合があります。
- データ異常のSMSには が表示されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）で受信したメールには が表示されます。

■ 送信メール詳細画面

状態アイコン、添付ファイルアイコン、SMSアイコン

❶ ：送信日時
To Cc Bcc：宛先種別（Cc Bccはiモードメールのみ）
：題名（SMSは「送信SMS」）

- 海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に送信したメールには が表示される場合があります。

おしらせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- パソコンから装飾されたメールを受信した場合、パソコンと同じ動作にならない場合があります。
- 本文中に挿入されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。
  複数添付されていると無効になります。このとき添付ファイルアイコンには ? が表示されます。
- iモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
- 詳細画面では、受信したSMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号※1	SMS Center	DoCoMo SMS

※1：テレビ電話の着信通知はDoCoMo MSG

- 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
  「非通知設定」：非通知の設定で送られてきた
  「公衆電話」　：公衆電話から送られてきた
  「通知不可能」：発信者番号を通知できない方法で送られてきた
- 添付ファイル（☛P181）やiアプリが起動できるリンク項目（☛P220）がある場合、詳細画面にアイコンと添付ファイル名などが表示されます。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- 受信メールでは以下のフォルダ以外に最大40個作成できます。
  - ・受信BOX　・メッセージR　・メッセージF
  - ・メール連動型ｉアプリ用
- 送信メール、未送信メールでは「送信BOX」フォルダまたは「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 以下のフォルダのフォルダ設定は変更できません。
  - ・受信BOX　・メッセージR　・メッセージF
  - ・未送信BOX　・送信BOX
  - ・メール連動型ｉアプリ用

1 ✉▶1／4／5

2 Menu 1

■ フォルダ設定の変更：フォルダを選び Menu 3

■ フォルダの並び順を変更：フォルダを選び Menu ▶7〜8

3 各項目を設定▶📖

フォルダ名：
メールのフォルダ名を設定（全角8／半角16文字まで入力可）。

シークレット属性：
ON…プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）はフォルダは表示されません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている以下のフォルダは削除できません。
  - ・受信BOX　・メッセージR　・メッセージF
  - ・未送信BOX　・送信BOX
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。対応するｉアプリがないときはフォルダを削除できますが、対応するｉアプリにより作成されたフォルダがすべて削除されます。

1 ✉▶1／4／5

2 フォルダを選び Menu 2

3 端末暗証番号を入力▶はい

メールの件数を確認する　フォルダ内メール件数

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

1 ✉▶1／4／5

2 フォルダを選び Menu 5

おしらせ

- メール一覧からの操作：Menu ▶表示▶メール件数確認

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

1 ✉▶1／5▶フォルダを選び●▶メールを選び●

2 発信元または宛先を選び●

おしらせ

- 複数のメールアドレスをまとめて確認：メール詳細画面で Menu ▶表示▶アドレス表示
  - 受信／送信／未送信メール一覧からの操作：アドレスを表示するメールを選び Menu ▶表示▶アドレス表示
    送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元のほか、同報送信された宛先（自分以外）が表示されます（「TO:」「CC:」も表示されます）。

メールをフォルダに移動する　メール移動

メールを別のフォルダに移動します。

例　1件移動するとき

1 ✉▶1／4／5▶フォルダを選び●

2 メールを選び Menu 4 1 1

■ 複数移動：Menu 4 1 2▶メールを選び●▶📖

■ フォルダ内のメールをすべて移動：Menu 4 1 3

3 ●▶移動先フォルダを選び●▶はい

おしらせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

メールを検索する　メール検索

受信メールや送信メールを、発信者・宛先または受信日・送信日を指定して検索します。

- 受信メールでは発信者または受信日を指定して検索します。
- 送信メールでは宛先または送信日を指定して検索します。

例　発信者または宛先で検索するとき

1 [メール]▶[1]／[5]

2 [Menu][9][1]▶**検索する電話帳を選び**[決定]

- 受信日または送信日で検索：[Menu][9][2]▶日付を選び[決定]
- 電話帳や日付を選ぶと、メール一覧表示設定が「1行表示」の場合は該当するメールの先頭6件が、「2行表示」の場合は該当するメールの先頭３件が表示されます。
  - ・[決定]を押すと全メールが一覧表示されます。
  - ・送信メールを宛先で検索する場合、2件目以降の宛先に電話帳の相手が設定されていても検索されます（選択中の画面には1件目の宛先が表示されます）。

3 **表示するメールを選び**[決定]

- 検索結果画面からは、メール一覧と同様の操作ができます。
- メール検索の解除：[Menu][0]

おしらせ

- 受信メール一覧、送信メール一覧からの操作：[Menu]▶メール検索▶電話帳でメール検索／カレンダーでメール検索
  - この操作ではフォルダ内のメールだけが検索されます。

メールを並べ替える　ソート

受信メールや送信メールの一覧の並び順を一時的に変更します。表示を終了すると、並び順は日付順に戻ります。

- 日付順、送信者順（送信メールでは宛先順）、タイトル順、メールサイズ順が選択できます。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

1 [メール]▶[1]／[5]▶**フォルダを選び**[決定]

2 **受信メールでは**[Menu][7][4]／**送信メールでは**[Menu][5]▶[1]～[4]

おしらせ

- 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並びます。
- タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、50音順と一致しない場合があります。
- メールサイズ順の場合、添付ファイルを含めサイズの大きいものから順に並びます。
- 同じフォルダ内にSMSやエリアメールが含まれていると、一覧画面ではメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順に並べた場合、50音順と一致しません。

受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

例　既読メールを1件未読にするとき

1 [メール][1]▶**フォルダを選び**[決定]

2 **メールを選び**[Menu][5][2]

- ■ **1件既読：メールを選び**[Menu][5][1]
- ■ **複数未読：**[Menu][5][4]▶**メールを選び**[決定]▶[i]▶**はい**
- ■ **複数既読：**[Menu][5][3]▶**メールを選び**[決定]▶[i]▶**はい**
- ■ **フォルダ内のメールを全件未読：**[Menu][5][6]▶**はい**
- ■ **フォルダ内のメールを全件既読：**[Menu][5][5]▶**はい**

おしらせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

表示するメールの種別を選ぶ　表示種別

指定した種別のメールだけを表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 受信メールでは「すべて表示」「未読のみ表示」「既読のみ表示」「保護のみ表示」から選択できます。
- 送信メールでは「すべて表示」または「保護のみ表示」が選択できます。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

1 **m▶1／5▶フォルダを選び●▶Menu 7 2▶1～4**

おしらせ

● 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

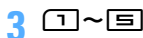
文字サイズを変更する　文字サイズ

受信メールや送信メール、メールテンプレートの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
- 文字サイズは、5種類から選択できます。
- 文字サイズの変更は受信メール、送信メール、メールテンプレート、microSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。

例　メール詳細画面から操作するとき

1 **m▶1／5▶フォルダを選び●**

2 **メールを選び●▶Menu 3 1**
- メールテンプレートを表示しているとき：Menu 4 1

3 **1～5**

おしらせ

● 文字サイズ設定の「一括」または「メール閲覧」からも変更できます。
● microSD メモリーカード内の受信／送信メールや未送信メールの詳細画面からの操作：Menu▶文字サイズ
● 文字サイズを変更してもデコメ絵文字のサイズは変更されません。
● メール詳細画面の文字サイズの変更は次に設定を変更するまで保持されます。
● 本機能での設定内容は、文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。
● メール作成時および編集時の文字サイズは、文字サイズ設定の「一括」または「メール編集／文字入力」から変更できます。

メールを保護する　メール保護

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りなくて消去されることを防げます。
- 最大保護件数☛P439
- 未読メールは保護できません。
- エリアメールは複数保護／複数解除の操作はできません。

例　1件保護するとき

1 **m▶1／4／5▶フォルダを選び●**

2 **メールを選びMenu 3 1**

メールが保護され、アイコンが次のいずれかに変わります。

受信メール：（既読）　（返信不可）
（返信済み）　（転送済み）

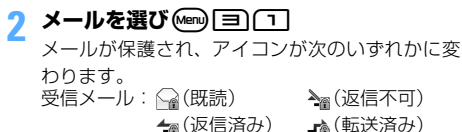
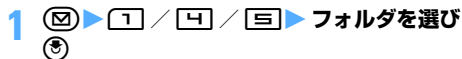
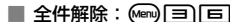
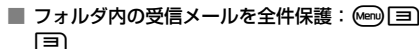
送信／未送信メール：

- 解除：メールを選びMenu 3 4

■ **複数保護：Menu 3 2▶メールを選び●▶m**

■ **フォルダ内の受信メールを全件保護：Menu 3 3**

■ **複数解除：Menu 3 5▶メールを選び●▶m**

■ **全件解除：Menu 3 6**

おしらせ

● メール詳細画面からの操作：Menu▶保護／保護解除
● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
● 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メールを削除する　メール削除

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。
- 保護されているメールは削除できません。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	○	×	×
フォルダ内-既読	○	○※2	×
フォルダ内-全件	○	○※2	×
フォルダ内-7日経過※1	○	○※2	×
フォルダ内-14日経過※1	○	○※2	×
フォルダ内-30日経過※1	○	○※2	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※3	×

※１：メール受信後の経過日数によって削除します。
※２：メール検索結果の一覧からは実行できません。
※３：メール検索結果の一覧からのみ実行できます。

- まとめて削除する場合、条件に該当する未読メールも削除されます。

例　1件削除するとき

1 ✉1
■ メールをすべて削除：Menu46▶端末暗証番号を入力▶操作4

2 フォルダを選び●

3 受信メールを選びMenu21
■ 複数削除：Menu22▶メールを選び●▶📖
■ フォルダ内の既読メールを削除：Menu23
■ フォルダ内のメールをすべて削除：Menu24▶端末暗証番号を入力
■ 受信後の経過日数によって削除：Menu2▶5～7

4 はい

おしらせ

- フォルダ一覧からの操作：Menu▶メール削除
- メール詳細画面からの操作：Menu▶削除
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細（送信メール）
メール全件	○	×	×
フォルダ内-全件	○	×	×
全件削除※1	×	○※2	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※3	×

※１：フォルダ内のメールをすべて削除します。
※２：送信メール検索結果の一覧からは実行できません。
※３：送信メール検索結果の一覧からのみ実行できます。

例　1件削除するとき

1 ✉▶4～5
■ メールをすべて削除：Menu42▶端末暗証番号を入力▶操作4

2 フォルダを選び●

3 メールを選びMenu21
■ 複数削除：Menu22▶メールを選び●▶📖
■ フォルダ内のメールをすべて削除：Menu23▶端末暗証番号を入力

4 はい

おしらせ

- フォルダ一覧からの操作：Menu▶メール削除
- メール詳細画面からの操作：Menu▶削除

メールの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To・Media To機能を使う

- 操作方法はサイトからのPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、Media Toと同じです。☛P160
- パソコンなどから受信したメールでは本機能を利用できないことがあります。
- 2in1 がBモードのときは、Mail To機能は利用できません。

本文などをコピーする

ｉモードメール、SMS、メールテンプレート中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文コピーと宛先コピー、発信元コピーができます。
- デコメールの場合、メールの本文や署名以外には装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- コピーした文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例 受信メール詳細画面からコピーするとき

1 受信メール詳細画面を表示

- 選択項目コピーの場合は、コピーする項目を選びます。

2 Menu 2

- メールテンプレートを表示しているとき：Menu 3

3 コピー方法を選び●

本文コピー：
本文中の指定した範囲の文字をコピー。
- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。☛P160「URLをコピーする」操作2

題名コピー：
題名をコピー。

選択項目コピー：
選ばれている項目をコピー。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

おしらせ

● メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんテキストメモに貼り付けて保存するとスケジュール登録できます。

受信／送信メールから電話をかける 電話発信

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。

- 電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。

例 受信メールから電話をかけるとき

1 受信メール一覧を表示

2 メールを選び Menu 6

- 受信メール／送信メール詳細画面からの操作：相手（発信者／宛先）を選び Menu 7
- 同報アドレスがあるときは電話をかけるメールアドレスを選択します。

3 発信条件を設定

4 Menu ▶ はい

電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMS中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。

例 受信メール詳細画面から新規登録するとき

1 メールを表示 ▶ 項目を選ぶ

- 選べない項目は登録できません。

2 Menu 4 1

- 登録済みの電話帳データに追加：Menu 4 2
- 以降の操作 ☛P161「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作3

おしらせ

● 送信メール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面、microSD メモリーカード内のメール詳細画面からの操作：Menu ▶ 登録
● デコメールからは登録できない場合があります。
● メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

ｉモードメール、SMSの本文中にあるURLをブックマークに登録できます。

例　受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 **メールを表示▶URLを選び**Menu 4 3

2 **フォルダを選び**●
- 以降の操作☛P154「ブックマークに登録する」の操作2

おしらせ

● デコメールからは登録できない場合があります。

メールをお預かりセンターに保存する
電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、ｉモードメールやSMSをお預かりセンターに保存できます。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

メールを保存する

- 1件あたりのファイル容量が、10000バイトを超えるメールは保存できません。
- お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。☛P88

1 ✉▶ 1 ／ 4 ／ 5 ▶ **フォルダを選び**●

2 **受信メール、送信メールでは**Menu 4 5 ／ **未送信メールでは**Menu 4 3 ▶**メールを選び**●▶📖
- 最大10件選択できます。
- SMS送達通知は保存できません。

3 **はい▶端末暗証番号を入力**

メールがお預かりセンターに保存され、実行結果が表示されます。
- 実行結果は約5秒後に消えます。

おしらせ

● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

メールを復元する

お預かりセンターに保存されているメールを、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 復元したメールは保護されます。ただし、次の場合は保護されません。
  - ・お預かりセンターに保存されているメールが未読だった場合
  - ・FOMA端末に保存されているメールの保護件数が最大保護件数に達している場合

メールの履歴を利用する
メール受信履歴／メール送信履歴

受信／送信したメールの履歴を記録しておく機能です。履歴からｉモードメール／SMSを作成したり、音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信できます。
- 複数の宛先に送信した場合、宛先ごとにメール送信履歴に記録されます。
- 同じ宛先に送信した場合は、最新の1件のみがメール送信履歴に記録されます。
- 返信不可の受信メールの履歴は記録されません。
- それぞれ最大30件記録します。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 2in1をご契約の場合、受信履歴にはAアドレス（Aナンバー）／Bアドレス（Bナンバー）それぞれ最大30件、合計で60件まで記録されます。

1 Menu▶**電話帳／履歴**▶ 8 ▶ 1 ～ 2

2 **履歴を選ぶ**
- 履歴を選択すると履歴の詳細画面が表示されます。

3 **実行する操作のキーを押す**
- 履歴の詳細画面からも同様に操作できます。

■ **ｉモードメールの作成：**✉

メール作成画面が表示され、宛先欄は以下のようになります。
- 履歴がｉモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが設定されます。
- 履歴がSMSの場合、発信元または宛先の電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されているときにメールアドレスが設定されます。

■ SMSの作成：(✉)（1秒以上）
SMS作成画面が表示され、宛先欄は以下のようになります。
- 履歴がSMSの場合、発信元または宛先の電話番号が設定されます。
- 履歴がｉモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが電話帳に登録されていて、その電話帳に電話番号が登録されているときに電話番号が設定されます。

■ **音声電話をかける：**
- スピーカーホン機能利用：（1秒以上）

■ **テレビ電話をかける：**
- スピーカーホン機能利用：（1秒以上）

■ **プッシュトークの発信：**
- スピーカーホン機能利用：（1秒以上）

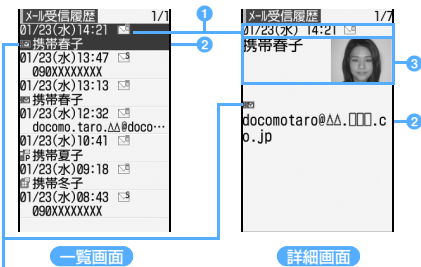
■ **発信オプションの利用：** Menu 3
発信オプションの画面が表示されます。以降の操作☞P49「条件を設定して電話をかける」の操作2以降

■ **電話帳に登録：Menu ▶ 新規登録するときは 4、登録済みの電話帳データに追加するときは 5**
- 以降の操作☞P161「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作3
- ｉモードメールではメールアドレスが、SMSでは電話番号が登録されます。

■ **履歴の詳細画面に画像を表示させるかを設定：履歴の詳細画面で Menu 9 ▶ 1～3**
- 詳細☞P83

おしらせ

- メール受信履歴は ▶ 、メール送信履歴は ▶ でも表示できます。
- シークレット属性 OFF のフォルダに自動的に振り分けられたメールを、シークレット属性ONのフォルダに移動させて、プライバシーモード（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）にしても、メール履歴には表示されます。逆に、シークレット属性ONのフォルダに自動的に振り分けられたメールを、シークレット属性OFFのフォルダに移動させても、プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）、メール履歴には表示されません。
- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信したり、発信オプションを利用する場合の電話番号は、履歴がｉモードメールかSMSかによって以下のようになります。
  - SMSの場合、履歴の電話番号に発信されます。
  - ｉモードメールの場合、発信元／宛先のメールアドレスが電話帳に登録されていて、その電話帳に電話番号が登録されているとき発信されます。

メール受信／送信履歴の画面の見かた

❶ **受信／送信日時※1、履歴のアイコン※2**
❷ **発信元／宛先のメールアドレス（SMSでは電話番号）または名前※3**
❸ **名前※3、画像※4**

※1：海外滞在時（タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合を除く）に受信／送信したメールの履歴には、が表示される場合があります。
※2：2in1がデュアルモードのときは、Bアドレス（Bナンバー）の受信履歴にはBが表示されます。
※3：発信元／宛先のメールアドレス（SMSでは電話番号）が電話帳に登録されている場合
※4：電話帳に登録されている場合

- メール送信履歴一覧を表示：メール受信履歴一覧または詳細画面で Menu ▶ メール送信履歴
- メール受信履歴一覧を表示：メール送信履歴一覧または詳細画面で Menu ▶ メール受信履歴
- 電話の着信履歴一覧を表示：メール受信履歴一覧または詳細画面で
- リダイヤル一覧を表示：メール送信履歴一覧または詳細画面で

メールの履歴を削除する　メール履歴削除

1 Menu ▶ **電話帳／履歴** ▶ 8 ▶ 1～2

2 **履歴を選び** Menu 6 1
■ **複数削除：** Menu 6 2 ▶ **履歴を選び** ▶
■ **すべて削除：** Menu 6 3 ▶ **端末暗証番号を入力**

3 **はい**

おしらせ

- メール履歴詳細画面からの操作：Menu ▶ 削除
- メール受信／送信履歴を削除しても、受信／送信メールは削除されません。
- 受信／送信メールを削除しても、メール受信／送信履歴は削除されません。

FOMA端末のメール機能を設定する
メール設定

メールを自動的にフォルダに振り分ける
メール振り分け設定

受信／送信したｉモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかを設定します。

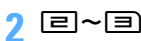
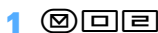
- 受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

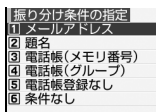
振り分け条件を設定する

- 振り分け条件を設定したり実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定の自動振り分け設定を「ON」にする必要があります。☛P195
- 条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分けられません。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。
- メール連動型ｉアプリのメールは、該当するメール連動型ｉアプリ用のフォルダがあると、振り分け条件の設定に関わらず、そのフォルダに保存されます。

1 ✉[0][2]

2 [2]～[3]

❶
登録済みの振り分け条件（優先順位順に表示）

❶ To：送信メールアドレス
From：受信メールアドレス
NO.：メモリ番号
題名
条件なし
電話帳登録なし
グループ

3 [MENU]▶**振り分け条件を指定**

振り分け条件の指定画面

■ **メールアドレスの指定：[1][4]▶メールアドレスを入力▶[MENU]**
- メール送信履歴から選択：[1][1]▶履歴を選び●
- メール受信履歴から選択：[1][2]▶履歴を選び●
- 電話帳に登録されているメールアドレスの指定：[1][3]▶相手を選び●

指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角50文字まで）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けできます。

■ **題名の指定：[2]▶題名を入力▶[MENU]**
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角100／半角200文字まで）。SMSは題名では振り分けできません。

■ **メモリ番号の指定：[3]▶メモリ番号を入力▶[MENU]▶電話帳データを選び●**
FOMA端末電話帳の指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ **グループの指定：[4]▶[1]～[2]▶グループを選び●**
グループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

■ **電話帳登録なしの指定：[5]**
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ **条件なしの指定：[6]**
条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

4 **振り分け先フォルダを選び●**
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 **優先順位を指定**
選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。
- 1件目の条件を登録：［最後に追加する］
- 最後に追加：［最後に追加する］
- 優先順位の高い条件から順に並べます。
- 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

おしらせ

● 受信／送信メールの発信者や宛先、題名を振り分け条件に設定できます。受信メールの振り分け条件は受信メール一覧／詳細画面から、送信メールの振り分け条件は送信メール一覧／詳細画面から操作します。
  - メール一覧からの操作：メールを選び Menu ▶ 登録 ▶ 振り分け条件登録 ▶ メールアドレス／題名 ▶ (m) ▶ 操作4
  - メール詳細画面からの操作：Menu ▶ 登録 ▶ 振り分け条件登録 ▶ メールアドレス／題名 ▶ (m) ▶ 操作4
    ・メールアドレスを条件にするときは発信者や宛先を選んでから操作します。
● 発信元の端末がｉモード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるため、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
● FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同一のメールアドレスが登録されている場合、FOMA端末電話帳のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。
● 2in1 がONのときは「メモリ番号」「グループ」の振り分け条件が無効な場合があります。「メールアドレス」「題名」「電話帳登録なし」「条件なし」の振り分け条件を設定してください。
● 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位１の条件に該当するか判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ② 優先順位2の条件に該当するか判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

1 (✉) [0] [2] ▶ [2]～[3]

2 **振り分け条件を選び** (●)
- 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ **登録済み振り分け条件の変更：振り分け条件を選び** Menu [2] ▶ **振り分け条件を指定** ▶ **はい**

■ **優先順位の変更：振り分け条件を選び** Menu [5] ▶ **位置を選び** (●)
- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、［最後に移動する］を選択します。

■ **条件の削除：振り分け条件を選び** Menu [3] ▶ **はい**
- 条件をすべて削除：Menu [4] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ はい

自動的に振り分けるかを設定する

- 「ON」にしても、振り分け条件を設定しないと振り分けられません。

1 (✉) [0] [2] ▶ [1] ▶ **受信時振り分け設定／送信時振り分け設定** ▶ [1]～[2] ▶ (m)

メールの署名を登録する　署名設定

ｉモードメールや SMS の本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するように設定できます。

署名を編集し登録する

- 署名は装飾できます。装飾方法はデコメールの場合と同じです。装飾すると、その分入力できる文字数が減ります。
- 装飾した署名が挿入されたメールはデコメールになります。

1 (✉) [0] [3] ▶ [2] ▶ (●)

2 **署名を入力（全角4999／半角9998文字まで）** ▶ (m)
- 全角 5000 ／半角 10000 文字まで入力できますが、署名の挿入時には改行されるため、改行分（全角1／半角2文字）少なくしてください。

署名を自動挿入するかを設定する

- 「する」にしても、署名が登録されていないと挿入できません。

1 (✉) [0] [3] ▶ [1] ▶ [1]～[2]

おしらせ

● 署名も本文の文字数に含まれます。本文に署名の文字数と改行分の空きがないと、署名は挿入できません。
● 自動挿入を「する」にすると、返信／転送時も本文の最後に署名が挿入されます。ただし、署名の背景色は、ｉモードメールを新規作成する場合、またはｉモードメールに本文を引用せずに返信する場合だけ反映されます。

● 署名が登録してあるときは、メールの本文入力時にMenuを押し「定型文・区点・引用」▶「署名挿入」を選択すると挿入できます。ただし、署名の背景色はｉモードメールの場合で、本文が未入力の状態のときだけ反映されます。
● 以下の場合、署名はSMSに挿入できません。
  • 署名を挿入すると本文の文字数が全角・半角を問わず70文字を超える場合
  • 署名を装飾した場合
  • SMS設定で送信文字種を「英語」にし、新規にSMSを作成する場合
  • 送信文字種が「英語」のSMSに返信、転送する場合
● 署名に電話番号やメールアドレス、URL をいれておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使うことができます。

センター問い合わせの内容を設定する
ｉモード問合せ設定

• 問い合わせをしない項目を□にします。

1 ✉ 0 7 ▶問い合わせ項目を選び● ▶ 📖

メールを選択して受信できるようにする
メール選択受信設定

1 ✉ 0 6 2 ▶ 1 ～ 2

ON…メールを選択受信します。チャットメールは利用できなくなります。
• 「ON」を選ぶと自動受信できない旨のメッセージが表示されます。●を押してください。
OFF…メールを自動受信します。

宛先をメールグループに登録する
メールグループ

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。
• メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉ 0 5

2 📖

■ **メールグループ名の編集：メールグループを選びMenu 2**

■ **メールグループのコピー：メールグループを選びMenu 3**

■ **メールグループの1件削除：メールグループを選びMenu 4 1 ▶はい**

■ **メールグループの全件削除：Menu 4 2 ▶端末暗証番号を入力▶はい**

3 メールグループ名を入力（全角8／半角16文字まで）▶ 📖
• 続けて別のメールグループを登録：📖

4 メールグループを選び●

5 ✉ ▶各項目を設定

宛先種別：
TO、CC、BCCを設定。☞P172
アドレス：
半角50文字まで入力可。
• メール送信履歴から選択：Menu 1 ▶履歴を選び●
• メール受信履歴から選択：Menu 2 ▶履歴を選び●
• 電話帳から選択：Menu 3 ▶相手を選び●

6 📖
• 他のメールアドレスを追加：操作5～6を繰り返す

■ **メールアドレスの編集：メールアドレス（または名前）を選び● ▶メールアドレスを編集▶ 📖**

■ **メールアドレスの1件削除：メールアドレス（または名前）を選びMenu 2 ▶はい**

■ **メールアドレスの詳細表示：Menu 3 ▶確認が終わったら●**

7 📖
• メールグループを選び✉を押すとｉモードメールを作成できます。

返信時に本文を引用するかを設定する
メール返信引用設定

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 ✉ 0 4 1

2 各項目を設定▶ 📖

引用：
メール返信時の本文引用を設定。
引用文字：
全角1／半角2文字まで入力可。
• 引用文字も本文の文字数に含まれます。
• 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

返信時にクイック返信本文を挿入するかを設定する　クイック返信設定

• SMSにはクイック返信本文は挿入できません。
• 「ON」にしても、クイック返信本文が登録されていないと挿入できません。

1 ⓜ 0 4 2 ▶ 1 ～ 2

クイック返信時に挿入する本文を登録する　クイック返信本文登録

• 最大5件登録できます。
• お買い上げ時の状態から新たに本文を登録するには、登録されている本文を選択して修正するか、不要な本文を削除してください。

1 ⓜ 0 4 3 ▶ **本文を選び** ●

2 **本文を入力（全角20／半角40文字まで）▶** ⓜ **▶ はい**

• 改行はできません。

■ **登録されている本文の参照：クイック返信本文一覧で本文を選び** ⓜ

■ **登録されている本文の削除：クイック返信本文一覧で本文を選び** Menu 1 **▶ はい**

■ **新たに本文を登録：クイック返信本文一覧で<新しい返信本文> ▶ 本文を入力 ▶** ⓜ

■ **お買い上げ時の内容に戻す：クイック返信本文一覧で** Menu 2 **▶ 端末暗証番号を入力 ▶ はい**

メール一覧の表示形式を設定する　メール一覧表示設定

受信メールや送信メールの一覧の表示形式を設定します。

• 未送信メールやFOMAカード内のSMSでは設定に関わらず、2行表示されます。

1 ⓜ 0 6 5 ▶ **表示スタイルを設定 ▶** ⓜ

表示スタイル：
「1行表示（宛先）」「1行表示（題名）」「2行表示」から選択。

メールをのぞき見されないようにする　オンリービュー設定

ｉモードメール／SMSの作成画面や詳細画面、署名編集画面（装飾なし）、メールテンプレートの表示画面をオンリービュー表示にするかを設定します。

• 「ON」にすると、表示画面のコントラストが調整され、表示が見えにくくなり、のぞき見されにくくなります。
• 以下の画面ではオンリービュー表示にはなりません。
  ・文字入力　・一覧表示　・デコメール
  ・チャットメール　・添付ファイルの画像

1 ⓜ 0 6 7 ▶ 1 ～ 2

• 表示中に切り替える：TV/◎（1秒以上）▶ はい
  ・表示中に切り替えると、オンリービュー設定にも反映されます。

添付ファイルの自動受信を設定する　メール受信添付ファイル設定

1 ⓜ 0 6 3 ▶ **設定を変更するファイル種別を選び** ● **▶** ⓜ

ツールデータ：
スケジュールデータ、ブックマークデータ、電話帳データ。

その他：
Word、Excel、PowerPoint、その他のファイル。

おしらせ

● メール本文中に挿入された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。
● □のファイルは、メール受信時には受信しません。受信するには、メール詳細画面でファイル名を選択します。
● ☑にしても、メール本文と本文中に挿入されている画像および添付ファイルの合計が100Kバイトまでは自動受信し、それを超える場合は選択受信になります。

メロディの自動再生を設定する　添付ファイル自動再生設定

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかを設定します。

1 ⓜ 0 6 4 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

● 「自動再生する」の場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、メロディ音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。途中で止めるにはクリアを押します。
● 「自動再生する」にしても、メッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

メール受信通知を設定する　受信・自動送信表示

FOMA端末の操作中に、ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面を表示するか、また圏内自動送信中画面を表示するかを設定します。

1 Ⓜ０６１▶１～２

操作優先…FOMA端末操作中は、受信中画面、受信結果画面、圏内自動送信中画面を表示しません。

通知優先…FOMA端末操作中でも、受信中画面、受信結果画面、圏内自動送信中画面を表示します。

おしらせ

- 「操作優先」の場合、待受中以外のとき（他の機能が起動中）は受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
- 「通知優先」にしても、以下の場合には受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - カメラ起動中
  - ｉアプリ動作中
  - ストリーミングタイプのｉモーション再生中
  - 目覚まし音やアラーム鳴動中など
- オールロック中、パーソナルデータロック中、公共モード（ドライブモード）中は設定に関わらず、受信中画面や受信結果画面、圏内自動送信中画面は表示されません。
- 受信結果画面が表示されない場合にはメール着信音は鳴りません。また、着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/F受信

- 受信したメッセージR/Fは「受信メール」の「メッセージR」／「メッセージF」に保存されます。
- 最大保存件数☛P439

1 **メッセージR/Fを受信**

点滅

受信中画面

受信完了（受信結果画面が表示され、メッセージR/F着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅）

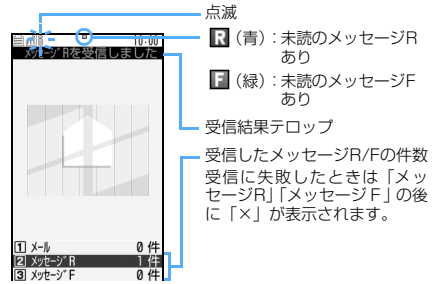
点滅

R（青）：未読のメッセージRあり

F（緑）：未読のメッセージFあり

受信結果テロップ

受信したメッセージR/Fの件数

受信に失敗したときは「メッセージR」「メッセージF」の後に「×」が表示されます。

受信結果画面

- 受信中画面で⊙を押すと受信を中止できますが、状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。

2 ２～３▶**メッセージR/Fを選び**⊙

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P197
  - ・メッセージR/Fを自動表示した場合は再生されません。
- メッセージR/Fの画面の見かた☛P199

おしらせ

- 受信結果画面は、何も操作しないと約15秒間、またはメッセージR/F着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。ただし、メッセージ自動表示にしたメッセージR/Fを受信した場合は、受信前の画面に戻る前に、未読のメッセージR/Fの内容が表示されます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に消去されます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。☛P200
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には R（赤）や F（赤）が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（☛P199）、不要メッセージR/Fの削除（☛P200）、保護解除（☛P200）などを行う必要があります。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - 受信に失敗したとき
  - 圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - iC通信中
  - お預かりセンター接続中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- メッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは R F や RF が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、アイコンが R F や RF に変わります。

メッセージR/Fを自動的に表示する

メッセージ自動表示設定

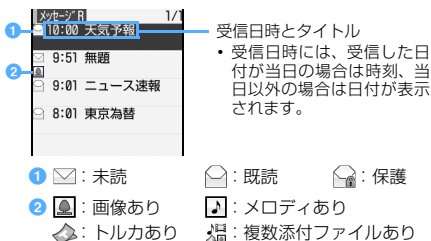
メッセージR/Fを受信したときに、その内容を自動的に表示（約15秒間）するかを設定します。また、メッセージR/Fのいずれかのみ、または、メッセージR/Fのいずれかを優先して表示するようにも設定できます。

1 [✉][0][6][6]▶[1]～[5]

おしらせ

- 待受画面表示中に自動受信した場合だけ、自動表示されます。
- 自動表示にすると、受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。

メッセージR/Fを表示する

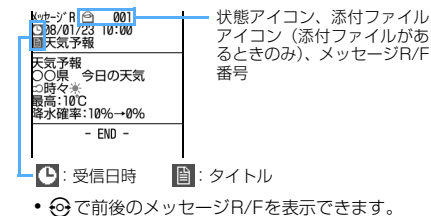
メッセージR／メッセージF

1 [✉][1]▶メッセージR／メッセージF▶メッセージR/Fを選び[●]

- [i][6]からも表示できます。

メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

■ メッセージR/F一覧画面

①② 受信日時とタイトル
- 受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

① ✉：未読　✉：既読　✉：保護

② 画像あり　♪：メロディあり　トルカあり　複数添付ファイルあり

■ メッセージR/F詳細画面

状態アイコン、添付ファイルアイコン（添付ファイルがあるときのみ）、メッセージR/F番号

受信日時　タイトル

- [◎]で前後のメッセージR/Fを表示できます。

■ 詳細画面で文字の大きさを変更：[Menu][6]▶[1]～[5]

- 添付ファイルがある場合、メッセージR/F詳細画面にアイコンと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
  - 画像、メロディ、トルカのアイコンの意味☛P181
- 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
  画像を受信できなかったときはアイコンが表示されます。アイコンはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。☛P150

添付されているファイルを表示・保存する

メッセージR/Fに添付されている画像やトルカを表示・保存したり、メロディを再生・保存します。

例 添付されているファイルを保存するとき

1 メッセージR/F一覧を表示▶メッセージR/Fを選び ⊛▶ 添付ファイルのファイル名を選びMenu 5 2

- 画像の場合、以降の操作☛P157「画像を取得する」の操作3以降
- メロディの場合、以降の操作☛P158「メロディをダウンロードする」の操作3
- トルカの場合、保存先を選択してください。ただし、トルカによっては、トルカ（詳細）が保存されない旨の確認画面が表示されます。
- 1024バイトを超えるトルカはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

■ **表示・再生：ファイル名を選び⊛**
- 画像の場合は、表示／非表示が切り替わります。
- 1024バイトを超えるトルカは表示できません。

■ **タイトルの表示：ファイル名を選びMenu 5 3**
- 画像の場合は操作できません。

おしらせ
- 本文中の画像や背景画像を保存：Menu▶画像保存▶画像選択／背景画像保存▶画像を選び⊛
- トルカによっては一度しか保存できない場合があります。

メッセージR/Fを保護する　メッセージ保護

- 最大保護件数☛P439
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選びMenu 2 1

メッセージR/Fが保護され、アイコンが に変わります。
- 解除：メッセージR/Fを選びMenu 2 3

■ **複数保護：Menu 2 2▶メッセージR/Fを選び⊛▶(m)**

■ **複数解除：Menu 2 4▶メッセージR/Fを選び⊛▶(m)**

■ **全件解除：Menu 2 5**

おしらせ
- メッセージR/F詳細画面からの操作：Menu▶保護／保護解除を選び⊛

メッセージR/Fを削除する　メッセージ削除

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選びMenu 1 1

■ **既読メッセージR/Fの削除：Menu 1 2**

■ **複数削除：Menu 1 3▶メッセージR/Fを選び⊛▶(m)**

■ **全件削除：Menu 1 4▶端末暗証番号を入力**

3 はい

おしらせ
- メッセージR/F詳細画面からの操作：Menu▶削除

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ　表示種別

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- すべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶Menu 3▶1～4

既読のみ表示…保護されているメッセージR/Fは表示されません。

メッセージR/Fを並べ替える　ソート

メッセージR/Fの並び順を一時的に並べ替えます。終了すると「日付順」に戻ります。
- 日付順、タイトル順、メッセージサイズ順が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶Menu 4▶1～3

おしらせ
- タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示のものが混在していると「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

緊急速報「エリアメール」とは（提供予定）

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信できるサービスです。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールを受信できます。
- エリアメールを受信するには受信設定が必要です。
- おまかせロック中、国際ローミング中、セルフモード中、お預かりセンター接続中、ソフトウェア更新中は受信できません。また、次のような場合、受信できないことがあります。受信できなかったエリアメールは再受信できません。
  - ・音声電話中　・テレビ電話中
  - ・プッシュトーク中　・ｉモード通信中
  - ・データ通信中

エリアメールには次の種類があります。

緊急地震速報：

受信するとブザー（専用警報音とバイブレータ）でお知らせします。マナーモード中でも、バイブレータはマナーモードの設定に関わらず動作します。

- ブザーの音量は調整できませんが、ブザー（専用警報音とバイブレータ）の鳴動（☛P201）と鳴動時間（☛P201）を設定できます。
- バイブレータの動作はメール着信時の設定に従います。ただし、「OFF」にしていても「パターンA」で動作します。

緊急地震速報以外：

受信するとエリアメール専用着信音が鳴ります。

- 音量はメール・メッセージ着信音量の設定に、鳴動時間はメール着信音の設定に従います。
- マナーモード中はマナーモードの設定に従います。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

- エリアメールを受信すると[アイコン]が表示され、エリアメールの詳細画面または「エリアメールを受信しました」のメッセージが表示されます。どちらが表示されるかは配信者によって設定されています。
- 受信したエリアメールは「受信メール」の「受信BOX」フォルダに保存されます。
- 最大保存件数☛P439

おしらせ

- ● エリアメールの詳細画面は Ⓢ／(クリア)／(終話)を押すと消えます。
- ●「エリアメールを受信しました」のメッセージは何も操作しないと約15秒間、エリアメール設定のブザー鳴動時間またはメール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときはブザーまたはメール着信音が鳴り終わるまで表示されます。
- ●「受信BOX」フォルダのエリアメールが30件を超えるときは、「受信BOX」フォルダの空き状況に関わらず古いエリアメールから順に消去されます。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

エリアメール設定

エリアメールの受信を設定する　受信設定

- お買い上げ時は「利用しない」に設定されています。「利用する」にするとエリアメールを受信できます。

1 Ⓜ８２１▶**利用する／利用しない**

エリアメールのメッセージIDを登録する　受信登録

緊急情報の他に受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

例　エリア情報を追加するとき

1 Ⓜ８２２

2 (m)▶**端末暗証番号を入力**

- 登録情報の編集：登録情報を選び Ⓢ▶端末暗証番号を入力
- 登録情報の削除：登録情報を選び (Menu) ２▶端末暗証番号を入力▶はい

3 **各項目を設定**▶(m)

エリアメール名：

全角・半角を問わず15文字まで入力可。

Message ID：

4桁のIDを入力。

エリアメールのブザーを設定する　ブザー鳴動設定

ブザーが鳴動するエリアメールを受信したとき、ブザーを鳴動させるかを設定します。

1 Ⓜ８２３▶１～２

- 「常に鳴動しない」にするとエリアメール専用の着信音が鳴ります。

ブザー鳴動時間を設定する　ブザー鳴動時間

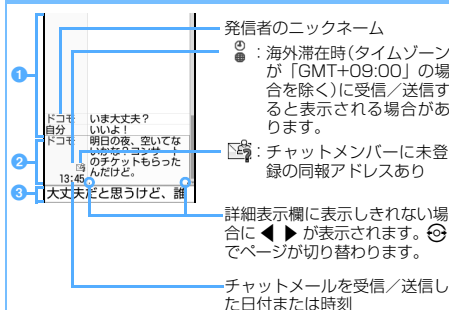
ブザー鳴動設定を「エリアメールに従う」にした場合の鳴動時間を設定します。

1 Ⓜ８２４▶**ブザー鳴動時間を設定（1～30秒）**▶(m)

チャットメールを作成して送信する
チャットメール作成・送信

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定が「ON」の場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合、2in1がBモードの場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」の題名が付いたメールとして届きます。また、チャットメンバーに登録しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面の見かた

❶ **送受信履歴**

最新の履歴から最大100件表示できます。
- ガイド行に△▽が表示されているときは◎でスクロールできます。
  - ・画面単位でスクロール：[✉]／[✉]
  - ・先頭行に移動：[Menu][5][1]
  - ・最終行に移動：[Menu][5][2]

❷ **詳細表示欄**

最新または選んだチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角250／半角500文字までです。

❸ **本文入力欄**

チャットメンバーを登録する
チャットメンバー設定

- チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

はじめてチャットメンバーを登録する

1 [✉][3]▶**はい**▶[✉]

2 **各項目を設定**

アドレス：
半角50文字まで入力可。
- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。
- メール送受信履歴または電話帳から選択：[Menu]▶[1]～[3]▶履歴または宛先を選び●

ニックネーム：
全角4／半角8文字まで入力可。
- メールアドレスが、電話帳に登録されているアドレスと一致するときは、電話帳の名前（先頭から全角4／半角8文字まで）がニックネーム欄に表示されます。
- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@より前の部分が先頭から最大8文字表示されます。

文字色：ニックネームの文字色を選択。

3 [m]
- 他のメンバーの追加登録：[✉]▶操作2～3を繰り返す

4 [m]

チャットメンバーを追加・編集・削除する

例 チャットメンバーを追加するとき

1 [✉][3]▶[Menu][7]

2 [✉]▶**各項目を設定**
- 編集：メンバーを選び●▶各項目を設定
- 1件削除：メンバーを選び[Menu][2]▶はい
- 詳細情報の表示：[Menu][3]▶確認が終わったら●
- メンバー全件とメールグループの入れ替え：[Menu][5]▶グループを選び●▶はい

3 [m]

個人情報（自分のニックネームとその文字色）を設定する

1 **[✉][3]▶[Menu][8]▶ニックネームと文字色を設定▶[📖]**

- ニックネームを設定しなかった場合「自分」と表示されます。

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは「送信メール」内のフォルダに保存されます。

1 **[✉][3]**

- メンバーを登録するかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 **本文入力欄▶本文を入力（全角250／半角500文字まで）**

■ **チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付け：**

①**チャットメールを選び[Menu][6]▶範囲を指定**

- 範囲の指定方法☛P371

②**本文入力欄▶貼り付ける位置を選び[Menu][3]**

■ **送信するメンバーの選択：[Menu][3]▶宛先を選び[●]▶[📖]**

3 **[📖]**

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

■ **受信したメールの同報アドレス全員に返信：[Menu][2][2]**

おしらせ

- チャットメールは、以下の操作でもチャットメール画面に表示できます。
  - 受信／送信メール一覧からの操作：チャットメールを選び[Menu]▶表示▶チャットメール表示
  - 受信／送信したチャットメールの詳細画面からの操作：[Menu]▶表示▶チャットメール表示
- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると「未送信 BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメール画面から送信してください。

チャットメールを受信する　チャットメール受信

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名に「チャットメール」（全角・半角を問わず）を含むメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが読み込まれます。

- チャットメールを受信しても、着信音は鳴らず、着信バイブレータも動作しません。着信を知らせる決定キーの照明も点灯／点滅しません。
- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして「受信メール」内のフォルダに保存されます。

1 **受信メール一覧でチャットメールを選び[Menu][7][5]**

- 受信メール詳細画面からの操作：[Menu][3][3]
- チャットメンバーに登録されていない相手からのチャットメールの場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P202
- チャットメンバーに登録している相手から受信した場合は、[✉][3]でチャットメールを起動しても読み込めます。
- デコメールやパソコンから受信した HTML メールは、チャットメール画面には読み込めません。

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 **チャットメール画面で[Menu][1]**

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。このとき、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていると同時に受信します。

- [📶]が点滅しているときは、更新できません。

おしらせ

- チャットメール画面では本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、Media Toは行えず、ｉアプリ To の機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し「受信メール」からチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 「受信メール」からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは「受信メール」では既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信したメールはチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面でメールを選び Menu 4

- チャットメンバーに登録されている宛先には、登録したニックネームとメールアドレスが表示されます。チャットメンバーに登録されていない宛先には「未登録」とメールアドレスが表示されます。
- メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。メールアドレスを確認するには ● を押します。

■ **未登録の同報者をチャットメンバーに登録：アドレスを選び 📖**
- 以降の操作 ☛P202「はじめてチャットメンバーを登録する」の操作2以降

■ **同報アドレスをコピー：アドレスを選び Menu 2**

チャットメールの履歴をすべて削除する

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面で Menu 5 ▶ はい

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で ⌒ ／ クリア ▶ いいえ

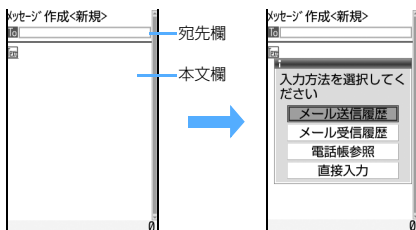
チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

はい…終了時に、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されます。

SMSを作成して送信する　SMS作成・送信

- 最大保存件数☛P439
- 半角カタカナは受信側で正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも「国際SMS」の送受信が可能です。ご利用方法やご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた☛P185

例　宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 ✉ 8 1 1 ▶ 宛先欄

2 直接入力 ▶ 宛先（相手の電話番号）を入力

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は「+」（0 を1秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は「010」を入力してください）。
- 宛先欄には26文字まで入力できますが、宛先として送信できるのは20文字（「+」を含めた場合21文字）までです。

■ **電話帳から検索：電話帳参照 ▶ 相手を選び ●**

■ **SMSの送信履歴から選択：メール送信履歴 ▶ 履歴を選び ●**
- SMSの宛先の電話番号が設定されます。

■ SMSの受信履歴から選択：メール受信履歴▶履歴を選び㊥
・SMSの発信者の電話番号が設定されます。

3 [Text]▶本文を入力

・SMS設定の送信文字種が「日本語」の場合は、全角・半角を問わず70文字まで入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
・SMS設定の送信文字種が「英語」の場合は、半角160文字まで入力できます。英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）が使用できます。半角空白も本文の文字数に含まれます。
・改行するときは[#]を押します（全角／半角数字入力モードを除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末によっては空白に置き換わります。

■ 署名の挿入：[Menu][4][5]

4 [□]

■ SMSを送信せずに保存：[Menu][2]

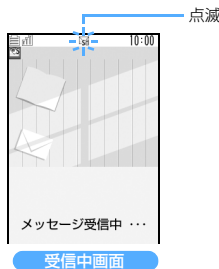
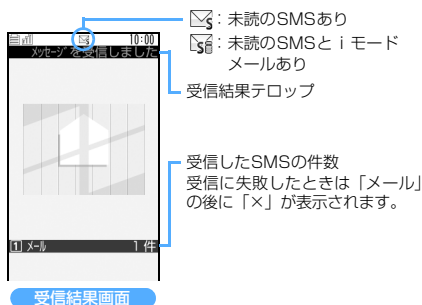
おしらせ

● 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 発信者番号通知設定を「通知しない」にしても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
● 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。
● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
☛P190
● SMSを送信完了した場合でも、SMS受信に非対応の機種では正常にSMSを受信することはできません。
● 2in1のBナンバーではSMSを送信できません。
● 送信する文字種や送達通知を受け取るかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
● 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信メール」内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダからSMSを編集・送信できます。☛P177
● 送達通知を「要求する」にして送信した場合、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。

SMSを受信したときは　SMS受信

・最大保存件数☛P439

1 SMSを受信

受信中画面

受信完了（受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅）

受信結果画面

・SMS受信中に[⌒]を押すと受信を中止できますが、状況によってはSMSを受信する場合があります。

2 ㊥／[1]▶フォルダを選び㊥▶SMSを選び㊥

・受信したSMSに返信（☛P180）したり、他の宛先に転送（☛P181）できます。

おしらせ

- 受信結果画面は何も操作しないと約15秒間、メール着信設定の鳴動時間を15秒より長く設定しているときは着信音が鳴り終わるまで表示されます。
- iモードメール、メッセージR/F受信中やお預かりセンター接続中は、SMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のときは、SMSの受信は中止され、画面にはや が表示されます。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
  - FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは「受信メール」に空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面にはや が表示されます。FOMA端末に移動（☛P208）するか、FOMAカード内のSMSを削除（☛P208）してください。
- SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨の注意が表示されます。SMSを表示するにはを押します。スキャン機能設定で、注意を表示しない設定もできます。☛P436
- 受信したSMSに直接FOMAカードへの保存が指定されている場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内のSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから再度、SMS問合せを行ってください。
- 受信したSMSは「受信メール」に保存されます。
- mova端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からSMSを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、決定キーの照明はFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。
  - 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSの条件に従って動作します。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。

SMSがあるかを問い合わせる

SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。

- 問い合わせ中は、決定キーの照明がレインボーで点灯します。設定は変更できません。
- 電波状態のよい場所で操作してください。

1 8 1 5

おしらせ

- SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMSの設定を行う

SMS設定

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 8 1 4

2 **各項目を設定▶**

送信文字種：
日本語または英語を選択。
- 文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：
送達通知の配信を設定。

有効期間：
相手が受信できないときに、SMSセンターで保管する期間を設定。
0日…一定時間経過後に再送しSMSセンターから削除します。

SMSC：
ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定。
その他…アドレス欄にアドレスを入力する場合に選択します（半角20文字まで入力可）。

Type of Number：
「international」「unknown」のいずれかを設定。
unknown…SMSCに「その他」を設定しアドレス欄に数字のみ、または「＊」「#」を含んだ番号を入力した場合に選択します。

おしらせ

- SMSの作成画面からの操作：Menu▶SMS設定
  - この場合には「送達通知」「有効期間」のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

SMSをFOMAカードに保存する
FOMAカード保存SMS

FOMAカードに移動／コピーする

- 最大保存件数☛P439
- 「未送信メール」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「FOMAカード（UIM）受信SMS」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例　1件移動／コピーするとき

1 ✉▶1／5▶フォルダを選び●

2 SMSを選びMenu 4▶2〜3▶1
■ 複数移動／コピー：Menu 4▶2〜3▶2▶SMSを選び●▶📖

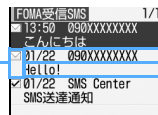
3 はい

おしらせ

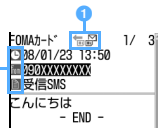
- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面からの操作：Menu▶移動／コピー▶FOMAカードへ移動／FOMAカードへコピー
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。
- 保護の設定はFOMAカードに移動／コピーされません。
- 2in1のBナンバーで受信したSMSをFOMAカードに移動／コピーすると、Aナンバーで受信したSMSとして保存されます。

FOMAカード内のSMSを表示する

例　受信SMSを表示するとき

1 ✉812
FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。

❶ ：未読（返信可）　：未読（返信不可）
　：既読（返信可）　：既読（返信不可）
　：送達通知／音声電話の着信通知

- 一覧の既読／未読のアイコンは、FOMAカード内のSMS を表示したかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信SMSを表示：✉813

2 SMSを選び●

❶ ：受信（返信可）　：受信（返信不可）
　：送信
　：送達通知／音声電話の着信通知
　：FOMAカード内のSMS

❷ ：日時　：宛先
　：発信元　：発信元（返信不可）
　：題名（「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番 着信通知」のいずれか）

- 送達通知の発信元には「SMS Center」、音声電話の着信通知の発信元には「DoCoMo SMS」、テレビ電話の着信通知の発信元には「DoCoMo MSG」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSは送達通知の日時が表示されます。

おしらせ

- FOMAカード内のSMSから返信／転送、再送信などを行った場合、送信済みのSMSは、FOMA端末の「送信メール」に保存されます。

FOMA端末に移動／コピーする

・送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 1件移動／コピーするとき

1 ✉81▶2～3

2 **SMSを選びMenu3▶1／3**

■ 複数移動／コピー：Menu3▶2／4▶SMSを選び●▶📖

3 **●▶フォルダを選び●▶はい**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面からの操作：Menu▶移動／コピー▶本体へ移動／本体へコピー

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやｉモードメールがあっても上書きされません。不要なSMS、ｉモードメールを削除してください。

FOMAカード内のSMSを削除する

・送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

1 ✉81▶2～3

2 **SMSを選びMenu21**

■ 複数削除：Menu22▶SMSを選び●▶📖

■ 全件削除：Menu23▶端末暗証番号を入力

■ 送達通知の全件削除：Menu24▶端末暗証番号を入力

3 **はい**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面からの操作：Menu▶削除

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

- 最大保存件数☛P439
- 電波状況などによりダウンロードに失敗したｉアプリは保存されません。
- ダウンロードできるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。

1 サイトを表示▶ｉアプリを選び

選択したｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロードの中止：▶はい

■ **ソフト情報表示設定が「表示する」のとき：**
ｉアプリの情報画面で「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。
- ｉアプリの詳細情報の確認：

■ **登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、ICカードの製造番号、microSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき：**
確認画面で「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。
- ガイド行に「ガイド」と表示された場合、を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ **選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき：**
「ダウンロード済みです」と表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ **選択したｉアプリが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき：**
確認画面で「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 保存先を選び

ｉアプリを使用するかの確認画面が表示されます。

- ｉアプリによっては、待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定、位置情報（位置情報利用設定）、番組表キーの設定画面が表示されます。
  各設定項目については「動作条件を設定する」の操作2を参照してください。☛P212

3 はい／いいえ

- 設定画面で待受画面を「設定する」にした場合、確認画面で「はい」を選択すると、テロップ表示設定が「表示する」のときはテロップ表示が解除されます。
- 2in1がBモードのときにメール機能を利用するｉアプリをダウンロードし、設定画面が表示された場合はを押してください。

おしらせ

- ダウンロードを中止したり、通信が切断されたなどで部分保存したｉアプリの場合、ソフト一覧画面から再ダウンロードできます。「ｉアプリを起動する」の操作3☛P211
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したデータは元に戻りません。
- ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。この場合は、画面に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリによっては、削除対象として表示されないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数300件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください（フォルダを削除するとと対応するｉアプリも削除されます）。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。

おしらせ

- メール連動型ｉアプリを削除し、メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダのみが残っているときに、そのメールフォルダを利用するメール連動型 ｉ アプリを再度ダウンロードするには、確認画面で「はい」を選択してください。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型 ｉ アプリに対応したメールが保存されている場合、メールの自動振り分けができます。ただし、プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る
ソフト情報表示設定

1 Menu▶ｉアプリ▶2 3▶1～2

ｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

■ ICカードソフト（おサイフケータイ対応ｉアプリ）のみ表示：Menu▶おサイフケータイ▶1
ICカードソフト一覧画面が表示されます。操作3に進みます。

- GPS対応ｉアプリのみ表示☛P237「GPS対応ｉアプリを利用する」

2 フォルダを選び

ソフト一覧画面が表示されます。

- ：ｉアプリあり（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
- ：ｉアプリなし（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
- ：ｉアプリあり（作成したフォルダ）
- ：ｉアプリなし（作成したフォルダ）

3 ｉアプリを選び

- 「ｉモードで探す」を選択したときは☛P273
- を押すたびにグラフィカル表示とリスト表示、サムネイル表示が切り替わります。
- 起動するｉアプリの通信設定が「起動ごとに確認」の場合は、通信するかの確認画面が表示されます。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択した場合は、次のいずれかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
  - ・ソフトをダウンロードするかの確認画面
  - ・ソフトをダウンロードするためにサイトに接続するかの確認画面
- 部分保存したｉアプリを選択した場合、確認画面で「はい」を選択するとダウンロードできます。残りのデータをダウンロードすると起動できます。残りのデータをダウンロードできなかった場合は、部分保存したｉアプリが削除される場合があります。
- ｉアプリの音をFMトランスミッターで出力☛P331

ｉアプリを終了するには

ｉ アプリごとに設定されている方法で終了してください。

- を押し「はい」を選択しても終了できます。

ソフト一覧画面の見かた

（例）グラフィカル表示のとき

ソフト一覧画面

ICカードソフト一覧画面

- ：iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
- ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
- ：メール連動型ｉアプリ
- ：ｉアプリDX
- （オレンジ）：通常のｉアプリ
- ：ｉアプリ待受画面に設定中
- ：ｉアプリ待受画面に設定できる
- ：自動起動設定中
- （上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ※1
- ：IP（情報サービス提供者）による停止状態※1
- ：FOMAカード動作制限のため使用できない※1
- ：SSLページからダウンロードした
- ：2in1がBモードのため起動できない※1
- ：ワンタッチｉアプリ登録されている
- ～：ツータッチｉアプリ登録されている
- ：スピードメニュー ｉアプリ登録されている
- ：GPS対応ｉアプリ
- ：番組表キー設定中
- ：番組表キー設定ができる
- ：削除できない

※1：ICカードソフト一覧では、このマークのみ表示されます。

おしらせ

- 部分保存したｉアプリは、残りのデータのダウンロードや詳細情報の表示、削除、フォルダ移動のみできます。
- iC お引っこしサービスにより移し替えた IC カードデータは、対応するおサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードと削除のみできます。
- 電話がかかってきたり、アラームが鳴った場合などは、ｉアプリが中断される場合があります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  おサイフケータイ対応ｉアプリが中断されたときは、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
- プライバシーモード中は、利用できないｉアプリやｉアプリDXがあります。
- 圏外にいる場合や、登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、インターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、ｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信／iC通信機能を利用して取得した画像などです。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除および詳細情報の表示のみ行えます。再度、ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、（アイコン）が点滅します。この場合、通信料はかかりません。
- ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものもあります。microSDメモリーカードを利用するかは、詳細情報で確認できます。microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
- ダウンロードした直感ゲームを利用中は、インカメラを手などで覆わないでください。傾きなどを検知できない場合があります。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、ｉアプリ音量で設定できます。ただし、音の鳴らないｉアプリもあります。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリが保存されていないときは表示できません。
  - トレース情報の表示：Menu▶ｉアプリ▶3 4
  - トレース情報の削除：(m)▶はい

セキュリティエラー履歴を表示する

ｉアプリが登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときに、ｉアプリ名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。20件を超えると古い履歴から順に消去されます。

1 **Menu▶ｉアプリ▶3 3**

■ **履歴の削除：履歴表示画面で(m)▶はい**

詳細情報を表示する

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を確認します。

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選び(●)▶ｉアプリを選び(m)**

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で(m)を押すと、サイトの証明書を確認できます。

動作条件を設定する　動作設定

- 設定できる項目はｉアプリによって異なります。
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのときは「ｉアプリ待受画面」と「ｉアプリ待受画面通信設定」は設定できません。

1 **(i)（1秒以上）▶フォルダを選び(●)**

2 **ｉアプリを選びMenu 6▶各項目を設定▶(m)**

スピードセレクター：
ｉアプリ動作中のスピードセレクターの回転操作について設定。
上下…(上下)と同じ操作になります。
左右…(左右)と同じ操作になります。
- スピードセレクター設定のスピードセレクターが「OFF」の場合は、設定できません。

FMトランスミッター：
ｉアプリの音をFMトランスミッター出力するかを設定。
- FMトランスミッターについて☞P330

省電力設定：
ｉアプリ動作中、ディスプレイの表示が消えている場合に、ｉアプリを中断させるかを設定。

ｉアプリ待受画面：
待受画面に設定するかを設定。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：
ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかを設定。

通信設定：
　ｉアプリ動作中に自動的に通信するかを設定。
番組表キー設定※1：
　メニューやワンセグ視聴画面から番組表ｉアプリとして起動するかを設定。
　• 設定できるｉアプリは1件のみです。
アイコン情報：
　ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコン情報を利用するかを設定。
ブラウザからの起動：
　サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
トルカからの起動：
　トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
メールからの起動：
　メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
住所リンク機能での起動：
　サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
外部機器からの起動：
　外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
データ放送からの起動：
　データ放送、データ放送サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかを設定。
ソフトからの着信音／画像変更を※1：
　ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかを設定。
変更ごとに確認画面を※1：
　ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかを設定。
ソフトからの電話帳／履歴参照を※1：
　ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を参照することを許可するかを設定。
　• FOMA端末に保存したトルカも対象になります。
位置情報利用設定※1：
　GPS対応ｉアプリで位置情報を利用するかを設定。
※1：ｉアプリDXのみ設定できます。
• 「ｉアプリ待受画面」を「設定する」に変更した場合、確認画面で「はい」を選択すると、テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」のときはテロップ表示が解除されます。
• ダウンロードしたｉアプリの番組表キー設定を「設定しない」に変更すると、そのｉアプリは解除され、「Gガイド番組表リモコン」が番組表キー設定されます。

おしらせ
● スピードセレクターを「OFF」にしていても、スピードセレクターの回転操作が無効にならないｉアプリがあります。
● スピードセレクターを「上下」や「左右」にしていても、ｉアプリによっては動作が異なることや、スピードセレクターの回転操作ができないことがあります。
● 通信設定を「通信しない」にすると、ｉアプリが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
● アイコン情報を「利用する」にすると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」にすると、動作しないｉアプリがあります。
● ｉアプリ動作中にスピードセレクターを回転させたときの移動方向は、スピードセレクター設定の移動方向の設定に従います。ただし、ｉアプリによっては従わない場合もあります。

照明とバイブレータの動作を設定する
照明設定／バイブレータ設定

照明動作を設定する
• ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。
• 公共モード（ドライブモード）中は「ソフトに従う」にしてもｉアプリ動作中の照明は動作しません。

1 Menu ▶ ｉアプリ ▶ 2 4 ▶ 1～2
端末設定に従う…ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。
ソフトに従う…ｉアプリに従って照明が点灯します。

おしらせ
● ｉアプリによっては「端末設定に従う」にしても、端末設定に従わない場合があります。
● 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。☛P102

バイブレータを設定する
ｉアプリによるバイブレータの動作を許可します。
• 公共モード（ドライブモード）中は、本設定に関わらずｉアプリ動作中のバイブレータは動作しません。

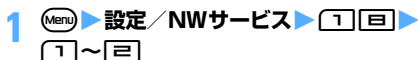
1 Menu ▶ ｉアプリ ▶ 2 5 ▶ 1～2

おしらせ
● 本機能での設定内容は、音／バイブのバイブレータ設定にも反映されます。☛P95

ｉアプリ動作中に音楽データを再生する

音楽再生音優先設定

ｉアプリ動作中にMusic&Videoチャネルの番組（動画番組を除く）やミュージックプレーヤーの曲をバックグラウンド再生できます。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶1 8▶1～2

ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は次のｉアプリが登録されています。

- ケータイ！日本語テスト 明鏡クイズ編
- 簡単！デコメっちゃ
- しゃべって翻訳 for D
- タマラン
- FMラジオMusicサーチ
- 体感！珍さんの釣り物語
- 地図アプリ
- FOMA通信環境確認アプリ
- Gガイド番組表リモコン
- iD 設定アプリ
- DCMXクレジットアプリ
- ｉアプリバンキング
- 楽オク出品アプリ2

一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。

- ｉアプリの名称は画面の表示と異なる場合があります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P304

ケータイ！日本語テスト 明鏡クイズ編

毎日ドリルで日本語に関する学習を行い、月に一度テストを受験します。
翌月にはテスト受験者の平均点や、全国での順位を知ることもできます。

- 初めて利用するときは、使用許諾契約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- ドリルやテストの問題は、毎月更新されます。ただし、動作設定の通信設定が「通信しない」の場合は、更新されません。また、全国での順位などを知ることができません。動作設定の通信設定を「通信する」にすることをおすすめします。
- メインメニューから、ヘルプの表示もできます。詳しい遊びかたはヘルプをご覧ください。

タマラン

FOMA端末を傾けて液体を転がし、ゴールまで運ぶ立体迷路ゲームです。

- FOMA端末を横にして操作します。
- メインメニューやゲーム中のサブメニューからハイスコアの表示、ヘルプの表示、オプションの設定もできます。オプションでは、キー操作で液体を転がす設定もできます。詳しい遊びかたはヘルプをご覧ください。

体感！珍さんの釣り物語

パンダの「珍さん」を操作して、魚を釣り上げるゲームです。

メっちゃ湖編では、１つの釣り場で釣れるすべての種類の魚を釣った後、たにむら釣具店に行って、イベントキャラクターの頼みごとを叶えると、次の釣り場へ進めます。すべての種類の魚を釣り、最後の課題を達成すると、地底湖編へ進めます。

- 釣り場や時間帯などによって釣れる魚や魚の釣りやすさが異なります。
- FOMA 端末を横にして操作します。タイトル画面でを押すと、上下が逆になります。説明文のは、FOMA 端末を横にしたときのスピードセレクターに対応しています。
- 釣り場や全体マップで を押すと、設定を確認／変更できます。全体マップでは、ステータスやアイテムも確認できます。

■ たにむら釣具店について

魚を釣ってたまったポイントで買い物をしたり、たにむらくんと話して釣りのヒントなどを聞けます。また、イベントキャラクターの頼みごとを聞いたり、ミニゲームやヘルプの参照などができます。

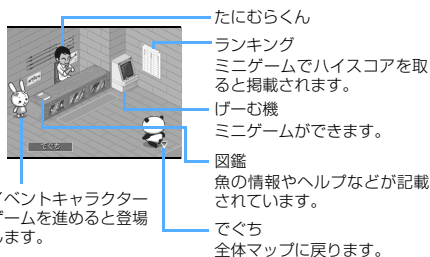
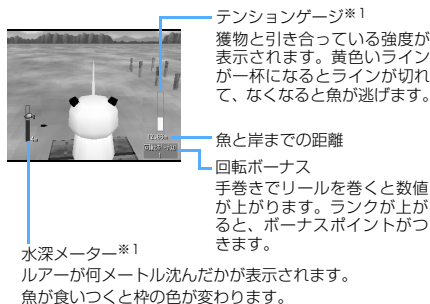
- またはスピードセレクターを回転させて珍さんの移動先を指定し、を押すと移動できます。

■ 釣りの基本操作

テンションゲージ※1
獲物と引き合っている強度が表示されます。黄色いラインが一杯になるとラインが切れて、なくなると魚が逃げます。

魚と岸までの距離

回転ボーナス
手巻きでリールを巻くと数値が上がります。ランクが上がると、ボーナスポイントがつきます。

水深メーター※1
ルアーが何メートル沈んだかが表示されます。
魚が食いつくと枠の色が変わります。

※１：水深メーターとテンションゲージ・回転ボーナスは同時には表示されません

①キャストする

でキャスティングポイントを選びます。釣竿を振るようにFOMA端末を手前から奥に振るか、を押してルアーを湖に向かって投げ落とします。

②ルアーを操りアタリを待つ

ルアーが湖底まで沈んだら、スピードセレクターを回転させるか（手巻き）、を1秒以上押して（電動リール）リールを巻きます。ルアーの位置は水深メータで確認します。

③アタリが来たらアワセる

獲物がルアーに食いつくと振動や「！」の表示などでわかるので、すばやく FOMA 端末を上下に振るか、を押します。うまくいけば針が獲物にかかります。

④バトル

スピードセレクターを回転させて釣り糸のテンションをゲージ内のなるべく高い位置に保ちます。

⑤釣り上げ

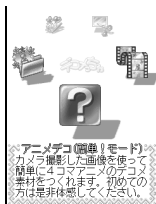
リールを巻き上げて糸の長さが短くなると画面上に上下左右のいずれかの方向が指示されます。正しい方向に FOMA 端末を振るか、正しいキー（のいずれか）を押すと獲物を釣り上げられます。

警告

このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

簡単！デコメっちゃ

カメラで撮影した画像から、人の顔やロゴなどを抽出し、簡単にデコメピクチャとして保存できます。抽出した画像の修正もできます。
最大4コマまでのアニメーションデコメを作成したり、カメラ撮影を行わず、一からデコメ絵文字を作成する事もできます。

- トップメニューから、ヘルプの表示もできます。詳しい操作方法はヘルプをご覧ください。

しゃべって翻訳 for D

音声入力による翻訳アプリです。主に旅行で使われる文章を日本語から英語、英語から日本語に翻訳できます。

- ご利用になるには、ご利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 初回利用時から60日間は、空港施設、レストランで使われる文章に加え、旅行で使われると考えられるさまざまな文章に対応しています。初回利用時から60日を過ぎると空港施設、レストランでの文章のみに対応します。
- タイトル画面から、プロフィールの編集や履歴の表示、メニュー画面の表示もできます。各画面で[#]を押してもメニュー画面を表示できます。メニュー画面では、サウンドの設定や会話したい相手に見せる依頼画面の表示などができます。また、各画面で[✉]を押すとヘルプが表示されます。詳しい操作方法はヘルプをご覧ください。

FMラジオMusicサーチ

FMラジオを聴くアプリです。詳しくは☛P331

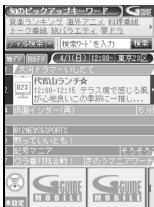
地図アプリ

GPS機能を利用するアプリです。詳しくは☛P238

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかを確認するアプリです。

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

Gガイド番組表リモコン

・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくは BS デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動できます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組を DVD ハードディスクレコーダーに録画予約できます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- メール連携アプリのため、2in1がBモードのときは利用できません。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- リモコン操作について☛P308

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約ができます。

■ 視聴予約の方法

視聴予約したい番組を選び、メニューの「視聴予約」を選択します。「予約実行」を選択し、画面に従って視聴予約を行ってください。

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約ができます。

■ 録画予約の方法

録画予約したい番組を選び、メニューの「#ワンセグ録画予約」を選択します。「予約実行」を選択し、画面に従って録画予約を行ってください。

- 録画予約したい番組を選び [#] を押しても操作できます。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約ができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

■ 初期設定方法

①DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続を設定

- ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

②本アプリを起動し、メニューのリモート録画予約

- ガイダンスが表示されます。ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

■ 番組予約の方法

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューの「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定した DVD ハードディスクレコーダーと接続し、録画予約ができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリ

iD 設定アプリ

・画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iD に対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iD アプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  iMenu →メニュー／検索→「iD」

サイト接続用QRコード

DCMXクレジットアプリ

・画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD」に対応した、エヌ･ティ･ティ･ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

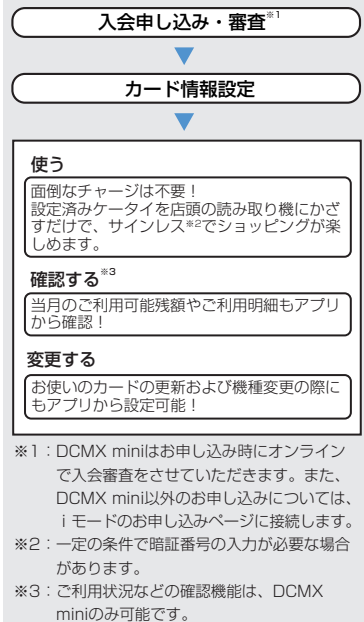
■ アプリの機能

入会申し込み・審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！
設定済みケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する※3
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1：DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2：一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3：ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については DCMX のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  iMenu→DCMX iD

サイト接続用QRコード

おしらせ

● 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
● 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

IC カードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリバンキング

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

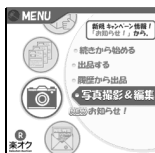
モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：

  iMenu→メニュー／検索→モバイルバンキング→ｉアプリバンキング

サイト接続用QRコード

楽オク出品アプリ2

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。
ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品できます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  iMenu→楽オク-オークション-

サイト接続用QRコード

ワンタッチでｉアプリを起動する
ワンタッチｉアプリ

ワンタッチ登録をする

- 登録できるｉアプリは1件です。お買い上げ時はｉアプリ「ケータイ！日本語テスト 明鏡クイズ編」が登録されています。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選び**

2 **ｉアプリを選び Menu 8 1**
- 解除するには、同様の操作を行います。

ワンタッチでｉアプリを起動する

1 **（1秒以上）**

ツータッチでｉアプリを起動する
ツータッチｉアプリ

ツータッチ登録をする

- 登録できるｉアプリは最大10件です。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選び**

2 **ｉアプリを選び Menu 8 2**
- 解除するには、同様の操作を行います。

3 **登録先を選び**
- アイコンの番号（0～9）が、起動時に押す 0 ～ 9 に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると確認画面が表示されます。

ツータッチでｉアプリを起動する

1 **0 ～ 9 ▶ （1秒以上）**

ツータッチｉアプリの一覧を表示する

1 **Menu ▶ｉアプリ▶ 2 6**
- 起動：ｉアプリを選び
- 詳細情報の表示：ｉアプリを選び
- 登録の解除：ｉアプリを選び Menu 2 ▶はい

ｉアプリを自動起動する

自動起動を設定する　自動起動設定

1 Menu▶ｉアプリ▶2 2▶1～2

自動起動日時を設定する　自動起動情報登録

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。
- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」のときは、自動起動情報を登録できません。

1 （1秒以上）▶フォルダを選び

2 ｉアプリを選びMenu 5▶各項目を設定▶

ユーザ設定：
自動起動する条件を設定するかを選択。
時刻：
自動起動する時刻を入力。
繰り返し：
自動起動を繰り返し行うときの条件を設定。
毎週：
繰り返しが「毎週」のとき、自動起動する曜日を設定。
日付：
繰り返しが「1回のみ」のとき、自動起動する日付を設定。
ソフト設定：
ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかを設定。
ｉアプリ設定1～4：
ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4つ設定でき、それらの設定を有効にするかを設定。

おしらせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面に が表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - バックグラウンド録画中
  - FOMAカード動作制限中（プリインストールｉアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」の場合）
  - 2in1がBモードのとき（メール機能を利用するｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 繰り返しの設定が異なる複数のｉアプリを同時刻に自動起動するようにしている場合、起動するｉアプリは1つだけです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

自動起動失敗履歴を表示する

ｉアプリの自動起動に失敗したときは、待受画面に が表示され、ｉアプリ名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 最大20件記録されます。20件を超えると古い履歴から順に消去されます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 Menu▶ｉアプリ▶3 1
■ **履歴の削除：履歴表示画面で ▶はい**

サイトやメールなどからｉアプリを起動する　ｉアプリTo

1 サイトやメールなどからｉアプリを起動できるリンク項目を選び ▶はい

おしらせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていないと、起動できません。ただし、ｉアプリによっては保存されていなくても、サイトからダウンロード後、すぐに起動するものがあります。
- ｉアプリToで起動しないように設定している場合は、ｉアプリを起動できません。☛P212

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。

- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に または が表示されます。
- あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。☛P99

おしらせ

- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」の場合）、おまかせロック中、2in1がデュアルモードやBモードのときは、ｉアプリ待受画面が一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
- エラーが発生し、ｉアプリ待受画面を解除するかの確認画面が表示された場合、「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。
- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。
- ｉアプリ待受画面を設定中に、手動でFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかの確認画面が表示されます。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面でクリア

ディスプレイ上部の または が点滅します。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に ▶終了する

ｉアプリ待受画面に戻ります。

- 操作方法は、ｉアプリによって異なります。
- 解除：解除する

おしらせ

- ソフト一覧からの操作：ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリを選びMenu▶ｉアプリ待受画面▶解除する

異常終了履歴を表示する

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 最大20件記録されます。20件を超えると古い履歴から順に消去されます。

1 Menu▶ｉアプリ▶3 2

■ **履歴の削除：履歴表示画面で ▶はい**

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする

1 （1秒以上）▶フォルダを選び

2 ｉアプリを選びMenu 4▶はい

おしらせ

- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去されることがあります。
- ｉアプリによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかを問い合わせる場合があります。
- 自動的にバージョンアップするｉアプリもあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成する

- 「マイフォルダ」を含めて最大20個作成できます。

1 （1秒以上）

2 Menu 4

■ **フォルダ名の変更：フォルダを選びMenu 1**

■ **フォルダの並び順の変更：フォルダを選びMenu ▶5～6**

3 フォルダ名を入力（全角8／半角16文字まで）▶

フォルダを削除する

- 「マイフォルダ」や「FMラジオMusicサーチ」が含まれているフォルダは削除できません。
- 注意事項などについては「ｉアプリを削除する」をご覧ください。☛P222

1 **(1秒以上)▶フォルダを選びMenu 2 1**
- フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

2 **はい**
- フォルダ内に次のｉアプリが含まれている場合、確認画面が表示されます。以降の操作は「ｉアプリを削除する」の操作3と同様です。☛P222
  - ・メール連動型ｉアプリ
  - ・ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリ
  - ・microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリ
  - ・番組表キー設定しているｉアプリ

ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 **(1秒以上)▶フォルダを選び**

2 **ｉアプリを選びMenu 3 1**

■ **複数移動：Menu 3 2▶ｉアプリを選び▶**

■ **フォルダ内のすべてのｉアプリの移動：Menu 3 3**

3 **移動先のフォルダを選び▶はい**

ｉアプリを削除する

- ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。また、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
- iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータによっては、ソフトをダウンロードして、ICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- 「FMラジオMusicサーチ」は削除できません。

1 **(1秒以上)▶フォルダを選び**

2 **ｉアプリを選びMenu 2 1**

■ **複数削除：Menu 2 2▶ｉアプリを選び▶**

■ **フォルダ内のｉアプリをまとめて削除：Menu 2 3▶端末暗証番号を入力**

3 **はい**
- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、IC カード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかの確認画面が表示されます。
- microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除する場合は、microSD メモリーカード内のデータも削除するかの確認画面が表示されることがあります。
- 番組表キー設定しているダウンロードしたｉアプリを削除すると、「Gガイド番組表リモコン」が番組表キー設定されます。

おしらせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをまとめて削除：フォルダを選びMENU▶削除▶ソフト削除
- 削除対象のメール連動型 ｉ アプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉ アプリを削除できないことがあります。
- ｉ アプリのみ削除し、メール連動型 ｉ アプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P185

ｉアプリを並べ替える　ソフトの並べ替え

1 MENU▶ｉアプリ▶2 1

2 1～5

- 「使用日時順」および「ダウンロード日時順」では、日付時刻設定で設定されている日時順に並び替わります。
- 「名前順」の場合、ｉ アプリ名に全角／半角の文字や英字が混在していると、50音順と一致しないことがあります。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。使用回数は ｉ アプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「ソフトのサイズ順」の場合、ｉ アプリのソフトサイズとデータ記録領域の合計で比較されます。

おしらせ

- ソフト一覧からの操作：MENU▶ソート

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する　フォルダ内ソフト件数

1 ◎（1秒以上）▶フォルダを選び ☐

- マークの意味☛P211

ｉアプリの設定状況を確認する　ソフト情報表示

- 次のことが確認できます。
  - ・ソフト保存件数
  - ・ｉアプリ待受画面、ワンタッチｉアプリ、スピードメニュー、番組表キー設定、自動起動に設定しているｉアプリ名と保存先のフォルダ名、自動起動の次回起動日時

1 ◎（1秒以上）▶☒

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する　microSD保存データ

- データの内容は表示できません。

1 MENU▶LifeKit▶3 5

ｉ アプリが microSD メモリーカードに保存したデータのフォルダ一覧が表示されます。

■ **フォルダの情報の確認：フォルダを選び◉**

- フォルダの利用可／不可や、利用するｉアプリ名、利用不可の場合の理由などを表示できます。フォルダによっては表示されない項目があります。

■ **フォルダの削除：**

①**フォルダを選び**MENU 1

- 複数削除：MENU 2▶フォルダを選び◉▶☐
- 全件削除：MENU 3▶端末暗証番号を入力

②**はい**

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応した ｉ アプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

カメラ機能を利用する

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

おしらせ

- 撮影した画像または動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- ｉ アプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャの「ｉ モード」フォルダ、「デコメピクチャ」フォルダ、追加したアルバム、または ｉ アプリ内に保存されます。また撮影した動画は ｉ モーションの「ｉ モード」フォルダ、追加したアルバム、または ｉ アプリに保存されます。

バーコードリーダーを利用する

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータは ｉ アプリで利用･保存されます。

赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

- 赤外線通信によって ｉ アプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモードFeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります（詳細は、IP（情報サービス提供者）にご確認ください）。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりできませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やiCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失・変化その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックでICカード機能を制限できます。☛P116、P232

おサイフケータイの利用方法

ステップ1：おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード☛P210

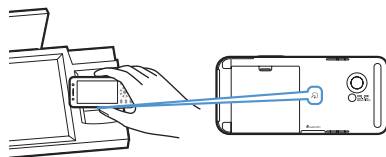
お買い上げ時にはおサイフケータイ対応ｉアプリとして「iD設定アプリ」、「DCMXクレジットアプリ」が登録されています。
また、Menu▶おサイフケータイ▶6▶はいを押すと、ダウンロードするサイトに接続できます。

ステップ2：おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う☛P227

おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認できます。

ステップ3：FeliCaマークを読み取り機にかざす

- イルミネーション設定のICカードアクセスのイルミネーションが「ON」の場合は、ICカードの読み書きが可能な状態になると、イルミネーションカラーの設定に従って決定キーの照明が点滅します。

FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

おしらせ

- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- 通話中やｉモード中でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、ｉモード中はおサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源を切った状態でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できるようにするには、電源OFF時ICロック設定を「直前のロック状態を継続」にし、ICカードロックを設定していない状態で電源を切ってください。
- 電池パックを装着していない場合は、ICカード機能を利用できません。また、長期間使用していなかった電池パックを装着した場合や電池パックを装着していても、電池アラーム音が鳴った後で充電しなかった場合は、利用できない場合があります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得できません。
- おまかせロックを設定すると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたとき、ｉアプリが起動することがあります。ただし、起動対象のｉアプリがあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリToで起動しないように設定されている場合は、起動しません。

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。

iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。

詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※１：iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、ICアプリのダウンロード・各種設定にはパケット通信料がかかります。

※２：おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。

※３：iCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがiCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能をご利用できません。別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能はご利用できません。

1 **Menu▶おサイフケータイ▶1**

- 以降の操作は「ｉアプリを起動する」の操作3と同じです。☞P211

おしらせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしてもICカードを利用できないことがあります。
- テレビ電話通話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリの一部の操作ができないことがあります。
- 圏外で通信できない場合や、登録データが使用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。

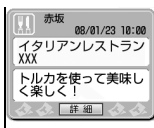
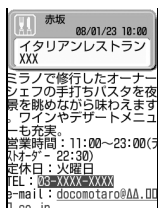
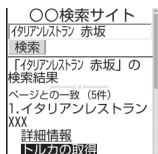
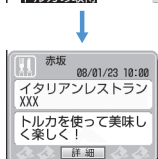
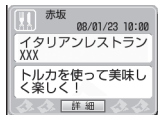
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

取得したトルカは「おサイフケータイ」メニューのトルカに保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得します。

トルカ一覧から取得したトルカを選択します。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカの取得手段

ｉモード端末どうしでトルカを交換

おしらせ

- ｉモード通信でトルカをやりとりする場合は、パケット通信料がかかります。

トルカを取得する

- 最大保存件数☛P439
- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- トルカは「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、読み取り機から取得した場合に、トルカ振り分け設定で設定した条件と合致したときは、指定フォルダに保存されます。

おしらせ

- 次の方法でもトルカを取得できます。
  - サイトからのダウンロード☛P159
  - 受信メールやメッセージR/F※1☛P181、P200
  - ｉアプリ※1
  - バーコードリーダー※1☛P148
  - 赤外線通信☛P307
  - iC通信☛P310
  - microSDメモリーカード☛P293

  ※１：既読の状態で保存されます。

読み取り機から取得する

- トルカ取得設定のトルカ取得設定を「ON」にする必要があります。
- ICカードロック中は取得できません。

1 FeliCaマークを読み取り機にかざす

トルカ取得音が鳴り、決定キーの照明が点滅します。

■ **詳細をダウンロードするかの確認画面が表示されたとき：はい／いいえ**

はい…ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を保存します。

■ **自動読取機能を利用するかの確認画面が表示されたとき：はい／いいえ**

- 自動読取機能を利用する：はい▶Ⓔ1
- あらかじめ自動読取機能を設定するには☛P232

■ **トルカ取得設定の自動表示設定を「ON」にしているとき：**

待受画面表示中の場合のみ、取得したトルカが表示されます。何も操作しないと約15秒間表示されます。

おしらせ

- トルカ取得設定の重複チェック設定を「ON」にしている場合、既に取得済みのトルカは取得できません。
- 自動読取機能を利用しない場合はトルカを利用できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、メッセージに従って不要なトルカを削除してください。
- トルカ取得設定の自動表示設定を「ON」にして、読み取り機から取得した場合、[終話] または [クリア] を押して終了すると、未読となります。

トルカを表示する

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは、詳細画面を表示できません。

1 **[Menu] ▶ おサイフケータイ ▶ [3] ▶ フォルダを選び [●]**

- microSD メモリーカードのフォルダー一覧に切り替える：フォルダー一覧で [SD]
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☞P294

■ **トルカをメールに添付して送信：トルカ一覧でトルカを選び [✉]**

- トルカ（詳細）によっては、確認画面が表示されます。詳細を含めて送信するときは「はい（詳細あり）」、詳細取得前の状態で送信するには「はい（詳細なし）」を選択します。
- トルカ（詳細）によっては、詳細が含まれない旨の確認画面が表示されます。
- トルカによっては送信できない場合があります。☞P174

2 **トルカを選び [●]**

■ **トルカ（詳細）の取得：トルカの詳細表示画面で「詳細」▶ はい**

ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を保存します。

■ **トルカ（詳細）の更新：トルカ（詳細）の詳細表示画面で [Menu] [1] ▶ はい**

ｉモードに接続し、トルカ（詳細）を更新して保存します。

おしらせ

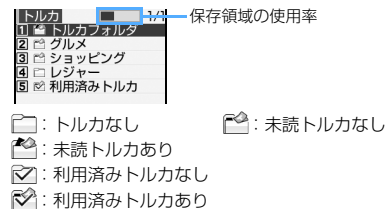
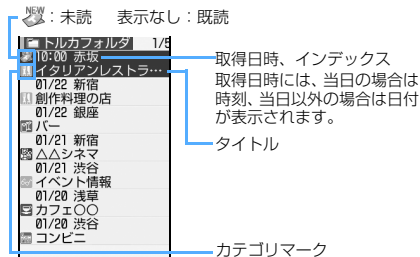
- 詳細表示画面でトルカをメールに添付して送信：[Menu] [2]
- トルカによっては、更新や移動／コピーができなかったり、メールの送付や赤外線などでやりとりができないことがあります。
- トルカに有効期限が設定されている場合、有効期限が過ぎると、トルカ一覧画面のトルカの背景色が異なる色で表示されます。
- トルカ一覧画面や詳細表示画面に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります。ただし、検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはメールに添付されたトルカ（詳細）を受信できない場合があります。
- 2in1がBモードのときは、メールに関する操作はできません。
- 表示中の本文に電話番号・メールアドレス・URLを含む場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。
- 表示中の本文に含まれている位置情報を利用できます。☞P246
- 詳細表示画面で、電話番号、メールアドレスを選び [Menu] [4] [1] を押すと電話帳に新規登録、[Menu] [4] [2] を押すと電話帳に更新登録できます。また、URLを選び [Menu] [4] [3] を押すとブックマークに登録できます。[Menu] [4] [4] を押し、画像を選択すると画像を保存できます。[Menu] [4] [5] を押すと背景画像を保存できます。
- 詳細表示画面でアニメーションを再度動作させるときは、[Menu] [7] を押します。

一覧画面の見かた

フォルダー一覧画面の見かた

トルカ　1/1
1 トルカフォルダ
2 グルメ
3 ショッピング
4 レジャー
5 利用済みトルカ

保存領域の使用率

- [フォルダ]：トルカなし
- [フォルダ]：未読トルカなし
- [フォルダ]：未読トルカあり
- [フォルダ]：利用済みトルカなし
- [フォルダ]：利用済みトルカあり

トルカ一覧画面の見かた

フォルダを作成／削除する

- 「トルカフォルダ」、「利用済みトルカ」フォルダのフォルダ名や並び順の変更、削除はできません。

フォルダを作成する

- フォルダは「トルカフォルダ」、「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶[Menu][2]**

■ **フォルダ名の変更：フォルダ一覧でフォルダを選び[Menu][4]**

■ **フォルダの並び順の変更：フォルダ一覧でフォルダを選び[Menu]▶[8]～[9]**

2 **フォルダ名を入力（全角8／半角16文字まで）▶[m]**

フォルダを削除する

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶フォルダを選び[Menu][3]▶端末暗証番号を入力▶はい**

トルカをフォルダに移動／コピーする

- 「利用済みトルカ」フォルダには移動／コピーできません。

例　1件移動するとき

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶フォルダを選び[●]**

2 **トルカを選び[Menu][4][1][1]**

■ **複数移動：[Menu][4][1][2]▶トルカを選び[●]▶[m]**

■ **フォルダ内のすべてのトルカを移動：[Menu][4][1][3]**

■ **他のフォルダに1件コピー：トルカを選び[Menu][4][2][1]**

■ **他のフォルダに複数コピー：[Menu][4][2][2]▶トルカを選び[●]▶[m]**

■ **他のフォルダにすべてコピー：[Menu][4][2][3]**

3 **移動／コピー先フォルダを選び[●]▶はい**

おしらせ

● 詳細表示画面からの操作：[Menu][3]▶[1]～[4]

トルカの保存内容を確認する

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶[Menu][5]**

FOMA 端末に保存されているトルカの件数や全容量に対する使用領域の割合などが表示されます。

- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは含まれません。

■ **フォルダ内の件数の確認：フォルダ一覧でフォルダを選び[●]▶[Menu][5][1]**

トルカを検索する

- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは検索できません。

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶[Menu][1]**

- フォルダ内を検索：フォルダ一覧でフォルダを選び[●]▶[Menu][2]

2 **検索条件欄▶[1]～[3]▶[m]**

ジャンル…ジャンル欄で表示されるジャンルを選択します。

タイトル／インデックス…検索文字列欄にタイトルまたはインデックスを入力します（タイトルの場合は全角10／半角21文字まで。インデックスの場合は全角7／半角15文字まで）。文字列の一部を入力しても検索できます。全角と半角は区別して検索できますが、英字の大文字と小文字は区別されません。

トルカを並べ替える　ソート

トルカ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると「日付順」に戻ります。

- 日付順、ジャンル順、タイトル順、インデックス順、かな順が選択できます。

1 **[Menu]▶おサイフケータイ▶[3]▶フォルダを選び[●]▶[Menu][5][2]▶[1]～[5]**

おしらせ

● タイトル順、インデックス順の場合、タイトルやインデックスに全角／半角の文字が混在していると、50音順にならない場合があります。

● 「かな順」の場合、トルカ内に保持しているID順に並びます（IDは表示できません）。

トルカを削除する

1 **Menu ▶ おサイフケータイ ▶ 3 ▶ フォルダを選び ●**

2 **トルカを選び Menu 3 1**

- ■ 複数削除：Menu 3 2 ▶ トルカを選び ● ▶ [m]
- ■ フォルダ内のトルカの全件削除：Menu 3 3 ▶ 端末暗証番号を入力
- ■「利用済みトルカ」フォルダのトルカの削除：トルカを選び ●

3 **はい**

おしらせ

● 詳細表示画面からの操作：Menu 8

トルカについて設定する

トルカの取得について設定する　トルカ取得設定

読み取り機からトルカを取得するかや取得したときの動作を設定します。

1 **Menu ▶ おサイフケータイ ▶ 5 2**

2 **各項目を設定 ▶ [m]**

トルカ取得設定：
トルカを取得するかを設定。

重複チェック設定：
取得済みの確認をするかを設定。
ON…取得済みのトルカは取得できません。

自動振り分け設定：
自動的にフォルダに振り分けるかを設定。
「ON」にしても、トルカ振り分け設定で振り分け条件を設定していないと振り分けられません。

自動表示設定：
自動的に表示するかを設定。

おしらせ

●「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカや有効期限が切れたトルカは、重複チェックの対象外となります。

自動的にフォルダに振り分ける　トルカ振り分け設定

読み取り機から取得したトルカの振り分け条件を設定します。

- 振り分け条件は20件登録できます。
- 本設定を有効にするには、トルカ取得設定の自動振り分け設定を「ON」にする必要があります。
- 条件設定後に取得したトルカに対して有効です。取得済みのトルカは振り分けられません。
- 「利用済みトルカ」フォルダには振り分けられません。

振り分け条件を設定する

1 **Menu ▶ おサイフケータイ ▶ 5 4**

トルカ振り分け一覧 1/1
01 グルメ
02 ショッピング
03 条件なし

登録済みの振り分け条件（優先順位順に表示）

❶ GENRE：ジャンル　TITLE：タイトル　INDEX：インデックス　□：条件なし

2 **[m]**

3 **振り分け条件欄 ▶ 1～4**

ジャンル…ジャンル欄で表示されるジャンルを選択します。
タイトル／インデックス…振り分け条件文字列欄にタイトルまたはインデックスを入力します（タイトルの場合は全角10／半角21文字まで。インデックスの場合は全角7／半角15文字まで）。文字列の一部を入力しても振り分けられます。
条件なし…条件を設定せずにすべてのトルカを振り分けます。

4 **振り分け先フォルダ欄 ▶ 振り分け先フォルダを選び ●**

5 (📖)▶**優先順位を指定**

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目を登録：[最後に追加する]
- 最後に追加する：[最後に追加する]

おしらせ

● 条件は優先順位に従って判定されます。条件に合わなかったときは「トルカフォルダ」に保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

例 振り分け条件を確認するとき

1 (Menu)▶**おサイフケータイ**▶5 4

2 **振り分け条件を選び**(●)

- 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ **条件の変更：振り分け条件を選び**(Menu) 2▶**振り分け条件を指定**

- 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作3以降と同じです。☛P231

■ **優先順位の変更：振り分け条件を選び**(Menu) 5▶**位置を選び**(●)

- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、[最後に移動する] を選択します。

■ **条件の削除：振り分け条件を選び**(Menu) 3▶**はい**

- 条件をすべて削除：(Menu) 4▶ 端末暗証番号を入力▶はい

自動読取機能を設定する　自動読取機能設定

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動読み取りさせるかを設定します。

- 「ON」にすると、利用可能なトルカが自動的に認識され「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダには、最大20件保存されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 (Menu)▶**おサイフケータイ**▶5 3▶1～2

おしらせ

● 「OFF」にした場合、読み取り機にかざすと、自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示されることがあります。トルカを利用する場合「はい」や「OK」を選択してから本機能を「ON」にしてください。

ICカード機能をロックする　ICカードロック

ICカードロックを設定すると、FeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用したり、トルカを取得できなくなります。また、おサイフケータイ対応 i アプリのダウンロードや使用ができなくなります。iC 通信もできません。

- オールロック中は本機能を設定できません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。

1 (⊙)**（1秒以上）**▶**はい**

ICカードロックが設定され、待受画面に🔒が表示されます。

解除する

- ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」にし、認証用の音声キーワードを登録している場合は、ICカードロックの解除にボイス認証が必要になります。
- ボイス認証を行う場合には、次の点にご注意ください。
  - ・録音時と同じ持ちかた（通話するときと同じように顔の横で持つ、または顔の正面で約5cm離して持つ）でお話しください。
  - ・周囲が騒がしい場所などでは音声が認証されにくくなります。
  - ・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを使用すると音声が認証されにくくなります。

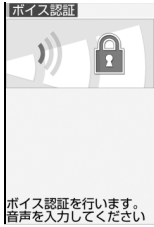
1 (⊙)**（1秒以上）**

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- ICカードロック設定の解除方法を「暗証番号」にしている場合は、操作3に進みます。

2 5秒以内に認証用のキーワードを話す

認証されると、端末暗証番号入力画面が表示されます。

• 認証を途中で中止する：●

• IC カードロック設定で登録したキーワードを話してください。

• 周囲に騒音があるときは「もう一度静かな場所で音声を入力してください」と表示されます。●を押して再度キーワードを話してください。
• 正しく認証されなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。●を押して再度キーワードを話してください。
• TV/📷を1秒以上押すと、ボイス認証操作をしなくても端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力

おしらせ

● ショートカット操作でも設定／解除できます。
Menu▶おサイフケータイ▶4 1または Menu▶設定／NWサービス▶4 1 3 1▶端末暗証番号を入力▶1～2
• ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」にしている場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要です。

● 登録する言葉や、音声を登録する際の環境によっては、周囲の音や似ている言葉に反応して認証されることがあります。特に短い言葉を登録した場合や、周囲が騒がしい場所で登録した場合に起こりやすくなります。

● ボイス認証に5回連続して失敗すると、ボイス認証が中止されます。

● ICカードロック中に電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れても、ロックは解除されません。

音声と端末暗証番号でロックを解除する
ICカードロック設定

IC カードロックの解除時に必要な認証操作を設定します。
• 約0.5～2秒の音声を1件だけ登録できます。
• 録音する場合には、次の点にご注意ください。
・周囲の騒音の少ない、できるだけ静かな場所で行ってください。
・5～10音節程度の言葉を登録することをおすすめします。また、普段使い慣れない言葉は発音が一定しないことがありますので、なるべくお避けください。
・次のいずれかの持ちかたで約5cm離してお話しください。通話するときと同じように顔の横で持ってお話すると認証精度が高くなります。
・通話するときと同じように、FOMA 端末を開き、顔の横で持つ
・顔の正面で持つ
・できるだけはっきりとお話しください。小声や大声では登録しないでください。
・送話口を指でふさがないようご注意ください。
・「シャ」「シュ」「ショ」や「サ」行の音が多い単語を登録した場合は、他人の声で認証されることがあります。ご注意ください。
・次のような単語を登録した場合は、認証されにくくなることがあります。
・長音（ー）が多い単語（「セーター」など）
・促音（っ）が多い単語（「とっちゃって」など）
・咳払いや「えー」、舌打音など、音声データと無関係な音を出さないでください。また、送話口に息を吹きかけないようにお話しください。
・音声の途中に無音部分ができないようにお話しください。あまりゆっくり話すと無音部分とみなされ正しく登録できない場合があります。

1 Menu▶おサイフケータイ▶4 4▶端末暗証番号を入力

2 解除方法欄▶2

• 端末暗証番号入力のみの認証操作にする：1▶操作6

3 音声データ欄の「録音」▶●

• 既に音声データを登録している場合は「録音」を選択した後に、確認画面が表示されます。

4 ●

約2秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。
• 周囲に騒音があるときは「もう一度静かな場所で録音してください」と表示されます。●を押して再度操作してください。

5 5秒以内にキーワードを話す▶●▶5秒以内にもう一度同じキーワードを話す

• キーワードは2回録音します。1回目と2回目が一致した場合に登録されます。
• 録音を途中で中止する：●
• 次の場合には、確認画面が表示されます。●を押し、声の大きさやキーワードを変更して再度操作4から操作してください。
・声が小さい場合
・キーワードが短い／長い場合
・音節数が少ない場合
・周囲に騒音がある場合
・1回目と2回目のキーワードが一致しなかった場合

6 ⓜ

おしらせ

- 人の声は年齢などによって変わる場合があるため、長期間使用していると、登録した音声データと一致しにくくなることがあります。その場合は、音声データを登録し直してください。
- ボイス認証は完全な本人認証を保証するものではありません。本製品を第三者に使用されたこと、または音声の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動的にICカードロックを設定する

ICカードオートロック設定

設定時間（1～90分）が経過すると自動的にICカードロックがかかるようにできます。

1 Menu▶**おサイフケータイ**▶4 2

2 **オートロック欄**▶1

解除する：オートロック欄▶2▶操作4

3 **ロックまでの時間欄**▶1～7

4 ⓜ

おしらせ

- 「ON」にしていても、iアプリ起動中はオートロックされません。iアプリ終了後に設定されます。
- 「ON」にしているときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れた場合は、指定した時間にならなくてもICカードロックが設定されます。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応iアプリを削除できない場合があります。

電源OFF時にICカード機能をロックする

電源OFF時ICロック設定

1 Menu▶ **おサイフケータイ** ▶4 3▶ **端末暗証番号を入力**▶1～2

GPS 機能

GPS機能のご利用について

■ 測位について

• GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
• GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  ・建物の中や直下
  ・地下やトンネル、地中、水中
  ・かばんや箱の中
  ・ビル街や住宅密集地
  ・密集した樹木の中や下
  ・高圧線の近く
  ・自動車、電車などの車内
  ・大雨、雪などの悪天候
  ・携帯電話の周囲に障害物（人や物）があるとき
  ・携帯電話の画面、キー、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っているとき
  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
• GPSの人工衛星は常に移動しているため、同じ使用環境であっても日時が異なれば、電波の受信状態が異なり、位置情報に大きな誤差を生じたり、測位できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 他の機能利用中やロック中の利用について

• 以下の場合はGPS機能（現在地確認、位置提供、現在地通知）は利用できません。
  ・オールロック中※1
  ・おまかせロック中※1
  ・パーソナルデータロック中※1
  ・セルフモード中
  ・赤外線通信／iC通信中
  ・他の機能による測位中
  ・FOMAカードを挿入していないとき
  ・FOMAカードがロックされているとき
  ・ソフトウェア更新中
  ・パターンデータ更新中
  ※1：位置提供の要求を受けたときは、操作および位置情報の送信が可能です。
• iアプリの通信中は、位置提供は行われません。
• お預かりセンターに接続中は現在地確認、現在地通知は行えません。

■ その他

• FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
• FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
• FOMA端末は、高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

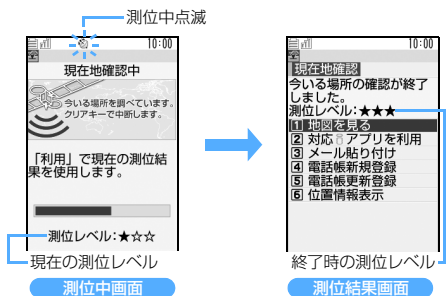
● FOMA端末が圏外のときは（または海外では）、現在地測位（確認）を除き、GPS機能をご利用いただけません。

自分のいる場所を確認する　現在地確認

GPS機能を使用して現在いる場所を測位し、地図を表示したり、GPS対応iアプリを起動できます。測位した位置情報をiモードメールで送ったり、電話帳に付加することもできます。

• 現在地確認はFOMA端末が圏外（または海外）でも利用できる場合がありますが、時間がかかったり、周囲の状況によっては測位できないことがあります。
• テレビ電話中、プッシュトーク通信中は「地図を見る」「対応iアプリを利用」「メール貼り付け」は利用できません。
• 圏外では「地図を見る」は利用できません。
• 海外でもローミング対応している国では「地図を見る」を選択すると地図サイトに接続しますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。
• 現在地確認した際のパケット通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 Menu ▶LifeKit▶ 7 1

測位が開始されます。

• 測位レベルの意味は以下のとおりです。
★★★：ほぼ正確な位置情報です（誤差がおおむね50m未満）
★★☆：比較的正確な位置情報です（誤差がおおむね300m未満）
★☆☆：おおよその位置情報です（誤差がおおむね300m以上）
測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。
• 測位を途中で打ち切って測位結果画面を表示：測位中画面のガイド行に「利用」が表示されているときに(m)
• 測位の中止：測位中画面で(クリア)
• 完了後に測位し直す（リトライ）：測位結果画面で(m)

2 機能を選択

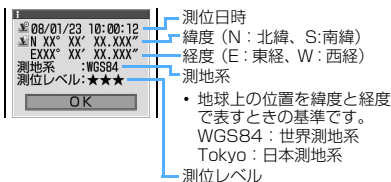
■ **地図を見る：1▶●**
iモードに接続され、地図が表示されます。地図表示後にiエリアを使って周辺情報を調べることができます。iエリアについての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

■ **GPS対応 iアプリの起動：2▶iアプリを選び●**

■ **位置情報をメールに貼り付け：3**
メール作成画面が表示されます。
• メールの題名には「位置メール」、本文には⚲と位置情報をURL化した位置情報URLが入力されます。位置情報URLも本文の文字数に含まれます。
• 送付する位置情報URLは、iモード対応端末でのみ有効です。

■ **電話帳に新規登録：4**

■ **電話帳に更新登録：5▶電話帳データを選び●**

■ **位置情報を表示：6**

おしらせ

● 電波が入りにくいために測位に時間がかかる場合、確認画面が表示されます。測位を続けるには「はい」を、中止するには「いいえ」を、リトライするには「リトライ」を選択します。
• 現在地確認設定の測位モード設定（☞P246）を標準モードにしていても、リトライ時は品質重視モードで測位されます。
• 海外では「リトライ」は表示されません。

● 測位に失敗したときは確認画面が表示されます。リトライするには「はい」を選択します。
● 鳴動音、バイブレータを設定しても、現在地確認でリトライするときは鳴動しません。
● 測位を開始すると、現在地確認の測位動作設定に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。音、バイブレータを鳴動させる設定もできます。☞P91

現在地確認時に実行する機能を設定する
現在地確認後動作設定

セレクトメニューに登録して現在地確認を実行したときの測位完了後に実行する機能を設定します。
• 本機能は、セレクトメニューの1階層目に現在地確認を登録し、待受画面でダイヤルキーを1秒以上押して現在地確認を実行したときに有効です。
• 実行する機能は「地図を見る」「対応iアプリを利用」「メール貼り付け」「電話帳登録」「測位ごとに確認」から選択します。「測位ごとに確認」では、測位後に機能を選択できます。

1 (Menu)▶LifeKit▶7 4 1▶1～5

GPS対応iアプリを利用する
GPS対応iアプリ

GPS機能に対応したiアプリを実行します。GPS機能に対応したiアプリでは、FOMA端末で取得した位置情報を利用した処理を行えます。
• お買い上げ時は「地図アプリ」が登録されています。
• 位置情報の利用方法は、iアプリによって異なります。

1 (Menu)▶LifeKit▶7 2▶iアプリを選び●
ソフトが起動されます。

おしらせ

● GPS対応iアプリを利用すると、利用するiアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
● GPS対応iアプリでGPS機能を利用する場合、利用するiアプリの動作設定で、位置情報利用設定を「利用する」にしてください。

地図アプリを利用する　地図アプリ

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までの乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなど、あらゆることができます。
音声で入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめします。
- 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
- 本ソフトはメール連動型ｉアプリのため、2in1がBモードのときは利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

はじめて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。
91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン地図+ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内　容	90日まで	91日以降
今いる場所	• GPSを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。 • 今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を確認したり、みんなの足あとを見たりします。	無料	無料
周辺を調べる	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べグルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	• 本ソフトやサーバ、電話帳に登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	無料	有料
ナビをする	• 目的地までの乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルナビをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認し、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
おしゃべり検索	• 音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、地図を見たりします。	無料	無料
	• 音声で入力することで、簡単に乗換案内をしたりします。	無料	有料
設定／直感★	• FOMA端末を傾けて、3D地図や地図を動かします。	無料	無料
	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたの確認をします。	無料	無料

「地図アプリ」TOP画面のメニューと操作

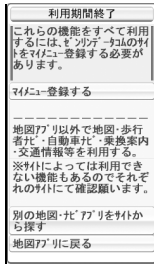
- 起動方法☛P237
- 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOP画面

TOP画面に各メニューが表示されます。
メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

- モーションコントロールにより、FOMA端末を横向きにすると横画面に、縦に戻すと縦画面に切り替わります。

■ 会員登録をせずに91日以上過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。
また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

• 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン地図+ナビ」のサイトで会員登録します。

地図の画面と操作

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007
地図表示画面

■ 地図表示時のキー操作

操作キー	動　作
Menu	メニューを表示します。
●	クイックアクセスメニューを表示します。
📖	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は ↑、詳細表示する場合は ↓ を押します。📖 を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
✣	地図を上下左右に移動します。
クリア	メニューを閉じるか、最初の検索結果の場所へ戻ります。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■ クイックアクセスメニューでのキー操作

操作キー	動　作
↑	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
↓	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
←	表示している地図のURLをメールで送信します。
→	地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有できます。
●	クイックアクセスメニューを閉じます。
1	3D交差点やパノラマ画像が閲覧できるポイントが表示されます。ポイントを選択すると、3D交差点やパノラマ画像を見ることができます。
2	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、ポイントを選択すると情報が確認できます。

周辺情報の検索結果の画面と操作

• 検索結果を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007
周辺情報の検索結果画面

■ 周辺情報の検索結果表示時のキー操作

検索結果の情報が選ばれていない場合は、クイックアクセスメニューが表示されます。

操作キー	動　作
●	検索結果の詳細情報を確認します。
✣	地図を上下左右に移動します。
5	表示している地図を中心にして再検索します。
4	前の検索結果を見ます。
6	次の検索結果を見ます。
Menu	メニューを表示します。
📖	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は ↑、詳細表示する場合は ↓ を押します。📖 を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 **本ソフトを起動中に Menu ▶ ナビをする ▶ ナビをする**

2 **出発地 ▶ 以下の操作から出発地を設定**

■ 出発地／目的地の設定操作

現在地（GPS）	現在地を測位して設定します。
フリーワード検索	キーワードで検索して設定します。
地図上で指定	地図で出発地を設定します。
TEL／〒検索	電話番号・郵便番号で検索して設定します。
住所一覧から	住所を選択して設定します。
ジャンルから	ジャンルを選択して設定します。
履歴から	過去に表示した地図から設定します。
登録地点から	本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅	自宅の位置情報を設定します。
出発地の確認	出発地の情報を確認します。

3 **目的地 ▶ 操作２と同様の操作で目的地を設定**

4 **時間指定 ▶ 以下の操作から時間を指定**

■ 時間指定の操作

現時刻で指定	現在の時刻でルートを調べます。
出発時刻指定	出発時刻を指定してルートを調べます。
到着時刻指定	到着時刻を指定してルートを調べます。
終電を利用	当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 **条件設定 ▶ 以下の操作から条件を設定 ▶ 上記で設定 ▶ ⊙**

■ 条件設定の操作

乗換条件	乗換えの選択基準を「早い」、「安い」、「楽々」から選択します。
徒歩ルート	ルートの選択基準を「おまかせ」、「屋根多い」、「階段少ない」から選択します。
特急利用	ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかを選択します。
通常利用車種	利用する車種を選択します。

6 **トータルナビするには「で検索」／自動車だけのルートを検索するには「のみで検索」**

検索結果としてルート（最大６件まで）が表示されます。

- 異なる交通機関の乗換えルートがある場合は、ルートの特徴がアイコンで表示されます。

アイコン	意　味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件が揃ったルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

■ ルートの登録：ルートを登録

7 **ルートを選択 ▶ ナビ・ルート確認 ▶ ナビ／ナビ（省電力）**

目的地までのナビゲーションを開始します。

- ナビゲーション中に ⊜ を押してFMトランスミッターを設定すると、ナビゲーションの音声をカーステレオなどで聞くことができます。☞P330

■ ルートの確認：ルート確認

■ 時刻表の確認：時刻表

ルート（自動車）／ナビゲーション（自動車）表示の画面と操作

目的地までのルートが表示されます。

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

ルート（自動車）表示画面

目的地までのルートが表示されます。

現在地や進行方向が表示されます。

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

ナビゲーション（自動車）画面

■ ナビゲーション利用時のキー操作

操作キー	動　作
Menu	ナビを終了し、メニューを表示します。
	クイックアクセスメニューを表示します。
	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は 、詳細表示する場合は を押します。 を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
	地図を上下左右に移動します。
クリア	現在地の位置に戻ります。
2	交差点モードに切り替えます。
5	ナビゲーションの中止／開始を行います。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

■ クイックアクセスメニューでのキー操作

操作キー	動　作
	ルートの検索結果（時刻や料金など）の表示と、ナビの設定をします。
	目的地までのルートに経由地を 3 箇所まで加えてルートを検索します。
	現在地から目的地までのルートを再度検索します。
1	表示しているルートを消去します。
2	交差点モードに切り替えます。

おしゃべり検索を利用する

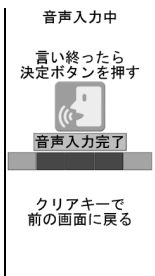
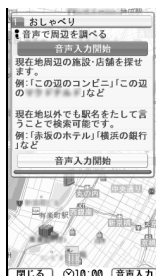
おしゃべり検索メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内したり、地図を見ることができます。

例　周辺情報のおしゃべり検索を利用するとき

1 本ソフトを起動中に Menu ▶ おしゃべり検索 ▶ 周辺を調べる

音声入力方法の説明が表示されます。

2 音声入力開始

・音声入力画面が表示された後、検索したい周辺情報を音声で入力します。

音声を認識して確認画面が表示されます。

「この辺のコンビニ」と音声入力した場合

・認識が間違っていた場合は再度音声入力します。

設定・ヘルプを利用する

1 本ソフトを起動中に Menu ▶ 設定／直感★ ▶ 設定・ヘルプ ▶ 以下の操作から選択

会員情報確認	「ゼンリン 地図＋ナビ」に会員登録しているかを確認できます。
基本設定	地図表示色や文字サイズの設定などのソフト全般に関する設定をします。
ナビ設定	リルートや音声案内の音量などのナビ全般に関する設定をします。
自宅設定	自宅の場所を登録します。
履歴系クリア	地図やナビなどを利用した履歴を削除します。
使い方の説明／よくある質問／利用規約	使いかたの説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

要求に応えて現在の位置情報を提供する　位置提供

位置提供機能に対応したサービス提供者から要求されたときに、現在地を測位して位置情報を送信します。

・本機能を利用するには、あらかじめサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料になる場合があります。

・本機能を利用するには、位置提供可否設定を「位置提供ON」または「許可期間設定」にしておく必要があります。☛P242

・利用するサービスによっては、位置提供設定のサービス利用設定（GPS サービス利用設定）が必要な場合があります。☛P244

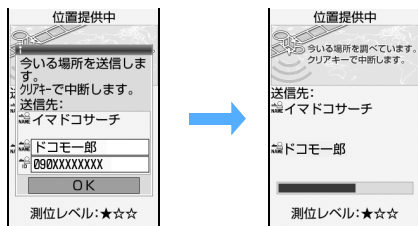
・「イマドコサーチ」を利用する場合は、FOMA端末でのサービス利用設定は不要ですが、ｉMenu（料金＆お申込・設定のオプション設定）の位置情報利用設定（イマドコサーチ設定）が必要です。イマドコサーチ設定についてはドコモのホームページなどをご覧ください。

・位置提供のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモホームページなどでのお知らせに従ってください。

位置提供が要求されたときは

位置提供が要求されたときに表示される画面や動作は、サービスごとの利用設定によって異なります。

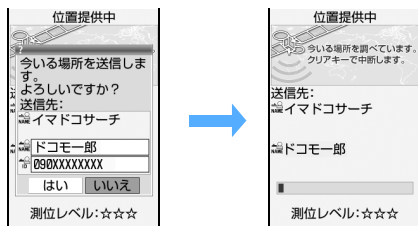
■ サービスごとの利用設定が「許可」の場合

開始通知画面が表示され、お客様の確認なしに自動的に測位が開始されます。◉を押すか、約5秒経過すると測位中画面が表示されます。

測位が完了すると自動的に位置情報が送信され、結果画面が表示されます。

位置提供が成功した場合は、失敗した場合はが待受画面に表示されます。

■ サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合

確認画面が表示されます。位置提供を行うには「はい」、中止するには「いいえ」を選択します。

・確認画面が表示されてから操作せずに約20秒経過すると、位置提供は中止されます。

測位が完了すると自動的に位置情報が送信され、結果画面が表示されます。

位置提供が未確認で終了した場合はが待受画面に表示されます。

■ 位置提供時の動作について(「許可」「毎回確認」共通)

・位置提供の要求を受けると、位置提供の測位動作設定に従って音、バイブレータが鳴動し決定キーの照明が点灯/点滅します。☞P91

・測位中に位置提供を中断するには クリア を押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。また、送信先によっては中断できない場合があります。

・表示項目の意味は以下のとおりです。

NAME:送信先名　　NAME:要求者名※1

ID:要求者ID※2

※1:要求者IDが電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録されている名前が表示されます。2in1がONのときは、Aナンバーの電話帳データと照合されます。

※2:表示されない場合があります。

おしらせ

● 公共モード(ドライブモード)中の位置提供については、次のように動作します。
  ・サービスごとの利用設定で位置提供を「毎回確認」にした場合、確認および測位は行わず、位置履歴の保存と待受画面にアイコンの表示のみ行います。
  ・サービスごとの利用設定で位置提供を「許可」にした場合、測位時の音、バイブレータ、イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。

● 電波状況によっては、位置情報が送信されても、サービス提供者やイマドコサーチの検索者に届いていないことがあります。

● 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらず、Aナンバーに対する位置提供があったときに利用できます。

● イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  ・要求されるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。「はい」を選択した後、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
  ・位置提供の確認画面で「はい」を選択した後に位置提供を中止する場合、位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
  ・イマドコかんたんサーチについてはドコモのホームページなどをご覧ください。

位置提供の可否を設定する　位置提供可否設定

位置提供の要求に対して、位置提供を許可するかを設定します。

1 **Menu▶LifeKit▶7 6 1▶端末暗証番号を入力**

2 **位置提供可否の設定**

■ **位置提供を許可する:1**

■ **位置提供を許可しない:2**

■ **指定した期間だけ位置提供を許可する:3▶各項目を設定▶📖**

開始時間:
位置提供を開始する時刻を入力。

終了時間:
位置提供を終了する時刻を入力。

繰り返し:
毎日…毎日、開始時間から終了時間まで位置提供が許可されます。
曜日指定…「曜日選択」を選択し、曜日を選び◉▶📖

有効期間：
位置提供を許可する期間を設定するときに「開始日指定」または「開始／終了日指定」にする。
- 繰り返しを「毎日」または「曜日指定」にしたときだけ設定します。

開始日：
有効期間を「開始日指定」または「開始／終了日指定」にしたときに入力。

終了日：
有効期間を「開始／終了日指定」にしたときに入力。

許可期間設定時の注意事項

■ 繰り返しが「なし」のとき

- 現在より後の開始時間を設定すると、本日の開始時間から許可されます。
- 開始時間が現在より前、終了時間が現在より後の場合は、現在から終了時間まで許可されます。
- 開始時間、終了時間とも現在より前の場合は、翌日の開始時間から終了時間まで許可されます。
- 開始時間と同じ終了時間、または開始時間より前の終了時間を設定すると、翌日の終了時間まで許可されます。

例　現在時刻が10:00のとき

設定例		許可される期間
開始時間	終了時間	
11:00	18:00	本日11:00～本日18:00
09:00	17:00	現在（本日10:00）～本日17:00
06:00	09:00	翌日6:00～9:00
11:00	10:00	本日11:00～翌日10:00
09:00	08:00	現在（本日10:00）～翌日8:00

■ 繰り返しが「毎日」または「曜日指定」で有効期間が「なし」または「開始日指定」のとき

本日または開始日以降の開始時間から終了時間までが許可されます。

例　現在日時が2008年1月23日（水）10:00で繰り返しを「曜日指定」（月～金）、有効期間を「なし」にするとき

設定例		許可される期間
開始時間	終了時間	
09:00	18:00	現在より月～金の9:00～18:00
09:00	09:00	現在より月～金の全日（月～金の9:00～翌日9:00）
17:00	06:00	本日17:00より月～金の17:00～翌日6:00

■ 繰り返しが「毎日」または「曜日指定」で有効期間が「開始／終了日指定」のとき

開始時間と同じ終了時間、または開始時間より前の終了時間を設定すると、終了日の翌日の終了時間まで許可されます。

例　現在日時が2008年1月23日（水）10:00で繰り返しを「毎日」にするとき

設定例				許可される期間
開始時間	終了時間	開始日	終了日	
09:00	18:00	2008/01/23	2008/01/30	現在～1月30日の18:00まで（毎日9:00～18:00）
09:00	09:00	2008/01/23	2008/01/30	現在～1月31日9:00まで（毎日9:00～翌日9:00まで全日）
17:00	06:00	2008/01/23	2008/01/30	本日17:00～1月31日6:00まで（毎日17:00～翌日6:00まで）

おしらせ

- 「位置提供ON」または「許可期間設定」にすると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
- 「位置提供ON」または「許可期間設定」にすると、待受画面にGPS（黒）が表示されます。許可期間が有効期間外の場合は、GPS（グレー）が表示されます。
- 「位置提供OFF」にすると、位置情報の要求を受信しても画面表示や音、バイブレータ、イルミネーションでお知らせせずに、位置提供を拒否します。位置履歴には位置提供（測位失敗）の履歴は記録されません。

GPSサービス利用設定の接続先を設定する

サービス利用／接続設定

GPSサービス利用設定を行う際の接続先を設定します。

※通常は設定を変更する必要はありません。

1 Menu▶LifeKit▶7 6 4

2 **接続先欄▶ユーザ設定**
- ドコモに接続する設定に戻す：接続先欄▶ドコモ▶(皿)

3 **ユーザ設定接続先欄▶入力（半角英数字99文字まで）**

4 **ユーザ設定初期画面URL欄▶入力（半角英数字100文字まで）▶(皿)**

GPSサービス利用設定を行う
サービス利用設定

GPSサービス利用設定のサイトに接続して、位置提供の検索許可やパスワードなどサービスの設定を行います。
- ローミング対応している海外の国から接続すると、GPSサービス利用設定のサイトへパケット接続しますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。

1 Menu▶LifeKit▶763

GPSサービス利用設定のサイトに接続されます。

2 **設定を行う**
- 設定方法はGPSサービス提供者にお問い合わせください。

現在の位置情報を通知する
現在地通知

現在地を測位して、あらかじめ登録した相手に位置情報を送信します。
- 本機能は、現在地通知機能に対応したサービス提供者へ、FOMA端末の現在地を送信するための機能です。
- 本機能の利用は有料です。
- 本機能を利用するには、あらかじめサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 現在地通知のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモホームページなどでのお知らせに従ってください。

現在地通知先を登録する
現在地通知先一覧

- 最大5件登録できます。

1 Menu▶LifeKit▶7521

2 **<新しい通知先>**
- 登録済みの現在地通知先を確認：現在地通知先を選び●
  - ・編集：□

■ **現在地通知先を削除：現在地通知先を選びMenu 31▶はい**
- 全件削除：Menu 32▶端末暗証番号を入力▶はい

■ **現在地通知先を電話帳に登録：現在地通知先を選ぶ▶新規登録するときはMenu 4、更新登録するときはMenu 5▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

3 **各項目を設定▶□**

通知先名：
全角16／半角32文字まで入力可。

通知先ID：
サービス提供者から指定された通知先IDを入力（半角数字、＊、#で12文字まで）。

電話番号：
現在地通知先の電話番号を入力。

発信時通知設定：
登録した電話番号への電話発信時に位置情報を自動通知するかを「する」「しない」「発信時確認」から選択。
- 相手に電話がつながらなかった場合、現在地通知はできません。
- 発信者番号非通知で電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

■ **電話帳から引用：Menu 1▶相手を選び●**

現在地を通知する

現在地を測位し、位置情報を送信します。

1 Menu▶LifeKit▶751

2 **1▶現在地通知先を選び●**

今いる場所と電話番号を送信する旨のメッセージが表示されます。
- 現在地通知先の詳細情報を確認：一覧から現在地通知先を選び□
  - ・●を押すと測位を実行できます。
- 通知先IDを直接入力：2▶通知先IDを入力

3 ●

測位が開始されます。測位が完了すると位置情報が送信され、完了画面が表示されます。
- 現在地通知の測位動作設定に従って、測位中は決定キーの照明が点灯／点滅し、測位が完了すると音、バイブレータが鳴動します。☛P91
- 測位中に現在地通知を中断するにはクリアを押します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

4 ●

おしらせ
- 電波状況によっては、位置情報が送信されても、サービス提供者に届いていないことがあります。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーで位置情報を通知します。

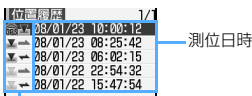
確認した位置情報の履歴を表示する
位置履歴

現在地確認、位置提供、現在地通知で測位した履歴を表示します。位置情報を利用して地図を表示したり、i モードメールで送信できます。

- 最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 Menu▶LifeKit▶[7][3]

- 待受画面に表示される位置提供結果アイコンからも起動できます。

位置履歴 1/1
08/01/23 10:00:12
08/01/23 08:25:42
08/01/23 06:02:15
08/01/22 22:54:32
08/01/22 15:47:54

測位日時

種別アイコン

GPS／GPS：現在地確認（測位成功／測位失敗：グレー）※1
／：位置提供（測位成功／測位失敗：グレー）
／：現在地通知（測位成功／測位失敗：グレー）
※1：現在地確認の測位失敗時や中断時は、位置履歴は保存されません。

■ **位置履歴の詳細の確認：位置履歴を選び●**

位置履歴詳細 1/5
08/01/23 10:00:12
現在地確認
N XX° XX′ XX.XXX″
EXXX° XX′ XX.XXX″
測地系 :WGS84
測位レベル:★★★

現在地確認の場合

- 機能や利用するGPSサービスなどによって表示情報の種類は異なります。
- アイコンの意味は以下のとおりです。
  - ：測位日時、機能
  - ：位置情報
  - NAME：送信先／通知先名
  - ID：送信先／通知先ID
  - NAME：位置提供要求者名
  - ID：位置提供要求者ID
- 位置提供の要求者IDが電話番号の場合、要求者IDを選択して電話をかけられます。要求者IDがメールアドレスの場合、要求者IDを選択してメールを作成できます。また、Menu[3]／Menu[4]を押すと電話番号やメールアドレスを電話帳に新規登録／更新登録できます。

■ **位置履歴の利用：位置履歴を選びMenu[1]**

- 測位失敗の位置履歴は利用できません。
- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P237

■ **位置履歴の削除：**

①**位置履歴を選びMenu[2][1]**

- 複数削除：Menu[2][2]▶位置履歴を選び●▶[m]
- 全件削除：Menu[2][3]▶端末暗証番号を入力

②**はい**

おしらせ

- 測位成功・失敗に関わらず、位置履歴は保存されます。ただし、位置提供可否設定がOFFの場合、または許可期間設定で期間外の場合は、緊急通報高度化機能は除き、位置履歴は保存されません。
- 位置履歴に測位成功の履歴が記録されていても、電波状況によりサービス提供者やイマドコサーチの検索者に位置情報が届いていない場合があります。
- 位置提供の要求者IDが電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスと一致した場合に、電話帳に登録されている名前が要求者名に表示されます。2in1がONのときは、2in1の各モードで表示される電話帳と照合されます。
- 位置履歴に記録されている位置情報・測位レベルは、電波状況などにより位置提供先・現在地通知先に送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。
- i アプリなど他の機能から位置履歴の一覧を表示したときは、測位失敗の履歴は表示されません。また、サブメニューからの位置情報の利用や削除はできません。

各機能から位置情報を利用する

各機能に位置情報を付加する

i モードメールの本文や署名に位置情報URLを入力したり、FOMA端末電話帳や自局番号、画像に位置情報を付加できます。

例 i モードメールの本文に位置情報URLを入力するとき

1 メール本文の入力画面でMenu[5][5]

- メールの署名に入力：署名編集画面で●▶Menu[5][5]▶操作2
- FOMA端末電話帳に登録：電話帳登録画面で位置情報欄▶操作2
- 自局番号に登録：自局番号編集画面で位置情報欄▶操作2
- 静止画に登録：静止画を撮影▶Menu[2]▶操作2

2 位置情報を取得

■ **現在地を測位：[1]**

■ **位置履歴から取得：[2]▶位置履歴を選び●**

■ **電話帳に登録されている位置情報の取得：[3]▶電話帳データを選び●**

■ **自局番号に登録されている位置情報の取得：[4]▶端末暗証番号を入力**

■ **画像に登録されている位置情報の取得：[5]▶画像フォルダ一覧から画像を選び●**

3 はい

本文には📍と位置情報URLが入力されます。位置情報URLも本文の文字数に含まれます。

- 位置情報を表示：位置情報表示
- 送付する位置情報URLは、ｉモード対応端末でのみ有効です。
- 静止画の保存：保存

おしらせ

● 電話帳データに位置情報を付加するときは、位置情報登録済みの電話帳データから位置情報を取得することはできません。

各機能の位置情報を利用する

FOMA端末電話帳に登録した位置情報を利用する

1 電話帳を検索▶電話帳データを選び Menu 0

- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P237
  ただし、電話帳登録はできません。
- 電話帳詳細画面からの操作：位置情報を選び●
- 自局番号に登録した位置情報の利用：自局番号の詳細画面で位置情報を選び●

画像に登録した位置情報を利用する

1 ◎1▶フォルダを選び●▶画像を選び Menu 3 3

- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P237

メールの位置情報URLを利用する

メールの本文中の先頭に📍が付いている位置情報URLを利用して、ｉモードに接続し地図を表示できます。

1 メールを表示▶位置情報URLを選び●▶はい

- 地図表示後にｉエリアを使って周辺情報を調べることができます。ｉエリアについての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

サイトに位置情報を送信する

サイトに位置情報送信用のリンク項目があるとき、リンク項目を選択して位置情報をサイトに送信できます。

1 サイトを表示▶位置情報送信用のリンク項目を選び●

2 位置情報を取得

- 操作方法は「各機能に位置情報を付加する」の操作2以降と同じです。☛P245

サイトやトルカの位置情報を利用する

サイトや画面メモ、メッセージR/F、トルカのリンク項目に位置情報（住所情報）が付加されている場合、リンク項目を選択して位置情報を利用できます。

1 サイトや画面メモ、メッセージR/F、トルカを表示▶位置情報を選び●

2 メニュー項目を選択

■ GPS対応ｉアプリを利用：対応ｉアプリを利用▶ｉアプリを選び●

■ 地図を見る：地図を見る

■ ｉモードメールに貼り付ける：メール貼り付け

測位モードを設定する　測位モード設定

例　現在地確認の測位モードを設定するとき

1 Menu▶LifeKit▶7 4 2

■ 位置提供の測位モードの設定：Menu▶LifeKit▶7 6 2

■ 現在地通知の測位モードの設定：Menu▶LifeKit▶7 5 2 2

2 1～2

標準モード…短い時間で測位することを優先します。

品質重視モード…時間をかけて測位します。その結果、標準モードより精度が上がる場合があります。

ワンセグ

ワンセグとは

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像音声とともにデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会
  ・パソコン：http://www.dpa.or.jp/
  ・ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料サービスです。
- データ放送領域に表示される情報には「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

電波について

- ワンセグは、放送サービスの一つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
  また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
  ・放送波が送信される電波塔から離れている場所
  ・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
  ・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態がよくなることがあります。

初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。確認すると、2回目以降からは表示されません。ただし、以下の操作を行った場合は再度表示されます。

- ワンセグ設定リセット
- データ一括削除
- 各種設定リセットの「ワンセグ設定」
- FOMAカードの差し替え

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

- 放送用保存領域の消去☛P262
- 別のFOMAカードに差し替えた場合は、放送用保存領域を初期化するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ **放送用保存領域の読み出し時の画面表示**
番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また「はい（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

例　初めてワンセグを視聴するとき

ステップ1　チャンネル設定☛P250

ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。

ステップ2　ワンセグの起動☛P251

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

おしらせ

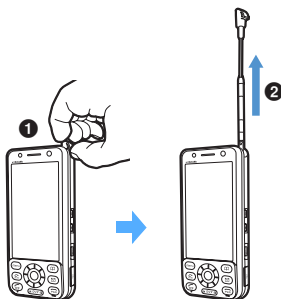
- 異なる地域で視聴する場合は、地域ごとにチャンネルリストを登録します。☛P250
- FOMAカードが挿入されていない場合、ドコモとのご契約を解約されている場合、またはFOMAサービスの利用を休止されている場合はワンセグを視聴することはできません。
- ドコモとご契約中のFOMAカードを挿入していても、FOMA サービスエリア外である場合など通信ができない状態でワンセグ視聴を繰り返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。
- 初めてワンセグを視聴するときは、FOMAサービスエリア内でワンセグを起動してください。
- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

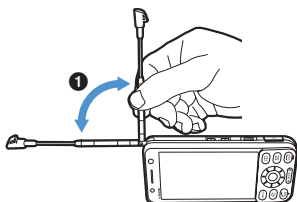
ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを完全に伸ばしてください。

■ ワンセグアンテナを伸ばす

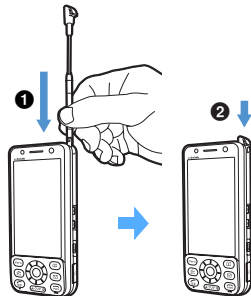
❶ワンセグアンテナの先端部分の突起に指をかけて引き出す

❷ワンセグアンテナが止まるまで完全に伸ばす

■ ワンセグアンテナの方向を変える

❶ワンセグアンテナを完全に伸ばしてから、ワンセグアンテナの下の方を持って方向を変える

- ワンセグアンテナを完全に伸ばしていないと方向は変わりません。
- 無理に力を加えてワンセグアンテナの方向を変えようとすると変形や破損の原因となります。

■ ワンセグアンテナを収納する

❶ワンセグアンテナの下の方を持ってまっすぐにおろす

❷先端部分の向きを合わせ、完全に収納する

- 無理に力を加えてワンセグアンテナを収納しようとすると変形や破損の原因となります。

ワンセグ視聴中に着信などがあった場合

次の場合、映像と音声が中断されます。各機能を終了するかワンセグの画面に切り替えると視聴を再開できます。ただし、音声電話／テレビ電話／プッシュトークの通話／通信中はワンセグの画面に切り替えられません。

- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークを発信／着信したとき
- メールやメッセージR/Fを受信したとき（メールの受信・自動送信表示の設定が「通知優先」の場合）
- 目覚ましやスケジュールなどで指定した日時になったとき
- 動画／ｉモーション、音楽データ、メロディ、キャラ電を再生／表示したとき、microSD メモリーカードを利用したとき※1
- 番組表ｉアプリを起動したときや、データ放送からｉアプリを起動したとき
- 64Kデータ通信を発信／着信したとき

※１：確認画面が表示されます。

なお、通話を終了すると、自動的にワンセグの視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量で音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。

おしらせ

- ビデオ録画中の場合、録画は継続し、中断している間の映像と音声も記録されます。ただし、以下の操作を行った場合は確認画面が表示され、実行すると録画が保存され終了します。
  - 動画／ｉモーションの再生
  - microSDメモリーカードへの保存
  - データ放送からのｉアプリ起動

チャンネルを設定する　チャンネル設定

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを登録する必要があります。
- チャンネルリストは最大10件登録できます。
- 1件のチャンネルリストに登録できるチャンネル数は最大62件です。

チャンネルリストを登録する

エリアの一覧から選択する方法（エリア選択）と、現在いる場所で受信できるチャンネルを放送波から検出する方法（自動チャンネル設定）があります。

1 Menu▶ワンセグ▶6

2 **エリア選択、または自動チャンネル設定を行う**

■ **エリア選択：エリア選択▶広域エリアを選び◉▶詳細エリアを選び◉**
- 詳細エリアの受信可能チャンネル確認：詳細エリア一覧で詳細エリアを選び(皿)
  - ・◉を押すと詳細エリアを選択できます。

■ **自動チャンネル設定：**
- ワンセグアンテナを伸ばしてから操作してください。
- 自動チャンネル設定には約10～60秒かかります。
- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で設定してください。

①**自動チャンネル設定**
自動チャンネル設定が開始され、終了すると確認画面が表示されます。

②**はい**
- 放送波が弱い場所では受信可能な放送局が検出されない場合があります。エリア選択を利用するか、場所を変えて操作し直してください。
- 受信可能なエリアが複数ある場合、エリア間でチャンネルの番号（リモコン番号）が重複することがあります。メッセージが表示されますので、◉を押し、優先するエリアを選択します。

3 **チャンネルリスト名を入力（全角10／半角20文字まで）▶(皿)**

■ **すぐにワンセグを視聴：チャンネルリスト一覧で(皿)▶チャンネルを選び◉**

おしらせ
- エリア選択では、地域により正しく設定できない場合があります。その場合は自動チャンネル設定をご利用ください。

複数のチャンネルリストを使う

複数の地域でワンセグを視聴する場合は、チャンネルリストを複数登録し、視聴する地域に応じてチャンネルリストを選択します。

チャンネルリストを追加登録する

1 Menu▶ワンセグ▶6
チャンネルリスト一覧が表示されます。

2 **［未登録］を選ぶ▶(⇄)／(✉)**
- 以降の操作は「チャンネルリストを登録する」の操作2～3（エリア選択／自動チャンネル設定の選択後）と同じです。☛P250

3 **はい／いいえ**

使用するチャンネルリストを選択する

1 Menu▶ワンセグ▶6

2 **チャンネルリストを選び◉**

■ **登録されているチャンネルの確認：チャンネルリストを選び(皿)**
チャンネル一覧が表示されます。

上段：リモコン番号
下段：ワンセグ視聴画面での選局に使用するキー

チャンネルリストを編集／削除する

1 **Menu▶ワンセグ▶6▶チャンネルリストを選ぶ**

2 **チャンネルリストを編集／削除**

■ **チャンネルリスト名の変更：Menu 1▶チャンネルリスト名を入力（全角10／半角20文字まで）▶📖**

■ **チャンネルリストの更新：✉／✉▶はい**
- 以降の操作は「チャンネルリストを登録する」の操作2～3（エリア選択／自動チャンネル設定の選択後）と同じです。☛P250

■ **チャンネルリストの一件削除：Menu 2▶はい**
- 使用中のチャンネルリストは一件削除できません。

■ **チャンネルリストの初期化（全件削除）：Menu 3▶端末暗証番号を入力▶はい**

■ **リモコン番号の変更：**
① 📖▶チャンネルを選びMenu 1
② 変更後のリモコン番号を選び●▶はい
- 変更後のリモコン番号にチャンネルが登録されていた場合は、リモコン番号が入れ替わります。

■ **チャンネルの削除：📖▶チャンネルを選びMenu 2▶はい**
- 使用中のチャンネルリストのチャンネルは削除できません。
- チャンネルがなくなるとチャンネルリストが削除されます。

おしらせ

● 視聴場所を移動すると、山やビルなどの影響で受信できる放送波や放送局が変わることがあります。移動して受信状態が悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと別の放送波や放送局で視聴できる場合があります。また、移動後にチャンネルサーチを行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が受信できることがあります。☛P252

ワンセグを見る　ワンセグ視聴

1 **ワンセグアンテナを伸ばす▶TV（1秒以上）**
- 免責事項の確認画面が表示されたとき：●▶●
- チャンネルリストが登録されていないときは、チャンネルリストの作成方法の選択画面が表示されます。「チャンネルリストを登録する」の操作2に進みます。☛P250

2 **ワンセグを視聴する**

- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横画面に、縦に戻すと縦画面に切り替わります。✉を押しても切り替わります。
- 確認画面などの表示中やデータ放送操作モード中は切り替わりません。
- 放送波が弱い場所などで「選局中」の表示が長く続く場合、チャンネルサーチを行うと受信可能なチャンネルを探せます。☛P252
- 放送局からチャンネル名に関する情報を受信すると、チャンネルリストを更新したことを示すメッセージが表示されます。このとき、チャンネル名の表示が変更されることがあります。

3 **視聴を終了するには⌒▶はい**

おしらせ

● 番組表ｉアプリからもワンセグを起動できます。
● サイトやメールなどに表示されているワンセグ視聴用情報のリンクからもワンセグを起動できます（Media To）。☛P160
● 放送波の受信状況などにより、音声が途切れたり、映像が停止することがあります。また、映像にブロック状のノイズが入ったり、映像やデータ放送が表示されないことがあります。
● ワンセグ視聴中は操作確認音は鳴りません。

視聴中の操作

ワンセグ視聴画面（テレビ操作モード）から以下の操作が行えます。

チャンネルを選択する

■ スピードセレクターで選択：スピードセレクターを回転▶Ⓢ

縦画面の場合

• チャンネル名表示後、約3秒以内にⓈを押します。

■ 前後のチャンネルに切り替え：Ⓢ

■ ダイレクトキーで選局：対応するキーを押す

リモコン番号	キー	リモコン番号	キー
1～9	1～9	11	0
10	*	12	#

• リモコン番号13～62はダイレクトキーで選局できません。

■ チャンネル一覧から選択：Menu 1 2 ▶チャンネルを選びⓈ

■ 使用するチャンネルリストの選択：Menu 1 1 ▶チャンネルリストを選びⓈ

• チャンネルリスト一覧からチャンネルリストの編集ができます。☛P251

■ 受信可能なチャンネルを検索して切り替え（チャンネルサーチ）：Ⓢ（1秒以上）

チャンネルが周波数順に検索され、受信可能なチャンネルがあると切り替わります。

• 検索したチャンネルを使用中のチャンネルリストのチャンネル一覧に登録：Menu 1 3

・13～62番のうち、最小の空きリモコン番号に登録されます。ただし、既に登録されていた場合はリモコン番号は変わりません。

■ 視聴するサービス（番組）の選択：Menu 1 4 ▶ 1～3

• 視聴中のチャンネルで現在複数のサービス（番組）が放送されているときだけ行えます。
• お買い上げ時は「サービス1」に設定されています。

音量を調整する／音声を切り替える

■ 音量調整：Ⓢ

• お買い上げ時はvol.13に設定されています。

■ 音声を消す（消音）：Ⓒ

• 消音の解除：Ⓒ／Ⓢ

■ 主音声と副音声の切り替え（主／副音声設定）：Menu 7 6 ▶ 1～3

• お買い上げ時は「主音声」に設定されています。

■ 音声の切り替え：Menu 7 5 ▶ 1～2

• 音声を切り替え可能な番組の視聴中だけ行えます。
• ワンセグ起動時は「音声1」に設定されています。

画面表示を変更する

■ 画面を消す（音声モード）：Menu 5

• 再表示：Ⓞ以外のキーを押す、またはFOMA端末を開く
• 電話やプッシュトークが着信したなどでワンセグ視聴画面以外に切り替わると、音声モードが解除されます。

■ 字幕の表示／消去（字幕表示設定）：Menu 7 1 ▶ 1～2

• お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

■ 横画面のマークや時刻の表示／非表示の設定（ピクト表示設定）：Menu 7 2 ▶ 1～2

• お買い上げ時は「ON」に設定されています。
• 「OFF」にしても、Ⓢを押したときや音量調整時などは、マークや時刻が表示されます。
• 「OFF」にした場合、放送波の受信状態が悪いと、横画面に何も表示されない状態（黒い画面）がしばらく続くことがあります。

■ 画質の設定：Menu 7 7 ▶ 1～4

• 「ノーマルモード」（お買い上げ時）、「美肌モード」「シネマモード」「くっきりモード」から選択できます。シネマモードでは映画などの暗い映像が見やすくなります。くっきりモードでは映像の輪郭が強調されます。

便利な機能

■ **番組情報の確認：Menu 2**

■ **ワンセグOFFタイマーの利用：Menu 0 3 ▶ 2～5**

設定した時間（30分／60分／120分／180分）が経過すると自動的にワンセグが終了します。

- 設定した時間が経過したときに他の機能の画面が表示されていると、ワンセグ視聴画面に戻るまでワンセグが終了しないことがあります。
- microSD録画／予約録画中の場合、ワンセグ終了後もバックグラウンド録画で録画が継続します。☛P260
- 解除：Menu 0 3 ▶ 1

■ **ワンセグ視聴用情報のメール送信：Menu 0 2**

ワンセグ視聴用情報を本文に挿入したメール作成画面が表示されます。Media To機能に対応したFOMA端末に送信すると、受信側で情報を選択して、ワンセグを起動できます。

- 2in1がBモードのときは利用できません。

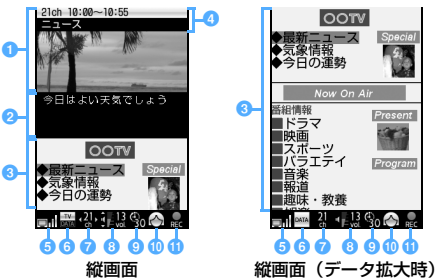
■ **ヘルプの表示：Menu 0 5**

おしらせ

- ワンセグを終了すると消音、音声モード、ワンセグOFFタイマーは解除されます。また、音声切替はワンセグ起動時の設定に戻ります。
- 音量と主／副音声設定、字幕表示設定、ピクト表示設定はビデオ再生時の設定にも反映されます。☛P283

ワンセグ視聴画面の見かた

ワンセグ視聴画面の見かた

❶ **映像領域**

❷ **字幕領域**

字幕表示設定を「ON」にすると表示されます。☛P252

- 字幕表示設定を「ON」にすると、視聴中の番組に字幕がなくても、縦画面では字幕領域が表示されます。横画面の場合、番組に字幕がないときは字幕領域が自動で消えることがあります。

❸ **データ放送領域（縦画面のみ）**

❹ **リモコン番号、開始／終了時間、番組名**

チャンネルを切り替えたときなどに自動的に約2秒間表示されます。

- 手動で表示：●

❺ **放送波受信レベル**

表示	(強)			(圏外)
状態	強 ◀━━━▶ 弱			放送圏外

❻ **操作モード（縦画面のみ）**

TV/DATA：テレビ操作モード
TV/DATA：データ放送操作モード
DATA：データ放送操作モード（データ拡大時）

❼ **リモコン番号**

- ◎でのチャンネル切り替えやチャンネルサーチが可能なときは21chのように◁▷が表示されます。

❽ **音量**

消音中 FM：FMトランスミッターON☛P330

- ◎での音量調整が可能なときはのように△▽が表示されます。

❾ **ワンセグOFFタイマー** ☛P253

30／60／120／180：タイマー設定中（30分／60分／120分／180分）

❿ **画質** ☛P252

表示なし：ノーマルモード　：美肌モード
：シネマモード　：くっきりモード

⓫ **録画状態**

REC：録画中　WAIT：録画待機中

おしらせ

- 横画面ではガイド行は表示されませんが、●、◎、Menu、□、○、✉での操作は縦画面（テレビ操作モード）と同様に行えます。

ワンセグを視聴しながらメールやｉモードを使う　マルチウィンドウ

画面の一部にワンセグの映像を表示しながら、メールやｉモードの操作が行えます。

マルチウィンドウで機能を実行する

- ワンセグ視聴中にマルチタスクで実行可能な機能のうち、メールとｉモードの機能を実行できます（フルブラウザを除く）。

例　ｉモードメールを作成するとき

1 ワンセグ視聴画面で[ボタン]▶マルチウィンドウ表示▶メール▶新規メール

ワンセグ表示
- 字幕は表示されません。
- ワンセグの操作はできません。

- [ボタン]を押して「新規」を選択すると他の機能も実行できます。この場合は、マルチウィンドウになりません。
- マルチウィンドウの画面は横画面になりません。

■ **ワンセグ視聴中にメールやSMSを受信したとき**

メールの受信・自動送信表示の設定によって異なります。

設　定	動　作
通知優先	受信中画面や受信結果画面がマルチウィンドウで表示されます。
操作優先	[ボタン]を押して受信中画面や受信結果画面に切り替えるとマルチウィンドウで表示されます。

おしらせ

- 着信音が鳴っている間はワンセグの音声は流れません。
- マルチウィンドウで表示中はメールの添付メロディは再生できません。
- 次の場合はマルチウィンドウになりません。
  - メッセージR/Fの詳細画面
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの発信中／着信中／通話・通信中
  - 受信結果画面に動画／ｉモーションが表示されるとき
- メールやｉモードの画面から各種操作を実行した場合、機能によってはマルチウィンドウにならないことがあります。
- データ放送からｉモードに接続した場合、放送局側の指定により、マルチウィンドウにならないことがあります。

画面を切り替える

モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにするとワンセグ視聴画面（横画面）に、縦に戻すとマルチウィンドウの画面に切り替わります。

[ボタン]を1秒以上押しても切り替わります。

おしらせ

- [ボタン]を押した後や他の機能を実行したときなどは切り替えられない場合があります。その場合は[ボタン]を押し、機能を選択してください。

ワンセグ表示をON／OFFする

1 マルチウィンドウの画面で[ボタン]▶マルチウィンドウ切替

番組表ｉアプリを利用する　番組表

番組表ｉアプリを利用すると、番組表から番組を選択して視聴したり、視聴予約／録画予約を行えます。

- お買い上げ時は番組表ｉアプリとして「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。☛P217

1 [Menu]▶ワンセグ▶[2]

番組表ｉアプリが起動します。

■ **ワンセグ視聴中に操作：ワンセグ視聴画面で[ボタン]**

- 番組表ｉアプリ実行中はワンセグの映像と音声は停止します。

おしらせ

- ダウンロードしたｉアプリを番組表ｉアプリとして利用するときは、利用したいｉアプリの動作設定の「番組表キー設定」を「設定する」に変更してください。

ワンセグの視聴・録画を予約する

予約リスト

予約スケジュールを登録することにより、ワンセグの視聴予約や録画予約ができます。

- 録画したビデオはmicroSDメモリーカードのデータBOXの「ワンセグ」に保存されます。あらかじめmicroSDメモリーカードを取り付け、空き容量が十分にあることを確認してください。また、録画中に電池残量が不足しないようにご注意ください。
- 録画が禁止されている番組は録画できません。また、放送波の受信状態がよくないときは録画できないことがあります。
- ワンセグを1度も視聴していないとき(免責事項の確認画面が表示される状態)では、録画予約からの録画はできません。
- 最大登録件数☛P439

視聴・録画を予約する

1 Menu ▶ワンセグ▶ ☰ ▶ (田)

2 各項目を設定

予約タイプ：
「録画」または「視聴」を選択。

チャンネル名：
チャンネルを選択。

開始日時：
視聴／録画の開始日時を入力。

終了日時：
録画の終了日時を入力。
- 視聴予約では設定できません。

番組名：
全角48／半角96文字まで入力可。
- 録画予約の場合、本項目の入力有無に関わらず、ビデオ一覧には放送波から受信した番組名が表示されます(番組名を受信できなかった場合は年月日時分＋数字3桁)。録画履歴には放送波から受信した番組名または本項目で設定した番組名が表示されます。

3 でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム(予約アラーム)：
開始日時に予約アラーム画面やアラーム音で知らせるかを設定。
- 録画予約では「なし」にできません。
- 開始日時にワンセグの視聴を開始できるようにするには「あり」にします。
- 「あり」を選択し「ｉモーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」のいずれかを選択したときは、アラーム音を設定します。音楽データの設定☛P92
- 「あり」で「端末設定に従う」にすると、音の設定のワンセグ予約アラーム音に従います。

アラーム鳴動：
予約アラーム画面を表示する際に、アラーム音を鳴らすかを設定。

アラーム開始時間：
開始日時より何秒または何分前に知らせるかを設定。
- 録画予約では「1分前」になり、変更できません。

連携起動：
開始日時にワンセグの視聴を開始できるようにするには「あり」に設定。

4 でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：
毎日…毎日の開始時刻に予約します。
曜日指定…「曜日選択」を選択し、予約する曜日を選択して(田)を押します。
- 予約は開始日時以降に有効になります。

録画優先設定：
録画開始時に、他のチャンネルの視聴中／録画中、または録画と同時に実行できない機能の実行中だった場合の動作を設定。
録画優先…確認画面なしで録画を開始します。
操作優先…確認画面が表示され、録画を開始するかを選択できます。
- 録画優先の場合、または操作優先で「はい」を選択した場合は以下のようになります。
  - 他のチャンネルの視聴中の場合、チャンネルを切り替えて録画を開始します。
  - 他のチャンネルの録画中の場合、実行中の録画を保存して終了し、新たに録画を開始します。
  - 同時に実行できない機能を実行中だった場合、実行中の機能を終了して録画を開始します。
- 同一チャンネルの録画中の場合は、本設定に関わらず確認画面なしで実行中の録画を保存して終了し、新たに録画を開始します。
- 実行中の機能によっては、録画優先でも確認画面が表示されます。

ハイライト設定／オートカット設定：
ビデオの録画モードを設定。設定内容について☛P259
端末設定に従う…録画モード設定に従います。

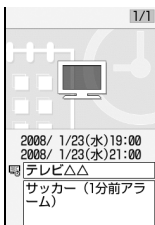
5 (田)

- 録画予約では確認画面が表示されます。
- アラームを設定した予約スケジュールを登録すると、待受画面にが表示されます。

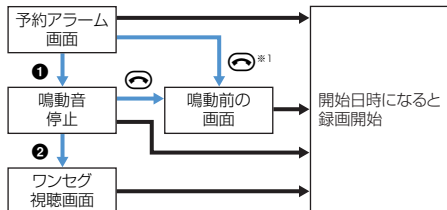
おしらせ

- 番組表ｉアプリからも予約スケジュールを登録できます。☞P217
- 録画時間が重複する場合は確認画面が表示され、「はい」を選択すると登録済みの録画予約が削除されます。
- 録画予約の時間が連続していた場合、次の録画を開始する少し前に録画が終了します。
- 予約アラームに設定したデータ（動画／ｉモーション、メロディ、音楽データ）を削除した場合は「端末設定に従う」に設定されます。

開始日時になると

アラームが鳴り、予約アラーム画面でお知らせします。ワンセグを視聴／録画するときはワンセグアンテナを伸ばしてください。

予約アラーム画面

- 録画予約の場合は、開始日時の1分前にアラームが動作し、録画待機中になります。
- それ以外の場合は、アラーム開始時間の設定に従って動作します。

以降の操作は次のようになります。

※1：操作中に開始日時になった場合、アラーム鳴動中に[終話]を押すと録画がキャンセルされる場合がありますのでご注意ください。

→：視聴予約／録画予約共通
→：録画予約のみ

❶ [終話]、[マナー]以外のキーを押す

- 1分間何も操作しなくても停止します。

❷ [ソフト]▶はい

- 連携起動が「なし」のときはワンセグ視聴を開始できません。

■ 共通操作：

- 予約スケジュールの詳細確認：鳴動音停止後に[決定]
- 予約アラームが複数あるときは、鳴動音停止後に[左右]で他の予約アラームの画面を表示できます。

録画予約について

- ワンセグ視聴を開始しなかった場合、バックグラウンド録画で録画が開始されます。
- バックグラウンド録画、録画結果の確認、ビデオ録画時の注意事項☞P260
- 録画の中止：ワンセグ視聴画面で[TV/録]▶はい
  - ・バックグラウンド録画中はワンセグを起動して操作します。
  - ・録画待機中に操作すると録画をキャンセルできます。
  - ・テレビ操作モードでは[クリア]でも中止できます。
- ビデオの再生☞P283

おしらせ

- 以下のときは、予約アラーム画面は表示されず、録画も開始しません。
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - パーソナルデータロック中
  - 国際ローミング中
  - ソフトウェア更新中
  - FOMA端末の電源が入っていない※1

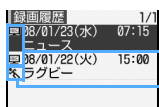
  ※１：アラーム自動電源ON設定がONの場合は動作します。なお、電源が入っていないため録画できなかった場合は、録画履歴にも記録されません。
- FOMA端末が以下の状態のときは、予約アラームは待機になり、終了を待って動作します。録画予約の場合、録画も待機します。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの発信中／着信中、64Kデータ通信の着信中※1
  - microSDメモリーカードとのデータ移動／コピー中
  - 赤外線通信／iC通信中

  ※１：通話／通信中は待機せずに動作します。発信中／着信中の場合、通話／通信を開始すると予約アラームが動作し録画が開始します。
- microSDモード、MTPモードでパソコンと接続中はワンセグの視聴／録画はできません。
- 予約したチャンネルが現在のチャンネルリストにない場合や、情報が一致しない場合は、予約した番組が視聴／録画できない場合があります。
- ビデオ録画中に異なるチャンネルの視聴を開始するとビデオ録画が保存され終了します。視聴開始前に確認画面が表示されます。
- 操作中に開始日時になった場合、視聴を開始できない場合があります。
- 録画開始時に放送波が受信できなくても録画状態になり、受信状態がよくなると録画が開始されます。
- 視聴／録画した予約スケジュールは、繰り返し設定されている場合を除き、予約リストから削除されます。

録画履歴を確認する

録画予約、およびワンセグ視聴中のビデオ録画の履歴を確認できます。

- 最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 Menu ▶ワンセグ▶ 4

■ **詳細情報確認：録画履歴を選び**

- 録画失敗の履歴では失敗の内容も表示されます。

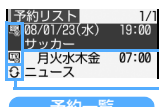
■ **録画履歴の削除：録画履歴を選び Menu 1 ▶はい**

- 複数削除：Menu 2 ▶履歴を選び ▶ ▶はい
- 全件削除：Menu 3 ▶端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ

- 待受画面にビデオ録画結果アイコン（ ／ ）が表示されているときは、待受画面で を押し、アイコンを選び を押しても表示できます。

予約を確認／編集／削除する

1 Menu ▶ワンセグ▶ 3

TV：視聴予約
REC：録画予約
：繰り返し設定されている予約スケジュール

■ **予約スケジュールの並べ替え：Menu 4 ▶ 1 〜 3**

2 予約スケジュールを確認／編集／削除

■ **確認／編集：予約スケジュールを選び ▶詳細画面で登録内容を確認**

- 編集：詳細画面で ▶内容を変更▶ ▶はい

■ **削除：**

① **予約スケジュールを選び Menu 3 1**

- 複数削除：Menu 3 2 ▶予約スケジュールを選び ▶
- 全件削除：Menu 3 3 ▶端末暗証番号を入力

② **はい**

データ放送を利用する　データ放送

1 ワンセグ視聴画面で

データ放送操作モードに切り替わります。 を押すとデータ放送領域を拡大／縮小できます。

TV DATA：データ放送操作モード
DATA：データ放送操作モード（データ拡大）

■ **テレビ操作モードに戻す：**

■ **横画面で映像を表示：Menu 7 4**

2 リンク項目を選び

- リンク項目によってはデータ放送サイトやｉモードサイトに接続します。
- リンク項目によっては確認画面が表示されます。確認画面で「はい（以後非表示）」を選択した場合、以降、自動的にデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。「はい（以後非表示）」を選択した確認画面の再表示☛P262

■ **データ放送サイト表示中に前のページに戻る／進む： ／**

■ **証明書の確認：SSL/TLS 対応ページ表示中に Menu 6 4**

■ **再読み込み：データ放送サイト表示中に Menu 6 5**

■ **データ放送サイトからデータ放送に戻す：Menu 6 6 ▶**

おしらせ

- データ放送、データ放送サイトの入力欄に絵文字は入力できません。全角の空白に置き換わります。
- 放送用保存領域の空きが足りないときは確認画面が表示されます。上書きするには「はい」を選択し、画面に従って操作します。
- ｉモードサイトに接続すると、サイトが全画面またはマルチウィンドウで表示されます。番組によって音声は継続して再生されることがあります。
- データ放送で音声データを再生している間は、映像に合わせて出力される音声より、優先して出力されます。
- データ放送操作モード中は、Ⓒ、Ⓒでのチャンネル切り替えや音量調整操作はできませんが、サブメニューからのチャンネル一覧選局、音量調整などの操作や、Ⓒでの消音は行えます。

テレビリンクを利用する　テレビリンク

データ放送やデータ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。
テレビリンクに登録すると、テレビリンクから直接、サイトやメモ情報を表示できます。

テレビリンクに登録する

- 最大登録件数：50件

1 ワンセグ視聴画面（データ放送操作モード）で、テレビリンク登録用の項目を選び Ⓒ▶はい／はい（以後非表示）

登録したテレビリンクを表示する

- テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

1 Menu▶ワンセグ▶5

テレビリンク一覧が表示されます。

- テレビリンク一覧には以下のアイコンが表示されます。
  - ：メモ情報
  - ：データ放送サイトへのリンク
  - ：ｉモードサイトへのリンク

2 テレビリンクを選びⒸ

- またはのテレビリンクでは確認画面が表示されます。

■ **詳細情報の表示：テレビリンクを選びMenu 1**

■ **テレビリンクの削除：**

①**テレビリンクを選びMenu 2**
- 複数削除：Menu 3▶テレビリンクを選びⒸ▶Ⓒ
- 全件削除：Menu 4▶端末暗証番号を入力

②**はい**

おしらせ

- ワンセグ視聴画面からの操作：Menu▶テレビリンク
- データ放送サイトに接続するとデータ放送領域が拡大表示されます。テレビ操作モードへの切り替えや、データ放送領域の拡大／縮小はできません。Menuを押すと、サブメニューから以下を実行できます。
  - テレビリンクの表示
  - 消音※1
  - 効果音設定※1、※2
  - 再読み込み
  - 音量調整※1、※2
  - 画像表示設定※2
  - 証明書詳細表示

※１：効果音の音量調整や消音が行えます。また、効果音設定で効果音の ON/OFF ができます。
※２：ワンセグ視聴時の設定にも引き継がれます。

視聴中にワンセグを録画する

映像、音声、字幕、データ放送の内容を録画できます（ビデオ録画）。また、放送中の映像の一場面を、静止画として保存できます（静止画録画）。

- 放送波の受信状態がよくないときは録画できないことがあります。
- ワンセグには、コピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。コピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変化した場合、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。
- 録画したビデオや静止画はメール添付や赤外線通信／iC通信で送信できません。また、FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で移動／コピーできません。待受画面などにも設定できません。

録画モードを設定する

ビデオ再生時にハイライト再生、オートカット再生を行うには、あらかじめ録画モードを設定します。

- 各設定を「OFF」にして録画するとハイライト再生やオートカット再生はできません。
- 設定は録画終了後も保持されます。
- 録画モードに関わらず番組全体が記録されます。ハイライトシーン以外や本編以外を含めた通常の再生もできます。

1 **Menu ▶ ワンセグ ▶ 7 6 1 ▶ 各項目を設定 ▶ m**

ハイライト設定：
ハイライト再生するときのモードを選択。
スポーツモード…スポーツ番組のハイライトシーンを抽出して再生します。
ミュージックモード…音楽番組の演奏中のシーンを抽出して再生します。

オートカット設定：
ON…テレビ番組の本編以外を自動的にカットして、本編のみを再生します。

■ **ワンセグ視聴中に設定：**
- ハイライト設定：ワンセグ視聴画面でMenu 9 4 ▶ 1～3
- オートカット設定：ワンセグ視聴画面でMenu 9 5 ▶ 1～2

ビデオ録画する

以下の2種類のビデオ録画機能があります。

機　能	保存先	最大保存件数※1	最大録画時間※2
microSD録画	microSDメモリーカード	99件※3	約640分※3、4
本体録画（5分）	FOMA端末	10件	約5分

※ 1：データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
※ 2：放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※ 3：録画予約による録画との合計です。
※ 4：2GバイトのmicroSDメモリーカードの場合の目安です。

microSD録画をする

- 録画したビデオはmicroSDメモリーカードのデータBOXの「ワンセグ」に保存されます。再生方法☞P283

1 **ワンセグ視聴画面でTV/◎（1秒以上）**
REC が表示され、録画が開始されます。

■ **録画終了までの時間を設定して録画：Menu 9 1 ▶ 1～5**
- 制限なし／30分／60分／120分／180分から選択できます。
- 録画中に新たに設定したり、変更できます。その時点から指定時間が経過すると録画が終了します。
- 予約録画中は設定できません。

2 **録画を終了するにはTV/◎ ▶ はい**
- テレビ操作モードではクリアでも終了できます。
- 確認画面を表示せずに終了：TV/◎（1秒以上）

■ **録画を継続したままワンセグを終了：ワンセグ視聴画面で終話 ▶ 録画継続**
バックグラウンド録画で録画が継続します。
- バックグラウンド録画に移行しても録画終了時間の設定は有効です。

本体録画（5分）をする

- 録画したビデオはFOMA端末のデータBOXの「ワンセグ」の「ビデオ」に保存されます。再生方法☞P283

1 **ワンセグ視聴画面でMenu 9 2**
REC が表示され、録画が開始されます。
- TVキー設定が「本体録画（5分）」のときは、TV/◎を押しても開始できます。

2 **録画を終了するにはTV/◎ ▶ はい**
- テレビ操作モードではクリアでも終了できます。
- 確認画面を表示せずに終了：TV/◎（1秒以上）

おしらせ

- 番組によっては、録画開始操作を行った時点より少し前の映像や音声から録画される場合があります。
- データ放送操作モード中（データ拡大時）に録画を開始するとデータ放送領域が縮小されます。

バックグラウンド録画について

ワンセグを起動せずに予約録画を開始したときや、microSD 録画を継続してワンセグを終了したときは、バックグラウンド録画になります。

- バックグラウンド録画中は待受画面にアイコンが表示されます。

：録画中
：予約録画待機中（開始約1分前より表示）

- 録画中は決定キーの照明が約6秒間隔で点滅します。
  赤：正常に録画中　青：放送圏外などで録画停止中
- バックグラウンド録画中は、i アプリ待受画面は表示されません。また、ランダムイメージ設定していても画像は切り替わりません。
- バックグラウンド録画中は使用できない機能があります。スピードメニューは使用できません。

■ バックグラウンド録画を途中で終了：

- 録画待機中に操作すると録画をキャンセルできます。

① TV（1秒以上）▶はい
② ▶録画終了
- microSD録画の終了操作でも終了できます。

録画結果の確認

バックグラウンド録画終了時や、ビデオ録画後のワンセグ視聴終了時は、待受画面にビデオ録画結果アイコンが表示されます。

ビデオ録画結果アイコン
：録画成功
：録画失敗

- を押してビデオ録画結果アイコンを選びを押すと、録画履歴を表示し詳細を確認できます。☛P257
- 録画履歴を表示するとやは消えます。

ビデオ録画時の注意事項

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。メモリの空きの確認☛P261
- 録画中に保存領域の空きがなくなると録画が終了します。
- 録画中や録画待機中はチャンネルの切り替えやチャンネルリストの設定、番組表 i アプリの起動、サービス選局はできません。
- 録画中に放送圏外になっても録画は継続しますが、放送圏外の間の録画データは保存されません。この場合、保存領域の空きに関わらず、録画が長時間継続する場合があります（最大約 11 時間）。ただし、予約録画のときや、microSD録画で終了時間を指定しているときは、録画中に放送圏外になっても指定終了時間で録画が終了します。
- 録画開始直後に放送圏外になり、放送波を受信できないまま録画を終了した場合、録画データが保存されない場合があります。本体録画（5分）の場合、などでワンセグを終了すると、録画データが保存されなかった旨のメッセージは表示されません。
- ハイライト設定、オートカット設定して録画する場合、録画中に電話／プッシュトークをかけたり受けたり、操作音や着信音、アラーム音が鳴ったり、メロディ／キャラ電を再生／表示すると、ハイライト再生してもその間のシーンがカットされずに再生されます。また、オートカット再生してもその間の本編以外のシーンがカットされない場合があります。
- データ放送を録画してご覧になるには、放送波の受信状況がよい状態で少なくとも約 1 分以上録画してください。録画時間が短すぎると、データ放送を表示できない場合があります。
- サイズの大きな PDF データ閲覧など FOMA 端末への負荷が大きな機能を動作させると録画が中断することがあります。

おしらせ

- 録画したビデオのタイトル（一覧に表示される名前）は、放送波から受信した番組名になります。番組名を受信できなかった場合は、「年月日時分＋数字3桁」が表示されます。

ビデオメモリの空きを確認する　メモリ空き領域

1 **ワンセグ視聴画面でMenu[0][4]▶[1]～[2]**
- 表示される時間は目安です。

静止画録画する

- ビデオ録画中、およびデータ放送操作モード中（データ拡大時）は行えません。
- 静止画はデータBOXの「ワンセグ」の「ワンセグイメージ」フォルダに保存されます。表示方法☛P272
- 最大保存件数☛P439

1 **ワンセグ視聴画面でTV/📷**
- TVキー設定が「本体録画（5分）」のとき：ワンセグ視聴画面でMenu[9][3]

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。
- ビデオ再生中の映像を静止画録画することはできません。
- 静止画のファイル名や表示名には、静止画を保存した日時が自動的に付けられます。
（例）2008年1月23日12時34分56秒に静止画を保存した場合→20080123123456

視聴中のTVキーの機能を設定する

ワンセグ視聴中にTV/📷を押したときに、静止画録画を行うか、本体録画（5分）を行うかを設定します。

1 **Menu▶ワンセグ▶[7][6][2]▶[1]～[2]**

ワンセグの設定を行う　ワンセグ設定

画面の明るさを設定する　ワンセグ照明設定

ワンセグ視聴中の画面の明るさを設定します。明るいほど電池の消費が多くなります。

1 **Menu▶ワンセグ▶[7][1]▶各項目を設定▶📖**

明るさWコントロール：
ワンセグ視聴中に周囲の明るさや映像に合わせて、ディスプレイの明るさを自動的に調整するかを設定。
AUTO（エコノミー）…やや暗めの明るさまでの範囲で自動調整します。
AUTO（ノーマル）…中程度の明るさまでの範囲で自動調整します。
AUTO（ブライト）…最大の明るさまでの範囲で自動調整します。
- 「OFF」にした場合は輝度を設定します。
- 明るさの自動調整に関する注意事項☛P102「ディスプレイとキーの照明を設定する」のおしらせ

輝度：
明るさを自動調整しない場合に、明るさを設定。

■ **ワンセグ視聴中に設定：**
- 明るさWコントロールの設定：ワンセグ視聴画面でMenu[8][1]▶[1]～[4]
- 輝度の設定：ワンセグ視聴画面でMenu[8][2]▶[1]～[3]
  - ・明るさWコントロールが「OFF」のときだけ設定できます。

横画面にメールの受信結果テロップを表示する　横表示メールテロップ設定

横画面でワンセグ視聴中やビデオ再生中にメールを受信したときに、受信結果テロップを表示するかを設定します。

1 **Menu▶ワンセグ▶[7][5]▶[1]～[2]**

おしらせ

- 本機能の設定は、メール受信・自動表示設定が「操作優先」のときに有効です。「通知優先」の場合は、メール受信時は受信結果画面に切り替わります。
- 本機能を「表示する」にしていても、着信／受信時動作設定のメール受信時動作の設定が「テロップなし」のときは、受信結果テロップは表示されません。
- 「表示しない」にした場合、メール受信時は✉が点滅します。

データ放送の保存データを消去する
放送用保存領域消去

放送用保存領域の保存情報を消去します。

1 Menu▶ワンセグ▶[7][4]

2 系列局を選びMenu[1]▶はい
- 全系列局の放送用保存領域消去：Menu[2]▶端末暗証番号を入力▶はい

データ放送サイトの画像を表示しないようにする
画像表示設定

1 Menu▶ワンセグ▶[7][2]▶[1]～[2]
■ ワンセグ視聴中に設定：ワンセグ視聴画面でMenu[6][2]▶[1]～[2]

おしらせ

● 本設定はデータ放送サイトの画像表示に関する設定であり、「OFF」にしてもデータ放送の画像は表示されます。
● 設定はｉモードの表示・効果設定およびビデオ再生時の設定にも反映されます。☛P162、P283

データ放送サイトの効果音を鳴らさないようにする
効果音設定

1 Menu▶ワンセグ▶[7][3]▶[1]～[2]
■ ワンセグ視聴中に設定：ワンセグ視聴画面でMenu[6][3]▶[1]～[2]

おしらせ

●「OFF」に設定するとデータ放送の効果音も鳴りません。
● 本設定を「ON」にしても、データ放送やデータ放送サイトに効果音情報がないときは鳴りません。
● 設定はビデオ再生時の設定にも反映されます。☛P283

設定内容を確認する
ワンセグ設定状況確認

1 Menu▶ワンセグ▶[7][8]

データ放送サイトでユーザ確認画面を表示する
確認表示設定リセット

データ放送、番組表ｉアプリの操作中や、録画予約の登録時に「はい（以後非表示）」を選択して表示されなくなった確認画面を、再度表示されるようにします。

1 Menu▶ワンセグ▶[7][7]▶端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ

● 以下を行った場合も確認画面が表示されるようになります。
- ワンセグ設定リセット
- データ一括削除
- 各種設定リセットの「ワンセグ設定」
- FOMAカードの差し替え

ワンセグ設定をお買い上げ時の状態に戻す
ワンセグ設定リセット

- 以下の設定や情報がリセットされます。
  - ・音量
  - ・字幕表示設定
  - ・ピクト表示設定
  - ・主／副音声設定
  - ・ワンセグ照明設定
  - ・画像表示設定
  - ・効果音設定
  - ・横表示メールテロップ設定
  - ・録画モード設定
  - ・TVキー設定
  - ・前回視聴時のチャンネルおよびサービス選局の情報
- リセットすると、「はい（以後非表示）」を選択して表示されなくなった確認画面が再度表示されます。

1 Menu▶ワンセグ▶[7][9]▶端末暗証番号を入力▶はい

フルブラウザ

パソコン向けホームページを表示する

フルブラウザ

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

例　URLを入力して表示するとき

1　i 9 3 1 ▶URLを入力（半角512文字まで）▶ 文

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。
- 接続中に ● を押すと接続を中止できます。また、データ取得中に クリア を押すとデータの取得を中断できます。

■ **ホームページを表示：i 9 1**

- あらかじめホームページとして登録したページに接続されます。☛P269

■ **ブックマークから選択：i 9 2 ▶フォルダを選び ● ▶ブックマークを選び ●**

- ブックマークに登録☛P267

■ **URL入力履歴を使って表示：i 9 3 2 ▶URLを選び ●**

- URL入力履歴は、新しい順に最大20件記録されます。

■ **以前に表示したページに再接続（ラストURL）：i 9 4 ▶ラストURLを選び ●**

- ラストURLは、新しい順に最大10件記録されます。
- ページによっては表示できないことがあります。また、以前に表示したページと異なることがあります。

2　利用する

- 「注意事項の詳細」を選択すると注意事項が表示されます。必ずお読みください。
- アクセス設定を「利用する」にしている場合は、操作2は不要です。

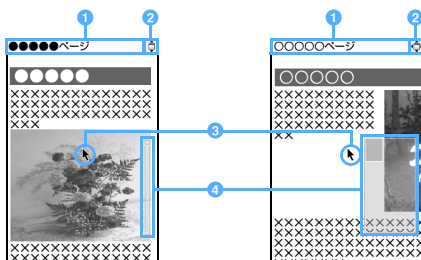
3　インターネットホームページを見終わったら ⌒ ▶はい

おしらせ

- ページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示
  - プラグイン
  - 音の再生
  - 画面メモ保存
  - Phone To（AV Phone To）
- 画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - □：データ取得中や、画像表示設定で画像を表示しない設定にしているとき
  - □：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ☒：画像のURL誤りなどで画像を表示できないとき
- データ取得中は実行できない機能があります。
- ブックマークのフォルダ一覧やブックマーク一覧、URL入力履歴一覧、ラストURL一覧から行える操作やURLの入力方法はiモードと同じです。☛P151、P154
- ページによっては自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、確認画面が表示されます。
- フルブラウザではSSL/TLS対応のページを表示できます。SSL/TLSは、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。
  - SSL/TLS通信にFOMA端末に保存されているユーザ証明書またはオリジナル証明書が必要な場合、証明書の選択画面が表示されます。
  - SSL/TLS通信中は SSL が表示されます。
  - SSL/TLS対応ページ表示中に Menu を押し「表示」→「証明書詳細表示」を選択するとページの証明書を表示できます。
  - SSL/TLS対応ページの表示を終了するときは確認画面が表示されます。

フルブラウザの表示について

フルブラウザ画面の見かた

フルブラウザ画面の表示モードにはケータイモードとPCモードがあります。ケータイモードでは、FOMA端末の画面幅に合わせてページ内容が表示され、上下にスクロールして表示できます。PCモードでは、FOMA端末の画面幅で折り返さずにページ内容が表示され、上下左右にスクロールして表示できます。
お買い上げ時はケータイモードに設定されています。

❶ **状態表示／ページのタイトルまたはURL**
- ：フレームサムネイル表示中☛P266
- ：フレーム拡大表示中☛P266
- （緑）：データ取得中
- （黒）：フレーム拡大表示中に他フレームのデータ取得中
- ：PDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルのダウンロード中

❷ **表示モードアイコン**
：ケータイモード　：PCモード

❸ **ポインター**
ポインターを表示すると、パソコンのようにポインターを使って操作できます。☛P265

❹ **ビューポジション**
ページ表示時や画面スクロール時などに、ページ内の現在表示中の範囲を示すバーが約1秒間表示されます（サムネイル表示中を除く）。
赤：表示中の範囲（表示色は変更できます。）
グレー：表示していない範囲
- 枠のサイズは表示モードやページによって変わります。

● マルチウィンドウの表示☛P266

■ **ケータイモードとPCモードの切り替え：[m][4]**
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

■ **スクロール：ケータイモードでは[↕]、PCモードでは[✥]**
- ポインター表示中は、ポインターを画面の端まで移動するとスクロールします。

■ **画面単位のスクロール：**
- ケータイモードのとき：
[1]／[2]／[3]／[↩]で上スクロール
[7]／[8]／[9]／[✉]で下スクロール
ポインター表示中は[↩]、[✉]は使用できません。
- PCモードのとき：[1]～[4]、[6]～[9]
（キーの方向にスクロール）

■ **前のページに戻る／進む：[↩]／[✉]**
- ケータイモードでポインター非表示のときは[←]／[→]で操作します。

■ **ガイド行の表示／非表示の切り替え：[✕]**
- 画面表示設定を「全画面表示」にしている場合のみ有効です。

■ **ページの再読み込み：[Menu][4]**

■ **ページのURLの表示：[Menu][8][1]**
- URLをコピーできます。操作方法は「URLをコピーする」と同じです。☛P160

■ **リンク先のURLの表示：リンクを選び[Menu][8][2]**
- 表示したURLのコピー：[Menu]
以降の操作は「URLをコピーする」の操作2以降と同じです。☛P160

■ **文字コードの切り替え：[Menu][8][5][1]**
- 押すたびにSJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。
- 自動選択：[Menu][8][5][2]
- 文字コードを切り替えても、文字を正しく表示できない場合があります。

■ **アニメーションを最初から再生：[Menu][8][6]**

■ **ビューポジションを手動で表示：[Menu][8][8]**
- 表示色の設定：[Menu][8][9]▶[1]～[3]
- 非表示に設定：[Menu][8][9][4]

■ **URLをメールで送信：[Menu][6]**
表示中のページのURLを本文に入力したメール作成画面が表示されます。

■ **他のページの表示：**
- ホームページの表示：[Menu][1]
- ブックマークから選択：[Menu][2][2]▶フォルダを選び[●]▶ブックマークを選び[●]
- URLを入力して表示：[Menu][3][1]▶URLを入力（半角512文字まで）▶[m]
- URL入力履歴を使って表示：[Menu][3][2]▶URLを選び[●]
- 以前に表示したページに再接続（ラストURL）：[Menu][3][3]▶URLを選び[●]

■ **キー操作一覧を表示：[m][8]**

おしらせ

- スクロールする場合、該当するキーを押し続けると連続スクロールできます。
- ポインター非表示のとき、リンクや入力欄などの選択方法はｉモードのサイト表示中と同じです。ただし、番号付きの項目は、項目に対応するキーを押して選択できません。

ポインターの表示／非表示を切り替える

1 フルブラウザ画面で[#]
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。
- 検索画面表示中、画像選択中などはポインターは表示されません。

ポインターで項目を選択する

1 [✣]でポインターを項目に合わせ[●]

- [✣]を押し続けると連続で移動します。
- 表示されていない範囲があるときは、ポインターを画面の端まで移動するとスクロールします。
- 選択可能な項目にポインターを合わせるとガイド行の中央に「選択」が表示されます。
- ガイド行やサブメニューなどはポインターで選択できません。

おしらせ

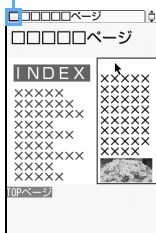
● フレームによってはポインターの移動範囲が制限されることがあります。

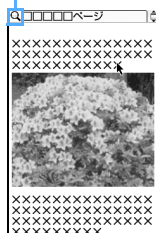
フレーム分割されたページを表示する

最初にフレームサムネイル画面が表示されます。フレームを選択するとフレーム拡大表示画面が表示され、スクロールや項目選択などの操作ができます。

- フレームの分割数が多いページの場合、表示できない場合があります。また、マルチウィンドウ中は、表示できるフレーム数が少なくなります。

1 フレームサムネイル画面からフレームを選び[●]

サムネイル表示中　拡大表示中

フレームサムネイル画面　フレーム拡大表示画面

- ポインター表示中は[✣]でポインターをフレームに移動し[●]を押します。
- ポインター非表示のときは[↕]で枠を移動し[●]を押します。PCモードでは[↔]でも移動できます。
- フレームサムネイル画面に戻す：[クリア]
- リンクを選択したときなどに、自動的にフレームサムネイル画面に戻ることがあります。

おしらせ

● フレームの構成によっては、内容をすべて表示できない場合があります。
● フレームサムネイル画面では以下の操作は行えません。
- スクロール
- リンク先の表示
- 画像、PDFデータ、Word、Excel、PowerPointのファイルの保存
- 検索
- ビューポジションの表示／設定

● 認証が必要なフレームは黄色の枠、スキャン機能で問題が検出されたフレームは赤色の枠で表示されます。

マルチウィンドウで表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つ表示できます。ただし、フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。
- 複数のページを並べて表示できません。

例　リンク先を別ウィンドウに表示するとき

1 フルブラウザ画面でリンク先を選び[m][3][5]

新しいウィンドウに表示されます。今までのページは裏ウィンドウに残ります。

- ホームページを表示：[m][3][1]
- ブックマーク／URL入力／URL入力履歴／ラストURLを使って表示：[m][3]▶[2]～[4]／[6]
- マルチウィンドウ中に、裏ウィンドウの処理に関する確認画面が表示されることがあります。確認画面表示中は、裏ウィンドウのタブが点滅表示されます。
- 表示中のウィンドウや裏ウィンドウでデータ取得中は実行できない操作があります。
- データ取得中に[クリア]を押すと表示中のウィンドウのデータの取得を中断できます。また、[Menu][8]を押すと全ウィンドウのデータの取得を中断できます。

■ **ウィンドウの切り替え：[m][1]▶ウィンドウを選び[●]**

■ **ウィンドウを閉じる：閉じるウィンドウを表示▶[クリア]▶はい**

おしらせ

● リンクによっては、自動的に新しいウィンドウを開くように設定されている場合があります。
● マルチウィンドウ中に表示モードを切り替えると、すべてのウィンドウの表示モードが切り替わります。

横表示する

90度回転してページを表示できます。

1 フルブラウザ画面で[m][6]

縦表示と横表示が切り替わります。

- 横表示ではガイド行は表示されません。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横表示に、縦に戻すと縦表示に切り替わります。ただし、キー操作で切り替えているときは切り替わりません。

横表示中のキー操作について

横表示中は画面単位のスクロールや戻る／進む操作に使用するキーが変わります。

■ **画面単位のスクロール：**

- ケータイモードのとき：
  [3]／[6]／[9]／[✉]で上スクロール
  [1]／[4]／[7]／[ch]で下スクロール
  ポインター表示中は[✉]、[ch]は使用できません。
- PCモードのとき：[1]～[4]、[6]～[9]
  （キーの方向にスクロール）

■ **前のページに戻る／進む：[✉]／[ch]**

- ケータイモードでポインター非表示のときは[←]／[→]で操作します。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードでインターネットホームページを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。

- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 iモードでインターネットホームページに接続

2 [Menu][4][3]▶はい

- アクセス設定で「利用しない」のまま登録したり、[クリア]を押しても、iモードの画面には戻れません。

フルブラウザ画面からの各種操作

ブックマークに登録する

- 最大登録件数☛P439
- URLが半角512文字を超える場合は登録できません。
- ページによってはブックマークに登録できません。

1 フルブラウザ画面で[Menu][2][1]▶登録先フォルダを選び[●]

- 以降の操作はiモードの「ブックマークに登録する」の操作2と同じです。☛P154

画像を保存する

GIF形式、JPEG形式の画像をFOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存できます。また、PNG形式、BMP形式の画像をmicroSDメモリーカードへ保存できます。

- 最大保存件数☛P439
- PNG形式、BMP形式の画像は、microSDメモリーカードの「その他」フォルダに保存され、FOMA端末では表示できません。iモードメールに添付して送信したり、パソコンでmicroSDメモリーカードから取り出すなどして利用できます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は864×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- ファイルサイズが500Kバイトを超える画像は保存できません。
- 保存可能なファイル形式・サイズの画像でも、ページによっては保存できない場合があります。
- 背景画像は保存できません。また、画像以外のデータは取得できません。

1 フルブラウザ画面で[Menu][5]▶画像を選び[●]

- GIF形式、JPEG形式の画像を選択したときは画像の保存画面が表示されます。以降の操作は「画像を取得する」の操作3以降と同じです。☛P157

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面に従って画像を削除してください。

ファイルをダウンロードする

PDFデータ、Word、Excel、PowerPointのファイルをダウンロードできます。

- 受信できるファイルのサイズは最大500Kバイトです。
- Word、Excel、PowerPointのファイルは、microSDメモリーカードを挿入しているときのみダウンロードできます。
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルはダウンロードできません。
- 最大保存件数☛P439

1 フルブラウザ画面でファイル取得用の項目を選び

- ダウンロードの中止：クリア▶はい

2 保存

- 表示：プレビュー
- 保存の中止：戻る▶いいえ

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶

PDFデータは、データBOX内の「マイドキュメント」の「iモード」フォルダに保存されます。☛P311

Word、Excel、PowerPointのファイルは、データBOX内の「その他」フォルダ内のフォルダに保存されます。☛P313

- Word、Excel、PowerPointを保存する場合「その他」フォルダに複数のフォルダがある場合は、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。保存先のフォルダを選択してください。
- ガイド行にが表示された場合は、を押し、を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。

ページ内の文字列を検索する

- ページによっては検索できないことがあります。

1 フルブラウザ画面で

検索画面に切り替わり、画面の下部に検索文字列の入力欄が表示されます。

2 文字列を入力（全角20／半角40文字まで）

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。

- 一致する次の語句を検索：
- 一致する前の語句を検索：
- 検索の終了：

■ **詳細条件の設定：検索画面でMenu▶各項目を設定▶**

- 半角英数字を検索するとき、完全に一致する語句だけを検索するには検索方法を「完全一致」にします。
- 英字の大文字と小文字を区別して検索するときは「大文字と小文字を区別」を「区別する」にします。
- 設定はフルブラウザを終了しても保持されます。

おしらせ

● 検索した文字と検索文字列の入力欄が重なることがあります。その場合はを押して確認してください。

画像をアップロードする

画像のアップロードに対応しているページに、FOMA端末の画像をアップロードできます。

- GIF形式、JPEG形式の画像をアップロードできます。アップロードできるファイルサイズは最大80Kバイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大100Kバイトです。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません（自端末でファイル制限を「あり」にした画像を除く）。また、画像と文字列以外のデータはアップロードできません。
- アップロードの実行方法は、ページにより異なります。

1 画像アップロード対応ページで「参照」▶フォルダを選び▶画像を選び

- microSDメモリーカード挿入時は「参照」を選択後、「本体」または「microSD」を選択します。
- 「参照」はFOMA端末で画像をアップロードできる場合に表示されます。同じページをパソコンなどで表示すると異なるボタンで表示されます。

■ **選択したファイルの変更：参照▶変更**

■ **選択したファイルの解除：参照▶解除**

フルブラウザの設定をする　フルブラウザ設定

- ｉモードの以下の設定はフルブラウザにも有効です。
  - ・接続待ち時間設定　・接続先設定
  - ・証明書管理　・照明設定
  - ・暗証番号入力省略設定

ホームページを設定する　ホーム設定

1 ［iモード］［9］［5］［1］▶**URLを入力(半角512文字まで)**▶［□］

おしらせ

● ホームページに設定するページの表示中に［Menu］を押し「ホーム登録」を選択し「はい」を選択しても設定できます。ただし、URLが半角512文字を超える場合は登録できません。

Cookieについて設定する　Cookie設定／削除

Cookieとは、インターネットホームページにアクセスしたときに、ユーザ名などお客様に関する情報をFOMA端末に一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。たとえば、お客様専用のページを自動的に表示するなどの用途で利用されます。

- Cookieを有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ページによってはCookieを「無効」にすると正しく表示できない場合や、利用できない場合があります。

1 ［iモード］［9］［5］［2］

2 **各項目を設定**▶［□］

Cookie：
　有効（確認なし）…Cookieが常に有効になります。
　有効（毎回確認）…送受信時に確認画面が表示されます。
　無効…Cookieが常に無効になります。
確認：
　Cookieを「有効（毎回確認）」にしたときに、送信時、受信時、送受信時のいずれのときに確認画面を表示するかを選択します。

■ Cookieをすべて削除：［Menu］▶ 端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ

● FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」に設定されます。
● Cookieを「無効」から「有効（確認なし）」または「有効（毎回確認）」に変更するときは、端末暗証番号の入力が必要な場合があります。また、保存されているCookieを削除するかの確認画面が表示される場合があります。
● 保存されているCookieの表示や個別の削除はできません。

Scriptについて設定する　Script設定

インターネットホームページの JavaScript について設定します。

- JavaScriptとは、インターネットホームページで動作するプログラムです。
- ページによっては、Script 実行を「無効」にすると正しく表示できない場合があります。

1 ［iモード］［9］［5］［3］▶**各項目を設定**▶［□］

Script実行：
　JavaScriptを有効にするかを設定。
ウィンドウオープンガード：
　JavaScriptから新規ウィンドウのオープンが指示されたときの動作を設定。
　無効…新規ウィンドウのオープン時に確認画面が表示され「はい」を選択するとウィンドウが開きます。
　有効…新規ウィンドウは開きません。

おしらせ

● ウィンドウオープンガードのフルブラウザ画面での設定：［Menu］▶表示▶自動オープンガード▶はい
● ウィンドウオープンガードを「有効」にした場合、フルブラウザ画面でJavaScriptにより新規ウィンドウのオープンが指示されてウィンドウオープンガード機能が働くと、表示モードアイコンの位置に［アイコン］が表示されます。

表示モードを設定する　表示モード設定

フルブラウザ起動時の表示モードを、ケータイモード、PCモードから選択します。

1 ［iモード］［9］［5］［4］▶［1］〜［2］

画像の表示について設定する　画像表示設定

1 [i][9][5][5]▶**各項目を設定**▶[m]

画像：
画像やアニメーションを表示するかを設定。
表示しない…アニメーションは設定できません。

アニメーション：
アニメーションを再生して表示するかを設定。
表示しない…アニメーションの最初のコマが表示されます。

おしらせ

● フルブラウザ画面からの操作：[Menu]▶表示▶画像表示設定

フルブラウザを利用するかを設定する　アクセス設定

1 [i][9][5][6]▶**利用する／利用しない**

- 「注意事項の詳細」を選択すると注意事項が表示されます。「利用する」に変更する際には、必ずお読みください。

おしらせ

● FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は「利用しない」に設定されます。

Refererについて設定する　Referer設定

リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかを設定します。

- 「送信する」「毎回確認」「送信しない」から選択します。「毎回確認」にすると、Refererを送信する前に確認画面が表示されます。
- Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 [i][9][5][7]▶[1]～[3]

ガイド行を非表示にする　画面表示設定

フルブラウザ画面のガイド行の表示を消し、ページ内容を全画面に表示します。

- 全画面表示にしても操作は通常の画面と同様に行えます。

1 [i][9][5][8]▶[1]～[2]

データ表示／編集／管理

画像を表示する マイピクチャ／ワンセグイメージ

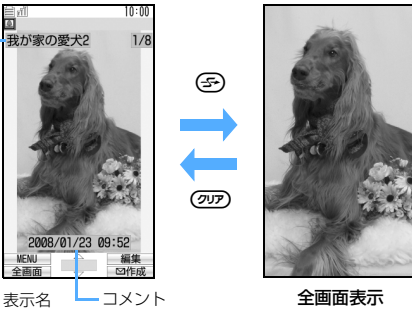
FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、およびワンセグの「ワンセグイメージ」に保存されている画像（静止画、アニメーション、Flash 画像、パラパラマンガ）を表示します。

- 横縦（または縦横）のサイズが480×864より大きいGIF形式の画像やアニメーション、1728×2304より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

例 マイピクチャの画像を表示するとき

1 **◎1▶フォルダを選び◎**
- ｉモードで探す☛P273
- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替え：フォルダ一覧で◎▶1～≡
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☛P294

■ **ワンセグイメージの表示：◎✕1**

2 **画像を選び◎**
画像が表示されます。◎を押すと全画面表示できます。

表示名　コメント　**全画面表示**

- ◎で前後の画像を表示できます。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×432以下の静止画は2倍に拡大して表示されます（画面より大きくなる場合は画面サイズまで拡大）。◎で2倍表示と等倍表示を切り替えられます。
- 画面サイズより大きいJPEG形式の静止画の拡大表示：◎▶◎（20%拡大）／Menu（20%縮小）
  - ・拡大表示中は◎でスクロールできます。
  - ・等倍表示：拡大表示中に◎
  - ・拡大表示終了：クリア
  - ・等倍表示になるとそれ以上拡大できません。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を表示すると自動的に再生されます。次の操作ができます（全画面表示中を除く）。
  - ・一時停止／再生：◎
  - ・最初から再生：Menu 7
  - ・スロー再生：◎（パラパラマンガの停止後のみ）

マイピクチャのフォルダ

フォルダ	保存データ
カメラ	カメラで撮影した静止画、動画／ｉモーションやPDFデータから切り出した静止画
ｉモード	ｉモード、フルブラウザ、ｉモードメール、ｉアプリで取得した画像、ミュージックプレーヤーで保存した画像
デコメピクチャ	お買い上げ時に内蔵されているデコメール用の画像、サイトやｉモードメールなどから取り込んだ画像
デコメ絵文字	お買い上げ時に内蔵されているデコメ絵文字、サイトやｉモードメールなどから取り込んだデコメ絵文字
アイテム	お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレーム画像／スタンプ画像
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されている画像
データ交換	バーコードリーダーで読み取った画像、microSDメモリーカードや外部機器から取り込んだ画像

- アルバム（フォルダ）を作成できます。☛P300

画像一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

1 取得元
- ：カメラ　：ｉモード
- ：内蔵　：アイテム
- ：データ交換　：ワンセグ※1

※１：ワンセグイメージでのみ表示

2 画像の種類
表示なし：静止画
- ：パラパラマンガ
- ：アニメーション、Flash画像
- ：位置情報あり

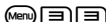
3 ファイル形式
- GIF：GIF形式　JPG：JPEG形式
- ：SWF（Flash画像）

表示なし：パラパラマンガ
- ／／：FOMAカード動作制限あり

4 ファイル制限
- ：ファイル制限なし
- ：ファイル制限あり

- 「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダでは「ｉモードで探す」が表示されます。☛P273
- サムネイル表示では以下の画像が表示される場合があります。
  ：プレビュー画像なし
  ：FOMAカード動作制限あり（デコメ絵文字以外）
  ：FOMAカード動作制限あり（デコメ絵文字）
- 表示名などを変更する☛P302

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：**

■ **位置情報の利用：位置情報がある画像を選び** Menu 3 3
- 以降の操作は「自分のいる場所を確認する」の操作2と同じです。☛P237

■ **メールに添付して送信：画像を選び**
画像が添付されているメール作成画面が表示されます。
- ワンセグイメージは添付できません。
- 画像のファイルサイズが 90K バイト以下の場合は確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルにするには「いいえ」を選択します。
- 画像サイズがQVGA（240×320または320×240）を超えるJPEG形式の画像の場合は確認画面が表示され、QVGAに変換できます。
- 添付できる画像の条件☛P174

「ｉモードで探す」を選択すると

以下の画面から「ｉモードで探す」を選択して「はい」を選択すると、ｉモードサイトに接続して、データやｉアプリを検索し、ダウンロードできます。
- ● データ BOX のマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マチキャラ、きせかえツールのフォルダ一覧、「ｉモード」フォルダのデータ一覧（マイピクチャでは「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダの画像一覧からも実行可能）
- ● ミュージックプレーヤーのフォルダ一覧
- ● ｉアプリのソフト一覧（お買い上げ時に登録されているフォルダのみ）
- ● メールテンプレート一覧

「ｉモードで探す」は一覧の最後のページに表示されます。

スライドショーを見る

フォルダ内の画像を自動的に切り替えて表示します。
- 切り替え速度と順序は動作設定に従います。
- ワンセグイメージでは行えません。

1 **1 ▶フォルダを選び Menu 6**
- フォルダ内のすべての画像を表示すると、フォルダ一覧に戻ります。
- パラパラマンガは表示されません。
- 途中で終了：クリア

画像を待受画面などに設定する

- ワンセグイメージは設定できません。
- 画像によっては待受画面に設定できない場合があります。
- 画像サイズが480×864を超える画像は待受画面以外には設定できません。
- 画像サイズが640×480を超える画像は電話帳に登録できません。
- 画像サイズが176×144を超える画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、テレビ電話画像のうち代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモには設定できません。
- メールの送信画像、受信画像、着信結果画像に設定した画像は、メッセージR/F受信時や、SMS送受信時にも表示されます。

1 **1 ▶フォルダを選び ▶画像を選び Menu 2 ▶設定先を指定**
- 設定先によっては確認画面が表示されます。
- 待受画面に設定する場合、画像によっては等倍表示と拡大表示を選択できます。
- 登録済みの電話帳に更新登録する場合は相手を選択します。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画（最大９枚）を選択してパラパラマンガを作成します。
- 画像サイズが480×864を超える静止画は登録できません。
- 登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。microSDメモリーカードへの保存やメール添付、赤外線／iC送信もできません。

1 **1 ▶フォルダを選び**
- ワンセグイメージ一覧からも行えます。

2 **Menu 4 1**
■ **解除：パラパラマンガを選び Menu 4 2**

3 **画像を選び**
選択した順に画像に番号が表示されます。
- すべての選択の解除：Menu

4 **▶表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶**
- サムネイル表示では最初のコマが表示されます。

おしらせ
- ● 連続撮影した静止画はパラパラマンガの形式で保存されており、解除すると1枚ずつの静止画になります。ファイル名の末尾には「-１」「-２」のように番号が付きます。

画像表示時の動作を設定する　動作設定

1 ⓞ1▶Menu5▶**各項目を設定**▶📖

一覧の画像表示：
あり…サムネイル表示します（お買い上げ時）。
なし…タイトル表示します。

タイトル表示：
画像表示画面に表示名を表示するかを設定（お買い上げ時：あり）。

番号表示：
画像表示画面に件数を表示するかを設定（お買い上げ時：あり）。

コメント表示：
画像表示画面にコメントを表示するかを設定（お買い上げ時：あり）。

小さい画像の拡大：
表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかを設定（お買い上げ時：なし）。
- 「あり」にしても全画面表示では拡大されません。

効果音再生：
画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかを設定（お買い上げ時：あり）。

全画面時の自動スクロール：
「あり」にすると、画面より大きいJPEG形式の静止画表示中にⓢを押したとき、自動的にスクロールして表示（お買い上げ時：なし）。
- 縦横の比率が画面とほぼ同じ場合はスクロールしません。
- スクロール中にⓔを押すと停止／再開できます。

スライドショーの切替え速度：
「速い」「普通」「ゆっくり」から選択（お買い上げ時：普通）。

スライドショーのランダム表示：
画像をランダムに表示するかを設定（お買い上げ時：なし）。

静止画を編集する

FOMA端末のマイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

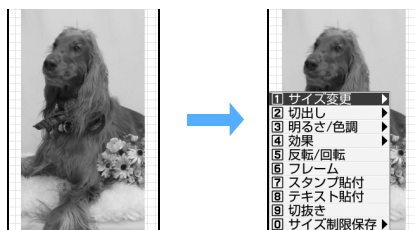
編集項目	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※1
サイズ変更	1728×2304 （拡大／縮小は480×864）
切出し	1728×2304 （範囲指定は1920×1080）
明るさ／色調	480×864
効果	480×864
反転／回転	480×864
フレーム	480×864
スタンプ貼付	480×864
テキスト貼付	480×864
切抜き	480×864
サイズ制限保存	1728×2304 （2Mバイト以下の静止画では480×864）
補正	480×864

※１：画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

- 次の静止画は編集できません。
  - ・ワンセグイメージ、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の静止画
  - ・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」にした静止画を除く）
  - ・縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画

1 ⓞ1▶**フォルダを選び**ⓔ▶**静止画を選び**📖

静止画編集画面が表示されます。
- 補正する☛P277

2 Menu▶**静止画を編集**

静止画編集画面　　編集メニュー画面

- 編集方法☛P275「編集メニューの操作」

3 編集が終わったら● ▶ 保存

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは「フレーム・スタンプ用」を選択します。
  フレーム候補･スタンプ候補にできる画像の条件☛P304
- デコメ絵文字として利用できる静止画は「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- メールに添付して送信：静止画編集画面で✉

おしらせ

- 明るさ／色調や効果などの編集を行うと、画像が小さく表示されることがあります。そのまま保存しても画像サイズに影響はありません。保存した画像は、正しいサイズで保存されています。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。

編集メニューの操作

サイズを変更する

- サイズを変更すると画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で 1 ▶ 画像サイズを変更

■ **指定サイズに変更：1～9／0**

指定サイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。◎／◎でサイズ枠の位置を調整し●を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定サイズに変更されます。

- 縦横比を無視して静止画全体を指定サイズに収める（ストレッチ）：Menu
- 縦横比を保持したまま静止画全体を指定サイズに収める（フィット）：📖

■ **拡大／縮小：**

① ✕ ▶ ◎で拡大／縮小

縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大／縮小します。

- Menuを押すと20%ずつ縮小、📖を押すと20%ずつ拡大します。
- 縦横のどちらかが864ドットになるまで拡大、8ドットになるまで縮小できます。

② ●

任意のサイズに切り出す

サイズや範囲を指定して、静止画の一部を切り出します。

- 元の静止画が16×16より小さい場合は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で 2 ▶ 静止画を切り出す

■ **指定サイズに切り出し：**

① 1～9／0

② ◎で切り出し枠の位置を調整

- 切り出し枠の縦横の切り替え：📖
- 切り出しサイズの切り替え：⇄
- 範囲指定に切り替え：Menu

③ ●

■ **範囲指定して切り出し：**

① ✕ ▶ ◎で ✛ の位置を調整 ▶ ●

範囲指定枠の左上位置が設定され、右下に ✛ が表示されます。

② ◎で ✛ の位置を調整 ▶ 📖

切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。

- 📖の代わりに●を押すと、左上位置を再度変更できます。
- 📖を押した後に ◎ で範囲指定枠を移動できます。

③ ●

明るさや色調を変更する

1 編集メニュー画面で 3 ▶ 明るさや色調を変更

■ **明るさの調整：**

① 1 ▶ ◎で明るさを調整

- 最大にする：📖
- 最小にする：Menu

② ●

■ **色調の変更（モノトーン／セピア）：2～3**

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で 4 ▶ 1～6

ぼかし…ぼかします。
球面…中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス…鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき…中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら…きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク…モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で 5 ▶ 静止画を反転／回転

- 上下反転：◎
- 左右反転：◎
- 左90度回転：Menu
- 右90度回転：m

2 ●

フレームを重ねる

1 編集メニュー画面で 6

編集している静止画と同じサイズのフレームが一覧表示されます。

- お買い上げ時に登録されているフレームは、176×144、240×320、480×640、480×864の画像サイズに対応しています。
- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選び● ▶ 静止画を確認

- フレームの切り替え：◎
- フレームの180度回転：Menu

3 ●

スタンプを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 7

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが一覧表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像、およびお買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。

2 スタンプを選び●

3 ◎でスタンプを移動 ▶ ●

- 続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り付けたスタンプをすべて削除：Menu

4 m

文字を貼り付ける　テキスト貼付

1 編集メニュー画面で 8 ▶ 各項目を設定 ▶ m

テキスト：
全角20／半角40文字まで入力可。

文字の種類：
文字の種類を設定。

文字のサイズ：
文字のサイズを設定。

文字色：
文字の色を設定。

文字縁取り色：
文字の縁取りの色を設定。

背景色：
文字の背景色を設定。

貼り方：
文字をまとめて貼り付けるか、1文字ずつ異なる位置に貼り付けるかを設定。

2 ◎で文字を移動 ▶ ●

- 続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り方が「一字ごと」の場合は、●を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字が表示されます。
- 貼り付けた文字をすべて削除：Menu

3 m

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で 9 ▶ ◎で切り抜く色に ＋ を合わせ●

- 続けて別の部分を切り抜くことができます。

2 m

ファイルサイズを制限して保存する

ファイルサイズをメール添付用（小）サイズ（90Kバイト以下）、メール添付用（大）サイズ（2Mバイト以下）に制限して保存します。

1 編集メニュー画面で 0 ▶ 1 ～ 2

同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- サイズが480×864を超える静止画では「メール添付用（小）」は選択できません。
- 2Mバイト以下の静止画では「メール添付用（大）」は選択できません。

明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては、補正してもあまり変化しないことがあります。

1 静止画編集画面で

2 で補正モードを切り替え

静物…静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景…背景を適切に補正します。
風景…風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌…人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け…人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ…人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い…人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- Menuを押して1～7を押しても、補正モードを選択できます。

3 でレベルを調整

- 最大に設定：
- 最小に設定：
- レベルにより、明るさや色合いが変わります。

4

- 以降の操作は「静止画を編集する」の操作3と同じです。☛P275

画像をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービス

電話帳お預かりサービスを利用して、画像をお預かりセンターに保存できます。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

画像を保存する

- 100Kバイトを超える画像は保存できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません（自端末でファイル制限を「あり」にした画像を除く）。
- ワンセグイメージ、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像は保存できません。
- お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。☛P88

1 1▶フォルダを選び

2 Menu56▶画像を選び▶

- 最大10件選択できます。

3 はい▶端末暗証番号を入力

画像がお預かりセンターに保存され、実行結果が表示されます。

- 実行結果は約5秒後に消えます。

おしらせ

● 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

画像を復元する

お預かりセンターに保存されている画像を、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存します。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーション

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

1 4▶フォルダを選び

- ｉモードで探す☛P273
- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替え：フォルダ一覧で▶4～6
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☛P294

2 動画／ｉモーションを選び

❶ **再生音量**：現在の音量
❷ **サラウンドのON／OFF**☛P280
❸ **データ種別**

A：音声あり　V：映像あり

- 本FOMA端末では動画／ｉモーションのテキスト（テロップ）は再生されません。

④ **拡大／縮小表示☛P280**

拡大表示中　　縮小表示中

表示なし：等倍表示中

⑤ **再生時間**：現在の再生時間／総再生時間

⑥ **再生状態**

PLAY：再生中

STOP：停止中

PAUSE：一時停止中

- 動作設定の表示画像の拡縮が「なし」の場合、動画を縮小して再生するときはメッセージが表示されます。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

  ：一時停止／再生、先頭から再生（停止後）

  ：音量調整　　：停止

  ：早送り再生※1　　：巻戻し再生※1

  クリア：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）

  ※1：ｉモーションによっては行えないことがあります。
- 部分保存したｉモーションは再生できません。選択すると確認画面が表示され「はい」を選択すると取得が開始されます。
  - 再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータを取得できません。確認画面が表示され、部分保存したｉモーションを削除できます。
  - 再取得が不可能なエラーを検出した場合、部分保存したｉモーションが削除されることがあります。
- 再生が中断したときは、次回再生時にその位置から再生されます。中断位置は、FOMA端末／microSD メモリーカードでそれぞれ新しい順に最大5件記録されます。
  再生中に電源を切ったときなどは、中断位置は記録されません。

■ **横向きで再生：再生中に**

- 押すたびに縦横が切り替わります。
- 画像サイズが320×240の動画／ｉモーションは、横再生中にを押すと画面の幅いっぱいに拡大されます（ワイド再生）。もう一度を押すと通常再生に戻ります。ワイド再生では画像の上下が表示されません。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると横再生／ワイド再生に、縦に戻すと通常再生に切り替わります。

■ **チャプターの利用：**

チャプター付きのｉモーションでは、次の操作ができます。

機　能	操　作
チャプター戻し	再生中に4
チャプター送り	再生中に6
チャプター一覧から選択	再生中にMenu5▶チャプターを選び※1

※1：チャプターを選びMenuを押すと再生開始位置を確認できます。

- チャプター付きのｉモーションでも、チャプター戻し／チャプター送りの一方しか行えない場合や、現在の再生位置より前または後のチャプターを選択できない場合があります。
- チャプター一覧からは、現在の再生位置にごく近いチャプターは選択できません。また、ｉモーションの先頭から約1秒間は、チャプター一覧は表示できません。

■ **しおりの設定：**

しおりを設定すると、動画／ｉモーションを一覧から再生するときに確認画面が表示され、しおりの位置から再生できます。

- FOMA端末内の動画／ｉモーション全体で1つ、microSDメモリーカードの「動画」「動画」「その他の動画」でそれぞれ1つだけ設定できます。
- 再生制限が設定されているｉモーションでは設定できません。

① **再生中にしおりを設定したい位置で▶はい**
- 続けて再生：
- しおりの解除：再生を停止させてから

■ **再生制限（回数／期限／期間）が設定されているとき：**

再生時に確認画面が表示され、制限内容を確認できます。

- 再生期間前は再生できません。また再生回数／期限／期間を超過すると再生できなくなり、確認画面で「はい」を選択するとｉモーションが削除されます。
- 残り再生回数／期限／期間は詳細情報参照で確認できます。
- 期限外や期間外のときにFOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。

ｉモーションのフォルダ

フォルダ	保存データ
プレイリスト	FOMA端末で作成したプレイリスト☛P282
カメラ	カメラで撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ
ｉモード	ｉモードやｉモードメールで取得したｉモーション、microSDメモリーカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているｉモーション
データ交換	microSDメモリーカードや外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーション以外）

• アルバム（フォルダ）を作成できます。☛P300

動画／ｉモーション一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

❶ 取得元
- ：カメラ
- ：ｉモード
- ：内蔵
- ：データ交換
- ：テレビ電話

❷ 再生制限
- ：再生制限なし
- ：回数制限あり
- ：期限制限あり
- ：期間制限あり

❸ ファイルの種類
- ：MP4
- ：しおり付きMP4
- ：ASF
- ：しおり付きASF
- ：部分保存したｉモーション
- ：FOMAカード動作制限あり

❹ ファイル制限
- ：ファイル制限なし
- ：ファイル制限あり

•「ｉモード」フォルダでは「ｉモードで探す」が表示されます。☛P273
• サムネイル表示では以下の画像が表示される場合があります。
  - ：音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など、映像のないｉモーション）、部分保存したｉモーション、再生制限により再生できないｉモーション、サウンドレコーダーで録音した音声
  - ：サムネイル画像が取得できない
  - ：FOMAカード動作制限あり

• 表示名などを変更する☛P302

■ サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：[✉]

■ メールに添付して送信：動画／ｉモーションを選び[✉]

動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
• 添付できる動画／ｉモーションの条件☛P174

おしらせ

● 次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。再生できる画像サイズは48×48〜640×480です。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4
	音声	G.726

● ｉモーションによっては、再生画面の総再生時間が「-：--：--」と表示される場合があります。このとき、次の機能は利用できません。
• 早送り再生／巻戻し再生
• しおりからの再生、再生停止位置からの再生
• チャプターを利用した操作

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する

• 画像サイズが320×240を超える動画／ｉモーション、部分保存したｉモーションは設定できません。また、ASF形式の動画／ｉモーションは待受画面以外には設定できません。
• 待受画面には映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーションは設定できません。
• 電話帳、着信画像には映像のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。
• 着モーション（着信音）、着信画像には、詳細情報の着信音設定、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションを設定できます。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  ・赤外線通信／iC通信やドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末に戻したもの
  ・コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したもの（FOMA端末からコピー／移動した動画／ｉモーションを、もう一度FOMA端末にコピー／移動した場合も含む）
• プッシュトーク着信音には、音声のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。

1 ⓞ[4]▶フォルダを選び◉▶動画／ｉモーションを選び[Menu][2]▶設定先を指定

- 設定先によっては確認画面が表示されます。
- 待受画面に設定する場合、画像サイズによっては等倍表示と拡大表示を選択できます。
- メモリ指定電話着信音／メモリ指定メール着信音に設定する場合、または登録済みの電話帳に更新登録する場合は相手を選択します。

おしらせ

- プレイリストの動画／ｉモーション一覧からの操作：[Menu]▶動画の利用
- 動画／ｉモーションによっては、待受画面などに設定できない場合があります。

動画／ｉモーション再生時の動作を設定する　動作設定

1 ⓞ[4]▶[Menu][5]▶各項目を設定▶[m]

一覧の画像表示：
　あり…サムネイル表示します（お買い上げ時）。
　なし…タイトル表示します。

表示画像の拡縮：
　表示領域サイズに合わせて拡大／縮小して再生するかを設定（お買い上げ時：なし）。
　あり…表示領域サイズに拡大／縮小して再生します。
　なし…画像サイズにより以下のサイズで再生します。

画像サイズ	再生サイズ
240×200以下	2倍に拡大
240×200を超え320×240以下	表示領域サイズ
320×240を超え表示領域サイズ以下	等倍
表示領域サイズを超える	表示領域サイズ

リピート再生：
　プレイリストの再生時、およびmicroSDメモリーカードからの連続再生時にリピート再生するかを設定（お買い上げ時：ON）。

照明設定：
　再生中の照明を設定（お買い上げ時：常灯）。
　端末設定に従う…ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

音量：
　再生時の音量を設定（お買い上げ時：レベル13）。

サラウンド：
　動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかを設定（お買い上げ時：OFF）。

おしらせ

- サラウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P95
- 照明設定は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモーション）、Music&Videoチャネルの照明設定にも反映されます。☛P102、P319

動画／ｉモーションを編集する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - ・自端末で撮影した動画
  - ・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限、再生制限がないもの
- お買い上げ時に登録されているｉモーション、ASF形式の動画は編集できません。また、符号化形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。
- 選択切り出し、サイズ切り出しを行うとき、動画にテロップのデータが含まれていると確認画面が表示されます。切り出した動画／ｉモーションにテロップのデータは付きません。

静止画を切り出す　キャプチャ

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します（キャプチャ）。

- 切り出し時の表示サイズの画像が保存されます。

1 ⓞ[4]▶フォルダを選び◉▶動画／ｉモーションを選び◉

動画／ｉモーションが再生されます。

2 切り出す位置で[Menu][6]▶[m]

静止画がキャプチャされ、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

■ **メールに添付して送信：**[✉]
　静止画が保存され、静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。
- 静止画のファイルサイズが90Kバイト以下の場合は確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルにするには「いいえ」を選択します。

動画／ｉモーションを切り出す　選択切り出し

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

- ファイルサイズが11Kバイト～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。

1 **[4]▶フォルダを選び▶動画／ｉモーションを選び[Menu][4][1]**

選択切り出しモードになり、が表示されます。

2 **（始点）▶切り出しを終える位置で（終点）**

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- （始点）を押した後で操作をやり直すには[クリア]、切り出しを中断するには[Menu]を押します。
- （終点）を押さずに最後まで再生すると自動的に切り出しが終了します。

■ **切り出しサイズの上限の設定：（始点）を押す前の画面で[Menu]▶メール添付用（小）／メール添付用（大）／設定なし**

- メール添付用（小）では500Kバイト、メール添付用（大）では2047Kバイトが設定されます。
- 切り出し元のファイルサイズにより設定できない場合や、選択できない項目があります。

3 **表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[]**

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションの再生：[]**

■ **メールに添付して送信：[]**

切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

ファイルサイズを指定して切り出す　サイズ切り出し

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- ファイルサイズが11Kバイト～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。
- 指定できるファイルサイズは10Kバイト～2047Kバイトです。ただし、上限は動画／ｉモーションにより異なります。

1 **[4]▶フォルダを選び▶動画／ｉモーションを選び[Menu][4][2]**

2 **切り出しサイズを入力**

■ **メール添付サイズに設定：[Menu]▶メール添付用（小）／メール添付用（大）**

- メール添付用（小）では500Kバイト、メール添付用（大）では2047Kバイトが設定されます。
- 切り出し元のファイルサイズにより設定できない場合や、選択できない項目があります。

3 **表示名を入力して保存**

- 操作方法は「動画／ｉモーションを切り出す」の操作3と同じです。☛P281

プレイリストを管理／利用する

プレイリストとは、動画／ｉモーションを再生する順番を登録するリストです。登録した動画／ｉモーションだけを順番に再生できます。

- プレイリストは最大100件作成できます。
- 1件のプレイリストには、最大100件の動画／ｉモーションを登録できます。
- FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションのみ登録できます。
- 部分保存したｉモーション、回数制限が設定されているｉモーションは登録できません。期限制限／期間制限が設定されているｉモーションは、期限内／期間内であれば登録できます。

プレイリストを作成する

プレイリストを作成し、動画／ｉモーションを登録します。

1 Ⓒ[4]▶プレイリスト▶(Menu)[1]

- プレイリストが1件もないときは「プレイリスト」を選択すると確認画面が表示されます。「はい」を選択します。

2 表示名を入力（全角10／半角20文字まで）▶(ⅲ)

3 動画／ｉモーションが保存されているフォルダを選び●▶動画／ｉモーションを選び●▶(ⅲ)▶はい

おしらせ

- プレイリストが最大保存件数を超えるときは、画面に従ってプレイリストを削除してください。

プレイリストを再生する

1 Ⓒ[4]▶プレイリスト▶プレイリストを選び●

- 動画／ｉモーションが1件も登録されていないときは確認画面が表示されます。「はい」を選択してフォルダを選択し、動画／ｉモーションを選択して(ⅲ)を押し、「はい」を選択します。

2 再生を開始する動画／ｉモーションを選び●

- 動作設定のリピート再生がONの場合、(リピート)が表示され、プレイリストの最後まで再生すると先頭に戻って再生されます。OFFの場合、最後まで再生すると動画／ｉモーション一覧に戻ります。
- 再生中は次の操作ができます。

  ●：一時停止／再生　Ⓒ：音量調整

  (S)：動画／ｉモーションの先頭に戻る、前の動画／ｉモーションに戻る

  (✉)：次の動画／ｉモーションに進む

  (ⅲ)：停止

  (クリア)：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）
- 横再生／ワイド再生、しおり位置からの再生、チャプターの操作、早送り／巻戻しはできません。

プレイリストを編集する

1 Ⓒ[4]▶プレイリスト

■ プレイリスト名の変更：プレイリストを選び(Menu)[2]▶表示名を入力（全角10／半角20文字まで）▶(ⅲ)

2 プレイリストを選び●

3 プレイリストを編集

■ 動画／ｉモーションの登録：

①(Menu)[3][1][1]▶フォルダを選び●▶動画／ｉモーションを選び●

- 複数登録：(Menu)[3][1][2]▶フォルダを選び●▶動画／ｉモーションを選び●▶(ⅲ)
- 全件登録：(Menu)[3][1][3]▶フォルダを選び●▶登録しない動画／ｉモーションを選び●▶(ⅲ)

②はい

■ 動画／ｉモーションの解除：

- プレイリストから解除されますが、保存されている動画／ｉモーションは残ります。

①動画／ｉモーションを選び(Menu)[3][2][1]

- 複数解除：(Menu)[3][2][2]▶動画／ｉモーションを選び●▶(ⅲ)
- 全件解除：(Menu)[3][2][3]▶端末暗証番号を入力

②はい

■ 動画／ｉモーションの並べ替え：

①(Menu)[3][3]

②移動する動画／ｉモーションを選ぶ▶(S)／(✉)で移動

③並べ替えが終了したら(ⅲ)

おしらせ

- 動画／ｉモーションを登録する際に最大登録件数を超えるときは、画面に従って動画／ｉモーションを解除してください。
- 動画／ｉモーションを削除したり、microSDメモリーカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

プレイリストを削除する

1 Ⓒ[4]▶プレイリスト

2 プレイリストを選び(Menu)[3][1]

- 複数削除：(Menu)[3][2]▶プレイリストを選び●▶(ⅲ)
- 全件削除：(Menu)[3][3]▶端末暗証番号を入力

3 はい

ビデオを再生する　ビデオ

本体録画（5分）で録画したビデオはFOMA端末のデータBOXから、microSD録画／予約録画したビデオはmicroSDメモリーカードのデータBOXから再生します。

例 microSDメモリーカードのビデオを再生するとき

1 Menu▶LifeKit▶3 1 9

■ FOMA端末のビデオの再生：◎ × 2

■ FOMA端末のビデオ一覧への切り替え：ビデオ一覧で ▶ 2

■ microSDメモリーカードのビデオ一覧への切り替え：ワンセグイメージ／ビデオの選択画面で

2 ビデオを選び ◎

- 前回、途中まで再生したビデオの場合、確認画面で「はい」を選択すると前回と同じ再生モードで続きから再生されます。
- モーションコントロールにより、FOMA 端末を左に倒して横向きにすると横画面に、縦に戻すと縦画面に切り替わります。✉を押しても切り替わります。
  ・データ放送操作モード中は切り替わりません。

縦画面

横画面

❶ 操作モード（縦画面のみ）☛P253
❷ 画質☛P253
❸ 再生状態
- PLAY：再生中（縦画面のみ）
- STOP：停止中（縦画面のみ）
- PAUSE：一時停止中または再生完了
- FFW／FFW：早送り中／高速早送り中
- REW／REW：巻戻し中／高速巻戻し中
- SKIP：スキップ再生中
- H-SKIP：ハイライト位置送り・戻し中

❹ 再生時間（縦画面のみ）
❺ 音量
- ：消音中
- FM：FMトランスミッター ON☛P330

- 横画面ではアイコンの形状が多少異なります。

■ 一覧画面に戻す：テレビ操作モードで ／ クリア ▶ はい

再生中（テレビ操作モード）の操作

■ 一時停止／再生：◎

■ 音量調整：◎
- 消音／消音解除：
- 音量はワンセグ視聴にも反映されます。

■ 早送り／巻戻し：◎／◎
- 早送り／巻戻し中に◎／◎を押すと高速早送り／高速巻戻しになります。もう一度押すと元の速度に戻ります。
- 通常再生に戻す：◎

■ 再生位置を選択（スキップ再生）：
- 録画時間が3分以下の場合はできません。

① ◎（1秒以上）／◎（1秒以上）
- 停止中はできません。
- ビデオの最後では◎は無効です。

② ◎で再生開始位置を指定▶◎
- ◎を押すたびに約３分単位で再生開始位置が移動し、指定位置の映像が表示されます。
- スピードセレクターを回転しても再生開始位置を選べます。
- 再生できない位置では指定位置より手前の映像が表示され、その位置から再生されます。

■ 画面を消す（音声モード）：Menu 3
- 再表示：O-▬ 以外のキーを押す、またはFOMA端末を開く

■ 画質の設定：Menu 5 7 ▶ 1～4

■ テレビ操作モード／データ放送操作モードの切り替え：

■ 番組情報の表示：Menu 1

■ ヘルプの表示：Menu 8

おしらせ

● 早送り／巻戻し／スキップ再生／ハイライト位置送り・戻し中は、音声は再生されません。また、データ放送領域と字幕領域は表示されません。なお、再度再生を開始すると、データ放送のトップ画面が表示されます。

● 他の携帯電話で録画したビデオは再生できないことがあります。

● 再生画面でMenuを押し、サブメニューから以下の設定が行えます。
- 主／副音声設定※1☛P252
- 音声切替☛P252
- 字幕表示設定※1☛P252
- ピクト表示設定※1☛P252
- 画質設定☛P252
- ワンセグ照明設定※1☛P261
- 画像表示設定※1、※2☛P262
- 効果音設定※1☛P262

※１：ワンセグ視聴時の設定にも反映されます。
※２：ｉモードの表示・効果設定にも反映されます。☛P162

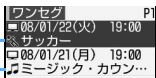
ビデオ一覧の見かた

■ FOMA端末のビデオ一覧

（例）サムネイル表示のとき

- 画面下部に保存領域の使用状況と使用バイト数が表示されます。
- サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：[切替キー]
- 表示名を変更する☛P302

■ microSDメモリーカードのビデオ一覧

ワンセグ P1
08/01/22(火) 19:00
サッカー
08/01/21(月) 19:00
ミージック・カウン…

録画モード／再生可否

[スポーツアイコン]：スポーツモード、またはスポーツモードとオートカット
[音符アイコン]：ミュージックモード、またはミュージックモードとオートカット
AUTO CUT：オートカット
なし：ハイライト設定／オートカット設定OFF
[再生不可アイコン]：再生不可

ハイライト再生する

次の2つのモードがあります。

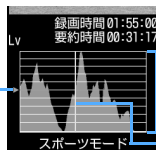
モード	説　明
スポーツモード	スポーツ番組などの音声（アナウンサーの声や歓声など）を解析して盛り上り度合いをグラフで表示し、指定レベル以上のシーンだけを再生します。あらかじめハイライト設定をスポーツモードにして録画してください。
ミュージックモード	音楽番組の演奏中のシーンだけを再生します。あらかじめハイライト設定をミュージックモードにして録画してください。

例　microSDメモリーカードのスポーツモードのビデオを再生するとき

1 **ビデオ一覧からビデオを選び**Menu 5 2

■ **FOMA端末のビデオの再生：FOMA端末のビデオ一覧からビデオを選び**Menu 7 2

■ **ノーマル再生中にハイライト再生に切り替え：再生画面で**[クリアキー]**（1秒以上）**

2 **[上下キー]で再生レベルを調整▶[左右キー]で再生開始シーンを指定**

- 画面上部に再生開始シーンの映像が表示されます。
- ハイライト情報が記録されていない時間帯（録画中に電話をかけた／受けた場合など）や、放送休止中の時間帯はハイライトレベルが最大になります。
- 放送圏外で録画できなかった時間帯はハイライトレベルが0になります。

■ **ミュージックモードのビデオのとき：[左右キー]で再生開始シーンを指定**

3 [決定キー]

指定したシーンから再生されます。

- ハイライト再生中は早送り／巻戻し、スキップ再生はできません。

■ **前後のハイライトシーンに進む／戻る：[右キー]／[左キー]でシーンを選び[決定キー]**

- スピードセレクターを回転しても操作できます。

■ **再生レベルや再生開始シーンの変更：**Menu 7 2▶**操作2**

■ **ノーマル再生に切り替え：**[クリアキー]**（1秒以上）**

おしらせ

- 番組の構成／内容やテレビ受信状況などによっては希望のシーンを抽出できない場合があります。
- 録画時間が約12秒未満の場合や本編以外のシーンのみの場合はハイライト再生できません。
- ハイライト設定して録画していても、受信状態や番組内容などによってはハイライト情報が記録されず、ハイライト再生できない場合があります。
- ミュージックモードの場合、演奏が約90秒以上連続していないと抽出されません。

オートカット再生する

テレビ番組の本編以外を自動的にカットして、本編のみを再生します。ステレオ放送の番組にも対応しています。
- あらかじめオートカット設定をONにして録画してください。

例 microSDメモリーカードのビデオを再生するとき

1 ビデオ一覧からビデオを選び Menu 5 3

■ **FOMA端末のビデオの再生：FOMA端末のビデオ一覧からビデオを選び Menu 7 3**

■ **再生中にオートカット再生とノーマル再生を切り替え：再生画面で Menu 7 ▶ 1／3**

おしらせ

● 番組の構成／内容やテレビ受信状況などによっては本編以外のシーンが再生されたり、本編の一部がカットされる場合があります。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させることもできます。
- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- キャラ電のアクションには、キャラクタ全体が動く「全体アクション」と、部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によってはどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。

キャラ電を表示する　キャラ電

1 ⓘ 8 ▶ フォルダを選び ●

2 キャラ電を選び ●

アクションモード
FULL：全体
PARTS：パーツ

- ダイヤルキーを押すと、そのキーに応じたアクションをします。
- アクションの中止：0

■ **拡大表示と等倍表示の切り替え：ⓘ**

■ **キャラ電の切り替え：Menu 8 1 ▶ フォルダを選び ● ▶ キャラ電を選び ●**

■ **アクションの一覧表示：✉**
現在のアクションモードのアクションの番号（対応するキー）と説明が表示されます。
- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- アクションを選び Menu を押すと説明の全文を確認できます。

■ **全体アクションとパーツアクションの切り替え：✉（1秒以上）**

キャラ電のフォルダ

フォルダ	保存データ
ｉモード	ｉモードでダウンロードしたキャラ電
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているキャラ電

- フォルダを作成できます。☞P300

キャラ電一覧の見かたと操作

❶ 取得元
：iモード
：内蔵

❷ FOMAカード動作制限
：なし　：あり

❸ ファイル制限
：ファイル制限あり

- 表示名などを変更する☛P302

■ **テレビ電話をかける：**
① **キャラ電を選び**
② **電話番号を入力▶**
- 電話帳から電話番号を入力：
- 番号入力後にMenuを押すと、条件を設定してテレビ電話をかけられます。☛P49

■ **テレビ電話の代替画像に設定：キャラ電を選び**
- キャラ電表示画面からの操作：（1秒以上）

■ **待受画面に設定：**
① **キャラ電を選びMenu**
② **アクションの種類とアクション間隔を設定▶**
- 設定内容は「キャラ電のアクションの設定」と同じです。☛P98

③ **はい（等倍表示）／はい（拡大表示）**
- iアプリ待受画面が設定されているときは確認画面が表示されます。

おしらせ

● キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。

キャラ電表示時の動作を設定する　動作設定

1 **▶Menu▶各項目を設定▶**

表示サイズ：
キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定（お買い上げ時：拡大）。

照明設定：
キャラ電表示中の照明を設定（お買い上げ時：端末設定に従う）。
端末設定に従う…ディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。

マチキャラを表示する　マチキャラ

1 **▶フォルダを選び**
- iモードで探す☛P273

2 **マチキャラを選び**
マチキャラが表示されます。
- で前後のマチキャラを表示できます。
- 部分保存したマチキャラを選択すると確認画面が表示され、「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
  ・再ダウンロードが不可能なエラーを検出した場合、部分保存したマチキャラが削除されることがあります。

マチキャラのフォルダ

フォルダ	保存データ
iモード	iモードでダウンロードしたマチキャラ
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているマチキャラ

- フォルダを作成できます。☛P300

マチキャラ一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

© NTT DoCoMo/dentsu

❶ 取得元
：iモード　：内蔵

❷ ファイル種別
：すべてのデータをダウンロード済み
：部分保存した（上半分がグレー）
：FOMAカード動作制限あり

❸ ファイル制限
:ファイル制限あり

- 「iモード」フォルダでは「iモードで探す」が表示されます。☛P273
- FOMA端末の日付・時刻が設定されていないときや、サムネイル画像を表示できないマチキャラ、FOMAカード動作制限機能が設定されているマチキャラでは、サムネイル表示時にファイル種別アイコンと同様の画像が表示されます。
- 表示名を変更する☛P302

■ サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：Ⓢ

■ 待受画面などに設定：マチキャラを選びⓜ
- 部分保存したマチキャラは設定できません。
- 解除：Ⓜ2
- 設定するとマチキャラ設定の表示設定が「ON」に、解除すると「OFF」に変更されます。

■ 情報のリセット：マチキャラを選びⓂ3▶はい
経過時間などの情報がリセットされ、ダウンロード時の状態に戻ります。

メロディを再生する　メロディ

FOMA 端末のデータ BOX のメロディに保存されているメロディを再生します。

1 ⓞ5▶フォルダを選びⓔ
- ｉモードで探す☞P273
- microSD メモリーカードのフォルダ一覧に切り替え：フォルダ一覧でⓈ
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☞P294

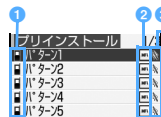
2 メロディを選びⓔ

- メロディの再生中は次の操作ができます。
  ⓞ：音量調整　ⓞ：前後のメロディ再生
  ⓔ／クリア：再生終了（メロディ一覧に戻る）

メロディのフォルダ

フォルダ	保存データ
ｉモード	ｉモードやｉモードメールで取得したメロディ
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているメロディ
メール添付メロディ	お買い上げ時に内蔵されているメール添付用のメロディ
データ交換	バーコードリーダーで読み取ったメロディ、microSDメモリーカードや外部機器から取り込んだメロディ

- アルバム（フォルダ）を作成できます。☞P300

メロディ一覧の見かたと操作

❶ 取得元
- ：ｉモード
- ：ｉモード（3Dサウンド対応）
- ：内蔵
- ：内蔵（3Dサウンド対応）
- ：データ交換
- ：データ交換（3Dサウンド対応）

❷ ファイルの種類
- SMF：SMF　MFi：MFi
- ／：FOMAカード動作制限あり

❸ ファイル制限
- ：ファイル制限なし
- ：ファイル制限あり

- 「ｉモード」フォルダでは「ｉモードで探す」が表示されます。☞P273
- 表示名などを変更する☞P302

■ メールに添付して送信：メロディを選びⓜ
メロディが添付されているメール作成画面が表示されます。
- 下記機種※1以外にメロディを送信した場合、受信側では正しく再生できないことがあります。
  ※1：D703i、D704i、D903i、D903iTV、D904i、D905i
- 添付できるメロディの条件☞P174

メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 ⓞ5▶フォルダを選びⓔ▶メロディを選びⓂ2▶設定先を指定
- メモリ指定電話着信音／メモリ指定メール着信音に設定する場合は電話帳から相手を選択します。

メロディ再生時の動作を設定する　動作設定

1 ⓞ5▶Menu6▶各項目を設定▶ⓜ

音量：
メロディ再生時の音量を設定（お買い上げ時：レベル4）。

イルミネーションパターン：
メロディ再生時の決定キーの照明の点灯パターンを設定（お買い上げ時：メロディ連動）。
- 「メロディ連動」にするとイルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」にすると、メロディによっては決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。

イルミネーションカラー：
メロディ再生時の決定キーの照明の色を設定（お買い上げ時：レインボー）。

バイブレータ：
メロディ再生時の振動パターンを設定（お買い上げ時：OFF）。

再生位置：
全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定（お買い上げ時：フルコーラス再生）。
- 「ポイント再生」に設定しても、メロディによってはポイント再生しないことがあります。

再生画面背景：
メロディ再生時に背景に表示する画像を設定（お買い上げ時：標準）。
- マイピクチャの画像を設定するには「選択」にし、画像を選択します。480×864を超える画像は設定できません。

ステレオ・3Dサウンド：
ON…広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します（お買い上げ時）。
OFF…立体音響のないモノラル再生となります。

おしらせ

● ステレオ・3Dサウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P95

microSDメモリーカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどをmicroSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのバックアップを取ることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した音楽データを microSDメモリーカードに保存し、FOMA 端末で再生したり（☛P322）、パソコンからmicroSDメモリーカード内のデータを操作したりできます（☛P298）。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていない microSD メモリーカードは、FOMA 端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断したmicroSDメモリーカードの動作は保証できません。☛P297
- パソコンなどで初期化したmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります（初期化もできない場合があります）。
- D905i では市販の 2G バイトまでの microSD メモリーカードに対応しています（2007年10月現在）。microSD メモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ・FOMA端末から：
    iMenu の「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「My D-style」→「D905iサポート」の「クイックマニュアル」（2007年10月現在）

サイト接続用QRコード

  - ・パソコンから：
    三菱電機株式会社のホームページhttp://www.MitsubishiElectric.co.jp/mobile/の「FOMA D905i」の「FAQ」→「外部メモリ」

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードに保存できるデータ

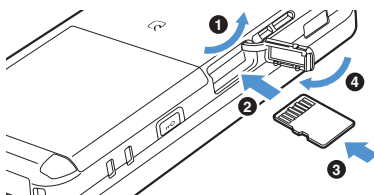
データ	操作方法	参照先
電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、テキストメモ、ブックマーク、GPS機能の現在地通知先	1件コピー	P291 P293
	バックアップ／復元	P293 P294
画像､動画／iモーション（コンテンツ移行対応以外）、メロディ、PDFデータ、Word／Excel／PowerPoint のファイル、トルカ	1件移動／複数移動／全件移動／1件コピー／複数コピー／全件コピー	P291 P293
コンテンツ移行対応のiモーション※1	1件移動／複数移動／全件移動	P292 P293
音楽データ（着うたフル®）	1件移動／複数移動／全件移動	P326
音楽データ（WMAファイル）	パソコンからの保存のみ	P322
ビデオ	録画時の保存のみ	P255 P259
閲覧不可ファイル※2	取得時の保存のみ	P184 P267
iアプリのデータ	iアプリからの保存のみ	－

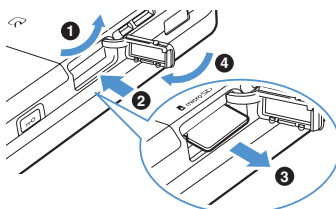
※1：サイトから取得した著作権があるiモーションのうち、microSDメモリーカードへの移動が許可されているもの。

※2：メールに添付されていたFOMA端末で閲覧できないファイルや、フルブラウザで取得したPNG形式／BMP形式の画像。

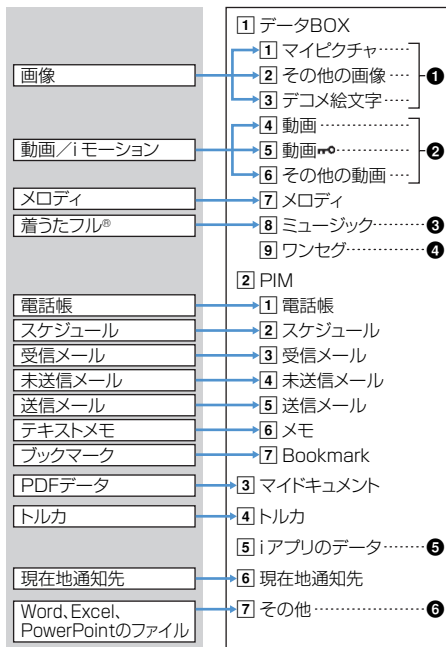
microSDメモリーカードの取り付け／取り外し

- 必ず電源を切った状態で行ってください。
- microSDメモリーカードスロットにはmicroSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているmicroSDメモリーカードや、変形しているmicroSDメモリーカードを取り付けないでください。
- microSDメモリーカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- microSDメモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDメモリーカードの取り付け

❶microSDメモリーカードスロットのカバーを開く
❷microSDメモリーカードを、印字面を下にして、スロットにゆっくり差し込む
❸microSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込む
❹microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

microSDメモリーカードの取り外し

❶microSDメモリーカードスロットのカバーを開く
❷microSDメモリーカードを軽く押し込み、指を離す
microSDメモリーカードが少し飛び出します。
❸microSDメモリーカードをゆっくりと取り出す
- まっすぐに取り出してください。

❹microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

microSDメモリーカードのデータの保存場所

❶画像データが振り分けて保存されます。

保存場所	保存されるデータ
マイピクチャ	カメラで撮影した静止画、JPEG形式の静止画（DCF規格※1）、GIF形式の画像
その他の画像	JPEG形式の静止画（DCF規格外※1）、アニメーションGIF、Flash画像
デコメ絵文字	デコメ絵文字

※1：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。

- メール添付などで取得した画像の保存先は画像によって異なります。FOMA端末で撮影した画像以外でも「マイピクチャ」に保存されたり、FOMA端末で撮影した画像でも「その他の画像」に保存されることがあります。

❷動画／iモーションが振り分けて保存されます。

保存場所	保存されるデータ
動画	映像がある動画／iモーション
動画	コンテンツ移行対応のiモーション
その他の動画	映像がない動画／iモーション

❸パソコンから取り込んだ音楽データ（WMAファイル）も保存されます。

❹ワンセグで録画したビデオが保存されます。

❺iアプリが使用するデータが保存されます。

❻閲覧不可ファイルもここに保存されます。

フォルダについて

マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、動画、動画、その他の動画、メロディ、マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、「その他」では、フォルダを作成してデータを整理できます。☛P295

- 動画では「初期フォルダ」が自動的に作成されます。動画以外では、データ保存時にフォルダがないと、自動的にフォルダが作成されます。フォルダ名は後から変更できます。
- 動画以外では、データ保存時に保存先フォルダは指定できません。保存後に移動／コピーできます。☛P296
- ワンセグとPIMの各データにはフォルダはありません。
- ミュージック、iアプリのデータのフォルダは作成できません。

最大保存件数

microSDメモリーカードの容量に関係なく、FOMA端末から保存できる最大データ件数です。実際に保存できる件数は容量や保存データのサイズにより異なります。

保存場所		最大件数
マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、その他の動画、メロディ		各9999件
動画		4095件
動画		1000件
ミュージック	**着うたフル®**	1000件
	WMAファイル	500件
	プレイリスト	100件
ワンセグ		99件
電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、Bookmark		合計9999件
マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、その他		各999件
iアプリのデータ		1200件

microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出すことがあります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に⇌が表示され、データ転送モード(圏外と同じ状態)になるため、通話、iモード接続、データ通信などはできません。[■]を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、iモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、データのコピー/移動、削除などは行えません。
- パソコンなどで書き込み保護されたmicroSDメモリーカードでは、データの保存、削除、初期化などはできません。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示/再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示/再生できない場合があります。
- ご利用になるmicroSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生することがあります。
- microSDメモリーカード内の画像、動画/iモーション、メロディ、音楽データは、待受画面、着信音、着信画像などに設定できません。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピー/移動する

- コピー/移動できるデータ☞P289
- 以下のデータはコピー/移動できません。
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているデータ(自端末でファイル制限を「あり」にしたデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータを除く)
  - ・ワンセグイメージ、パラパラマンガ
  - ・部分保存したiモーション、PDFデータ
- トルカによってはコピー/移動できない場合があります。
- トルカ(詳細)をコピー/移動すると、トルカ(詳細)取得前の状態で保存される場合があります。
- 「ミュージック」の音楽データの移動☞P326

例 画像をmicroSDメモリーカードにコピー/移動するとき

1 **[○][1]▶フォルダを選び[●]**

2 **画像を選び[Menu][5]▶[4]〜[5]**

3 **[1]**

■ **複数コピー/複数移動:[2]▶画像を選び[●]▶[□]**

■ **全件コピー/全件移動:[3]**

4 **はい**

おしらせ

- 動画/iモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、「その他」のドキュメント一覧、トルカ一覧からの移動操作:[Menu]▶移動/コピー▶microSDへ移動▶1件移動/複数移動/全件移動
  - コンテンツ移行対応のiモーションを移動する場合は、操作3の後で移動先フォルダの選択画面が表示されます。☞P292
- 動画/iモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、「その他」のドキュメント一覧、トルカ一覧からのコピー操作:[Menu]▶移動/コピー▶microSDへコピー▶1件コピー/複数コピー/全件コピー
- 電話帳一覧からの操作:[Menu]▶データバックアップ▶microSDへコピー
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧からの操作:[Menu]▶赤外線/iC/microSD▶microSDへコピー
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧からの操作:[Menu]▶移動/コピー▶microSDへコピー▶1件コピー
- ブックマーク一覧からの操作:[Menu]▶移動/microSD▶microSDへコピー▶1件コピー
- 現在地通知先一覧からの操作:[Menu]▶microSD▶microSDへコピー

● 待受画面や着信音などに設定している画像、動画／ｉモーション、メロディを microSD メモリーカードに移動すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されている画像、動画／ｉモーション、メロディを移動したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
● コンテンツ移行対応以外の動画／ｉモーションは、FOMA 端末から microSD メモリーカードへコピー／移動し、その後、microSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動すると、着信音や着信画像に設定できなくなります。
● FOMA端末の画像、動画／ｉモーション、メロディ、トルカを microSD メモリーカードにコピー／移動すると、ファイル名が変更されます。また、PDF データによっては、ファイル名が変更されることがあります。ファイル名について☛P300
● 画像を FOMA 端末から microSD メモリーカードにコピー／移動すると、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズが、FOMA端末で表示される実メモリサイズより大きくなることがあります。この場合、microSD メモリーカード側で表示される実メモリサイズが実際のサイズになります。
● 電話帳データをコピーすると、登録されている画像もコピーされます。ただし、microSDメモリーカードの電話帳データを表示したとき、画像は表示されません。FOMA端末にデータを戻すと画像が表示されます。
● 電話帳データをコピーしても、登録されている動画はコピーされません。
● メールのサイズが100Kバイトを超える場合、超えた分の添付ファイルはコピーされません。
● 受信メールをコピーしたとき、取得が完了していない添付ファイルはコピーされません。
● スケジュールに登録されているメンバーリストはコピーされません。また、データBOXの「プリインストール」フォルダ以外の画像が登録されている場合、画像はコピーされません。
● D905iで保存した画像、動画／ｉモーション、メロディは、データサイズの制限などの違いにより、他の FOMA 端末で表示／再生できない場合があります。
● データの保護の設定はmicroSDメモリーカードにコピーされません。

コンテンツ移行対応のｉモーションを移動する

コンテンツ移行対応

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションを、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動できます。コピーはできません。

• 移動可否は詳細情報参照で確認できます。☛P302

1 [i][4]▶フォルダを選び[●]

2 コンテンツ移行対応のｉモーションを選び[Menu][5][4][1]

■ 複数移動：[Menu][5][4][2]▶ｉモーションを選び[●]▶[□]

■ 全件移動：[Menu][5][4][3]

3 移動先のフォルダを選び[□]

• フォルダを選択するとフォルダ内のデータ一覧が表示されます。選択したフォルダ内にフォルダがないときは確認画面で「はい」を選択するとフォルダを作成できます。
• フォルダの作成／削除／フォルダ名変更：[Menu]▶[1]～[3]
  ・初期フォルダ、ホームフォルダ、データがあるフォルダは削除できません。
• ホームフォルダを選ぶ：[✉]

4 はい

• 複数移動／全件移動の場合、さらに確認画面が表示されます。「はい」を選択します。

おしらせ

● 新しいフォルダを作成してｉモーションを移動した場合、他のFOMA端末で確認できない場合があります。

microSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動する

- コピー／移動できるデータ☛P289

データBOXのデータ／PDFデータ／トルカ／「その他」のデータをコピー／移動する

- 「ミュージック」の音楽データの移動☛P326
- 「その他」のデータのうち、Word、Excel、PowerPoint以外のファイルはFOMA端末にコピー／移動できません。

1 **Menu▶LifeKit▶3▶データの保存場所を指定**

2 **フォルダを選び◉**

3 **データを選ぶ▶データBOXのデータ、PDFデータ、「その他」のデータではMenu3／トルカではMenu2▶1～2**

- 動画🔑ではコピーはできません。

4 **1**

■ 複数コピー／複数移動：2▶データを選び◉▶📖

■ 全件コピー／全件移動：3

- 動画🔑の全件移動時は端末暗証番号を入力します。

5 **はい**

データがFOMA端末のデータBOXの各データの「データ交換」フォルダ（「その他」では先頭フォルダ）またはトルカ一覧の「トルカフォルダ」にコピー／移動されます。

- コンテンツ移行対応のｉモーションはｉモーションの「ｉモード」フォルダに移動されます。
- デコメ絵文字として利用できる画像はマイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダにコピー／移動されます。

おしらせ

- コンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトから取得したときやFOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと移動できません。ｉモーションによっては、機種が異なると移動できないことがあります。
- コンテンツ移行対応のｉモーションによってはFOMA端末に移動できない場合があります。

PIMデータ／現在地通知先をコピーする

- バックアップデータはコピーできません。FOMA端末にデータを戻すには復元を行います。

1 **Menu▶LifeKit▶3▶データ保存場所を指定**

- 現在地通知先の場合はフォルダを選択します。

2 **データを選びMenu11▶はい**

- ブックマークの場合、ｉモードのブックマークには📱、フルブラウザのブックマークには📱FBが表示されます。
- 電話番号がある電話帳データをコピーすると確認画面が表示されます。プッシュトーク電話帳に登録するには「はい」を選択し電話番号を選択します。

電話帳、メール、スケジュールなどをバックアップする

FOMA端末のPIMデータ（電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、テキストメモ、ブックマーク）、および現在地通知先を一括してmicroSDメモリーカードにバックアップします。

1 **Menu▶LifeKit▶3▶データの保存場所を指定**

- 現在地通知先の場合はフォルダを選択します。microSDメモリーカードに、コピーまたはバックアップしたデータが1件以上保存されているときのみ操作できます。

2 **PIMデータではMenu14／現在地通知先ではMenu16▶端末暗証番号を入力▶はい**

FOMA端末のデータが、バックアップデータ（📇、📅、✉、📄、📱、📧が付いているデータ）としてまとめて保存されます。

- バックアップの中止：◉
  - ・途中までバックアップしたデータは破棄されます。

おしらせ

- FOMA端末の各データの一覧からも操作できます。
  - 電話帳一覧からの操作：Menu▶データバックアップ▶microSDへバックアップ
  - スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC／microSD▶microSDへバックアップ
  - 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧からの操作：Menu▶移動／コピー▶microSDへコピー▶バックアップ
  - ブックマーク一覧からの操作：Menu▶移動／microSD▶microSDへコピー▶バックアップ
  - 現在地通知先一覧からの操作：Menu▶microSD▶microSDへバックアップ
- 電話帳をバックアップすると、プッシュトーク電話帳と自局番号データもバックアップされます。
- 電話帳をバックアップした場合、グループのシークレット属性は解除され、グループ内の各電話帳データにシークレット属性が設定されます。
- ブックマークをバックアップする場合、Menu▶LifeKit▶[≡]から操作すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークがバックアップされます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみがバックアップされます。

バックアップしたデータをFOMA端末に復元する

復元方法には追加復元と上書き復元があります。

- 追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。
- 上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータは消去され、復元したデータで上書きされますのでご注意ください。

1 Menu▶LifeKit▶[≡]▶データの保存場所を指定

- 現在地通知先の場合はフォルダを選択します。

2 バックアップデータを選びMenu[1]▶[2]～[3]

- 電話帳　　スケジュール
- 受信メール、送信メール、未送信メール
- テキストメモ　　ブックマーク
- 現在地通知先

3 端末暗証番号を入力▶はい

- 復元の中止：●
  - ・中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップ時の並び順に戻らない場合があります。
- 現在地通知先を追加復元する場合、FOMA端末の現在地通知先と同じ電話番号のデータは復元されません。また、FOMA端末のデータが5件を超える場合、超過分は復元されません。

microSDメモリーカード内のデータを表示／再生する

- 「その他」のデータのうち、Word、Excel、PowerPoint以外のファイルの内容は表示できません。一覧表示、メール添付、詳細情報の表示、削除は行えます。
- データBOXの「ミュージック」を選択するとミュージックプレーヤーが起動します。ミュージックプレーヤーの操作方法☞P325
- 「iアプリのデータ」の操作方法☞P223

1 Menu▶LifeKit▶[≡]▶データの保存場所を指定

- データによってはフォルダを選択します。
  - ・FOMA端末のフォルダ一覧に切り替え（現在地通知先を除く）：フォルダ一覧で[⇄]
  - ・ホームフォルダの選択（動画のみ）：フォルダ一覧／フォルダ内のデータ一覧で[✉]▶●

2 データを選び●

データが表示／再生されます。

- バックアップデータ（、、、、、）を選択したときはバックアップデータに含まれているデータが一覧表示されます。データを選択します。
- ビデオを選択すると再生されます。☞P283
- iモードのブックマークには、フルブラウザのブックマークにはFBが表示されます。
- 画像、動画／iモーション、メロディ、PDFデータ、「その他」のデータ（Word、Excel、PowerPoint）の表示／再生中の操作は以下のページを参照してください。
  - ・動画／iモーション☞P278
  - ・メロディ☞P287　　・PDFデータ☞P311
  - ・「その他」のデータ（Word、Excel、PowerPoint）☞P314
- 画像表示中は次の操作ができます。
  - Menu：詳細情報表示　　[⇄]：全画面表示
  - ●：拡大表示※1　　[✉]：メール作成
  - [📖]：表示名の表示／非表示切り替え
  - ※1：画面サイズより大きい静止画のみ

おしらせ

- 電話帳データに登録されている画像は表示されず、が表示されます。FOMA端末に戻すと画像が表示されます。
- microSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- コンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトから取得したときやmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入していないと再生／利用できません。また、ｉモーションによっては、機種が異なると再生／利用できないことがあります。
- microSDメモリーカードを利用するｉアプリを待受画面に設定している場合、microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションの再生や移動ができないことがあります。
- microSDメモリーカードに保存されているトルカから詳細は取得できません。
- メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付データの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、画像／名前表示切替や基本情報の確認ができます。
- ブックマークの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。

データ一覧での各種操作

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：**

- マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、動画、動画、その他の動画、マイドキュメント以外では行えません。

■ **メール添付：データを選び**

- 動画、ワンセグ、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、現在地通知先では行えません。
- ASF形式の動画は添付できません。

■ **指定したページにジャンプ：▶ページ数を入力**

- 動画では行えません。
- ページ数を入力しないときは１ページ目が表示されます。

■ **データの検索：データBOXの各データおよびマイドキュメントではMenu 5／PIMの各データではMenu 3▶日付を入力▶**

- 動画、ワンセグ、「その他」、トルカ、現在地通知先では行えません。

■ **詳細情報の表示：データを選ぶ▶マイピクチャ、その他の画像、デコメ絵文字、動画、その他の動画、メロディ、マイドキュメント、「その他」ではMenu 2／動画ではMenu 2 1／ワンセグではMenu 1**

- PIMの各データ、トルカ、現在地通知先では行えません。

■ **詳細情報の変更（動画のみ）：データを選びMenu 2 2**

- 表示名のみ変更できます。☞P303

■ **動画／ｉモーションの連続再生：Menu 6**

フォルダ内の動画／ｉモーションが連続して再生されます。

- 動画では行えません。
- 連続再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生　：音量調整
  - ／：前後の動画／ｉモーション再生
  - ：停止
  - クリア：再生終了（動画／ｉモーション一覧に戻る）
- 横再生／ワイド再生はできません。

■ **動画／ｉモーションの動作条件設定：動画、その他の動画ではMenu 7／動画ではMenu 8▶各項目を設定▶**

- 設定項目について☞P280

■ **ｉモーションを待受画面などに設定（動画のみ）：データを選びMenu 1▶設定先を指定**

- 設定可能なｉモーションの条件などについては「動画／ｉモーションを待受画面などに設定する」をご覧ください。☞P279
- 設定したｉモーションはFOMA端末に移動します。

microSDメモリーカード内のデータを管理する

フォルダを作成／削除する

データBOXの各データ（ミュージック、ワンセグを除く）、マイドキュメント、トルカ、現在地通知先、「その他」では、フォルダ一覧にフォルダを追加し、データを整理できます。

- 動画ではフォルダ内にさらにフォルダを作成することもできます。
- マイピクチャでは最大900個、動画では最大4095個、マイドキュメントでは最大999個、それ以外ではデータの種類ごとに最大1000個作成できます。

例　マイピクチャのフォルダを作成するとき

1 Menu▶LifeKit▶3 1 1

2 Menu 1

■ **フォルダ名の変更：フォルダを選びMenu 3**

■ **フォルダの削除：フォルダを選びMenu 2▶はい**

- フォルダにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。
- フォルダによっては削除できません。
- 動画の「初期フォルダ」を削除すると「初期フォルダ」内のフォルダとデータだけが削除されます。

■ 動画🔑のホームフォルダの設定：フォルダを選び(📖)▶はい
- 動画🔑のフォルダアイコンの意味は以下のとおりです。
  (赤)：初期フォルダ（ホームフォルダのときは)
  (白)：通常フォルダ（ホームフォルダのときは)
- ホームフォルダは、動画🔑のフォルダ一覧やデータ一覧で(✉)を押すだけで選べます。

3 フォルダ名を入力（全角31／半角63文字まで）▶(📖)
- 動画🔑では全角10／半角20文字まで入力できます。

おしらせ
- マイピクチャ以外のフォルダ一覧からの操作：(Menu)▶フォルダ作成／フォルダ削除／フォルダ名変更
- 動画🔑のフォルダ内に無効なファイル（一覧に表示されないファイル）がある場合、フォルダを削除すると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されずに残ります。パソコンなどで無効なファイルを取り除いてから、フォルダを削除し直してください。
- 動画🔑のホームフォルダを削除すると「初期フォルダ」がホームフォルダになります。

データをフォルダにコピー／移動する

- 「ミュージック」の音楽データはコピー／移動できません。
- 動画🔑のｉモーションはコピーできません。

例 マイピクチャの画像を移動するとき

1 (Menu)▶LifeKit▶[3][1][1]▶フォルダを選び(⊙)

2 データを選び(Menu)[3][3][1]
■ 複数移動：(Menu)[3][3][2]▶データを選び(⊙)▶(📖)
■ 全件移動：(Menu)[3][3][3]

3 移動先フォルダを選び(⊙)▶はい
■ 動画🔑の場合：移動先フォルダを選び(📖)
- フォルダを選択するとフォルダ内のデータ一覧が表示されます。選択したフォルダ内にフォルダがないときは確認画面で「はい」を選択するとフォルダを作成できます。
- フォルダの作成／削除／フォルダ名変更：(Menu)▶[1]～[3]
  ・初期フォルダ、ホームフォルダ、データがあるフォルダは削除できません。
- ホームフォルダを選ぶ：(✉)

おしらせ
- マイピクチャ以外のデータ一覧からの操作：(Menu)▶移動／コピー（動画🔑では「移動」）▶他のフォルダへ移動▶1件移動／複数移動／全件移動
- 他のフォルダへのコピー操作：(Menu)▶移動／コピー▶他のフォルダへコピー▶1件コピー／複数コピー／全件コピー

データを削除する

- 「ミュージック」の音楽データの削除☞P326
- ｉアプリのデータの削除☞P223

例 マイピクチャの画像を削除するとき

1 (Menu)▶LifeKit▶[3][1][1]▶フォルダを選び(⊙)

2 データを選び(Menu)[4][1]▶はい
■ 複数削除：(Menu)[4][2]▶データを選び(⊙)▶(📖)▶はい
■ 全件削除：(Menu)[4][3]▶端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ
- マイピクチャ以外のデータ一覧からの操作：(Menu)▶削除▶1件削除／複数削除／全件削除
- D905iでmicroSDメモリーカードに録画したビデオは、他の機種では正常に削除できない場合があります。

microSDメモリーカードを管理する

microSDメモリーカードを初期化する　初期化

新しく購入したmicroSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときや、microSDメモリーカードに保存されているデータをすべて削除するときに初期化します。

- microSDメモリーカードの状態によっては、初期化できない場合があります。

1 Menu▶LifeKit▶☰▶📖▶**初期化方法を選び**●

簡易初期化：
microSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化。
- 必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。
- 保存されているデータはすべて消去されます。
- microSDメモリーカードが一度初期化済みで、microSDメモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化：
microSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化。
- 新しく購入したmicroSDメモリーカードを初期化するときなどに実行します。

2 **端末暗証番号を入力▶はい**

microSDメモリーカードの保存容量を確認する　使用状況

1 Menu▶LifeKit▶☰▶Menu

全容量に対する使用領域の割合

おしらせ
- 実際に使用できるmicroSDメモリーカードの容量は、microSDメモリーカードに記載されている容量よりも少なくなります。
- 使用領域には、FOMA端末で認識できないデータも含みます。

microSDメモリーカードの情報を更新する　情報更新

他の機器でmicroSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除し、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDメモリーカードの情報を更新します。

- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」「その他」のデータは、ファイル名と同じ名前（「その他」では拡張子を含む）
  - 「動画」「その他の動画」「メロディ」「マイドキュメント」のデータは、タイトルと同じ名前（タイトルがないときはファイル名と同じ名前）
  - 「トルカ」のデータは、タイトル名と同じ名前（タイトル名がないときは「無題」）

1 Menu▶LifeKit▶☰▶⇄▶**項目を選び**●

2 📖▶**はい**

おしらせ
- 他の機器でmicroSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。
- 「動画」に音声のみの動画／ｉモーションが保存されている場合、情報更新を行うと音声のみの動画／ｉモーションは表示されなくなります。情報更新を行う前にFOMA端末に移動するか、パソコンなどでmicroSDメモリーカードの「その他の動画」用のフォルダ（PRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。☞P299
- 「動画🔑」「ミュージック」「ｉアプリのデータ」「ワンセグ」は情報更新できません。
- microSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。

microSDメモリーカードをチェックする
カードチェック

microSD メモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

- microSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

1

パソコンからmicroSDメモリーカードを利用する

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続して、FOMA 端末に取り付けられている microSD メモリーカード内のデータをパソコンから操作できます。

microSDモード／MTPモードに設定する
USBモード設定

次の3つのモードがあります。

- microSDモード
  パソコンからmicroSDメモリーカード内のデータを操作するモードです。
- MTPモード
  Windows Media Player でパソコンから microSD メモリーカードに音楽データを転送するときに使用するモードです。音楽データの転送☛P322
- 通信モード
  パソコンと FOMA 端末を接続してデータ通信を行うモードです。詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

1 Menu▶LifeKit▶26▶1 ～ 3▶はい

- microSDモードでは、MTPモードではが待受画面に表示されます。ただし、microSD メモリーカードを取り付けていないときは（グレー）／（グレー）が表示されます。
- 通信モードでは、microSD メモリーカードを取り付けている場合にが表示されます。
- 選択したモードに既になっていた場合は、確認画面は表示されません。

おしらせ

- microSDモードに対応しているOSはWindows 2000、Windows XP、Windows Vista、MTP モードに対応しているOSはWindows XP Service Pack 2、Windows Vistaです。
- パソコンと FOMA 端末を接続していても USB モード設定を変更できます。ただし、パソコンでFOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うようにしている場合は、通信モード以外に設定できないことがあります。

パソコンとFOMA端末を接続する

- パソコンと FOMA 端末は電源が入っている状態で接続してください。

❶ FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

❷ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のFOMA端末側コネクタを「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む

❸ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSD モードまたは MTP モードでパソコンと接続中は決定キーの照明が青で点滅します。

■ 取り外しかた

FOMA 端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら水平に引き抜きます。無理に引っ張ると故障の原因となりますのでご注意ください。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。

おしらせ

- microSDモードまたはMTPモードでパソコンとFOMA端末を接続しても、次の場合はパソコンがFOMA端末を認識しないことがあります。
  - 「LifeKit」メニューの「microSD」を起動しているとき
  - FOMA端末からデータをmicroSDメモリーカードにコピー／移動／保存しているとき
  - 静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダー、キャラ電、ミュージックプレーヤーが動作しているとき
  - ワンセグ視聴中／バックグラウンド録画中
- microSDモードでパソコンと接続中にFOMA 充電機能付USBケーブル 01を取り外すときは、パソコンのタスクトレイのをクリックし「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。

  ※1：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。

  ※2：Windows 2000 の場合は「停止します」と表示されます。
- microSDメモリーカードとのデータ転送中にFOMA 充電機能付USBケーブル 01を外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- microSDモード、MTPモードでパソコンと接続中はFOMA端末でのmicroSDメモリーカードの操作（保存、表示など）やワンセグの視聴／録画、ミュージックプレーヤーの起動はできません。
- パソコンとFOMA端末が接続されると待受画面に が表示されます。押し、を選びを押すとUSBモード設定の画面を表示できます。

フォルダ構成とファイル名

パソコンでmicroSDメモリーカードの内容を表示した場合のフォルダ構成とファイル名を示します。

- FOMA端末での初期化直後はフォルダはありません。FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータを移動／コピー／保存したときなどに、そのファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。
- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、ここに示すフォルダ構成／ファイル名に従って保存し、情報更新を行ってください。また、パソコンなどでデータを変更／削除してFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときも情報更新を行ってください。☞P297
- ミュージックの音楽データ（WMAファイル）は、Windows Media Playerを使用して保存してください。情報更新は必要ありません。☞P322

フォルダ構成

```
DCIM
└xxxD905I ―――――――――――――――― マイピクチャ※1
PRIVATE
└DOCOMO
  ├DECOIMG ┐
  │└DUDxxx ┘―――――――――――――― デコメ絵文字※2
  ├DOCUMENT
  │└PUDxxx ―――――――――――――― マイドキュメント
  ├LCSCLIENT ┐
  │└LSCxxx  ┘―――――――――――― 現在地通知先
  ├MMFILE ┐
  │├MUDxxx ┘―――――――――――― その他の動画※3
  │├WM※4 ――――――――――― ミュージック（WMAファイル）
  │└WM_SYSTEM※4,5
  ├OTHER ┐
  │└OUDxxx ┘―――――――――――― その他
  ├RINGER ┐
  │└RUDxxx ┘―――――――――――― メロディ
  ├STILL ┐
  │└SUDxxx ┘―――――――――――― その他の画像※6
  ├TABLE※4
  └TORUCA ┐
    └TRCxxx ┘―――――――――――― トルカ
SD_BIND※4
└SVCxxxxx ―――― コンテンツ移行対応のデータ（動画／ミュージック（着うたフル®）／iアプリのデータ）※7
SD_PIM ―――――― PIM（電話帳／スケジュール／メール／メモ／ブックマーク）
SD_VIDEO
├MGR_INFO※4
├PRGzzz※4 ――――――――――――― ワンセグ※7
└PRLzzz ―――――――――――――― 動画※8
```

xxx:半角001～999（xxxD905Iのみ100～999）

xxxxx：半角00001～65535

zzz：半角001～FFF（16進数）

※1：DCF 規格の JPEG、GIF

※2：画像サイズ 20 × 20、ファイルサイズ 2.6M バイト以内の JPEG ／ GIF ／アニメーション GIF

※3：映像がない動画／ｉモーション（AAC 形式の音楽データ含む）

※4：このフォルダにあるファイルは削除したり、ファイル名を変更しないでください。FOMA 端末でデータを正しく表示／再生できなくなります。

※5：このフォルダは隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

※6：DCF 規格外の JPEG、アニメーション GIF、Flash 画像

※7：コンテンツ移行対応のデータ、ワンセグのビデオはパソコンでは表示／再生できません。

※8：映像がある動画／ｉモーション

■ FOMA端末でフォルダを作成したとき
- マイピクチャ、マイドキュメント、動画では、対応するサブフォルダ（xxxD905I、PUDxxx、PRLzzz）が作成されます。
- デコメ絵文字、現在地通知先、その他の動画、その他、メロディ、その他の画像、トルカでは、最初に作成したフォルダが各データのルートフォルダ（DECOIMG、LCSCLIENT、MMFILE など）に対応しています（フォルダが自動生成された場合も含む）。フォルダを追加すると、対応するサブフォルダ（DUDxxx、LSCxxx、MUDxxx など）が作成されます。
- FOMA端末では、パソコン上でのフォルダ名は表示／変更できません。

ファイル名

データの種類	ファイル名
マイピクチャ	aaaaxxxx.JPG/GIF
その他の画像	STILxxxx.JPG/GIF/SWF
デコメ絵文字	DIMGxxxx.JPG/GIF
動画	MOLzzz.3GP/ASF/MP4※1
その他の動画	MMFxxxx.3GP/ASF/MP4
メロディ	RINGxxxx.MID/MLD/SMF
ワンセグ	MOVzzz.MAI/MOI/SB1、PRGzzz.PGI
PIM	PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG/VNT
マイドキュメント	PDFDCxxx.PDF※2
トルカ	TORUCxxx.TRC
現在地通知先	LSCDCxxx.LSC
その他	OTHERxxx.yyy、aaaaaaaa.yyy

a：半角A～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）
xxx：半角001～999　　xxxx：半角0001～9999
xxxxx：半角00001～65535
zzz：半角001～FFF（16進数）
yyy：拡張子

※1：拡張子が「3GP」「MP4」のファイルは MP4 形式として扱われます。
※2：拡張子を含めて半角 64 文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。ファイル名に重複があった場合などは、この形式のファイル名に変更されることがあります。
- 以下の拡張子のファイルも保存されます。
  $DF：ダウンロードに失敗したPDFデータ
  DDF：ｉモードしおり情報やマーク情報などを管理するファイル
  JPG：サムネイル表示用ファイル

おしらせ
- パソコンなどで microSD メモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- 同じフォルダ内に同一ファイル名で拡張子が異なるファイルがあると表示されない場合があります。
- JPEG 形式の静止画をマイピクチャのフォルダに保存し情報更新を行っても表示できない場合は、「その他の画像」のファイル名で「その他の画像」のフォルダに保存すると、表示できる場合があります。
- D902iS以前のFOMA Dシリーズのミュージックプレーヤーで再生できたAAC形式のファイルは、本FOMA端末では、音楽データではなくMP4形式の動画／ｉモーションとして扱われます。「その他の動画」のフォルダへ保存し、情報更新を行ってください。ただし、ファイル名が「MMFxxxx」（xxxxは0001～9999）以外のファイルや、拡張子が「.m4a」のファイルは表示／再生できません。

アルバム（フォルダ）を利用する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、Music&Videoチャネル、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電、「その他」のフォルダ一覧にアルバム（フォルダ）を追加し、データを整理できます。
- データによりアルバムまたはフォルダと表示されます。

アルバム（フォルダ）を作成／削除する

- マイピクチャでは最大100個、「その他」では最大9個、それ以外ではデータの種類ごとに最大10個作成できます。

例　マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 ⓞ 1

2 Menu 1
■ アルバム名の変更：アルバムを選び Menu 3
■ アルバムの削除：
①アルバムを選び Menu 2
- アルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。
②はい

3 **アルバム名を入力（全角10／半角20文字まで）▶ ⓜ**
- キャラ電、マチキャラでは全角・半角を問わず10文字まで入力できます。

おしらせ

- iモーション、メロディのフォルダ一覧からの操作：Menu▶アルバム追加／アルバム削除／アルバム名変更
- Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電のフォルダ一覧からの操作：Menu▶フォルダ追加／フォルダ削除／フォルダ名変更
- マイドキュメント、「その他」のフォルダ一覧からの操作：Menu▶フォルダ追加／フォルダ削除／フォルダ設定
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは削除できません。また、「その他」のフォルダを除きアルバム名（フォルダ名）を変更できません。

データをアルバム（フォルダ）に移動する

- 「プリインストール」「デコメ絵文字」「アイテム」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。
- 部分保存したiモーションは移動できません。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダには移動できません（一部のフォルダを除く）。
- Music&Videoチャネルの「配信番組」フォルダからの移動☞P319

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 ⓞ1▶**フォルダを選び**◉

2 **データを選び**Menu511

■ 複数移動：Menu512▶データを選び◉▶📖

■ 全件移動：Menu513

3 **移動先のアルバムを選び**◉▶**はい**

おしらせ

- 動画／iモーション一覧、メロディ一覧からの操作：Menu▶移動／コピー▶アルバムへ移動▶1件移動／複数移動／全件移動
- 番組データ一覧（配信番組フォルダを除く）、マチキャラ一覧、キャラ電一覧からの操作：Menu▶移動▶1件移動／複数移動／全件移動
- きせかえツール一覧からの操作：Menu▶移動▶フォルダへ移動▶1件移動／複数移動／全件移動
- PDFデータ一覧、「その他」のドキュメント一覧からの操作：Menu▶移動／コピー▶フォルダへ移動▶1件移動／複数移動／全件移動

アルバム（フォルダ）のデータを固定フォルダに戻す

- Music&Videoチャネル、キャラ電、マチキャラ、「その他」のドキュメントでは行えません。

例 マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻すとき

1 ⓞ1▶**アルバムを選び**◉

2 **データを選び**Menu521

■ 複数戻す：Menu522▶データを選び◉▶📖

■ 全件戻す：Menu523

3 **はい**

おしらせ

- 動画／iモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧からの操作：Menu▶移動／コピー▶フォルダへ戻す▶1件戻す／複数戻す／全件戻す
- きせかえツール一覧からの操作：Menu▶移動▶フォルダへ戻す▶1件戻す／複数戻す／全件戻す
- お買い上げ時に「デコメピクチャ」フォルダに登録されている画像は、固定フォルダに戻す操作をすると「iモード」フォルダに移動します。

メロディをアルバムごと再生する

メロディのアルバム内のデータを続けて再生できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダはアルバム再生できません。

1 ⓞ5▶**アルバムを選び**Menu1

- アルバム再生中は次の操作ができます。

ⓞ：音量調整　ⓞ：前後のメロディ再生

クリア／◉：再生終了（フォルダ一覧に戻る）

データをコピーする

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、iモーション、マイドキュメントのデータを同じアルバムまたはフォルダ内にコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - ・マイピクチャのパラパラマンガ、アイテム画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ・再生制限が設定されているｉモーション、部分保存したｉモーション、サイトやメールから取得した着信音に設定可能な動画／ｉモーション
  - ・ファイル制限が「あり」のデータ（自端末でファイル制限を「あり」にしたデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータを除く）

例　マイピクチャのデータをコピーするとき

1 **1▶フォルダを選び▶データを選び Menu 5 3**

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧からの操作：Menu▶移動／コピー▶コピー
- アルバム（フォルダ）内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

データの詳細情報を表示／変更する

詳細情報参照／変更

- 「ミュージック」の音楽データの詳細情報参照／変更☛P327
- 部分保存したデータでは表示されない項目があったり、表示／変更ができないことがあります。

詳細情報を表示する

例　マイピクチャの画像の詳細情報を表示するとき

1 **1▶フォルダを選び▶画像を選び Menu 3 1**

- 画面単位でスクロール：／
- 詳細情報の変更：

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、きせかえツール一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧、「その他」のドキュメント一覧、ワンセグイメージ一覧、ビデオ一覧からの操作：Menu▶詳細情報▶参照

詳細情報を変更する

例　マイピクチャの画像の詳細情報を変更するとき

1 **1▶フォルダを選び▶画像を選び Menu 3 2**

2 **各項目を設定▶**

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、きせかえツール一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧、「その他」のドキュメント一覧、ワンセグイメージ一覧、ビデオ一覧からの操作：Menu▶詳細情報▶変更
- 動画／ｉモーション、きせかえツール、メロディ、マチキャラ、キャラ電の場合「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

表示項目と変更可否一覧

- データによっては、表中で変更可となっていても、変更できない場合があります。

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像※1	動画／iモーション	メロディ	PDFデータ	きせかえツール	マチキャラ	キャラ電	「その他」のドキュメント	ビデオ
表示名	●	●	●	●	●	●	●	●	●
タイトル	－	○	○	－	○	○	○	－	－
ファイル名	●	●	●	○	○	○	○	○	○
種類	○	－	－	－	－	－	－	－	－
作成者	－	●	－	－	－	－	－	－	－
コピーライト	－	●	－	－	－	－	－	－	－
説明	－	●	－	－	－	－	－	－	－
ファイル制限	●	●	●	○	○	○	○	○	－
microSDへの移動（本体への移動）	○	○	○	○	○	○	○	○	－
ファイル種別	○	○	○	○	－	－	－	○	○
音	－	○	－	－	－	－	－	－	－
表示サイズ	○	○	－	－	－	－	○	－	－
実メモリサイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費メモリサイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール添付サイズ	○	－	－	－	－	－	－	－	－
再生時間	－	－	○	－	－	－	－	－	－
保存日時	○	○	○	○	○	○	○	○	－
フレーム候補	●	－	－	－	－	－	－	－	－
スタンプ候補	●	－	－	－	－	－	－	－	－
コメント	●	－	－	－	－	－	●	－	－
着信音設定	－	○	－	－	－	－	－	－	－
着信画面設定	－	○	－	－	－	－	－	－	－
再生制限	－	○	－	－	－	－	－	－	－
取得元	○	○	○	○	○	○	○	○	○
位置情報	○	－	－	－	－	－	－	－	－
フォント情報	－	－	－	－	○	－	－	－	－
取得状態	－	－	－	－	○	－	－	－	－
チャンネル名	－	－	－	－	－	－	－	－	○
番組名	－	－	－	－	－	－	－	－	○
録画開始時間／録画終了時間	－	－	－	－	－	－	－	－	○
ハイライト設定	－	－	－	－	－	－	－	－	○
オートカット設定	－	－	－	－	－	－	－	－	○

※１：ワンセグイメージでは表示名とコメントのみ変更できます。

表示項目の説明

表示名：
FOMA端末で表示するタイトル（変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず36文字まで、メロディでは全角25／半角50文字まで）。

タイトル：
データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル。

ファイル名：
データをメールに添付したときに表示されるファイル名（変更する場合、半角英数字と「.」「-」「_」で36文字まで）。
- 「.」はファイル名の先頭に入力できません。

種類：画像の種類。

作成者：
作成者の名前など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）。
- 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。

コピーライト：
著作者名や著作物の公表年月日など（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）。

説明：
動画／ｉモーションの説明（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）。

ファイル制限：
メールに添付して他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかの区分。
- ASF形式の動画／ｉモーションでは表示されません。
- サイトなどから取得したｉモーション、ダウンロードしたメロディでは変更できません。

microSDへの移動（本体への移動）：
データをmicroSDメモリーカードに移動できるかの区分。
- microSDメモリーカード内のデータでは「本体への移動」が表示され、FOMA端末に移動できるかが示されます。

ファイル種別：
ファイルの種別（Flash画像では「---」）。

音：音声データの種別。

表示サイズ：
データの表示サイズ（ドット）。
- Flash画像では表示されません。

実メモリサイズ：
データの実ファイルサイズ。

消費メモリサイズ：
データの保存に使用するメモリサイズ。
- 同じデータでもFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは、消費メモリサイズが異なる場合があります。

メール添付サイズ：
ｉモードメールに添付するときのファイルサイズ。
- 添付できないときは表示されません。

再生時間：データの再生時間。

保存日時：データを保存した日時。

フレーム候補：

画像をフレーム画像として貼り付け可能かの区分。

- 静止画のみ変更できます。ただし、サイズが480×864を超える静止画、アイテム画像と合成した静止画は「する」に変更できません。

スタンプ候補：

画像をスタンプ画像として貼り付け可能かの区分。

- 静止画のみ変更できます。ただし、サイズが480×864以上の静止画、アイテム画像と合成した静止画は「する」に変更できません。

コメント：

データの説明など（変更する場合、全角・半角を問わず100文字まで）。

着信音設定：

動画／ｉモーションを着信音に設定できるかの区分。自端末で撮影種別を「画像＋音声」にして撮影した動画やサウンドレコーダーで録音した音声では「可」になります。ただし、以下の場合は「不可」になります。

- 「最高品質」で映像種別が「MPEG4」の場合
- 画像サイズが640×480の場合

着信画面設定：

動画／ｉモーションを着信画像に設定できるかの区分。

自端末で撮影種別を「画像のみ」にして撮影した動画では「可」になります。ただし、以下の場合は「不可」になります。

- 「最高品質」で映像種別が「MPEG4」の場合
- 画像サイズが640×480の場合

再生制限：動画／ｉモーションの再生制限。

取得元：データの取得元。

位置情報：画像の位置情報。

フォント情報：フォント情報。

取得状態：取得完了／ダウンロード未完了。

チャンネル名：録画したチャンネル名。

番組名：録画開始時の番組名。

録画開始時間／録画終了時間：開始／終了日時。

ハイライト設定：ハイライト設定の内容。

オートカット設定：オートカット設定のON／OFF。

おしらせ

- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」にしても、画像は元のフォルダに保存され「アイテム」フォルダには表示されません。
- microSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDメモリーカードに保存されているときは着信音設定、着信画面設定が「不可」でも、FOMA端末に移動すると「可」になることがあります。

データを削除する

- マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、きせかえツールの「プリインストール」フォルダ、メロディの「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。
- 「ミュージック」の音楽データの削除☛P326
- Music&Videoチャネルの「配信番組」フォルダからの削除☛P319

例 マイピクチャのデータを削除するとき

1 ⓪1▶**フォルダを選び**◉

2 **データを選び**Menu 6 1

■ **複数削除**：Menu 6 2▶**データを選び**◉▶ⓜ

■ **全件削除**：Menu 6 3▶**端末暗証番号を入力**

3 **はい**

おしらせ

- 番組データ一覧（配信番組フォルダを除く）、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、きせかえツール一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧、「その他」のドキュメント一覧、ワンセグイメージ一覧、ビデオ一覧からの操作：Menu▶削除▶1件削除／複数削除／全件削除
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定しているデータを削除したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電、マチキャラ、デコメールピクチャ、デコメ絵文字、フレーム、PDFデータ、きせかえツールの「ｉモード」フォルダ内の「ドコモダケ_D905i」は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。

ｉモードサイト「My D-style」へのアクセス方法

「My D-style」には、ｉMenuの「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2007年10月現在）。

- 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「My D-style」に接続できます。

サイト接続用QRコード

データを並べ替える　ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。

・「ミュージック」の音楽データの並べ替え☛P326

例　マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 **◎[1]▶フォルダを選び◎▶[Menu][7]**

2 **各項目を設定▶[□]**

対象：
並べ替えの方法を設定（お買い上げ時：保存日時）。

順序：
データの並び順を設定（お買い上げ時：降順）。

おしらせ

● 番組データ一覧（配信番組フォルダを除く）、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDF データ一覧、きせかえツール一覧、マチキャラ一覧、キャラ電一覧、「その他」のドキュメント一覧、ワンセグイメージ一覧、ビデオ一覧からの操作：[Menu]▶ソート

● 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並び順が50音順と一致しないことがあります。

本体メモリの使用状況を確認する　メモリ確認

FOMA端末のデータBOX（ビデオを除く）、およびｉアプリのデータ保存用メモリの使用状況を表示します。

1 **[Menu]▶設定／NWサービス▶[7][9][3]**

保存領域の使用状況をデータごとに色で表示

・データを選ぶと、そのデータの使用状況が「使用：」に表示されます。
・単位の切り替え（KB／MB）：[⊙]

おしらせ

● データBOXの各データ（ワンセグを除く）のフォルダ一覧やミュージックプレーヤー、ｉアプリのフォルダ一覧からの操作：[Menu]▶メモリ確認

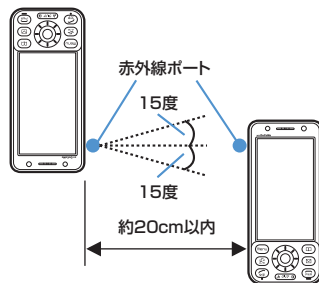
●「マイピクチャ」には、ワンセグイメージの使用メモリサイズも含まれます。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

・赤外線通信中や受信データの保存中は画面上部に⇌が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。[✎]を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、ｉモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、赤外線通信は行えません。
・FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
・相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

赤外線通信を行うには

通信距離は約20cm以内、角度は中心から15度以内です。データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

・直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線送信

データを選択して 1 件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。

□：全件送信可

種　類	留意事項
電話帳	• 全件送信するとプッシュトーク電話帳、自局番号データも送信されます。また、シークレット属性を設定したグループは、グループのシークレット属性が解除され、グループ内の各電話帳データにシークレット属性が設定されて送信されます。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信で、全件送信時に電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信するかを設定できます。 • 送信先によっては、電話帳に登録されている画像が受信されない場合があります。
スケジュール	―――
受信メール 送信メール 未送信メール	• メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。 • 10000バイトを超えるメールは、送信先によっては正しく送信できない場合があります。 • 取得が完了していない添付ファイルは送信されません。 • メールのサイズが100Kバイトを超える場合、超えた分の添付ファイルは送信されません。 • 送信先によっては題名が最後まで受信されない場合があります。
テキストメモ	―――
ブックマーク（ｉモード／フルブラウザ）	• 送信先によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
画像	• 表示名は全角 9 ／半角 18 文字まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • 500K バイトを超えるデータは送信できません。 • ASF形式の動画は送信できません。 • 部分保存したｉモーションは送信できません。
動画／ｉモーション	
メロディ	―――
PDFデータ	• 512Kバイト※1を超えるPDFデータ、部分保存したPDFデータ、ダウンロードに失敗したPDFデータは送信できません。
トルカ	• トルカ（詳細）を送信する場合、1件送信では詳細を含めて送信するかを選択できます。全件送信では詳細を含めて送信されます。ただし、トルカ（詳細）によっては1件送信／全件送信とも、詳細取得前の状態で送信される場合があります。 • IP（情報サービス提供者）の設定によっては送信できない場合があります。 • 送信先によってはトルカ（詳細）は送信できない場合があります。
現在地通知先	―――
自局番号	• 送信先によっては画像が受信されない場合があります。

※ 1：ｉモードしおりやマークのデータを除いたファイルサイズが 512K バイト以内であれば送信できます。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」にしたデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータを除く）。
- D905i以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。
- データサイズの制限などの違いにより、画像、動画／ｉモーション、メロディをFOMA端末に送信したとき、受信側で保存できない場合があります。
- 絵文字を使用したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても、相手端末によっては、絵文字２を使用したデータは正しく表示されない場合があります。

データを１件送信する

例　電話帳を１件送信するとき

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 電話帳を検索▶電話帳データを選び Menu ［日］［1］▶はい

おしらせ

- ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC送信▶赤外線送信
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC／microSD▶赤外線送信
- トルカ一覧からの操作：Menu▶赤外線送信
  トルカ（詳細）を送信する場合、確認画面が表示されます。
- 現在地通知先一覧からの操作：Menu▶赤外線送信▶送信
- 自局番号画面からの操作：Menu
  名前、フリガナ、電話番号（1件目）、メールアドレス（1件目）が送信されます。
  - 全項目の送信：詳細画面を表示して Menu▶自局番号全項目送信▶赤外線送信

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 Menu▶LifeKit▶2 2▶データの種類を選び●

3 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶はい

おしらせ

- 電話帳一覧、ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC送信▶赤外線全件送信
- スケジュールのカレンダー画面／デイリービュー画面、メモ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC／microSD▶赤外線全件送信
- トルカのフォルダー覧からの操作：Menu▶赤外線全件送信
- 現在地通知先一覧からの操作：Menu▶赤外線送信▶全件送信
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。
- Menu▶LifeKit▶2 2を押して「Bookmark」を選択すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークが全件送信されます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみが全件送信されます。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。受信できるデータは次のとおりです。

□：全件受信可

データの種類	受信後の保存場所
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール帳
受信メール	受信メール
送信メール	送信メール
未送信メール	未送信メール
テキストメモ	テキストメモ
ブックマーク（iモード／フルブラウザ）	iモードのBookmark／フルブラウザのBookmark
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ※1
動画／iモーション	iモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ
PDFデータ	マイドキュメントの「データ交換」フォルダ
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」
現在地通知先	現在地通知先一覧
自局番号	電話帳

※1：デコメ絵文字として利用できる画像は「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

- 1件受信した電話帳、自局番号は、最も小さい空きメモリ番号に登録されます。
- 電話帳データを全件受信した場合、受信データにプッシュトーク電話帳のデータが含まれていると、プッシュトーク電話帳に保存されます。
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存／登録件数より少なくなることがあります。
- D905i以外のFOMA端末から画像、動画／iモーション、メロディを受信したとき、テキストメモとして登録されることがあります。
- 受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。
- メールをフォルダごとに保存できる機器からメールデータを受信するとメール連動型iアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型iアプリ用のフォルダを選びMenu 1を押してください。

データを1件受信する

- 512Kバイトを超えるデータは受信できません。

1 Menu▶LifeKit▶2 1 1▶はい

受信待機状態になります。

2 送信側でデータを1件送信する

受信が完了するとINBOX画面が表示されます。

3 データを選び◉▶はい

：電話帳
：ｉモードのブックマーク
：フルブラウザのブックマーク
：メール　：スケジュール
：テキストメモ　：画像
：Flash画像
：動画／ｉモーション　：メロディ
：PDFデータ　：トルカ
：現在地通知先

- 電話番号がある電話帳データを保存すると確認画面が表示されます。プッシュトーク電話帳に登録するには「はい」を選択し電話番号を選択します。

■ **保存せずに削除：データを選び Menu 2 ▶はい**

- 全件削除：Menu 3 ▶端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ

- 操作3でデータを保存／削除せずに終了した場合、あとから Menu ▶LifeKit▶ 2 4 を押してINBOX画面を表示し、データを保存／削除できます。
- INBOXには最大800Kバイトのデータを保存できます。
- FOMA端末に保存したデータはINBOXから削除されます。

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のデータをまとめて受信できます。

- 全件受信するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。電話帳を全件受信した場合は、自局電話番号以外の自局番号データも上書きされます。
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 Menu ▶LifeKit▶ 2 1 2

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶はい

受信待機状態になります。

3 送信側でデータを全件送信する

4 はい

おしらせ

- データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- D905iではToDoデータ（用件を管理するリスト機能のデータ）は保存できません。ToDoデータとスケジュールデータをまとめて全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。
- 全件受信すると、FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- FOMA端末からメールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にならないことがあります。
- FOMA端末からブックマークを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。ただし、相手の端末によっては、ブックマークが先頭のフォルダに保存されることがあります。

赤外線通信モードにする　赤外線通信モード

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリを起動します。

- 指定のソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリが外部機器からのｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動できません。

1 Menu ▶LifeKit▶ 2 1 1 ▶はい

受信待機状態になります。

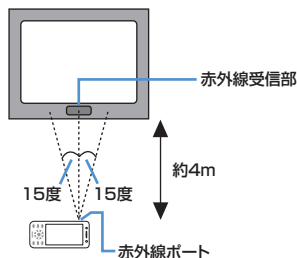
2 赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信する

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリ「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。☛P217
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください（操作方法はｉアプリによって異なります）。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信時の動作を設定する

データ送受信設定

赤外線通信、iC通信、USB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 Menu▶LifeKit▶2 5▶各項目を設定▶📖

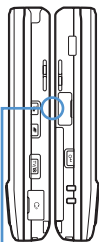
通信終了音：
通信終了時に終了音を鳴らすかを設定。

自動認証：
ドコモケータイdatalink使用時など、USB接続による通信時の認証方式を設定。
あり…認証コードを通信相手と自動でやりとりします。
なし…認証パスワードを毎回入力します。
- 「あり」を選択した場合：端末暗証番号を入力▶4～8桁の携帯側認証コード(FOMA端末側)とパソコン側認証コード（相手側）を入力▶📖

電話帳の画像送信：
電話帳の全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかを設定。

iC通信機能について

iC通信

iC通信機能を搭載したFOMA端末間で、互いのFOMA端末のFeliCaマーク（ ）を重ね合わせることでデータを送受信します。

FeliCaマーク間の距離が1cm以内になるように重ねてください。また、データの送受信中は動かさないでください。
- FeliCaマークを重ね合わせるとき、FOMA 端末に強い衝撃を与えないでください。

- 送受信できるデータの種類は赤外線通信と同じです。☛P306、P307
- iC通信中や受信データの保存中は画面上部に ⇌ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。 を押して他の機能に切り替えることもできません。また、通話中、ｉモード中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合、iC通信は行えません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCaマークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

iC通信でデータを送信する

データを選択して1件ずつ送信する方法と、機能ごとの全データを送信する方法があります。

データを1件送信する

例　電話帳を1件送信するとき

1 **電話帳を検索▶電話帳データを選び Menu 8 3▶はい**

2 **FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる**

おしらせ

- ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、画像一覧、動画／iモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC送信▶iC送信
- スケジュールのデイリービュー画面、メモ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC／microSD▶iC送信
- トルカ一覧からの操作：Menu▶iC送信
  トルカ（詳細）を送信する場合、確認画面が表示されます。
- 現在地通知先一覧からの操作：Menu▶iC送信▶送信
- 自局番号画面からの操作：
  名前、フリガナ、電話番号（1件目）、メールアドレス（1件目）が送信されます。
  - 全項目の送信：詳細画面を表示してMenu▶自局番号全項目送信▶iC送信

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のすべてのデータを送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **Menu▶LifeKit▶2 3▶データの種類を選び**

2 **端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶はい**

3 **FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる**

おしらせ

- 電話帳一覧、ブックマーク一覧、受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC送信▶iC全件送信
- スケジュールのカレンダー画面／デイリービュー画面、メモ一覧からの操作：Menu▶赤外線／iC／microSD▶iC全件送信
- トルカのフォルダ一覧からの操作：Menu▶iC全件送信
- 現在地通知先一覧からの操作：Menu▶iC送信▶全件送信
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。
- Menu▶LifeKit▶2 3を押して「Bookmark」を選択すると、iモードとフルブラウザの両方のブックマークが全件送信されます。iモードまたはフルブラウザのブックマーク一覧から操作すると、iモードのブックマークのみ、またはフルブラウザのブックマークのみが全件送信されます。

iC通信でデータを受信する

- 他の機能を実行していると受信できません。待受画面に戻して受信してください。

データを1件受信する

- 512Kバイトを超えるデータは受信できません。

1 **送信側で1件送信操作を行う**

2 **受信側を待受画面にし、FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる**

受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法は赤外線受信の「データを1件受信する」の操作3をご覧ください。☞P308

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、トルカ、現在地通知先のデータをまとめて受信できます。

- 全件受信するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。電話帳を全件受信した場合は、自局電話番号以外の自局番号データも上書きされます。
- 全件受信に関する注意事項は、赤外線受信の「データを全件受信する」のおしらせをご覧ください。☞P308
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 **送信側で全件送信操作を行う**

2 **受信側を待受画面にし、FOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせる**

3 **端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力**

- 入力中はFOMA端末を離して操作できます。入力完了後に再度FeliCaマークを重ね合わせます。

4 **はい**

PDFデータを表示する　PDF対応ビューア

FOMA端末のデータBOXのマイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。

- パソコンなどでmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータも表示できます。パソコンからmicroSDメモリーカードを利用する☛P298

1 **[ⓞ][6]▶フォルダを選び[●]**

- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替え：フォルダ一覧で[ⓢ]
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☛P294

2 **PDFデータを選び[●]**

ステータス（ページ番号／総ページ数と表示倍率）

PDF表示画面

- PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して[ⓜ]を押します。
- ダウンロードに失敗したPDFデータ（ファイル種別が[アイコン]）を選択すると確認画面が表示され「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分保存したPDFデータ（ファイル種別が[アイコン]）の残りのデータをダウンロードするには、PDFデータ表示中に[Menu][8]を押します。また、未取得のページを表示しようとしたときなどに確認画面が表示され「はい」を選択するとダウンロードできます（一度「はい」を選択すると、以降のページは確認画面なしでダウンロードされます）。
- マークが登録されているページには[アイコン]が表示されます。

■ **表示の終了：[クリア]▶はい**

- PDFデータを変更したときは、確認画面で「はい」を選択して[●]を押すと、元のPDFデータに上書きされます。
  - ・PDF表示画面で[Menu][2]を押しても保存できます。

マイドキュメントのフォルダ

フォルダ	保存データ
iモード	iモード、フルブラウザ、iモードメールで取得したPDFデータ
プリインストール	お買い上げ時に内蔵されているPDFデータ
データ交換	microSDメモリーカードや外部機器から取り込んだPDFデータ

- フォルダを作成できます。☛P300

PDFデータ一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

❶ **取得元**

[アイコン]：iモード　[アイコン]：内蔵

[アイコン]：データ交換

❷ **ファイル種別**

[アイコン]：すべてのデータをダウンロード済み

[アイコン]：部分保存した

[アイコン]：ダウンロードに失敗した

[アイコン]：FOMAカード動作制限あり

❸ **ファイル制限**

[アイコン]：ファイル制限なし

[アイコン]：ファイル制限あり

- サムネイル表示のとき、一度も表示していないPDFデータやサムネイル画像を表示できないPDFデータ、FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータには、ファイル種別アイコンと同様の画像が表示されます。
- 表示名を変更する☛P302

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：[ⓢ]**

■ **メールに添付して送信：PDFデータを選び[✉]**

PDFデータが添付されているメール作成画面が表示されます。

- 添付できるPDFデータの条件☛P174

PDFデータ表示中の各種操作

■ **スクロール：[ⓞ]**

- 押し続けると連続スクロールします。

■ **ページの切り替え：**

表示ページ	操　作
前ページ	[ⓢ]
次ページ	[✉]
先頭ページ	[4]
最後のページ	[6]
指定ページ	[Menu][1][3]▶ページ番号を入力

■ **表示倍率の変更：**

機　能	操　作
拡大	[3]
縮小	[1]
ページ全体を表示	[2]
実際の大きさで表示	[Menu][6][2]▶[2]
画面幅に合わせて表示	[Menu][6][2]▶[3]
倍率を指定	[Menu][6][3]▶倍率を入力

■ 表示の回転：Menu 6 4 ▶ 1～3
- 7を押しても右90°回転できます。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると右90°回転し、縦に戻すと左90°回転します。
- ページの向きに関わらず、スクロールして前後のページを表示するには↕を押します。

■ 標準画面表示／全画面表示の切り替え：✱
- 全画面表示にするとスクロールバー、ステータス、ガイド行の表示が消えます。
- 標準画面表示時の表示項目の設定：標準画面表示中にMenu 7 ▶各項目を設定▶ 📖

■ ツールバーの利用：

① ●

ツールバーとガイドが表示されます。

- 全画面表示時はガイドは表示されません。

ガイド
ツールバー

② ↔でマークを選び●

🔍	：縮小	📄	：全体表示
🔍	：拡大	⏮	：最初のページ
🔭	：検索	⏭	：最後のページ
↻	：右90°回転	🔗	：リンク表示
▢	：画面切り出し	ℹ	：ドキュメント情報

- ガイドに表示される番号のキーを押してもマークを選択できます。
- ツールバー選択中にクリアを押すとガイドが消え、スクロールなどの操作ができます。再度ツールバーを選択するには●を押します。
- ツールバーを消す：#
  - ・ツールバー選択中は、クリアを押してから#を押します。
  - ・ツールバーが表示されていないときに#を押すとツールバーが表示されます。

■ ページレイアウトの切り替え：Menu 6 5 ▶ 1～3
- 単一ページ(1ページずつ表示)、連続ページ(ページを連続して表示)、見開きページ（2ページずつ表示）から選択できます。
- 1ページのみのPDFデータや、部分保存したPDFデータでは設定できません。

■ 文字列の検索：
- 部分保存したPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

① 5 ▶文字列の入力欄▶入力（全角8／半角16文字まで）
- 完全に一致する語句だけを検索するときは検索方法を「完全一致」にします。
- 英字の大文字と小文字を区別して検索するときは「大文字と小文字を区別」を「区別する」にします。

② 📖

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。
- 一致する次の語句の検索：✉
- 一致する前の語句の検索：↩
- 検索終了：Menu

■ リンクの利用：8 ▶リンク項目を選び●
- リンク表示をONにするとスクロールやページ移動はできません。リンク項目を表示してから操作してください。
- リンク表示の終了：Menu

■ ページのイメージの保存（画面切り出し）：9

現在画面に表示している内容が、JPEG形式の画像として、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。
- PDFデータによってはできない場合があります。
- 保存した画像のFOMA端末外への出力の可／不可は、切り出し元のPDFデータの設定に従います。

■ ヘルプの表示：📖
- ヘルプ表示中にキーを押して操作を実行できます。

■ ドキュメント情報の表示：0

おしらせ

- PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

しおりやマークを使う

しおりやマークを選択して、ページを表示できます。しおり、マークには次の3種類があります。

種　類	説　明
しおり	あらかじめ登録されているしおりです。追加や変更、削除はできません。登録されていないPDFデータもあります。
ｉモードしおり	後から追加できるしおりです。しおりの情報としてページの説明などを登録できます。現在の表示状態（倍率、表示範囲、回転方向）も登録されます。
マーク	PDFデータに後から追加できます。情報は登録できません。

- PDFデータによっては、ｉモードしおりやマークがあらかじめ登録されている場合があります。
- ｉモードしおり、マークはそれぞれ最大10件登録できます（あらかじめ登録されていた件数も含む）。ただし、PDFデータによっては最大件数まで登録できない場合があります。
- パソコンでPDFデータを表示した場合、ｉモードしおりやマークが表示されない場合があります。

しおりを使う

1 **PDFデータ表示画面でMenu 4 1▶しおりを選び●**

ｉモードしおりを使う

ｉモードしおりを登録する

1 **ｉモードしおりを登録するページを表示▶Menu 4 2 2**

2 **情報を入力（全角64／半角128文字まで）▶（m）**

ｉモードしおりを使って表示する

1 **PDFデータ表示画面でMenu 4 2 1▶ｉモードしおりを選び●**

■ 編集：ｉモードしおりを選びMenu 1▶情報を入力▶（m）

■ 1件削除：ｉモードしおりを選びMenu 2 1▶はい

■ 複数削除：Menu 2 2▶ｉモードしおりを選び●▶（m）▶はい

■ 全件削除：Menu 2 3▶端末暗証番号を入力▶はい

マークを使う

マークを登録する

1 **マークを登録するページを表示▶Menu 4 2 5**

マークが表示されます。

マークを使って表示する

1 **PDFデータ表示画面でMenu 4 2 4▶マークを選び●**

■ 1件削除：マークを選びMenu 1▶はい

■ 複数削除：Menu 2▶マークを選び●▶（m）▶はい

■ 全件削除：Menu 3▶端末暗証番号を入力▶はい

Word、Excel、PowerPointのファイルを表示する　ドキュメントビューア

データBOXの「その他」に保存されているWord、Excel、PowerPointのファイルを表示します。

- ドキュメントはフルブラウザでダウンロードしたり、ｉモードメールで取得できます。
- パソコンなどでmicroSDメモリーカードに保存したドキュメントも表示できます。パソコンからmicroSDメモリーカードを利用する☛P298
- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。

1 **（i）0▶フォルダを選び●**

- お買い上げ時は「マイフォルダ」が登録されています。フォルダの作成方法☛P300
- microSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替え：フォルダ一覧で（S）
  - ・microSDメモリーカードの操作方法☛P294

2 **ドキュメントを選び●**

ステータス（ページ番号／総ページ数と表示倍率）

ドキュメント表示画面

ドキュメント一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

❶ 取得元
- ：フルブラウザ、iモードメール
- ：データ交換

❷ ファイル種別
- ：Word　：Excel
- ：PowerPoint
- ：FOMAカード動作制限あり

❸ ファイル制限
- ：ファイル制限なし

- サムネイル表示のとき、一度も表示していないドキュメントやサムネイル画像を表示できないドキュメント、FOMA カード動作制限機能が設定されているドキュメントには、ファイル種別アイコンと同様の画像が表示されます。
- 表示名を変更する☛P302

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：** [S]

■ **メールに添付して送信：ドキュメントを選び** [M]

ドキュメントが添付されているメール作成画面が表示されます。
- 添付できるドキュメントの条件☛P174

ドキュメント表示中の各種操作

■ **スクロール：** [方向キー]
- 押し続けると連続スクロールします。

■ **ページの切り替え：**

表示ページ	操　作
前ページ	[S]
次ページ	[M]
先頭ページ	[4]
最後のページ	[6]
指定ページ	[Menu][1][3]▶ページ番号を入力

■ **表示倍率の変更：**

機　能	操　作
拡大	[3]
縮小	[1]
ページ全体を表示	[2]
画面幅に合わせて表示	[8]
倍率を指定	[Menu][3][3]▶倍率を入力※1

※ 1：全体表示時より小さい倍率では表示できません。

■ **表示の回転：** [Menu][4]▶[1]～[3]
- [7]を押しても右90°回転できます。
- モーションコントロールにより、FOMA端末を左に倒して横向きにすると右90°回転し、縦に戻すと左90°回転します。

■ **標準画面表示／全画面表示の切り替え：** [*]
- 全画面表示にするとガイド行の表示が消えます。

■ **タイトル／ステータスの表示／非表示の切り替え：** [0]
- 押すたびに以下の順で切り替わります。
  ステータスだけ表示→タイトルだけ表示→両方とも非表示→両方とも表示
- [Menu][6]を押し、[1]～[2]を押しても切り替えられます。

■ **文字列の検索：**

① [5]▶**文字列の入力欄**▶**入力（全角16／半角32文字まで）**
- 完全に一致する語句だけを検索するときは、検索方法を「完全一致」にします。

② [i]

検索が実行され、入力した文字列に一致した語句が強調表示されます。
- 一致する次の語句の検索：[M]
- 一致する前の語句の検索：[S]
- 検索終了：[Menu]

■ **ヘルプの表示：** [i]
- ヘルプ表示中にキーを押して操作を実行できます。

おしらせ
- ドキュメントによっては表示に時間がかかる場合があります。
- 対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- IRM（Information Rights Management）機能が設定されているドキュメントは表示できません。

Music&Videoチャネル／音楽再生

Music&Videoチャネル

ミュージックプレーヤー

さまざまな操作で音楽を楽しむ

FMラジオを聴く

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA 端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA 端末および microSD メモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

Music&Videoチャネルのご利用にあたって

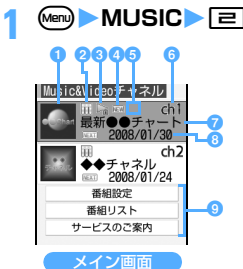
- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル契約が必要です）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。

バックグラウンド再生について

Music&Videoチャネルの番組を再生しながら、マルチタスク機能を利用して、メールの表示や作成、ｉモードサイトの表示などができます（バックグラウンド再生）。

- マルチタスクの組み合わせ☛P418
- 動画番組はバックグラウンド再生できません。
- 実行した機能によっては再生が一時停止することがあります。
- 同時に多くの機能を実行すると、再生が途切れることがあります。

Music&Videoチャネルを起動する

1 Menu ▶MUSIC▶ 2

❶ **番組画像（画像がないときは内蔵画像）**

❷ **ファイル種別**

[icon]：番組データを取得済み
[icon]：番組データを部分保存

❸ **番組種別／再生制限**

表示なし：通常番組、再生制限なし
[icon]：通常番組、再生制限あり
[icon]：時刻連動番組、再生制限なし
[icon]：時刻連動番組、再生制限あり

- 時刻連動番組☛P318

❹ **再生状況**

表示なし：再生済み　NEW：未再生

- 番組データを部分保存した場合は表示されません。

❺ **最新取得結果**

表示なし：取得成功　[icon]：取得失敗

❻ **チャネル番号**

❼ **番組タイトル**

番組データを取得するとタイトルが表示されます。状態によっては以下の内容が表示されます。

表　示	説　明
番組がありません	番組設定なし（番組データ未取得）
番組設定中	番組設定あり（番組データ未取得）
番組更新中	番組データ取得中

❽ **次回配信日（情報があるときのみ）**

❾ **サービスメニュー**

ｉモードに接続し番組設定用の画面や説明を表示します。

番組設定：
番組の設定、確認、解除、配信停止設定。

番組リスト：
提供番組のリストを表示。

サービスのご案内：
サービスの利用方法、注意事項、お申し込みなど。

おしらせ

- 待受画面に取得結果アイコン（[icon]／[icon]）が表示されているときは、待受画面で●を押し、アイコンを選び●を押しても起動できます。

番組を設定する

番組を設定すると、夜間に番組データを自動的に取得します。

- 番組は2つまで設定できます。

1 Music&Videoチャネルを起動▶番組設定

2 画面に従って番組を設定

番組欄に「番組設定中」と表示されます。

- お買い上げ後、またはFOMA カード差し替え後に初めてサービスメニューを選択したときは確認画面が表示されます。「はい」を選択します。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA編>)』をご覧ください。

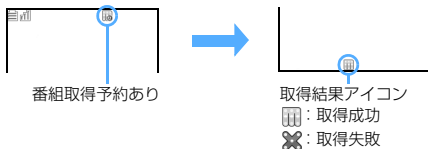
■ **番組の設定内容の確認／解除：Music&Videoチャネルを起動▶番組設定▶画面に従って操作**

おしらせ

- 番組を設定するときは、番組提供サイトのマイメニュー登録が必要です。
- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。
- 異なるFOMAカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。なお、番組設定情報の確認を行うと、保存用のフォルダに移動していない番組データは削除される場合があります。
- 国際ローミング中は番組の設定や取得は行えません。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
- 国際ローミング中に番組の設定や取得を行おうとした場合、i モード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

番組を設定すると

取得開始12時間前になると待受画面にが表示され、配信時刻になると自動的に取得されます。

- 番組データの取得には時間がかかる場合がありますので、あらかじめ十分に充電して、電波状況のよい場所でご利用ください。

- 取得を開始／完了しても音、バイブレータ、決定キーの照明でお知らせしません。
- 圏外のときや番組データ取得中に通信が途切れた場合は、3分間隔で5回まで自動的に再取得します。
- 番組データの取得が中断しても、途中まで取得したデータは部分保存されます。残りのデータは手動で取得できます。
- ／はMusic&Videoチャネルを起動すると消えます。が消えたあとでも手動で再取得できます。
- 取得した番組データは、データBOXのMusic&Videoチャネルの配信番組フォルダに一時的に保存されます。新たに番組データを取得すると、前回配信された番組データは消去され、上書きされます。消去したくない場合は、あらかじめ番組データを保存用のフォルダに移動してください。☛P319

取得に失敗した番組を手動で取得する

1 Music&Videoチャネルを起動▶番組を選び㊉▶はい

- 取得できない時間帯のときはメッセージが表示されます。「配信時間について」を選択すると取得できる時間を確認できます。
- 前回の番組データが残っているときは「そのまま再生」を選択すると再生できます。
- 通常番組の番組データを部分保存しているときは「途中まで再生」を選択すると再生できます。

おしらせ

- 電池残量が2以下のときは番組を取得できません。
- 番組データ取得時に圏外、電池残量が少ない、電源が切れていたなどの理由で取得できなかった場合は、翌日の夜間に再度、番組データを取得します。
- 次の場合は番組を自動取得できません。メイン画面から再度番組を設定してください。
  - 番組設定後に他のFOMAカードに差し替えたとき
  - 番組設定後にFOMAカードを他のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末のデータ一括削除を行ったとき
- 保存領域の空きがなくなると取得が中断します。手動取得時は、画面に従ってデータを削除してください。
- Music&Videoチャネル、i モードの解約を行った場合、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。
- 取得した番組はmicroSDメモリーカードには保存できません。

番組の再生／操作

番組を再生する

- 付属のステレオイヤホンや平型ステレオイヤホンセット（別売）をご利用いただけます。ただし、平型ステレオイヤホンセットのスイッチによるMusic&Videoチャネルの操作はできません。
- 番組を再生すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

1 Music&Videoチャネルを起動▶番組を選び

番組が再生されます。

- 次の操作ができます。
  - ・一時停止／再生：
  - ・音量調整：
  - ・チャプターの先頭に戻る／前のチャプターに戻る：
  - ・次のチャプターに進む：
  - ・巻戻し：（1秒以上）
  - ・早送り：（1秒以上）
  - ・再生終了：クリア
- 操作に応じて決定キーの照明が点灯／点滅します。
- 通常番組で前回、途中まで再生した場合は、中断したチャプターの先頭から再生されます。
- 取得に失敗した番組を選択したときは、確認画面が表示され、手動で取得できます。

■ **横向きで再生（動画番組のみ）：再生中に**

- 押すたびに縦横が切り替わります。

■ **再生制限（回数／期限／期間）が設定されているとき：**

再生時に確認画面が表示され、制限内容を確認できます。

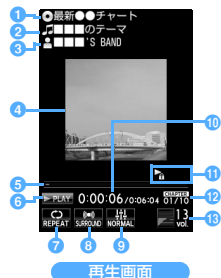
- 再生期間前は再生できません。また再生回数／期限／期間を超過すると再生できなくなり、確認画面で「はい」を選択すると番組データが削除されます。
- 残り再生回数／期限／期間は番組情報で確認できます。
- 期限外や期間外のときにFOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。

時刻連動番組の再生

時刻連動番組は、ラジオなどの放送と同時に同じ内容を再生する番組です。

- ● 再生には自動時刻補正が必要です。
- ● 番組によっては再生できない時間帯があります。
- ● 時刻連動番組では以下の操作や設定はできません。
  - 一時停止
  - 巻戻し／早送り
  - チャプター戻し／送り
  - チャプターを選択して再生
  - 横再生
  - リピート再生

画面の見かた

再生画面

1. **番組名**
2. **チャプターのタイトル**
3. **アーティスト名または作成者名**
4. **チャプター／番組の画像、動画**
   - 画像や動画がないときは内蔵の画像が表示されます。
5. **再生進捗バー**
6. **再生状態**
   - PLAY：再生中　PAUSE：一時停止中
   - FF：早送り中　REW：巻戻し中
7. **リピート再生のON／OFF**
8. **サラウンドのON／OFF**
9. **イコライザの設定状態**
10. **再生時間／総再生時間**
11. **番組種別／制限**
    - ：再生制限あり
    - ：時刻連動番組
    - ：早送り／巻戻し／チャプター操作の制限あり
12. **再生中のチャプター番号／全チャプター数**
13. **音量**

便利な機能

- 番組によっては利用できない機能があります。

■ **番組サイトに接続：再生画面で✉▶はい**
- メイン画面からの操作：番組を選び Menu 5

■ **チャプター一覧からの再生：再生画面で Menu 1▶チャプターを選び●**
- 再生中のチャプターには▶が表示されます。
- チャプター情報の表示：チャプター一覧からチャプターを選び Menu
- データの取得が完了していないチャプターの選択、情報表示はできません。
- メイン画面からの操作：番組を選び Menu 1

■ **チャプター情報の表示：再生画面で Menu 2**

■ **番組情報の表示：再生画面で Menu 3**
- メイン画面からの操作：番組を選び Menu 2

再生時の動作や効果を設定する

■ **リピート再生の設定：再生画面で Menu 4▶1～2**
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

■ **照明設定：再生画面で Menu 5▶1～2**
端末設定に従う…ディスプレイの照明設定（☛P102）の点灯時間設定（通常時）に従います。
- お買い上げ時は「常灯」に設定されています。
- 本機能での設定内容は、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモーション）、ｉモーションの動作設定にも反映されます。☛P102、P280

■ **サラウンドの設定:再生画面で Menu 6▶1～2**
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 時刻連動番組の再生中は確認画面が表示されます。

■ **イコライザの設定:再生画面で Menu 7▶1～9**
- お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています。各効果の説明☛P330
- 時刻連動番組の再生中は確認画面が表示されます。
- 動画番組では設定できません。

おしらせ

- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fを受信したとき（メールの受信・自動送信表示の設定が「通知優先」の場合）、目覚ましやスケジュールの設定時刻になったとき、ｉモード問い合わせを行ったときなどは、再生が一時停止します。
- 巻戻し、早送り、チャプター操作の制限がある番組では、制限されている操作はできません。また、再生中に残り再生回数が0回になると、巻戻し、チャプター戻し、チャプター一覧からの再生ができなくなります。

番組を保存用フォルダに移動する

番組データを、データBOXのMusic&Videoチャネルの保存番組フォルダに移動して保存します。移動すると、新しい番組データを取得しても上書きされません。
- 最大10件保存できます。
- 時刻連動番組や、部分保存した番組は移動できません。また、番組によっては移動できない場合があります。
- 保存番組フォルダからの再生☛P320

1 **Music&Videoチャネルを起動▶番組を選び Menu 3▶はい**

おしらせ

- データBOXの配信番組フォルダからの操作:番組データを選び Menu▶番組移動
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。

番組を削除する

取得した番組データを削除します。
- 番組データを削除しても番組設定は解除されません。メイン画面の番組設定で番組を解除するまで、自動的に番組が配信されます。

1 **Music&Videoチャネルを起動▶番組を選び Menu 4▶はい**

おしらせ

- データBOXの配信番組フォルダからの操作:番組データを選び Menu▶番組削除

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

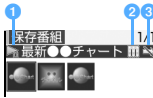
データBOXから、取得／保存した番組データの再生や削除ができます。
- 配信番組フォルダからの番組の操作は、メイン画面と同様です（サービスメニューの操作を除く）。
- 配信番組フォルダ以外のフォルダの作成／削除や、番組データの移動などは、データBOXの他のデータの操作と同様です。
  - ・フォルダの作成／削除☛P300
  - ・番組データの移動☛P301
  - ・番組データの削除☛P304
  - ・番組データの並べ替え☛P305
- 番組データのコピーはできません。

フォルダ一覧の見かた

Music&Videoﾁｬﾈﾙ 1/1
配信番組 — 取得した番組データのフォルダ（番組ごとに最新の1件）
保存番組 — 保存した番組データのフォルダ

- フォルダを作成できます。☛P300

番組データ一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

❶ **番組種別／再生制限**
表示なし：通常番組、再生制限なし
：通常番組、再生制限あり
：時刻連動番組、再生制限なし※1
：時刻連動番組、再生制限あり※1

❷ **ファイル種別**
：番組データを取得済み
：番組データを部分保存※1
：FOMAカード動作制限あり

❸ **ファイル制限**
：ファイル制限あり

※1：配信番組フォルダでのみ表示

- サムネイル表示では、番組画像が表示されます。番組データによっては以下の画像が表示されます。
  ：番組画像がない
  ：FOMAカード動作制限あり

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：**

番組の一覧から再生する

1 **▶フォルダを選び▶番組データを選び**
番組データが再生されます。

おしらせ

- 番組データ一覧でを押し「チャプター一覧」「番組情報」「サイト接続」を選択すると、チャプター一覧の表示、番組情報の表示、番組サイトへの接続が行えます。

番組タイトルを変更する

- 一覧画面に表示される表示名を変更できます。再生画面の番組名は変わりません。

1 **▶フォルダを選び**

2 **番組データを選び**

3 **表示名を入力（全角128／半角256文字まで）▶**

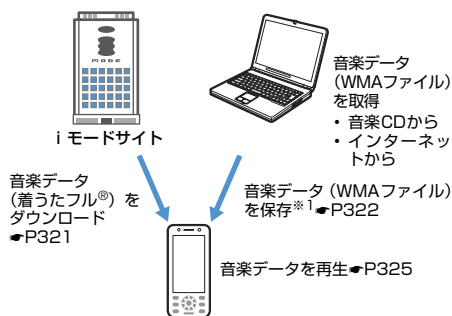
音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法には次の2つがあります。

- ミュージックプレーヤーで再生
  サイトから取得した音楽データ（着うたフル®）や、パソコンからmicroSDメモリーカードに転送した音楽データ（WMAファイル）を再生します。
- ｉモーションとして再生☛P277、P294
  ｉモードで取得した音のみのｉモーションを再生します。

ここでは、ミュージックプレーヤーで再生する方法を説明します。

ミュージックプレーヤーについて

ミュージックプレーヤーでは、サイトからダウンロードした着うたフル®と、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWMAファイルを再生できます。

※1：WMAファイルの保存にはmicroSDメモリーカードが必要です。

バックグラウンド再生について

ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながら、マルチタスク機能を利用して、メールの表示や作成、iモードサイトの表示などができます（バックグラウンド再生）。

- マルチタスクの組み合わせ☛P418
- 実行した機能によっては再生が一時停止することがあります。
- 同時に多くの機能を実行すると、再生が途切れることがあります。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

- FOMA端末の最大保存容量☛P439
- ダウンロードできる着うたフル®のサイズは1件あたり最大5Mバイトです。

1 サイトを表示▶着うたフル®を選び◉

- ダウンロードの中止：(m)▶いいえ

2 保存

- 再生して確認：再生
  再生中は次の操作ができます。
  ・一時停止／再生：◉　・音量調整：◉
  ・巻戻し：◉（1秒以上）
  ・早送り：◉（1秒以上）
- 詳細情報の表示：情報表示
- 保存の中止：戻る▶いいえ

3 表示名を入力（全角25／半角50文字まで）▶(m)

- 表示名にはあらかじめ着うたフル®の「タイトル名-アーティスト名」が入力されています。
- ガイド行に端末→SD が表示された場合は、(⇄)を押し、(m)を押すとmicroSDメモリーカードに保存できます。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面に従ってデータを削除してください。
- ダウンロードを中止したり、通信が切断されたなどで部分保存した着うたフル®の場合、ミュージックプレーヤーから再ダウンロードできます。☛P325

WMAファイルを保存する

パソコンでインターネットやCDからWMAファイルを取り込み、microSDメモリーカードに保存します。WMAファイルの取り込みと保存には、Windows Media Playerを使用します。

- 最大保存件数☛P290
- WMAファイルの転送は、Windows XP Service Pack 2またはWindows Vistaで、Windows Media Player の以下のバージョンを使用して行ってください。
  - ・Windows XP Service Pack 2の場合：Windows Media Player 10（10.00.00.3802以降のバージョン）またはWindows Media Player 11（11.0.5721.5145以降のバージョン）
  - ・Windows Vistaの場合：Windows Media Player 11（11.0.6000.6324以降のバージョン）
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Player のバージョンを必ず確認してください。
- パソコンとFOMA端末の接続にはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）が必要です。
- パソコンからプレイリストを転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内の WMA ファイルは最大400件です。
- WMAファイルはFOMA端末には保存できません。

1 Windows Media Playerを使用して、パソコンにWMAファイルを保存する

- Windows Media Playerの操作方法については、Windows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。

2 FOMA端末のUSBモード設定をMTPモードに切り替える

- USBモードの設定方法☛P298
- microSDメモリーカードを取り付けてからMTPモードに切り替えてください。

■ ミュージックプレーヤー動作中に切り替え：ミュージックプレーヤーのフォルダ一覧／音楽データ一覧でMENU▶MTPモード▶はい

MTPモードに設定され、ミュージックプレーヤーが終了します。

- 再生中は行えません。

3 Windows Media Playerを起動する

4 パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01で接続する

- パソコンとFOMA端末の接続方法☛P298

5 Windows Media Playerを使用して、パソコンから FOMA 端末の microSD メモリーカードにWMAファイルを転送する

6 転送が終わったらFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を取り外す

- 取り外しかた☛P298

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

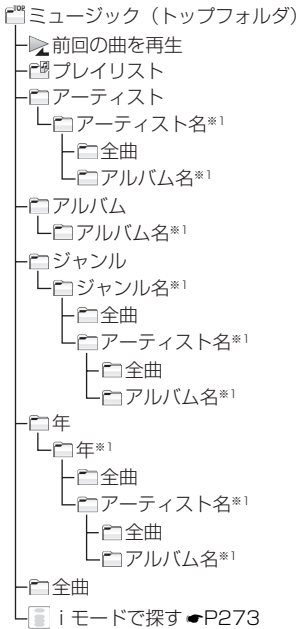
- ● ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。付属のCD-ROMからも下記のホームページにアクセスできます。
http://www.napster.jp/
- ● ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
http://www.napster.jp/support/

おしらせ

- ● Windows XP、Windows VistaおよびWindows Media Player は常にアップデートして、最新の状態にしておくことをおすすめします。アップデートがされていないと、転送した WMA ファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあります。
- ● 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに転送したWMAファイルは、D905iでは表示／再生されない場合があります。
- ● 他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDメモリーカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、WMA一括削除（☛P328）を行うか、microSDメモリーカードを初期化（☛P297）してください。なお、microSDメモリーカードを初期化すると音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- ● D902iS以前のFOMA Dシリーズのミュージックプレーヤーで再生できた AAC 形式のファイルは、D905i のミュージックプレーヤーでは再生できませんが、microSDメモリーカードのデータBOX内の「その他の動画」では再生できます。microSDメモリーカードへの保存☛P300

ミュージックプレーヤーのフォルダと画面の見かた

ミュージックプレーヤーのフォルダ構成

```
ミュージック（トップフォルダ）
├前回の曲を再生
├プレイリスト
├アーティスト
│└アーティスト名※1
│　├全曲
│　└アルバム名※1
├アルバム
│└アルバム名※1
├ジャンル
│└ジャンル名※1
│　├全曲
│　└アーティスト名※1
│　　├全曲
│　　└アルバム名※1
├年
│└年※1
│　├全曲
│　└アーティスト名※1
│　　├全曲
│　　└アルバム名※1
├全曲
└iモードで探す ☛P273
```

※１：音楽データに登録されている名称や年がフォルダ名になります。名称や年が登録されていないときは「不明なアーティスト」「不明な年」などのフォルダが表示されます。

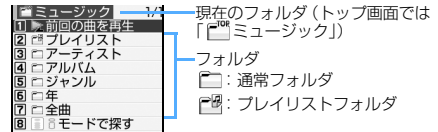
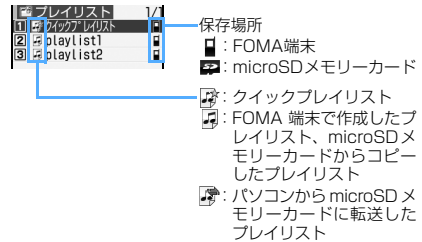
■ フォルダの説明

フォルダ	説　明
ミュージック	ミュージックプレーヤーのトップフォルダです。
前回の曲を再生	前回終了時に再生していた音楽データを再生します。
プレイリスト	プレイリストが保存されます。☛P328
アーティスト／アルバム／ジャンル／年	音楽データがアーティスト名／アルバム名／ジャンル／年で分類されて表示されます。
全曲	すべての音楽データが表示されます。

おしらせ

● ミュージックプレーヤーで表示するフォルダ構成は、FOMA端末のメモリ上やmicroSDメモリーカード上でデータが保存されているフォルダの構成とは異なります。

画面の見かた

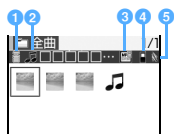
フォルダ一覧の見かた

プレイリスト一覧の見かた

音楽データ一覧の見かたと操作

（例）サムネイル表示のとき

❶ **取得元**

：ｉモード　　：パソコンから転送

❷ **状態／再生制限**

：再生制限なし　　：部分保存した

：回数制限あり※1　　：期限制限あり※1

：期間制限あり※1

：うた・ホーダイの再生期限内※1

（グレー）：
うた・ホーダイの再生期限切れ／再生禁止※1

：再生不可※1

※1：着うたフル®のみ表示

❸ **ファイル形式と著作権管理**

：着うたフル®、DoCoMo

：着うたフル®、FOMAカード動作制限あり

：WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理技術（WMDRM）

：WMAファイル、著作権管理なし

❹ **保存場所**

：FOMA端末

：microSDメモリーカード

❺ **ファイル制限**

：ファイル制限あり

- サムネイル表示では音楽データに登録されているジャケット画像が表示されます。音楽データによっては次の画像が表示されます。
  ：ジャケット画像がない
  ：部分保存した
  ：FOMAカード動作制限あり

■ **サムネイル表示とタイトル表示の切り替え：**

再生画面の見かた

❶ **タイトル／アーティスト名**

❷ **ジャケット画像**

- ジャケット画像がないときは内蔵の画像が表示されます。

❸ **再生時間／総再生時間と再生進捗バー**

❹ **再生状態**

PLAY：再生中　　INTRO：イントロ再生中

STOP：停止中

❺ **リピート再生の設定状態☛P330**

1REPEAT：1曲リピート　　REPEAT：全曲リピート

❻ **シャッフルのON／OFF☛P330**

❼ **サラウンドのON／OFF☛P330**

❽ **イコライザの設定状態☛P330**

❾ **音量**

FM：FMトランスミッターON☛P330

おしらせ

- FOMA端末のプレイリストに登録されている音楽データを削除したり、音楽データが保存されているmicroSDメモリーカードを取り外したときは、プレイリストに表示される曲名が「- - -」になり、再生できなくなります。音楽データを削除したときは、プレイリストからも解除してください。microSDメモリーカードを取り外したときは、microSDメモリーカードを取り付けると登録された曲名が表示され、再生できます。

音楽データを再生する

- 付属のステレオイヤホンや平型ステレオイヤホンセット（別売）をご利用いただけます。ただし、平型ステレオイヤホンセットのスイッチによるミュージックプレーヤーの操作はできません。
- 着うたフル®は、サイトから取得したときと同じFOMAカードを挿入していないと再生できません。また、着うたフル®によっては、機種が異なると再生できないことがあります。
- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

音楽データを連続再生する

1 [S][≡]

2 フォルダ／プレイリストを選び[●]

- 「前回の曲を再生」を選択すると、前回終了時に再生していた音楽データが再生されます。

3 再生を開始する音楽データを選び[●]

音楽データが再生されます。

- 次の操作ができます。
  - ・一時停止／再生：[●]
  - ・音量調整：[↕]（FMトランスミッター出力中は無効）
  - ・音楽データの先頭に戻る／前の音楽データに戻る：[←]
  - ・次の音楽データに進む：[→]
  - ・巻戻し：[←]（1秒以上）
  - ・早送り：[→]（1秒以上）
  - ・再生終了（一覧に戻る）：[クリア]
- 操作に応じて決定キーの照明が点灯／点滅します。

■ **再生したまま一覧に戻す：[✉]／[♪]（1秒以上）**

- 音楽データを選択すると再生されます。
- 1つ上のフォルダに移動：[クリア]／[♪]（1秒以上）
  - ・トップ画面ではミュージックプレーヤーが終了します。
- 再生画面に戻す：[✉]／[♪]

■ **うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の再生期限の更新が必要なとき：**

「再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？」と表示されます。[Menu]（はい）を押すとサイトに接続され、再生期限を更新できます（パケット通信料有料）。

- 再生期限の更新が必要な着うたフル®を選択して「はい」を選択しても更新できます。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後でも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は再生期限を更新しなくても再生できます。再生猶予期間を過ぎると着うたフル®を再生できません。また、再生期限の更新を行っていない状態で着うたフル®のダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- うた・ホーダイで着うたフル®をダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入した場合、着うたフル®は再生できません。
- うた・ホーダイで着うたフル®をダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入して（FOMA端末譲渡の場合など）ミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除を実施することをおすすめします。☛P363
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。

■ **再生制限（回数／期限／期間）が設定されているとき：**

再生回数内のときは、確認画面に残り再生回数が表示され、再生できます。再生期限内／期間内のときは、確認画面なしで再生されます。

- 再生期間前は再生できません。また再生回数／期限／期間を超過すると再生できなくなり、確認画面で「はい」を選択すると着うたフル®が削除されます。
- 着うたフル®の残り再生回数／期限／期間は詳細情報参照で確認できます。
- 期限外や期間外のときにFOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。

■ **部分保存した着うたフル®の残りのデータのダウンロード：着うたフル®を選び[●]▶はい**

- 部分保存した着うたフル®は再生できません。
- 再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータをダウンロードできません。確認画面が表示され、部分保存した着うたフル®を削除できます。
- 再ダウンロードが不可能なエラーを検出した場合、部分保存した着うたフル®が削除されることがあります。

おしらせ

- 音声電話／テレビ電話／プッシュトークが着信したとき、メールやメッセージR/Fを受信したとき（メールの受信・自動送信表示の設定が「通知優先」の場合）、目覚ましやスケジュールの設定時刻になったとき、iモード問い合わせを行ったときなどは、再生が一時停止します。
- 再生期限が切れるか確認できなくなったことにより再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。

曲の先頭だけを連続再生する　イントロ再生

音楽データの先頭から約7秒のみを、順に再生します。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び

選んだ音楽データからイントロ再生されます。

- イントロ再生中にを押すとイントロ再生が解除され、続きが再生されます。

音楽データを管理／利用する

音楽データを移動する

サイトからダウンロードした着うたフル®のうち、コンテンツ移行対応の着うたフル®を、FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で移動できます。

- 移動可否は詳細情報参照で確認できます。☛P327
- WMAファイル、部分保存した着うたフル®、再生制限を超過した着うたフル®は移動できません。
- 再生中は行えません。

例 FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動するとき

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 4 2 1

- 複数移動：Menu 4 2 2 ▶音楽データを選び ▶
- 全件移動：Menu 4 2 3

■ microSDメモリーカードからFOMA端末に移動：音楽データを選び Menu 4 1 1

- 複数移動：Menu 4 1 2 ▶音楽データを選び▶
- 全件移動：Menu 4 1 3

2 はい

おしらせ

- 着信音などに設定している音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動すると、着信音などの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

音楽データを削除する

- 再生中は行えません。

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 5 1

- 複数削除：Menu 5 2 ▶音楽データを選び▶
- 全件削除：Menu 5 3 ▶端末暗証番号を入力

2 はい

おしらせ

- 着信音などに設定している音楽データを削除すると着信音などの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

音楽データの表示順を変更する　ソート

音楽データ一覧の音楽データの並び順を変更できます。

- 再生中は行えません。

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧で Menu 6

2 各項目を設定▶

対象：

並べ替えの方法を設定（お買い上げ時：トラック番号）。

順序：

データの並び順を設定（お買い上げ時：昇順）。

音楽データを着信音に設定する

- 着信音に設定する方法には、まるごと設定とオススメ設定の2種類があります。まるごと設定では、音楽データ全体を着信音に設定します。オススメ設定では、音楽データの一部分を着信音に設定します。
- WMAファイル、部分保存した音楽データは設定できません。
- 音楽データによっては着信音に設定できない場合や、まるごと設定とオススメ設定の一方しかできない場合があります。設定可否は詳細情報参照で確認できます。
- 再生中は行えません。

例 まるごと設定するとき

1 音楽データ一覧で音楽データを選びMenu 1 ▶着信音の種類を選び●

2 1

- メモリ指定電話着信音／メモリ指定メール着信音に設定するときは電話帳から相手を選択します。

■ **オススメ設定するとき：2▶再生箇所を選び●**

- 再生して確認：再生箇所一覧から再生箇所を選び(📖)

■ **microSDメモリーカード内の音楽データを設定するとき：**

設定方法や音楽データにより画面が異なります。

- FOMA端末に移動して設定するかの確認画面が表示されたとき：はい
音楽データがFOMA端末に移動されます。
- ｉモーションに切り出して設定するかの確認画面が表示されたとき：はい▶表示名を入力▶(📖)
着信音に設定する部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末（ｉモーションの「ｉモード」フォルダ）に保存されます。

おしらせ

● うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®を着信音などに設定後に、再生期限が切れたなどで再生できなくなった場合、お買い上げ時の音が鳴ります。

詳細情報を表示／変更する　詳細情報参照／変更

詳細情報を参照する

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 1

- 曲情報、権利情報、ファイル情報、可否情報を切り替え：◎
- 詳細情報の変更（着うたフル®のみ）：(📖)
- 着うたフル®とWMAファイルでは表示される項目が一部異なります。
- 着うたフル®の場合、保存場所（FOMA端末／microSDメモリーカード）によって、タイトル、オリジナルタイトルなどの表示可能文字数が異なります。
- 曲情報のトラック番号はアルバム内の曲番号と総曲数を示します。
- ファイル種別の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®を示します。
- ファイル情報にURL情報が含まれている場合は、ファイル情報画面でMenuを押し「はい」を選択するとサイトに接続できます。
- 可否情報画面では以下のように各種操作の可否を確認できます。

着うたフル®の場合

項　目	説　明
ファイル制限	音楽データをFOMA端末外へ出力できるかの区分。
再生制限	再生制限の内容。
まるごと着信音設定	音楽データ全体を着信音などに設定できるかの区分。
オススメ着信音設定	音楽データの一部を着信音などに設定できるかの区分。
保存可能ジャケット画像	ジャケット画像をFOMA端末に保存できるかの区分。
保存可能画像	待受画面用の画像をFOMA端末に保存できるかの区分。
保存可能歌詞	歌詞画像をFOMA端末に保存できるかの区分。
microSDへの移動（本体への移動）	音楽データをmicroSDメモリーカードまたはFOMA端末へ移動できるかの区分。

WMAファイルの場合

項　目	説　明
著作権管理	著作権管理のあり／なし。

おしらせ

● 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間の日付で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

詳細情報を変更する

- WMAファイルの詳細情報は変更できません。
- 再生中は行えません。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 2 ▶各項目を設定▶ 🄼

表示名：
音楽データ一覧に表示する名前を入力（全角25／半角50文字まで）。

タイトル：
再生画面に表示するタイトルを入力（保存場所がFOMA端末の場合は全角127／半角254文字まで、保存場所がmicroSDメモリーカードの場合は全角31／半角63文字まで）。

アーティスト／アルバム／ジャンル／コメント：
保存場所がFOMA端末の場合は全角127／半角254文字まで入力可。保存場所がmicroSDメモリーカードの場合は全角126／半角253文字まで入力可。

年：
4桁で入力。

トラック番号／総トラック数：
3桁で入力。

- 各項目の「オリジナルに戻す」を選択すると、ダウンロード時の内容に戻ります。

画像や歌詞を表示／保存する

音楽データに画像が含まれているとき、画像を表示し、FOMA端末に保存できます。

- JPEG形式、GIF形式の画像を表示できます。表示可能な最大枚数は、ジャケット画像1枚、待受画面用の画像2枚、歌詞画像7枚です。
- 音楽データによっては画像を保存できない場合があります。
- WMAファイルではデータに埋め込まれたジャケット画像のみ表示できます。保存はできません。
- 画像はマイピクチャの「ｉモード」に保存されます。

1 音楽データ一覧で音楽データを選び Menu 2 3 ▶ 1 ～ 3

- 複数の画像があるときは、◎で前後の画像を表示できます。
- 全画面表示：画像表示中に ✉
  - ・全画面表示の終了：クリア
- 画像の保存：画像表示中に 🄼

WMAファイルを一括して削除する

microSDメモリーカードに保存されているWMAファイルとプレイリストをすべて削除します。

- 再生中は行えません。

1 トップ画面で Menu 1 ▶端末暗証番号を入力▶はい

おしらせ

- WMA一括削除を行うと、microSDメモリーカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内のデータがすべて削除されます。ミュージックプレーヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

プレイリストを管理する

プレイリストとは、音楽データを再生する順番を登録するリストです。登録した音楽データだけを順番に再生できます。

- プレイリストの最大保存件数および、プレイリスト1件あたりの音楽データの最大件数は以下のとおりです。

保存場所	プレイリストの最大保存件数	1件あたりの音楽データの最大件数
FOMA端末	20件	100件
microSDメモリーカード	100件	400件

- microSDメモリーカードには、パソコンからプレイリストを音楽データとともに転送できます。☞P322
- FOMA端末ではmicroSDメモリーカードのプレイリストを再生／削除できますが、作成／変更はできません。
- 部分保存した音楽データは登録できません。
- お買い上げ時はFOMA端末にクイックプレイリストが登録されています。クイックプレイリストには、再生中の音楽データを簡単な操作で登録できます。☞P329

プレイリストを作成する

- クイックプレイリストは作成できません。

空のプレイリストを作成する

1 トップ画面を表示▶プレイリスト▶[Menu][1]

2 表示名を入力（全角29／半角59文字まで）▶[m]

登録する音楽データを選んでプレイリストを作成する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧で音楽データを選び[Menu][3][1][1]

■ 複数登録：[Menu][3][1][2]▶音楽データを選び[決定]▶[m]

■ 全件登録：[Menu][3][1][3]

2 表示名を入力（全角29／半角59文字まで）▶[m]

おしらせ

● プレイリストが最大保存件数を超えるときは、画面に従ってプレイリストを削除してください。

プレイリストに音楽データを登録する

- 再生中は行えません。

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧で音楽データを選び[Menu][3][2][1]

■ 複数登録：[Menu][3][2][2]▶音楽データを選び[決定]▶[m]

■ 全件登録：[Menu][3][2][3]

2 登録先プレイリストを選び[決定]

音楽データがプレイリストに追加されます。

クイックプレイリストに登録する

再生中の音楽データを、お買い上げ時に登録されているクイックプレイリストに登録できます。

1 再生画面で[発]（1秒以上）

確認音が鳴り、クイックプレイリストに追加されます。

プレイリストを編集する

1 トップ画面を表示▶プレイリスト

■ プレイリスト名の変更：プレイリストを選び[Menu][5]▶表示名を入力（全角29／半角59文字まで）▶[m]

- クイックプレイリストの表示名は変更できません。
- プレイリスト名の表示：プレイリストを選び[Menu][4]

2 プレイリストを選び[決定]

プレイリスト内の音楽データが一覧表示されます。

- 音楽データが1件も登録されていないときは確認画面が表示されます。「はい」を選択してフォルダを選択し、音楽データを選択して[m]を押します。

3 プレイリストを編集

- 再生中は行えません。

■ 音楽データの登録：[Menu][3][1][1]▶フォルダを選び[決定]▶音楽データを選び[決定]

- 複数登録：[Menu][3][1][2]▶フォルダを選び[決定]▶音楽データを選び[決定]▶[m]
- 全件登録：[Menu][3][1][3]▶フォルダを選び[決定]▶登録しない音楽データを選び[決定]▶[m]

■ 音楽データの登録解除：

- プレイリストから解除されますが、保存されている音楽データは残ります。

①音楽データを選び[Menu][3][2][1]

- 複数解除：[Menu][3][2][2]▶音楽データを選び[決定]▶[m]
- 全件解除：[Menu][3][2][3]

②はい

■ 音楽データの並べ替え：

①[Menu][3][3]

②移動する音楽データを選び[写]または[メール]で移動

③並べ替えが終了したら[m]

プレイリストを削除する

- クイックプレイリストは削除できません。
- 再生中は行えません。

1 トップ画面を表示▶プレイリスト▶プレイリストを選び Menu 3 ▶はい

プレイリストをコピーする

1 トップ画面を表示▶プレイリスト▶プレイリストを選び Menu 2

- コピーしたプレイリストはFOMA端末に保存されます。
- microSDメモリーカードのプレイリストをコピーするときは確認画面が表示されます。
- microSDメモリーカードのプレイリストをコピーする場合、音楽データの登録情報は100件までコピーされます。

ミュージックプレーヤーの設定をする

動作設定

1 音楽データ一覧で Menu 9

- プレイリスト内の音楽データ一覧からの操作：Menu 6

2 各項目を設定▶ (決定)

- 再生中は「サラウンド」「イコライザ」の設定を変更できません。

一覧の画像表示：
あり…サムネイル表示します（お買い上げ時）。
なし…タイトル表示します。

音量：
音楽データ再生時の音量を設定（お買い上げ時：レベル13）。

リピート再生：
「OFF」「1曲リピート」「全曲リピート」から選択（お買い上げ時：全曲リピート）。

シャッフル：
音楽データをランダムな順番で再生するには「ON」に設定（お買い上げ時：OFF）。

サラウンド：
サラウンド効果を有効にするかを設定（お買い上げ時：OFF）。

イコライザ：
再生時にかける効果を設定（お買い上げ時：ノーマル）。
バス1…低音が強調されます。
バス2…イヤホンで聴くときに不足しがちな重低音を補います。
ロック／ジャズ／ボーカル／クラシック／ポップ…それぞれのジャンルの特性に合った設定で再生されます。
トレイン…イヤホンなどで聴くときの音漏れを軽減します。

おしらせ

- サラウンドの設定はステレオ効果設定にも反映されます。☛P95

オーディオ機器やカーステレオで音楽を聴く

FMトランスミッター

ミュージックプレーヤーやｉアプリの音、ワンセグやビデオの音声をFM電波で送信し、ご家庭のFMラジオ付きのオーディオ機器やカーステレオなどで聴くことができます。

- セルフモード中は利用できません。
- 付属のステレオイヤホンなどを接続しているときや、外部機器と接続中は利用できません。

FMトランスミッターの周波数を設定する

FMトランスミッター設定

- ご利用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

1 Menu ▶設定／NWサービス▶ 1 7 ▶各項目を設定▶ (決定)

周波数：
周波数を選択。

ステレオ／モノラル切替：
ステレオで出力するかモノラルで出力するかを選択。

おしらせ

- FMトランスミッター使用中に (メール) を押し、新規起動メニューで (×) を押しても設定できます。この場合、各項目を設定した時点で設定が変更されますが、(決定) を押さずに (クリア) などで設定を終了すると、変更前の設定に戻ります。

音楽をFM電波で送信する

例 ミュージックプレーヤーの音をFM電波で送信するとき

1 ミュージックプレーヤーの再生画面でMenu 3

FMトランスミッター出力に切り替わり、FM))が表示されます。FOMA端末のスピーカーからの音は止まります。

- 解除するには、同様の操作を行います。

■ **iアプリの音をFMトランスミッターで出力：iアプリ動作中に(S)▶はい**

- あらかじめ iアプリの動作設定でFMトランスミッターを「ON」にすることもできます。☛P212
- 解除するには、同様の操作を行います。
- 「FMラジオMusicサーチ」ではFMトランスミッター出力はできません。

■ **ワンセグの音声をFMトランスミッターで出力：ワンセグ視聴中にMenu 7 8 1**

- 解除：Menu 7 8 2

■ **ビデオの音声をFMトランスミッターで出力：ビデオ再生中にMenu 5 8 1**

- 解除：Menu 5 8 2

2 受信側の機器で周波数をFMトランスミッターの周波数に合わせる

- ミュージックプレーヤーを終了するとFMトランスミッター出力は解除されます。

おしらせ

- FMトランスミッターは、無線局の免許が必要ない微弱な電波を使用するため、受信側の機器や機器の設置状況、アンテナの位置、周囲の状況によっては、雑音が発生したり音が途切れたりする場合があります。このような場合は、FOMA端末をよりよく聴こえる方向に向けてください。ただし、雑音や音の途切れがなくならない場合もあります。
- 受信機器との間に障害物があったり、FOMA端末の近くに金属類があると、雑音が発生したり、音が途切れたりする場合があります。
- FMトランスミッターは日本国内でのみ使用できます。
- FMトランスミッターは圏外でも使用できます。ただし、FOMA端末の電源を入れてから一度も日本国内でサービスエリア内に入っていない場合は使用できません。
- FMトランスミッター出力の音量は、FOMA端末の設定とは連動しません。音量は受信側機器で調整してください。
- マナーモード中でもFMトランスミッター出力は無音になりません。
- FMトランスミッター出力中でも、電話やメールの着信音や目覚まし音、スケジュール音はFOMA端末のスピーカーから鳴ります。その間、FMトランスミッター出力は無音になります。通話や通信などが終了し、ミュージックプレーヤー、iアプリ、ワンセグなどの音声出力が再開されると、FMトランスミッター出力も再開します。
- マルチタスク機能で他の機能に切り替えてもFMトランスミッター出力は継続します。ただし、動画／iモーションやメロディなどを再生するとFOMA端末のスピーカーで再生され、再生が終了するまでFMトランスミッター出力は無音になります。また、他の機能を実行して出力元の機能が停止するとFMトランスミッター出力は無音になります。

FMラジオを聴く

FOMA端末にプリインストールされているiアプリ「FMラジオMusicサーチ」を使用して、FOMA端末でFMラジオ放送を受信できます。放送中の曲の情報を取得して表示するNOW PLAYING情報取得機能や、放送中の曲をダウンロードできるiモードサイトを検索する機能もあります。

- FMラジオを聴くときは、付属のステレオイヤホンを必ず接続してください。ステレオイヤホンのコードがFMアンテナの役目をします。接続方法☛P24
  平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをイヤホンマイク端子に接続してFMラジオを聴くこともできます。ただし、受信感度については保証できない場合があります。
- お買い上げ時はイヤホンから音が鳴るように設定されています。FOMA端末のスピーカーから鳴らすこともできます。☛P334

例 初めて起動するとき

1 (S) 2 ▶はい

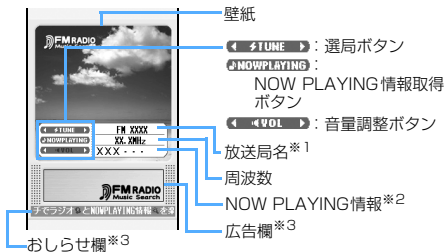
FMラジオMusicサーチが起動され、注意事項・利用規約の画面が表示されます。

- 2回目からは(S) 2を押すとFMラジオ画面が表示され、前回終了時に受信していた局が受信されます。操作5に進みます。

2 利用規約を確認する（必読）▶確認してMenu

3 はい

4 エリア欄▶エリアを選び(●)▶決定

5 FMラジオを聴く

FMラジオ画面

※1：登録されている場合だけ表示されます。
※2：情報を取得すると表示されます。
※3：広告欄やおしらせ欄の表示情報にサイトへのリンクが設定されている場合、選択するとサイトに接続できます。

■ **放送局の切り替え：TUNEを選び**

■ **音量調整：VOLを選び**

• 出力先を「スピーカー」にしている場合や、ステレオイヤホンなどを接続していない場合は、マナーモード中（iアプリ音を「ON」にしたオリジナルマナーモード中を除く）、公共モード（ドライブモード）中は音量が0になり音量調整できません。

■ **NOW PLAYING情報の取得：NOWPLAYINGを選び**

iモードに接続してNOW PLAYING情報を取得します。

• 番組によっては取得できないことがあります。また、エリアにあらかじめ登録されている放送局の受信中以外は行えません。
• 取得したNOW PLAYING情報は最大で約1分30秒間表示されます。

■ **放送中の曲のダウンロード（曲検索）：NOW PLAYING情報表示中に▶はい**

iモードに接続し、着うた®／着うたフル®のダウンロードサイトなどを検索します。

• 以降は画面に従ってサイトに接続します。
• NOW PLAYING 情報を取得／表示していないときは行えません。
• ダウンロードサイトのご利用には情報料が必要な場合があります。

■ **FMラジオの終了：▶はい**

おしらせ

● 次の場合は雑音が発生することがあります。
  • 充電中　• 近くに電子機器があるとき
  • キー操作などで画面を切り替えたとき
● 室内など電波の弱いところではFMラジオが聴こえにくくなります。そのような場合は次の方法をお試しください。
  • ステレオイヤホンのコードを伸ばして、聴こえる角度を探す。
  • 窓の近くなどに移動してみる。
● 圏外でもFMラジオは利用できます。ただし、NOW PLAYING情報の取得や曲検索など、iモードに接続して通信を行う機能は利用できません。
● FM ラジオを聴くには通信料はかかりませんが、起動時や、NOW PLAYING 情報の取得や曲検索をするときなどは、通信を行うためパケット通信料がかかります。通信したくない場合や海外で使用する場合は、iアプリの動作設定で、通信設定を「通信しない」にすることをおすすめします。
● 電話やプッシュトークが着信したときや、目覚ましやスケジュールアラームの設定時刻になったときは、FMラジオの音は止まります。
● マルチタスクで他の機能を実行した場合、実行した機能によってはFMラジオの音が止まることがあります。

メニューから各種操作や設定を行う

1 FMラジオ画面でMenu

メニュー
: NOW PLAYING履歴
: テーマカラー設定
: 壁紙設定
: ダイレクトチューニング
: 情報サイトリンク
: エリア設定表示
: FM局編集
: 設定・ヘルプ

• メニューを閉じる：Menu

NOW PLAYING履歴を表示する

今までに取得した NOW PLAYING 情報の履歴を表示し、着うた®／着うたフル®のダウンロードサイトなどを検索できます。

• 最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 メニューからでを選ぶ

2 で履歴を表示

• 検索実行：履歴を選び▶はい

FMラジオ画面のテーマカラーをダウンロードする

• テーマカラーは1件のみ保存されます。

1 **メニューから で を選ぶ**

2 **ダウンロード▶はい**

FMラジオが停止してｉモードに接続され、ダウンロード用ページが表示されます。

• お買い上げ時のテーマカラーに戻す：オリジナル▶はい

・「オリジナル」を選択すると、ダウンロードしたテーマカラーは消去されます。

3 **テーマカラーを選び ▶はい▶ダウンロードが完了したら**

• ダウンロードを実行せずに クリア や でダウンロード用ページを終了するとFMラジオも終了します。

FMラジオ画面の壁紙を変更する

• サイズが240×400を超える画像は設定できません。

例 マイピクチャに保存されている画像を表示するとき

1 **メニューから で を選ぶ**

2 **マイピクチャから選択▶ ▶フォルダを選び ▶画像を選び**

■ 壁紙のダウンロード：

①ダウンロード▶はい

FMラジオが停止してｉモードに接続され、ダウンロード用ページが表示されます。

②壁紙を選び ▶はい

ダウンロードが実行されます。

• ダウンロードを実行せずに クリア や でダウンロード用ページを終了するとFMラジオも終了します。

③ ▶ ▶フォルダを選び

■ オリジナルの壁紙に戻す：オリジナル▶はい

周波数を指定して受信する（ダイレクトチューニング）

1 **メニューから で を選ぶ**

2 ** ▶ で設定（76.0～90.0MHz）▶ ▶決定**

情報サイトに接続する

FM局のサイトを表示します。

• エリアにあらかじめ登録されている放送局の受信中以外は行えません。

1 **メニューから で を選び ▶はい**

• FMラジオに戻す：クリア▶はい

エリアを設定／更新する

例 エリアを設定するとき

1 **メニューから で を選ぶ**

2 **エリア欄▶エリアを選び**

• エリアの情報を最新の状態に更新：エリア情報の更新▶はい

FM放送局を登録・編集する

放送局を登録し、FMラジオ画面の TUNE で選択できるようにします。

• 放送局登録後にエリアを選択／更新すると、放送局の登録は消去されます。

例 放送局を登録するとき

1 **メニューから で を選ぶ**

• 放送局が一覧表示されます。

• 放送局の削除：放送局を選び

・追加登録した放送局のみ削除できます。

•「全国 FM 局周波数一覧へ」を選択し「はい」を選択すると、ｉモードに接続して、各地のFM放送局の周波数を確認できます。

・FMラジオに戻す：クリア▶はい

2 **［未登録］▶FM局名欄▶入力（全角8／半角16文字まで）**

• 放送局を選択すると編集できます。ただし、追加登録した放送局以外ではFM局名は変更できません。

3 **周波数欄▶ で設定（76.0～90.0MHz）▶ ▶決定**

出力先とNOW PLAYING情報の取得方法を設定する／ヘルプを表示する

1 **メニューから で を選ぶ**

2 **各項目を設定**

ヘルプ：ヘルプを表示。

イヤホン／スピーカー：
音をイヤホンから鳴らすかFOMA端末のスピーカーから鳴らすかを選択。

NOW PLAYING自動取得：
「手動」または自動取得する時間間隔を選択。

おしらせ

- テーマカラーや壁紙のダウンロード後に曲検索や情報サイトリンクなどを行うと「既に起動されています。実行中の機能を終了し新規起動しますか？（データは破棄されます）」と表示されることがあります。「終了して新規起動」を選択してください。
- テーマカラーや壁紙のダウンロード後にFMラジオを終了するときは、FMラジオ終了後にダウンロード用ページの終了確認画面が表示されます。「はい」を選択してください。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて　マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：1通信
  - ・ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - ・SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ☛P417

おしらせ

● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料がかかります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中に音声電話を受ける

例　ｉモード中に音声電話を受けるとき

1　ｉモード中に音声電話がかかってくる

- 音声電話がかかってきたときの画面は、マルチアクセス中表示の設定によって異なります。

2

- 通話の終了：通話中画面で
- サイト表示の終了：▶サイト画面に切り替え▶▶はい

通話中に他の通信を行う

例　音声電話通話中にｉモードに接続するとき

1　音声電話通話中に▶2 1

新規起動メニュー

- サイト表示の終了：サイト画面で▶はい
- 通話の終了：▶通話中画面に切り替え▶

例　音声電話通話中にｉモードメールを送信するとき

1　音声電話通話中に▶1 2

ｉモードメールの送信が終了すると通話中画面に戻ります。

- メール作成の終了：メール作成画面で
- 通話の終了：▶通話中画面に切り替え▶

マルチタスクについて　マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、自局番号、マナーモード設定／解除は、他の機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。
- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。
- マルチタスクの組み合わせ☛P418

新しい機能を実行する

例　音声電話通話中にスケジュールを表示するとき

1　音声電話通話中に▶7 1

2　スケジュールを表示

- スケジュールの終了：スケジュールの画面で
- 通話の終了：▶通話中画面に切り替え▶

おしらせ

● 動画や音楽データの再生中、ワンセグ視聴中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。

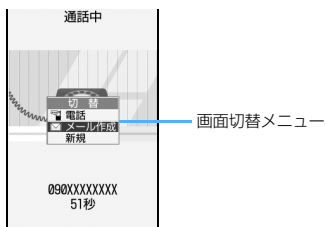
● 新規起動メニューの1階層目を表示中にを押すと自局番号を表示できます。ただし、実行中の機能や状態によっては表示できないことがあります。

● ワンセグ視聴中は、一部の機能をマルチウィンドウで実行できます。操作方法☛P254

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に[マルチ]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えて操作できます。

例 音声電話通話中にメール作成画面へ切り替えるとき

1 音声電話通話中に[マルチ]▶メール作成

- 通話中画面に戻す：[マルチ]▶電話
- 画面切替メニュー表示中に[Menu]を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。

実行中のすべての機能を一度に終了する

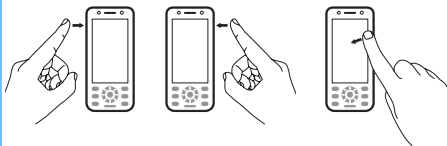
1 マルチタスク中に[マルチ][m]▶はい

FOMA端末を振ったり横にして操作する　モーションコントロール

D905iには、FOMA端末の動きを検出するモーションコントロールセンサーが内蔵されています。このセンサーにより、FOMA 端末を振ったり向きを変えたり、タップして操作ができます（モーションコントロール）。

- FOMA端末は地面に対して縦に持った状態から振ってください。
- 振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。モーションコントロールのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

タップとは

FOMA 端末の側面や、ディスプレイを軽くたたく操作です。
ミュージックスキップや、マチキャラのおしゃべりモードの操作で行います。

- タップするときは、指の腹で行ってください。
- FOMA端末の開閉に関わらず、側面やディスプレイの上部をタップします。

モーションコントロールの有効／無効を設定する　モーションコントロール設定

- 各機能の利用方法については「モーションコントロールの使いかた」をご覧ください。☛P338
- 利用中にモーションコントロールが正しく動作しなくなったときは、水平補正を実行してください。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[7][8]▶各項目を設定▶[m]

ｉモーション：
動画／ｉモーション再生中のオートターンを設定。
ワイド再生…画像サイズがQVGA（320×240）のときはワイド再生に切り替わります。
フルブラウザ：
フルブラウザ表示中のオートターンを設定。
PDF対応ビューア：
PDF対応ビューア表示中のオートターンを設定。
ドキュメントビューア：
ドキュメントビューア表示中のオートターンを設定。
ワンセグ：
ワンセグ視聴画面表示中のオートターンやマルチウィンドウ中の画面切り替えを設定。
インテリア時計：
インテリア時計を設定。
マチキャラ：
マチキャラのモーションコントロールを設定。
新着メールダイレクト表示／ミュージックスキップ／顔文字・絵文字・記号入力：
各機能を設定。

■ **水平補正の実行：設定画面で[Menu]▶FOMA端末を、ディスプレイを上向きにして水平な場所に置く▶[●]**
- 水平補正が完了するまで、FOMA端末を動かさずにお待ちください。水平補正中にFOMA端末を動かすと補正できません。

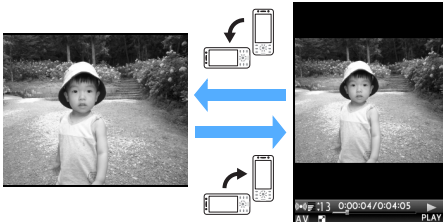
■ 操作方法の確認：各項目を選び(決定)
- 実際の操作を試す：マチキャラ、新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力の操作方法の説明画面で(決定)

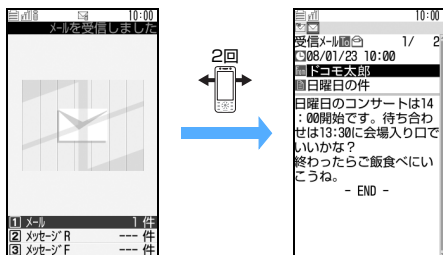
モーションコントロールの使いかた

- FOMA端末を閉じていても開いていても操作できます。

オートターン

以下のときにFOMA端末を、地面に対して縦に持った状態から左に倒して横向きにすると、自動的に画面が横表示に切り替わります。FOMA端末を縦にすると、縦表示に戻ります。
- 動画／ｉモーション再生中
- フルブラウザ表示中
- PDF対応ビューア表示中
- ドキュメントビューア表示中
- ワンセグ視聴画面表示中（マルチウィンドウ中は画面切り替え☛P254）

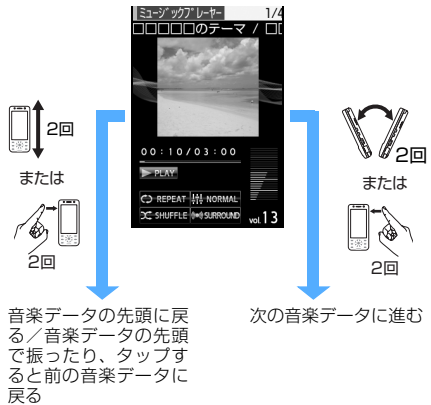
例 動画／ｉモーション再生中のとき

新着メールダイレクト表示

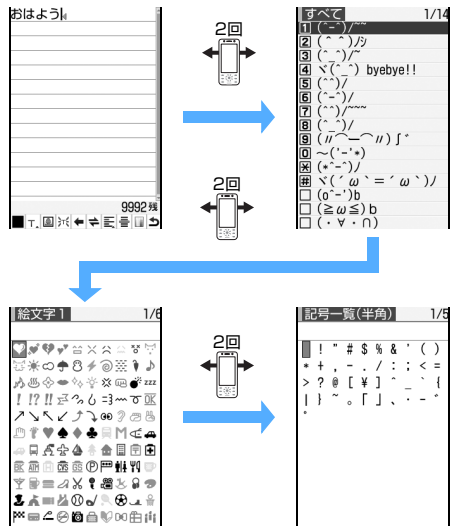
以下のときにFOMA端末を左右に2回振ると、受信したメールの内容を表示できます。
- メールの受信結果画面表示中
- メールの受信結果テロップ表示中

- 複数のメールを受信したときは最後に受信したメールが表示されます。
- ｉモード問合せでメールを受信しなかったときは表示できません。

ミュージックスキップ

ミュージックプレーヤーの再生中にFOMA端末を前後や上下に振ったり、側面をタップすると次の音楽データに進んだり音楽データの先頭または前の音楽データに戻ります。
- バックグラウンド再生中も操作できます。

音楽データの先頭に戻る／音楽データの先頭で振ったり、タップすると前の音楽データに戻る

次の音楽データに進む

顔文字・絵文字・記号入力

文字入力中（顔文字／絵文字／記号入力が可能なとき）に、FOMA端末を左右に2回振ると顔文字一覧を表示できます。また、顔文字一覧／絵文字一覧／記号一覧の表示中にFOMA端末を左右に2回振ると一覧が切り替わります。

- 入力できない文字種の一覧には切り替わりません。
- 記号一覧表示中にFOMA端末を左右に2回振ると顔文字一覧に戻ります。

インテリア時計

FOMA端末を卓上ホルダ（別売）に置いているときや、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）に接続して左側面を下にして置いたときに、待受画面に横置き用の時計を表示します。

例 デジタル5を24時間で表示するとき

- インテリア時計のデザインや表示形式、曜日の表示言語は、時計表示設定に従います。時計の背景画像（Flash画像、月替わりの12パターン）と表示位置は固定です。
- 次の場合はインテリア時計は表示されません。
  - ｉアプリ待受画面が設定されているとき
  - 卓上ホルダやACアダプタ、DCアダプタをコンセントに接続していないとき
  - 時計表示設定のデザインが「OFF」のとき
  - オールロック中、おまかせロック中

おしらせ

- フォーカスモード中にインテリア時計に切り替わると、フォーカスモードは解除されます。また、カスタム待受画面表示中にインテリア時計に切り替わると、カスタム待受画面の表示が消えます。

マチキャラのモーションコントロール

マチキャラ表示中にFOMA端末の向きを変えると、マチキャラが90度単位で回転します。マチキャラによっては、FOMA端末の向きを変えたり、左右に2回振ると特定の動きをします。また、待受画面でディスプレイを2回タップすると、おしゃべりモードを開始・終了します。

ｉアプリのモーションコントロール（直感ゲーム）

モーションコントロール対応ゲームなどのｉアプリでは、FOMA端末を振ったり傾けたりして操作できます。

- お買い上げ時に登録されている「タマラン」「体感！珍さんの釣り物語」「地図アプリ」はモーションコントロールに対応しています。☛P214、P238
- ｉアプリのモーションコントロールの利用は、モーションコントロール設定ではできません。

おしらせ

[共通]

- 以下の場合はモーションコントロールは無効です。
  - ディスプレイの表示が消えているとき
  - プロテクトキーロック中

  ただし、上記の場合でも、ｉアプリのモーションコントロールは可能です。また、インテリア時計はプロテクトキーロック中でも利用できます。

[オートターンについて]

- 各表示画面から操作を実行しているときなどは切り替わらない場合があります。
- 動画／ｉモーションの一時停止中／編集中、プレイリスト再生中、microSDメモリーカードからの連続再生中などはオートターンしません。また、サイトからのｉモーション取得時の再生では、データを取得後に再生するタイプのｉモーションのみオートターンします。
- ドキュメントビューアの場合、オートターンで横表示に切り替えると全画面表示になり、ガイド行の表示が消えます。ただし、キー操作で標準画面表示／全画面表示を切り替えているときは変わりません。

[その他]

- ｉアプリ実行中は新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力はできません（マルチタスクで他の画面を表示している場合を除く）。
- 新着メールダイレクト表示を「ON」にしている場合、受信結果テロップ表示中は、顔文字・絵文字・記号入力より新着メールダイレクト表示が優先されます。
- プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」の場合）は、新着メールダイレクト表示で非表示のフォルダ内のメールは表示されません。
- プライバシーモード中（メール・履歴が「認証後に表示」の場合）に新着メールダイレクト表示を行うには、端末暗証番号の入力が必要です。

FOMA端末を開いて編集画面を表示する

スライド編集設定

FOMA端末を開くだけでメールの作成画面やスケジュールの編集画面などを表示できます。

1 **Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 6 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖**

- 各項目を「ON」にすると、以下のように動作します。

受信メール：
受信メール一覧／受信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、クイック返信本文選択画面を表示。
- クイック返信本文が登録されていないときや、クイック返信設定が「OFF」のときは、返信用のメール作成画面を表示します。

送信メール：
送信メール一覧／送信メール詳細画面でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示。

未送信メール：
未送信メール一覧でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示。

チャットメール：
チャットメール画面でFOMA端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示。
スケジュール：
カレンダー画面／デイリービュー画面でFOMA端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示。各詳細画面で FOMA 端末を開いたときは、編集画面を表示。
テキストメモ：
メモ一覧／テキストメモ参照画面でFOMA端末を開いたとき、テキストメモ編集画面を表示。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る　自動電源ON／OFF設定

例　自動電源ONを設定するとき

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 1 2
■ 自動電源OFFを設定：Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 1 3

2 各項目を設定 ▶ (m)

自動電源ON：
自動電源ONの設定／解除。
時刻：
自動的に電源を入れる時刻を設定。
- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：
- 毎日自動電源ONを繰り返します。

おしらせ

- 自動電源OFF設定を「ON」にしても、待受中以外のときは、指定した時刻になっても、電源は切れません。動作中の機能が終了した後、電源は切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面（プロテクトキーロック認証解除用の端末暗証番号入力画面を除く）、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面の表示中は、電源は切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など、携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ON設定を「OFF」にしてください。

一定の時間が経過するとアラームで知らせる　お知らせタイマー

1 タイマー時間を入力 ▶ (⊙) または Menu 1
お知らせタイマーのカウントダウン画面が表示され、カウントダウンが開始されます。
- 時間は1～60分の間で入力できます。1～9のときは、前の0は入力しないでください。
- カウントダウン中に電話やプッシュトークが着信したときや、(◩)を押して他の機能を起動しても、カウントダウンは継続します。
- カウントダウン中に クリア または (終話) を押すと、終了の確認画面が表示されます。確認画面表示中もカウントダウンは継続します。

指定した時間が経過すると

1 アラームが鳴る

目覚まし音量で設定した音量でアラーム（「アラーム・メロディ」）が鳴り、決定キーの照明（青-緑-赤）が点滅します。
バイブレータ設定の目覚まし鳴動時を設定している場合は、その設定に従って動作します。

2 (終話) で終了させる
待受画面に戻ります。
- 鳴動中に約1分間何も操作しないか、(終話)、(鍵) 以外を押すとアラームが止まります。

他機能動作中のアラーム通知について

動作	アラーム通知
通話中、プッシュトーク通信中	警告音が鳴ります。決定キーの照明の点滅や、バイブレータは動作しません。プッシュトーク通信中で発言権取得中の場合は、発言権は開放されず、そのまま発言できます。
通話保留中	保留解除後に上記動作となります。
データ送受信中※1、電話やプッシュトークの発着信中・呼出中・切断中	左記動作終了後に動作します。

※ 1：パケット通信の送受信中は除きます。

指定した時刻に目覚まし音を鳴らす

目覚まし

目覚まし音を鳴らす時刻や音などを設定する

• 最大9件設定できます。

1 Menu▶ステーショナリー▶3▶1～9

• 設定してある目覚ましには、時刻の左に SET を表示します。

■ 解除：目覚まし一覧からタイトルを選びMenu

2 各項目を設定

時刻：
目覚ましを鳴らす時刻を入力。

繰り返し：
なし…一度だけ目覚ましが鳴ります。
毎日…毎日目覚ましが鳴ります。
曜日指定…「曜日選択」を選択し、曜日を選択して◯を押します。

メッセージ：
全角7／半角14文字まで入力可。

スヌーズ：
スヌーズ動作（目覚ましが鳴った後に停止する動作）を約30分間繰り返すかを設定。
5分…約1分間鳴動し、約4分間停止します。
10分…約1分間鳴動し、約9分間停止します。
15分…約1分間鳴動し、約14分間停止します。

3 ◯で音設定画面に切り替え▶各項目を設定

目覚まし音：
設定時刻になったときの目覚まし音を設定。
• 「iモーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」のいずれかを選択したときは、目覚まし音を設定します。音楽データの設定☛P92
• 選択時にメロディ、動画／iモーションを再生して確認☛P92

端末設定に従う…音の設定の目覚まし音に従います。

音量：
目覚まし音の音量を設定。
端末設定に従う…音量設定の目覚まし音量に従います。

4 ◯でその他設定画面に切り替え▶各項目を設定

バイブレータ：
設定時刻になったときの振動を設定。
選択する…バイブレータの種類を選択します。
端末設定に従う…バイブレータ設定に従います。

イルミネーションパターン／イルミネーションカラー：
設定時刻になったときの決定キーの照明の点灯パターン／色を設定。
選択する…点灯パターン／色を選択します。
端末設定に従う…イルミネーション設定に従います。

5 ◯

待受画面に🔔または📅（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

おしらせ

● 目覚まし音に設定したデータを削除した場合は、「端末設定に従う」になります。
● メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、決定キーの照明が点灯／点滅しないことがあります。

設定時刻になると

1 目覚まし音が鳴る

設定した内容に従って動作します。動画／iモーションを設定した場合は、それらが表示されます。

• 他機能動作中のアラーム通知☛P340

2 ◯で終了させる

■ スヌーズが「5分」の場合

• 鳴動中に電話やプッシュトークの着信があると、スヌーズ動作になります。

■ スヌーズが「なし」の場合

• 鳴動中に電話やプッシュトークの着信があると、目覚まし音が止まります。

設定時刻に動作しない場合について

• オールロック中、パーソナルデータロック中は動作しません。
• 目覚ましとスケジュールアラームを同じ時刻にすると、目覚ましが動作した後、スケジュールアラームが動作します。スケジュールアラームの動作を終了させた後は、目覚ましのスヌーズが「5分」「10分」「15分」のときはスヌーズ動作を継続し、スヌーズが「なし」のときは目覚まし音が停止した状態の画面が表示されます。

アラームが鳴る時刻に自動的に電源を入れる　アラーム自動電源ON設定

スケジュールや目覚まし、ワンセグの予約スケジュールで指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源が自動的に入り、アラーム／目覚まし音が鳴るようにします。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶7 1 5▶1～2

おしらせ

● 病院、医療機関、航空機の中など、携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく本設定を「OFF」にしてください。
● 本機能が「ON」で、PIN1コードON／OFF機能が「ON」の場合は、スケジュールや目覚ましで指定した日時になると電源がONになり、以下のように動作します。
  • ワンセグの予約スケジュール（アラーム開始時間を「15秒前」、「30秒前」、「45秒前」のいずれか）のときは PIN1 コード入力画面が表示された後にアラームが鳴る場合があります。ただし、アラームが鳴る前にPIN1コードを入力すると、待受画面が表示され、その後にアラームが鳴ります。
  • スケジュール、目覚まし、またはワンセグの予約スケジュール（アラーム開始時間を「15秒前」、「30秒前」、「45秒前」以外）のときはアラームが鳴り、でアラームを終了させた後、PIN1コード入力画面が表示されます。

スケジュールを管理する　スケジュール帳

仕事の予定などを登録しておくと、設定日時になったとき画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

1 **(m)（1秒以上）**

日付は、当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます（カラーテーマ設定により、色は異なる場合があります）。

カレンダー画面

- 複数のスケジュールを設定している日は、最も早い時刻に登録しているスケジュールの用件アイコンが表示されます。また、そのスケジュールの時間が過ぎたあとも、用件アイコンは変わりません。
- (方向キー)で日付を移動します。(決定)を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- 前月／翌月の切り替え：(S)／(M)
- カレンダーは、前回終了したときの表示形式で表示されます。

■ **特定の日を指定して表示：カレンダー画面で(Menu)[4][2]▶年月日を入力**
- 当日に戻す：(Menu)[4][1]
- デイリービュー画面からの操作：(Menu)[5][2]（当日に戻す：(Menu)[5][1]）

おしらせ

● カレンダーの祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」（平成17年法律第43号までのもの）に基づいています。また、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、カレンダーの表示と異なる場合があります（2007年10月現在）。上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については改正前の日付、祝日名で表示されませんのでご注意ください。

● カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示形式を設定する　カレンダーモード設定

1 **カレンダー画面を表示▶(Menu)[6][1]▶各項目を設定▶(m)**

動作モード：
(方向キー)を押して日付を移動したときのカレンダーの表示方法を設定。
マンスリーモード…1ヶ月ごとに画面が切り替わります。
スライドモード…1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード：
1週間の始まりの曜日を設定。
ノーマルモード…日曜日になります。
ビジネスモード…月曜日になります。

休日を設定する　休日設定

日付や曜日を指定して設定します。
- 最大登録件数（日付指定）☛P439

例 日付を指定して休日を設定するとき

1 **カレンダー画面を表示▶日付を選び(Menu)[6][2][1]**

設定した日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にする：休日にする日付を選び(Menu)[6][2][2]

■ **解除：日付を選び(Menu)[6][2][3]**
- 全解除：(Menu)[6][2][4]

■ **曜日を指定して休日を設定：**
① (Menu)[6][3]▶[1]～[7]
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは(Menu)を押します。

② (m)
- 曜日が1つも選択されていない状態で登録すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

祝日を設定する　祝日設定

• 最大登録件数☛P439

1 カレンダー画面を表示▶Menu 6 4

■ **変更：祝日を選び●▶操作3**

■ **削除：祝日を選びMenu▶はい**

• お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

2 📖

3 各項目を設定▶📖

祝日名：
全角11／半角22文字まで入力可。
• お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：
祝日表示のON／OFFを選択。
ON…カレンダー画面では祝日に設定した日付の色が休日色に変わり、選ばれているときは年月の横に祝日名が表示されます。デイリービュー画面では 祝 と祝日名が表示されます。

日付：
祝日に設定する日付を入力。
• お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

スケジュールを登録する

• 最大登録件数☛P439

1 📖（1秒以上）

2 スケジュールを登録する日付を選び📖

• デイリービュー画面でも📖を押します。

3 各項目を設定

▦（用件アイコン）：
アイコンを選択。

予定：
選択した用件アイコンに対応した内容を表示。必要に応じて変更（全角100／半角200文字まで）。
• 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。

終日：
時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定。
ON…デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日にすると、日付の後に「終日」と表示されます。
• 終日を「ON」にしたスケジュールのアラームは、設定した日の00:00になると動作します。

開始日時：
開始日時を入力。
• 2060年12月31日まで設定できます。
• 終日の場合は時刻を設定できません。

終了日時：
終了日時を入力。
• 開始日時よりも後の日付にすると（長期間スケジュール）、カレンダー画面には、設定した日付の右上に ◺ が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンなどの下に ▤ が表示されます。

要約・メモ：
全角300／半角600文字まで入力可。

4 ⊙でメンバーリスト選択画面に切り替え

5 <メンバーリスト選択>▶登録メンバーを選び●

• 5名まで登録できます。メンバーリストから、電話やプッシュトークを発信したり、メールを送信できます。
• 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。

■ **削除：メンバーを選びMenu**

6 ⊙でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム（スケジュールアラーム）：
アラームを鳴らすかを設定。
• 「あり」を選択し、「ｉモーションを選択」「メロディを選択」「ミュージックを選択」のいずれかを選択したときは、アラーム音を設定します。音楽データの設定☛P92
• 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認☛P92
• 「あり」にし、「端末設定に従う」にすると、音の設定のスケジュール音に従います。

予告アラーム：
開始日時より前にアラームを鳴らすかを設定。
• アラーム音の選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間(分前)：
開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定。

7 でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：
繰り返しの動作を設定。
なし…一度だけスケジュールアラームが起動します。
曜日指定…「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して(田)を押します。
- 開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などにし、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択すると月末（「30 日」や「2 月28日」など）が繰り返し日となります。
- 繰り返しにすると（繰り返しスケジュール）、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。ただし、設定した最初の日だけに用件アイコンが表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下にが表示されます。

イメージ：
スケジュールアラーム画面に表示するイメージを設定。
あり…「画像選択」を選択し画像を選択します。Flash画像は設定できません。
なし…お買い上げ時のイメージが表示されます。

8 (田)
- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

待受画面からスケジュールを登録する

1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力▶(田)
新規作成画面が表示されます。
（例）1月23日午後3時の場合：「01231500」と入力する
- 日付を省略して時2桁、分2桁を入力すると、当日の新規作成画面が表示されます。ただし、現在の時刻より前の時刻を入力した場合は、翌日の日付の新規作成画面が表示されます。

2 スケジュールを登録
操作方法は「スケジュールを登録する」の操作3以降と同じです。☛P344

おしらせ
- スケジュールアラームと予告アラームに設定したデータ（動画／ｉモーション、メロディ、音楽データ）を削除した場合は、「端末設定に従う」になります。

設定日時になると

1 アラームが鳴る

1/1
2008/ 1/25(金)18:30
歓迎会

スケジュールアラーム画面

設定した内容に従って動作します。イメージや動画／ｉモーションを設定した場合は、それらが表示されます。ただし、イメージにパラパラマンガを設定しているときは、最初のコマが表示されます。

2 で終了させる
- 鳴動中に1分間何も操作しないか、、以外を押してもアラームが止まります。
- 同じ日時に複数のスケジュールを設定しているときは、アラームを止めてから、で他のスケジュールの内容を確認できます。
- アラームを止めてからを押すとスケジュール詳細画面が表示され、スケジュールの内容を変更できます。
スケジュールの内容の変更方法は「スケジュールを確認する」の操作3と同じです。☛P346
- 他機能動作中のアラーム通知☛P340
- プライバシーモード中（スケジュールが「認証後に表示」の場合）は、動作しません。また、プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」の場合）でシークレット属性のアラームも動作しません。それ以外で設定日時に動作しない場合は、「設定時刻に動作しない場合について」を参照してください。☛P342

おしらせ
- 音量は、スケジュール音量で鳴ります。
- イルミネーションやバイブレータの動作は、イルミネーション設定やバイブレータ設定に従います。
- 予告アラームを設定しているときは、開始日時前に予告アラームが鳴ります。

スケジュールアラームの初期値を設定する
アラーム初期値設定

- 初期値を変更しても、登録済みのスケジュールの設定は変更されません。

1 **カレンダー画面を表示▶[Menu][6][5]▶各項目を設定▶[田]**

通常登録時：
待受画面以外からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定（お買い上げ時：アラームあり）。

待受画面から登録時：
待受画面からスケジュールを登録するときのスケジュールアラームの初期値を設定（お買い上げ時：アラームあり）。

スケジュールを確認する

1 **カレンダー画面を表示**

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示（用件別表示モード）：**
①**カレンダー画面で[Menu][3][2]**
- 全用件表示：[Menu][3][1]
- デイリービュー画面からの操作：[Menu][4][2]

全用件表示に戻す：[Menu][4][1]

②**用件アイコンを選び[●]**
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、その用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。

2 **スケジュールの登録日を選び[●]**

デイリービュー画面

- デイリービュー画面では、[◎]で日付が切り替わります。

3 **スケジュールを選び[●]**

スケジュール詳細画面

■ **変更：**
①**スケジュール詳細画面で[田]**
- デイリービュー画面からの操作：スケジュールを選び[Menu][2]

②**スケジュールの内容を変更▶[田]▶はい**

おしらせ

● 表示中のスケジュールの内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日数分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 **カレンダー画面を表示▶スケジュールの登録日を選び[●]**

2 **スケジュールを選び[Menu][6][1]**

3 **[クリア]**

4 **スケジュールを貼り付ける日付を選び[Menu][5]**
- デイリービュー画面からの操作：[Menu][6][2]

メールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。
- 操作画面によって、送信できる件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信方法／操作画面	1件送信	1日送信／全件送信※1
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

※1：過去分を含む登録しているすべてのスケジュールが送信されます。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で入力されます。☛P357
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別表示モードのときは、表示されている用件だけがメール本文に入力されます。
- 1日送信／全件送信の場合はプライバシーモード中のときは、シークレット属性でないスケジュールだけがメール本文に入力されます。

例 デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 デイリービュー画面を表示▶スケジュールを選び✉

- 1日送信：Menu 7 1 2
- 全件送信：Menu 7 1 3
- カレンダー画面からの操作：Menu 8 1▶1～2
- スケジュール詳細画面からの操作：✉

スケジュールデータをメールに添付する

スケジュール1件分のデータをメールに添付して送信します。

- カレンダー画面からは操作できません。

例 デイリービュー画面から添付するとき

1 デイリービュー画面を表示▶スケジュールを選びMenu 7 1 4

- スケジュール詳細画面からの操作：Menu 4 2

メールを検索する

送受信したメールをスケジュールから検索します。

例 カレンダー画面から受信メールを検索するとき

1 カレンダー画面を表示▶メールを検索する日を選びMenu 8 2 1

- 送信メールの表示：Menu 8 2 2
- デイリービュー画面での受信メールの表示：Menu 7 2 1
  送信メールの表示：Menu 7 2 2
- 受信／送信メールの見かた☛P185
- メール検索の解除：Menu 0

スケジュールを削除する

- 操作画面によって削除できる件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

操作画面＼削除方法	1件削除	1日削除／選択日前日まで削除／全件削除
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、選択日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日からスケジュールが削除されます。「選択日前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、選択日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 デイリービュー画面を表示▶Menu 3

2 1～3

- 選択した日を含む長期間スケジュールを登録している場合、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると長期間スケジュールも削除するかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除：4▶端末暗証番号を入力**

- 用件別表示モードのときは、選択されている用件のデータのみが対象になります。

3 はい

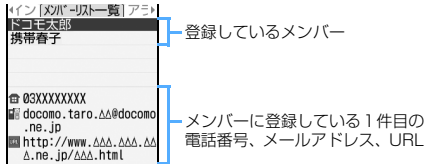
おしらせ

- カレンダー画面からの操作：Menu▶削除▶「1日削除」「選択日前日まで削除」「全件削除」から選び●
- スケジュール詳細画面からの操作：Menu▶削除
- 長時間または繰り返しスケジュールの削除：長期間または繰り返しスケジュールが含まれる日を選び●▶Menu▶削除▶1件削除▶はい

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、iモードメールを作成します。

1 カレンダー画面を表示 ▶ スケジュールの登録日を選び㊥

2 スケジュールを選び㊥ ▶ ⊙でメンバーリスト一覧画面を表示

3 電話帳データを利用

■ **音声電話／テレビ電話発信：メンバーを選び、音声電話のときは ⓒ、テレビ電話のときは ⓢ**

■ **iモードメールの作成：メンバーを選び ⓜ**

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員にiモードメールを送信するときは Menu 5 2 を押します。

■ **サイトの表示：メンバーを選び Menu 6 ▶ はい**

- 6 を押した後に ⓢ を押すと、フルブラウザで表示できます。

おしらせ

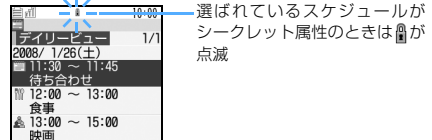
- 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面を表示します。利用する電話番号またはメールアドレスを選んで電話やプッシュトークを発信したり、iモードメールを作成できます。ただし、電話帳の詳細画面からiモードメールを作成すると、スケジュールは本文に入力されずDate To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面で ⓜ を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
- 2in1 がデュアルモードのときは、電話をかけると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

他人に見られたくないスケジュールを守る
シークレット属性

プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」の場合）は、シークレット属性のスケジュールは表示されません。

1 カレンダー画面を表示 ▶ スケジュールの登録日を選び㊥

2 スケジュールを選び Menu 9

選ばれているスケジュールがシークレット属性のときは🔒が点滅

- 解除：シークレット属性のスケジュールを選び Menu 9
- スケジュール詳細画面での設定／解除：Menu 6

おしらせ

- スケジュールの新規登録時にはシークレット属性を設定できません。編集時にはシークレット属性を設定できます。

スケジュールの登録件数を確認する
登録件数確認

1 カレンダー画面を表示 ▶ Menu 7

よく使う機能を登録する　セレクトメニュー

よく使う機能や電話帳データなどのメニュー項目を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

セレクトメニューを作成する

- セレクトメニューには最大9個のメニュー項目が登録できます。

1 Menu ▶ ⓜ

- 表示メニュー設定が「セレクトメニュー」のとき：待受画面で Menu

2 メニュー項目を登録

- グループに上書きするときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内に登録したメニュー項目はすべて削除されます。
- メニュー項目を追加登録するときは、先に項目を削除してください。☛P350

■ 機能の登録：
①上書きするメニュー項目を選びMenu21
・追加登録：Menu11
・機能選択画面は、表示メニュー設定のベーシックの表示形式で表示されます。
②登録するメニュー項目を選びm
・下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するキーを押すか、メニュー項目を選択すると登録できます。

■ 人物の登録：
①上書きするメニュー項目を選びMenu22
・追加登録：Menu12
②登録する人物を選び●
・画像を設定していない電話帳データや、Flash画像、動画／ｉモーションを設定している電話帳データをセレクトメニューに登録すると、あらかじめ登録されているアイコンがメニュー画面に表示されます。

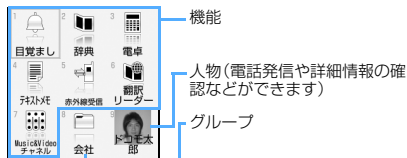
■ グループの登録：
電話帳データや機能の目的に合わせてグループフォルダを作成します。
①上書きするメニュー項目を選びMenu23
・追加登録する：Menu13
②グループ名を入力（全角９／半角18文字まで）▶m

■ メニューグループ内に登録：
①グループを選び●
・既にグループ内に項目が登録されているときは、グループ内のメニュー項目が表示されます。項目を選んで上書き登録するか、追加登録します。
②登録（人物）／登録（機能）／登録（グループ）▶登録操作
メニュー項目が登録され、グループ内のメニュー項目が表示されます。
・メニューの３階層目にはグループは作成できません。
③他のメニュー項目を登録

セレクトメニューを利用する

セレクトメニューに登録されている機能を実行したり、人物に電話をかけたりできます。

例 機能を実行するとき

1 セレクトメニューを表示▶メニュー項目を選び●

■ 人物を選んで操作する：人物を選ぶ▶以下のキーを押す

操作	キー
音声電話をかける※1、※2	発信／●1
テレビ電話をかける※1、※2	テレビ電話／●1
ｉモードメールを作成する※1	メール／●2
SMSを作成する※1	メール（1秒以上）／●3
サイトを表示する※3	●4▶はい
電話帳の詳細画面を表示する	●5

※１：電話番号やメールアドレスが複数登録されていると電話帳の詳細画面が表示されます。電話番号／メールアドレスを選び●を押します。
※２：●1を押したときは発信オプションの設定画面が表示されます。☞P49
※３：●4を押した後でテレビ電話を押すとフルブラウザで表示できます。

登録されている機能をすばやく実行するには

セレクトメニューの１階層目に登録した機能は、待受画面で1～9を１秒以上押して起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのときや２階層目以降にメニューがある機能のときは起動できません。

おしらせ

- パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」の場合）は、人物の選択はできません。アイコンが🔒に変わり、人物名は「＊＊＊」と表示されます。
- 2in1がデュアルモードのときは、電話をかけると発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。

セレクトメニューを編集する

1 セレクトメニューを表示 ▶ メニュー項目を選ぶ

2 それぞれの操作を行う

■ **メニュー項目の入れ替え：Menu 3 ▶ 入れ替え先のメニュー項目を選び ● ▶ はい**

■ **アイコンの変更：Menu 4 ▶ アイコンを選び ●**
- アイコンを元に戻す：Menu 4 ▶ m

■ **グループ名の変更：Menu 5 ▶ グループ名を入力 ▶ m**

■ **メニュー項目の削除：Menu 6 1 ▶ はい**
- グループを削除するとグループ内のメニュー項目も削除されます。
- 全件削除：Menu 6 2 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ はい

スピードメニューを利用する

スピードメニュー

スピードメニューから以下の機能をすばやく呼び出せます。機能をキーで選択する方法と、音声で呼び出す方法があります。

- ワンセグ
- FMラジオ
- ミュージックプレーヤー
- GPS
- フルブラウザ
- カメラ

キーで機能を呼び出す

1 S

キー入力画面

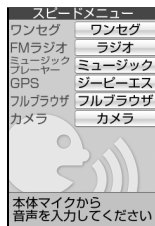
スピードメニューが表示されます。

- 音声での機能呼び出し：S
  以降の操作は「音声で機能を呼び出す」操作2と同じです。☛P350

2 1～6

機能が起動します。

音声で機能を呼び出す

1 S（1秒以上）

音声入力画面

スピードメニューが表示されます。

- キーでの機能呼び出し：S
  以降の操作は「キーで機能を呼び出す」操作2と同じです。☛P350

2 5秒以内に呼び出す機能のキーワードを話す

機能を呼び出すときのキーワードとキーワードが認識された後の動作は次のとおりです。

機能	キーワード	動作
ワンセグ	ワンセグ、チデジ、テレビ	ワンセグが起動します。☛P251
FMラジオ	エフエム、ラジオ、エフエムラジオ	FMラジオMusicサーチが起動します。☛P331
ミュージックプレーヤー	オンガク、ミュージック、オンガクサイセイ、オンガクサイセー、ミュージックプレーヤー、チャクウタフル	ミュージックプレーヤーが起動します。☛P325
GPS	ジーピーエス、ナビゲーション	スピードメニューiアプリ登録されているGPS対応iアプリが起動します。※1
フルブラウザ	ブラウザ、フルブラウザ、ウェブ、ウェッブ	ホーム設定で登録されたホームページが表示されます。※2☛P264

機能	キーワード	動作
カメラ	カメラ、サツエイ、サツエー、カメラサツエイ、カメラサツエー	静止画撮影が起動します。☛P135

※１：お買い上げ時は地図アプリが登録されています。☛P238

※２：アクセス設定が「利用しない」の場合はアクセス設定画面が表示されます。

- 音声入力を中止する：㊦
- バイリンガル設定を英語表示にしているときは、㊦を1秒以上押しても音声入力画面は表示されずキー入力画面が表示されます。
- イヤホンマイク設定を「イヤホンマイク」にし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、音声入力画面ではFOMA端末の送話口のみから音声が伝わります。
- 周囲に騒音があるときは「もう一度静かな場所で音声を入力してください」と表示されます。また、正しく認識されなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。㊦を押して再度キーワードを話してください。

■ **キーワードを話すときの留意事項**

- FOMA端末を顔の正面（10cm以下を推奨）に持つか、通話と同じように顔の横に持ってお話しください。
- 周囲が騒がしい場所では正しく認識されない場合があります。周囲が騒がしい場所ではFOMA端末を口に近づけてお話しください。
- できるだけはっきりと丁寧にお話しください。ゆっくりすぎや早口にならないようご注意ください。また、小声や大声にならないようご注意ください。
- 咳払いや「えー」、舌打音などを出さないでください。また、送話口に息を吹きかけないようにしてください。
- 送話口を指でふさがないようご注意ください。
- 音声の途中に無音部分ができないようにお話しください。

スピードメニュー登録をする

- 登録できるのは、GPS対応ｉアプリのみです。

1 ㊦（1秒以上）▶フォルダを選び㊦

2 **ｉアプリを選び**Menu ⊟ ⊟

- 解除するには、同様の操作を行います。

自分の名前やメールアドレスなどを登録する 自局番号

1 Menu ⊡

- 自局電話番号には、FOMA端末に挿入しているFOMAカードの電話番号が表示されます。

2 ㊦ ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **各項目を設定** ▶ ㊦

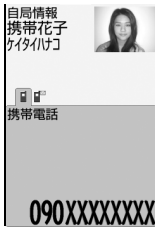
- ㊦でページを切り替えられます。
- 各項目の設定方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3と同じです。☛P77
ただし、メモリ番号とグループは設定できません。
- 電話番号の1件目には、ご契約の電話番号が表示されます。変更はできません。

おしらせ

- 自局番号のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレスは変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- 2in1がAモードまたはデュアルモードのときは、自局電話番号欄にAナンバーが表示されます。Bモードのときは、Bナンバーが表示されます。デュアルモードのときは、㊦を押してAナンバーとBナンバーの表示を切り替えられます。

自局番号の詳細を表示する

1 Menu▶**自局番号**

2 ▶**端末暗証番号を入力**

• で登録内容の表示を切り替えられます。

• 登録した電話番号に発番号設定をすると、「自局情報」の右側に が表示されます。
• サブメニューから、次のような操作ができます。
 ・メール作成☞P80
 ・SMS作成☞P80
 ・URL起動（サイト表示）☞P80
 ・発信オプション※1（自局電話番号への発信を除く）☞P49
 ・項目コピー☞P84
 ・発番号設定※1☞P86
 ・メールアドレス入替え☞P85
 ・基本情報☞P82
 ・画像／名前表示切替☞P83
 ・位置情報☞P80
 ※1：自局電話番号の表示中を除く

■ **登録内容の編集：**Menu 2▶**登録内容を編集して**

■ **Bナンバーの取得：**Menu 0▶**はい**
 2in1がBモードのとき、またはデュアルモードでBナンバーの自局番号を表示中のときに行えます。

■ **登録内容のリセット：**Menu 3▶**はい**

おしらせ

● 2in1がデュアルモードのとき、Aナンバーの自局番号を表示中の場合はAナンバーで、Bナンバーの自局番号を表示中の場合はBナンバーで電話が発信されます。
● 2in1がONのときは、表示中の自局番号のみリセットされます。

声や画像を録音／録画する 音声メモ／動画メモ

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声や画像を録音／録画します（通話中音声メモ／動画メモ）。

• 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
• 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
 最大保存件数☞P439
• 電波の状態により、通話中音声メモ／動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れることがあります。
• 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声や画像を録音／録画する

音声電話通話中は相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中は相手の声と画像が録音／録画されます。

1 **通話中に TV/◎ （1秒以上）**
録音／録画が開始されます。

録音／録画可能時間の目安

音声電話通話中
音声メモ

テレビ電話通話中
動画メモ

• 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。
• 動画メモ録画中に を押すと、録画可能時間の目安と通話時間表示が切り替わります。
• 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。ただし、終了予告音や終了音は録音されません。
• 録音／録画の途中停止：TV/◎（1秒以上）
• 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
 動画／ｉモーションの再生方法☞P277
• 通話中音声メモ／動画メモを録音／録画しているときにFOMA端末を閉じた場合の動作☞P54

待受中に自分の声を録音する

1 [TV/📷][3]

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。ただし、終了予告音、終了音は録音されません。
- 録音の途中停止：[●]／[終話]／[クリア]

音声メモを再生する

1 [TV/📷][4]

音声メモ一覧が表示されます。音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

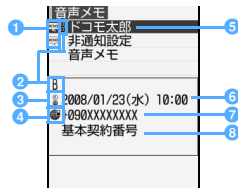
2 音声メモを選び[●]

音声メモが再生されます。

- 再生停止：[●]
- 音量調整：[▲▼]
- スピーカーホン機能の切り替え：[発信]

3 はい／いいえ

はい…再生した音声メモが削除されます。

音声メモ一覧の見かたと操作

❶ **状態アイコン**

[MEMO]：通話中メモ　表示なし：待受中音声メモ

❷ **Bナンバーの発着信(2in1がデュアルモードのとき)**

❸ **海外滞在時の音声メモ※1**

❹ **国際電話の通話中音声メモ**

❺ **電話番号／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）**

❻ **選ばれている音声メモの録音日時（海外滞在時は滞在地の日時）**

❼ **電話番号／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）**

❽ **マルチナンバーの名称（マルチナンバーを契約している場合）**

※ 1：タイムゾーンが「GMT+09:00」の場合や、録音日時が記録されなかった場合は、表示されない場合があります。

■ **音声メモ一覧からの音声メモ削除：音声メモを選び[Menu][2][1]▶はい**

- 全件削除：[Menu][2][2]▶端末暗証番号を入力▶はい

■ **音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録：**

① **通話中音声メモを選び[Menu][4]**

- 登録済みの電話帳データへの追加：通話中音声メモを選び[Menu][5]

② **[1]～[2]▶名前やメールアドレスなどを登録**

- 登録済みの電話帳データへの追加：[1]～[2]▶相手を選び[●]▶登録内容を修正

おしらせ

- 通話中音声メモの場合、音声メモ一覧で相手を選び[発信]を押すと音声電話、[テレビ電話]を押すとテレビ電話をかけられます。
- 2in1 がＡモードのときはＡナンバーの通話中音声メモのみ、ＢモードのときはＢナンバーの通話中音声メモのみ表示されます。デュアルモードのときは、すべての通話中音声メモが表示されます。待受中音声メモは、2in1のモードに関わらず表示されます。
- 動画メモは、2in1のモードに関わらず表示されます。
- 音声メモの「全件削除」を行った場合は、2in1のモードに関わらず、すべての音声メモが削除されます。

通話時間・料金を確認する　通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0 YEN」または「****** YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004年12月から積算開始）。
  - ・901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示はできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約の場合、通話時間と通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

通話時間を確認する

1 **Menu▶設定／NWサービス▶7 9 1**

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話時間が表示されます。

直前通話時間：
直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間。

積算通話時間（音声）／（テレビ電話）／（データ）：
音声電話／テレビ電話／データ通信で通話・通信した積算時間。

前回リセット日時（音声）／（テレビ電話）／（データ）：
音声電話／テレビ電話／データ通信の積算通話・通信時間を前回リセットした日時。

■ **積算通話時間のリセット：**
①**通話時間確認画面でm▶端末暗証番号を入力**
②**1～4▶はい**
- 通話時間画面に戻す：m

通話料金を確認する

1 **Menu▶設定／NWサービス▶7 9 2 1**

- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話料金が表示されます。

直前通話料金（音声）／（テレビ電話）／（データ）：
直前にかけた音声電話／テレビ電話／データ通信の通話・通信料金。

積算通話料金：
音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金の積算料金。

前回リセット日時：
積算通話料金を前回リセットした日時。

■ **積算通話料金のリセット：通話料金確認画面でm▶PIN2コードを入力▶はい**

おしらせ

- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金は、通話内のそれぞれの合計金額が表示されます。ただし、切り替え中は、料金は加算されません。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- プッシュトーク通信、iモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

通話料金を自動でリセットする

通話料金自動リセット設定

毎月1日の0時に積算通話料金を自動リセットします。

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 9 2 4

2 **端末暗証番号を入力▶1**

・解除：端末暗証番号を入力▶2

3 **PIN2コードを入力**

おしらせ

● 「ON」にしても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも設定は元の状態に戻りません。
● 「ON」にしているときは、日付時刻設定で、翌月以降へ日付時刻が変更されたときもリセットされます。
● 「ON」にし、1日の0時になったときに電源が入っていない場合や通話中の場合は、電源を入れたときや通話終了後にリセットされます。
● 「ON」にすると、電源を入れるたびにPIN2コードの入力と、日付時刻設定時の端末暗証番号入力が必要になります。

通話料金の上限を設定して知らせる

通話料金上限通知

通話料金の上限金額を設定し、積算通話料金が設定金額を超えると、アラームやアイコンで通知します。

・通話料金通知はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 9 2 2

2 **端末暗証番号を入力▶各項目を設定▶**(m)

通話料金上限通知：
上限金額を超えたときに通知するかを設定。

料金上限（円）：
料金の上限値を設定（10円単位で10〜100000円）。

通知方法：
アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定。
・「アラーム＋アイコン表示」にした場合は、アラーム音、アラーム時間（秒）を設定します。

アラーム音：
アラーム音をメロディから選択。

アラーム時間（秒）：
アラームを鳴らす時間を設定（1〜60秒）。

おしらせ

● 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
● 通知方法が「アラーム＋アイコン表示」のときは、通話または通信終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴り、通話料金が上限を超えた旨のメッセージが表示されます。ただし、通常マナーモード中は、メッセージは表示されますが、アラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。また、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話や通信を行った場合、アラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
● アラームは、電話着信音量で設定した音量で鳴ります。
● アラームが鳴っているときにキー操作を行ったり、他の機能が起動するとアラームは止まります。また、プロテクトキーロックの一時解除中は、FOMA端末を閉じても止まります。
● 「ON」にした後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも設定は保持されます。

上限通知アイコンを消去する

上限通知アイコン消去

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 9 2 3▶端末暗証番号を入力▶はい

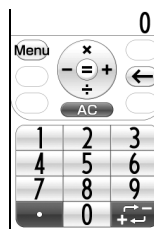
電卓として使う

電卓

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

・最大8桁入力できます。
・スケジュール帳やテキストメモの入力欄から電卓を起動し、計算結果を入力欄に挿入できます。☛P370

1 Menu▶ステーショナリー▶4

2 **0〜9、(+、－、×、÷)を使って計算**

・入力した数字の1桁削除：(✉)
・すべて削除：クリア
・小数点の入力：＊
・表示中の数字の＋と－を切り替え：#

3 ●

計算結果が表示されます。

- 計算結果の削除：クリア

■ **計算結果のコピー：**Menu 1

- コピーした数値の貼り付け：Menu 2
- 記録できるのは 1 件のみで、新たにコピーするか電源を切るまで記録されます。
- コピーした数値は、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。また、メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位 8 桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。
- 電卓に貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。

おしらせ

● 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算するとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するにはクリアを押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されます。

メモを作成する　テキストメモ

- 最大50件登録できます。

1 **Menu▶ステーショナリー▶2▶帳▶各項目を設定▶帳**

種別アイコン：
種別アイコンを選択。

メモ内容：
全角1000／半角2000文字まで入力可。
- メモ内容を入力しないと登録できません。

期限：
メモの期限を選択。
あり…日付欄を選択し、期限を入力します。また、メモ一覧で完了／未完了を切り替えられます。
- 2050年12月31日まで設定できます。

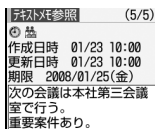
メモを確認する

1 **Menu▶ステーショナリー▶2**

メモ一覧が表示されます。メモ一覧には、1行表示と2行表示があります。

2 **メモを選び●**

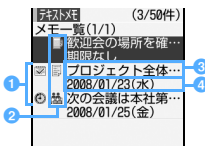
テキストメモ参照画面が表示されます。

テキストメモ参照　(5/5)
作成日時　01/23 10:00
更新日時　01/23 10:00
期限　2008/01/25(金)
次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

- 電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を利用できます。

■ **メモの編集：帳▶各項目を編集▶帳**

■ **メモからメールを作成：Menu 5**

メモ一覧の見かたと操作

（例）2行表示のとき

❶ **状態アイコン**
　：完了
（黄）：未完了（期限2日以上前）
（黄）：未完了（期限1日前または当日）
（赤）：未完了（期限超過）
表示なし：期限なし

❷ **種別アイコン**

❸ **メモ内容**

❹ **期限（1行表示のときは表示されません）**

■ **完了／未完了の切り替え：メモを選び✉**

■ **1行表示／2行表示の切り替え：⇔**

■ **特定の種別アイコンのメモのみ表示（アイコン別表示モード）：Menu 4▶2▶種別アイコンを選び●**
- 全件表示に戻す：Menu 4▶1

■ **期限を設定したメモを完了状態別に表示：Menu 5▶1～3**
「すべて表示」、「完了のみ表示」、「未完了のみ表示」が選択できます。

■ **メモの並べ替え：Menu 6▶各項目を設定▶帳**
対象：並べ替えの方法を設定。
順序：データの並び順を設定。

おしらせ

- テキストメモ参照画面でメモの完了／未完了の切り替え：Menu▶完了に変更／未完了に変更
- メモ一覧からのメモの編集：Menu▶編集
- メモ一覧からメールを作成：メールの本文にするメモを選びMenu▶メール作成

メモからスケジュールを登録する

テキストメモの内容をスケジュール帳に登録するには、テキストメモのサブメニューから行う方法と、Date To形式で記述したメモ内容から登録する方法があります。

サブメニューからスケジュールに登録する

1 Menu▶ステーショナリー▶2▶メモを選び●▶Menu 6

メモの内容はスケジュールの項目へ、以下のように登録されます。

メモ内容：
要約･メモに全角300／半角600文字まで登録。

期限：
開始日時／終了日時に登録。期限が設定されていない場合は、当日の日付が登録。

- 種別アイコン、完了／未完了アイコンは登録されません。

Date To形式からスケジュールを登録する

Date To形式とは、次の形式の文字列で構成されます。項目はすべて必須です。

開始年月日　開始時刻　終了年月日

2008/01/23□10:00□～□2008/01/23□

11:00□ミーティング↵

終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

- □は半角の空白を示します。画面には表示されません。
- 年月日と時刻は半角文字で入力してください。内容は全角100／半角200文字まで入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月や日が1～9のときや、時や分が0～9のときは前の0は省略できます。

1 Menu▶ステーショナリー▶2▶Date To形式で記述してあるメモを選び●

2 Date To形式の記述を選び●▶スケジュールを登録

おしらせ

- メモ一覧からの作成：スケジュールに登録するメモを選びMenu▶スケジュール作成

メモを削除する

1 Menu▶ステーショナリー▶2

2 メモを選びMenu 3 1▶はい

- **複数削除：Menu 3 2▶メモを選び●▶🄼▶はい**
- **全件削除：Menu 3 3▶端末暗証番号を入力▶はい**
- **完了メモの削除：Menu 3 4▶はい**

おしらせ

- テキストメモ参照画面からの1件削除：削除するメモを選びMenu▶削除

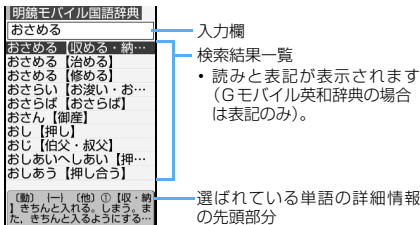
電子辞典を利用する

- 次の辞典が登録されています。
  - ・明鏡モバイル国語辞典
  - ・Gモバイル和英辞典　・Gモバイル英和辞典
  - ・モバイル版デイリー日中辞典
  - ・モバイル版デイリー日韓辞典
- 中国語と韓国語の日常会話表現を調べることもできます。
- 検索履歴からも検索できます。検索履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古い履歴から順に消去されます。
- 凡例についてはマイドキュメントの「プリインストール」フォルダに保存されている「辞典機能」を参照してください。

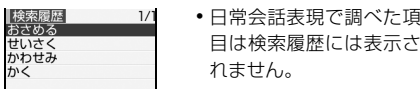
例 明鏡モバイル国語辞典で「修める」を調べるとき

1 Menu ▶ ステーショナリー ▶ 5 ▶ 明鏡モバイル国語辞典

2 入力欄 ▶「おさめる」を入力

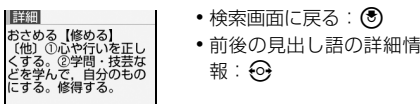
検索結果が表示されます。

- 入力文字は、全角20／半角40文字までです。
- 検索結果の単語を選んでいるときに、他の単語を入力するときは 📖 を押します。
- 見出し語が長い場合は、途中までしか表示されません。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

■ 検索履歴から検索する：Menu 1 ▶ 単語を選び ●

- 日常会話表現で調べた項目は検索履歴には表示されません。

- 1件削除：単語を選び Menu 1 ▶ はい
- 複数削除：Menu 2 ▶ 単語を選び ● ▶ 📖 ▶ はい
- 全件削除：Menu 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ はい

■ 別の辞典での検索：Menu 2 ▶ 別の辞典を選び ● ▶ 検索

3 「おさめる【修める】」を選び ●

4 詳細情報を確認

- 検索画面に戻る：●
- 前後の見出し語の詳細情報：◎

■ コピー：

① Menu 1

② コピーする範囲の開始位置を選び ● ▶ 終了位置を選び ●

- 全文選択：Menu ●
- 開始位置の指定し直し：クリア
- カーソルを文頭／文末に移動：開始位置指定後に Menu ／ 📖

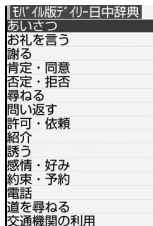
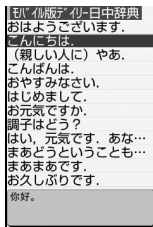
おしらせ

- 詳細画面から別の辞典で検索：Menu ▶ 別の辞典で検索

中国語と韓国語の日常会話を調べる

例 中国語で「こんにちは」を調べるとき

1 Menu ▶ ステーショナリー ▶ 5 ▶ モバイル版デイリー日中辞典 ▶ 日常会話表現

2 項目を選び ●

3 会話を選び ●

4 詳細情報を確認

英語／中国語／韓国語を訳す 翻訳リーダー

次の外国語を日本語に訳せます。

- 英語
  複数の単語を一括で読み取ることもできます。
- 中国語・韓国語
  食べ物や料理の名前など、グルメに関する用語を訳せます。
  中国語は、簡体字のみサポートしています。

例 中国語の「北京烤鸭」を訳すとき

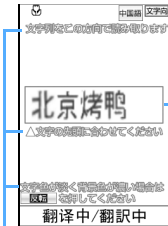
1 Menu ▶ ステーショナリー ▶ 6 ▶ 中国語グルメ編（簡体字）

■ 韓国語のとき：Menu ▶ ステーショナリー ▶ 6 ▶ 韓国語グルメ編

■ 英語のとき：Menu ▶ ステーショナリー ▶ 6 ▶ 英語 ▶ 単語読み取り／単語一括読み取り

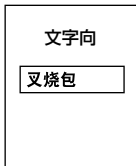
2 アウトカメラを単語に向け、ガイド表示と文字の向きを合わせる

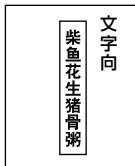
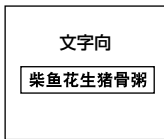
アウトカメラを単語から8cm以上離してください。横書きの場合は、枠の縦幅(縦書きの場合は横幅)に文字が重なるくらいまで(上下キー)で調整してください。英語の単語一括読み取りの場合は、点線が表示されます。文字の高さが点線と点線の間隔と同じくらいになるまで(上下キー)で調整してください。

- 枠または点線と点線の間隔よりも小さい文字は正しく読み取れないことがあります。

- 中国語グルメ編（簡体字）、韓国語グルメ編の場合は、枠内の文字列を左からすべて読み取ります。

- 英語の単語読み取りの場合、枠内に複数の単語があったときは左から1単語だけを訳します。
- 英語の単語一括読み取りの場合、画面に表示されているアイコンや点線などが文字に重なっても、文字は読み取れます。

■ **文字の読み取り方向の変更：**

- (辞書)を繰り返し押して、文字方向の「縦書き」「横書き」やプレビュー方向の「縦」「横」を変更できます。ただし、英語の場合は文字方向の変更はできません。

文字方向：横書き
プレビュー方向：縦

文字向
柴鱼花生猪骨粥

文字方向：縦書き
プレビュー方向：縦

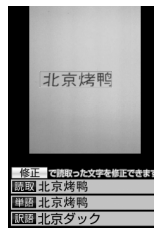
文字方向：横書き
プレビュー方向：横

文字方向：縦書き
プレビュー方向：横

- 文字方向の変更：(Menu)[6]▶[1]▶[1]～[2]
- プレビュー方向の変更：(Menu)[6]▶[2]▶[1]～[2]

■ **別の機能で読み取り：**(Menu)[7]

3 (決定)

単語が読み取られ、訳が表示されます。読み取り範囲や単語を変更できます。

- 読み取った文字列が複数の単語で成り立っているときは、辞書データと一致した単語のみ、単語と訳が表示されます。
  中国語・韓国語の場合は、(メール)を押すと次の単語の訳を表示できます。
- 英語の単語一括読み取りの場合は、(上下キー)で読み取り文字列を選べます。

■ **再読み取り：**(辞書)

■ **詳細の確認：**(Menu)

読み取り中の各種操作

操作2で、読み取り中の画面から以下の操作ができます。

■ **接写 OFF（表示なし）／接写 ON（(接写)）の切り替え：**[#]または(Menu)[1]

■ **ちらつき調整を設定：**(Menu)[2]▶[1]～[3]
- 設定内容について☛P144

■ **コンパクトライトの点灯（(ライト)）／消灯（表示なし）の切り替え：**(メール)または(Menu)[3]

■ **白抜き文字など、文字色が淡く、背景色が濃いとき：**(反転)または(Menu)[4]▶[1]～[2]

■ **ガイドの表示／非表示の切り替え：**(Menu)[5]

読み取り後の各種操作

操作3で、読み取り後の画面から以下の操作ができます。

■ **読み取った文字列の範囲を変更し、単語を訳し直す：**(反転)▶(決定)でポイント（(ポイント)）を移動▶(方向キー)で範囲を変更▶(辞書)

英語の単語一括読み取りの場合は利用できません。

■ **読み取った文字に誤りがある場合の修正方法：**

① (決定)

文字列修正画面が表示されます。

- 英語の単語一括読み取りの場合は、(上下キー)で読み取り文字列を選び(決定)を押します。

② (左右キー)**で修正する文字を選び**(決定)

③ (上下キー)**で候補を選び**(決定)

- 候補文字の表示位置の切り替え：(辞書)

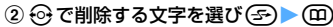
④ (辞書)

■ 読み取った文字列に不要な文字がある場合：

①⊙

文字列修正画面が表示されます。

- 英語の単語一括読み取りの場合は、◎で読み取り文字列を選び⊙を押します。

②◎で削除する文字を選び(CLR)▶(□)

おしらせ

- 使いかたの説明を見る：(Menu)▶ステーショナリー▶6▶使い方の説明
- 正しく読み取れない場合については「名刺リーダーを使う」のおしらせを参照してください。☛P360
- 翻訳リーダーが対応している中国語、韓国語の文字は以下のとおりです（英数字、記号には対応していません）。
  中国語：簡体字、GB2312、一級漢字
  韓国語：KSC5601
- 中国語の二級漢字には対応していません。
- 読み取れる文字列は、明朝系、ゴシック系の書体です。以下のような書体は読み取れないことがあります。
  中国語：老老老老老
  韓国語：칠 칠 칠 칠 철
- グルメ編の料理に関する単語の翻訳結果は一例です。店舗や地域などによって異なる場合があります。

名刺リーダーを使う

カメラで名刺を撮影し、読み取った情報を電話帳に登録できます。

- 次の名刺を読み取れます。
  - ・横書きの名刺（縦書きの文字を含む名刺は読み取れません）
  - ・日本語の名刺（英文名刺は読み取れません）
- 登録できる項目は次のとおりです。

・名前	・電話番号	
・電話番号（FAX）	・メールアドレス	
・テキストメモ	・郵便番号	・住所
・会社名	・役職名	・URL

1 **(Menu)▶ステーショナリー▶7**

自動的に接写撮影に切り替わります。

2 **アウトカメラを名刺に向け、ガイドと名刺の文字の向きを合わせる**

アウトカメラを名刺から8cm以上離してください。文字ができるだけ大きくなるように◎で調整してください。

文字向 文字列をこの方向で読み取ります
△△□□□株式会社
○○部 ●●課
課長
ドコモ 太郎
〒XXX-XXXX
東京都△△区□□町X丁目X番地X号
TEL：03-XXXX-XXXX　FAX：03-XXXX-XXXX
E_mail：docomotaro@△△.□□□.co.jp
URL：http://www.△△.□□□.co.jp
文字色が濃く背景色が濃い場合は 反転 を押してください

- 画面に表示されているアイコンなどが文字に重なっても、文字は読み取れます。
- 文字列が画面の縁にかからないように撮影してください。
- ロゴなどの文字以外のものは画面に入れないでください。正しく読み取れないことがあります。
- 読み取り中の画面から行える操作は、英語／中国語／韓国語を読み取る場合と同じです。☛P359

3 **⊙**

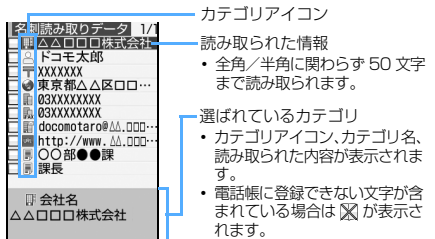
名刺が読み取られ、読み取られた内容が、カテゴリに分類されて表示されます。

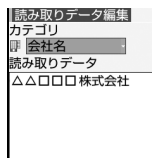
カテゴリアイコン

読み取られた情報
- 全角／半角に関わらず50文字まで読み取られます。

選ばれているカテゴリ
- カテゴリアイコン、カテゴリ名、読み取られた内容が表示されます。
- 電話帳に登録できない文字が含まれている場合は ⊠ が表示されます。

読み取りデーター覧画面

■ 再読み取り：(□)

■ 読み取り結果の編集：

読み取りデータ編集
カテゴリ
会社名
読み取りデータ
△△□□□株式会社

①編集するカテゴリを選び(CLR)
②カテゴリ欄▶1～9／0
③読み取りデータ欄▶内容を変更▶(□)

4 **電話帳に登録するカテゴリを選び⊙**

- 各カテゴリの内容の登録可能文字数は、電話帳の場合と同じです。
- 電話番号はFAXを含めて、読み取りデーター覧画面に表示されている順に5件まで登録できます。
- メールアドレスは、読み取りデーター覧画面に表示されている順に5件まで登録できます。
- 電話番号（FAX含む）、メールアドレス以外のカテゴリで複数の内容があった場合は、読み取りデーター覧画面に表示されている順に同一カテゴリの内容が結合されて、登録可能な文字数分が電話帳に登録されます。
- 電話帳に登録できない文字が含まれているカテゴリを選択しても、電話帳には登録できません。

5 **新規登録するときは(✉)または(Menu)1、更新登録するときは(Menu)2▶1～2**

電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する相手を選択します。

おしらせ

- 名刺によっては読み取れない場合があります。
- 読み取られた内容が正しいカテゴリに分類されない場合があります。また、内容が間違っていることがあります。

● 以下の場合は、正しく読み取れないことがあります。
- 文字がかすれている、文字の色が薄い（背景色に近い）場合
- 文字の背景に模様がある場合
- 文字に光の映りこみや影などがある場合
- 文字の周りが別の色で縁取りされている場合や文字が立体化されている場合
- 傾いた文字列や文字の大きさが均等でない文字列
- 文字の縦横の長さが極端に異なる場合
- 極端に小さな文字の場合
- ディスプレイに表示された文字列
- 文字間隔が極端に狭い文字列
- ロゴやロゴ風のフォントを含む文字列
- 手書き、または手書き風のフォントを使用した文字列
- 光沢のある用紙に印刷された文字列

● 読み取られたときに一部の文字は削除される場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

スイッチ付イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（平型ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで音声電話をかけたり、音声電話やテレビ電話を受けたりできます。

- イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクなどの接続プラグを差し込んでください。☛P24

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMAアンテナに近づけると、ノイズが入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して音声電話をかける

電話番号をイヤホンスイッチ発信設定で登録した相手に、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチ発信設定でのメモリ番号の1件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

● キャッチホンをご契約でサービスを開始している場合でも、通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話はかけられません。スイッチを押すと、通話が終了しますのでご注意ください。
● FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけられません。
● 2in1がONのときは、電話帳2in1設定に従って発信されます。

スイッチを押して電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

● テレビ電話を受けた場合、自画像が送信されます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作☛P54
● キャッチホンをご契約でサービスを開始している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。

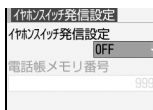
イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する

イヤホンスイッチ発信設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押すだけで電話をかける相手をFOMA端末電話帳のメモリ番号で設定します。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 5 4 3

2 イヤホンスイッチ発信設定欄 ▶ 1

- 解除：2 ▶ 🄼

3 電話帳メモリ番号欄 ▶ 相手を選び ● ▶ 🄼

おしらせ

● 本機能で設定しているメモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、本機能は解除されます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける
オート着信設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けられるように設定します。
音声電話やテレビ電話を自動的に受けると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- 通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本機能は動作しません。
- 自動でプッシュトークに応答する☛P73

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶5 4 2

2 **自動着信機能欄**▶1
- 解除：2▶ⓜ

3 **自動着信機能時間（秒）欄**▶**自動着信するまでの時間を入力（0～120秒）**▶ⓜ

おしらせ

- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 本機能と伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかを同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- オート着信設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内に設定すると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきた場合は、オート着信は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす
イヤホン切替設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音やアラームなどをイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶5 4 1▶1～3

おしらせ

- 「イヤホン（20秒後通知有）」（着信音やアラームの開始から約20秒経過しても電話に出なかったり、プッシュトークに応答しなかったり、アラームを終了させなかった場合にスピーカーからも音を鳴らす設定）、または「イヤホン＋スピーカー」の場合でも、以下の音はイヤホンからのみ鳴り、スピーカーからは鳴りません。
  - 通常マナーモード中のお知らせタイマーのアラーム、目覚まし音、スケジュールアラーム、ワンセグ予約アラーム音
  - メロディ、動画／iモーション、音楽データの再生音、ワンセグ／ビデオの音声

イヤホンマイクから音声を伝える
イヤホンマイク設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、自分の声がイヤホンマイクから伝わるように設定します。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶5 4 4▶1～2

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、FOMA端末の送話口から音声が伝わります。

電源を入れたときの起動時間を短縮する
クイック起動設定

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶7 5▶1～2

おしらせ

- 「ON」にしていても、次の場合は通常の起動時間がかかります。
  - 電池残量が2以下のとき
  - 電池パックを取り付け直したとき
  - 電源を切ってから24時間が経過したときなど

各種機能の設定状況を確認する
設定状況確認

- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶7 9 4

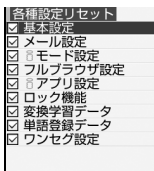
2 **で各種設定状況を確認**
- で画面が切り替わります。

各種機能の設定をリセットする
各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
  - ・基本設定を選択したとき：
    マナーモード、公共モード（ドライブモード）、きせかえツールの動作設定、メロディの動作設定の音量、上限通知アイコン、顔文字・絵文字・記号の入力履歴、ソフトウェア更新の自動更新設定
  - ・フルブラウザ設定を選択したとき：
    Cookie情報
  - ・変換学習データを選択したとき：
    入力予測機能で登録されたデータ

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 7 9 7

2 **端末暗証番号を入力** ▶ **項目を選び** ●

3 (📖) ▶ **はい**

おしらせ

● ｉモード設定をリセットした場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で クリア を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録データを一括して削除する
データ一括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ・「FMラジオMusicサーチ」、「iD 設定アプリ」、「DCMXクレジットアプリ」以外のｉアプリ
  - ・キャラ電
  - ・データBOXのマイピクチャの「デコメピクチャ」、「デコメ絵文字」、「アイテム」フォルダ内の画像
  - ・マチキャラ
- 保存・登録した次のデータは削除されます。
  - ・着もじメッセージ（送信メッセージ履歴含む）
  - ・メールテンプレート　・メールグループ
  - ・ブックマーク　・URL入力
  - ・URL入力履歴　・画面メモ
  - ・ラストURL
  - ・ｉチャネル（受信した情報）
  - ・ｉアプリ　・ｉアプリの履歴表示
  - ・電話帳データ（プッシュトーク電話帳含む）
  - ・電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
  - ・着信履歴　・リダイヤル
  - ・音声メモ
  - ・バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - ・トルカ　・テキストメモ
  - ・通話時間　・単語・定型文
  - ・USSD登録　・応答メッセージ登録
  - ・自局番号（自局電話番号以外）
  - ・辞典の検索履歴
  - ・作成したフォルダ・アルバム
  - ・メッセージR/F　・ｉモードメール
  - ・チャットメール　・SMS
  - ・エリアメール（受信登録情報を含む）
  - ・伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - ・データBOX内の「プリインストール」、「メール添付メロディ」フォルダ以外のデータ
  - ・ダウンロード辞書　・スケジュール
  - ・ICカードロック設定の音声データ
  - ・マチキャラ　・きせかえツール
  - ・オリジナル証明書　・チャンネルリスト
  - ・放送用保存領域　・テレビリンク
  - ・ワンセグの予約スケジュール
  - ・ワンセグビデオ　・ワンセグイメージ
  - ・音楽利用再生履歴　・操作履歴データ

• 各種設定リセットの対象となる機能※1と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
・メール振り分け設定　・伝言メモ設定
・チャットメール画面から行う設定
・静止画撮影　・動画撮影
・サウンドレコーダー　・端末暗証番号
・プライバシーモード設定
・着信／受信時動作設定　・日付時刻設定
・テレビ電話使用機器設定
・通話料金自動リセット設定
・通話中の着信動作選択
・変更したフォルダ名　・セレクトメニュー
・ブックマークのツータッチサイト登録
・ｉアプリのソフト一覧から行う設定
・電話帳から行う設定
・電話帳お預かりサービスの送信設定
・スケジュール帳から行う設定
・マイピクチャ・ミュージック・ｉモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントの動作設定
・赤外線通信のデータ送受信設定
・Music&Videoチャネルプレーヤーの動作設定
・目覚まし
・ソフトウェア更新（書き換え予告アイコン、更新お知らせアイコン、ダウンロードした更新ファイル、予約更新）
・2in1設定
※1：送達通知を除くSMS設定とCA証明書1～13を除く証明書管理は戻りません。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶7 9 8▶**端末暗証番号を入力**▶**はい**

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

● 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
• おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
• FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
• パソコンから設定したデータ通信の設定

● 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

● 本機能を実行すると、Music＆Videoチャネルの番組は自動的に取得されなくなります。再び番組を自動的に取得するには、Music&Videoチャネルの番組設定を選択し、番組設定を行ってください。

● データ一括削除を行った場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面でクリアを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

● 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずデータが削除されます。

● お買い上げ時に登録されているデータ・ｉアプリは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます(☞P304)。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

文字入力

「区点コード一覧」について、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属の CD-ROM からインストールできます。

文字入力について

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

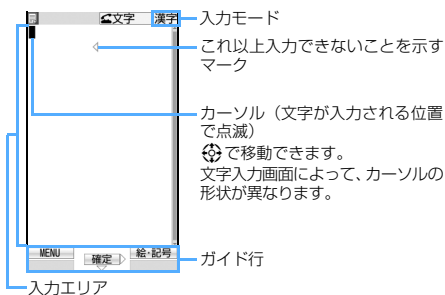
- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「2タッチ入力方式」があります。
  - ・かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。☛P408
  - ・2タッチ入力方式は、2つの数字の組み合わせで文字を入力します。☛P372
- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 本書では最後に ⓔ を押す操作も含めて「入力する」（操作文では「入力」）と表記しています。

文字入力画面の見かた

「全画面入力」と「インライン入力」の2種類があります。

- 入力欄によっては、選べる場合とどちらか一方しか利用できない場合があります。

全画面入力

入力欄を選びⓔを押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄を選び1～9、0、*、#を押し、文字を直接入力します。ⓔを押すと文字が確定します。

文字が確定した状態

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で

1 で全角／半角の切り替えができます。
2 または を押すたびに入力モードを切り替えられます。

入力モード	画面表示	
	入力中	選択中
ひらがな／漢字	漢字	漢※1
半角カタカナ	半ｶﾅ	ｱｧ※1
半角英字	半英	Aa※1
半角数字	半数	12※2
全角カタカナ	全ｶﾅ	ア※1
全角英字	全英	A※1
全角数字	全数	1※2

※1：2タッチ入力のとき、2が表示されます。
※2：2タッチ入力中でも、かな入力方式と同じ操作になります。

2 利用する入力モードを選びⓔ

おしらせ

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。
- ひらがなしか入力できないときの入力モードは「全かな」と表示されます。

入力方法を設定する　入力設定

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 2 5▶各項目を設定▶(m)

入力方式：
「かな入力」または「2タッチ入力」を設定。

入力予測：
予測変換候補の表示／非表示を設定。

自動カーソル：
カーソルが右側に自動移動する速さを設定。
遅い…約1.5秒後に移動
普通…約1秒後に移動
速い…約0.5秒後に移動
自動カーソルがOFF以外のとき、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、カーソルが移動します。
自動カーソル機能は、次の入力モードのときに有効です。
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字

カーソルが移動した後でも次の操作ができます。
- (＊)：濁点／半濁点を付ける
- (＃)：大文字／小文字を切り替える
- (✉)：1つ前の文字に戻す

文字入力中に設定を変更する

- 文字を確定する前やデコメールの装飾選択画面、インライン入力画面では、サブメニューは表示されません。

1 文字入力画面でMenu▶入力設定
- 「かな入力」と「2タッチ入力」の切り替え：1
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」の切り替え：2
- 自動カーソルの移動時間の設定：3▶1～4

かな入力方式で文字を入力する　かな入力方式

文字を入力する　かな漢字変換

例　メール本文に「企業」と入力するとき

1 メール本文の入力画面で「きぎょう」と入力

き：2を2回▶(→)（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）。
ぎ：2を2回▶(＊)
ょ：8を3回▶(＃)
う：1を3回

■ **文字の消去：**(クリア)

■ **大文字と小文字の切り替え：文字入力直後に**(＃)

■ **文字に「゛」「゜」を付ける：文字を入力▶**(＊)
- 「゛」「゜」が付けられない文字のときは「゛」「゜」が全角で入力されます。

■ **1つ前の文字に戻す：文字入力直後に**(✉)
- 押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→ 1 →お→え→う→い→あ→ 1 →…）。濁点や半濁点を入力したときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定：ひらがなを入力した状態で操作3に進む**

■ **カタカナや英数字などに変換：**Menu▶**変換候補を選び**(●)▶**操作3**

2 [変換]

- 予測変換候補が表示されていないときは、[上下] でもかな漢字変換されます。予測変換☛P368
- 変換前の状態に戻す：[クリア]

■ **変換候補の一覧表示：**
[変換] を押しても目的の文字が表示されないときは、[上下] またはもう一度 [変換] を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[メール] を押すと次ページ、[切替] を押すと前ページに切り替わります。[上下] で変換候補を選び [決定] を押します。

3 [決定]

文字が確定します。

- 入力設定の入力予測を「ON」にしているときは「閉じる」を選択します。

■ **文字の挿入：**
[方向] で挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字の削除：**
- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例）ドコモ▌太郎
  ・[クリア]：カーソル位置の1文字を削除
  ・[クリア]（1秒以上）：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字を削除
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例）ドコモ太郎▌
  ・[クリア]：カーソルの左の1文字を削除
  ・[クリア]（1秒以上）：すべての文字を削除

■ **改行：**[#]
- 入力欄によっては改行できない場合があります。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合、[下] で改行入力できます。

4 [決定]

文字入力が終了します。

複数の文節を一括変換する

- 全角で24文字まで変換できます。

例「動物園に行きましょう。」と入力するとき

1 文字を入力▶[変換]

■ **全確定：**[Menu]

動物園に行きましょう。

■ **変換部分を確定：**[決定]

動物園に行きましょう。

■ **変換範囲を変更：**[左右]

[左] を押したとき

動物園二いきましょう。

入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力すると変換候補として表示され、すばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  ・標準搭載の単語
  ・かな漢字変換で入力した単語
  ・ダウンロード辞書で変換入力した文字列
  ・単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。インライン入力の場合は利用できません。

1 文字を入力

予測変換候補が表示されます。

- 入力文字を増やすと候補は絞り込まれます。

2 [上下]▶[選択]で候補を選び[決定]

- 予測変換候補が選ばれているときは、次の操作ができます。
  [スケジュール]／[メール]：前ページ／次ページ切り替え
  [辞書]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）

3 **閉じる**

予測変換候補が消えます。

変換学習データをリセットする

予測変換候補に登録された変換学習データをリセットします。

1 [Menu]▶**設定／NWサービス**▶[7][2][3]▶**端末暗証番号を入力**▶**はい**

顔文字・定型文を入力する

顔文字や、あらかじめ登録されている文、絵文字ことばを入力します。

例 顔文字を入力するとき

1 **文字入力画面で**[Menu]▶**絵文字・記号・顔文字**▶[3]

- 定型文の入力：文字入力画面で[Menu]▶定型文・区点・引用▶[1]

2 [1]～[9]

- 定型文のとき：[1]～[7]

- 顔文字の入力履歴が利用できるときは[1]を選択できます。
- 定型文を作成した場合は、定型文のときに[7]を選択できます。

3 **顔文字を選び**[決定]

- 定型文のとき：定型文を選び[決定]

- 定型文の内容の確認：定型文を選び[辞書]
- 顔文字の入力履歴は最大18件まで表示されます。18件を超えると、古いものから順に消去されます。

おしらせ

- 顔文字はひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☛P411
- 定型文一覧☛P410

絵文字・記号を入力する

1 **文字入力画面で**[辞書]

絵文字1の一覧が表示されます。

履歴表示エリア（絵文字1、絵文字2、絵文字D、全角記号、半角記号の最初のページにだけ表示されます）

- [辞書]を押すと、絵文字2→絵文字D→絵文字1…と切り替わります。ただし、絵文字Dはメール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ表示されます。
- 半角／全角記号の切り替え：[Menu]
- 複数ページの切り替え：[スケジュール]または[メール]
- 履歴表示エリアには絵文字または記号が最大10文字まで表示されます。10文字を超えると、古いものから順に消去されます。
- 絵文字Dは、マイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダに保存されているときに表示されます。

2 **絵文字・記号を選び**[決定]

- 連続して入力できます。

3 [クリア]

おしらせ

- 一部の記号は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読み	入力できる記号
ぎりしあ	ギリシア文字
ろしあ	ロシア文字
すうじ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ
けいせん	罫線記号
きごう	上記を除く全角記号

● 文字入力画面のサブメニューからの操作：Menu▶絵文字・記号・顔文字▶絵文字／記号
  • 絵文字や記号の一覧画面でMenuを押すと、絵文字1と絵文字2、絵文字D（メール本文と署名編集の文字入力画面の場合のみ）または半角記号と全角記号を切り替えられます。
  • 絵文字D以外の絵文字や記号の一覧画面で連続して入力するときは📖を押します。履歴表示エリアの上に連続入力エリアが表示され、絵文字の場合は10文字まで、記号の場合は全角10／半角20文字まで連続入力できます。📖を押すと、連続入力エリアに表示されている絵文字または記号が確定し、本文中に入力されます。また、次のかっこの左側（例：｛）を1つだけ選択した場合は、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。
  () [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
● 絵文字は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☞P414
● 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
● プライバシーモード中（マイピクチャが「認証後に表示」の場合）は、文字入力画面で📖を押してデコメ絵文字を表示してもダウンロードしたデコメ絵文字は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字のみ表示されます。ダウンロードしたデコメ絵文字も表示するには、装飾選択画面で 🔒 を選択してプライバシーモードを一時解除してください。
● メール本文に絵文字Dを挿入するとデコメールになります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。
• 入力欄によっては、文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。

電話帳データの内容を引用する

• 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 **文字入力画面でMenu▶定型文・区点・引用▶3▶電話帳データを選び●**

2 **電話帳の内容を選び●**

• 内容が長い場合は、途中まででしか表示されません。確認するときは、内容を選び📖を押します。●を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

• 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 **文字入力画面でMenu▶定型文・区点・引用▶4**

2 **端末暗証番号を入力▶自局番号の内容を選び●**

• 内容が長い場合は、途中まででしか表示されません。確認するときは、内容を選び📖を押します。●を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

• 引用できるのは、スケジュール帳とテキストメモの文字入力画面です。

1 **文字入力画面でMenu▶定型文・区点・引用▶5▶計算を行う▶●**

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

• 引用できるのは、iモードとフルブラウザのURL入力画面とiモード中またはフルブラウザ中の文字入力画面です。

1 **文字入力画面でMenu▶定型文・区点・引用▶5▶JANコードまたはQRコードを読み取る▶●**
読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文を登録する　定型文登録

• 最大50件登録できます。
• 空白のみの定型文は登録できません。また、定型文に含まれる空白は次のように扱われます。
  ・文字列の前後の空白　：文字列の後の空白は無効※1
  ・文字と文字の間の空白：有効
  ※1：文字入力中の登録では、前後の空白は無視されます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶7 2 4 7**

2 **<新しい定型文>**
定型文編集画面が表示されます。
  • 登録済みの定型文の編集：定型文を選び●
  • 登録済みの定型文の確認：定型文を選び📖▶編集するときは●

■ 定型文の削除：定型文を選び Menu ▶ はい

3 本文欄 ▶ 定型文を入力（全角64／半角128文字まで） ▶ (m)

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。
- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 文字入力画面で Menu ▶ 単語・定型文登録 ▶ 2

2 開始位置を選び ●
- 全文を選択：Menu ● ▶ 操作4
- メール本文の入力画面で全文を選択：✉ ▶ 操作4

3 終了位置を選び ●

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。
- 開始位置から文頭までを選択：Menu ●
- 開始位置から文末までを選択：(m) ●

4 (m)

おしらせ
- 文字入力画面で未入力のとき、またはメール本文入力中で変換が確定していないときに登録操作を行うと、定型文編集画面が表示されます。
- 定型文が最大登録件数に達し、新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を編集してください。

コピー／切り取りして貼り付ける 文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の文字入力画面に貼り付けます。
- コピーまたは切り取った文字は、新たにコピーまたは切り取りを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けることができます。

文字をコピー／切り取りする

例 文字をコピーするとき

1 文字入力画面で Menu 1
- 文字の切り取り：文字入力画面で Menu 2
- メール本文の入力画面からの操作：Menu ▶ コピー／切り取り

2 開始位置を選び ●
- 全文を選択：Menu ●
- メール本文の入力画面で全文を選択：✉

3 終了位置を選び ●

選択した範囲の文字がコピーされます。
- 開始位置から文頭までを選択：Menu ●
- 開始位置から文末までを選択：(m) ●

文字を貼り付ける

1 文字入力画面で、貼り付ける位置を選び Menu 3
- メール本文の入力画面からの操作：Menu ▶ 貼り付け

おしらせ
- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含む文字列を貼り付けた場合は、改行が空白に置き換えられます。
- 貼り付けや定型文入力などで、最大文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

区点コードで入力する 区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。
- 区点コード一覧については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面で Menu ▶ 定型文・区点・引用 ▶ 2 ▶ 4桁の区点コードを入力 ▶ ●
- メール本文の入力画面からの操作：Menu 5 2

よく使う単語をあらかじめ登録する 単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。
- 最大200件登録できます。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 2 1

2 <新しい単語>
- 登録済みの単語の編集：単語を選び ●
- 登録済みの単語の確認：単語を選び (m) ▶ 編集するときは ●

■ 単語を削除：
① 削除する単語を選びMenu
② 削除
• 全件削除：すべて削除

3 単語欄▶登録する単語を入力（全角12／半角24文字まで）

4 読み欄▶読みを入力（全角8文字まで）

• ひらがなのみ入力できます。

5 (m)

• 登録済みの単語を編集したとき：上書き登録または新規登録

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面でMenu▶単語・定型文登録▶1

2 開始位置を選び●

• 全文を選択：Menu●▶操作4
• メール本文の入力画面で全文を選択：(✉)▶操作4

3 終了位置を選び●

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。
• 開始位置から文頭までを選択：Menu●
• 開始位置から文末までを選択：(m)●

4 読みを入力して登録

• 操作方法は「よく使う単語をあらかじめ登録する」の操作4以降と同じです。☞P372

おしらせ

● 文字入力画面で未入力のとき、またはメール本文入力中で変換が確定していないときに登録操作を行うと、単語編集画面が表示されます。
● 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字を入力した場合は、登録できません。
● 次の文字が読みの先頭にある場合は、登録できません。
を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、ー（長音）、゛（濁点）、゜（半濁点）
● 読みに空白は入力できますが、登録後に削除されます。
● 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
● 単語が最大登録件数に達し、新たに登録する場合は、一覧から単語を削除するか、登録済みの単語を編集してください。

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を文字変換用に使用できるようにします。
• 最大5件の辞書を使用できます。
• 辞書のダウンロード方法☞P158

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 2 2▶使用する辞書を選び(m)

■ ダウンロードした辞書の情報を表示：
Menu▶設定／NWサービス▶7 2 2▶辞書を選び(✉)

■ ダウンロードした辞書を削除：
Menu▶設定／NWサービス▶7 2 2▶辞書を選び(✆)▶はい

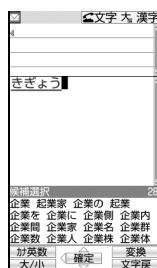
2タッチ入力方式で文字を入力する

2タッチ入力方式

2つのキーを押して、文字を入力できます。
• 2タッチ入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☞P367
• ダイヤルキーの文字割り当て一覧（2タッチ入力方式）☞P409
• 8 0を押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。入力モードに大、小が表示されます。

例 メール本文に「企業」と入力するとき

1 メール本文の入力画面で「きぎょう」と入力

き：2 2
ぎ：2 2▶0 4
ょ：8 5▶(✆)
う：1 3

• 文字の消去：(クリア)
• 大文字と小文字の切り替え：文字入力直後に(✆)
• ひらがなのまま確定する：●
• 以降の操作は「文字を入力する」の操作2以降と同じです。☞P368

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

● FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
公共モード（ドライブモード）※1	不要	無料
公共モード（電源OFF）※1	不要	無料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
メロディコール※2	必要	有料

※ 1：公共モード ☞P56、P58
※ 2：メロディコール ☞P95

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

● 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービスを利用する　留守番電話

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ（☛P59）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、 が待受画面に表示されます。
- 2in1の留守番電話サービスの開始、停止、設定確認、伝言メッセージ再生、設定はAナンバー／Bナンバーごとに行えます。その他の設定や操作は、AナンバーとBナンバーは共通になります。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ 1：サービスを開始に設定

ステップ 2：電話をかけてきた方が伝言を録音／録画

ステップ 3：伝言メッセージを再生

操作方法

1 **Menu▶設定／NWサービス▶8 1**

2 **以下の操作を行う**

留守番サービス開始
① 1 1 • 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び◉ ② **はい** • 操作①の後でBナンバーを選んだときやBモードのときは操作が終了します。 ③ **はい▶呼出時間を入力（0～120秒）**
留守番呼出時間設定
1 2▶**はい▶呼出時間を入力（0～120秒）**
留守番サービス停止
① 1 3 • 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び◉ ② **はい**
留守番設定確認
① 1 4 • 2in1がデュアルモードまたはBモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び◉ ② **はい** • サブメニューから設定を変更できます。2in1のBナンバーの確認時は設定できません。 **サービスの開始：**Menu 1 **サービスの停止：**Menu 2 **呼出時間の変更：**Menu 3
留守番メッセージ再生
新しい伝言メッセージがあると待受画面に が表示されます。 • 2in1がデュアルモードのときは、 (Bナンバーの伝言メッセージのみ)、 (AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがあるとき）も表示されます。 ① 1 5 • 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び◉ ② **はい▶音声ガイダンスに従う**
留守番サービス設定
① 1 6 • 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び◉ ② **はい▶音声ガイダンスに従う**
メッセージ問合せ
1 7▶**はい** 新しい伝言メッセージがあるかを確認します。
件数増加鳴動設定
相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増えていた場合は、通知音が鳴るようにします。 ① 2▶**件数通知音欄** ② 1 • 鳴らさない：2▶操作④ ③ **通知メロディ欄▶フォルダを選び◉▶メロディを選び◉** ④ 📖
着信通知開始
電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせします。 3 1▶**はい▶はい／いいえ** **はい**…発信者番号通知の着信のみ通知します。 **いいえ**…すべての着信を通知します。
着信通知停止
3 2▶**はい**
着信通知開始設定確認
3 3▶**はい** • サブメニューから設定を変更できます。 **着信通知開始：**Menu 1 **着信通知停止：**Menu 2
表示消去
4▶**はい** 伝言メッセージの件数を示すアイコンが消えます。

おしらせ

- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 留守番電話サービスのテレビ電話対応設定について変更するには、音声電話で「1412」をダイヤルしてください。
- 留守番電話サービスセンターに接続された場合、テレビ電話でキャラ電を送信中は、サブメニューからDTMF送信に切り替えて操作してください。☛P44
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

キャッチホンを利用する　キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択（☛P378）を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始にしても音声電話通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 2 1

2 以下の操作を行う

キャッチホン開始
1▶はい
キャッチホン停止
2▶はい
キャッチホン設定確認
3▶はい

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手の切り替え：
- 現在通話中の相手を保留：（再度を押すと解除）
- 保留中の通話の終了：キャッチホン中（マルチ接続中）にMenu 1

2 一方の相手との通話が終わったら

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の通話の再開：

通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

1 通話中に

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2

新しくかかってきた電話と通話できます。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に電話番号を入力

- で着信履歴から、でリダイヤルから、で電話帳から相手を選ぶことができます。

2

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手の切り替え：
- 現在通話中の相手を保留：（再度を押すと解除）
- 保留中の通話の終了：キャッチホン中（マルチ接続中）にMenu 1

3 新しくかけた相手との通話が終わったら

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の通話の再開：

おしらせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。

転送でんわサービスを利用する　転送でんわ

電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（☛P59）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、「1」が待受画面に表示されます。
- 2in1の転送でんわサービスの開始、停止、設定確認はAナンバー／Bナンバーごとに行えます。その他の設定や操作は、AナンバーとBナンバーは共通になります。Bナンバーの設定確認をした場合、転送でんわサービスの開始／停止のみ確認できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ **1**：転送先の電話番号を登録

ステップ **2**：転送でんわサービスを開始に設定

ステップ **3**：お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ **4**：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送

操作方法

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 2 2

2 以下の操作を行う

転送サービス開始

① 1
- 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び●

② はい
- 操作①でBナンバーを選んだときやBモードのときは操作が終了します。

③ はい▶転送先番号を入力（26桁まで）
- 電話番号の入力欄を選択する前に、Menuで電話帳から、✉でリダイヤルから、♪で着信履歴から電話番号を設定できます。

④ 🄼▶はい▶呼出時間を入力（0～120秒）

転送サービス停止

① 2
- 2in1がデュアルモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び●

② はい

転送先変更

① 3

② 転送先番号を入力▶🄼

③ 1～2
- Bモードのとき：1
- 2in1がデュアルモードで2を選択したとき：「Aナンバー」を選び●

④ はい

転送先通話中時設定

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応するように設定します。

4▶はい／いいえ

転送サービス設定確認

① 5
- 2in1がデュアルモードまたはBモードのとき：「Aナンバー」または「Bナンバー」を選び●

② はい
- サブメニューから設定を変更できます。2in1のBナンバーの確認時は変更できません。
  - **転送サービス開始：Menu 1**
  - **転送サービス停止：Menu 2**
  - **転送先変更：Menu 3**
  - **転送先通話中時設定：Menu 4**

転送ガイダンスの有・無を設定する

1 1 4 2 9 📞▶音声ガイダンスに従う

迷惑電話ストップサービスを利用する　迷惑電話ストップ

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録できます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 9 3

2 以下の操作を行う

迷惑電話着信拒否登録

最後に着信応答した電話番号を着信拒否登録します。不在着信など通話していない場合は登録できません。

1▶はい

電話番号指定拒否登録

2▶はい▶電話番号を入力（22桁まで）▶🄼▶はい
- 電話番号の入力欄を選択する前に、Menuで電話帳から、✉でリダイヤルから、♪で着信履歴から電話番号を登録できます。

迷惑電話全登録削除

3▶はい

迷惑電話１登録削除
最後に登録した電話番号を１件削除します。同様の操作を繰り返し行うことで、最後に登録した順より１件ずつ削除できます。 4▶はい
拒否登録件数確認
5▶はい

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願い

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に[アイコン]も表示されません。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶842

2 **以下の操作を行う**

番号通知開始
1▶はい
番号通知停止
2▶はい
番号通知設定確認
3▶はい

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワーク

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末は同時に利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」をダイヤル**

2 **ガイダンスに従って操作**

FOMA端末を使えるようにする

mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶895

2 **以下の操作を行う**

デュアルネットワーク切替
1▶はい▶ネットワーク暗証番号を入力
デュアルネットワーク状態確認
2▶はい

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定できます。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶894

2 **以下の操作を行う**

ガイダンス設定
① 1▶はい ② 1～2 **日本語**…発信時に自分が聞くガイダンスを日本語にします。 **英語**…発信時に自分が聞くガイダンスを英語にします。 ③ はい▶1～3 **日本語**…着信時に相手が聞くガイダンスを日本語にします。 **日本語＋英語**…着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順にします。 **英語＋日本語**…着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順にします。
ガイダンス設定確認
2▶はい

サービスダイヤルを利用する
サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。
- 2in1がデュアルモードのときは、発信番号の選択画面が表示されます。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶8 9 6

2 **以下の操作を行う**

ドコモ故障問合せ
1▶**はい** 故障お問い合わせ先に電話がかかります。
ドコモ総合案内・受付
2▶**はい** 総合お問い合わせ先に電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する
通話中機能選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 本機能が「通常着信」または「留守番電話」の場合、通話中に64Kデータ通信の着信があったときは、本機能は動作しません。
- 本機能が「通常着信」の場合、通話中にテレビ電話がかかってきたときは、本機能は動作しません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を開始にしてください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶8 9

2 **以下の操作を行う**

通話中の着信動作選択
通話中に電話がかかってきたときの対応方法を設定します。 9▶1～4 **通常着信**…キャッチホンを開始にしているときは、キャッチホンが動作。停止にしているときは、次のいずれかの操作が行えます。 • 音声通話または64Kデータ通信を終了し、音声電話に応答できます。 • 音声電話通話中にかかってきた音声電話をサブメニューから留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 • 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始にしているときは、各サービスが動作します。 **留守番電話**…通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話に留守番電話サービスで応答します。 **転送でんわ**…通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信があった場合は転送されません。 **着信拒否**…通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を着信拒否します。
通話中着信設定開始
通話中の着信動作選択で設定した対応方法を有効にします。 8 1▶**はい**
通話中着信設定停止
8 2▶**はい**
通話中着信設定確認
8 3▶**はい**

おしらせ

- 通話中着信動作がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。

遠隔操作を設定する　遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 8 9 2

2 以下の操作を行う

遠隔操作開始
1 ▶ はい
遠隔操作停止
2 ▶ はい
遠隔操作設定確認
3 ▶ はい

マルチナンバーを利用する　マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 8 9 7

2 以下の操作を行う

通常発信番号設定
通常発信番号設定を切り替えると、設定した番号で電話をかけられます。 1 ▶ 1 ～ 3 ▶ はい
通常発信番号設定確認
2 ▶ はい
電話番号設定
マルチナンバー契約済み電話番号の設定をします。 3 ▶ 各項目を設定 ▶ (完了) **名称：** 付加番号1／付加番号2ごとに設定（全角10／半角20文字まで）。基本契約番号の名称は、自局番号で設定した名前を表示。 **電話番号：** 契約済みの付加番号1／付加番号2を設定。 **マルチナンバー発信：** **有効**…電話をかけるときに、サブメニューから相手に通知する番号を選択できます。
着信設定
付加番号ごとに着信音などを設定します。 4 ▶ 1 ～ 2 ▶ 各項目を設定 ▶ (完了) **個別設定：** 個別に着信設定するかを選択。 **着信音、イメージ表示☛P90**

相手に通知する番号を選んで発信する

電話をかけるときに、相手に通知する番号を選べます。

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「有効」にしておく必要があります。

1 **電話番号を入力 ▶ Menu 4**
- リダイヤルから発信：◎ ▶ 相手を選び Menu 3
- 着信履歴から発信：◎ ▶ 相手を選び Menu 3

2 1 ～ 3 ▶ Menu

おしらせ

- リダイヤルには、発信時に通知したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。
- 着信履歴には、着信したマルチナンバーに対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、発信・着信したときのマルチナンバーに対応した名称が表示されていないときは、通常発信番号設定に従って発信します。
- 発信オプションからも番号を選択できます。発信オプションでマルチナンバーを「指定なし」にした場合は、通常発信番号設定に従います。

2in1を利用する　2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号・2つのメールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1をご契約の場合に、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行うときは、正しいBナンバーを取得するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにし、FOMAカードを差し替えた後に再度2in1をONにするか（☞P380）、自局番号の表示画面からBナンバーを取得してください。☞P352
  また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行うときも、正しい所有者情報に更新するために、FOMAカードを差し替える前に2in1をOFFにしてください。

各モードについて

- Aモード
  お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。
- Bモード
  2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
- デュアルモード
  A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。
- 各モードごとの動作について☞P382

注意事項

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。☞P180
- ｉモードをご契約の場合、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1をご契約されていない場合やOFFのとき、デュアルモードのとき、Aモードのときに電話帳を登録すると、電話帳2in1設定が「A」に登録されます。Bモードのときに登録すると「B」に登録されます。
- Bモードのときはメール／SMSの作成・送信、送信メールの検索ができません。
- BモードのときはMail To機能が利用できません。
- 海外で電話をかける場合、デュアルモードのときはAナンバーで発信されます。Bナンバーでの発信はできません。
- 各機能で全件削除やフォルダの削除をしたり、データ一括削除をすると、利用中の2in1のモードに関わらず、すべてのデータが削除されます。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。
- デュアルモードのときに電話帳を利用する場合、電話帳2in1設定に関わらず、Aアドレスでｉモードメールを、AナンバーでSMSを送信します。
- ｉモードメール／SMS、留守番電話の伝言メッセージの件数表示は、AモードのときはAナンバー／Aアドレスのみ、BモードのときはBナンバー／Bアドレスのみ、デュアルモードのときや2in1がOFFのときはすべての件数が表示されます。
- 外部機器から発信を行った場合は、2in1のモードに従って発信されます。デュアルモードではAナンバーで発信されます。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶8 7▶端末暗証番号を入力**
- 2in1がOFFの場合、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、2in1がONになり、デュアルモードに設定されます。

2 **以下の設定を行う**

2in1モード切替
2in1のモードを切り替えます。各モードに対応して、電話帳や着信履歴などの表示が切り替わります。 1▶1～3 • モード切替連動設定を開始しているときは、着信回避設定の設定内容が表示されます。
電話帳2in1設定
各モードで表示させるFOMA端末電話帳を設定します。「共通」に設定した電話帳は、Aモード／Bモード両方で表示されます。 • FOMA端末電話帳のみ設定できます。 ① 2▶**A／B／共通** ② **電話帳を検索▶相手を選び**● 　• 電話帳一覧に電話帳2in1設定のアイコンが表示されます。 　　AB：共通　A：A　B：B 　• 設定の変更：✉ ③ 📖▶**はい**
モード別待受画面設定
デュアルモードのときとBモードのときの待受画面を設定できます。 3▶1～2▶**画像を選び**● 設定方法☞P97 • 静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。
発着信番号設定
■ **Bナンバー着信設定：** Bナンバーへの着信時の着信音を設定します。 4 1▶1～2▶**各項目を設定**▶📖 設定方法☞P92 ■ **Bナンバー識別表示：** Bナンバーを利用するとき、発着信中や通話中画面に表示される「通話中」などの表示に「《》」を付けて表示するように設定できます。たとえば、通話中は「《通話中》」と表示されます。 4 2▶1～2

2in1機能OFF

2in1をOFFにします。

[5]▶**はい**

着信回避設定

Aナンバー、Bナンバーの着信を利用中のモードに関わらず規制します。

■ **着信回避設定変更：**

① [6][1]

- モード切替連動を開始しているときは確認画面が表示されます。設定する場合は、「はい」を選択します。

② **各項目を設定**▶(田)

Aナンバー着信回避：着信の規制を設定。

Bナンバー着信回避：着信の規制を設定。

変更しない…現在の設定を変更しません。

■ **着信回避設定確認：**

[6][2]▶**はい**

- サブメニューから設定を変更できます。

着信回避設定変更：(Menu)[1]

■ **モード切替連動設定：**

[6][3]▶**はい**

開始すると、下記の動作になります。

- Aモード：Aナンバーを着信／Bナンバーを着信拒否
- Bモード：Aナンバーを着信拒否／Bナンバーを着信
- デュアルモード：Aナンバー／Bナンバーを着信

■ **着信回避設定（海外）：**

① [6][4]

- モード切替連動が開始のとき：はい▶(●)

② **はい**

モードごとに動作が異なる機能

モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話			
発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
着信※2	着信回避設定またはモード切替連動設定に従う		
電話帳			
表示※3	「A」／「共通」設定の電話帳	「B」／「共通」設定の電話帳	すべての電話帳
名前の表示※4	「A」／「共通」設定	「B」／「共通」設定	すべて
新規登録時の電話帳2in1設定	「A」	「B」	「A」
赤外線／iC通信での通信			
全件受信	送信元の電話帳2in1設定に従う※5		
1件受信	「A」	「B」	「A」
microSDメモリーカードから本体への復元／コピー			
復元	バックアップ時の電話帳2in1設定に従う※5		
1件コピー	「A」	「B」	「A」
FOMAカード電話帳			
本体からFOMAカードへコピー	「共通」（FOMAカード電話帳は電話帳2in1設定の変更はできません。）		
FOMAカードから本体へコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべての発信
着信履歴表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべての着信
メール／SMS			
表示	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーで送受信したメール／SMS	[FOMA端末] • 端末に保存したBアドレス宛の受信メール（WEBメールサイト上での［端末に保存］操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール • Bナンバーで受信したSMS [WEBメールサイト] Bアドレスで送受信したメール	[FOMA端末] • Aアドレスで送受信したメール、端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール • Aナンバーで送受信したSMS • Bナンバーで受信したSMS [WEBメールサイト] Bアドレスで送受信したメール
送信	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーからのメール／SMS	[FOMA端末] メール／SMS送信不可 [WEBメールサイト] Bアドレスからのメール	[FOMA端末] Aアドレス／Aナンバーからのメール／SMS※6 [WEBメールサイト] Bアドレスからのメール
受信			
Aアドレス宛のメール／Aナンバー宛のSMS			
	鳴動あり	鳴動なし	鳴動あり
端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／Bナンバー宛のSMS			
	鳴動なし	鳴動あり	鳴動あり
赤外線／iC通信での通信			
全件受信	送信側の状態を引き継ぐ※5		
1件受信	Aアドレス／Aナンバーとしてコピー		

サービス	Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS			
microSDメモリーカードから本体への復元／コピー			
復元	バックアップ時の状態を引き継ぐ※5		
1件コピー	Aアドレス／Aナンバーとしてコピー		
FOMAカード（SMSのみ）			
本体からFOMAカードへ移動／コピー	自分のナンバーの情報を削除して移動／コピー		
FOMAカードから本体へ移動／コピー	すべてAナンバーとして移動／コピー		
プッシュトーク			
発信	Aナンバー	利用不可	Aナンバー
着信	Aナンバー		
プッシュトーク電話帳	「A」／「共通」設定の電話帳	利用不可	「A」／「共通」設定の電話帳
iアプリ	すべて利用可能	利用可能※7	利用可能※8
自局番号表示	Aナンバー／Aアドレス	Bナンバー／Bアドレス	A／Bナンバー A／Bアドレス

※1：電話帳から発信する場合、電話帳2in1設定が「A」または「共通」の電話帳の場合はAナンバーで、「B」の電話帳の場合はBナンバーで発信されます（クイックダイヤル、イヤホンスイッチ発信でも同様です）。デュアルモードのときは、発信オプションの「自局番号」から、発信するナンバーを選択できます。

※2：電話帳2in1設定によって表示される電話帳データのみメモリ別着信拒否／許可が動作します。また、電話帳2in1設定によって表示されない電話帳データは、メモリ登録外着信拒否に従います。

※3：シークレット属性を設定している場合、プライバシーモードの動作が優先されます。

※4：電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先などに、電話帳に登録している名前が表示されます。

※5：送信元やバックアップ時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳の電話帳2in1設定はすべて「A」になります。メール／SMSのときはAアドレス／Aナンバーとして復元されます。

※6：電話帳2in1設定が「B」の電話帳からでもAアドレス／Aナンバーからのメール／SMS送信となりますのでご注意ください。

※7：メール機能を利用するiアプリ、iアプリ待受画面は利用できません。

※8：iアプリ待受画面は利用できません。

OFFICEEDを利用する　OFFICEED

OFFICEEDは指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 6

2 以下の操作を行う

エリア表示設定
OFFICEEDエリア内にいるときに、待受画面にOFFICEEDを表示するかを設定します。 1▶1～2
圏外転送開始
2▶はい
圏外転送停止
3▶はい
圏外転送設定確認
4▶はい

新しいネットワークサービスを登録する　追加サービス（USSD登録）

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 9 1

2 以下の操作を行う

USSD登録
■ 登録・変更： 1▶サービスを登録・変更する番号を選び(m)▶USSDコード欄▶入力▶名称欄▶サービス名を入力（全角10／半角20文字まで）▶(m) • 最大10件登録できます。 • USSD コード欄には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 ■ 登録したサービスの利用： 1▶1～9／0 登録されたコードがサービスセンターに発信されます。 ■ 登録したサービスの削除： 1▶サービスを選びMenu 1（全件削除：Menu 2）▶はい
応答メッセージ登録
追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 ■ 登録： 2▶1～9／0▶USSDコード欄▶入力▶応答メッセージ欄▶入力(全角10／半角20文字まで)▶(m) • 最大10件登録できます。 ■ 登録したメッセージの削除： 2▶メッセージを選びMenu 1(全件削除:Menu 2)▶はい

パソコン接続

データ通信について、詳しくは付属のCD-ROM内のPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®ヘルプを参照願います。

データ通信について

FOMA端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はFAX通信やRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行えます。musea、sigmarion Ⅱを利用する場合はアップデートが必要です。アップデートなどの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 海外でパケット通信を行う場合はIP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービス mopera Uなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

■ 64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。

長時間にわたる通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

電話帳やメール、ブックマークなどの各種データを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。

- 赤外線通信／iC通信でも、他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータ転送できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

※1：USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。
※2：OSアップグレードからの動作は保証対象外です。

- 「FOMA D905i CD-ROM」画面が動作する推奨環境は、Window 2000、Windows XPではMicrosoft Internet Explorer6.0以降、Windows VistaではMicrosoft Internet Explorer7.0以降です。

おしらせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用やOSアップグレードによるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA D905i用CD-ROM」

おしらせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera U／moperaをご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続などに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、moperaは、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAのパケット通信に対応した接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）の認証を行う場合は付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳しくは付属のCD-ROM内の「簡易操作マニュアル（FirstPassManual.pdf）」をご覧ください。ご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe® Reader®のヘルプを参照願います。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

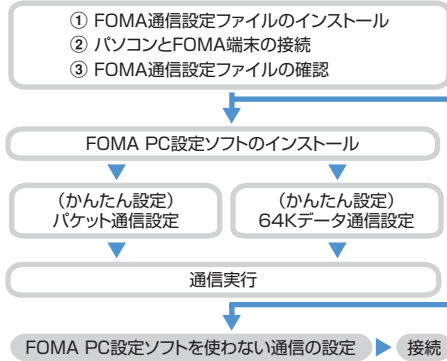
上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

- **管理者権限**
  OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。
- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
  お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または64Kデータ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

① FOMA通信設定ファイルのインストール
② パソコンとFOMA端末の接続
③ FOMA通信設定ファイルの確認

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属の CD-ROM から FOMA PC 設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末とパソコンを接続して、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

ATコマンドについて

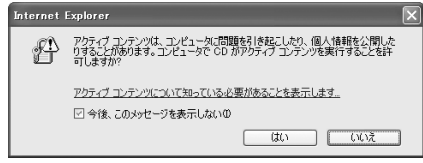
ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

取扱説明書付属の CD-ROM には、FOMA 端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF
- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／ U かんたん接続設定ソフト／ U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ）
- ナップスター®のご案内
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

警告画面が表示された場合

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
- 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

- Windows Vistaの場合、付属のCD-ROMをパソコンにセットすると自動再生画面が表示されることがあります。「rundll32.exeの実行」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイ datalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記のページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記のページへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどを利用いただけるサービスです。

- 国内で使用している電話番号やメールアドレスを海外でも利用できます。
- 2005年９月１日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- お買い上げ時は、自動的にネットワークの切り替えが行われるように設定されています。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 海外のドコモのローミングエリア※1のみで利用できます。エリアやご利用料金について詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

※１：本FOMA端末は3Gエリア、GSM／GPRSエリアでご利用になれます。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください（2007年10月現在）。

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

- このほかの国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービスについて

利用できる通信サービスや機能は、国内で利用する場合と海外で利用する場合で異なります。また、海外でどの通信事業者を利用するかによっても異なります。

- 国際ローミング中に利用できる通信サービスについての詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

海外で利用できる通信サービス

海外では次の通信サービスをご利用になれます。ただし、通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。

利用可：○　利用不可：×

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1、※2	○	×	×
ｉモード（フルブラウザを含む）	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
SMS	○	○	○
ｉチャネル※3、※4	○	×	○
GPSの現在地確認※5、※6	○	○	○
データ通信（パケット通信）※7	○	×	○

※１：2in1のBナンバーでは発信ができません。また、マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信はできません。

※２：海外の特定の3G通信事業者の利用者または日本のFOMA端末の利用者と国際テレビ電話が可能です。

※３：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でｉチャネル設定を行う必要があります。月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。

※４：海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります（日本国内では、月額サービス利用料に含まれます）。

※５：ローミング対応している国では「地図を見る」を選択すると地図サイトへ接続されますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。

※６：GPS機能のサービス利用設定を設定するとき、ローミング対応している海外の国から接続すると、GPSサービス利用設定のサイトへパケット接続されますが、エラー画面が表示され、パケット料金が発生します。

※7：海外では64Kデータ通信は利用できません。

おしらせ

● 国際ローミング中は、メッセージFの受信、着もじの送受信、プッシュトークの発着信、スキャン機能のパターンデータ更新と自動更新設定、ソフトウェア更新の利用はできません。ただし、障害を引き起こす可能性のあるデータの削除やアプリケーションの起動の中止はできます。
● 滞在国のネットワークの状況などにより、通話・待受時間が通常の半分程度になることがあります。

SMSの送受信について

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信する場合の宛先の指定は次の表のとおりです。また、相手側が対応していない文字が本文中に含まれている場合は、それらの文字は正しく表示されないことがあります。詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

相手	SMSの宛先の指定
ドコモ（FOMA端末）	国内と同様に、相手の電話番号をそのまま入力します。
他の海外通信事業者	送信時は、相手の電話番号の先頭に「+」、「国番号」と相手の電話番号を加えた番号を入力します。また、「010」「国番号」「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（電話番号が「0」で始まる場合は「0」を省略して入力してください）。受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください。

ネットワークサービスの設定操作

海外でネットワークサービスを利用する際には、開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合があります。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

- FOMAネットワークでは、下記のすべてのネットワークサービスが設定可能です。

サービス名	説明
着もじ	サービスを利用できません。
留守番電話サービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
キャッチホン	
転送でんわサービス	
迷惑電話ストップサービス	
発信者番号通知サービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。また、発信者番号が正しく通知できない場合があります。
番号通知お願いサービス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
公共モード（ドライブモード）	設定はできますが、サービスは利用できません。海外では設定を解除してください。
デュアルネットワークサービス	設定できません。
英語ガイダンス	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
マルチナンバー	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。付加番号での発信はできません。付加番号に着信はできますが、どの番号に対する着信であるか判別できない場合があります。
ローミングガイダンス設定	一部サービスエリアでは設定できない場合があります。
ローミング時着信規制	
留守番電話サービス（海外）	設定、サービスを利用できます。
転送でんわサービス（海外）	
番号通知お願いサービス（海外）	
ローミングガイダンス（海外）	
遠隔操作設定（海外）	

海外でご利用になる前の確認

海外で利用する場合は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』も合わせてご覧ください。

- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外事業者の都合で請求が1ヶ月程度遅れる場合がございます。
- 海外で利用する場合、通話料金で表示される料金は、かけた場合と受けた場合の両方がカウントされます。ただし、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。

海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、利用累積額精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ペルー	00
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	ポルトガル	00
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	南アフリカ共和国	09
タイ	001	ルクセンブルク	00
台湾	00		

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

充電について

- ACアダプタの取扱上の注意について☛P18
- ACアダプタの充電方法について☛P35、P36

出発前の準備

- 海外で i モードサイトを表示するには：i Menu▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶海外利用設定▶ i モード利用設定
- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用するには、各ネットワークサービスをご契約いただき、あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。☛P379
- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。ご出発前に『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

おしらせ

- 準備や設定について、詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード< FOMA >編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

滞在先での利用

お買い上げ時の設定では、海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に識別されます。☛P394

ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。

- 現在のネットワークエリアの状態が待受画面に表示されます。
  3G／3G:3Gエリア圏内（パケット通信可／不可）
  GSM／GPRS:GSM／GPRSエリア圏内
- 利用中の通信事業者の表示は、オペレータ名表示設定で設定できます。
- 待受画面に滞在中の都市の時刻を表示させるには、デュアル時計設定を「ON」にするか時計表示設定でデザインを「世界時計」にします。

帰国後の設定について

日本に帰国したときは、FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。FOMAネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G／GSM切替を「自動」に設定し直してください。

おしらせ

● 「しゃべって翻訳 for D」を利用できます（☞P216）。また、カメラを利用して、「翻訳リーダー」の機能も利用できます。☞P358

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。

- 自分と相手がFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、テレビ電話が利用できます。接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 発信者番号通知を設定した場合でも、通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知設定」など正しい番号表示にならない可能性があります。

日本や滞在国外に電話をかける

「+」を入力して電話をかけたり、発信オプションを利用して電話をかけます。

「+」を利用して電話をかける

1 **[0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力**

- 「+」の入力：[0]（1秒以上）
- 海外から日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要です）。

2 **[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）**

発信オプションを利用して電話をかける

1 **地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[Menu][2]**

■ **テレビ電話の発信：発信方法欄▶[2]**

2 **国際電話発信欄▶[2]**

3 **国番号欄▶国番号を選び[●]**

4 **[Menu]▶はい**

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、[テレビ電話]を押し「はい」または「元の番号で発信」を選択すると、通話中に表示するキャラ電を選択してから発信できます。

電話帳を利用して電話をかける

- 電話帳に登録している電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。
- 国際ダイヤルアシスト設定の国番号変換を「ON」に、国番号設定を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 **電話帳を検索▶相手を選ぶ**

2 **[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）▶はい**

滞在国内に電話をかける

日本国内と同じ操作方法で電話をかけられます。

- 滞在国内でも相手がWORLD WINGを利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

1 **地域番号（市外局番）▶電話番号を入力**

2 **[発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）▶元の番号で発信**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話番号入力の操作などの注意事項は「日本や滞在国外に電話をかける」と同じです。☛P393

「+」を利用して電話をかける

1 **0（1秒以上）▶81▶90（または80）XXXXXXXXを入力**

2 **（音声電話）または（テレビ電話）**

発信オプションを利用して電話をかける

1 **90（または80）XXXXXXXXを入力▶Menu 2**

■ テレビ電話の発信：発信方法欄▶2

2 **国際電話発信欄▶2**

3 **国番号欄▶+81 日本**

4 **Menu▶はい**

おしらせ

- 電話帳を利用して電話をかけることもできます。

電話を受ける

日本国内と同じ操作方法で電話を受けられます。

1 **電話がかかってくる▶**

- テレビ電話の場合は を押しても受けられます。

■ 代替画像でテレビ電話を受ける：

日本から電話をかけてもらうとき

日本国内と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

1 **090（または080）XXXXXXXXをダイヤルする**

日本以外の国から電話をかけてもらうとき

発信国の「国際アクセス番号」と日本の国番号の「81」を先頭に付け、お客様の電話番号（0を省略）を入力して電話をかけてもらいます。

1 **発信国の国際アクセス番号を入力▶81▶90（または80）XXXXXXXXをダイヤルする**

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には国際転送料がかかります。

通信事業者の検索方法を設定する

ネットワークサーチ設定

利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかを設定します。

- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 2007年10月現在、日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。
- 日本に帰国後、圏外表示の場合はネットワークサーチ設定が「オート」になっていることをお確かめください。

1 **Menu▶設定／NWサービス▶911▶1～3**

オート…自動的に接続可能なネットワークに設定します。

マニュアル…接続可能なネットワーク一覧を表示します。接続先を選択してください。

- ネットワークの再検索：ネットワーク一覧でMenu

ネットワーク再検索…接続可能なネットワークを再検索します。

- 「オート」に設定していた場合、自動的にネットワークに接続します。
- 「マニュアル」に設定していた場合、接続可能なネットワークが一覧表示されます。接続先を選択してください。

優先的に接続する通信事業者を設定する

優先ネットワーク設定

ネットワークサーチ設定が「オート」のときに接続する通信事業者の登録や優先順位を設定します。

- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

通信事業者を登録する

- ドコモ指定優先ネットワークリストとして通信事業者が登録されています。既に同じネットワークの種類とオペレータコードで登録されている通信事業者は登録できません。
- 最大20件登録できます。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 9 1 1 4

2 Menu 1 ▶ 登録方法を選択
- 詳細情報を表示：通信事業者を選び ⊙

■ 手動で登録：
① 1 ▶ MCC欄 ▶ 国番号（3桁）を入力
② MNC欄 ▶ オペレータコード（2～3桁）を入力 ▶ ⊡
③ ネットワークの種類を選び ⊡
- 詳細情報を表示：ネットワークの種類を選び ⊙

■ 通信事業者のリストから登録：
① 2
② 国名を選び ⊙
All Countries…すべての通信事業者を表示します。
③ 通信事業者を選び ⊙
④ ネットワークの種類を選び ⊡
- 詳細情報を表示：ネットワークの種類を選び ⊙

■ 現在利用できる通信事業者から選択：3 ▶ 通信事業者を選び ⊡

3 優先順位の位置を選び ⊙ ▶ ⊡
選択した位置の前に追加されます。
<最後に指定>…リストの最後に追加します。

通信事業者の優先順位を変更する

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 9 1 1 4

2 通信事業者を選び Menu 2

3 優先順位の位置を選び ⊙ ▶ ⊡
選択した位置の前に追加されます。
<最後に指定>…リストの最後に追加します。

通信事業者を削除する

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 9 1 1 4

2 通信事業者を選び Menu 3 1
■ 複数削除：Menu 3 2 ▶ 通信事業者を選び ⊙ ▶ ⊡
■ 全件削除：Menu 3 3 ▶ 端末暗証番号を入力

3 はい ▶ ⊡

利用するネットワークを切り替える
3G／GSM切替

ご利用になる地域や通信事業者に対応したネットワークを設定します。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 9 1 2 ▶ 1～3

おしらせ
- 「自動」の場合、3GおよびGSM／GPRSネットワークの両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

ローミング中の通信事業者名を表示する
オペレータ名表示設定

現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかを設定します。

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 9 1 3 ▶ 1～2

おしらせ
- 「表示あり」に設定していても「DoCoMo」のネットワークを利用している場合や、圏外ではオペレータ名は表示されません。

現在のネットワークの状態を確認する
在圏状態表示

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 9 6
現在接続しているネットワークの対応状況が表示されます。
- CSでは音声電話やテレビ電話などが、PSではｉモードやｉモードメールなどが利用できます。

海外在圏時に自動的に世界時計を表示する　デュアル時計設定

- 時刻は24時間表示で表示されます。表示形式（形式、曜日以外）は時計表示設定に従います。
- 自動時刻・時差補正を「ON」にしていると、接続している通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときに、デュアル時計が表示されます。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶9 3▶1～2

おしらせ

- 時計表示設定のデザインを「世界時計」に設定しても、デュアル時計が表示されます。
- 次の場合は、デュアル時計は表示されません。
  - 待受画面に動画／iモーション、キャラ電が設定されている場合
  - iアプリ待受画面が設定されている場合

ローミングガイダンスを開始する　ローミングガイダンス設定

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すかを設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶8 5

2 **以下の操作を行う**

ローミングガイダンス開始
1▶はい
ローミングガイダンス停止
2▶はい
ローミングガイダンス設定確認
3▶はい

おしらせ

- 転送でんわサービスの設定により呼出音が異なります。
- 通信事業者によっては設定できない場合があります。
- 本設定を行わない場合、通信事業者で設定している呼出音が流れます。

ローミング中は着信を受け付けないように設定する　ローミング時着信規制

すべての着信を受けないようにするか、テレビ電話の着信を受けないようにするかを設定できます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。
- 海外では64Kデータ通信は利用できません。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶9 1 9

2 **以下の操作を行う**

ローミング時着信規制開始
① 1▶1～2 **全着信規制**…すべての着信を受けないようにします。 **テレビ電話／ 64K データ規制**…テレビ電話の着信を受けないようにします。 ② **はい**▶**ネットワーク暗証番号を入力**
ローミング時着信規制停止
2▶**はい**▶**ネットワーク暗証番号を入力**
ローミング時着信規制確認
3▶はい

ローミング中にネットワークサービスを利用する　海外用サービス

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。

- 圏外では、海外用サービスの設定操作はできません。電波状況のよい場所で行ってください。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などをご覧ください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶9 1

2 **以下の操作を行う**

留守番電話（海外）
① 4▶1～5 1：開始　2：停止　3：再生　4：設定 5：呼出時間設定 ② **はい**
転送でんわ（海外）
① 5▶1～3 1：開始　2：停止　3：設定 ② **はい**
遠隔操作設定（海外）
6▶はい
番号通知お願い（海外）
7▶はい
ローミングガイダンス（海外）
8▶はい

3 **ガイダンスに従って操作**

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- メニュー番号は、ベーシックメニューの番号で表記しています。
- メニューの表示は、メニューの表示形式（表示メニュー設定）によって異なります。
- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

□: 設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

■ メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
11 受信メール	――――	P185
12 新規メール	――――	P170
13 チャットメール	――――	P203
14 未送信メール	――――	P185
15 送信メール	――――	P185
16 iモード問合せ	――――	P180
17 WEBメール	――――	P180
18 SMS／エリアメール設定		
181 SMS		
1811 SMS作成	――――	P204
1812 FOMAカード（UIM）受信SMS	――――	P207
1813 FOMAカード（UIM）送信SMS	――――	P207
1814 SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	P206
1815 SMS問合せ	――――	P206
182 エリアメール設定		
1821 受信設定	利用しない	P201
1822 受信登録	――――	P201
1823 ブザー鳴動設定	エリアメールに従う	P201
1824 ブザー鳴動時間	10秒	P201
19 メール選択受信	――――	P179
1※ テンプレート	――――	P176
10 メール設定		
101 着信設定		
1011 メール着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディA 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P90
1012 メッセージR着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディC 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P91
1013 メッセージF着信設定	着信音選択：メロディ／メール・メロディC 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P91
1014 チャットメール着信設定	着信動作設定：設定する 着信音選択：メロディ／メール・メロディB 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／緑 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒	P90
102 メール振り分け設定	自動振り分け設定：すべてON 受信振り分け条件／送信振り分け条件：未登録	P194
103 署名設定	自動挿入：する 署名編集：未登録	P195
104 メール返信設定		
1041 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>（半角）	P196
1042 クイック返信設定	ON	P197
1043 クイック返信本文登録	OKです。 NGです。 ありがとう！ ゴメンなさい！ 後ほど連絡します。	P197
105 メールグループ	――――	P196
106 受信・表示設定		
1061 受信・自動送信表示	通知優先	P198
1062 メール選択受信設定	OFF	P196
1063 メール受信添付ファイル設定	すべて自動受信	P197
1064 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P197
1065 メール一覧表示設定	2行表示	P197
1066 メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	P199
1067 オンリービュー設定	OFF	P197
107 iモード問合せ設定	すべて問い合わせる	P196

■ iモード

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 1 iMenu	―――	P150
2 2 Bookmark	―――	P155
2 3 画面メモ	―――	P156
2 4 ラストURL	―――	P151
2 5 Internet		
2 5 1 URL入力	―――	P154
2 5 2 URL入力履歴	―――	P154
2 6 メッセージR/F		
2 6 1 メッセージR	―――	P199
2 6 2 メッセージF	―――	P199
2 6 3 iモード問合せ	―――	P180
2 6 4 iモード問合せ設定	すべて問い合わせる	P196
2 7 iチャネル		
2 7 1 iチャネル一覧	―――	P167
2 7 2 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	P167
2 7 3 iチャネル初期化	―――	P168
2 8 iモード設定		
2 8 1 ツータッチサイト	未登録	P156
2 8 2 接続待ち時間設定	60秒間	P161
2 8 3 照明設定	端末設定に従う	P162
2 8 4 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P73
2 8 5 証明書設定		
2 8 5 1 証明書管理※1	すべて有効	P163
2 8 5 2 ユーザ証明書操作	―――	P164
2 8 5 3 証明書発行接続先設定	ドコモ	P165
2 8 5 4 暗証番号入力省略設定	省略する	P163
2 8 6 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	P162
2 8 7 iモーション設定	自動再生する	P166
2 8 8 接続先設定	iモード（FOMAカード）	P161
2 9 フルブラウザ		
2 9 1 ホーム	―――	P264
2 9 2 Bookmark	―――	P264
2 9 3 Internet		P264
2 9 3 1 URL入力	―――	P264
2 9 3 2 URL入力履歴	―――	P264
2 9 4 ラストURL	―――	P264
2 9 5 フルブラウザ設定		
2 9 5 1 ホーム設定	http://www.google.co.jp	P269
2 9 5 2 Cookie設定／削除	Cookie：有効（確認なし） 確認：送受信時確認	P269
2 9 5 3 Script設定	Script実行：有効（通信時確認） ウィンドウオープンガード：無効	P269
2 9 5 4 表示モード設定	ケータイモード	P269
2 9 5 5 画像表示設定	すべて表示する	P270
2 9 5 6 アクセス設定	利用しない	P270
2 9 5 7 Referer設定	送信する	P270
2 9 5 8 画面表示設定	標準画面表示	P270

■ iアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
3 1 ソフト一覧	―――	P211
3 2 iアプリ設定		
3 2 1 ソフトの並べ替え	使用日時順	P223
3 2 2 自動起動設定	自動起動する	P220
3 2 3 ソフト情報表示設定	表示しない	P211
3 2 4 照明設定	端末設定に従う	P213
3 2 5 バイブレータ設定	使用する	P213
3 2 6 ツータッチiアプリ表示	未登録	P219
3 3 履歴表示	―――	P212 P220 P221

■ 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
4 1 電話帳検索	全件表示（50音）	P80
4 2 電話帳登録	―――	P77
4 3 FOMAカード（UIM）登録	―――	P78
4 4 プッシュトーク電話帳	―――	P70
4 5 着信履歴	―――	P46
4 6 リダイヤル	―――	P46
4 7 伝言メモ／音声メモ		
4 7 1 伝言メモ設定	OFF	P59
4 7 2 伝言メモ一覧	―――	P60
4 7 3 音声メモ録音	―――	P353
4 7 4 音声メモ一覧	―――	P353
4 8 メール送受信履歴		
4 8 1 メール送信履歴	―――	P192
4 8 2 メール受信履歴	―――	P192
4 9 自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P40 P351

※1：各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

■ データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
51 マイピクチャ	――――	P272
52 ミュージック	――――	P325
53 Music&Video チャネル	――――	P316
54 ｉモーション	――――	P277
55 メロディ	――――	P287
56 マイドキュメント	――――	P311
57 きせかえツール	シャインブラック：アーバンスペース ナチュラルホワイト：ブライトルーム ピンクゴールド：ピンクアイス オレンジイエロー：カラーパターン	P104
58 マチキャラ	――――	P286
59 キャラ電	――――	P285
5※ ワンセグ	――――	P272 P283
50 その他	――――	P313

■ LifeKit

メニュー	お買い上げ時	参照先
61 バーコードリーダー	――――	P146
62 赤外線・iC・PC連携		
621 赤外線受信	――――	P307
622 赤外線全件送信	――――	P307
623 iC全件送信	――――	P310
624 受信済みデータ保存	――――	P308
625 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P309
626 USBモード設定※2	通信モード	P298
63 microSD	――――	P294
64 カメラ		
641 静止画撮影	――――	P135
642 動画撮影	――――	P138
65 サウンドレコーダー	――――	P139
66 電話帳お預かりサービス		
661 お預かりセンターに接続	――――	P87
662 電話帳通信履歴表示	――――	P88
663 送信設定	なし	P88
67 GPS		
671 現在地確認	――――	P236
672 対応ｉアプリ	――――	P237
673 位置履歴	――――	P245
674 現在地確認設定		
6741 現在地確認後動作設定	地図を見る	P237
6742 測位モード設定	標準モード	P246
6743 測位動作設定	鳴動音選択、バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／青-緑	P91
675 現在地通知		
6751 現在地通知	――――	P244
6752 現在地通知設定		
67521 現在地通知先一覧	――――	P244
67522 測位モード設定	標準モード	P246
67523 測位動作設定	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンB 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／赤-青	P91
676 位置提供設定		
6761 位置提供可否設定	位置提供OFF	P242
6762 測位モード設定	標準モード	P246
6763 サービス利用設定	――――	P244
6764 サービス利用／接続設定	ドコモ	P243
6765 測位動作設定		
67651 位置提供／許可	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／緑-赤	P91
67652 位置提供／毎回確認	鳴動音選択：メロディ／パターン5 バイブレータ設定：パターンC 鳴動時間：10秒 イルミネーション設定：点灯／緑-赤	

■ ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
71 スケジュール帳	――――	P343
72 テキストメモ	――――	P356
73 目覚まし	未設定	P341
74 電卓	――――	P355
75 辞典	――――	P357
76 翻訳リーダー	――――	P358
77 名刺リーダー	――――	P360

※2：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の状態には戻りません。

■ 設定／NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
81 音／バイブ		
811 音の設定		
8111 電話着信音		
81111 電話着信音	メロディ／SKY	P92
81112 テレビ電話着信音	メロディ／電話・メロディ A	
81113 プッシュトーク着信音	メロディ／電話・メロディ B	
81114 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P92
8112 メール・メッセージ着信音		
81121 メール着信音	メール：メロディ／メール・メロディ A 鳴動時間：10秒	P92
81122 チャットメール着信音	チャットメール：メロディ／メール・メロディB 鳴動時間：10秒	
81123 メッセージR着信音	メッセージ R：メロディ／メール・メロディ C 鳴動時間：10秒	
81124 メッセージF着信音	メッセージ F：メロディ／メール・メロディ C 鳴動時間：10秒	
8113 GPS測位鳴動音		
81131 現在地確認	OFF	P94
81132 現在地通知	メロディ／パターン5	
81133 位置提供／許可	メロディ／パターン5	
81134 位置提供／毎回確認	メロディ／パターン5	
8114 アラーム音		
81141 目覚まし音	メロディ／アラーム・メロディ	P93
81142 スケジュール音	アラーム：メロディ／アラーム・女性ボイス 予告アラーム：メロディ／パターン4	
81143 ワンセグ予約アラーム音	メロディ／アラーム・女性ボイス	
8115 操作確認音		
81151 キー確認音	キー確認音1	P93
81152 スピードセレクター音	スピードセレクター音1	
81153 静止画撮影シャッター音	シャッター音1	P94
81154 動画撮影シャッター音	シャッター音1	
81155 スライド音	スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音1 スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音1	P94
8116 充電確認音	ON	P96

メニュー	お買い上げ時	参照先
8117 通話保留・警告音		
81171 応答保留ガイダンス設定	内蔵音	P56
81172 通話保留音	保留音・ボイス	P56
81173 通話品質アラーム音	アラーム高音	P96
81174 再接続アラーム音	アラーム高音	P52
81175 電池アラーム音	ON	P37
8118 メロディコール設定	――――	P95
812 音量設定		
8121 電話着信音量	Level4	P94
8122 メール・メッセージ着信音量	Level4	
8123 GPS測位鳴動音量	Level4	
8124 受話音量	Level4	
8125 アラーム音量		
81251 目覚まし音量	Level4	P94
81252 スケジュール音量	Level4	
81253 ワンセグ予約アラーム音量	Level4	
8126 ｉアプリ音量	Level4	
8127 トルカ取得音量	Level4	
8128 メロディ音量	Level4	
813 バイブレータ設定		
8131 電話着信時		
81311 電話着信時	OFF	P95
81312 テレビ電話着信時	OFF	
81313 プッシュトーク着信時	OFF	
8132 メール・メッセージ着信時		
81321 メール着信時	OFF	P95
81322 チャットメール着信時	OFF	
81323 メッセージR着信時	OFF	
81324 メッセージF着信時	OFF	
8133 GPS測位時		
81331 現在地確認時	OFF	P95
81332 現在地通知時	パターンB	
81333 位置提供／許可時	パターンC	
81334 位置提供／毎回確認時	パターンC	

メニュー	お買い上げ時	参照先
8134 アラーム鳴動時		
81341 目覚まし鳴動時	OFF	P95
81342 スケジュール鳴動時	OFF	
81343 ワンセグ予約アラーム鳴動時	OFF	
8135 iアプリ利用時	ON	P95
814 マナーモード選択	通常マナーモード	P96
815 呼出動作開始時間設定	OFF	P126
816 ステレオ効果設定		
8161 動画（iモーション）	OFF	P95
8162 メロディ	ON	
8163 ミュージックプレーヤー	OFF	
817 FMトランスミッター設定	周波数：83.4MHz ステレオ／モノラル切替：ステレオ	P330
818 音楽再生音優先設定	ON	P214
82 ディスプレイ		
821 待受画面設定		
8211 待受画面選択	きせかえツールに従う	P97
8212 時計表示設定	設定しているきせかえツールに従います。	P109
8213 電池アイコン設定	きせかえツールに従う	P104
8214 アンテナアイコン設定	きせかえツールに従う	P104
8215 カレンダー／待受カスタマイズ	パターン4 （エリア1設定、エリア2設定は未登録 エリア3設定：キーガイダンス）	P99
8216 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	P167
822 メニュー設定		
8221 表示メニュー設定	きせかえメニュー	P103
8222 セレクトメニュー登録	目覚まし、辞典、電卓、テキストメモ、赤外線受信、翻訳リーダー、Music&Video チャネル、現在地確認、2in1モード切替	P348
8223 リセット		
82231 メニュー操作履歴リセット	――――	P104
82232 メニュー設定オールリセット	――――	P103

メニュー	お買い上げ時	参照先
823 各種画面設定		
8231 カラーテーマ設定	設定しているきせかえツールに従います。	P102
8232 電話発着信画像設定		
82321 電話発信設定	きせかえツールに従う	P101
82322 電話着信設定	きせかえツールに従う	P101
82323 テレビ電話発信設定	きせかえツールに従う	P101
82324 テレビ電話着信設定	きせかえツールに従う	P101
82325 人物画像表示設定	ON	P101
82326 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P125
8233 メール送受信画像設定		
82331 メール送信画像設定	きせかえツールに従う	P101
82332 メール受信画像設定	きせかえツールに従う	P101
82333 メール着信結果画像設定	きせかえツールに従う	P101
82334 問合せ画像設定	きせかえツールに従う	P101
8234 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P64
824 照明設定		
8241 点灯時間設定	通常時：10秒 ACアダプタ接続時、iモード中：端末設定に従う 静止画撮影中、動画撮影中、iモーション：常灯 iアプリ： 端末設定に従う	P102
8242 キー照明設定	AUTO	P102
8243 ディスプレイ照明設定	AUTO（標準）	P102
825 イルミネーション設定		
8251 着信	テレビ電話着信、音声着信：点滅／青 メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信：ゆっくり点滅／緑 プッシュトーク着信：点滅／赤 トルカ取得：ON／青	P108
8252 通話中	OFF	P108
8253 GPS測位	現在地確認：点灯／青-緑 現在地通知：点灯／赤-青 位置提供／許可、位置提供／毎回確認：点灯／緑-赤	P108
8254 ICカードアクセス	ON／青	P108

メニュー	お買い上げ時	参照先
8255 スピードセレクター／その他	スピードセレクター：ON／青-緑-赤 ミックス 目覚まし、スケジュール、ワンセグ予約アラーム：点滅／青-緑-赤 メロディ再生：メロディ連動 スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／青-緑	P108
826 不在着信お知らせ	ON	P108
827 文字表示設定		
8271 文字サイズ設定	すべて中（標準）	P109
8272 フォント選択	漢字／英数字：ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	P108
8273 バイリンガル	Japanese	P110
828 マチキャラ設定	表示設定、おしゃべりモード設定：ON マチキャラ選択：シャチ	P107
83 きせかえ／ライフスタイル		
831 きせかえツール	シャインブラック：アーバンスペース ナチュラルホワイト：ブライトルーム ピンクゴールド：ピンクアイス オレンジイエロー：カラーパターン	P104
832 トータルカスタマイズ	未設定	P106
833 ライフスタイル設定	未設定	P106
84 セキュリティ／ロック		
841 ロック		
8411 オールロック	未設定	P115
8412 パーソナルデータロック	OFF	P117
8413 ICカードロック		
84131 ICカードロック	OFF	P232
84132 ICカードオートロック設定	OFF	P234
84133 電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	P234
84134 ICカードロック設定	暗証番号	P233
8414 ダイヤル発信制限	OFF	P118
8415 プロテクトキーロック		
84151 プロテクトキー動作設定	スライドオープン時は解除	P124
84152 タイマープロテクトキーロック設定	OFF	P124
84153 プロテクトキーロック認証設定	OFF	P124

メニュー	お買い上げ時	参照先
842 プライバシーモード		
8421 プライバシーモード設定	電話帳・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴、マイピクチャ、iモーション：表示する スケジュール：指定スケジュール非表示 テキストメモ、iアプリ、位置履歴（GPS）、画面メモ：表示する プライバシー新着通知、自動起動：OFF	P119
8422 シークレット反映	――――	P121
843 着信／受信時動作設定	電話着信時動作、メール受信時動作：プライバシーモードに従う	P122
844 FOMAカード（UIM）	PIN1コード、PIN2コード：0000 PIN1コードON／OFF：OFF	P113
845 暗証番号変更	0000	P113
846 スキャン機能		
8461 パターンデータ更新	――――	P437
8462 自動更新設定	――――	P437
8463 スキャン機能設定	すべて有効	P436
8464 バージョン表示	――――	P438
85 発着信・通話機能		
851 電話発着信設定		
8511 電話発信設定	きせかえツールに従う	P101
8512 電話着信設定	着信音：メロディ／SKY イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／青	P90
852 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P125
853 エニーキーアンサー設定	ON	P54
854 イヤホン機能設定		
8541 イヤホン切替設定	イヤホン＋スピーカー	P362
8542 オート着信設定	オート着信なし	P362
8543 イヤホンスイッチ発信設定	OFF	P361
8544 イヤホンマイク設定	イヤホンマイク	P362
855 メモリ着信拒否／許可		
8551 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P125
8552 メモリ登録外着信拒否	OFF	P127

メニュー	お買い上げ時	参照先
856 発着信詳細設定		
8561 マルチアクセス中表示	設定なし	P55
8562 プレフィックス設定	009130010	P51
8563 サブアドレス設定	ON	P51
8564 着信中オープン応答	OFF	P54
857 通話詳細設定		
8571 ノイズキャンセラ設定	ON	P52
8572 通話中クローズ設定	通話継続	P54
858 セルフモード設定	OFF	P117
86 テレビ電話／プッシュトーク		
861 テレビ電話		
8611 テレビ電話発信設定	きせかえツールに従う	P101
8612 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／電話・メロディ A イメージ表示：きせかえツールに従う バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／青	P90
8613 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON	P64
8614 パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	P65
8615 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P64
8616 テレビ電話使用機器設定	本体	P66
8617 テレビ電話切替機能通知		
86171 切替機能通知開始	―――	P65
86172 切替機能通知停止	―――	P65
86173 切替機能通知設定確認	―――	P65
862 プッシュトーク		
8621 プッシュトーク着信設定	着信音： メロディ／電話・メロディ B バイブレータ：OFF 着信イルミネーション：点滅／赤	P90

メニュー	お買い上げ時	参照先
8622 プッシュトーク呼出時間設定	30秒	P73
8623 プッシュトーク自動応答設定	自動応答なし	P73
8624 プッシュトーク中着信設定	通常着信	P73
8625 プッシュトーク中クローズ設定	継続	P74
8626 ｉモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P73
8627 プッシュトークスピーカーホン設定	ON	P74
87 時計／文字入力／その他		
871 時計		
8711 日付時刻設定※3	自動時刻・時差補正：ON オフセット時間：+、00時間00分	P39
8712 自動電源ON設定	OFF	P340
8713 自動電源OFF設定	OFF	P340
8714 時計表示設定	設定しているきせかえツールに従います。	P109
8715 アラーム自動電源ON設定	OFF	P342
8716 ライフスタイル設定	未設定	P106
872 文字入力設定		
8721 単語登録	―――	P371
8722 ダウンロード辞書	―――	P372
8723 変換学習リセット	―――	P369
8724 定型文	―――	P370
8725 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P367
873 文字サイズ設定	すべて中（標準）	P109
874 ソフトウェア更新	―――	P432
875 クイック起動設定	ON	P362
876 スライド編集設定	すべてON	P339
877 スピードセレクター設定	スピードセレクター：ON 移動方向：時計回り 待受起動機能：セレクトメニュー	P26
878 モーションコントロール設定	ｉモーション：横再生 フルブラウザ、PDF対応ビューア、ドキュメントビューア、ワンセグ、インテリア時計、マチキャラ：ON 新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力：OFF	P337

※3：各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイムを含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。

メニュー	お買い上げ時	参照先
[8][7][9] 情報表示／リセット		
[8][7][9][1] 通話時間	―――――	P354
[8][7][9][2] 通話料金		
[8][7][9][2][1] 通話料金表示	―――――	P354
[8][7][9][2][2] 通話料金上限通知	OFF	P355
[8][7][9][2][3] 上限通知アイコン消去	―――――	P355
[8][7][9][2][4] 通話料金自動リセット設定	OFF	P355
[8][7][9][3] メモリ確認	―――――	P305
[8][7][9][4] 設定状況確認	―――――	P362
[8][7][9][5] 電池レベル表示	―――――	P37
[8][7][9][6] 在圏状態表示	―――――	P395
[8][7][9][7] 各種設定リセット	―――――	P363
[8][7][9][8] データ一括削除	―――――	P363
[8][7][9][9] 初期設定	日付時刻設定：ON（自動時刻・時差補正） 暗証番号設定：0000 位置提供可否設定：位置提供OFF 文字サイズ設定：中（標準） キー確認音設定：キー確認音1 スピードセレクター音設定：スピードセレクター音1 スライド音設定：メロディ／スライド・オープン音 1（スライドオープン）、メロディ／スライド・クローズ音 1（スライドクローズ） モーションコントロール設定：横再生（ｉモーション）、ON（フルブラウザ、PDF 対応ビューア、ドキュメントビューア、ワンセグ、インテリア時計、マチキャラ）、OFF（新着メールダイレクト表示、ミュージックスキップ、顔文字・絵文字・記号入力）	P38
[8][8] NWサービス		
[8][8][1] 留守番電話		
[8][8][1][1] 留守番サービス		
[8][8][1][1][1] 留守番サービス開始	―――――	P374
[8][8][1][1][2] 留守番呼出時間設定	―――――	
[8][8][1][1][3] 留守番サービス停止	―――――	
[8][8][1][1][4] 留守番設定確認	―――――	
[8][8][1][1][5] 留守番メッセージ再生	―――――	
[8][8][1][1][6] 留守番サービス設定	―――――	P374
[8][8][1][1][7] メッセージ問合せ	―――――	
[8][8][1][2] 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：メール・メロディ B	
[8][8][1][3] 着信通知		
[8][8][1][3][1] 着信通知開始	―――――	
[8][8][1][3][2] 着信通知停止	―――――	
[8][8][1][3][3] 着信通知開始設定確認	―――――	
[8][8][1][4] 表示消去	―――――	
[8][8][2] キャッチホン／転送でんわ		
[8][8][2][1] キャッチホン		
[8][8][2][1][1] キャッチホン開始	―――――	P375
[8][8][2][1][2] キャッチホン停止	―――――	
[8][8][2][1][3] キャッチホン設定確認	―――――	
[8][8][2][2] 転送でんわ		
[8][8][2][2][1] 転送サービス開始	―――――	P376
[8][8][2][2][2] 転送サービス停止	―――――	
[8][8][2][2][3] 転送先変更	―――――	
[8][8][2][2][4] 転送先通話中時設定	―――――	
[8][8][2][2][5] 転送サービス設定確認	―――――	
[8][8][3] 着もじ		
[8][8][3][1] メッセージ作成	―――――	P48
[8][8][3][2] メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	P48
[8][8][4] 番号通知		
[8][8][4][1] 発信者番号通知		
[8][8][4][1][1] 発信者番号通知設定	―――――	P40
[8][8][4][1][2] 発信者番号通知確認	―――――	P40
[8][8][4][2] 番号通知お願いサービス		
[8][8][4][2][1] 番号通知開始	―――――	P377
[8][8][4][2][2] 番号通知停止	―――――	
[8][8][4][2][3] 番号通知設定確認	―――――	
[8][8][5] ローミングガイダンス設定		
[8][8][5][1] ローミングガイダンス開始	―――――	P396
[8][8][5][2] ローミングガイダンス停止	―――――	
[8][8][5][3] ローミングガイダンス設定確認	―――――	

メニュー	お買い上げ時	参照先
886 OFFICEED		
8861 エリア表示設定	OFF	P384
8862 圏外転送開始	―――	P384
8863 圏外転送停止	―――	P384
8864 圏外転送設定確認	―――	P384
887 2in1設定		
8871 2in1モード切替	デュアルモード	P380
8872 電話帳2in1設定	―――	P380
8873 モード別待受画面設定	デュアルモード待受画面：Eyesight test Bモード待受画面：Saxophone	P380
8874 発着信番号設定		
88741 Bナンバー着信設定	電話着信音設定：メロディ／パターン1 テレビ電話着信音設定：メロディ／電話・メロディC	P380
88742 Bナンバー識別表示	ON	P380
8875 2in1機能OFF	―――	P380
8876 着信回避設定		
88761 着信回避設定変更	Aナンバー着信回避：変更しない Bナンバー着信回避：変更しない	P380
88762 着信回避設定確認	―――	P380
88763 モード切替連動設定	―――	P380
88764 着信回避設定（海外）	―――	P380
888 メロディコール設定	―――	P95
889 その他のNWサービス		
8891 追加サービス		
88911 USSD登録	―――	P384
88912 応答メッセージ登録	―――	P384
8892 遠隔操作設定		
88921 遠隔操作開始	―――	P379
88922 遠隔操作停止	―――	P379
88923 遠隔操作設定確認	―――	P379
8893 迷惑電話ストップ		
88931 迷惑電話着信拒否登録	―――	P376
88932 電話番号指定拒否登録	―――	P376
88933 迷惑電話全登録削除	―――	P376
88934 迷惑電話1登録削除	―――	P376
88935 拒否登録件数確認	―――	P376

メニュー	お買い上げ時	参照先
8894 英語ガイダンス		
88941 ガイダンス設定	―――	P377
88942 ガイダンス設定確認	―――	P377
8895 デュアルネットワーク		
88951 デュアルネットワーク切替	―――	P377
88952 デュアルネットワーク状態確認	―――	P377
8896 サービスダイヤル		
88961 ドコモ故障問合せ	―――	P378
88962 ドコモ総合案内・受付	―――	P378
8897 マルチナンバー		
88971 通常発信番号設定	―――	P379
88972 通常発信番号設定確認	―――	P379
88973 電話番号設定	基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号1： 付加番号1／未登録 付加番号2： 付加番号2／未登録 マルチナンバー発信：無効	P379
88974 着信設定	OFF	P379
8898 通話中着信設定		
88981 通話中着信設定開始	―――	P378
88982 通話中着信設定停止	―――	P378
88983 通話中着信設定確認	―――	P378
8899 通話中の着信動作選択	通常着信	P378
89 国際ローミング／ダイヤルアシスト		
891 国際ローミング設定		
8911 ネットワークサーチ設定	オート	P394
8912 3G／GSM切替	自動	P395
8913 オペレータ名表示設定	表示あり	P395
8914 留守番電話（海外）		
89141 留守番サービス開始	―――	P396
89142 留守番サービス停止	―――	P396
89143 留守番メッセージ再生	―――	P396
89144 留守番サービス設定	―――	P396
89145 留守番呼出時間設定	―――	P396

メニュー	お買い上げ時	参照先
8915 転送でんわ（海外）		
89151 転送サービス開始	――――	P396
89152 転送サービス停止	――――	P396
89153 転送サービス設定	――――	P396
8916 遠隔操作設定（海外）	――――	P396
8917 番号通知お願い（海外）	――――	P396
8918 ローミングガイダンス（海外）	――――	P396
8919 ローミング時着信規制		
89191 ローミング時着信規制開始	――――	P396
89192 ローミング時着信規制停止	――――	P396
89193 ローミング時着信規制確認	――――	P396
892 国際ダイヤルアシスト設定		
8921 自動変換機能設定	国番号変換：ON／+81 日本 国際プレフィックス変換：ON／World Call 009130010	P50
8922 国番号設定	国名称：日本 国番号：81	P50
8923 国際プレフィックス設定	名称：World Call 国際アクセス番号：009130010	P51
893 デュアル時計設定	ON	P396

■ MUSIC

メニュー	お買い上げ時	参照先
91 ミュージックプレーヤー	――――	P325
92 Music&Videoチャネル	――――	P316

■ おサイフケータイ

メニュー	お買い上げ時	参照先
＊1 ICカード一覧	――――	P227
＊2 DCMX	――――	P218
＊3 トルカ	――――	P229
＊4 ICカードロック設定		
＊41 ICカードロック	OFF	P232
＊42 ICカードオートロック設定	OFF	P234
＊43 電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	P234
＊44 ICカードロック設定	暗証番号	P233
＊5 設定		
＊51 トルカ取得確認設定	イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：青 トルカ取得音量：レベル4	P91
＊52 トルカ取得設定	トルカ取得設定、重複チェック設定、自動表示設定：ON 自動振り分け設定：OFF	P231
＊53 自動読取機能設定	ON	P232
＊54 トルカ振り分け設定	――――	P231
＊6 iモードで探す		

■ 自局番号

メニュー	お買い上げ時	参照先
0 自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P40 P351

■ ワンセグ

メニュー	お買い上げ時	参照先
#1 ワンセグ視聴	――――	P251
#2 番組表	――――	P254
#3 予約リスト	――――	P255
#4 録画履歴	――――	P257
#5 テレビリンク	――――	P258
#6 チャンネル設定	――――	P250
#7 ワンセグ設定		
#71 ワンセグ照明設定	AUTO（ノーマル）	P261
#72 画像表示設定	ON	P262
#73 効果音設定	ON	P262
#74 放送用保存領域消去	――――	P262
#75 横表示メールテロップ設定	表示しない	P261
#76 録画設定		
#761 録画モード設定	ハイライト設定：OFF オートカット設定：OFF	P259
#762 TVキー設定	静止画録画	P261
#77 確認表示設定リセット	――――	P262
#78 ワンセグ設定状況確認	――――	P262
#79 ワンセグ設定リセット	――――	P262

シンプルメニューのメニュー一覧

- 1 でんわ
  - 1 電話帳検索
  - 2 電話帳登録
  - 3 リダイヤル
  - 4 着信履歴
  - 5 伝言メモ一覧
  - 6 メール送受信履歴
  - 7 自局番号
- 2 メール
  - 1 受信メール
  - 2 送信メール
  - 3 未送信メール
  - 4 新規メール
  - 5 ｉモード問合せ
- 3 ワンセグ／カメラ
  - 1 ワンセグ視聴
  - 2 カメラ
  - 3 マイピクチャ
  - 4 待受画面設定
- 4 ｉモード
  - 1 ｉメニュー
  - 2 ブックマーク
  - 3 ラストURL
  - 4 画面メモ
  - 5 ｉチャネル一覧
  - 6 テロップ表示設定
- 5 ｉアプリ
  - 1 ソフト一覧
  - 2 待受画面設定
  - 3 ｉアプリ設定
- 6 データBOX
  - 1 マイピクチャ
  - 2 ｉモーション
  - 3 メロディ
  - 4 マイドキュメント
  - 5 その他
  - 6 キャラ電
  - 7 ワンセグ
- 7 設定／ステーショナリー
  - 1 音／バイブ
  - 2 ディスプレイ
  - 3 目覚まし
  - 4 電卓
  - 5 伝言メモ設定
  - 6 情報表示／リセット
  - 7 留守番電話
- 0 自局番号

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角／半角）※1	英字モード（全角／半角）※1	数字モード（全角／半角）※2
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ￣※3 － : _ [￥] ˆ ｀ { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	ワ※4 ヲ ン ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ; < = > ? □ 0	0 +※5
＊	゛ ゜	゛ ゜	半角の場合のみ次の文字列が入力可 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※5
#※6	改行	改行	改行	# T※5

□：空白を示します。　（網掛け）：文字入力後に（大/小キー）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。

※2：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3：半角の英字モードは「˜」で入力されます。

※4：全角文字の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※5：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

※6：入力欄によっては改行できない場合があります。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（2タッチ入力方式）

■ ひらがな／漢字モード（全角のみ）

キー		2 桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	－	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&	、※1	☎	。※2
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#		♥	※3
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛※1	゜※2	6	7	8	9	0

■ カタカナモード（全角／半角）

キー		2 桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	－	／
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	、※1	☎※4	。※2
	8	ヤ	（	ユ	）	ヨ	＊	#		♥※4	※3
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	0	ワ※5	ヲ	ン	゛※1	゜※2	6	7	8	9	0

■ 英字モード（全角／半角）

キー		2 桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	”	$	%	‘	＋	A	B	C	D	E
	2	,	.	:	;	＜	F	G	H	I	J
	3	＝	＞	@	[	]	K	L	M	N	O
	4	^	_	`	{	!	P	Q	R	S	T
	5	}	～				U	V	W	X	Y
	6						Z	?	!	－	／
	7						¥	&	、	☎※4	。
	8		（		）		＊	#		♥※4	※3
	9						1	2	3	4	5
	0						6	7	8	9	0

□：空白を示します。　　：文字入力後に⇄を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※ 1：文字入力後に ⇄ を押すたびに「、(,)」と「゛（゛)」が切り替わります。
※ 2：文字入力後に ⇄ を押すたびに「。(.)」と「゜（゜)」が切り替わります。
※ 3：大文字モードと小文字モードが切り替わります。
※ 4：半角の場合は空白を表示します。
※ 5：全角文字の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

定型文一覧

■ 一般（20件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○の写真です。

■ 遊び（20件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

■ ビジネス（20件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急TEL下さい。
予定変更！ TEL下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

■ 応答（20件）

Thank you!	Good!
OKです。	NGです。
いいよ。	行きます。
了解。	ダメ！
ごめんネ･･･	スミマセン、無理です。
本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。
お疲れさま。	反対。
賛成。	待ってました！
それは残念。	写真届きました。

■ その他（20件）

またねー！	今どこ？
お誕生日おめでとう。	おめでとう。
まじでー！？	まかせなさい！！
キャンセル。	いってきます。
頑張って！	ありがとう！
www.	.ne.jp
.co.jp	.or.jp
.ac.jp	.net
.com	.org
.html	http://

■ 絵文字ことば（20件）

😃✋	😃⤴	😃✌	😃♪
😢⤵	😢💦	😣=3	👊😣
😵💕	😵🌀	😵zzz	💋〰❤
❤🚻❤	👟👟=3=3=3	👂✋	👓〰📷✨
🏁✨	☃	🎤😃♪	⚽ʊʊ👟=3

■ ユーザ作成（最大50件）

- 登録した定型文が表示されます。

顔文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。 　　 の顔文字は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。

■ 挨拶・返事

顔文字	読み
(^-^)/~~	ばい　あいさつ
(^ ^)ﾉｼ	ばいばい　あいさつ
(^_^)/~	ばいばい　あいさつ
ヾ(^_^) byebye!!	ばいばい　あいさつ
(^^)/	おーい　じゃあ　どーも　よろしく　あいさつ
(^-^)/	おーい　じゃあ　どーも　よろしく　あいさつ
(^^)/~~~	ばいばい　あいさつ
(^_^)/	おーい　あいさつ
(〃⌒ー⌒〃)ゞ	にこっ　あいさつ
～('-'*)	やぁ　あいさつ
(*^-^)ﾉ	ちわっ　あいさつ
ヾ(´ω`＝´ω`)ﾉ	おはよう　あいさつ
(o^-')b	ぐっ　ぐー　へんじ
(≧ω≦)b	ぐっ　ぐー　へんじ
(・∀・∩)	はい　へんじ
('-^*)ok	おっけー　へんじ
(`_´)ゞ了解！	りょうかい　へんじ
(｡･_･｡)ﾉ	やあ　あいさつ
(=°　ω°　)ﾉ	やあ　あいさつ

■ 笑う・うれしい

顔文字	読み
(^-^)	にこっ　わらう
(^-^)v	にこっ　うれしい
(^o^)	うほほ　にこっ　わーい　うれしい
o(^o^)o	うきうき　うれしい
(o^_^o)	にこっ　うれしい
(*^_^*)	にこっ　うれしい
(･∀･)	きたー　にこっ　わらう
ヾ(^▽^)ﾉ	わーい　うれしい
ヽ(´ー`)ノ	わーい　うれしい
(*⌒▽⌒*)	にこっ　うれしい
(☆▽☆　)	きらーん　うれしい
(^^)v	やったね　ぴーす　にこっ ぶい　うれしい
(=⌒ー⌒=)	にこっ　うれしい
(　´∀`)	にこっ　うれしい
(≧∀≦)	うれしい
:)	にこっ　すまいる　わらう
V(^0^)	ぴーす　うれしい
(^ 3 ^)/ﾁｭｯ	ちゅっ　にこっ　わらう

顔文字	読み
((o(^-^)o))	わくわく　うれしい
(^^)	にこっ　わらう
v(^o^)	いえい　ぶい　ぴーす　うれしい
(^_^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　うれしい
(^・^)	にこっ　わらう
(^0^)	わーい　わらう
(^0^)/	おーい　はーい　わらう
(^0^)v	やったね　ぴーす　にこっ　ぶい　わらう
)^o^(	ほっぺがおちる　わらう
＼(^o^)／	わーい　わらう
:-)	にこっ　すまいる　わらう
ヽ(≧▽≦)/	きゃー　うれしい
d=(^o^)=b	ぐー　うれしい
ε=ヾ(*~▽~)ノ	きゃー　うれしい
(@^0^@)	うれしい
(　´艸`)	むふふ　うれしい

■ 照れる・怒る

顔文字	読み
(^^ゞ	ぽりぽり　てれる
f(^_^)	てへ　てれる
(#^.^#)	にこっ　ぽっ　てれる
(*^.^*)	えへっ　てれる
(〃▽〃)	てれ　てれる
(*'-')	てへっ　てれる
(=°　ω°　=)	てへっ　てれる
(*´д`*)	こまる　てれ　てれる
:p	てへっ　てれる
('∇')	うふふ　てれる
ヽ(*`Д´)ノ	こら　ごるあ　ごるぁ　おこる
o-_-)=○☆	ぱんち　おこる
(ノ-”-)ノ~┻━┻	ちゃぶだい　おこる
(-_-#)	こらっ　おこる
:-(	ふまん　おこる
Ψ(`◇´)Ψ	こら　おこる
(ノ`△´)ノ	こらっ　おこる
(●`ε´●)	ぷんぷん　むかっ　おこる

■ 泣く・悲しい

顔文字	読み
(>_<)	あいた　いたい　いてー　ひぇー　なく
(T^T)	うるうる　なく
(T_T)	しくしく　なく
(/_;)	しくしく　なく
(+_+)	びくっ　かなしい
(x_x;)	がっくり　かなしい
(/_・、)	くすん　なく
(つд｀)	ぐすん　なく
○|￣|＿	がっくし　かなしい
(´・ω・｀)	しょぼん　かなしい
(;0;)	しくしく　なく
(>_<。)	なく
(;_;)	しくしく　なく
(T-T)	なき　うるうる　なく
(TOT)	なき　うるうる　なく
(ノ_・。)	いたい　なく
:<	なく　かなしい
(；´д⊂)	なき　ぐすん　なく
° ・(ノД`)・° ・	えーん　なく

■ 驚き

顔文字	読み
(*_*)	びくっ　おどろき
(・・?	めがてん　おどろき
(・・;)	めがてん　おどろき
(°-°)	うーん　おどろき
(@_@)	びくっ　おどろき
(--;)	ぎくっ　おどろき
(-_☆)	きらーん　おどろき
(￣□￣;)!!	がーん　おどろき
(° o°　;)	ぽかーん　おどろき
Σ(￣□￣)!	びっくり　がーん　ぎく　おどろき
(￣◇￣;)	えっ　おどろき
ヽ(° □°　;)ノ	えっ　おどろき
(;° □°)	えっ　おどろき
((((° д°　;))))	がくがく　おどろき
(=_=;)	ぎくっ　てつや　おどろき
(・.・;)	めがてん　おどろき
(°o°)	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(°o°;	ぎくっ　ぎょ　おどろき
(@_@。	びくっ　ぎょっ　おどろき
(°Д°)	ぽかーん　おどろき
(°_°)	うーん　おどろき
(・。・;	めがてん　おどろき
(・_・)	めがてん　おどろき
(・_・;	めがてん　おどろき
(・o・)	めがてん　おどろき
(°o°)/	おおー　びっくり　おどろき
(°o°;;	ぎくっ　おどろき
Σ(°□°;)	がーん　おどろき

■ 疑問・焦り

顔文字	読み
(^^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?)	なぜ　ぎもん
(-_-;)	ぎくっ　あせ　あせり
w=(°o°)=w	ばたばた　ぎもん
σ(^_^;)?	えっ　ぎもん
(;￢_￢)ｼﾞｰ	じー　ぎもん
0(><;)(;><)0	あたふた　あせり
(° Д°　;≡;° Д°)	あたふた　あせり
^^;	ぎくっ　あせり
(^^;;	ぎくっ　あせ　あせり
(^_^;)	ぎくっ　あせ　あせり
(^-^;	ぎくっ　あせ　あせり
(~_~;)	ぎくっ　あせ　あせり
(¥_¥;	ぎくっ　あせ　ぎもん
(*_*;	びくっ　あせり
^_^;	ぎくっ　あせ　あせり
(?_?;	ぎくっ　なぜ　ぎもん
ε=┌(・_・)┘	にげる　あせり
(° ∇°　;)	ぎくっ　あせ　えっ　あせり
((○(>_<)○))	じたばた　あせり
(;° 0°)	ぎくっ　あせ　あせり

■ その他

顔文字	読み
(~▽~@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい　おっけー　らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと　おねがい　ごめん　ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ　にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ　ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ　ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし　おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(　・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦～	どうぞ　おちゃ

顔文字	読み
(屮°口°)屮	きて　かもん　おいで
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-。-)y-゜゜゜	いっぷく
(￣～￣)	うまい　たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい　なかま　たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし
(^▽^)σ)~0~)	つんつん
～～(m´Д｀)m	たすけて
～～(m｀∀´)m	いひひ
φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも　かきかき
(゜∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┓(￣∇￣;)┏	やれやれ
(´へ｀;)	はぁ　ためいき
(；-_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん　じまん
(´￢`)	よだれ
(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
(~_~)	ほへー
(~o~)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい
(-_-)zzz	ねてる　ねる
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ｀)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
ヽ(゜▽、゜)ノ	よだれ
>゜))))彡	さかな

- 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

記号一覧

半角	■ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ 。 「 」 、 ・ ｰ ﾞ ﾟ
全角	■、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

■：半角／全角の空白を示します。

- 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

- 絵文字1は「えもじ」と入力しても変換できます。
- 絵文字2は「えもじに」と入力しても変換できます。
- 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りのｉモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  - ・送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  - ・送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。
- SMSでは は に、 、 、 以外は半角空白に、置き換わって送信されます。

絵文字１

絵文字	読み
	はーと
	はーと
	しつれん　はーと
	はーと
	うれしい　にこ　かお
	おこる　いかり　むか　かお
	がっかり　かなしい　かお
	かなしい　かお
	ふらふら　かお
	いぬ　どうぶつ
	ねこ　どうぶつ
	はれ　てんき　たいよう
	くもり　てんき　くも
	あめ　てんき　かさ
	ゆき　てんき
	かみなり　てんき
	たいふう　てんき　うずまき
	きり　てんき

絵文字	読み
	こさめ　てんき　かさ
♪	るんるん　おんぷ　おんがく
	むーど　おんぷ　おんがく
	おんせん　ふろ　おふろ
	かわいい　はな
	きすまーく　きす　くち
	ぴかぴか　きらきら
	ひらめき　でんきゅう　ぴかぴか
	むか　いかり　おこる
	ぱんち　て　ぐー
	ばくだん
zzz	ねむい　ねむり　すいみん　ねる
!	びっくり
!?	びっくり　はてな
!!	びっくり
	どん　しょうげき
	あせ
	あせ

絵文字	読み
	だっしゅ
	ちょうおん
	ちょうおん
OK	けってい　おーけー　おっけー
↗	みぎうえ　みぎななめうえ　やじるし
↘	みぎした　みぎななめした　やじるし
↖	ひだりうえ　ひだりななめうえ　やじるし
↙	ひだりした　ひだりななめした　やじるし
⤴	ぐっど　やじるし
⤵	ばっど　やじるし
	め
	みみ
	ぐー　て
	ちょき　ぶい　ぴーす　て
	ぱー　て

絵文字	読み
	あし
	はーと　とらんぷ
	すぺーど　とらんぷ
	だいや　とらんぷ
	くらぶ　くろーばー　とらんぷ
	でんしゃ　のりもの　てつどう
	ちかてつ　のりもの
	しんかんせん　のりもの
	くるま　のりもの　じどうしゃ
	くるま　のりもの　じどうしゃ
	ばす　くるま　のりもの
	ふね　のりもの
	ひこうき　のりもの くうこう
	りぞーと　よっと　のりもの
	くりすます　つりー
	いえ　じたく
	びる　かいしゃ
	ゆうびんきょく　ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう
	えーてぃーえむ　ぎんこう
	ほてる
	こんびにえんすすとあ　こんびに
	がそりんすたんど　がそりん がすすた　がそすた
	ちゅうしゃじょう　ぱーきんぐ ぱーく
	しんごう
	といれ
	れすとらん　しょくじ　ごはん
	きっさてん　こーひー　かっぷ かふぇ
	ばー　かくてる　さけ
	びーる　さけ
	ふぁーすとふーど はんばーがー
	ぶてぃっく　くつ　ひーる
	びよういん　はさみ　とこや
	からおけ　まいく
	えいが
	ゆうえんち　もくば
	おんがく　へっどほん
	あーと
	えんげき
	いべんと
	ちけっと　きっぷ
	すぽーつ　しゃつ
	やきゅう　すぽーつ　ぼーる
	ごるふ　すぽーつ

絵文字	読み
	てにす　すぽーつ
	さっかー　すぽーつ　ぼーる
	すきー　すぽーつ
	ばすけっとぼーる　ばすけ ばすけっと　すぽーつ
	もーたーすぽーつ　ふらっぐ はた　すぽーつ
	ぽけっとべる　ぽけべる
	きつえん　たばこ
	きんえん　たばこ
	かめら
	かばん　ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと
	ばーすでー　ろうそく たんじょうび
	でんわ
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー　おんがく
	くつ　すにーかー
	めがね
	くるまいす
	おひつじざ　せいざ
	おうしざ　せいざ
	ふたござ　せいざ
	かにざ　せいざ
	ししざ　せいざ
	おとめざ　せいざ
	てんびんざ　せいざ
	さそりざ　せいざ
	いてざ　せいざ
	やぎざ　せいざ
	みずがめざ　せいざ
	うおざ　せいざ
	しんげつ　つき
	つき
	はんげつ　つき
	みかづき　つき
	まんげつ　つき
	でんわ　けいたいでんわ けいたい　けーたい
	めーる
	ふぁっくす
	あいもーど

絵文字	読み
	あいもーど
	どこも
	どこも
	ゆうりょう　えん　おかね　かね
	むりょう　ふりー
	あいでぃー
	ぱすわーど　かぎ　ろっく
	りたーん　えんたー
	くりあ
	さーち　むしめがね
	にゅー
	いちじょうほう　はた　ふらっぐ
	ふりーだいやる
	しゃーぷだいやる
	もばきゅー
	いち　すうじ
	に　すうじ
	さん　すうじ
	よん　し　すうじ
	ご　すうじ
	ろく　すうじ
	なな　しち　すうじ
	はち　すうじ
	きゅー　きゅう　く　すうじ
	ぜろ　れい　すうじ
	かちんこ　えいが
	ふくろ
	ぺん
	ひとかげ　ひと
	いす
	よる　つき
	すーん
	おん
	えんど　おわり
	とけい　じかん

絵文字2

絵文字	読み
	じてんしゃ　のりもの
	れんち　こうぐ　しゅうり
	ぱそこん　ぴーしー
	えんぴつ
	くりっぷ
	さゆう　やじるし
	じょうげ　やじるし
	りさいくる
	えぬじー
	まるひ　ひみつ
	きんし
	くうしつ　くうせき くうしゃ　あき
	ごうかく
	まんしつ　まんせき まんしゃ　まん
	きけん　けいこく　びっくり
	こぴーらいと　しー
	とれーどまーく　てぃーえむ
	れじすたーどとれーどまーく あーる
	あいあぷり
	あいあぷり
	どるぶくろ　おかね　かね
	うでどけい　とけい　じかん
	すなどけい　とけい
	おにぎり　おむすび
	しょーとけーき　けーき

絵文字	読み
	ぱん
	どんぶり　らーめん
	ゆのみ　おちゃ
	とっくり　にほんしゅ　さけ
	わいんぐらす　わいん　さけ
	ばなな　くだもの
	りんご　くだもの
	さくらんぼ　くだもの
	くろーばー　よつば　は はっぱ
	ちゅーりっぷ　はな
	め　は　はっぱ
	もみじ　は　はっぱ
	さくら　はな
	かたつむり　どうぶつ
	ひよこ　とり　どうぶつ
	ぺんぎん　どうぶつ
	さかな　どうぶつ
	うま　どうぶつ
	ぶた　どうぶつ
	てぃーしゃつ　しゃつ
	じーんず　じーぱん　ずぼん
	けしょう　くちべに
	ゆびわ　りんぐ
	おうかん
	ちゃぺる　べる　あらーむ
	どあ　とびら
	がっこう

絵文字	読み
	なみ　うみ
	ふじさん　やま
	すのぼ　すのーぼーど
	はしる　ひと　だっしゅ
	うーん　かお
	ほっ　にこ　かお
	あせ　かお
	あせ　かお
	むっ　むか　かお
	ぼけ　かお
	はーと　かお
	あっかんべー　べー　かお
	うぃんく　かお
	うれしい　にこ　かお
	がまん　かお
	ねこ　どうぶつ　かお
	えーん　かなしい　なく　かお
	なみだ　かなしい　なく　かお
	うまい　おいしい　かお
	うっしっし　うれしい　かお
	げっそり　さけび　かお
	おーけー　ぐっど　て おっけー
	らぶれたー　てがみ　めーる
	さいふ　おかね　かね

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生／実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中およびｉモードの接続には、ｉチャネル（情報の受信を除く）、フルブラウザ、データ放送サイトでの通信を含みます。
- ｉモードメールの受信には、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。

○：実行可能　△：条件により実行可能　×：実行不可

発生／実行する処理＼現在の状態		音声電話中	テレビ電話中	プッシュトーク通信中	ｉモード中	パソコンとつないだパケット通信中	64Kデータ通信中
音声電話	発信	△※1	×	×	○	○	×
	着信	△※1、2、3	△※2、3、4	△※5	○	○	△※2、3、6
テレビ電話	発信	×	×	×	○※7	×	×
	着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※2	△※9	△※8、10	△※2、3、4
プッシュトーク	発信	×	×	△※11	○※7	×	×
	着信	×※8	×	×※8	△※12	×	×
ｉモード	接続	○	×	×	△※13	×	×
ｉモードメール	送信	○	×	×	○	×	×
	受信	○※14	×	×	○	×	×
SMS	送信	○	×	×	○	○	×
	受信	○※14	○※14	○※14	○	○	○※14
パソコンとつないだパケット通信	発信	○	×	×	×	×	×
	着信	○	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	発信	×	×	×	×	×	×
	着信	△※3、15	△※3、15	△※15	△※15	△※15	△※15

※ 1： キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※ 2： 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※ 3： 通話中着信設定が開始の場合は通話中の着信動作選択に従います。
※ 4： キャッチホンが開始の場合は不在着信として記録されます。
※ 5： プッシュトーク中着信設定に従います。
※ 6： キャッチホンが開始の場合は、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。
※ 7： ｉモードが切断されます。
※ 8： 不在着信として記録されます。
※ 9： パケット通信中着信設定に従います。
※ 10：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間を0秒にしているときは各サービスで対応できます。
※ 11：自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信ができます。
※ 12：ｉモード中プッシュトーク着信に従います。
※ 13：データ放送サイトの接続のみ可能です。
※ 14：着信音は鳴りません。
※ 15：不在着信として記録されます。転送でんわサービスを開始にし、呼出時間を 0 秒にしているときは、転送でんわサービスで対応できます。

マルチタスクの組み合わせ

実行中の機能ごとに、通話／通信の可否、および新規起動メニュー項目の起動可否を示します。

- 起動可能な機能でも、FOMA端末の状態によっては実行できない操作があります。

○：起動可能　×：起動不可

メニュー項目／実行中の機能	音声電話	テレビ電話	プッシュトーク	データ通信	ダイヤル発信	メール	iモード	iアプリ	電話帳・履歴	データBOX	LifeKit／おサイフケータイ	ステーショナリー	音量調整	MUSIC／ワンセグ	FMトランスミッター設定	マナーモード設定／解除
音声電話中	マルチアクセスの組み合わせ☛P417				×	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	×※1	○	×
テレビ電話中					×	×※1	×※1	×※1	×※1	×	×※1	○※2	○※2	×※1	○	×
プッシュトーク通信中					×	×	×	×※1	○※2	×	×※1	○※2	○※2	×※1	×	×
パケット通信中					○	×※1	×	○	○	○※2	○	○	○	○※2	○	○
64Kデータ通信中					×	○※2	×※1	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	○※2	○	×
ダイヤル発信	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○※2	○	○	○	○※2	○	○
メール	○	○	○	○※2	○	○※2	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○
iモード	○	○	○	○※2	○	○※2	×※1	×※1	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	○	○	○※2	×※1	×※1	○	×※1	○※2	○	○	○※2	○	○
電話帳／履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	×※1	○※2	○	○※2	○	○
LifeKit（赤外線通信／iC通信を除く）	○	○	○	○※2	○	○	○※2	○※2	○※2	×※1	×※1	○※2	○	×※1	○	○
ステーショナリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	○	○
設定／NWサービス	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	×※1	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○	○※2
MUSIC	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	×※1	×※1	○※2	○	×※1	○	○
おサイフケータイ	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○※2	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○	○
ワンセグ	○	○	○	○	○	○	○	×※1	○※2	×※1	×※1	○※2	○	×※1	○	×

※１：動作中の機能によっては、起動できる機能があります。
※２：動作中の機能によっては、起動できない機能があります。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年10月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年10月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、および電源が入っていないときなどでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話からFOMA端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。
- 本FOMA端末は「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお「184」を付加してダイヤルするなど通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック　D10
- リアカバー　D20
- 卓上ホルダ　D15
- FOMA ACアダプタ　01／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ　01※1
- FOMA DCアダプタ　01／02
- FOMA 乾電池アダプタ　01
- FOMA 補助充電アダプタ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- イヤホンジャック変換アダプタ　P001
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※2／P002※2
- ステレオイヤホンセット　P001※2
- イヤホンターミナル　P001※2
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01※3
- FOMA 室内用補助アンテナ※4
- FOMA 室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※4
- 車載ハンズフリーキット　01※5
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル　01
- 車内ホルダ　01
- キャリングケースL　01
- 骨伝導レシーバマイク　01

※1：ACアダプタの充電方法について☛P35、P36
※2：イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※3：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4：日本国内で使用してください。
※5：FOMA D905iをUSB接続／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。
- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☛P431

電源・充電関連

FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P34
- 電池切れになっていませんか。☛P37
- デュアルネットワークサービスで mova 端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラーム音が鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。☛P35、P37

充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P34
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタ（別売）のコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダ（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P36
- 卓上ホルダ（別売）に FOMA 端末が正しく取り付けられていますか。☛P36
- FOMA 端末の温度が上昇していると充電できないことがあります。使用している機能があれば終了し、FOMA 端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

充電中に決定キーの照明が赤く点滅する

通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末から別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電してください。☛P36、P37
以上の操作をしても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

電話関連

ダイヤルキーを押しても発信できない

- オールロックを設定していませんか。☛P115
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P118
- セルフモードを設定していませんか。☛P117
- おまかせロックが設定されていませんか。☛P116

ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る

サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。☛P38

電話をかけたが話中音（ツーツー）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P38

着信音が鳴らない

- 着信音量が「Silent」（消音）になっていませんか。☛P94
- 次の機能を設定していませんか。
  - ・メモリ別着信拒否／許可☛P125
  - ・発番号なし動作設定☛P125
  - ・呼出動作開始時間設定☛P126
  - ・メモリ登録外着信拒否☛P127
- 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか。☛P56
- マナーモードに設定していませんか。☛P96
- セルフモードに設定していませんか。☛P117
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」になっていませんか。☛P374、P376
- 伝言メモ応答時間設定が「0秒」になっていませんか。☛P60
- オート着信設定の自動着信機能時間が「0秒」になっていませんか。☛P362

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P55、P94

電話がかかってきたときに、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない

- 相手から電話番号が通知されていますか。☛P53
- 相手の電話番号と電話帳に登録した電話番号が一致していますか。
- FOMA 端末電話帳に同じ電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号を登録していませんか。☛P76
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119
- 着信／受信時動作設定を設定していませんか。☛P122

電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る

- 複数の機能で着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。☛P93
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119

電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される

- 電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／ｉモーションになります。
- 複数の機能で着信画像を設定している場合は、優先順位に従って画像が表示されます。☛P101
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119

電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターン、イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する

- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。☛P108
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119

付属のステレオイヤホンを接続しているときに、通話中に自分の声が相手に伝わらない

イヤホンマイク設定が「イヤホンマイク」の場合、付属のステレオイヤホンを接続していると、通話時に相手の声はステレオイヤホンから聞こえますが、自分の声は相手には伝わりません。☛P362

設定・操作関連

メニューのアイコンが で表示されたり文字が薄く表示され、選択できない

各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが で表示されたり文字が薄く表示され、選択できません。

キー確認音が鳴らない

- キー確認音が「OFF」になっていませんか。☛P93
- マナーモードに設定していませんか。☛P96

FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P32

ディスプレイに「オールロック中」と表示されている

オールロック中です。解除してください。☛P115

ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示され、操作できない

おまかせロック中です。☛P116

ディスプレイに何も表示されていない

- 照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「常時」以外にしていませんか。何も操作せずに約90秒が経過すると画面の表示が消えます。☛P102
  キー操作をすると再び表示されます。
- プロテクトキーロックを設定していませんか。プロテクトキーロック中は画面の表示が消えます。☛P123

ディスプレイの表示色が薄くて見えにくい

オンリービュー設定が「ON」になっていませんか。☛P197

キーを押しても操作できない

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P123

曜日が英語で表示される

- 時計表示設定で「英語」にしていませんか。☛P109
- バイリンガル設定で英語表示にしていませんか。☛P110

ディスプレイが暗い

照明設定で、輝度を「低輝度」にしていませんか。☛P102

ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない

- 照明設定で、点灯時間設定の「通常時」を「0秒」にしていませんか。☛P102
- プロテクトキーロックを設定していませんか。☛P123
- 照明設定のキー照明設定が「AUTO」になっていると、周囲の明るさによっては、ダイヤルキーの照明が点灯しないことがあります。☛P102

日付・時刻が消去された

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にしたときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。もう一度、日付・時刻の設定を行ってください。☛P39

自動電源ON設定を「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない

電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、自動電源ONの機能は動作しません。

目覚ましやスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない

- 電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源ON設定を「ON」にしてください。☛P342

通話料金が積算されなくなった

通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。☛P354

ワンセグを視聴できない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- FOMAカードを挿入していますか。
- チャンネル設定をしていますか。☛P250

メール・データ関連

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

近くの被写体を撮影するときは接写撮影、離れた被写体を撮影するときは通常撮影に切り替えてください。☛P141

メール受信時に、電話帳に登録した名前が表示されない、電話帳に登録した着信音が鳴らない

- 相手のメールアドレスまたは電話番号と電話帳に登録したメールアドレスまたは電話番号が一致していますか。☛P76
- FOMA 端末電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を複数登録していたり、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じメールアドレスまたは電話番号を登録していませんか。☛P76
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119
- 着信／受信時動作設定を設定していませんか。☛P122

メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る

- 複数の機能でメール着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。☛P93
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119

メール受信時に、設定していないメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーで決定キーの照明が点灯／点滅する

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、優先順位に従って決定キーの照明が点灯／点滅します。☛P108
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対応したメール着信イルミネーションパターンとメール着信イルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- プライバシーモードを起動していませんか。☛P119

静止画や動画が や で表示される

データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

キーを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA端末の画面の反応が遅くなることがあります。

海外利用時

圏外が表示されたままで国際ローミングサービスを利用できない

- 国際ローミングサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かを『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
- ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。☛P394
- 日本国内から海外へ移動した後に3G／GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。☛P395

音声電話やテレビ電話がかかってこない

ローミング時着信規制を規制する設定にしていませんか。☛P396

テレビ電話、ｉモード、SMSが利用できない

- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
- 3G／GSM切替の設定を確認してください。☛P395

相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる／電話帳の登録内容や発信者番号を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

その他

ICカード機能が使えない

- ICカードロックを設定していませんか。☛P232、P234
- 電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、ICカードロックの設定に関わらず IC カード機能が使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。☛P34

データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUB を使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。
- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

宛先をご確認ください

SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいか確認してください。

アドレスをご確認ください

メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)Mails could not be sent to following address.(561) ●●@△△△.ne.jp

※ メールアドレスは送信先により表示が異なります。

いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。◉を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

位置情報は利用できません

位置情報に誤りがあるため利用できません。

遠隔操作可能なサービスは未契約です

留守番電話サービスおよび転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

応答がありませんでした（408）

サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がないため、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか？

既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。「はい」を選択して登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？

既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、バージョンアップできません。「はい」を選択して登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

カ

画像に誤りがあり正しく動作しません

画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

圏外です

電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

現在地通知先は表示できません。一覧に戻ります

現在地通知先のデータに誤りがあるため表示できません。

更新できませんでした

パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい場所で更新し直してください。

このカードは認識できません

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P32

この画像は保存できません

画像にエラーがあるため、保存できません。

この機能は利用できません

2in1がBモードのときは、メールは作成できません。

このキャラ電は表示できません

メモリなどが不足しているためキャラ電を表示できません。

この形式のデータは実行できません

FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索できません。

このサイトとのSSL通信は無効です

サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

このサイトとのSSL/TLS通信は無効です

サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？

サイトの証明書が、FOMA端末が対応していない証明書です。

このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？

サイトの証明書が有効期限前か期限切れです。

この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？

CA証明書の有効期限前か期限が過ぎています。
また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P39

この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？

サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。

このソフトは現在利用できません

IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

このチャンネルは受信できません

放送圏外のため受信できません。

このチャンネルは放送休止中です

放送休止中のため視聴できません。

このデータは再生できない可能性があります

FOMA 端末が対応していない形式の動画／ｉモーションです。または、動画ファイルが破損している可能性があります。

このデータは保存できません。取得しますか？

データを保存できませんが、取得するときは「はい」を選択します。

この番組は受信できません

視聴可能な端末が限定されているなどのため受信できない番組です。

サ

サービス未契約です

- ｉモードの契約がされていません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

サービス未提供です

SMSが未提供です。

再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／ FOMA カード(UIM)の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？

ミュージックプレーヤーでの再生時に、うた・ホーダイでダウンロードした着うたフル®の中に再生期限の更新が必要なものがありました。対処方法☛P325

再生制限データに誤りがあるため、取得できません

再生制限データが誤っているため取得できません。

再生できません。更新が可能なデータは本体を PC に接続し転送元ソフトを起動して更新してください

データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができないため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA 端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。

最大サイズを超えたので中断しました

- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため取得を中断しました。◉を押すと正常に取得した部分までを表示します。
- ダウンロード中のデータが最大サイズを超えたため受信を中断しました。

最大サイズを超えています。受信できません（452）

サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

サイトが移動しました（301）

サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

サイトに接続できませんでした(403)

接続を拒否されるなど、何らかの原因で接続できませんでした。

削除しますか？　IC カード内データも削除されます

削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除すると IC カード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

時刻がリセットされたため、このデータを再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正※1を ON に設定し電源を入れ直してください

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しないと、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻を設定して、再生し直してください。

※ 1： 機能によっては「自動時刻補正」と表示されます。

時刻がリセットされたため、このデータを取得できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正※1を ON に設定し電源を入れ直してください

日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しないと、日付・時刻が消去される場合があります。日付・時刻を設定して、取得し直してください。

※ 1： 機能によっては「自動時刻補正」と表示されます。

指定サイトがみつかりません(404)

URLが正しいか確認してください。

指定サイトに表示データがありません（204）

指定のサイトにデータがありませんでした。

指定されたソフトがありません

メールや外部機器から指定されたｉアプリがFOMA端末に保存されていません。

指定されたソフトが起動できませんでした

ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。

サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

指定したサイトへは接続できませんでした（504）

何らかの原因で指定のサイトなどに接続できませんでした。

しばらくお待ちください

- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110 番、119 番、118 番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

しばらくお待ちください(パケット)

パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります

受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。
☛P206

受信メールがいっぱいです

受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。

詳細を取得できません

トルカ（詳細）の取得に失敗しました。操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、トルカのデータに誤りがあるなどのため取得できない可能性があります。

情報が正しくないため再生できませんでした

添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

署名をつけることができません

- 最大文字数を超えるため署名を挿入できません。
- 署名が装飾されているためSMSに挿入できません。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を挿入できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。☛P206

既にメッセージをお預かりしています

既にSMSは送信済みです。

正常に接続できませんでした（400）

- サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいか確認してください。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

赤外線　接続相手が見つかりません。続けますか？

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま規定の時間が経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P305

赤外線　中断されました

赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P305

赤外線　データ転送モードへ移行できません

FOMA端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

赤外線　認証接続できませんでした

認証パスワードが正しくないため、全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。

赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

赤外線通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、FOMAカード動作制限機能により起動できません。☛P33

セキュリティエラーのため、終了しました

許可されていない動作があったため、ｉアプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました

許可されていない動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

接続が中断されました

電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

接続できません

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

接続できませんでした（503）

サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

接続できませんでした（562）

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

設定時間内に接続できませんでした

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

送信できません。宛先を確認してください（451）

宛先が正しいか確認してください。

送信できませんでした

SMSの送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

送信できませんでした（XXX）

ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

ソフトに誤りがあります

ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください

ICカード内のデータを削除しないと削除できないｉアプリです。ｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ｉアプリを削除してください。

タ

対応機種ではありません

ダウンロードしようとしたｉアプリに本FOMA端末が対応していないため、ダウンロードできません。

対応していないコンテンツです

FOMA端末で対応していないコンテンツのため、操作できません。

ダウンロードできませんでした

受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。ただし、データにエラーがあるために中断された場合は、操作し直してもダウンロードできません。データの提供元にお問い合わせください。

ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください

ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモード／フルブラウザ／Music&Videoチャネルをご利用ください。

注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。

スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」の場合、受信したSMSに電話番号やURLが記述されていると、そのSMSを最初に表示しようとしたときに表示されます。

通信エラーが発生しました

「OK」を選択してGPS機能を終了してください。

データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？

データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

データ転送モードへ移行できません

FOMA端末が通信中です。データ転送モードに移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

データ転送モードへ移行できませんでした

FOMA端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できませんでした。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

データまたはmicroSDが壊れています

microSDメモリーカードに保存しているデータまたはmicroSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。microSDメモリーカードを初期化するか、新しいmicroSDメモリーカードを取り付けてください。☛P297、P289

データまたはmicroSDが壊れています。保存先を本体に変更します

静止画や動画の保存先の設定が「microSD」の場合、microSDメモリーカードにアクセスできないときは、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

問合せできませんでした

電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

同時に通話できる人数4人を超えています

5人以上のメンバーに対してプッシュトーク発信しました。4人以内のメンバーを選んで発信してください。

登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）

ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？

うた・ホーダイのサービスを登録できる上限値を超えている場合に表示されます。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

ナ

長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません

サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。Ⓞを押すと超過分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

入力データまたはURLが長すぎます

サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

入力データをご確認ください（205）

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに対応していないため、指定のサイトやインターネットホームページに接続できません。

ハ

パスワードをご確認ください（401）

サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

不正なデータが含まれています

バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動するとき、データに不正がある場合はｉアプリを起動できません。

不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません

何らかの原因でmicroSDメモリーカード内の認証領域を参照できませんでした。エラーの発生したmicroSDメモリーカードにはコンテンツ移行対応のデータは保存できません。

他の機能が起動中のため起動できません

他に起動している機能をすべて終了してから実行してください。

保存領域がいっぱいです。不要な電話帳を削除してください

FOMA端末電話帳の保存領域の空きが不足しているため、プッシュトーク電話帳の登録／削除およびグループへのメンバー追加／編集／削除ができません。FOMA端末電話帳の不要なデータを削除してください。

保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA端末の保存領域の空きが不足しているため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、ｉモードメールやSMSを削除してください。

保存領域に誤りがあるためプッシュトーク電話帳が読み書きできません。終了します

FOMA端末電話帳およびプッシュトーク電話帳の保存領域に誤りがあるため、プッシュトーク電話帳の読み書きができません。FOMA端末電話帳を起動すると、保存領域の修復が行われます。

本体の保存件数がいっぱいです

FOMA 端末の保存件数がいっぱいか、保存領域の空きが不足しているため実行できません。該当する不要なデータを削除してください。

マ

未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線／iC 通信の INBOX の保存件数がいっぱいです。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。☛P308

無効なデータを受信しました（XXX）

- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URLが正しいか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

メールデータを参照できませんでした

- 他の処理でメールやフォルダを使用しているため、対象のメールデータを参照できませんでした。
- チャットメールでメールデータを参照できません。

メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため SMS を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、削除してください。

メッセージがいっぱいです

保存領域の空きが不足しているためメッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除するか、削除してください。

メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します

メモリ不足が発生したため実行中の機能を終了します。

メモリ不足です

メモリ不足が発生したため処理を中断します。
頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。

ヤ

ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。

ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。☛P163

読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？

トルカを利用する場合は「はい」を選択し、自動読取機能設定を「ON」にしてください。

ラ

料金情報の読込ができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、異常があります。☛P32

料金情報のリセットができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、異常があります。☛P32

連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域または保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

ワ

割り当てチャンネルがありません

サービスが休止したなどのため、チャンネルを視聴できません。

英字・記号

FMトランスミッターは現在利用できません

海外ではFMトランスミッターは使用できません。また、日本国内でも電源を入れ直したときは、いったんサービスエリア内に入らないと使用できません。

FOMA カード情報が一致しないため起動できません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMA カード情報が一致しないためダウンロードできません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMA カード情報が一致しないためバージョンアップできません

挿入しているFOMAカードとICカードに登録されているFOMAカード情報が異なる場合に表示されます。

FOMAカード（UIM）がいっぱいです

FOMA カードの保存領域の空きが不足しているためSMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか（☛P208）、FOMA端末に移動してください（☛P208）。

FOMA カード（UIM）が異なるためご利用できません

FOMA カード動作制限機能のため操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

FOMA カード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

FOMAカード動作制限機能のため、指定されたｉアプリを起動できません。ｉアプリをダウンロードしたときと同じ FOMA カードを挿入して利用してください。

FOMA カード（UIM）を挿入してください

FOMA カードが挿入されていません。FOMA カードを挿入して利用してください。☛P32

FOMA カード（UIM）が認識できないためご利用できません

FOMA カードが挿入されていないため実行できません。動画／ｉモーションを再生するには、保存時と同じFOMAカードを挿入してください。

FOMA カード（UIM）または機種が異なるためご利用できません

保存時と異なる FOMA カードが挿入されているか、機種が異なるため再生できません。

ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？

「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

ｉモーション最大サイズを超えています

ｉモーションのデータ取得時に、データが最大サイズを超えたため受信を中断しました。

IC カード内データがいっぱいのため起動できません

IC カード内のデータがいっぱいのため、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。必要な空き容量ができるまで、登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリのサービスを削除してください。

IC カード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？

IC カード内のデータがいっぱいのため、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。「はい」を選択すると、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。画面に従いｉアプリを起動してIC カード内のデータを削除してください。

IC カード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？

IC カード内のデータがいっぱいのため、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、新しいおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。「はい」を選択すると、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリが表示されます。

- 一覧に「ICカード使用ソフトがいっぱいです　ソフトを削除してください」と表示されたときは、削除するｉアプリを選択します。ｉアプリを選んだときガイド行右上に「起動」と表示されたときは、(m)を押してｉアプリを起動し、IC カード内のデータを削除してから選択してください。
- 一覧に「XXXXバイトの削除が必要です」と表示されたときは、ｉアプリごとに IC カード内のデータの使用量が表示されます。ｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してください。

IC カード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？

IC カード内のデータがいっぱいのため、既に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、おサイフケータイ対応ｉアプリをバージョンアップできません。操作方法は「IC カード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」のメッセージと同様です。

IC カード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか?

ｉアプリの中に、IC カード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

IC カード内データにエラーがあるため削除できません

IC カード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

iC 通信　接続相手が見つかりません。続けますか？

iC 通信を開始してから通信する相手が見つからないまま規定の時間が経過しました。「はい」を選択してFeliCa マークを重ね合わせてください。

iC通信　中断されました

iC通信中にエラーが発生しました。送信中は FeliCa マークを重ねたまま離さないでください。

iC 通信　データ転送モードへ移行できません

FOMA 端末が通信中です。データ転送モードへ移行できないため、処理を実行できません。通信を終了するか、しばらくたってから操作し直してください。

iC通信　認証接続できませんでした

認証パスワードが正しくないため全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。

iC通信　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

iC 通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、FOMA カード動作制限機能により起動できません。☛P33

microSD の保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します

カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先の設定が「microSD」のときにmicroSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

microSDの保存領域がいっぱいです

microSD メモリーカードの保存領域の空きが不足しているため、データのコピー、移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P296

PIN ロック解除コードがロックされています

ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SMSセンター設定を確認してください

SMS設定の「SMSC」が誤っています。☛P206

SSL通信が切断されました

SSL 通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのため SSL 通信が中断されました。

SSL通信が無効です

SSL 通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

SSL通信が無効に設定されています

FOMA 端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P163

SSL/TLS通信が切断されました

SSL/TLS 通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL/TLS通信が中断されました。

SSL/TLS通信が無効です

SSL/TLS 通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

SSL/TLS 通信が無効に設定されています

FOMA 端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P163

URLが長すぎて登録できません

URL が登録可能な文字数を超えているためブックマークに登録できません。

"●▲■ .ne.jp" 宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）Unable to send. "●▲■ .ne.jp" is not available temporarily.（555）

※ドメイン名は送信先により表示が異なります。

表示されたドメイン名宛のメールが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
  また、FOMA 端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA 端末などに移行を行っておりません。

※本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

※本FOMA端末は、ｉモーション、ｉアプリの利用するデータを microSD メモリーカードに保存していただくことができます。

※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイ datalink（☛P388）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P420

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

● 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

● **次の場合は、修理できないことがあります。**
水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有料修理となります。

● **保証期間が過ぎたときは**
ご要望により有料修理いたします。

● **部品の保有期間は**
FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ **お願い**

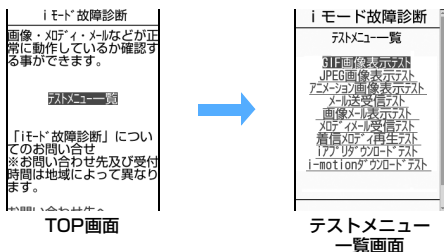
- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災、けが、故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA 端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA 端末の状態によっては修理できないことがあります。

■ **メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて**

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA 端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
※ FOMA 端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー一覧画面

■「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

ｉモードサイト：ｉMenu▶お知らせ▶サービス・機能▶ｉモード▶ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
  ・海外からのアクセスの場合は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する　ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかをネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※1を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

※1：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の3種類の方法があります。
  ・自動更新：
  新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えます。
  ・即時更新：
  更新したいときすぐに更新します。
  ・予約更新：
  更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

おしらせ

- ●ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ●ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳／プッシュトーク電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  ・他の機能を実行しているとき
  ・日付・時刻を設定していないとき
  ・FOMAカードが未挿入のとき
  ・電池がフル充電されていないとき
  ・PIN1コード入力中
  ・PIN1コードロック中
  ・「圏外」が表示されているとき
  ・電源が入っていないとき
  ・セルフモード中
  ・通話中
  ・おまかせロック中
  ・パソコンとつないだパケット通信中
  ・64Kデータ通信中

つづく▶

- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声電話の着信は可能です）。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。
- ソフトウェア更新中に目覚ましやアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、目覚ましやアラームなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P163
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▤）で実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（📶）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  - ・ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。
- 更新が必要ないときは、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 接続先設定がｉモード以外の場合でもソフトウェア更新を行えます。

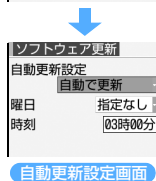
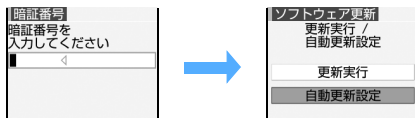
ソフトウェア更新を自動で行う　自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えます。

■ 自動更新を設定する

1 Menu ▶ **設定／NWサービス** ▶ 7 4

2 **端末暗証番号を入力** ▶ **自動更新設定**

自動更新設定画面が表示されます。

自動更新設定画面

3 **自動更新設定欄** ▶ 1

4 **各項目を設定** ▶ (m)

曜日：

書き換えをする曜日を選択。

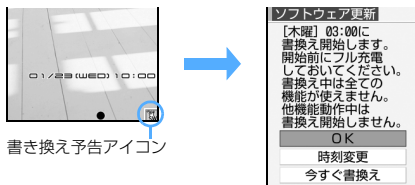
時刻：

書き換えをする時刻を設定。

- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

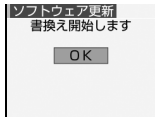
■ 更新が必要になると

書き換え可能な状態になると、待受画面に書き換え予告アイコン SW が表示され、書き換え時刻の確認、変更や、今すぐ書き換えるかを選択できます。（お買い上げ時：自動更新設定「自動で更新」、曜日「指定なし」、時刻「03時00分」）。

1 ◉ ▶ **書き換え予告アイコンを選び** ◉

書き換え予告アイコン

2 注意事項を確認▶OK▶◉

一度待受画面に戻り、設定した時刻に書き換えを開始します。書き換え予告アイコンは一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新
書換え開始します
OK

■ **書き換える時刻の変更：時刻変更▶◉▶端末暗証番号を入力**
- 以降の操作は「ソフトウェア更新を自動で行う」の操作4と同じです。☞P432

■ **すぐに書き換え：今すぐ書き換え▶◉▶端末暗証番号を入力**

書き換えが行われ、再起動されます。

ソフトウェア更新のお知らせを受信する

あらかじめ「自動更新設定」を「更新の通知のみ」にしておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、待受画面に更新お知らせアイコン が表示されます（お買い上げ時：OFF）。

1 自動更新設定画面を表示☞P432▶自動更新設定欄▶2▶ⓜ

おしらせ

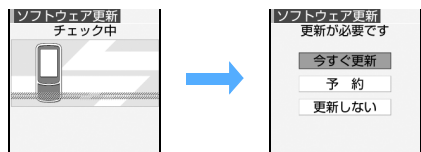
- 書き換え予告アイコンは次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了された場合
  - 他の機能が起動して書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合
  - 電池残量がないため、書き換えできなかった場合
- 更新お知らせアイコンは次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 予約更新に失敗した場合
  - 予約更新を取り消した場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合

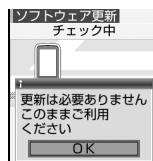
ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面で更新お知らせアイコンを選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

更新お知らせアイコンを選択してソフトウェア更新を起動する

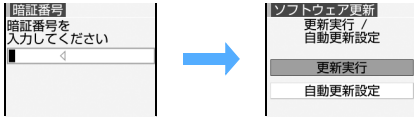
1 ◉▶更新お知らせアイコンを選び◉▶はい▶端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新が必要かチェックされ、更新方法選択画面が表示されます。

- 今すぐ更新する☞P434「すぐにソフトウェアを更新する」
- 更新を予約する☞P435「日時を予約してソフトウェアを更新する」

■ **更新が必要ないとき：**

ソフトウェア更新が必要かをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。◉を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

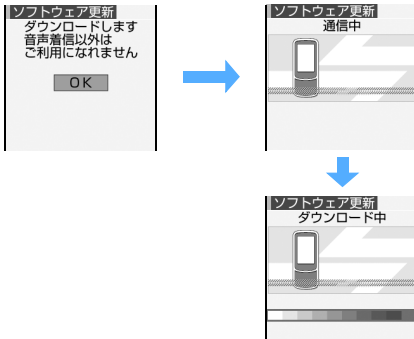
メニューからソフトウェア更新を起動する

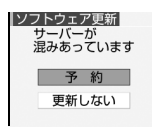
1 **Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 7 4 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 更新実行**

ソフトウェア更新が必要かチェックされ、更新方法選択画面が表示されます。☛P433

すぐにソフトウェアを更新する　即時更新

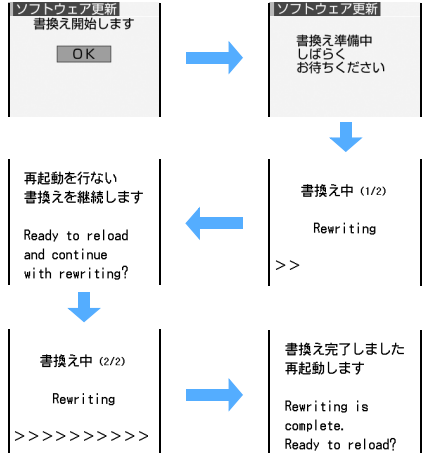
• サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 **更新方法選択画面を表示☛P433 ▶ 今すぐ更新 ▶ ㊐**

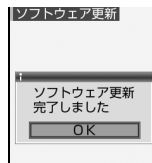
ダウンロードが開始され、決定キーの照明が点滅します。

• ㊐を押さなくても、約５秒後にダウンロードが開始されます。
• ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作をしなくても更新処理が実行されます。
• 通信中、ダウンロード中にダウンロードを中止するときは㊐を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

■ サーバが混み合っているとき：

• 「予約」を選択して更新日時を予約してください。

2 **ダウンロード終了後に㊐**

書き換え中は決定キーの照明が点滅します。

• ダウンロード終了後、㊐を押さなくても約５秒後に書き換えが開始されます。
• ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新の中止もできません。

3 **書き換え終了後、自動的に再起動**

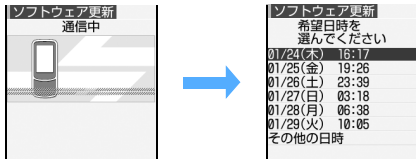
4 **㊐**

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する

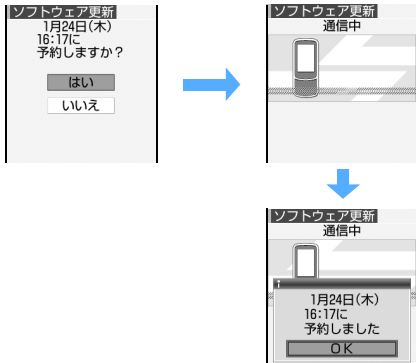
予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておけます。

1 更新方法選択画面を表示☛P433▶予約

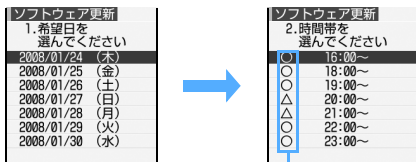
サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選び㊥

■ **表示されている予約候補から選択：希望日時を選び㊥▶はい**

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、㊧㊨でページを切り替えられます。

■ **表示されている予約候補以外から選択：**

①**その他の日時**

②**希望日を選び㊥**

③**希望時間帯を選び㊥**

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、㊧㊨でページを切り替えられます。
- ㊂を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④**希望日時を選び㊥▶はい**

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、㊧㊨でページを切り替えられます。

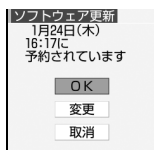
3 ㊥

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に SW が表示されます。

予約した日時を確認・変更・取り消す

1 Menu▶設定／NWサービス▶7 4

2 端末暗証番号を入力▶更新実行▶内容を確認

- 確認を終了：「OK」を選び㊥

■ **予約の変更：**

①**変更**

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、「表示されている予約候補以外から選択」の操作②以降と同じです。☛P435

■ **予約の取り消し：**

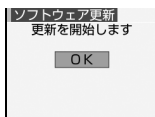
①**取消▶はい**

②**㊥**

予約が取り消され、メニューが表示されます。

予約した日時になると

予約した日時になると下の画面が表示され、約５秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。

ソフトウェア更新
更新を開始します
OK

- ソフトウェア更新の中止：⌒▶はい

おしらせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されません。
- 同じ日時に目覚ましやアラームなどが設定されていた場合には、目覚ましやアラームなどが優先され、ソフトウェア更新が開始されない場合があります。
- 予約が完了した後にデータ一括削除（☞P363）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る　スキャン機能

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメール、SMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。自動更新設定を「有効」にすると、バージョンアップされた際に自動的に更新されます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する　スキャン機能設定

本設定を「有効」にすると、データの表示やプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶4 6 3

2 **各項目を選び**☉▶1▶☐

スキャン機能：
「有効」にすると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示。☞P438

メッセージスキャン：
「有効」にすると、SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨の注意を表示。
- moperaメールの着信通知、留守番電話の着信通知機能などをSMSで受信した場合には、確認画面は表示されません。

- 解除：2▶☐

3 **はい**

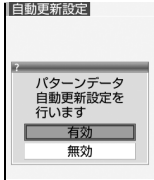
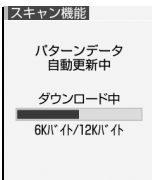
自動的にパターンデータを更新する
自動更新設定

パターンデータが自動的に更新されるように設定します。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶4 6 2

2 **有効**▶**はい**▶**はい**

- 解除：無効▶はい

3

新しいパターンデータが配信されると

- 新しいパターンデータが配信されると上の画面が表示され、自動的にパターンデータ更新を開始します。パターンデータの更新に成功すると、待受画面にが表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
- パターンデータの更新に失敗したときは、待受画面にが表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認し、「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。
- パターンデータ更新の中止：▶はい

すぐにパターンデータを更新する
パターンデータ更新

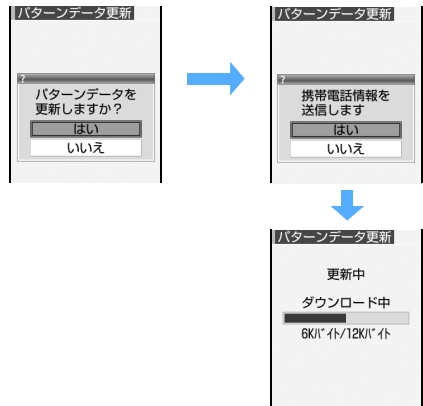
自動更新設定が「無効」のときや、自動更新に失敗したときに、手動でパターンデータを更新してください。

- FOMA 端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

1 Menu▶**設定／NWサービス**▶4 6 1

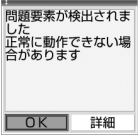
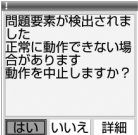
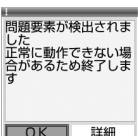
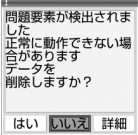
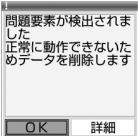
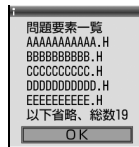
2 **はい**▶**はい**

パターンデータが更新されます。

3

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。プッシュトークやテレビ電話の着信、Music＆Videoチャネルの番組取得、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中に目覚ましやスケジュールアラームの設定日時になると、設定日時を知らせる画面が表示されて目覚まし音やアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

1 **警告メッセージ表示**▶**詳細**

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

つづく▶

スキャン結果の表示について

警告レベル／警告メッセージ	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK　詳細	OK： 起動中のアプリケーションの処理を続行。 詳細: 検出された問題要素の名前の一覧を表示。
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい　いいえ　詳細	はい： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止。 いいえ： 起動中のアプリケーションの処理を続行。 詳細： 検出された問題要素の名前の一覧を表示。
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK　詳細	OK： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止。 詳細： 検出された問題要素の名前の一覧を表示。
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい　いいえ　詳細	はい： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除。 いいえ： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止。 詳細： 検出された問題要素の名前の一覧を表示。
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK　詳細	OK： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除。 詳細： 検出された問題要素の名前の一覧を表示。

おしらせ

- Music＆Videoチャネルの番組取得中に問題要素が検出され、警告メッセージを確認しないままFOMA端末の電源が切れた場合、次回Music＆Videoチャネル画面を表示した際、警告レベル画面が表示されます。
- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、ｉアプリの起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては「詳細」が表示されない場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する

バージョン表示

1 Menu ▶ 設定／NWサービス ▶ 4 6 4

バージョン表示
パターンデータのバージョン
1.1
McAfee®

主な仕様

品　名		FOMA D905i
サイズ		高さ110mm×幅49mm×厚さ18.7mm（閉じているとき）
質量		約132g（電池パック装着時）
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約530時間 移動時（自動）：約350時間 移動時（3G 固定）：約 380時間
	GSM	静止時（自動）：約320時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約200分 テレビ電話時：約110分
	GSM	音声電話時：約200分
ワンセグ視聴時間		エコノミーモード：約250分 ノーマルモード：約240分
ビデオ録画時間		microSD録画／予約録画：約640分※1、※2 本体録画（5分）：約5分※1
充電時間		ACアダプタ：約140分 DCアダプタ：約140分
液晶部	方式	TFT262,144色
	サイズ	約3.1inch
	画素数	414,720画素（480×864ドット）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/11.0inch アウトカメラ：1/3.2inch
	有効画素数	インカメラ：約10万画素 アウトカメラ：約320万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約10万画素 アウトカメラ：約320万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約2.0倍 アウトカメラ：静止画最大約16.0倍、動画最大約16.0倍

記録部	静止画保存枚数	約473枚※3
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	本体保存時：約140分※4 microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時：約106分※5
	動画ファイル形式	MP4、ASF
音楽再生	連続再生時間	WMAファイル：約990分※6 AAC形式ファイル ｉモーション：約340分 着うたフル®：約920分※6 Music&Videoチャネル（音声）：約310分※6 Music&Videoチャネル（動画）：約260分
	ラジオ受信時間	約1860分
保存容量	着うた®	約91.0Mバイト
	着うたフル®	

※１：録画時間は目安であり、録画する番組の内容によって変化します。
※２：2GバイトのmicroSDメモリーカードの場合の目安です。
※３：画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
画質：スタンダード　ファイルサイズ：10K バイト
※４：下記の条件の場合で保存できる動画１件あたりの最大録画時間
画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
ファイルサイズ制限：制限なし
画質：スタンダード　撮影種別：画像＋音声
映像種別：MPEG4
※５：下記の条件の場合で保存できる動画１件あたりの最大録画時間
画像サイズ：Sub-QCIF（128 × 96 ドット）
ファイルサイズ制限：制限なし
画質：スタンダード　撮影種別：画像＋音声
映像種別：MPEG4
※６：バックグラウンド再生対応

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、音楽再生、Music&Videoチャネルの番組取得や再生、ワンセグの視聴、FMラジオの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。
- ワンセグ視聴時間とは、ステレオイヤホンをFOMA端末に接続して視聴したときの時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、短くなる場合があります。
- FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

D905iの保存・登録・保護件数

種　別		最大保存・登録件数	最大保護件数
電話帳	FOMA端末※1	1000件	－
	FOMAカード	50件	－
スケジュール	スケジュール	300件	－
	休日	30件	－
	祝日	5件	－
メール	受信メール※1、※2	1000件	500件
	送信メール※1、※2	200件	100件
	未送信メール※1、※2	200件	100件
	メールテンプレート※1	100件	－
	エリアメール	30件	15件
FOMAカードのSMS※3		20件	－
メッセージR※1		100件	50件
メッセージF※1		50件	25件
ブックマーク	ｉモード	100件	－
	フルブラウザ	100件	－
画面メモ※1		100件	50件
ワンセグ予約リスト		50件	－
ｉアプリ※4		300件	－
画像（ワンセグイメージ含む）※1		1000件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		100件	－
メロディ※1		500件	－
キャラ電※1		50件	－
PDFデータ※1		100件	－
きせかえツール※1		50件	－
マチキャラ※1		50件	－
Word、Excel、PowerPoint※1		100件	－
トルカ※1、※5		100件	－
ビデオ（本体録画（5分））		10件	－

※１：実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※２：ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※３：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は含まれません。

※４：メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数300件に含む）保存できます。実際に保存できる件数は、ｉアプリのサイズにより少なくなる場合があります。
※５：利用済みトルカは含まれません。

おしらせ

- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 FOMA D905i の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※1の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機 FOMA D905iのSARの値は0.587W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
三菱電機のホームページ
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mobile/

※１：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の２）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "FOMA D905i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.587W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.394W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.271W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID BGBMTOWM07GOR25.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

NOTICE:
This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTICE:
Changes or modifications made to this equipment not expressly approved by Mitsubishi Electric Corporation may void the FCC authorization to operate this equipment.

NOTICE:
This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

FOMA端末の画面に表示される機能名などから調べるときや、あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときに索引から探します。

例　スケジュールを登録したいとき

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

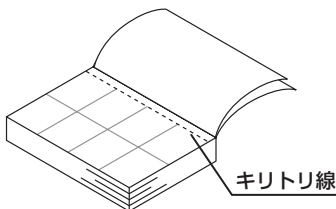
ラ

ワ

数字・英字

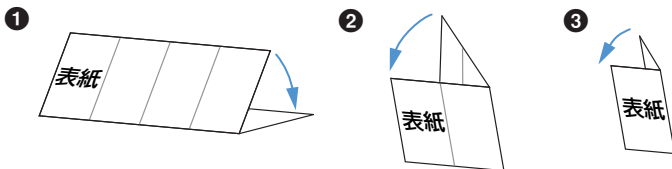
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING) をご利用いただく際に携帯してください。

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。

NTT DoCoMo

FOMA® D905i クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

電話帳の登録

■ 登録

1 [Menu]▶電話帳／履歴▶[2]～[3]
2 名前を入力▶各項目を設定▶[電話帳]

■ リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [上]／[決定]▶登録する相手を選び[Menu][4]▶[1]～[2]▶[1]～[2]
2 各項目を設定▶[電話帳]
・登録済みの電話帳データを更新：更新する相手を選び[決定]▶各項目を設定▶[電話帳]▶上書き登録／新規登録

電話帳の修正

1 [電話帳]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 修正する相手を選び[Menu][3][1]
・FOMAカード電話帳の場合：修正する相手を選び[Menu][3]
3 修正▶[電話帳]▶上書き登録／新規登録

電話帳の検索

1 [Menu]▶電話帳／履歴▶[1]
・電話帳の切り替え：[電話帳]
2 [1]～[6]
・FOMAカード電話帳では[1]～[3]

文字の入力

■ 文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「企業」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
き：[2]を２回▶[決定]（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）
ぎ：[2]を2回▶[*]
ょ：[8]を3回▶[#]
う：[1]を3回
・入力した文字の変換前にできる操作
[Menu]：カタカナ・英数字などに変換
[#]：大文字／小文字の切り替え
[メール]：入力直後に１つ前の文字に戻す（例：…→１→お→え→う→…）
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）
[クリア]：文字の取り消し

・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力
2 [電話帳]
・変換候補一覧の表示：[上下]／[電話帳]
・変換前の状態に戻す：[クリア]
3 [決定]▶[決定]

■ 入力モードの切り替え

文字入力中に[発信]を複数回
・全角／半角切り替え：[発信]▶[上下]

■ 文字の削除

●カーソルが文中にあるとき
[クリア]：カーソル位置の文字の削除
[クリア]（１秒以上）：カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字の削除

●カーソルが文末にあるとき
[クリア]：カーソルの左の１文字の削除
[クリア]（１秒以上）：すべての入力文字の削除

■ 絵文字・記号・顔文字の入力

1 文字入力中に[Menu]▶絵文字・記号・顔文字▶[1]～[3]
2 絵文字・記号を選び[決定]
・顔文字を選択する場合：[1]～[9]▶顔文字を選び[決定]

カメラ機能

■ 静止画／動画の撮影

●静止画を撮影する
1 [上]（１秒以上）▶被写体にカメラを向けて[決定]／[TV]▶[決定]／[TV]

●動画を撮影する
1 [Menu]▶LifeKit▶[4][2]▶被写体にカメラを向けて[決定]／[TV]▶[電話帳]／[TV]▶[決定]／[TV]

■ 静止画の表示／動画の再生

●静止画を表示する
1 [上][1]▶カメラ▶静止画を選び[決定]

●動画を再生する
1 [上][4]▶カメラ▶動画を選び[決定]
・動画再生中の操作
[上下]：音量調整
[左右]：巻戻し再生／早送り再生
[決定]：一時停止／再生
[電話帳]：停止

キリトリ線

音楽再生

1 [⇔][3]▶フォルダ／プレイリストを選び[●]▶音楽データを選び[●]

・再生中の操作

機　能	操作方法
一時停止／再生	[●]
音量調整	[↕]
音楽データの先頭に戻る／前の音楽データに戻る	[←]
次の音楽データに進む	[→]
巻戻し／早送り	[↔]（1秒以上）
再生したまま一覧に戻る	[✉]

ワンセグ

1 [TV]（1秒以上）

・視聴中の操作（テレビ操作モード）

機　能	操作方法
チャンネル切り替え	[↔]

機　能	操作方法
ダイレクトキー選局	[1]～[9]、[0]、[#]、[*]
受信可能チャンネル検索	[↔]（1秒以上）
音量調整	[↕]
消音／解除	[☎]
縦画面／横画面切り替え	[✉]
マルチウィンドウ時の画面切り替え	[☎]（1秒以上）
番組名などの表示	[●]
番組表 iアプリの起動	[i]
テレビ操作モード／データ放送操作モード切り替え	[⇔]
静止画録画／本体録画（5分）※1	[TV]
microSD録画	[TV]（1秒以上）

※1：TVキー設定でいずれかに設定

iモードメール

■ iモードメールの作成・送信

1 [✉][2]

2 宛先欄▶入力方法を選び[●]▶入力または選択

3 題名欄▶入力

4 本文欄▶入力

・デコメールの作成：[✉]▶装飾方法を選び[●]▶文字を入力

5 [i]

・メールの保存：[Menu][3]

・圏内自動送信：[Menu][2]

■ ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄▶添付するファイルの種類を選び[●]

・静止画を撮影して添付：イメージ▶カメラ撮影

・動画を撮影して添付：iモーション▶カメラ撮影

・音声を録音して添付：ボイス録音

2 格納場所を選び[●]▶ファイルを選び[●]

・添付ファイルの解除：添付欄を選び[✉]▶はい

■ iモードメールの受信

1 メールを受信

メール着信音が鳴り、決定キーの照明が点灯／点滅して受信結果画面が表示される

2 [1]▶フォルダを選び[●]▶メールを選び[●]

■ iモード問合せ

1 [✉][✉]

メニュー一覧

メニュー番号は、ベーシックメニューの番号で表記しています。

[Menu]を押してから、各項目の番号を入力します。

〈例〉送信メールを表示するとき

[Menu][1][5]

1 メール
- 11 受信メール
- 12 新規メール
- 13 チャットメール
- 14 未送信メール
- 15 送信メール
- 16 iモード問合せ
- 17 WEBメール
- 18 SMS／エリアメール設定
- 181 SMS
- 182 エリアメール設定
- 19 メール選択受信
- 1※ テンプレート
- 10 メール設定
- 101 着信設定
- 102 メール振り分け設定
- 103 署名設定
- 104 メール返信設定
- 105 メールグループ
- 106 受信・表示設定
- 107 iモード問合せ設定

2 iモード
- 21 iMenu
- 22 Bookmark
- 23 画面メモ
- 24 ラストURL
- 25 Internet
- 251 URL入力
- 252 URL入力履歴
- 26 メッセージR/F
- 261 メッセージR
- 262 メッセージF
- 263 iモード問合せ
- 264 iモード問合せ設定
- 27 iチャネル
- 271 iチャネル一覧
- 272 テロップ表示設定
- 273 iチャネル初期化
- 28 iモード設定
- 281 ワンタッチサイト
- 282 接続待ち時間設定
- 283 照明設定
- 284 iモード中プッシュトーク着信
- 285 証明書設定
- 286 表示・効果設定
- 287 iモーション設定
- 288 接続先設定
- 29 フルブラウザ
- 291 ホーム
- 292 Bookmark
- 293 Internet
- 294 ラストURL
- 295 フルブラウザ設定

3 iアプリ
- 31 ソフト一覧
- 32 iアプリ設定
- 321 ソフトの並べ替え
- 322 自動起動設定
- 323 ソフト情報表示設定
- 324 照明設定
- 325 バイブレータ設定
- 326 ワンタッチiアプリ表示
- 33 履歴表示

4 電話帳／履歴
- 41 電話帳検索
- 42 電話帳登録
- 43 FOMAカード（UIM）登録
- 44 プッシュトーク電話帳
- 45 着信履歴
- 46 リダイヤル
- 47 伝言メモ／音声メモ
- 471 伝言メモ設定
- 472 伝言メモ一覧
- 473 音声メモ録音
- 474 音声メモ一覧
- 48 メール送受信履歴
- 481 メール送信履歴
- 482 メール受信履歴
- 49 自局番号

5 データBOX
- 51 マイピクチャ
- 52 ミュージック
- 53 Music&Videoチャネル
- 54 iモーション
- 55 メロディ
- 56 マイドキュメント
- 57 きせかえツール
- 58 マチキャラ
- 59 キャラ電
- 5※ ワンセグ
- 50 その他

6 LifeKit
- 61 バーコードリーダー
- 62 赤外線・iC・PC連携
- 621 赤外線受信
- 622 赤外線全件送信
- 623 iC全件送信
- 624 受信済みデータ保存
- 625 データ送受信設定
- 626 USBモード設定
- 63 microSD
- 64 カメラ
- 641 静止画撮影
- 642 動画撮影
- 65 サウンドレコーダー
- 66 電話帳お預かりサービス
- 661 お預かりセンターに接続
- 662 電話帳通信履歴表示
- 663 送信設定

キリトリ線

6 7 GPS
6 7 1 現在地確認
6 7 2 対応ｉアプリ
6 7 3 位置履歴
6 7 4 現在地確認設定
6 7 5 現在地通知
6 7 6 位置提供設定

7 ステーショナリー
7 1 スケジュール帳
7 2 テキストメモ
7 3 目覚まし
7 4 電卓
7 5 辞典
7 6 翻訳リーダー
7 7 名刺リーダー

8 設定／NWサービス
8 1 音／バイブ
8 1 1 音の設定
8 1 2 音量設定
8 1 3 バイブレータ設定
8 1 4 マナーモード選択
8 1 5 呼出動作開始時間設定
8 1 6 ステレオ効果設定
8 1 7 FMトランスミッター設定
8 1 8 音楽再生音優先設定
8 2 ディスプレイ
8 2 1 待受画面設定
8 2 2 メニュー設定
8 2 3 各種画面設定
8 2 4 照明設定
8 2 5 イルミネーション設定
8 2 6 不在着信お知らせ
8 2 7 文字表示設定
8 2 8 マチキャラ設定

8 3 きせかえ／ライフスタイル
8 3 1 きせかえツール
8 3 2 トータルカスタマイズ
8 3 3 ライフスタイル設定
8 4 セキュリティ／ロック
8 4 1 ロック
8 4 2 プライバシーモード
8 4 3 着信／受信時動作設定
8 4 4 FOMAカード（UIM）
8 4 5 暗証番号変更
8 4 6 スキャン機能
8 5 発着信・通話機能
8 5 1 電話発着信設定
8 5 2 発番号なし動作設定
8 5 3 エニーキーアンサー設定
8 5 4 イヤホン機能設定
8 5 5 メモリ着信拒否／許可
8 5 6 発着信詳細設定
8 5 7 通話詳細設定
8 5 8 セルフモード設定
8 6 テレビ電話／プッシュトーク
8 6 1 テレビ電話
8 6 2 プッシュトーク
8 7 時計／文字入力／その他
8 7 1 時計
8 7 2 文字入力設定
8 7 3 文字サイズ設定
8 7 4 ソフトウェア更新
8 7 5 クイック起動設定
8 7 6 スライド編集設定
8 7 7 スピードセレクター設定
8 7 8 モーションコントロール設定
8 7 9 情報表示／リセット
8 8 NWサービス

8 8 1 留守番電話
8 8 2 キャッチホン／転送でんわ
8 8 3 着もじ
8 8 4 番号通知
8 8 5 ローミングガイダンス設定
8 8 6 OFFICEED
8 8 7 2in1設定
8 8 8 メロディコール設定
8 8 9 その他のNWサービス
8 9 国際ローミング／ダイヤルアシスト
8 9 1 国際ローミング設定
8 9 2 国際ダイヤルアシスト設定
8 9 3 デュアル時計設定

9 MUSIC
9 1 ミュージックプレーヤー
9 2 Music&Videoチャネル

※ おサイフケータイ
※ 1 ICカード一覧
※ 2 DCMX
※ 3 トルカ
※ 4 ICカードロック設定
※ 4 1 ICカードロック
※ 4 2 ICカードオートロック設定
※ 4 3 電源OFF時ICロック設定
※ 4 4 ICカードロック設定
※ 5 設定
※ 5 1 トルカ取得確認設定
※ 5 2 トルカ取得設定
※ 5 3 自動読取機能設定
※ 5 4 トルカ振り分け設定
※ 6 ｉモードで探す

0 自局番号

ワンセグ
1 ワンセグ視聴
2 番組表
3 予約リスト
4 録画履歴
5 テレビリンク
6 チャンネル設定
7 ワンセグ設定
7 1 ワンセグ照明設定
7 2 画像表示設定
7 3 効果音設定
7 4 放送用保存領域消去
7 5 横表示メールテロップ設定
7 6 録画設定
7 7 確認表示設定リセット
7 8 ワンセグ設定状況確認
7 9 ワンセグ設定リセット

■ キー操作一覧

機能	操作方法（待受画面から）
マナーモード設定／解除	[Menu]（1秒以上）または[#]（1秒以上）
スピードメニュー	[メール]（1秒以上）または[メール]
ｉチャネル一覧の表示	[クリア]
セルフモード設定／解除	[クリア]（1秒以上）▶はい
公共モード（ドライブモード）設定／解除	[※]（1秒以上）
データBOXメニュー	[カメラ]
静止画撮影起動（アウトカメラ撮影）	[カメラ]（1秒以上）
ｉモードメニュー	[ｉ]
ｉアプリフォルダ一覧	[ｉ]（1秒以上）
着信履歴	[左]
プライバシーモード起動／解除※1	起動：[左]（1秒以上） 解除：[左]（1秒以上）▶端末暗証番号を入力
リダイヤル	[右]

機能	操作方法（待受画面から）
ICカードロック設定／解除	設定：[右]（1秒以上）▶はい 解除：[右]（1秒以上）▶端末暗証番号を入力※2
電話帳	[電話帳]
スケジュール帳	[電話帳]（1秒以上）
メールメニュー	[メール]
新規メール作成	[メール]（1秒以上）
電源ON／OFF	[終話]（2秒以上）
プロテクトキーロック設定／解除	[鍵]（1秒以上）※3
新規起動メニュー	[起動]
伝言メモ／音声メモメニュー	[TV]
ワンセグ視聴	[TV]（1秒以上）
プッシュトーク電話帳	[P]（1秒以上）

※1：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

※2：ICカードロック設定の解除方法を「ボイス認証＋暗証番号」にしている場合は、端末暗証番号の入力前にボイス認証が必要

※3：プロテクトキーロック認証設定を「ON」にしている場合は、解除時に端末暗証番号の入力が必要

ネットワークサービス

■ 留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[8][1]

2 以下の操作を行う

留守番サービス開始
[1][1]▶はい▶はい▶呼出時間を入力(0～120秒)
留守番サービス停止
[1][3]▶はい
留守番メッセージ再生
新しい伝言メッセージがあると待受画面に[アイコン]が表示されます。 [1][5]▶はい▶音声ガイダンスに従う

■ キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● **サービスを開始／停止する**

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[8][2][1]▶[1]～[2]▶はい

● **通話中にかかってきた電話を受ける**

通話中に[通話]

・通話相手の切り替え：[メール]

● **通話中に電話をかける**

通話中に電話番号を入力▶[通話]

・通話相手の切り替え：[メール]

● **通話を終了する**

一方の相手との通話が終了したら[終話]

・保留中相手との通話再開：[通話]

キリトリ線

■転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 2 2

2 以下の操作を行う

転送サービス開始
1▶はい▶はい▶転送先電話番号を入力(26桁まで)▶（田）▶はい▶呼出時間を入力(0～120秒) ・電話番号の入力欄を選択する前に、Menuで電話帳から、（✉）でリダイヤルから、（♪）で着信履歴から電話番号を設定できます。
転送サービス停止
2▶はい

■番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

●サービスを開始／停止する

1 Menu▶設定／NWサービス▶8 4 2▶1～2▶はい

■利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	(局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	(局番なし）115
時報サービス（有料）	(局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	(局番なし）110
消防・救急への緊急通報	(局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	(局番なし）171
コレクトコール(有料:案内料＋通話料)	(局番なし）106

ディスプレイの見かた

■ディスプレイ上部

❶～⓭

❶ ：電池アイコン

❷ ：アンテナアイコン　**圏外**：圏外表示

：セルフモード中

：データ転送モード中など

❸ ：ｉモード中（ｉモード接続中）

：ｉモード中（パケット通信中）

❹ ：赤外線通信中など

：プロテクトキーロック中など

：積算通話料金が上限を超過

❺ ：スピーカーホン機能 ON

：ハンズフリー対応機器接続中

：3G エリア圏内

／ ：GSM／GPRS エリア圏内

❻ ：GPS の状態表示

❼ ：シークレット属性のデータを選択中

❽ ：未読メール状態表示

：未読メッセージ R 状態表示

：未読メッセージ F 状態表示

❾ ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中

：プッシュトーク通信中

：ｉモードセンター蓄積状態表示

❿ ：SSL ページ表示中など

：圏内自動送信失敗メールあり

：圏内自動送信メールあり

：Music&Video チャネル番組取得予約あり

⓫ ／ ：ｉアプリ／ｉアプリ DX 動作中

：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリ DX 待受画面表示中

⓬ ：バックグラウンド録画中

：予約録画待機中

：ｉアプリ自動起動失敗

⓭ ：OFFICEED エリア内

■ディスプレイ下部

❶～❺

❻～⓱

❶ ：不在着信

❷ ：伝言メモ

❸ ：留守番電話サービスの伝言メッセージ

❹ ：未読メール

❺ ：未読トルカ

❻ ：通常マナーモード中

：オリジナルマナーモード中

❼ ：電話着信音量消音設定中

：音声電話着信のバイブレータ設定中

：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中

❽ ：公共モード（ドライブモード）中

❾ ：伝言メモ設定中

：伝言メモ満杯

❿ ：ダイヤル発信制限中

⓫ ：GPS 位置提供結果など

：パーソナルデータロック中

：Music&Video チャネル番組取得結果

：ビデオ録画結果

⓬ ：FOMA カード読み込み中

：IC カードロック中

⓭ ：フォーカスモード時のスピードセレクターの有効キー表示

⓮ ：目覚まし設定中

：スケジュールアラーム設定中

：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中

⓯ ：USB モード設定と microSD メモリーカードの状態表示

⓰ ：FOMA 充電機能付 USB 接続ケーブル 01 で外部機器に接続中

：ワンセグ視聴／録画予約設定中

⓱ ：ソフトウェア更新書き換え予告アイコン

：ソフトウェア更新予約中

：更新お知らせアイコン

：最新パターンデータの自動更新結果

紛失時などの緊急連絡先

おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

24 時間受付

その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

NTT DoCoMo

FOMA® D905i クイックマニュアル(海外利用編)

海外での紛失、盗難、精算などについて 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表 1) -81-3-5366-3114 *（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ D905i から、ご利用の場合は +81-3-5366-3114 でつながります(「+」は「0」キーを 1 秒以上押します)。

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表 2) -800-0120-0151 *

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表 1）は P13 を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は P14 をご覧ください。

海外での故障に関して 〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表 1) -81-3-6718-1414 *（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ D905i から、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります(「+」は「0」キーを 1 秒以上押します)。

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表 2) -800-5931-8600 *

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表 1）は P13 を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は P14 をご覧ください。

海外で利用するための準備

■ 海外で利用するための設定

● ｉ モードの設定（日本で設定）

1 [i][1]

2 料金＆お申込・設定▶オプション設定▶海外利用設定▶ｉ モード利用設定▶利用する

3 ｉ モードパスワードを入力▶決定

● ｉ モードの設定（海外で設定）

1 [i][1]

2 海外利用設定▶ｉ モード利用設定▶利用する

3 ｉ モードパスワードを入力▶決定

● 遠隔操作の設定（日本で設定）

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[8][9][2][1]▶はい

● 遠隔操作の設定（海外で設定）

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][6]▶はい▶ガイダンスに従って操作

海外で利用できるサービス

海外でご利用になれるサービスは以下のとおりです。ただし、通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。

利用可：○　利用不可：×

サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
ｉ モード（フルブラウザを含む）	○	×	○
ｉ モードメール	○	×	○
SMS	○	○	○
ｉ チャネル	○	×	○
GPS の現在地確認	○	○	○
データ通信（パケット通信）	○	×	○

・海外では 64K データ通信は利用できません。

ネットワークサーチ設定

通信事業者の検索方法を設定します。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][1]

2 検索方法を選択

・自動で切り替える：[1]

・手動で切り替える：[2]▶接続先を選び[●]

・ネットワークの再検索：[3]

「マニュアル」にしているときは接続先を選び[●]

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定します。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][1][4]

2 通信事業者を選び[Menu][2]

3 優先順位の位置を選び[●]▶[m]

3G ／ GSM 切替

利用するネットワークを切り替えます。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][2]▶[1]～[3]

オペレータ名表示設定

ローミング中の通信事業者名の表示を設定します。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][3]▶[1]～[2]

帰国後の設定について

日本に帰国したときは、FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。FOMAネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G／GSM切替を「自動」に設定し直してください。☛P3、P4

電話をかける

相手が WORLD WING を利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

■ 日本や滞在国外に電話をかける

●「+」を利用して電話をかける

1 [0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力

・「+」の入力：[0]（1秒以上）

・日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力

・地域番号（市外局番）が「0」で始まるときは「0」を除いてダイヤル（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要）

2 [発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）

● 発信オプションを利用して電話をかける

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[Menu][2]

・テレビ電話で発信：発信方法欄▶[2]

2 国際電話発信欄▶[2]

3 国番号欄▶国番号を選び[●]

4 [Menu]▶はい

● 電話帳を利用して電話をかける

1 電話帳を検索▶相手を選ぶ

2 [発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）▶はい

■ 滞在国内に電話をかける

滞在国内でも相手がWORLD WINGを利用している場合は、日本への国際電話としてかけてください。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力

2 [発信]（音声電話）または[テレビ電話]（テレビ電話）▶元の番号で発信

電話を受ける

■ 音声電話を受ける

1 音声電話がかかってくる▶[発信]

キリトリ線

■テレビ電話を受ける

1 テレビ電話がかかってくる▶[通話]または[テレビ電話]
・代替画像でテレビ電話を受ける：[メール]

■相手からの電話のかけかた

●日本から滞在国に電話をかけてもらうとき

1 090（または080）XXXXXXXXをダイヤルする

●日本以外から滞在国に電話をかけてもらうとき

1 発信国の国際アクセス番号を入力▶81▶90（または80）XXXXXXXXをダイヤルする

ローミング中の設定をする

■ローミングガイダンスを設定する

・日本国内で設定してください。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[8][5]

2 以下の操作を行う

ローミングガイダンス開始
[1]▶はい
ローミングガイダンス停止
[2]▶はい
ローミングガイダンス設定確認
[3]▶はい

■着信について設定する

・海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1][9]

2 以下の操作を行う

ローミング時着信規制開始
① [1]▶[1]～[2] 全着信規制…すべての着信を受けないようにします。 テレビ電話／64Kデータ規制…テレビ電話の着信を受けないようにします。 ② はい▶ネットワーク暗証番号を入力

ローミング時着信規制停止
[2]▶はい▶ネットワーク暗証番号を入力
ローミング時着信規制確認
[3]▶はい

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。

1 [Menu]▶設定／NWサービス▶[9][1]

2 以下の操作を行う

留守番電話（海外）
① [4]▶[1]～[5] [1]：開始　[2]：停止　[3]：再生 [4]：設定　[5]：呼出時間設定 ② はい
転送でんわ（海外）
① [5]▶[1]～[3] [1]：開始　[2]：停止　[3]：設定 ② はい

番号通知お願い（海外）
[7]▶はい
ローミングガイダンス（海外）
[8]▶はい

3 ガイダンスに従って操作

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください。

（2007年10月現在）

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

・このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年8月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年8月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ペルー	00
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	ポルトガル	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	南アフリカ共和国	09
タイ	001	ルクセンブルク	00
台湾	00		

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「主要国の国際電話アクセス番号（表1）」「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（通常マナーモード）。☛P96

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P96

マナーモード中でも、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

●公共モード（ドライブモード／電源 OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスまたは電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。☛P56、P58

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P95

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。☛P59

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。
☛P374、P376

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　　iMenu ▶料金&お申込･設定 ▶各種手続き(ドコモeサイト)　パケット通信料無料

パソコンから　　My DoCoMo(http://www.mydocomo.com/) ▶各種手続き(ドコモeサイト)

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*(無料)**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※D905iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P392をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*(無料)**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※D905iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P392をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'07.11 (2.2版)

FOMA® D905i

パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA D905iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信について

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA 端末は FAX 通信や Remote Wakeup には対応していません。
- FOMA端末をドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行えます。musea、sigmarion Ⅱを利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートなどの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 海外でパケット通信を行う場合は IP 接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービス mopera U など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 3.6Mbps、送信最大 384kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「musea」「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

■ 64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera U / moperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。

長時間にわたる通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

電話帳やメール、ブックマークなどの各種データを転送／交換する、課金が発生しない通信形態です。

- 赤外線通信／iC通信でも、他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータ転送できます。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT互換機
OS※2	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）
必要メモリ	Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

※ 1：USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。
※ 2：OSアップグレードからの動作は保証対象外です。

おしらせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用や OS アップグレードによる問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「FOMA D905i CD-ROM」画面が動作する推奨環境は Microsoft Internet Explorer6.0 以降※1 です。CD-ROM をセットしても「FOMA D905i CD-ROM」画面が表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ① [スタート] →「マイコンピュータ」をクリック
    - Windows 2000の場合：デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック
    - Windows Vistaの場合：（スタート）→「コンピュータ」をクリック

  ② CD-ROMアイコンを右クリック→「開く」をクリック
  ③「index（index.html）」をダブルクリック
  ※1：Windows Vistaの場合、推奨環境は Microsoft Internet Explorer7.0以降です。

警告画面が表示された場合

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。[はい] をクリックしてください。

つづく▶

- 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

- Windows Vistaの場合、付属のCD-ROMをパソコンにセットすると自動再生画面が表示されることがあります。
「rundll32.exeの実行」をクリックしてください。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA D905i用CD-ROM」

おしらせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。本書では、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01の場合で説明してます。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- ドコモのインターネット接続サービス mopera U / moperaをご利用いただけます。mopera Uは、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続などに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、moperaは、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAのパケット通信に対応した接続先、64K データ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）の認証を行う場合は付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳しくは付属のCD-ROM内の「簡易操作マニュアル（FirstPassManual.pdf）」をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です（日本国内の場合）。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

- 管理者権限
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。
1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。
- APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。mopera Uは「mopera.net」が、moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。
- cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信または64Kデータ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

①FOMA通信設定ファイルのインストール☛P4
②パソコンとFOMA端末の接続☛P3
③FOMA通信設定ファイルの確認☛P5

▼

FOMA PC設定ソフトのインストール
- Windows XP、Windows 2000 ☛P6
- Windows Vista ☛P16

▼

(かんたん設定)
パケット通信設定
●mopera U / mopera
- Windows XP、Windows 2000 ☛P8
- Windows Vista ☛P17

●その他のプロバイダ
- Windows XP、Windows 2000 ☛P9
- Windows Vista ☛P18

(かんたん設定)
64Kデータ通信設定
●mopera U / mopera
- Windows XP、Windows 2000 ☛P10
- Windows Vista ☛P19

●その他のプロバイダ
- Windows XP、Windows 2000 ☛P11
- Windows Vista ☛P20

▼

通信実行
- Windows XP、Windows 2000 ☛P12
- Windows Vista ☛P21

切断
- Windows XP、Windows 2000 ☛P13
- Windows Vista ☛P21

▼

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定☛P23

▼

接続☛P30／切断☛P31

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- FOMA通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトをインストール／アンインストールするときは、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは「許可」または「続行」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存、終了させた後に行ってください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 接続前に必ずFOMA通信設定ファイルをインストールしておいてください。☛P4

通信モードに設定する

USBモード設定で「microSDモード」または「MTPモード」に設定している場合は、「通信モード」に設定してください。

① Menu ▶ LifeKit ▶ 2 6 ▶ 1 ▶ はい

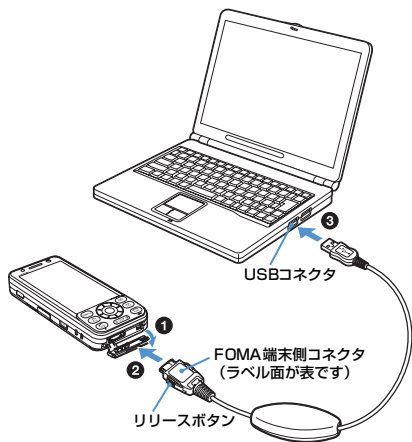
接続のしかた

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）を使って接続します。

❶ **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く**

❷ **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

❸ **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01のパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む**

- パソコンとFOMA端末を接続すると、FOMA端末の画面に[USBアイコン]が表示されます。FOMA通信設定ファイルのインストール前には[USBアイコン]は表示されません。
- FOMA通信設定ファイルのインストール前に接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

■ **取り外しかた**

パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。FOMA端末側コネクタは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因となります。

おしらせ

● データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を取り外したり、FOMA端末に衝撃を与えないでください。充電やデータ通信の切断、パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA通信設定ファイルをインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

- FOMA端末は操作1～4を行った後にパソコンに接続してください。

例 Windows XPの場合

1 付属のCD-ROMをパソコンにセット

「FOMA D905i CD-ROM」画面が表示されます。

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］▶「FOMA 通信設定ファイル（USB ドライバ）」の「インストール」をクリック

3 「FOMAinst（FOMAinst.exe）」をダブルクリック

FOMAinst.exe

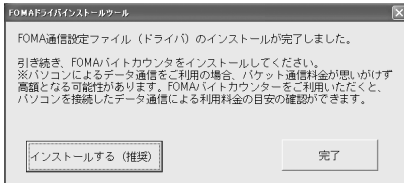
4 [インストール開始]をクリック

FOMA をパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

5 FOMA端末をパソコンに接続する☛P3

FOMA通信設定ファイルのインストールが完了すると、FOMAバイトカウンタをインストールする旨の確認画面が表示されます。

- FOMA 端末は電源が入った状態で接続してください。

6 [インストールする (推奨)] をクリックする

- FOMA バイトカウンタをインストールしないときは［完了］をクリックします。

7 「FOMA バイトカウンタ セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

8 「注意事項」を確認▶［次へ］をクリック

9 「使用許諾契約」を確認▶契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択▶［次へ］をクリック

10 インストール先を確認▶［次へ］をクリック

11 [インストール] をクリック

12 [完了] をクリック

13 [OK] をクリックし、ご利用にあわせてオプション設定を行う

- オプション設定の方法や、FOMAバイトカウンタの使い方については、「FOMA バイトカウンタ操作マニュアル」をご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイルを確認する」に進み、インストールされたデバイス名を確認してください。

14 操作6で表示された「FOMA ドライバインストールツール」画面で［完了］をクリック

おしらせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- FOMA 通信設定ファイルのインストール前にパソコンとFOMA 端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされる場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってアンインストールしてからFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルを確認する

FOMA 端末がパソコンに正しく認識されない場合、設定および通信はできません。

例 Windows XPの場合

1 [スタート] →「コントロールパネル」→ [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム] をクリック

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合：

①［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

②「システム」をダブルクリック

■ Windows Vistaの場合：

①（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」をクリック▶操作3

2 [ハードウェア] タブをクリック▶ [デバイスマネージャ] をクリック

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

3 各デバイスの種類をダブルクリック ▶ インストールされたデバイス名を確認する

次表のデバイス名がすべて表示されることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたは USB（Universal Serial Bus）コントローラ	FOMA D905i
ポート（COMとLPT）	• FOMA D905i Command Port（COMx）※1 • FOMA D905i OBEX Port（COMx）※1
モデム	FOMA D905i

※ 1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3
アンインストールをする前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

例 Windows XPの場合

1 [スタート]→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリック

■ Windows 2000の場合：
①[スタート]→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

■ Windows Vistaの場合：
①(スタート)→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリック

2 「FOMA D905i USB」を選択▶[変更と削除]をクリック

■ Windows 2000の場合：
①「FOMA D905i USB」を選択▶[変更と削除]をクリック

■ Windows Vistaの場合：
①「FOMA D905i USB」を選択▶「アンインストールと変更」をクリック

3 プログラム名を確認して[はい]をクリック

FOMA通信設定ファイルがアンインストールされます。

4 [OK]をクリック

Windows XP、Windows 2000でFOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行います。

■ 通信設定最適化
Windows XP、Windows 2000を使用する場合「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定の最適化が必要です。

■ 接続先（APN）の設定
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid1には、moperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には、mopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- FOMA PC設定ソフトVersion 4.0.0より前の古いバージョン（以降、旧「FOMA PC設定ソフト」）がインストールされている場合には、あらかじめ旧「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。バージョンは、FOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」で表示できます。
- お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA端末に付属の「W-TCP環境設定ソフト」や「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。
- FOMA PC設定ソフトを再インストールする場合は、あらかじめインストール済みのFOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

例 Windows XPの場合

1 付属のCD-ROMをパソコンにセット

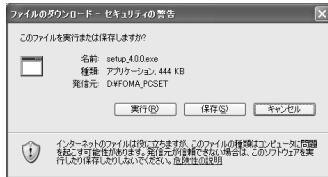
「FOMA D905i CD-ROM」画面が表示されます。

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]をクリック

つづく▶

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリック

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。画面はお使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。

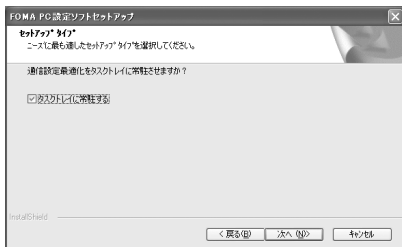
- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行］（Windows 2000では［開く］）をクリックしてください。

- **「Internet Explorer － セキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行する］をクリックしてください。

4 ［次へ］をクリック

FOMA PC 設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

5 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

6 「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

7 インストール先を確認して［次へ］をクリック

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

9 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。
- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし[完了]をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

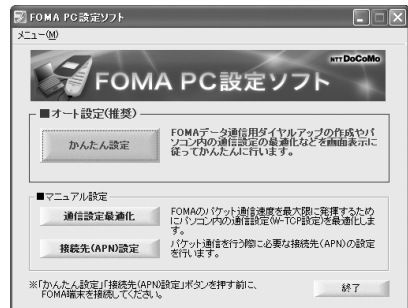
設定は FOMA 端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

FOMA PC設定ソフトを起動する

例 Windows XPの場合

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリック

■ Windows 2000の場合：
① ［スタート］→「プログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」をクリック

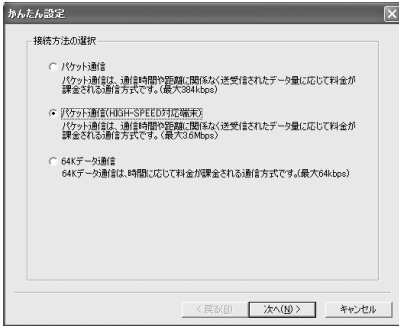
FOMA PC設定ソフトが起動します。

mopera U / moperaを利用する場合

• その他のプロバイダの場合☛P9

例 Windows XPの場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7▶［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択▶［次へ］をクリック

• moperaに接続する場合は「パケット通信」を選択します。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶［次へ］をクリック

• mopera Uを選択したときは、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックします。
• moperaは海外では利用できません。

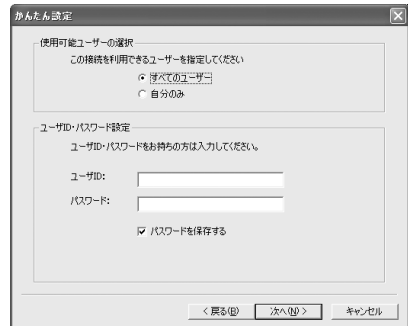
4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名と各項目を設定▶［次へ］をクリック

• 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ¥/:＊?!<>｜”
• 「発信者番号通知」は、海外で利用する場合「設定しない（推奨）」を選択してください。
• 「接続方式」は、海外で利用する場合「IP接続」を選択してください。mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しています。moperaはPPP接続のみに対応しています。

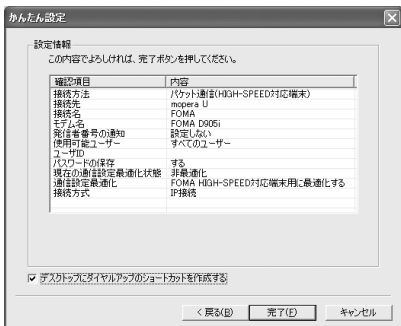
6 各項目を設定▶［次へ］をクリック

• 「ユーザID」「パスワード」は空欄でも接続できます。
• 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

• 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

つづく▶

- 操作2で「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択した場合、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は「はい」をクリックします。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合は注意してください。

8 設定情報を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 通信を実行する☛P12

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / moperaの場合☛P8

例 Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～4を行う☛P8

- 操作2の接続方法は「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択します。HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続する場合は「パケット通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 任意の接続名を入力▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。海外で利用する場合「設定しない」を選択してください。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）：

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。

- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が設定されています。

cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

① ［追加］をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

② ご利用のプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）と接続方式を設定▶［OK］をクリック

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。
- 「接続方式」については、ご利用になるプロバイダに確認してください。

つづく▶

4 ［OK］をクリック

操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作３で設定した接続先（APN）と接続方式が表示されます。

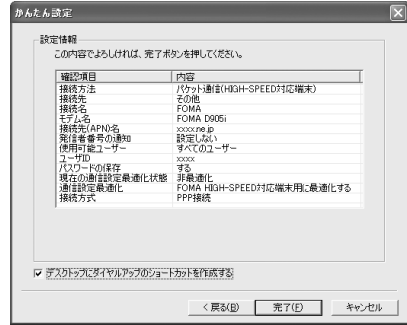
5 「接続先（APN）の選択」の接続先（APN）を確認して［次へ］をクリック

6 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。
- 操作1で「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択した場合、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は「はい」をクリックします。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合は注意してください。

8 設定情報を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 通信を実行する☛P12

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

設定は FOMA 端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P11

例 Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～3を行う☛P8

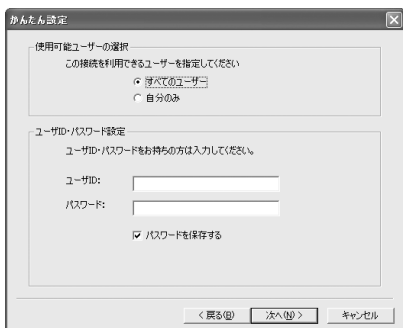
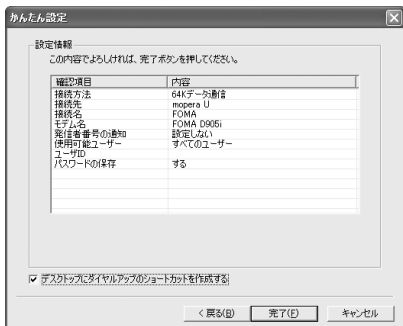
- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
- 操作３の接続先は「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択します。

2 任意の接続名と各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「モデムの選択」が「FOMA D905i」に設定されていることを確認します。

- ダイヤルアップ時に発信者番号通知をするかどうかを選択してください。mopera U および mopera接続では発信者番号通知が必要です。

3 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

- 通信を実行する☛P12

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / moperaの場合☛P10

例 Windows XPの場合

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～3を行う☛P8

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 次の項目を登録します。
  - ・接続名　：任意
  - ・モデムの選択　：FOMA D905i
  - ・電話番号　：プロバイダなどから提供された情報をもとに入力
  - ・発信者番号通知：ご利用になるプロバイダの指示情報に従って選択

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）：

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。

- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。

つづく▶

・「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

・通信を実行する☛P12

通信を実行する

FOMA PC 設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

例 Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する☛P3

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

・アイコンはOSによって異なります。

・デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

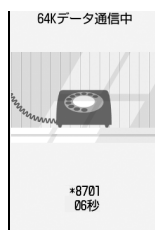
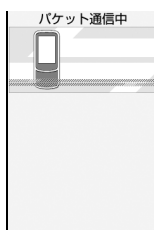
■ Windows XPのスタートメニューから起動：
①［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック
②接続先をダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから起動：
①［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック
②接続先をダブルクリック

3 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

・mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
・ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報をもとに「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
・OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK]をクリックしてください。

■ 通信中のFOMA端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
● データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
● D905i以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末のFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

つづく▶

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

例 Windows XPの場合

1 タスクトレイの をクリック

2 ［切断］をクリック

パケット通信の設定を最適化する

「通信設定最適化」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化します。
「通信設定最適化」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定最適化が必要です。

- 海外で利用する場合は、通信設定最適化を解除してください。

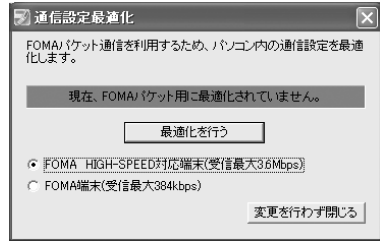
Windows XPの場合

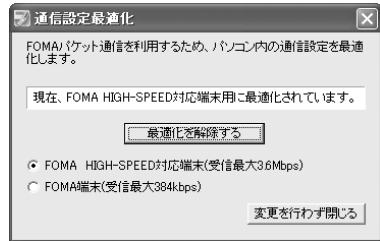
ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7**▶［通信設定最適化］をクリック**

■ **タスクトレイから起動：をクリック**

2 次の操作を行う

■ **システム設定が最適化されていないとき：**
次の画面が表示されます。

- HIGH-SPEED 対応のアクセスポイントを利用する場合：
  ①「FOMA HIGH-SPEED 対応端末（受信最大3.6Mbps)」を選択し、［最適化を行う］をクリック
  ②［はい］をクリック
- HIGH-SPEED に対応していないアクセスポイントを利用する場合：
  ①「FOMA端末（受信最大384kbps)」を選択し、［最適化を行う］をクリック
  ②最適化するダイヤルアップを選択し［実行］をクリック

■ **システム設定が最適化されているとき：**
次の画面が表示されます。［変更を行わず閉じる］をクリックしてください。

3 画面に従ってパソコンを再起動

- 設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000の場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7**▶［通信設定最適化］をクリック**

■ **タスクトレイから起動：をクリック**

2 次の操作を行う

- HIGH-SPEED 対応のアクセスポイントを利用する場合：
  ①「FOMA HIGH-SPEED 対応端末（受信最大3.6Mbps)」を選択し、［最適化を行う］をクリック
  ②［はい］をクリック

つづく▶

- HIGH-SPEED　に対応していないアクセスポイントを利用する場合：
  ①「FOMA 端末（受信最大 384kbps）」を選択し、［最適化を行う］をクリック

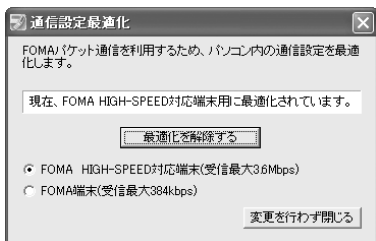
3 画面に従ってパソコンを再起動する

- 設定した内容は再起動後に有効になります。

最適化を解除する

- 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合は、最適化を解除してください。

Windows XPの場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7▶［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 ［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

- 設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000の場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7▶［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 ［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

- 設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。

お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が設定されています。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P3
- mopera U / mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例　Windows XPの場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P7▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2 ［OK］をクリック

FOMA端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加する：［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集または修正する：対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除する：対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［削除］をクリック

- cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません（cid1またはcid3を選択して［削除］をクリックしても、実際には削除されず、元に戻ります）。

■ ファイルへ保存する：「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込む：「ファイル」→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

つづく▶

■ FOMA 端末から接続先（APN）情報を読み込む：「ファイル」→「FOMA 端末から設定を取得」をクリック

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込む：[FOMA端末へ設定を書き込む] をクリック

表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成する：

①追加、編集された接続先（APN）を選択▶[ダイヤルアップ作成] をクリック

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

②[はい] をクリック▶ [OK] をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③任意の接続名を入力し、発信者番号の通知方法を選択▶[ユーザID･パスワードの設定]をクリック

④各項目を設定▶ [OK] をクリック

- mopera U / moperaの場合は空欄でも接続できます。
- 「使用可能ユーザーの選択」で「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
- ご利用のプロバイダなどから、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、[OK] をクリックしてください。

⑤[OK] をクリック▶ [OK] をクリック

⑥[FOMA端末へ設定を書き込む] をクリック

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑦[はい]をクリック▶ [OK] をクリック

おしらせ

- 接続先（APN）設定はFOMA 端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールを実行する前に

タスクトレイのを右クリックし、「終了」をクリックして、「通信設定最適化」を終了してください。

アンインストールする

例 Windows XPの場合

1 **[スタート] →「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリック**

■ Windows 2000の場合：

①[スタート] →「設定」→「コントロールパネル」をクリック

②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

2 **「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択▶ [削除] をクリック**

■ Windows 2000の場合：

①「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶ [変更と削除] をクリック

3 **削除するプログラム名を確認して [はい] をクリック**

FOMA PC 設定ソフトのアンインストールを開始します。

■「通信設定最適化」を解除する：

通信設定が最適化されている場合は確認画面が表示されます。

- 通常は ［はい］ をクリックして、最適化を解除してください。
- 再起動の確認画面が表示されたら、今すぐ再起動するかどうかを選び［完了］をクリックします。
- 「通信設定最適化」の解除は、パソコンの再起動後に行われます。

4 **[完了] をクリック**

Windows VistaでFOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ かんたん設定
ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行います。

■ 接続先（APN）の設定
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid1には、moperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には、mopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

1 付属のCD-ROMをパソコンにセット
「FOMA D905i CD-ROM」画面が表示されます。

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］をクリック

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリック

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合**
  ［実行］をクリックしてください。

4 ［次へ］をクリック
FOMA PC 設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

5 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

6 インストール先を確認して［次へ］をクリック

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

8 ［完了］をクリック
FOMA PC設定ソフトが起動します。
- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

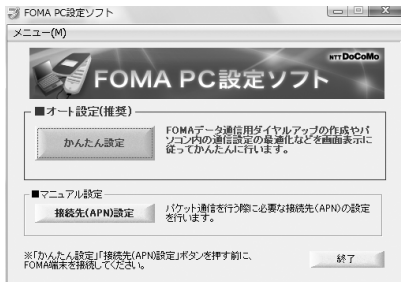
● インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし[完了]をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

設定は FOMA 端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

FOMA PC設定ソフトを起動する

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。

mopera U / moperaを利用する場合

• その他のプロバイダの場合☛P18

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P17▶［かんたん設定］をクリック

2 「パケット通信」を選択▶［次へ］をクリック

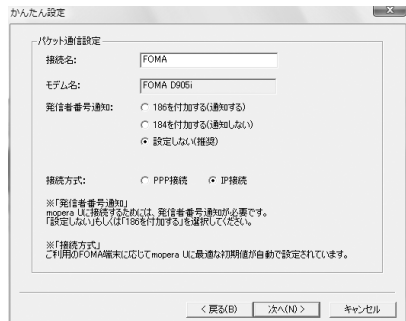
3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶［次へ］をクリック

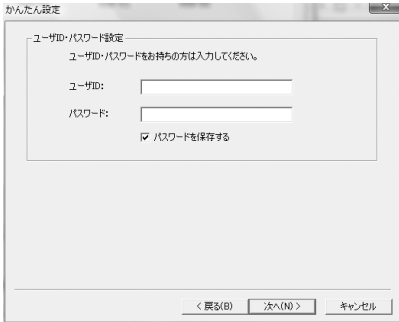
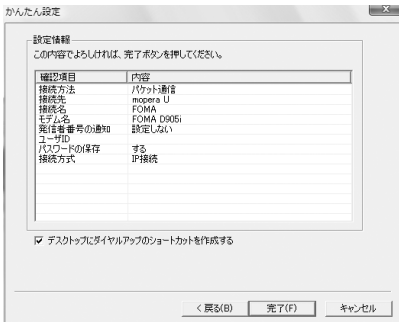
• mopera Uを選択したときは、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックします。
• moperaは、海外では利用できません。

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名と各項目を設定▶［次へ］をクリック

• 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
¥/:＊?!<>｜”
• 「発信者番号通知」は、海外で利用する場合「設定しない（推奨）」を選択してください。
• 「接続方式」は、海外で利用する場合「IP接続」を選択してください。mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しています。moperaはPPP接続のみに対応しています。

6 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でも接続できます。

7 設定情報を確認して［完了］をクリック

8 ［OK］をクリック

- 通信を実行する☛P21

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / moperaの場合☛P17

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～4を行う☛P17

- 操作2の接続方法は「パケット通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 任意の接続名を入力▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。海外で利用する場合「設定しない」を選択してください。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）：

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。

- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が設定されています。

cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

① ［追加］をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

② ご利用のプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）と接続方式を設定▶［OK］をクリック

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。
- 「接続方式」については、ご利用になるプロバイダに確認してください。

つづく▶

4 ［OK］をクリック

操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作３で設定した接続先（APN）と接続方式が表示されます。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先（APN）を確認して［次へ］をクリック

6 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。

7 設定情報を確認して［完了］をクリック

8 ［OK］をクリック

- 通信を実行する☛P21

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

設定は FOMA 端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P3

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P20

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～3を行う☛P17

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
- 操作３の接続先は「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択します。

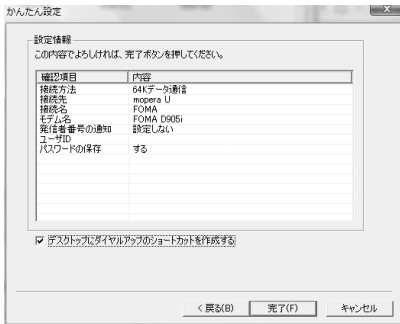
2 任意の接続名と各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- 「モデムの選択」が「FOMA D905i」に設定されていることを確認します。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知をするかどうかを選択してください。mopera U および mopera接続では発信者番号通知が必要です。

3 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」については空欄でも接続できます。

つづく▶

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

- 通信を実行する☛P21

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / moperaの場合☛P19

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～3を行う☛P17

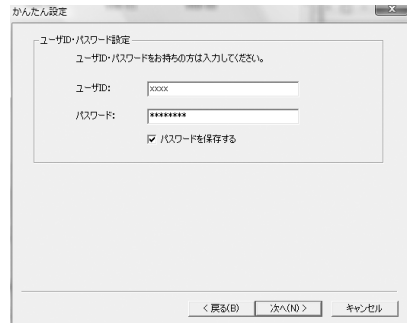
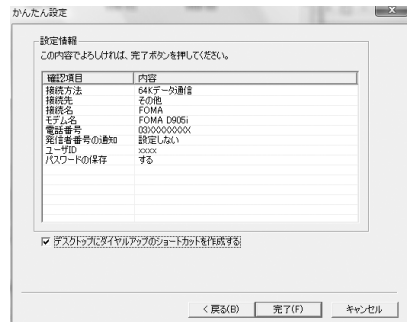
- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。
- 操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 次の項目を登録します。
  - ・接続名　：任意
  - ・モデムの選択　：FOMA D905i
  - ・電話番号　：プロバイダなどから提供された情報をもとに入力します。
  - ・発信者番号通知　：ご利用になるプロバイダの指示情報に従って選択します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。
- ダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、プロバイダなどから提供された各種情報をもとにアドレスなどを登録してください。

3 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意して入力してください。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

- 通信を実行する☛P21

通信を実行する

FOMA PC 設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する☛P3

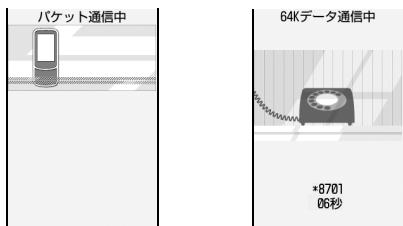
2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

・デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。
①（スタート）→「接続先」をクリック
②接続先をダブルクリック

3 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

・mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
・ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報をもとに「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。

■ 通信中のFOMA端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
● データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
● D905i以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末のFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 （スタート）→「接続先」をクリック

2 接続しているダイヤルアップを選択 ▶［切断］をクリック

3 ［閉じる］をクリック

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。
接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。
お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が設定されています。

・設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P3
・mopera U / mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動☛P17▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2 [OK] をクリック

FOMA端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ **接続先（APN）を追加する：[追加] をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を編集または修正する：対象の接続先（APN）を一覧から選択 ▶ [編集] をクリック**

■ **登録済みの接続先（APN）を削除する：対象の接続先（APN）を一覧から選択▶ [削除] をクリック**

- cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません（cid1またはcid3を選択して [削除] をクリックしても、実際には削除されず、元に戻ります）。

■ **ファイルへ保存する：「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック**

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ **ファイルから読み込む：「ファイル」→「開く」をクリック**

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ **FOMA 端末から接続先（APN）情報を読み込む：「ファイル」→「FOMA 端末から設定を取得」をクリック**

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ **FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込む：[FOMA端末へ設定を書き込む] をクリック**

表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ **ダイヤルアップを作成する：**

① 追加、編集された接続先（APN）を選択 ▶ [ダイヤルアップ作成] をクリック

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

② [はい] をクリック▶ [OK] をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ 任意の接続名を入力し、発信者番号の通知方法を選択▶[ユーザID・パスワードの設定]をクリック

④ 各項目を設定▶ [OK] をクリック

- mopera U / moperaの場合は空欄でも接続できます。
- ご利用のプロバイダなどから、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で [詳細情報の設定] をクリックし、必要な情報を登録後、[OK] をクリックしてください。

⑤ [OK] をクリック▶ [OK] をクリック

⑥ [FOMA端末へ設定を書き込む] をクリック

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑦ [はい]をクリック▶ [OK] をクリック

おしらせ

- 接続先（APN）設定は FOMA 端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールする

1 (スタート) →「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択▶ [アンインストール] をクリック

3 削除するプログラム名を確認して [はい] をクリック

FOMA PC 設定ソフトのアンインストールを開始します。

4 [完了] をクリック

FOMA PC 設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC 設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

設定操作の流れ

①FOMA通信設定ファイルのインストール☛P4
②パソコンとFOMA端末の接続☛P3
③FOMA通信設定ファイルの確認☛P5

▼

接続先（APN）の設定※1☛P23
（64Kデータ通信の場合、パケット通信の接続先がmopera U / moperaの場合は、設定不要）

▼

発信者番号通知／非通知の設定※1☛P24
（必要に応じて設定）

▼

その他の設定（ATコマンド）※1☛P31
（必要に応じて設定）

▼

ダイヤルアップネットワークの設定

ご使用のOS	設定	
	接続先	TCP/IP
Windows XP	P25	P26
Windows 2000	P27	P28
Windows Vista	P29	P30

• 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

▼

接続☛P30／切断☛P31

※1：Windows Vistaでは、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。

おしらせ

● 操作の途中で「既定の Telnetプログラムにしますか？」が表示された場合は、[はい] または [いいえ] をクリックしてください。
● 操作の途中で「所在地情報」画面が表示された場合は、所在地のダイヤル情報を設定し［OK］をクリックします。設定したダイヤル情報が「電話とモデムのオプション」画面に表示されますので［OK］をクリックしてください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定を行うには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows XP、Windows 2000 の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vista は「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista 対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

お買い上げ時　cid1：mopera.ne.jp
cid3：mopera.net
cid2、4～10：未登録

例　Windows XPの場合

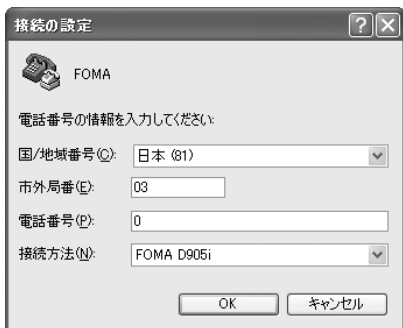
1 **パソコンとFOMA端末を接続する☛P3**

2 **［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリック**

• Windows 2000 の場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

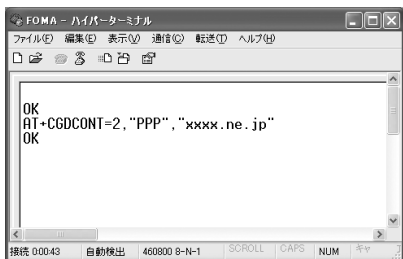
3 **「名前」に接続先名など任意の名前を入力▶［OK］をクリック**

4 **「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D905i」を選択▶［OK］をクリック**

• 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を入力▶ ⏎ を押す

• 「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力します。

＜cid＞：2、4～10の任意の番号を入力します。
"＜PDP_TYPE＞"：“IP”または“PPP”と入力します。
"＜APN＞"：接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき：AT+CGDCONT= ⏎

すべてのcidをリセットします。

• ＜cid＞=1と3はお買い上げ時の設定に戻り、＜cid＞=2、4～10の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT=＜cid＞ ⏎

特定のcidをリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき：AT+CGDCONT? ⏎

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1 ⏎

• 詳細☞P36

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

• 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に［はい］をクリックします。
• 「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか？」または「セッション“XXX”を保存しますか？」の表示後に［いいえ］をクリックします。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～10に設定できます。お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

• 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
• 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録と考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

• 登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

• mopera U / moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定します。

お買い上げ時 設定なし

例 Windows XPの場合

1 「パケット通信の接続先（APN）を設定する」の操作1～5を行う☞P23

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定

「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ⏎

パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ⏎

パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

つづく▶

■ ATコマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1 ⏎
・詳細☛P36

3 「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

・「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に［はい］をクリックします。
・「“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか?」または「セッション“XXX”を保存しますか？」の表示後に［いいえ］をクリックします。

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。AT＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

・AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択▶［次へ］をクリック

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択▶［次へ］をクリック

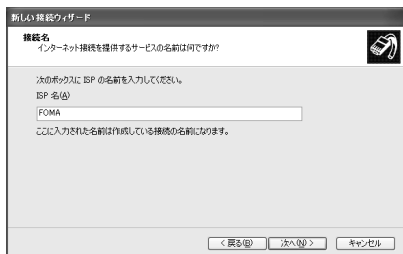
インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶［次へ］をクリック

デバイスの選択画面が表示されます。
・インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。

7 「モデム－FOMA D905i（COMx）※1」を選択▶［次へ］をクリック

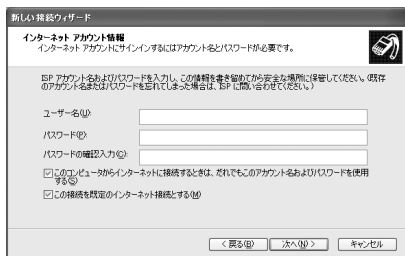
・「モデム－FOMA D905i（COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。
※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。

8 「ISP名」に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリック

9 「電話番号」に接続先の番号（半角）を入力▶［次へ］をクリック

・パケット通信の場合＊99＊＊＊<cid>#を入力します。
　・<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P23）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3#、moperaは＊99＊＊＊1#となります。
・64Kデータ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。

・mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。

10 各項目を設定▶［次へ］をクリック

• 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」については空欄でも接続できます。他の項目は必要に応じて設定します。

11 ［完了］をクリック

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

• ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先を選択▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

• 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA D905i（COMx）※1」を選択します。
• 「モデム－ FOMA D905i （COMx）※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

※1： COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。

• 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認

• 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
• 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は変更できませんので、そのままにしてください。

4 ［設定］をクリック

5 **すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック**

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 **［OK］をクリック**

Windows 2000 でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 **［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック**

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 **［新しい接続の作成］をダブルクリック**

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

3 **［次へ］をクリック**

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 **「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶［次へ］をクリック**

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

5 **「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択▶［次へ］をクリック**

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

6 **「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶［次へ］をクリック**

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作8に進みます。

7 **「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D905i」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック**

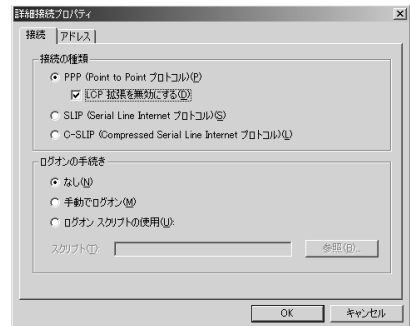
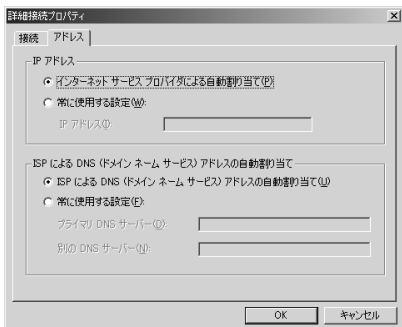
インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D905i」に設定されていない場合は、「FOMA D905i」に設定してください。

8 **「電話番号」に接続先の番号（半角）を入力▶［詳細設定］をクリック**

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。
- パケット通信の場合＊99＊＊＊<cid>#を入力します。
  - ・<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P23）で登録したcid番号を入力します。mopera U は＊ 99 ＊＊＊ 3 #、moperaは＊99＊＊＊1#となります。
- 64K データ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。
  - ・mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。

9 **［接続］タブの各項目を以下のように設定**

つづく▶

10 ［アドレス］タブをクリック▶各項目を以下のように設定

11 ［OK］をクリック

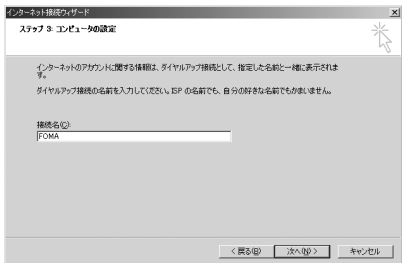
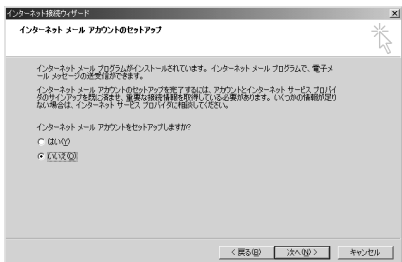
インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

12 ［次へ］をクリック

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

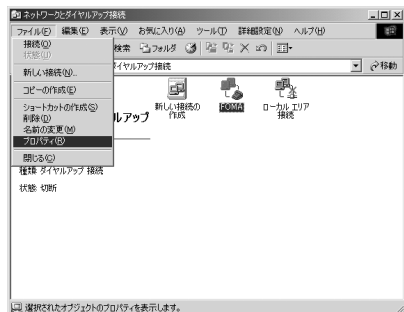
13 各項目を設定▶［次へ］をクリック

- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

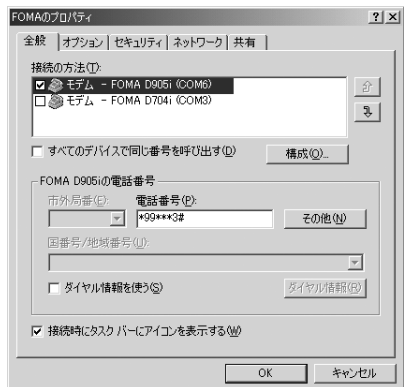
14 「接続名」に任意の接続名を入力▶［次へ］をクリック

15 「いいえ」を選択▶［次へ］をクリック

16 ［完了］をクリック

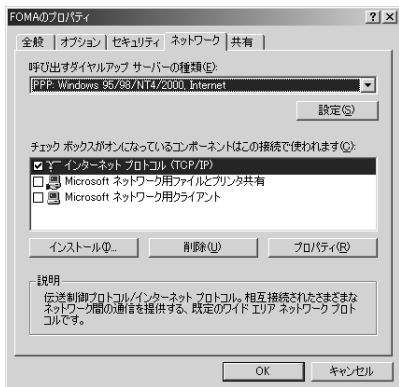
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－ FOMA D905i (COMx) ※1」を選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「モデム－ FOMA D905i (COMx) ※1」のみチェックが入っていることを確認してください。
  ※1：COMxのxはお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

つづく▶

3 ［ネットワーク］タブをクリック▶各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリック

Windows Vista でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続する☛P3

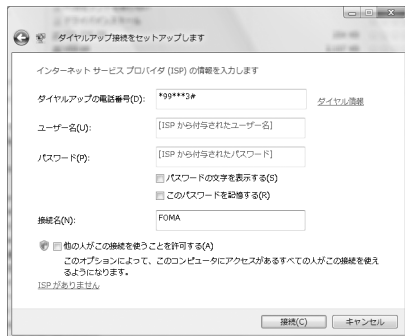
2 （スタート）▶「接続先」をクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択▶「次へ」をクリック

■「どのモデムを使いますか？」と表示された場合：
「FOMA D905iモデム」をクリック

5 各項目を設定▶［接続］をクリック

- 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先を入力します。
  - ・パケット通信の場合、＊99＊＊＊＜cid＞＃を入力します。
    ＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P23）で登録したcid番号を入力します。mopera U は＊99＊＊＊3＃、moperaは＊99＊＊＊1＃となります。
  - ・64Kデータ通信の場合、接続先の電話番号を入力します。
    mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 接続先が mopera U/mopera の場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- 「接続名」には次の半角記号は入力できません。
  ￥ / : ＊ ? ＜ ＞ |

6 「FOMA に接続中...」と表示されたら［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

つづく▶

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 (スタート)▶「接続先」をクリック

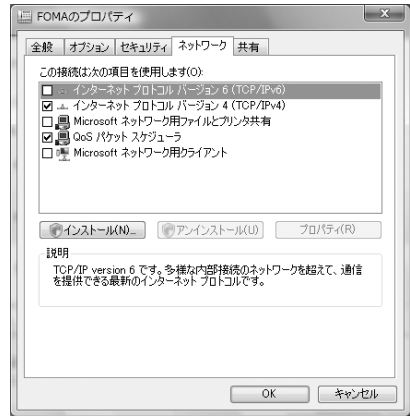
2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

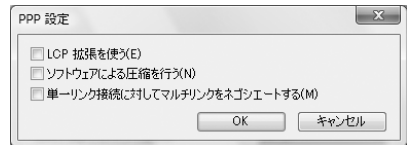
3 [全般]タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－ FOMA D905i (COMx) ※1」を選択します。
- 「モデム－ FOMA D905i (COMx) ※1」のみチェックが入っていることを確認してください。

  ※1:COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

4 [ネットワーク]タブをクリック▶各項目を設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)」を非選択(□)にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し[プロパティ]をクリックして、各種情報を設定してください。
- 「QoS パケットスケジューラ」はプロバイダなどの指示に従って必要に応じて選択してください。

5 [オプション]タブをクリック▶[PPP 設定]をクリック

6 すべての項目を非選択(□)に設定▶[OK]をクリック

7 [OK]をクリック

ダイヤルアップ接続する

パケット通信/64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する☛P3

2 [スタート]→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合:

①[スタート]→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

■ Windows Vistaの場合:

①(スタート)→「接続先」をクリック

3 接続先をダブルクリック

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

- 「ダイヤル」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK]をクリックしてください。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

例 Windows XPの場合

1 タスクトレイのをクリック▶［切断］をクリック

■ Windows 2000の場合：
①タスクトレイのをクリック ▶ ［切断］をクリック

■ Windows Vistaの場合：
①（スタート）→「接続先」をクリック
②接続しているダイヤルアップを選択→「切断」をクリック

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA端末は、ATコマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

■ ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に「AT」を付けて入力します。半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊3#⏎
コマンド　パラメータ　Enterキーを押します

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160文字（「AT」含む）まで入力できます。

■ ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

つづく▶

おしらせ

● 外部接続機器から64Kデータ通信／テレビ電話通信を行う場合、2in1がAモードまたはデュアルモードのときはAナンバーで発信します。BモードのときはBナンバーで発信します。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※1のER信号をOFFにします。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

※ 1：USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

- AT コマンド入力時に、使用している PC や通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのはFOMA D905i Modem Portで使用できるATコマンドです。

※１　：AT&Fコマンドで設定が初期化されます。
※２　：AT&WコマンドでFOMA端末に記憶でき、ATZコマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがないATコマンドです。
[　]　：省略できるパラメータです。

コマンド		概要・パラメータ					
AT		ATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を表示します。					
	例	設定	AT	表示	なし	テスト	なし
AT%V		FOMA端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。					
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]		DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。 n=0:回路CD信号を常にONにします。（パラメータ省略時） n=1:回路CD信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]		オンラインデータモードの場合に、DTEから受け取る回路ER信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0:ER信号の状態を無視します（常にON）。（パラメータ省略時） n=1:ER信号がONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER信号がONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインモードになります。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&E[n]		接続時の速度表示仕様を選択します。 ATXコマンドがn=0以外の場合に有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	AT&E1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]		FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断（「NO CARRIER」を表示）してからお買い上げ時の状態に戻します。					
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし
AT&S[n]		FOMA端末の出力するDR信号の制御を設定します。 n=0:常にONにします。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:回線接続時にDR信号をONにします。					
※1、※2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]		現在の設定値をFOMA端末に書き込みます。					
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT*DANTE		電波の強さ（受信レベル）を「*DANTE:m」の形式で表示します。 m=0:圏外　m=1～3:FOMA端末に表示されるアンテナの本数（m=1:0本または1本）。					
	例	設定	AT*DANTE	表示	AT*DANTE?	テスト	AT*DANTE=?
AT*DGANSM=n		パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0:着信拒否設定と着信許可設定をOFFにします。（お買い上げ時） n=1:着信拒否設定をONにします。　n=2:着信許可設定をONにします。					
	例	設定	AT*DGANSM=0	表示	AT*DGANSM?	テスト	AT*DGANSM=?
AT*DGAPL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信許可リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。					
	例	設定	AT*DGAPL=0,1	表示	AT*DGAPL?	テスト	AT*DGAPL=?

つづく▶

コマンド		概要・パラメータ					
AT*DGARL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信拒否リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。					
	例	設定	AT*DGARL=0,1	表示	AT*DGARL?	テスト	AT*DGARL=?
AT*DGPIR=n		パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0:パケット通信確立時に、APNをそのまま使用します。(お買い上げ時) n=1:パケット通信確立時に、APNに「184」を付けます。 n=2:パケット通信確立時に、APNに「186」を付けます。					
	例	設定	AT*DGPIR=0	表示	AT*DGPIR?	テスト	AT*DGPIR=?
AT*DRPW		受信電力指標を「*DRPW:m」の形式で表示します。m:0～75					
	例	設定	AT*DRPW	表示	なし	テスト	AT*DRPW=?
+++		FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1秒間の固定です。					
	例	設定	+++	表示	なし	テスト	なし
AT+CAOC		直前の通話料を表示します。					
	例	設定	AT+CAOC	表示	AT+CAOC?	テスト	AT+CAOC=?
AT+CBC		FOMA端末の電池残量を「+CBC:bcs,bcl」の形式で表示します。 bcs=0: 電池パックから電源の供給あり bcs=1: 電池パックから電源の供給なし bcs=2: 電池パックが取り外されている bcs=3: 電源供給エラー bcl=0: 電池残量なしまたは電池パックが取り外されている bcl=1～100: 電池残量あり					
	例	設定	AT+CBC	表示	なし	テスト	AT+CBC=?
AT+CBST=n,1,0		利用する回線を設定します(ベアラサービス設定)。 n=116: 64Kデータ通信(お買い上げ時) n=134: 64Kテレビ電話					
※1、※2	例	設定	AT+CBST=116,1,0	表示	AT+CBST?	テスト	AT+CBST=?
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。☛P38					
	例	設定	AT+CEER	表示	なし	テスト	AT+CEER=?
AT+CGDCONT		パケット通信時の接続先(APN)を設定します。☛P38					
AT+CGEQMIN		パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準を登録します。☛P38					
AT+CGEQREQ		パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。☛P39					
AT+CGMR		FOMA端末のバージョンを16桁の数字で表示します。					
	例	設定	AT+CGMR	表示	なし	テスト	AT+CGMR=?
AT+CGREG=[n]		ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。 n=0:通知しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。 stat=0:圏外　stat=1:圏内(home)　stat=4:不明　stat=5:圏内(visitor)					
※1、※2	例	設定	AT+CGREG=1	表示	AT+CGREG?	テスト	AT+CGREG=?
AT+CGSN		FOMA端末の製造番号を表示します。					
	例	設定	AT+CGSN	表示	なし	テスト	AT+CGSN=?
AT+CLIP=[n]		64Kデータ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。 n=0:表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:表示します。 AT+CLIP?を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0:発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定 m=1:発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2:不明					
※1、※2	例	設定	AT+CLIP=0	表示	AT+CLIP?	テスト	AT+CLIP=?
AT+CLIR=[n]		64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0:サービス契約の設定に従います。(パラメータ省略時)　n=1:通知しません。 n=2:通知します。(お買い上げ時) AT+CLIR?を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。 m=0:CLIRが起動していません。(常時通知)　m=1:CLIRが起動しています。(常時非通知) m=2:不明　m=3:CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) m=4:CLIRテンポラリーモード(通知デフォルト)					
	例	設定	AT+CLIR=0	表示	AT+CLIR?	テスト	AT+CLIR=?

つづく▶

<table>
<tr><th colspan="2">コマンド</th><th colspan="6">概要・パラメータ</th></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CMEE=[n]</td><td colspan="6">FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P38
n=0:「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は数字）で表示します。
n=2:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は文字）で表示します。</td></tr>
<tr><td>※1、※2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CMEE=0</td><td>表示</td><td>AT+CMEE?</td><td>テスト</td><td>AT+CMEE=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CNUM</td><td colspan="6">FOMA端末の自局番号を表示します。「+CNUM:, “number”,type」の形式で表示します。
number:電話番号
type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CNUM</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CNUM=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+COPS=n,2,oper</td><td colspan="6">接続する通信業者の選択方法を設定します。
n=0: オート（ネットワークを自動検索して接続します。）（お買い上げ時）
n=1: マニュアル（operに指定した通信業者に接続します。）
n=2: 通信業者との接続を解除（切断）します。
n=3: マッピングしません。
n=4: operに指定された通信業者に接続できなかったとき、自動検索して接続します。
oper: PLMN Numberを16進数で設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+COPS=1</td><td>表示</td><td>AT+COPS？</td><td>テスト</td><td>AT+COPS=？</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CPAS</td><td colspan="6">FOMA端末が外部機器と制御信号を送受信できる状態かどうかを「+CPAS:n」の形式で表示します。
n=0: 可能　n=1: 不可能　n=2: 不明　n=3: 可能かつ着信中　n=4: 可能かつ通信中</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CPAS</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CPAS=？</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CPIN=“pin”
[,“newpin”]</td><td colspan="6">PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードが入力要求されたときにこれらのコード入力します。AT+CPIN？を入力すると現在の状態を「+CPIN:code」の形式で表示します。codeの値によって、次表のようにpin、newpinを指定してAT+CPIN=“pin”[,“newpin”]を実行します。
<table>
<tr><th>code</th><th>状態</th><th>pin</th><th>newpin</th></tr>
<tr><td>READY</td><td>入力要求なし</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>SIM PIN</td><td>PIN1コード入力待ち</td><td>PIN1コード</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>SIM PIN2</td><td>PIN2コード入力待ち</td><td>PIN2コード</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>SIM PUK</td><td>PIN1ロック状態</td><td>PINロック解除コード</td><td>新しいPIN1コード</td></tr>
<tr><td>SIM PUK2</td><td>PIN2ロック状態</td><td>PINロック解除コード</td><td>新しいPIN2コード</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CPIN= “0000”</td><td>表示</td><td>AT+CPIN？</td><td>テスト</td><td>AT+CPIN=？</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CR=[n]</td><td colspan="6">回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別（パケット通信または64Kデータ通信）を表示するかどうかを設定します。
n=0:表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。
serv=SYNC:64Kデータ通信　serv=GPRS:パケット通信</td></tr>
<tr><td>※1、※2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CR=0</td><td>表示</td><td>AT+CR?</td><td>テスト</td><td>AT+CR=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CRC=[n]</td><td colspan="6">着信時に+CRING:typeのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。
n=0:+CRING:typeのリザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:+CRING:typeのリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。
パケット通信　… +CRING:GPRS “PPP”,,, “mopera.net”
64Kデータ通信 … +CRING:SYNC</td></tr>
<tr><td>※1、※2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CRC=0</td><td>表示</td><td>AT+CRC?</td><td>テスト</td><td>AT+CRC=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CREG=[n]</td><td colspan="6">圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。
n=0:表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）　n=1:表示します。
AT+CREG?を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。
stat=0:圏外　stat=1:圏内(home)　stat=4:不明　stat=5:圏内(visitor)</td></tr>
<tr><td>※1、※2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CREG=0</td><td>表示</td><td>AT+CREG?</td><td>テスト</td><td>AT+CREG=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CUSD=n,“str”[,0]</td><td colspan="6">ネットワークサービスの追加サービス（USSD）の問合せや設定を行います。
n=0:中間リザルトを応答しません。（お買い上げ時）
n=1: 中間リザルトコードを「+CUSD:m, “str”,0」の形式で表示します。
m=0: 情報を要求しない　m=1: 情報を要求する
str: ドコモから通知されたサービスコード</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CUSD=1,
“*148*1*0000#”,0</td><td>表示</td><td>AT+CUSD？</td><td>テスト</td><td>AT+CUSD=？</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+FCLASS=0</td><td colspan="6">FOMA端末がサポートする通信種別を設定します（設定値は変更できません）。データのみサポートします。</td></tr>
<tr><td>※1、※2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+FCLASS=0</td><td>表示</td><td>AT+FCLASS？</td><td>テスト</td><td>AT+FCLASS=？</td></tr>
</table>

つづく▶

コマンド		概要・パラメータ					
AT+GCAP		FOMA 端末がサポートしているAT コマンドの範囲を「+GCAP: n,n,n」の形式で表示します。 n=+CGSM: GSMコマンドの一部またはすべてをサポート n=+FCLASS: +FCLASSコマンドをサポート n=+W: +Wコマンドをサポート					
	例	設定	AT+GCAP	表示	なし	テスト	AT+GCAP=?
AT+GMI		FOMA端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 nはDCE by DTEの制御を設定します。 n=0:フロー制御しません。　n=1:XON/XOFFフロー制御します。 n=2:RS/CS(RTS/CTS)フロー制御します。（お買い上げ時） mはDTE by DCEの制御を設定します。省略するとDCE by DTEと同じ入力値になります。 m=0:フロー制御しません。　m=1:XON/XOFFフロー制御します。 m=2:RS/CS(RTS/CTS)フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2になります。					
※1、※2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時にFOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※1、※2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
ATA		パケット通信、64Kデータ通信の着信時に着信処理をします。パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184:発信者番号通知なし着信　ATA186:発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または64Kデータ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD＊99＊＊＊cid#」の形式で入力します。cidパラメータを省略すると、cid=1になります。 「ATD184＊99」で始まる形式で入力した場合、指定したcidパラメータのAPNに対して184（発信者番号通知なし）が付加されます（186でも同様です）。 ・64Kデータ通信…「ATD電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD電話番号	表示	なし	テスト	なし
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0:エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1:エコーバックします。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA端末の機種名を表示します。　n=2:FOMA端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0:リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1:リザルトコードを表示しません。					
※1、※2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0:数字で表示します。（パラメータ省略時） n=1:文字で表示します。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし

つづく▶

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。(パラメータ省略時) n=1:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。(お買い上げ時)					
※1、※2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定をAT&Wで記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または64Kデータ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA端末で自動着信するまでの呼出(RING)回数を設定します。 n=0:自動着信しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1～255					
※1、※2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0～127(43:お買い上げ時、0:パラメータ省略時、127:エスケープ処理を無効にする)					
※1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰(CR)キャラクタを設定します(設定値は変更できません)。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。					
※1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行(LF)キャラクタの設定をします(設定値は変更できません)。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰(CR)キャラクタの次に付けられます。					
※1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		ATコマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース(BS)キャラクタを設定します(設定値は変更できません)。					
※1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2～10:単位は秒。(5:お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能(ポーズ時間)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は3秒で固定です。 n=0～255:単位は秒。(3:お買い上げ時、0:パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1～255:単位は1/10秒。(1:お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1、※2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64Kデータ通信の場合に有効です。 n=1～255:単位は分。 n=0:切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64Kデータ通信の場合に有効です。 n=0:＊(パラメータ省略時) n=1:/(お買い上げ時) n=2:¥					
※1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64Kデータ通信の場合に有効です。 n=0:#(パラメータ省略時) n=1:%(お買い上げ時) n=2:&					
※1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容とSレジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATXコマンドのパラメータがn=1～4の場合に有効です。 n=0:拡張リザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:拡張リザルトコードを使用します。					
※1、※2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しない、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
1	no connection to phone	FOMA端末が接続されていません。
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT＝［パラメータ］

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。

書式

AT+CGDCONT＝［＜cid＞［，"＜PDP_TYPE＞"［，"＜APN＞"］］］

パラメータ説明

＜cid＞：1～10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。
<PDP_TYPE>：IPまたはPPP
＜APN＞：任意

実行例

「abc」というAPN名をPPP接続で登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
AT+CGDCONT=2，"PPP"，"abc"

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
　すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞=1」と「＜cid＞=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=＜cid＞
　指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞=1」と「＜cid＞=3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGDCONT？
　現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

書式

AT+CGEQMIN=[＜cid＞[，，＜Maximum bitrate UL＞［，＜Maximum bitrate DL＞]]]

パラメータ説明

＜cid＞：1～10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。
＜Maximum bitrate UL＞：なしまたは384
＜Maximum bitrate DL＞：なしまたは3648
　「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「3648」を設定した場合、これらの速度未満の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

実行例

(1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
　AT+CGEQMIN=2
(2) 上り384kbps／下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
　AT+CGEQMIN=4,,384,3648
(3) 上り384kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
　AT+CGEQMIN=5,,384
(4) 上りすべての速度／下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド(＜cid＞=6の場合)
　AT+CGEQMIN=6,,,3648

つづく▶

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=
　すべての＜cid＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN=＜cid＞
　指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？
　現在の設定を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQREQ=［パラメータ］

PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

書式

AT+CGEQREQ=[＜cid＞]

パラメータ説明

上り 384kbps／下り 3648kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜cid＞：1～10
　お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

実行例

（＜cid＞=2の場合）
AT+CGEQREQ=2

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=
　すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=＜cid＞
　指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQREQ？
　現在の設定を表示します。

リザルトコード

• ATV［n］コマンド（☛P36）がn=1に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受付られません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

• AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－パソコン間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－パソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

おしらせ

● 従来の RS-232C で接続するモデムとのパソコンでの処理上の互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されている場合

AT¥V コマンド（☛P37）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT（数字表示の場合は「1」）

ATX 1が設定されている場合

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末−PC間の速度＞の書式で表示します。

  文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800（数字表示の場合は「1 21」）

- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末−PC間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA 端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※2の書式で表示します。

  文字表示例 ： ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384（数字表示の場合は「1 21 5」）

  FOMA端末ー PC間速度460800bpsで、mopera.net に、上り最大 64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。

※1： ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。
ATX1、AT¥V0を設定した状態（初期値）でのご利用をおすすめします。

※2： AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

• 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

つづく▶

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

つづく▶

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る										
466	瑠	塁	涙	累	類					
れ										
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	剏	剄	剋	剌	剞
498	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒
499	剱	劈	劑	辨	辧					
500		劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣
501	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸
502	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸
503	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮
504	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰
505	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭
506	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩
507	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒
508	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥
509	咬	哄	哈	咨	咫					
510		哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔
511	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售
512	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯
513	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩
514	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔
515	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴
516	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀
517	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼
518	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹
519	圀	囿	圄	圉	圈					
520		國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷
521	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿
522	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔
523	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡
524	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟
525	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗
526	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻
527	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭
528	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢
529	奠	奧	奬	奩						
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

つづく ▶

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

FOMA® D905i 翻訳リーダーを使ってみよう

韓国語を例にして、翻訳リーダーの使いかたを紹介します。
ここでは「돌솥비빔밥」を訳します。

補足 には、より快適にお使いいただくためのアドバイスを記載しています。
- 詳しい操作方法については ☛D905i 取扱説明書 P358

1 Menu ▶「ステーショナリー」を選び ◉ ▶ ▶「韓国語グルメ編」を選び ◉

読み取り画面が表示されます。
- 中国語のときは「中国語グルメ編（簡体字)」を選びます。

2 アウトカメラを単語に向け、ガイド表示と文字の向きを合わせて、枠に文字を入れる

- アウトカメラを単語から 8cm 以上離してください。

補足
- 横書きのときは、枠の縦幅に文字が重なるくらいまで で調整します。
- 白抜き文字など、文字が淡く、背景色が濃いときは を押すと読み取りやすくなります。
- 翻訳リーダーが対応している韓国語、中国語の文字は以下のとおりです。
  ・韓国語…KSC5601　・中国語…簡体字、GB2312、一級漢字

3

単語が読み取られ、訳が表示されます。

補足
- 読み取った文字列が複数の単語で成り立っているときは、 を押すと次の単語の訳を表示できます。
- 訳語の詳細を確認するときは、Menu を押します。

☛ 読み取り後にできる操作については、裏面をご覧ください。

補足
- 「韓国語グルメ編」「中国語グルメ編（簡体字)」では、食べ物や料理の名前など、グルメに関する用語を訳せます。ただし、翻訳結果は一例であり、店舗や地域などによって内容が異なる場合があります。
- 韓国語と中国語のサンプルです。読み取ってみてください。

韓 国 語

삼계탕　삼계구이　김치계란말이

中 国 語

北京烤鸭　香菇炒饭　凉拌海带丝

翻訳リーダーを使いこなす！ ヒント集

単語を読み取ったあとに、次のような操作ができます。

読み取った文字列に誤りがある場合は… 文字の修正

1

2 で修正する文字を選び

候補が表示されます。

候補

修正中の文字

3 で候補を選び

文字が修正されます。

4

訳が表示されます。

補足

- 読み取れる文字列は、明朝系、ゴシック系の書体です。以下のような書体は読み取れないことがあります。
  - ・韓国語…칠 칠 칠 칠 철　・中国語…老老老老老
- 読み取りかたのコツなどは、翻訳リーダーのヘルプをご覧ください。
  Menu ▶「ステーショナリー」を選び ▶ 6 ▶「使い方の説明」を選び

読み取った文字列の範囲を変更して、訳し直すには…

1

ポイント（）が枠の左上に表示されます。を押すとポイントは右下に移ります。

2 で範囲を変更

ポイント

3

枠内の文字列の訳が表示されます。

読み取った文字列に不要な文字がある場合は… 文字の削除

1

2 で削除する文字を選び

文字が削除されます。

3

訳が表示されます。

'07.10（1版）
860D269A